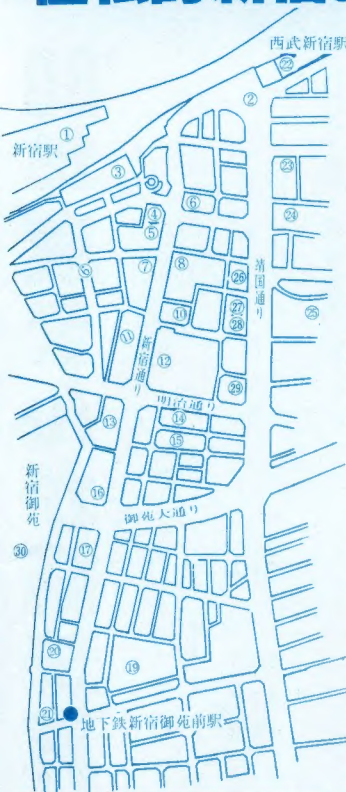
1981年7月1日発行第1巻第1号(毎月1回1日発行)
FUSION PRODUCT
まんが専門誌
ベスト10発表
ふゅーじょん ぷろだくと
1980年度決算号
長編部門1位 日出処の天子●山岸凉子
まんが家48人インタビュウ
あだち充・吾妻ひでお・石井隆・いしかわじゅん
石坂啓・岩重孝・奥平衣良・風忍・勝川克志
川崎ゆきお・向後つぐお・小山ゆう
近藤ようこ・柴門ふみ・酒井美羽
坂口尚・坂田靖子・佐藤史生
さべあのま・嵐峰麻利子・新谷かおる
鈴木翁二・高橋葉介・高橋留美子
高野文子・谷口ジロー・たむらしげる
名香智子・新田たつお・猫十字社
はしもとてつじ・長谷川法世・はるき悦巳
ひさうちみちお・平口広美・福山庸治
星野之宣・御厨さと美・宮西計三
宮谷一彦・村上もとか・森雅之・守村大
山田双葉・やまだ紫・湯田伸子
吉田秋生・渡辺和博
まんが周辺情報
雑誌リスト
'80年度創刊誌
'80年度改題誌
'80年度休刊誌
出版社
同人誌
同人誌印刷所
まんが専門店
まんが古本屋
まんが図書館
まんが喫茶
アニメ作家
アニメ製作プロ
声優プロ
アニメファンクラブ
まんがファンクラブ
まんが・アニメの学校
キャラクター商品製作社
キャラクター商品販売店
各種まんが賞
〈アストラル・シャワー〉
'81·5
7
創刊号
定価630円
この号だけ特別価格
FUSION PRODUCT
ふゅーじょん ぷろだくと
まんが専門誌
1980年度決算号
まんが周辺リスト
7
創刊号
1981

極私的新宿あたり地図

西武新宿駅
新宿駅
靖国通り
新宿通り
明治通り
御苑大通り
新宿御苑
地下鉄新宿御苑前駅

①**新宿駅**　国鉄山の手線・総武線、小田急線、京王線、地下鉄丸の内線、都営新宿線の連絡駅。東京では珍しく有料トイレ（50円）のある駅。
②**サブナード地下街**　比較的安くて庶民的な店舗が入っている。三平ストアがあるのがミソ。
③**マイ・シティ**　１階にプレイガイドがありとても便利
④**ヨドバシカメラ、カメラのサクラヤ**　ＣＭで有名な有力カメラ店舗。常時、時計・カメラ・電卓が３割～４割引。
⑤**タカノ・フルーツパーラー**　西洋風甘いもの屋さん。フルーツは豊富だがとにかく甘い、甘過ぎる。
⑥**丸井ヤング館**　高い値段の割に店内テクノ一色。あまりハイセンスとは思えないのだが…。
⑦**ＪＵＮ**　アイビー、トラッドの店。質素な型がとても良い。（ちなみに筆者はそこで 6800 円のシツを買いＢＦにプレゼントしました）
⑧**紀伊国屋書店**　新宿一大きな書店とあるがそうでもない。４階には漫画コーナーがあり、メジャーの単行本はほとんど揃っている。
⑨**三越**　百貨店。１階にマクドナルドがある。
⑩**カフェ・ド・パリ**　目立たないが、比較的手ごろな値段で食べられる。
⑪**丸井**　クレジットの丸井。隣りにはインテリヤ館もあり、ウィンドーショッピングが楽しめる。
⑫**伊勢丹**　新宿店で一番大きな百貨店。　スポーツ館もあり、化粧品コーナーはほとんど揃っている。
⑬**新宿東映、新宿京王**　新宿東映ホール１は座席が鋭角に並んでおり、決して前の人の頭でスクリーンが見えないということはない。　（編集のＹ君はここの予告テレビで『アッシイたちの街』を数十回見て再演してくれる）
⑭**新宿ビレッジ、スカラ座、ロマン、新宿文化**　映画館街。
⑮**末広亭**　寄席。
⑯**世界堂**　年中無休の画材専門店。　かなり色々揃っている。
⑰**王将**　餃子のチェーン店。その他中華料理各種あり、スタッフが最もよく行く店。
⑱**模索舎**　普通の書店では手に入りにくい本が置てある。特に市民運動の本はほとんど揃う店。
⑲**新宿公園**
⑳**フリースペース**　第10宮延マンションの９階。同人誌各種取り揃えております♥
㉑fusion pro **編集部**　ここです♥２Ｆにアニメック
㉒**書原コモナーレ**　６階には漫画コーナーがある。
㉓**村さ来**　酎ハイ（焼酎の炭酸割）が一杯 250円。編集のＯ君、Ｙ君、Ｆ君が良く行く。
㉔**ケンタッキーフライドチキン**ここのは割とうまい。
㉕**新宿ゴールデン街**　高取英が出没する。
㉖**アドホック**　キティちゃん、スヌーピーはじめ多くのキャラクター商品がある。また文房具も各種揃っている。
㉗**ＤＵＧ**　待ち合わせによく使われる喫茶店。アメリカンがなかなかうまいそうだ。
㉘**ケンタッキーフライドチキン**　この店は小骨が多く皮がカリカリしていてうまくない。
㉙**テアトルビル**　地下１階にはテアトル新宿、５階はテクノ・ディスコ、ツバキハウス。昔はホモさんたちが集まって○○だったそうだが、今はテクノのジャリどもでいっぱいだ。（新宿のディスコは面白いとこないなー。知っていたら教えを乞う）
㉚**新宿御苑**　へへー。

fusion pro 編集部は、新宿２丁目にあります。ここはオカマさんのバーやゲイバーが多いので有名なんです。編集部は目の前に御苑が開け、日当り良好、環境バツグン、ぜいたくすぎるほどぜいたくな所です。　さて上は極私的地図。色々ご不満もありましょうがまあ堪忍してくだせいますだ。

創刊の言葉

えー、ま、そういうわけで創刊のはこびとなりました。
よろしく。

'80年度まんが総決算号

'80年度まんが人気ベスト10

まんが家総カインタビュー

まんが専門誌 Fusion product 7 VOL. 1

●表紙●　――アストラル・シャワー――　真崎守

●大情報

Comic Information

'80年度 まんが総決算

「緑茶夢シリーズ」森脇真末味
プチコミック（小学館）掲載

'80年読者アンケート集計結果【長編部門】

順位	題名	作者名	1位	2位	3位	4位	5例	合計
1	日出処の天子	山岸凉子	164	110	80	60	35	一六五五
2	メッシュ	萩尾望都	78	89	59	55	28	一〇六一
3	エロイカより愛をこめて	青池保子	115	45	55	34	35	一〇二三
4	はみだしっ子	三原順	85	58	52	25	27	八九〇
5	緑茶夢シリーズ	森脇真末味	46	47	42	44	22	六四五
6	ヴァレンチノシリーズ	森川久美	18	29	34	38	24	四〇八
7	カリフォルニア物語	吉田秋生	12	30	29	43	43	三九六
8	空の色に似ている	内田善美	24	25	16	16	16	三一六
9	伝説	水樹和佳	24	18	18	26	16	三一四
10	パタリロ！	魔夜峰央	7	28	27	22	23	二九五
10	2年4組シリーズ	成田美名子	21	17	22	19	18	二九五
12	摩利と新吾	木原敏江	16	15	28	24	21	二九三
13	夢みる惑星より	佐藤史生	13	15	29	21	22	二七六
14	アリオン	安彦良和	19	15	15	21	18	二六〇
15	うる星やつら	高橋留美子	18	15	17	13	20	二四七
16	Dr・スランプ	鳥山明	15	14	18	19	14	二三七
17	童夢	大友克洋	20	18	13	9	5	二三四
18	いつもポケットにショパン	くらもちふさこ	12	10	16	16	27	二〇七
19	地球へ…	竹宮恵子	12	15	14	12	15	二〇一
20	綿の国星	大島弓子	10	9	20	14	13	一八九
21	風と木の詩	竹宮恵子	13	12	10	8	12	一七一
22	あいつ	成田美名子	16	12	8	4	10	一七〇
23	気分はもう戦争	矢作俊彦 大友克洋	9	14	14	7	5	一六二
24	超人ロック	聖悠紀	8	13	10	13	13	一六一
25	トロピカル半次郎	高口里純	5	9	12	18	21	一五四
26	伊賀野カバ丸	亜月裕	7	8	12	16	15	一五〇
27	アルトの声の少女	篠有紀子	11	10	8	10	9	一四八
27	久美と森男シリーズ	高口里純	5	11	13	15	10	一四八
29	スクラップ学園	吾妻ひでお	13	7	3	7	2	一一八
30	じゃりん子チエ	はるき悦巳	12	8	4	4	5	一一七
31	黒のもんもん組	猫十字社	5	7	8	10	14	一一一
32	下北なあなあイズム	石坂啓	7	9	8	5	5	一一〇
33	エリア88	新谷かおる	4	10	6	7	13	一〇五
34	蘇州夜曲	森川久美	3	6	9	11	11	九九
34	チャイ夢	岩館真理子	9	6	4	7	4	九九
34	茶番劇	石坂啓	6	7	8	5	7	九九
37	ガラスの仮面	美内すずえ	4	8	7	6	12	九七
38	バジル氏の優雅な生活	坂田靖子	3	7	7	8	9	八九
39	憂国	いしかわじゅん	8	7	4	2	2	八六
40	P・S・元気です俊平	柴門ふみ	8	2	7	5	5	八四
41	愛のアランフェス	槇村さとる	7	1	7	9	4	八一
42	フィメールの逸話	鈴木雅子	7	4	3	7	5	七九
43	いらかの波	河あきら	5	4	3	11	6	七八
44	オルフェウスの窓	池田理代子	10	2	1	6	3	七六
45	真子と明シリーズ	夢野一子	1	7	5	8	7	七一
46	一万十秒物語	倉多江美	2	6	2	7	6	六〇
46	KNOCK！	川原由美子	6	4	2	3	2	六〇

46	妖女伝説	星野之宣	5	3	4	5	1	六〇
49	贋作ひでお八犬伝	吾妻ひでお	5	4	5	1	1	五九
50	ファンタジー・ゾーン	ますむらひろし	4	4	4	3	3	五七
51	エイリアン通り(ストリート)	成田美名子	3	4	3	4	7	五五
51	椿ちゃんの百面相	勝川克志	2	7	4		5	五五
51	ぶらっとバニー	吾妻ひでお	5	4	3	2	1	五五
54	がんばれ元気	小山ゆう	3	3	5	5	2	五四
54	すすめ!!パイレーツ	江口寿史	2	4	2	7	8	五四
56	純文学シリーズ	吾妻ひでお	6	4	2		1	五三
56	ナイン	あだち充	1	6	3	4	7	五三
58	たてよこななめシリーズ	渡辺多恵子	2	4	4	4	6	五二
59	シリーズ愛の出会い	樹村みのり	1	5	5	4	2	五〇
60	1・2の三四郎	小林まこと	2	3	6	1	6	四八
60	すくらっぷブック	小山田いく	1	5	5	3	2	四八
60	NORA	御厨さと美	1	1	7	6	6	四八
63	ファントム無頼	史村翔 新谷かおる	1	5	2	5	5	四六
64	そばかす少年	竹宮恵子	4	3		1	5	三九
64	ルーとソロモン	三原順	3	2	4	1	2	三九
66	白い窓の向う側	ひかわきょうこ	1	3	3	5	1	三七
66	リングにかけろ!	車田正美	4	1	2	2	3	三七
68	水滸伝	真崎守	3	3	1	3		三六
69	あさきゆめみし	大和和紀		3	3	5	4	三五
69	要ちゃんのキタ・セクスアリス	立原あゆみ	3	3	1	2	1	三五
69	まりの君の声が	太刀掛秀子	3	3	2	1		三五
72	岳人(クライマー)列伝	村上もとか	3	2	2	2	1	三四
72	ドロファイター	村上もとか	2	2	3	2	3	三四
72	千津美と藤臣くんシリーズ	ひかわきょうこ	1	4	1	3	4	三四

75	水平線をめざせ!	高橋亮子	2	3	1	2	3	三二
75	ヒューイ・デューイ物語	坂田靖子	2	1	4	1	4	三二
75	陽あたり良好	あだち充	3	2	1	2	2	三二
75	宵闇通りのブン	高橋葉介	2	2	3	1	3	三二
79	るなてっく	吾妻ひでお	4	1	1	2		三一
79	どろろん忍者	吾妻ひでお	2	3		3	3	三一
79	番外甲子園	やまさき十三 内山まもる	2	1	3	3	2	三一
82	ライヤー教授の午後	高橋葉介		3	2	5	2	三〇
83	裂けた旅券(パスポート)	御厨さと美	1	2	2	5		二九
83	ラシャーヌ!	魔夜峰央	1	1	4	3	2	二九
85	孔雀風琴	宮谷一彦	2	4			2	二八
85	SWAN	有吉京子	1	2	1	2	8	二八
85	道子	高橋亮子	3	1	1	3		二八
85	めぞん一刻	高橋留美子	1	4	2		1	二八
89	かんばりソーダ	いしかわじゅん		3	3	1	4	二七
89	すずめ報告(レポート)	笈川かおる	1	1	4	1	4	二七
91	アンドロメダ・ストーリーズ	竹宮恵子	1	1	2	2	4	二三
91	鏡の中のアリス	槇村さとる	1	1	3	1	3	二三
93	ノストラ探偵団	かわみなみ		1	3	3	3	二二
93	ハルマゲドンシリーズ	山田ミネコ		2	1	4	3	二二
95	さすがの猿飛	細野不二彦		2	2	2	2	二〇
95	男大空	雁屋哲 池上遼一		3	2		2	二〇
97	龍一くんライブ	神戸さくみ		1	4	1	1	一九
97	青になれ!	倉持知子	1	2	1		3	一九
97	希林館通り	塩森恵子	2	1	1	1		一九
97	スケバン刑事	和田慎二		2		5	1	一九
101	まゆ子と杉浦君シリーズ	ひかわきょうこ	2	1		1	2	一八

101	セッチシリーズ	沖倉利津子	1	1	1	3		一八
101	翼ある者	大和　和紀	1		3	2		一八
101	とっておきのABC	愛田真夕美	1	1	1	2	2	一八
105	ペアペアライサンダー	聖　悠紀		1	2	3	1	一七
105	気まぐれ四銃士	川原由美子		1	2	3	1	一七
105	12色物語	坂口　尚	1	1	2	1		一七
105	スエ&葉シリーズ	谷地恵美子	1	1		4		一七
109	APPLE PRADISE	大友　克洋	1		1	4		一六
109	こくう物語	鈴木　翁二	3				1	一六
109	砂の城	一条ゆかり		2	1	1	3	一六
109	凄ノ王	永井　豪	1	1	1		4	一六
109	パサジェルカ	樹村みのり	1		2	2	1	一六
109	火の鳥	手塚　治虫		1	1	2	5	一六
109	ブラック・ジャック	手塚　治虫		3		2		一六
109	マッドメンシリーズ	諸星大二郎	1	2	1			一六
109	優しい鷲JJ	望月三起也	1	1		3	1	一六
118	あい色神話	大和　和紀		2	1	1	2	一五
118	シリーズ1/1000sec.	新谷かおる	2		1		2	一五
118	ノアールの逆襲	鎌田　幸美	1	1		1	4	一五
118	ブッダ	手塚　治虫	1	2		1		一五
118	ふられ竜の介	織　三幸		2	1	1	2	一五
118	みゆき	あだち　充			2	3	3	一五
124	コブラ	寺沢　武一	1	1	1	1		一四
124	MICKEY	小椋　冬美	1		1	2	2	一四
126	アラミス'78	大和　和紀		1	1	2	1	一二
126	風と海とサブ	あすなひろし	2			1		一二
126	宗三郎・見参!	柴田　昌弘		1	2	1		一二
126	小さなお茶会	猫十字社	1		1		4	一二
126	風雲児たち	みなもと太郎	1			2	3	一二
126	まんが道	藤子不二雄	1	1	1			一二
132	おちこぼれ忍法帖	弓月　光	1	1		1		一一
132	シドニーボーイ	たらさわみち	1	1		1		一一
132	博多っ子純情	長谷川法世	1	1			2	一一
132	すくうるでいず	美村あきの	2				1	一一
132	れもんカンパニー	吉田まゆみ		2		1	1	一一
137	風の戦士	松久　由宇		1	1	1	1	一〇
137	新・ルパン三世	モンキー・パンチ	2					一〇
137	ダイスをころがせ	畑中　富	2					一〇
137	バーレスク	田村　信	1		1	1		一〇
137	ヒットエンドラン	あや　秀夫		1	2			一〇
137	陽一さんのもしもし編集室	佐々木容子	1			2	1	一〇
137	王家の紋章	細川千栄子		1			1	一〇
144	おやこ刑事	大島やすいち	1		1		1	九
144	俺の新選組	望月三起也		1	1		2	九
144	きのうみた夢	陸奥　A子		1	1	1		九
144	銀星団天をゆく	みかみなち			1	2	2	九
144	サミーとチャールズ	佐藤　陽子		1	1	1		九
144	バラの進さま	とり　みき		2			1	九
144	ファーラウェイ	弘兼　憲史	1	1				九
144	ボンバー弾	神矢みのる		1	1		2	九

'80年読者アンケート集計結果【短編部門】

順位	題名	作者名	1位	2位	3位	4位	5位	合計
1	訪問者	萩尾望都	151	53	37	23	13	一一三七
2	ZII	青池保子	74	50	34	32	15	七五一
3	田辺のつる	高野文子	37	28	16	14	8	三八一
4	今は静かな	三原順	28	24	27	18	12	三六五
5	風の歌うたい	吉田秋生	22	26	20	11	10	三〇六
6	花伝ツァ	木原敏江	18	23	17	17	15	二八二
7	はるかな天使たちの群れ	吉田秋生	24	18	16	13	8	二七四
8	三丁目のサテンドール	清原なつの	17	21	19	13	9	二六一
9	遥かなり夢のかなた	竹宮恵子	12	30	[illegible]	18	13	二五六
10	雛菊物語	大島弓子	12	17	18	8	5	二四八
11	ノルディカ変奏曲（イスソナタ）	竹宮恵子	11	21	12	15	15	二二〇
12	酔夢	萩尾望都	14	10	8	4	5	一四七
13	ぱぺっと	森脇真末味	7	8	15	8	5	一三三
14	海のほとりの王国で	水樹和佳	6	8	12	10	6	一二四
15	ラーギニー	萩尾望都	6	9	8	8	8	一一四
16	金曜の夜の集会	萩尾望都	9	8	6	3	6	一〇七
17	悪夢	山岸凉子	6	8	5	9	7	一〇二
17	うらがえしの黒い猫	高野文子	4	6	11	10	5	一〇二
19	千姫御スプリングタイム	渡辺多恵子	7	8	6	2	5	九四
20	残像	星野之宣	3	9	5	7	6	八六
21	ヨセフ	ひさうちみちこ	3	6	8	9	4	八五
22	流水子さんに花束を	清原なつの	4	8	5	2	6	七七
23	GO Ahead!	江口寿史	6	5	4	3	4	七二
23	悪い子	樹村みのり	3	8	4	5	3	七二
25	メチル・メタフィジーク	吾妻ひでお	7	6	2	2	2	七一
26	あぜみちロードにセクシーねえちゃん	高野文子	4	5	6	3	1	六五
27	午前10:00の家鴨	高野文子	3	6	7	1	2	六四
28	不気味が走る	吾妻ひでお	4	3	7	3	3	六二
29	アネサとオジ	高野文子	1	5	6	7	4	六一
29	はえかぶり姫	青池保子／大島弓子／おおやちき／樹村みのり		3	10	6	7	六一
31	乙女心をゆさぶって	かわみなみ	4	2	4	6	6	五八
31	ルディ・ギネヴィア	吾妻ひでお	7	2	3	2	2	五八
33	グレープフルーツストロベリー	ささやななえ			6	8	10	五六
34	ローリング・アンビバレンツ・ホールド	吾妻ひでお	6	4	2	4	3	五五
35	盗まれたハネムーン	柴田昌弘	3	5	8	5	4	五三
35	未来都市バラン	柴田昌弘	3	2	4	5		五三
37	至福の街	いしかわじゅん	2	3	4	4		五〇
38	枯葉の街	柴田昌弘	3	3	6	2	4	四九
39	夜想曲（ノクターン）	木原敏江	3	2	4	4	2	四九
40	サンセット	樹なつみ	3	2	2	6	2	四七
40	メデュウサ	山岸凉子	6	2	1	1	4	四七
42	ゴミ箱の中のヒーローたち	谷地恵美子		2	7	6	5	四六
43	聖者たちのてっぺん	渡辺多恵子	1	3	4	2	9	四二
43	第3の娘	柴田昌弘	4	3		3	4	四二
45	ユニコーンの星	星野之宣	3	4	2		4	四一
46	ふうふ	高橋留美子	4	4	1		1	四〇
47	砂城	名香智子	3	2	3	3	1	三九

47	サラの遺言	ささやななえ	1		6	5	6	三九
47	夕焼通り	坂田 靖子	1	2	5	3	5	三九
50	湊町レビュー	久掛 彦見	3	2	2	3	3	三八
51	彼女の想いで……	大友 克洋	2	4	2	1	2	三六
51	ひがみっく・くらいしす	ぬまじりよしみ	2	2	2	2	8	三六
53	恐怖の甘い物一家	山岸 凉子	1	5		2	6	三五
54	I・N・R・I……	大友 克洋		6		4	2	三四
55	屋根裏部屋通信	川原由美子	1	4	2	2	1	三二
56	アカペルコ・ゴールド	吉田 秋生	2	1	1	5	4	三一
56	アダマスの宝石	星野 之宣	1	3	1	5	1	三一
58	ガラス	盆木屋 敦	1	3	2	2	3	三〇
59	ザ・超女（スーパーギャル）	髙橋留美子	3	1	2	1	2	二九
59	ブレーメン5	佐々木淳子	2	1	1	4	4	二九
61	あさみどり夏姫	木原 敏江	1	1	4	3	1	二八
61	SOS！大東京探険隊	大友 克洋	2		1	6	3	二八
61	トンネルの夜	石坂 啓	3	1	1	2	2	二八
61	雪の道	坂口 尚	5			1	1	二八
65	地球防衛論	竜巻 竜次	1	1	1	4	7	二七
66	果樹園	一条ゆかり	1	1	4	1	3	二六
66	風が変る日	髙橋 亮子	2	1	3	1	1	二六
66	こうして私はキャラクターした	吾妻ひでお	1	1	3	2	4	二六
66	タイタニック'80	柴田 昌弘	3	1		3	1	二六
70	雨	高口 里純	1	2	2	2	2	二五
70	学園坂の娘たち	風間すずめ	5					二五
70	ホーキ売りの季節	吾妻ひでお		4	1	2	2	二五
73	たあたあと遠くで銃の音がする	髙野 文子	2	1	2	1	2	二四
73	赤い仔猫は笑わない	柴田 昌弘	1	2	2	1	3	二四
75	ラナちゃんいっぱい泣いちゃう	吾妻ひでお	1	1	2	3	2	二三
75	エイリアン・レモネード	坂田 靖子	1	2	2	1	2	二三
75	銀河の魚	たむらしげる	1	1	3	1	3	二三
75	三時の子守歌	さべあのま		2	4	1	1	二三
75	サン・バーグズビルの思い出	大友 克洋	1		4	3		二三
75	Dr.アジマフシリーズ	吾妻ひでお		3		4	3	二三
75	万華鏡	竹沢タカ子		3	3	1		二三
82	おるごおる	坂口 尚	1		3	1	6	二二
82	絆	坂口 尚	1		1	6	2	二二
84	ウォークパーティー	笈川かおる	2	1	1	1	2	二一
84	愛は人類を救っちゃう	ゆうきまさみ	1	1	2	2	2	二一
84	ハニーチャイルド	篠 有紀子	1	2	2		2	二一
87	サージェント	星野 之宣		1	2	3	4	二〇
87	三番目の季節	さべあのま		1	4	1	2	二〇
87	人間ごっこ	吾妻ひでお	1	2	1	2		二〇
90	DAY IN DAY OUT DAY GIRL	さべあのま	1	1		4	2	一九
90	光の中のぼく	木村 直巳	2	1	1	1		一九
90	陽気な魔女たち	森脇真末味	1	2	2			一九
90	12月の唯	小山田いく		3	1	1	2	一九
94	ASAHIKAWA 初雪後24日め……	まついなつき	1	1	1	1	4	一八
94	決闘2108年	竹宮 恵子	1	1	1	2	2	一八
94	ユニコーン狩り	諸星大二郎	3		1			一八
94	だから今夜はスローダンス	小椋 冬美	2		2	1		一八
94	ハイドラ	南 聖二	1	1	2	1	1	一八
94	海底土人8823（ハヤブサ）	大友 克洋	1	1	1	2	2	一八
94	6月・雨の降る町から	岩館真理子	1		1	5		一八
94	私の夜啼鳥	花郁悠紀子	1		3	2		一八

102	偉大な種	吾妻ひでお	1	2		1	2	一七
102	VIRGIN SHADOWに一番乗り!	大友克洋	2		2		1	一七
102	こうして私はSFした	吾妻ひでお		2	2	1	1	一七
102	サイン・コサイン・三角関係	弓月光	2		2		1	一七
102	20とひとつのるみこさん	まついなつき		1	4		1	一七
102	パラノアイ	池田理代子	1	1	2	1		一七
102	バイバイセレモニー	渡辺多恵子		1	2	3	1	一七
102	方南町経由新宿駅西口京王百貨店前行	高野文子		2	1	2	2	一七
102	暴食のフォルム	高橋留美子		1	1	2	6	一七
102	浪漫薔薇(ローズ)	倉多江美		2	2	1	1	一七
112	海馬	吾妻ひでお	1	1	1	2		一六
12	キラリゆれてあいつ	真柴ひろみ		1	1	4	1	一六
112	言問橋純情	塩森恵子	1	2	1			一六
12	白い翼をとりかえせ	たらさわみち		2	3	1		一六
12	征地球論	藤子不二雄	2	1		1		一六
112	夏子	上原きみこ	3				1	一六
112	ファンダム大地に堕つ!	ゆうきまさみ		3		1	2	一六
112	緑の誘惑	名香智子	1	2		1	1	一六
12	リングにこけろ	車田正美	2			2	2	一六
2	あなた行き最終列車	桂むつみ	2	1			1	一五
12	風吹けば午後	ささやななえ		2	2		1	一五
121	こ・来・く…来る!	木原敏江			2	2	5	一五
121	サングラスをどうぞお月さま	きむらしんこ	2		1	1		一五
121	8月銀河に向けて	岩館真理子		1		4	3	一五
2	HAPPINESS IS A WARM GUN	いしかわじゅん			1	5	2	一五
121	ベーコンエッグママ	柴門ふみ	3					一五
12	恋のプリズナー	細野不二彦	2		1	1		一五
121	夕ごはんまだ?	柴門ふみ	1	1	2			一五
21	華麗なるジョージ	コンタロウ	2		1		2	一五
13	愛の一家(ファミリー)	かわみなみ		2		2	2	一四
31	アンジーガール	奥友志津子			3	2	1	一四
131	イデは燃えているか!?	ゆうきまさみ	2	1				一四
131	ガラス玉に愛をこめて	こさかへ陽子	1	2			1	一四
13	風に哭く	花郁悠紀子		2	1	1	1	一四
131	Someday…Flying	さべあのま	1	1	1		2	一四
31	ななこSOS	吾妻ひでお		2	1	1	1	一四
13	ネコじゃネコじゃ	倉多江美	1	2			1	一四
13	祭の日	坂口尚	1	1	1	1		一四
31	ミセス・ロビンソンの庭	三岸せいこ	1		2	1	1	一四
131	ゆーめいどりーむ	すぎ恵美子	2		1		1	一四
131	八日目の野菜スープ	高橋由佳利		2	1	1	1	一四
131	学芸会シリーズ	いしいひさいち	1		2	1	1	一四
131	毛糸玉童話	めるへんめーかー		2	1	1	1	一四
145	キンピカファンタジアNO・9	小野弥夢	1	1	1		1	一三
145	たったひとつの予感	野口弓子		1	1	2	2	一三
145	由似君の青春	大谷博子		1	2	1	1	一三
145	カレーライス物語	まついなつき		2	1	1		一三
149	シャンパン・シャーベット	名香智子		2	1		1	一二
149	1980年の未婚貴婦人	樹村みのり	1		1	2		一二
149	チルドレンプレイ	寺島令子		1	2	1		一二
149	天使の日	竜巻竜次	1	1	1			一二
149	傷つきやすい青春	高橋葉介		1	2	1		一二

各部門　ベスト1発表

長編賞　**日出処の天子**　山岸凉子　LaLa（白泉社）掲載

短編賞　**訪問者**　萩尾望都　プチフラワー　小学館　掲載

メインキャラクター賞 男性部門　**厩戸王子**　日出処の天子　山岸凉子　LaLa　白泉社　掲載

メインキャラクター賞 女性部門　**則巻アラレ**　「Dr.スランプ」　鳥山明　週刊少年ジャンプ　集英社　掲載

サブキャラクター賞 男性部門　**エーベルバッハ**　「エロイカより愛をこめて」　青池保子　プリンセス　秋田書店　掲載

サブキャラクター賞 女性部門　**瀬戸内海**　「トロピカル半次郎」　高口里純　LaLa　白泉社　掲載

新人賞　**鳥山明**

ベストアニメーション賞　**機動戦士ガンダム**　日本サンライズ

技能賞　**内田善美**

コママンガ賞　**フジ三太郎**　サトウサンペイ　朝日新聞掲載

傑作賞　**アンドロメダ・ストーリーズ**　光瀬龍　まんが少年　朝日ソノラマ　掲載

特別個性派賞　**ジェイムズ君**　「エロイカより愛をこめて」青池保子　プリンセス　秋田書店　掲載

集団賞　**はみだしっ子4人組**　「はみだしっ子シリーズ」　三原順　花とゆめ　白泉社　掲載

NATO　「エロイカより愛をこめて」　青池保子　プリンセス　秋田書店　掲載

特別功労賞　**聖徳太子**

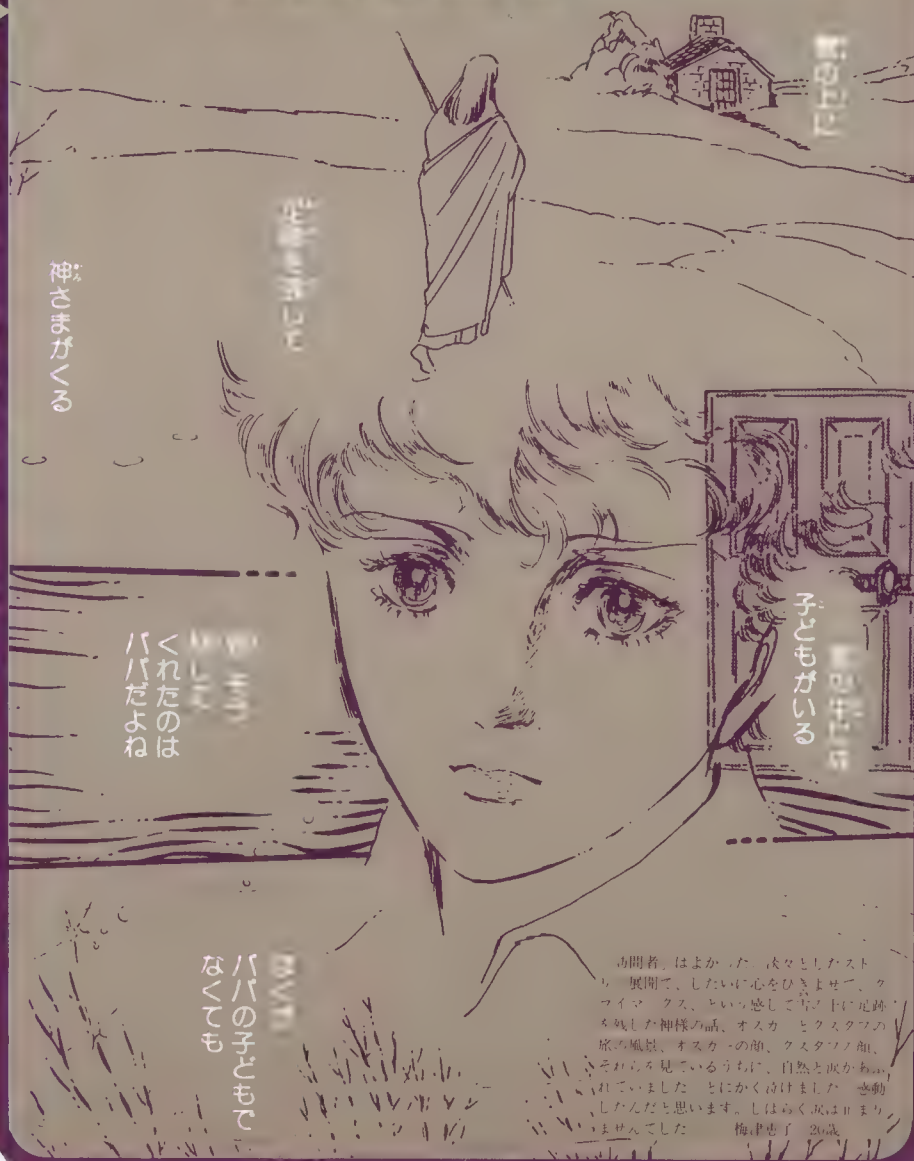
同人誌賞　**ラヴリ**

長編作品賞　第1位

THE CREATION OF THE SUN AND THE MOON

山岸涼子

「日出処の天子」

短編作品賞　第1位
「訪問者」萩尾望都
プチフラワー（小学館）掲載
神さまがくる
子どもがいる
くれたのは
パパだよね
パパの子どもで
なくても
「訪問者」はよかった。淡々としたストーリー展開で、しだいに心をひきよせ、クライマックス、という感じで雪の上に足跡を残した神様の話、オスカーとグスタフの旅の風景、オスカーの顔、グスタフの顔、それらを見ているうちに、自然と涙があふれていました。とにかく泣けました。感動したんだと思います。しばらく涙は止まりませんでした。　梅津忠子　20歳

メインキャラクター賞
男性部門
厩戸王子
日出処の天子

メインキャラクター賞
女性部門

則巻アラレ

「Dr.スランプ」

サブキャラクター賞 男性部門

波乱に満ちた80年代を代表するヒーロー(?)第3次世界大戦の火つけ役自分なりの正義と信念で任ムに生きる男、まさに動乱の時代にふさわしい鉄の男ではありませんか!そしてその中にかくされたやさしさと人間くささ、マンガの人物とはいえここまで実在感あふれる人はいません!80年は少佐なくして語れない年だったのです!!!!
わはは…半分趣味ですが　宮田真了

22歳　神奈川県藤沢市鵠沼藤が谷2　11　9

エーベルバッハ

「エロイカより愛をこめて」

サブキャラクター賞女性部門

瀬戸内　海

「トロピカル半次郎」

助演女優の彼女は、何で好きなのかわからないけど好きなのですネ、たぶん、どこにでも居そうで、どこにも居ないような、そいでも　で完全にマンガであるところが良いのだと思いますが、あの番外編のはりきった海ちゃんがたまらなかった
柴田貞り　20歳　八王子市九本郷

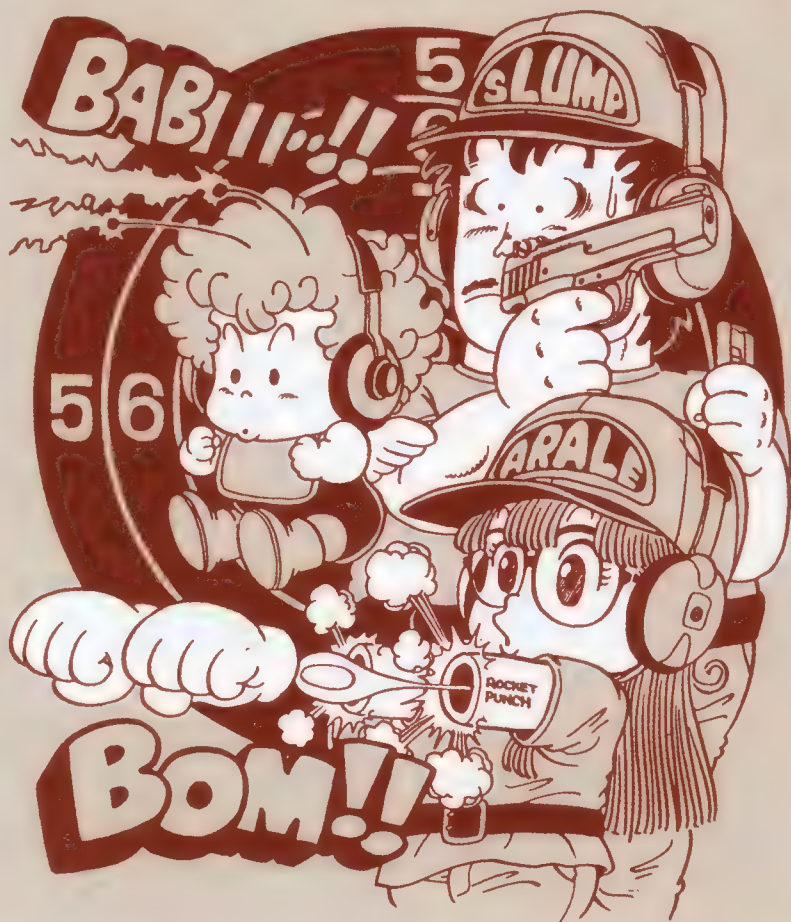
花とゆめ（白泉社）掲載

新人賞　第1位

鳥山明

「Dr.スランプ」

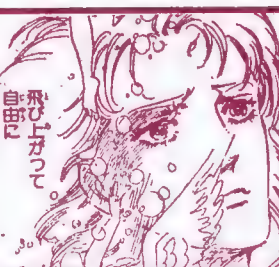
週刊少年ジャンプ（集英社）掲載

新人賞は、やはり郷土の星！鳥山明大先生しかないでしょう　絵のうまさ　まんが調にも劇画調にもなる自在さ　だけでなく、アイデアだけでなく、発想法そのものがもはやフツーでない所が、何ともいえずスゴイのです。一応S・Fなんだから、来年は星雲賞をめざしてガンバレ！　といいたい。（ムリだろうな……。）　村地　彰　24歳
名古屋市千種区池下町1－17チサンマンション1005号

いま鮮烈に甦る
★監修 小松左京
★制作指導 松本零士
★解説 小野耕世
日本名作漫画館
SF編
第1期(第一部)4冊(5月)/(第二部)4冊(7月)/(第三部)4冊(10月)刊行予定
■第一部収録作品
愉快な鉄工所
大城のぼる
火星王国
小松崎茂
最後の世界大戦
足塚不二雄(藤子不二雄)
新バグダッドの盗賊
松下井知夫
限定1,000部(限定番号入り)
幻の初版本!!
現金価格
各部共四冊セットで(分冊不可)
一八、八〇〇円
第1期全セット
五、六四〇〇〇円
申込受付中
●第二部刊行予定作品(4冊組) 「漫画の星座」大城のぼる、「蜜蜂の冒険」(私家版)松本零士、「円盤Z」杉浦茂、「海底王国」小松崎茂
●第三部刊行予定作品(4冊組) 「魔法屋敷」手塚治虫、「ロック・ホーム」手
「幽霊博士」 「恐竜世界」
(03)261 3561
発行 名著刊行会
〒165 東京都中野区松が丘1-22-7
発売 柳原書店
〒101 東京都千代田区神田神保町3-25 精和ビル

第2位

メッシュ

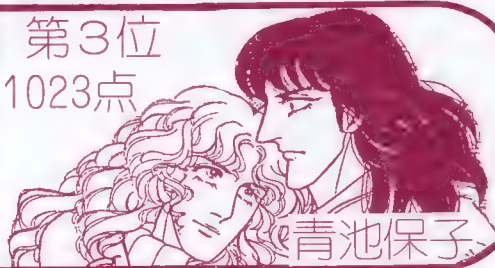
萩尾望都

プチフラワー（小学館）掲載

1061点

エロイカより愛をこめて

第3位

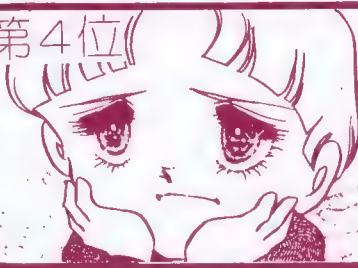
1023点

プリンセス（秋田書店）掲載

青池保子

第4位

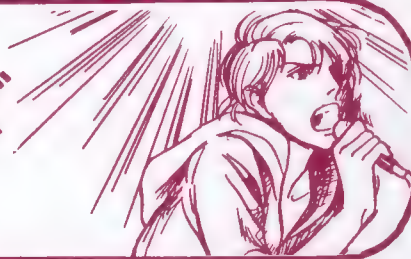
はみだしっ子シリーズ

三原順　890点

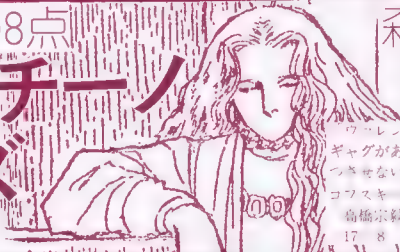
花とゆめ（白泉社）掲載

第5位

緑茶夢シリーズ

森脇真未味　654点

プチコミック（小学館）掲載

第6位　408点

森川久美

ヴァレンチーノシリーズ

LaLa（白泉社）掲載

"ヴァレンチーノ・シリーズ"は、適度なギャグがあり、また、独特な絵で、たいくつさせない。ハ\!! まるでチャイコフスキーの第一交響曲のようだ
高橋宗毅　18歳　東京都大田区久が原2 17 8

第7位

カリフォルニア物語

吉田秋生　396点

別冊少女コミック（小学館）掲載

空の色ににている

第8位 316点

ぶーけ（集英社）掲載

寡作な内田さんが、より時間をかけて描き込んだ、一ページ一ページ。内田さんの想いが、木の枝に、ねこの目に、蒼生君の息に、空を流れる雲に息づいているようでした　関根敦子　20歳

内田善美

第9位

314点

伝説

水樹和佳

「伝説」人類の進化がその意志の力によって起こるのなら、人間はどこまでも行くことができるだろう。　下岡生実　23歳　京都府宇治市宇治又振15番地

ぶーけ（集英社）掲載

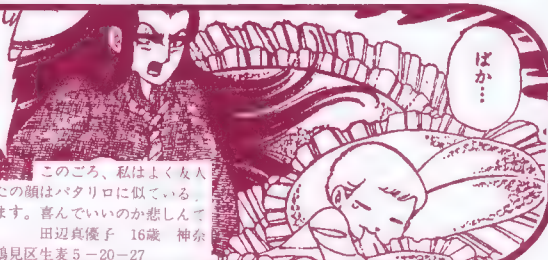
第10位

295点

魔夜峰央

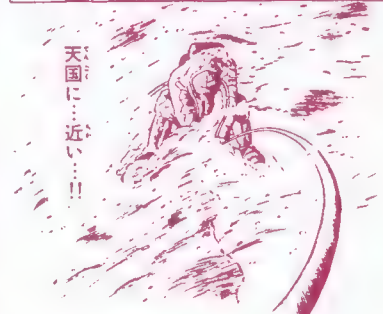
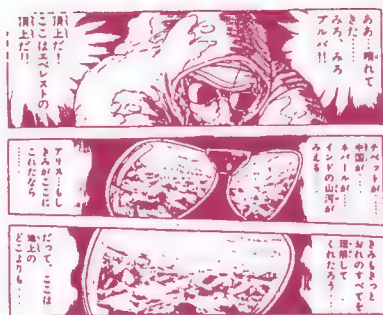
パタリロ！

花とゆめ（白泉社）掲載

このごろ、私はよく友人から「あなたの顔はパタリロに似ている」と言われてます。喜んでいいのか悲しんでいいのか…。　田辺真優子　16歳　神奈川県横浜市鶴見区生麦5－20－27

第10位

2年4組シリーズ

成田美名子　295点

ＬａＬａ（白泉社）掲載

「南西壁　村上もとか
少年ビッグ（小学館）掲載

●「南西壁」は(「岳人列伝」)文句なしにおもしろかった。これとほぼ同じころに、星野之宣さんの「蜃気楼」を読んだのですが、この二作品は、似通った雰囲気があったと思うが「蜃気楼」は、巧さと、着想でSFとして僕を魅きつけたのに対して、「南西壁」は、その台詞で僕を泣かせてしまった。

「だって、ここは地上のどこよりも……天国に……近い……!!」

「見せてやろうじゃねえか……おれたちの……最高の笑顔を!!」

この台詞で「南西壁」は北杜夫の「白きたおやかな峰」を凌いだ!!　青木淳一　19歳　大阪市住吉区墨江中1　82　25

●「アルトの声の少女」。一年余りの長期連載で半ば興味の薄れたところもあったが、最後まで面白く読ませてくれた。しかもハッピーエンドであるあたりがまた良い。彼女の作品は読者に問題を提起して、読後に余韻を残させる味わい深いものがある。　島倉和弘　18歳　富山県西礪波郡福岡町上蓑523　5

●「じゃりン子チエ」は自分の人生観というか、要するに社会、世界の見方を120°度変えさせた、非常に有意義でしかもユーモアに富んで面白かった作品、　大井良典　21歳　横浜市南区永田山王台17

●「はみだしっ子」については最近よくわからないという意見を聞きますが、私の場合他は全くわからなくてもアンジーの気持だけはわかるのです(わかる気がするだけかも知れないけれど…)　四井尚美　24歳　大阪市旭区大宮2丁目6の8

●長編はモチロン「伝説」です。内容的には「樹魔」を抜いていると思いますよ。続編が出ないだろうか。「三丁目のサテンドール」キャー/ワー/乱れ飛ぶタコ焼を一つ失敬してみたい。「花かざりの道」ではついにあのウィリアムが死んでしまった。このシリーズは全部好きでした。「嘆きのトリスタン」では、ヴァレンチーノのリボンの騎士姿と、最後とアエリアと二人でやったあの何とも形容のしようのない表状に。ネタは割れていたけれどトニカク楽しかった。　飯山幸重　19歳　北区西ケ原1　31　RB201

●「うる星やつら」「ヨィわぁ♡なんで高橋留美子さんネタ切れせんのかしらん…?もしネタ切れになっちゃったら、こっちは泣きくらさねば。鳥山明さんも、Drスランプよくネタ切れせんこっちゃ、おまけに絵のかわいいこと、線の個性的(?)なこと。うふ──♡　馬場晶子　15歳　大阪府南河内郡狭山町西山台2　19─5

●「夢みる惑星より」を一位にしたのは、従来のSFのはちょっと違った新鮮さが感じられたのが理由その1。その2以後はうまくいえませんので……でもとにかくおもしろい!　條水奈子　15歳　神奈川県平塚市松風町18　42

長編作品賞

●「いらかの波」が多いが、これは、個人的に大好きな作品、渡が大工になるまで、終わらないでほしいとも思ったが、ここらあたりが終わり時だったと思う。
村田泰宏　17歳　南埼玉郡宮代町東904－26

●マッドメンシリーズのオンゴロの仮面はやっぱり諸星さん、最高です。コドウのあのりんとした目の美しいこと。
ひたむきなこの作品が彼の全作品のうちで一番好きです。　奥悦子　18歳
北海道紋別市中渚滑

●長編作品、山岸凉子「日出処の天子」はぜったい一番……になってください。
厩戸王子との出会は衝撃的だった。それまでの私の聖徳太子のイメージときたら、〝おじさん〟だったから。それになにも知らなかったのです。教科書など中学のときなんか、ほんの数行しか説明していないんですよね。ぱっとでてきてぱっとおわってしまう。そんなんで聖徳太子は活躍した人テストにはよくでるから勉強しなさいっていわれてもピンとこなかったわけでも日出処の天子と出会った時、あの瞬間、私のなかで、かわったのです。ただの〝おじさん〟からもの静かな〝おじさま〟というイメージに！そして聖徳太子から、大人びた頭のキレル子供厩戸王子へと、そうなのです。私の中にあった聖徳太子のイメージをいとも簡単にこわして、厩戸王子をうえつけた山岸さん、これが一番でなくてなんとしよう。　大河原仁子　16歳　埼玉県所沢市西所沢2－9－3

●読み返えすたびに切迫してくる緊張感。童夢はもはやオカルトの世界だ。　東裕一　17歳　北海道深川市西町10　23

●今までの学園物はいわゆるマンガだなあ～という面があったが、この作品は現実的である点ですごく共感を覚えた。主人公のろくすけ君もさることながら助演男・女優におした花小路君とアキオくんというしたしみのあるキャラクターを作り出した。　酒井忠喜　18歳　保谷市住吉町4・15・9

●緑茶夢シリーズについて
近ごろはろくな新人がいないなんて思ってると、突然森脇さんみたいな人に出合ってしまう。す、すごい人があらわれたなんて思ってると、そう感じている人が私1人ではなく多勢いるということがわかってくる。そうすると、いったいどこがそんなに魅力的かと考えるようになる。ありきたりな言い方になってしまうが、キャラクターが生きている。本当に彼らは生きているのだ。テーマが身近だとかどこにでもいそうな人とか、そういうことではない。彼らは本当に生きているのだ。そう感じる。私みたいなゆがんだ性格の人間が実在するのだろうか。そんなことは問題ではない。確かに彼は生きている。ではそれ以上どうかといえばどうでもない。生きている。それを感じさせるばかりだ。

「じゃりん子チエ」はるき悦巳
週刊漫画アクション（双葉社）掲載

第2位 751点

ZII

青池保子

LaLa（白泉社）掲載

「ZII」は、その扉絵のZの存在感ある絵に驚嘆したのですが、活劇映画もどきの話も充分堪能しました。そしてあの、レナーテが自殺をし、Zが駆け寄るシーン、実に印象づけられた。　伊藤　誠　20歳　豊島区高田一丁目24—16豊竹荘11号室

田辺のつる

第3位 高野文子 381点

漫金超（チャンネルゼロ工房）掲載

「田辺のつる」はすごかった。初め読んだ時はコメディかと思ったのよね。(マジで。) だってさー。おバアさんをぬりえ少女であらわそうなんて冗談みたいじゃない？んでもってコシを落ちつけて初めから読んでみたらなんと！社会問題まんがちゃあないの。ショックで次の日はウツ状態におちこみ、お友達を泣かしちゃった。ハハハ。ごめんねエ・ちゃん。　大黒恭子　18歳　京都府京都市下京区四条通宝町角474

第4位

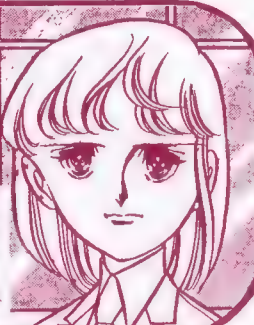
今は静かな

三原順

LaLa（白泉社）掲載

365点

「今は静かな」は、多分、アービンが父母とも幸福にする手段を狂気とも言えるさだてとった、それは父親を殺すことでしかなかった、ということなのでしょうか。ちがっていたら恐い。何しろ難解なもので。）
　斎藤裕之　14歳　東京都世田谷区若林2の22の10

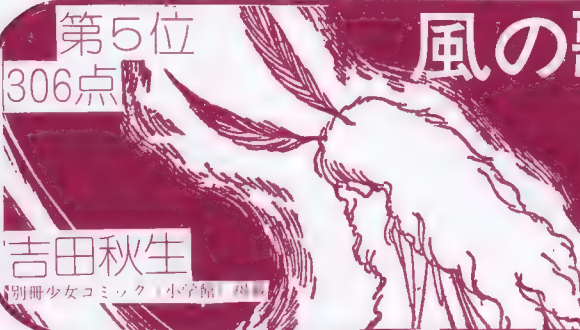
第5位 306点

風の歌うたい

吉田秋生

別冊少女コミック（小学館）掲載

「風の歌うたい」は大好きな短編です。特に印象深かったのは、サナギから成虫にかえったコマ。神秘的でとても美しかった
　米沢磨澄　16歳　富山県高岡市伏木湊町7—10

第6位　282点

花伝ツァ

木原敏江　プチコミックス（小学館）掲載

木原さん得意の、中世日本もので、やっぱり感動しました。「花伝ツァ」が一位というのは、作者も好きだけどやっぱり当然という気がします。　今泉聡一　24歳　新宿区中井1－12－1　第2島海荘

第7位　274点

はるかな天使たちの群れ

別冊少女コミック（小学館）掲載

あまえだとかわがままだとか

そういった女にとって手におえない感情なんかがいっぱいつまってるの

その重さによっては飛べないことだってあると思わない

'80年のベストは、「はるかな天使たちの群れ」です。それだけで充分なのです！

曽根文子　20歳　名張市桔梗ヶ丘1－6－32

吉田秋生

第8位

三丁目のサテンドール

清原なつの　261点

りぼん（集英社）掲載

短編ではまず3丁目のサテンドール。これの予告がりぼんに出た時、清原さん一年ぶりの登場なので私は生きてて良かったと感じたものです　別に死にそうだったわけじゃないけど。　橋本善郎　23歳　埼玉県所沢市榎町18－14

第9位　256点

遙かなり夢のかなた

プチフラワー（小学館）掲載

竹宮恵子

「遙かなり夢のかなた」オルフェ・シリーズの一つだけどオルフェ自体がブルーだからなのかしらん。語りべのお話みたいなんだ、優しくって無限の時を感じさせる

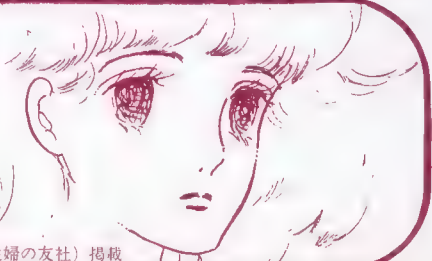
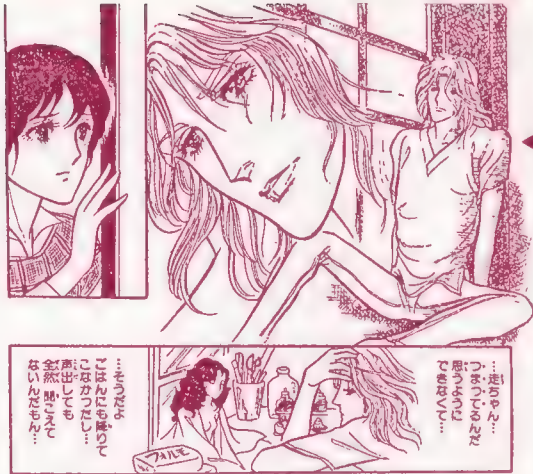
伊吹諭見子　16歳　愛知県額田郡幸田町大字深溝字東道祖神29

第10位　248点

雛菊物語

大島弓子

「雛菊物語」これもおそまきながらギャルズ・コミックスDXにて読んだもの。いつものユーミン調、絶好調といったところか、見ひらきいっぱいにふりしきる雪がひじょうに印象的であった。　池田俊哉　22歳　埼玉県大宮市大宮プラーザ33－9

ギャルズライフ（主婦の友社）掲載

「乙女心をゆさぶって」かわみなみ
LaLa（白泉社）掲載

●「田辺のつる」は全身鳥肌ものの作品で、文句なく短編№1。ひさうち氏の作品は、すべてスゴイ。現在のところトップにいるんじゃないだろうか。あの線とセンスで、マンガでもって、筒井康隆をホーフツとさせた（それどころか越えたという意見もある）。大友克洋といえば、「童夢」だろうけど、俺にとっては、「SOS…」が良かった。　出葉　充
18歳　札幌市中央区南5条西21丁目

●さて、かわみなみサンの「乙女心をゆさぶって」――予告でみたときはラブコメとあったのでどうなるのか実は心配だったのですが、それを良い意味で裏切ってくれちゃってまア！　ちょっとつめこみすぎという感もありましたけれど、作者の熱意というか、ただのラブコメに終わらせたくないというようなそんな気持ち（を持ってたんじゃないかと思うのですが）がよく伝わってきたと思うのです。ラストなどもワリときまってたし、ヒロインの歩の心理描写も、うまかった。（ホント、まだお若い？のに微妙な心理がよく出ていたと思う）　加藤弓枝　24歳
練馬区田柄4－48－6

●わたしが『ひがみっく・くらいしす』を1位に推した理由。……大学生活を、こうもリアルに描けるものかと感激!!　〝9月の声を聞いてもなお延々と続く夏休みがやっとおわれば、息つく間もなく試験休み〟なんつう名文句。おまけに、濃紺のリクルートスーツまで出てくるんだもん。学生うけしてます。ただ一つ、大学が一つあれば、OBのマスターつき茶店が30コはあるのだ!!といっていたが、うちのとこには一軒もないっつうのは、どーしてくれるのだ？　焼山敬子　19歳　福岡県筑紫郡太宰府町馬場1085－2
和敬寮

●久方振りに、本格的な昆虫漫画を読んだ気がします。昆虫が好きなものですから、あのようにサラッと虫の命をえがかれるともうたまりません。この作品にはコロッとまいった。生命を描いても、肩に力を入れさせずに、しっとりと読ませる所などまったく最高。何処となく漂う仏教的雰囲気も素晴らしい。１９８０年度の最高作品。　後藤　忍　23歳　宮城県黒川郡富谷町富ケ丘2－2－12

●訪問者は何度読んでもわからん。わからんから何度も読むのだ。それで何度も読み返しているうちに愛着を感じ。一位に推したというわけ。受洗はまだしていないが、一応クリスチャンの私でさえもわからないのだ。これを理解できる人って、よほど悟りきってる人なんだわきっと。　なんかおかしいか？　野田郁代　18歳　静岡県富士市原田205　4

●「トンネルの夜」はショックだった。読後、本当に怒ったマンガは久しぶりだった。考えるヒマも与えず進んでいく世界と、その世界を見降ろしているつもりでいて、その実流されていくだけの登場人物が怖かった。　青野祥博　15歳
三重県鈴鹿市算所二丁目8－11

●「サンセット」は樹なつみらしく醒めた視点から受験というテーマを描いている。僕自身、巷に氾濫するラブコメの学園ものには閉口していたので、この作品には拍手を贈りたい。　島倉和弘　18歳　富山県西砺波郡福岡町上蓑523－5

●短編のことかくのは、うれしくてしょうがない。だって高野文子！すごいよねえ。このヒトのは全部イイけど、やっぱ

短編作品賞

り一本選ぶならこれ。あのダボダボジーンズのシワのよりかたが、もうたまらない。　長田恵子　22歳　大田区南蒲田2—8—10

●「落葉の丘」……なんてすがすがしい作品なんだろう。パターン化したマンガや他のマンガ家のコピーみたいなのが多い中で、このマンガは実に素晴しい感動を与えてくれました。テーマは女同士の友情…とその本にはのっていましたが、僕にはその友情を超えたものが二人にあったと思います。つまり、愛。でも、それは何というすがすがしさで描いてくれたことでしょう。そうなんです。何度もくどいですが、すがすがしいのです。少しぎこちない部分も、ラストのあのさわやかさにふっとんでしまいました。もう少しページがあれば、もっと二人のからみ合いを描けたでしょうがあれはあれでよくでき、まとまっていた作品でした。あんなマンガを描いてくれた夢野一子先生に、これからの作品を期待したいと思います。　青木誉　16歳　千葉県我孫子市下ケ戸468—2

●今年の目玉作品は、何と言われようともやはり「訪問者」これで「トーマ」は三部になったわけで、連載でなくああいう形で一枚一枚積み重ねていくのって、とても好きだ。モー様の作品って、しっかり閉じられちゃってるくせに、どこからか内容の香りがこぼれてきちゃう、ような感じが私にはする。それがあの二つの（一つは作前の一つは作後の）作品によってさらにしっかりしてきたんだ。「トーマ」を囲む壁が透明で通り抜け自由になったみたいに……。　栗栖由紀子　高2　静岡県駿東郡清水町中徳倉26—28

●『うじわく男たちのホッケ定食』は、最初から最後まで笑いっぱなしでした。あの『スターレッド』の星の「ハイ！」からはじまって、チビ猫、樹魔、金星樹、ミネコさん、ささやさんetc・etc。表紙までパロディなんだもん！吾妻ひでお読まず嫌いだった私もファンになりました。　羽生徳子　20歳　福岡県筑紫郡太宰府町馬場1085の2和敬寮

●一九八〇年、何が残念って、「訪問者」を読み損ねていることです。あ-ん、オスカーに逢いたかったよゥ。ううっ　北村きくみ　22歳　京都市北区小山元町18

「うじわく男たちのホ・ッケ定食」
吾妻ひでお
少年少女SFマンガ競作大全集（東京三世社）掲載

第2位

エーベルバッハ

「エロイカより愛をこめて」 青池保子

90点

プリンセス（秋田書店）掲載

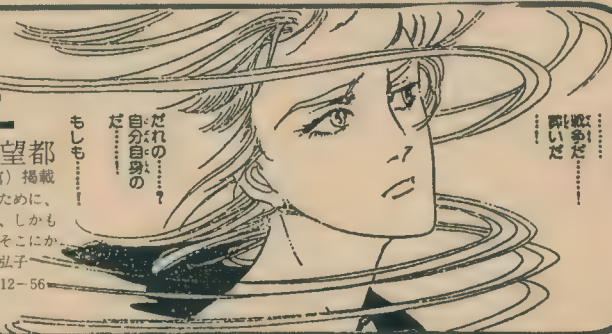
第3位

メッシュ

「メッシュ」 萩尾望都

プチフラワー（小学館）掲載

メッシュ、彼はいい、父を殺すために、身を売るようなことをするなんて、しかも男に、身を、なんともいえない、そこにかわいげを感じてしまう。 川畑弘子

16歳 大阪府茨木市水尾一丁目12－56

第4位

安部弘

「緑茶夢シリーズ」 森脇真末味

プチコミック（小学館）掲載

58点

主演男優賞の弘は、常に最も弘らしい反応をする弘くんの演技の適格さ、長いセリフと眼の演技（消えない煙草の礼二とのけんかのシーンとか）の上手さ、久美も大体似てるけど心理の表現がものすご上手い。

市川雅美 18歳 学生 富山県高岡市京町13－3

第5位

オスカー・ライザー

「訪問者」 萩尾望都 プチフラワー（小学館）掲載

45点

主演男優に、オスカーを入れたのも『今さら一』という感が強いけど、やっぱりそれだけ『訪問者』はよかった。

伊藤千春 15歳 横須賀市深田台41

メインキャラクター賞・男性部門

第6位
グレアム・クレーマー

「はみだしっ子」　三原順
花とゆめ（白泉社）掲載

44点

グレアムはやはり主演より助演というかんじでいつも人のかげの部分がきょうちょうされていてとてもすきだしほかの3人とはとても対しょうてきだ。　たかはしきよし　18歳　北海道勇払郡厚真町軽舞

第7位
パタリロ8世

「パタリロ！」　魔夜峰央
花とゆめ（白泉社）掲載

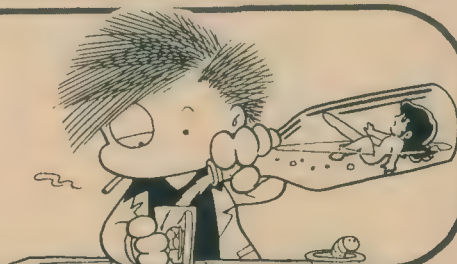
39点

主演男優賞は去年と同じパタリノでマンネリかなと思ったんだけどなんと言ってもあの小鳥の巣以来の感動「クック・ロビン音頭」を生みだした事に敬意を表して！連載になってギャグがもつか？と心配したのに期待を裏切ってこの頃は過去のキャラも出てきてパタリロがふり回されてパタちゃんになっている所がいいのだ。　飯島玲子　18歳　佐世保市黒髪町33－14

第8位
伊賀野カバ丸

「伊賀野カバ丸」　亜月裕
27点　別冊マーガレット（集英社）掲載

第9位
吾妻ひでお

「不条理日記」より　吾妻ひでお
26点　奇想天外社

第10位
新田半次郎　24点

「トロピカル半次郎」
高口里純

LaLa（白泉社）掲載

男優ですが、これは新田半次郎をおいて他にない。あのピンチのどん底にたたき落とされた時の、落ちこみようは、他のマンガには見られない。いやにリアルな落ち込み方なのだ。　中井淳史　17歳　明石市西明石南町1－11－10

第11位
アリオン
「アリオン」
安彦良和
リュウ（徳間書店）

第12位
ヒース・スワンソン
「カリフォルニア物語」
吉田秋生
別冊少女コミック（小学館）

第13位
アンジー・クレイマー
「はみだしっ子」
三原順
花とゆめ（白泉社）

第14位
Z
「ZⅡ」
青池保子
ＬａＬａ（白泉社）

第14位
ロック
「超人ロック」
聖悠紀
週刊少年キング（少年画報社）

第16位
諸星あたる
「うる星やつら」
高橋留美子
週刊少年サンデー（小学館）

第17位
不気味
「不気味が走る」他
吾妻ひでお
プレイコミック（小学館）

第18位
鷹塔摩利
「摩利と新吾」
木原敏江
ＬａＬａ（白泉社）

第19位
ヒデヨシ
「ファンタジー・ゾーン」
ますむらひろし
マンガ少年（朝日ソノラマ）

第19位
東正明
「2年4組」シリーズ
成田美名子
ＬａＬａ（白泉社）

●ヒース、君の表情は時に私をゾッとさせる。君の目が何を見ているのかもうわからない。そして吉田秋生は君しか描いていない――素直に笑えない大人の君しか。数あるキャラクターの中で君は特別だ。でも怒りはメッシュに似ているだろう。ヒース、君は醜い。私はそんな君に同情と共感と反発と嫌悪を覚える。　赤津朋子　18歳　秋田県秋田市泉銀の町176の2

●私は、「はみだしっ子」を読む前から、アンジーにホレてたんですよね。そして、第一印象は大当り。「つれて行って」では、グレアムがメインのようですがね、私にいわせりゃ、常に主役はアンジーなのです。モロにミーハーですが。　玉田智子　15歳　徳島県徳島市新浜本町4―1―7

●主演男優は「主演」の名にかけて、エロイカことドリアン＝レッド＝グローリア伯爵に贈ります。伯爵、そうよ♥貴方が主役なのよ、負けちゃだめ、こっちには私と「タイトル」という強～い味方がついてるんだから♥　アレックスもがんばるのよオー　栗栖田紀子　高2　静岡県駿東郡清水町中徳倉26―28

●不気味。ワァーオ。不気味はやはり不気味だった。不気味以外の何物でもなかった。不気味の動作は、不気味だった。不気味の言葉は、不気味だった。だから感動した。　森井俊之　17歳　札幌市西区山の手1条4丁目

●主演男優賞にはアンジー（リフェール）を選んだ。近ごろまったくふつうの子というか、前みたいな神経質が内にいってしまってかわりに明るい何かが外にでてきたのよね。それが、非常にアンジーをああ、まだ子供なんだなあと思わせているのよね。ほんとうは、これと同じでエロイカも入れたかったのだけれど（絵をやぶったことを悔やんで、ベッドの中で「あんなことは二度としたくない」といったのが、すご～くガーンときたのですが）とうとうアンジーにしてしまった。　杉本富枝　15歳　東京都練馬区南田中5―25　19～103

●と～にかく、少佐のトーヘンボクな所と、伯爵のことをコロッと忘れることができるところと、タバコ喫ってるところと、極めつきのマグナムを手にしているところが大好き？　しかし彼ほど銃を手にしてピタリと決まる人は、他にいませんね？　飯田敦子

●少年誌にアダルトなアメコミ調ＳＦを持ち込んだ「コブラ」（星雲賞とれなかったからこっちあげる）の主人公もコブラ　伊藤誠彦　18歳　大阪府吹田市津雲台2―6―9

●これはもちろん東三四郎、強く柔らかく、美しく(?)、これぞ男の中の男、にくめませんな―。　蔵元　章　21歳　千葉県八千代市勝田台4の22の16

●主演男優は成田美名子さんの「2年4組」の作品から「東正明」を選んでみま

第24位
東三四郎
「1・2の三四郎」
小林まこと
週刊少年マガジン（講談社）

第24位
堀口元気
「がんばれ元気」
小崎ゆう
週刊少年サンデー（小学館）

第22位
小林渡
「いらかの波」
河あきら
別冊マーガレット（集英社）

第22位
ジルベール・コクトー
「風と木の詩」
竹宮恵子
プチフラワー（小学館）

第21位
加地俊平
「PS元気です、俊平」
柴門ふみ
ヤングマガジン（講談社）

第26位
ヨセフ
「ヨセフ」
ひさうちみちお
漫金超（チャンゼロ）

第26位
コブラ
「コブラ」
寺沢武一
週刊少年ジャンプ（集英社）

第26位
ノブ・トクガワ
「ドロファイター」
村上もとか
週刊少年サンデー（小学館）

第26位
印南新吾
「摩利と新吾」
木原敏江
LaLa（白泉社）

第26位
今西ロクスケ
「下北なあなあイズム」
石坂啓
マンガ少年（朝日ソノラマ）

した。河あきらの「いらかの波」の「小林渡」にしたかったのだけど、「2年4組」の作品から「東正明」か「茅野真由美」を選びたかったので、主演女優には「片桐悠有」にしたかったので、主演男優は「東正明」。　鈴木靖規　18歳　岐阜県恵那市大井町2696の7

●主演男優賞は彼しかないっ！厩戸王子の他にだれがいますか！あの美しい姿に、あの目！（腰つきもつけ加えとこ）きっといいところまでいくと思うんだけど……　中西扶美子　17歳　秋田県大曲市住吉町2－6

●主演男優賞はあのウィーン協奏曲からひと回り大きくなった玲君に。竹宮サンの作品の中で一番好きな作品です。玲の音楽を愛する心、情熱、玲の勇気、思いやり、そして笑顔、変わっていない彼がとてもうれしかった。親友のフランツには小学生の時からの片想いなのです。またあえて本当うれしかった。音楽すきな人みないい人ね。　小林真実　16歳　埼玉県入間市下藤沢151－14－74

●「エロイカ」は、少佐が可愛い！約30のオジサンなのに、とにかく、任務一筋に生きるひたむきさ！「エイリアン」も、シャールにミリョクを感じまして……。　玉田智子　15歳　徳島県徳島市新浜本町4－1－7

●エーベルバッハ少佐大好き！私がおちこんで、ぼーとしてたら「バカモノ」っておこってくれそうで。　山田恵津子　18歳　大阪府枚方市伊加賀東町4－3

●緑茶夢の弘ってメッシュに通じる所がありますね。いつも自分の限界の涯を歩いているような緊迫感がただよってくる。だからわがままもゆるせるし、涙も純粋なのでしょう。フェイド・アウトもすてきだったけど、私は黒いサンダルが好きです。　関根敦子　20歳　栃木県阿蘇郡田沼町

●今年のエロイカより愛をこめては、少佐が主役でした。少なくとも私にとっては…　片山恵子　18歳　大阪府箕面市8－7－40

メイン キャラクター賞 男性部門

第2位

ヴァレンチーノ

「ヴァレンチーノシリーズ」　森川久美

ＬａＬａ（白泉社）掲載

71点

　森川久美のキャラクターの中で一番好き。やることなすこと全て好み。彼女こそ理想の聖母である。スキャンダルムーンの下にサロメのようにキスをする。せつないまでに美しい。　小沢深雪　20歳　埼玉県比企郡小川町小川153の１

第3位

51点

片桐悠有

「アルトの声の少女」　篠有紀子

ＬａＬａ（白泉社）掲載

　前作「フレッシュ…」の杏子から彼女にかけて〝自分という人間と他人との接点を〟求めて、自分をとらえようとした作者の心の軌跡を表わしたキャラクターだと思います。　丸山芳浩　20歳　東京都荒川区東尾久４－４－４

第4位

田辺つる

「田辺のつる」　高野文子

漫金超（チャンネルゼロ工房）掲載

39点

　田辺つるさんは、あのぼけ加減がなんともいいです。もしかしたら、わざとぼけているのかしら？　宇宿八重子　16歳　長崎県西彼杵郡長与町嬉里郷480－14

第5位

とらじゃ

「黒のもんもん組」　猫十字社

ＬａＬａ（白泉社）掲載

33点

〝主・女〟は、とらじゃ。現代女性の鏡もちではないだろーか!?　シリアス(?)になったときのお顔もすてきです。ついでにいうと〝かりた〟も好き。　村本志穂　14歳　長崎市曙町12－19

メインキャラクター賞・女性部門

第6位
ラム
「うる星やつら」　高橋留美子
週刊少年サンデー（小学館）掲載
29点

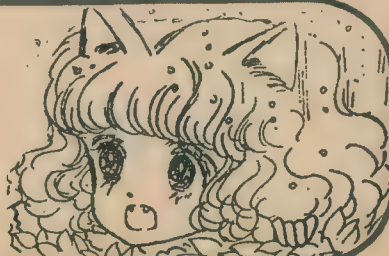
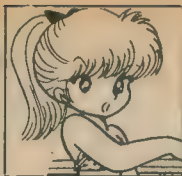
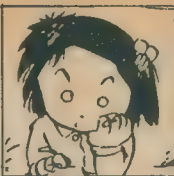
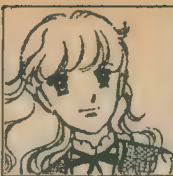
主演の「ラム」は、この人にであったことにより、生きていく興味がわいたので。この人が、納得いく消え方するまでは、生きていこうと思っている。　滝沢俊一
21歳　千葉県船橋市松ヶ丘3－14－7

第7位
須江麻子
「いつもポケットにショパン」　くらもちふさこ
別冊マーガレット（集英社）
26点

第8位
北島マヤ
「ガラスの仮面」　美内すずえ
花とゆめ（白泉社）掲載
23点

あの泥まんじゅうを食べた迫真の演技に。
河津秋敏　18歳　熊本市新屋敷2丁目
24－10

第9位
志村久美
22点
「久美と森男シリーズ」
高口里純
ＬａＬａ（白泉社）掲載

第10位
須和野チビ猫
「綿の国星」　大島弓子
花とゆめ（白泉社）掲載
22点

第15位
苺野糖子
「グレープフルーツストロベリー」
ささやななえ
プチフラワー（小学館）

第14位
猫山美亜
「スクラップ学園」
吾妻ひでお
プレイコミック（秋田書店）

第12位
竹本チエ
「じゃりん子チエ」
はるき悦巳
週刊漫画アクション（双葉社）

第12位
泉みさと
「あいつ」
成田美名子
LaLa（白泉社）

第11位
ノーラ・スコラ
「NORA」
御厨さと美
マンガ少年（朝日ソノラマ）

第20位
ユリウス
「オルフェウスの窓」
池田理世子
月刊セブンティーン（集英社）

第17位
麻宮サキ
「スケバン刑事」
和田慎二
花とゆめ（白泉社）

第17位
岡田桃子
「チャイ夢」
岩館真理子
週刊マーガレット（集英社）

第17位
一文字愛
「ただいま授業中！」
岡崎つぐお
週刊少年サンデー（小学館）

第15位
瀬戸内海
「トロピカル半次郎」
高口里純
LaLa（白泉社）

●いずみちゃんは、なんかぱふでは人気悪かったみたいだけど、女のコである私から見れば、とてもキラキラ輝いててステキな女の子でした。私の願望でもあり。やっぱり、男から見るのと女から見るのと違うんだろうけど……。 川端規子 17歳 名古屋市南区桜台町4丁目48

●主演女優の「ミヤアちゃん」はあの全てを悟りきった演技が人間らしさを感じさせない。彼女は吾妻ひでおの中でしか育たない特異な女性である。注目すべき重要人物なのだ。まだまだ彼女のすべては未知そのものだ。 青山 孝 18歳 北海道小樽市豊川15の4

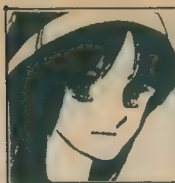
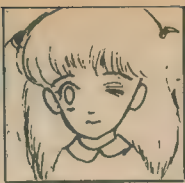
●主演女優賞の北条志乃は、私のあこがれです。私もあんなふうになりたいと思っています。あれは、少年マンガだしギヤグっぽいけど、でもどんな少女マンガのヒロインよりも生き生きしてかわいくかがやいていると思います。 渡辺聖子 18歳 北海道旭川市春光町五区

●主演女優の天野和音は、女優にしちゃってよいのかどうか悩んだけど、男の心で、女の行動しちゃうのは、かなりの演技力がいるのだ。ハハハ ダントツ 主演男優でもいいみたい。 菅原久美子 21歳 岩手県江刺市岩谷堂字雲南田210

●主演女優には、長い間待ち続けていた「分裂平気のほほん美少女」菊子をあげてしまう。これこそがまさに「生きている女の子」。 ハンサムな男にぶつかって、口元に手をやって赤くなって「恋だわ〜」。という女の子よりずっと「存在してる」って感じ。 木立 悟 18歳 青森県青森市西滝富永56の28

●ふつうの女の子の理想像ですよ。大学の受験生の私には特にそう思えます。ストレートでM大（明治かな?）に入って、あの恭一さんと結ばれて…。サルくんから好かれて。言う事なしです。「はるかな天使たちの群れ」で彼女の友人の葉月さんが、"彼女は私の最もこうありたいという女の子だわ。"と言うシーン。とてもよくわかりました。吉田先生の現実を見つめる目で"ふつうの女の子の理想"というものが蓮黄菜子という形をさがしあてたように思えます。（でも恭一をとったのは許せないわ!!） 白井由美子 18歳 東京都三鷹市上連雀4の24の17

●ユリウスほど可哀いそうなヒロインも珍しいのではないでしょうか。理代子先生もよくあれだけ次々と不幸なことを考え出してくれますなー。せっかく結ばれたのに、最愛のアレクセイは、自分をエサにおびき出され殺される。かわいそう!これからまだ不幸が続くんでしょう?少しは幸せにしてやってほしい。とにかく、この人は、悲劇のヒロインです。 堀川清美 18歳 茨城県土浦市大町11〜41

●主演女優は、みさとちゃん。涼司くんたちにからかわれながらも、しっかりしてくるけなげさがよいのです。 春日雅子 17歳 品川区東中延2 10 13

第22位
千姫
「千姫調スプリングタイム」
渡辺多恵子
別冊少女コミック（小学館）

第22位
都窪菊子
「雛菊物語」
大島弓子
ギャルズライフ（主婦の友社）

第22位
椿ちゃん
「椿ちゃんの漫画百面相」
勝川克志
マンガ少年（朝日ソノラマ）

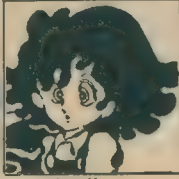
第22位
森山亜季美
「愛のアランフェス」
槇村さとる
別冊マーガレット（集英社）

第20位
黄菜子さん
「楽園シリーズ」
吉田秋生
別冊少女コミック（小学館）

第29位
十南舞
「ＫＮＯＣＫ！」
川原由美子
週刊少女コミック（小学館）

第29位
天野和音
「フィメールの逸話」
鈴木雅子
月刊セブンティーン（集英社）

第26位
ディエンヌ
「伝説」
水樹和佳
ぶーけ（集英社）

第26位
茅野真由美
「２年４組」シリーズ
成田美名子
ＬａＬａ（白泉社）

第26位
ブン
「宵闇通りのブン」
高橋葉介
マンガ少年（朝日ソノラマ）

メイン キャラクター賞 女性部門

●主演女優賞のノンは自分勝手な考えでチームワークをみだしているにもかかわらず試合には勝ちたい!というところがあるから、それにチームワークがみだれているという感じがおもしろい。ノンがいるから「翔んでるルーキー」がおもしろいのか?「翔んでるルーキー」があるからノンがおもしろいのか? 阿部良子 16歳 神奈川県大和市深見3839－21

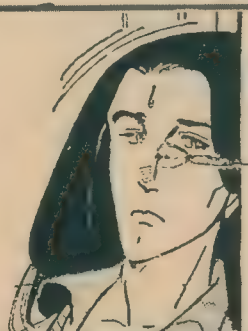
●主演女優は、やはり麻宮サキ、これまた強く、やさしく、美しく。サキの魅力は重荷をしょっての正義感にある。蔵元章 21歳 千葉県八千代市勝田台4－22－16

●主演女優は篠有紀子さんの「アルトの声の少女」から「片桐悠有」を選んでみました。悠有という名前も好きです。できればこっちの「裕」の方が好きなわけなんですけれど、かなり個人的な意見になりましたけど、主演女優は「片桐悠有」。鈴木靖規 18歳 岐阜県恵那市大井町2696－7

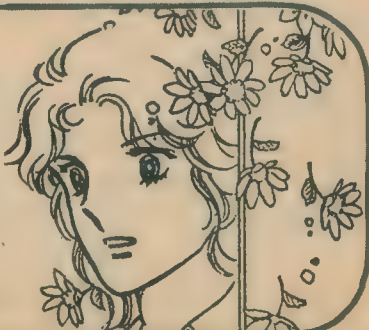
●「チャイ夢」の桃子さんの開き直った強さが好きだった。優しさを素直に表わせない不器用さが、愛しかった。「私は私よ。」なんて言いながら、他人に頼ったりしないところにあこがれた。意地っ張りで、どこか僕に似てたりして。素直でね、順応性があって、あ、やっぱり似てないか。とにかく、あの岩館真理子が、「初恋時代」、「ふたりの童話」を描いた岩館真理子が、恐怖のオトメちっくマンガ家太刀掛秀子と、どっこいどっこいだった岩館真理子が、こんな作品を描く人だったなんて! 川路縁 18歳 千葉市川戸町288－4

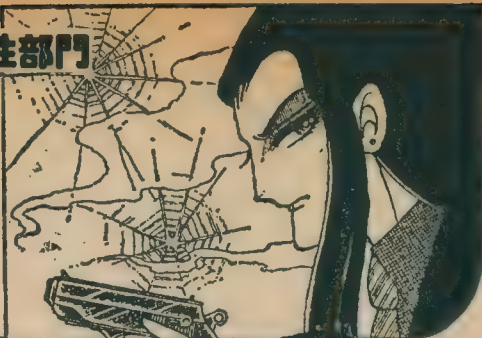
●主演女優賞の流水子さんは、「かんたんよ!試験範囲の教科書ぜんぶおぼえればいいんだもんね!」のセリフとその時の表情にホレたので。大西力 17歳 横浜市緑小町2393－1

第2位
蘇我毛人
「日出処の天子」　山岸凉子
LaLa（白泉社）掲載
68点

第3位
ミロン
36点
「メッシュ」萩尾望都
プチフラワー（小学館）掲載

第4位
ジェイムズくん
「エロイカより愛をこめて」　青池保子
プリンセス（秋田書店）掲載
33点

第5位　25点
楡崎麗
「あいつ」
成田美名子
LaLa（白泉社）掲載

「助演男優」に楡崎さんを選んだのは、「あいつ」の最終回をよんだから、初めてでてきた時はなにか気にくわない奴だなあ。なんて思って見ていたんだけど、最終回ではみごとに主役を演じたのはよかった。今までのいじわるというようないやなイメージがなくなってとても好感がもてた。楡崎さん、あなたはとってもすてきな人です。私もあなたを青森のビョルン・アンドレセンだと思います。　竹本直美　16歳　愛知県豊川市金屋本町１－36－１

サブキャラクター賞・男性部門

第6位
ジャック・バンコラン
22点「パタリロ！」　魔夜峰央
花とゆめ（白泉社）掲載

第7位
キース・アニアン
「テラへ…」　竹宮恵子
15点マンガ少年（朝日ソノラマ）掲載

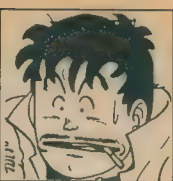
第7位
ジャック・クレーマー
「はみだしっ子」　三原順
15点花とゆめ（白泉社）掲載

第9位
水野礼二
14点
「緑茶夢シリーズ」
森脇真末味
プチコミック（小学館）掲載

助演男優といえばやっぱ礼二君。なにせあの弘のお目付役ですからね。ご苦労様です。それと森脇さん描くマスター好きなんだけどなー。年の功で礼二君に点あげる。
池田なおみ　20歳　岡山市津島新野1丁目3－2

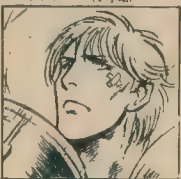
第10位
吾妻ひでお
「吾妻ひでお大全集」より　吾妻ひでお
奇想天外社
13点

第11位
則巻千兵衛
「Ｄｒスランプ」
鳥山明
週刊少年ジャンプ（集英社）

第12位
黄子満
「蘇州夜曲」
森川久美
ＬａＬａ（白泉社）

第12位
アンジー・クレーマー
「はみだしっ子」
三原順
花とゆめ（白泉社）

第14位
グスタフ・ライザー
「訪問者」
萩尾望都
プチフラワー（小学館）

第14位
イーブ・ルチアーノ
「カリフォルニア物語」
吉田秋生
別冊少女コミック（集英社）

第16位
面堂終太郎
「うる星やつら」
高橋留美子
週刊少年サンデー（小学館）

第16位
春日夢殿
「摩利と新吾」
木原敏江
ＬａＬａ（白泉社）

第16位
不気味
「不気味が走る」他
吾妻ひでお
プレイコミック（秋田書店）

第19位
八角京介
「緑茶夢シリーズ」
森脇真末味
プチコミック（小学館）

第19位
ロナルド・グレンマイヤー
「はみだしっ子」
三原順
花とゆめ（白泉社）

●助演男優賞はユスーポフ侯です。あまりにも冷徹で、任務に忠実なあまり、冷血人間のように思われるきらいがあります。が、そんなことはありません。彼の中には、人間的な感情が息づいています。彼がユリウスによせたあまりにも深く静かな愛……。私としてはクラウス（アレクセイ）よりも彼にユリウスをやってしまいたかったのです。さよなら、我が愛しのレオニード……。　渋谷明美　16歳　東京都福生市熊川819－17

●助演男優賞に仔熊のミーシャを選んだのは、あの少佐を12発もなぐるという恐ろしいことをやってのけたから。また、悪役の魅力がひかっていたためでもあります。　川島美佳　16歳　島原市城西中のＪ・2066

●「カリフォルニア物語」は、リロイがでてきて、画然おもしろくなってきた。心ひそかに、リロイを応援してやまないのです。一度でいいからリロイにヒースを抱せてやってほしいのじゃ。イーブのファンには悪いけどネ、たまにはヒースも〝抱かれる〟側にまわってみるべきなんだから。　長田恵子　大田区南蒲田2－8－10

●松崎司は血をみると突然変身する。軟弱者が一転してヒーロー的に登場してくる。あのアンバランスが好きなので助演男優賞。　笠井敬子　19歳　奈良市南京終1－162－2　岡本様方

●ミロンを助演男優にえらんだのは、やっぱりＰＦ秋の号のラストシーンですね。あれには〝涙〟で――／あんな男性、そばにいてほしい……現実はキビシイ　中西扶美子　17歳　秋田県大曲市住吉町2－6

●助演は少佐にするつもりだったのだが、急に気がかわってラシャーヌのおじさんに変えた。なぜかというと、最近、自分が興奮すると、「うガー、うガー」と口走っているという事実と気づいたからだ。おじさん、かわいいよ／　海野正江　16歳　静岡市大岩2丁目21－10

●テツは自分ばっかしデリケートで、人に対してはひどい無神経さだけど、テツが臆面もなく人に言ってしまうことは、誰でも率直に思っていいかけたとたん、あ、こんなことといったらばかにされるかも、とか、あ、相手に悪いかしらん、と一瞬ひるんだために、結局いの機会をのがしてるようなことなんだ。だから私は、「無神経な奴ちゃなあ」と思いながら、テツにいつも拍手してるんだ。　千田弘子　21歳　府中市白糸台1－49－14

●この方しか助演男優賞にあたいする人はいません／あの月刊ララ8月号でとった行動。少なくとも多少の下心はあっても、最愛の摩利くんににくまれる（許してくれない）という可能性のある行動を、摩利くんのためにしたのですから…。　卯月恵子　19歳　横浜市神奈川区子安通3－294

第21位
ドリアン・レッド・グローリア
「エロイカより愛をこめて」
青池保子
プリンセス（秋田書店）

第21位
グレアム・クレーマー
「はみだしっ子」
三原順
花とゆめ（白泉社）

第21位
鷹塔摩利
「摩利と新吾」
木原敏江
ＬａＬａ（白泉社）

第21位
竹本テツ
「じゃりん子チエ」
はるき悦巳
週刊漫画アクション　双葉社

第21位
目白沈寝
「伊賀野カバ丸」
亜月裕
別冊マーガレット（集英社）

第26位
三蔵
「チョコレート・デリンジャー」
吾妻ひでお　　他
プレイコミック（秋田書店）

第26位
ラシャーヌのおじさん
「ラシャーヌ！」
魔夜峰夫
花とゆめ（白泉社）

第26位
吐井とるす
「トロピカル半次郎」
高口里純
ＬａＬａ（白泉社）

第26位
ルイ・ラトゥール
「バジル氏の優雅な生活」
坂田靖子
ＬａＬａ（白泉社）

第26位
レオニード・ユスーポフ
「オルフェウスの窓」
池田理世子
月刊セブンティーン（集英社）

●「オルフェウス」のレオニードが自殺したシーンはすごく印象的だった。
松野みどり　20歳　静岡県清水市西久保170

●うる星やつらの中で一番気に入っているキャラクタは、なんといってもコースケである。彼は一巻の第一話目に顔を出した後三巻の第九話まで出てこなかったが、それ以後毎回と言っていい程、何と口回も出ている。（後婆はのぞく）（それに出てこなかったという期間中は、髪形を変えていたのか？小生には、わからなかった）田に彼こそ助演男優第一位になるはずだ。…なると思う。…なるだろう…

ＰＳ
コースケのフルネームが知りたい。

●イーブの愛情が唯一の救い（又は悪）かもしれない。彼はヒースを愛してる。たぶんスウエナよりも。
ヒース、君はイーブに答えれないのか。それならそれでしかたない。でもたった一つ―彼を愛せとは言わない。守って欲しい。イーブを守ってやって欲しい。真剣に愛した相手というのは生涯忘れられないものだ。それは彼の体の一部になる。
赤津明子　18歳　秋田県秋田市泉銀の町176－2

●隆くんは、スターというより実力派。気の毒なくらい単純な人物。思わず応援。ジェームズくんは世界最強（宇宙最強？）のわき役。何も言わん。
大西通博　19歳　茨城県新治郡桜村天久保2－1－1築波大学平砂学生宿舎10－201

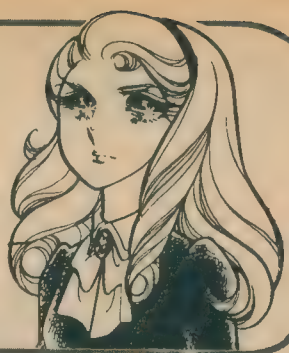
●「黒のもんもん組」のかりたとめりたは、ひたすらかわゆい！どちらか一人なんて選べっこない！ということで、二人共助演男優にしました。
宇宿八重子　16歳　長崎県西彼杵郡長与町嬉里郷480－14

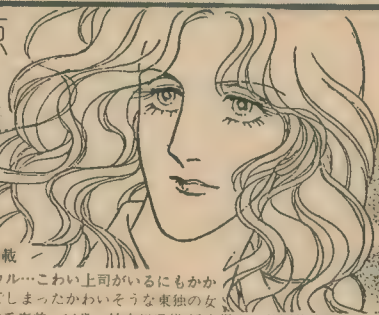
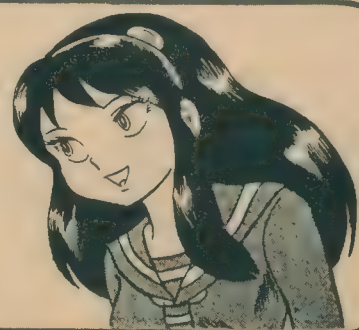
●「パタリロ」のマライヒは、もろ、私の好みの少年でして、えこひいき的に、えらばせていただきました。マライヒ愛してるーッ
中原美季　22歳　福岡県宗像郡宗偶町自由ケ丘11－16－13

サブキャラクター賞男性部門

第2位
姫川亜弓
「ガラスの仮面」　美内すずえ
花とゆめ（白泉社）掲載
36点

助演女優の姫川亜弓、彼女はほんとにすごいですね。出てくるだけで画面がひきしまるのです。亜弓というライバルがいるから、マヤが光るのだと思います。美内さんもベテランだなあ…。　横田恵子　18歳
長野県上高井郡小布施町上町966

第3位
ダナ
「はみだしっ子」　三原順
花とゆめ（白泉社）掲載
27点

助演女優にもう１人、「つれていって」に登場しているトリスタンのダナを推したい‼三原氏は女性キャラも仲々魅力的な人を描きますなあ…。エイダもよいし。
岩瀬夏子　19歳　文京区西片２－18－16小川方

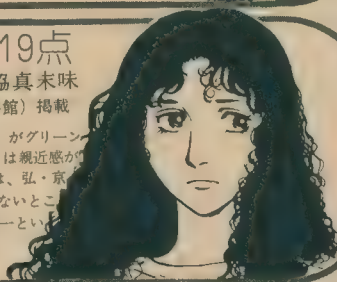
第4位　26点
ナーテ・ヴェルナー
「ＺII」　青池保子　ＬａＬａ（白泉社）掲載
あの美人で知的な女性はＺくんが手を出すのもワカル…こわい上司がいるにもかかわらずネ。最後には自分から死をＺくんの前で選んでしまったかわいそうな東独の女ほかのまんがではめったに見られない女性です。岡本千恵美　14歳　神奈川県横浜市保土ヶ谷区権太坂160－80

第5位
ラム
「うる星やつら」　高橋留美子
週刊少年サンデー（小学館）掲載
24点

サブキャラクター賞・女性部門

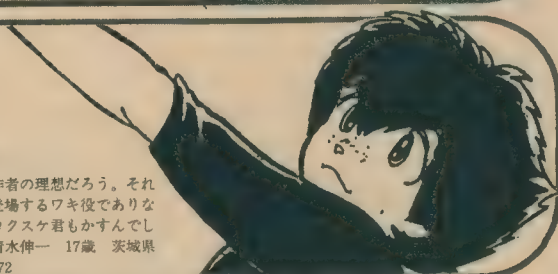
第6位
キャラウェイ猫
「綿の国星」　大島弓子
ＬａＬａ（白泉社）掲載

23点

第7位
パメラ・クレーマー
「はみだしっ子」　三原順　花とゆめ（白泉社）掲載
20点

第8位　19点
水野雅子
「緑茶夢シリーズ」森脇真末味
プチコミック（小学館）掲載

助演女優を何故、水野雅子にしたかは、彼女が主に描かれていた「四月の雨」がグリーンティードリームシリーズの中でも一番好きだったから。さらに言うと、彼女には親近感があるから。名前が私と同じという事も理由の一つにある。またもう一つは、私は、弘・京介・尚子・ぱぺっと、生々としていて好きだ。だけど、どこか私と同一化できないところが彼らにある。どこかついてゆけないところがある。雅子の場合は、私と同一というわけにはいかないが、似ているところがあると思ったから。
石丸雅子　17歳　山口県下関市一の宮西町県住３号

第9位
島津秋緒
「下北なあなあイズム」　石坂啓
マンガ少年
（朝日ソノラマ）掲載
18点

秋緒クンこそは作者の理想だろう。それゆえに３回目から登場するワキ役でありながら彼女の前にはロクスケ君もかすんでしまうのです。　清水伸一　17歳　茨城県水戸市赤塚１丁目372

第9位
葉月今日子
「はるかな天使たちの群れ」　吉田秋生
別冊少女コミック（小学館）掲載
18点

第11位
中垣麻美
「アルトの声の少女」
篠有紀子
LaLa（白泉社）

第12位
スウェナ
「カリフォルニア物語」
吉田秋生
別冊少女コミック（小学館）

第13位
野々宮浅葱
「空の色に似ている」
内田善美
ぶーけ（集英社）

第13位
野々草かおる
「伊賀野カバ丸」
亜月裕
別冊マーガレット（集英社）

第13位
ピア
「ルーとソロモン」
三原順
LaLa（白泉社）

第16位
猫夫人
「ライヤー教授の午後」
高橋葉介
マンガ少年（朝日ソノラマ）

第16位
レスフィーナ
「アリオン」
安彦良和
リュウ（徳間書店）

第18位
須和野チビ猫
「綿の国星シリーズ」
大島弓子
LaLa（白泉社）

第19位
五ツ木純
「番外甲子園」
やまさき十三／内山まもる
週刊少年サンデー（小学館）

第20位
平山ヒラメ
「じゃりん子チエ」
はるき悦巳
週刊漫画アクション（双葉社）

●助演、エレインとしたけど連載中のカリフォルニア物語に出ているかは知らない。今年、単行本の本で読んだんです。80年度じゃなくても彼女の性格が好き。いい、とにかく彼女のことを書きたかった。　高階成実　19歳　茨城県水戸市渡里町2794－6

●1980年5月21日水曜、それは私の運命の日。元来、私は野球物が苦手だった。ルールもよく知らないし、女の子も男にとって都合のいいことしかしない美人ばっか出て来るからだ。だが15年の長きに渡る野球盲もついに破られた。この日発売されたサンデーの中の、可愛い純ボーによって。あのそこはかとなく色っぽさの漂う瞳…。制服姿も良いがユニフォーム姿も素敵だ。男に混じり野球をやって、しっかり〝男〟になっている。時として自分の中の女を持てあまし、悩みながらも、健を想いかすかな希望に賭ける。兄の為に髪を切り男として新しい生活に飛び込んでいった純。熱い視線に目を伏せて、ポッと頰を赤らめる。流す涙のいじらしさ。男としていると同時に、れっきとした女でもある。真似できそうで出来っこない、私にとって最も近くにある偶像、永遠の瞳憬である。ああ、君の瞳に乾杯!!　鈴木純子　15歳　千葉県銚子市春日町32－970

●助演女優ですがなぜか少し古いけど、猫夫人。なにせあの色っぽさは、本当にいいね。劇画みたいに生々しくないし、マンガチックすぎもしない妖エンな所も最高だしなんと死人使いで魔女ともう本当は主役でもこなせそうなのでとにかくこの人しかない。　三角和久　22歳　大阪府堺市上野芝向ケ丘町4－1363

●チエちゃんのお母ーさま、ヨシエさんの若き日の姿。まさにハッとしてGood／なのです。あのさっそーとした姿がたまんなくて、あの頁をひらくたびひとりでにやにやしてた私。（アホかいナ）テツがほれたのがわかるよーな気がする…♥チエちゃんも大人になったらあんなすてきな人になるのよネ…。　きたむらみちえ　20歳　石川県石川郡野々市町住吉町3－42

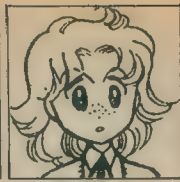
●助演女優には、最初「ラム」を入れたけど、（よく考えたら主演なんだね。ラムも可愛いんだけど、アラレちゃんには負ける）妥当な所で、麻美にした。この「アルトの声の少女」は、いわゆる主流派としての少女マンガの中では、今年一番感動した。毎月、ドキドキしながら発売日を待った。麻美は、ある意味で、最もリアルな女の子だったのではないだろうか。この作品に感動した者なら、やはり文句なく彼女を推すだろう。　森田和樹　23歳　秋田県湯沢市材木町1－3－35

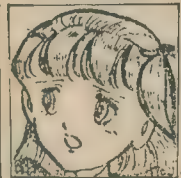
●これしかない水沢千草。この人ほどかわいらしく楽しい人はいない。僕も下宿人になりたあい。　伊藤誠彦　18歳　大阪府吹田市津雲台2－6－9

第24位
太田原桃子
「PS元気です、俊平」
柴門ふみ
ヤングマガジン（講談社）

第24位
シリン
「天の足音」
佐藤史生
プチフラワー（小学館）

第21位
江藤茜
「いらかの波」
河あきら
別冊マーガレット（集英社）

第21位
則巻アラレ
「Drスランプ」
鳥山明
週刊少年ジャンプ（集英社）

第21位
若子
「白い窓の向う側
ひかわきょうこ
LaLa（白泉社）

第29位
シベール
「はみだしっ子」
三原順
花とゆめ（白泉社）

第26位
アテナ
「アリオン」
安彦良和
リュウ（徳間書店）

第26位
竹本ヨシ江
「じゃりん子チエ」
はるき悦巳
週刊漫画アクション（双葉社）

第26位
十南舞
「KNOCK！」
川原由美子
週刊少女コミック（小学館）

サブキャラクター賞女性部門

●女優はいずれもボクの好みで…。へうう（ロリコンとベッドシーン好きがバレてしまう。）ノーラの活発さ（天心らんまんさかな？）とスウェナの体（はじめてみたときはあまりの肉感に我を忘れてじいーっとみつめていました。アハハ…）がたまらん。いい女性だなあ。2人とも。　平井賢治　18歳　徳島県徳島市南前川町2ー20ー2

●今年の助演女優賞？「久美と森男シリーズ」の小百合さんと徳光さん。これっかない！実にイキがいい。ピンピンはねてる。こりゃ煮ても焼いても食えんぞ。どーにか食っても腹の中であばれまくって、そのうちどこかを破って飛び出してくる。うん。　池田なおみ　20歳　岡山市津島新野1ー3ー2

●「久美と森男シリーズ」のあたいは体当りの演技で場面によっては主役の久美を食うほどの存在感を見せながらも、彼女に与えた心理的影響によって久美のキャラクターにより以上の深みを与えた点を評価しました。　市川雅美　18歳　富山県高岡市京町13ー3

●「アルトの声の少女」の中垣麻美…「とても直正な人！」作者の子供っぽさと意地っぱりの性格を見事に表わしたキャラ。「私はいつもああしてほしい、こうしてほしい、ただそれだけ、相手の気持ちなんかおかまいなし…」でも彼女、大人になったら、最高に魅力ある女性になるんじゃないかな。　丸山芳浩　20歳　荒川区東尾久4ー4ー4

●助演賞に選んだクレ・マー夫妻は私の理想の夫婦像。特にパメラは、美人でやさしく心配症で無邪気で…あんな女性になれたら
奥さんに、母親になれたならばステキだと思う。　赤西真由美　19歳　兵庫県西宮市池開町1ー34

●助演の猫夫人なんですが…作者の中年女ってのは、全てがこのタイプなんですねェ。ぶきみだけど入れちゃいます。
中井淳史　17歳　明石市西明石南町1ー11ー10

第2位

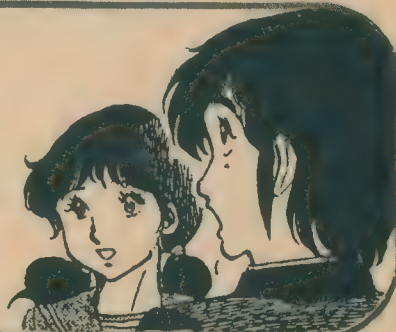
森脇真末味

113点

第3位

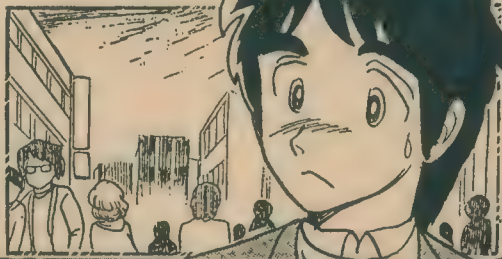
岡崎つぐお

33点 「ただいま授業中」等
週刊少年サンデー（小学館）掲載

描力、ストーリー、タイミング、どれをとっても新人ばなれ（この人の場合はそれをチョーエツしとるのだあ）してる。大のプロもマッ青。　望月昭宏　17歳　静岡県清水市庵原町552－1

第4位

石坂啓

24点

「茶番劇」
「下北なあなあイズム」等
マンガ少年（朝日ソノラマ）掲載

第4位

渡辺多恵子

24点

別冊少女コミック（小学館）掲載

新人賞

第4位
安彦良和
24点「アリオン」等
リュウ（徳間書店）掲載

新人賞は、デビューしたのは去年だったけど、安良良和氏。かわいやらしい絵が、とてもたまりません。本当は、もっと、本業の方に精を出してほしいのですが。
□田紀子　22歳　墨田区京島3−19−3

第7位　22点
ぬまじりよしみ
「ひがみっぐ・こねくしょん」等　花とゆめ（白泉社）掲載

新人賞はぬまじりよしみさん。ひがみちゃんは魅力十分、ローカルパワーは美しい。その作品のおもしろさを買いました。それ に彼女は小田巻（和光）大学四年生、私は小田巻（和光）高校二年生、すわ、先パイにならんともかぎらないんですもの。同じ田舎のローカル校舎、畑と田ンボの中をゆきかう学生時代、ぬまじりさん、がんばってねーっ!!　片倉美登　16歳　八王子市片倉町1405−50

第8位
高口里純 20点
「トロピカル半次郎」等
LaLa（白泉社）掲載

新人賞に1票入れた高口さんは、レモンシリーズ、トロピカル半次郎とどれもよいけど、あえて久美森男シリーズにしました。なんたって彼女のテンポのよさにはうれしくなるし、ギャグがよい。「雨」小池頼子　20歳　箕面市西小路1−2−23

第9位
ひかわきょうこ 17点
「白い窓の向こう側」等
LaLa（白泉社）掲載

第10位　14点
小山田いく
「スクラップブック」等　週刊少年チャンピオン（秋田書店）掲載

ヘタにロマンなどに走らず、じっくりと主人公（だれだろう？）たちを見つめた物語は他に類を見ない種類のさわやかさと面白さを提供してくれる。今後このような作品を描ける新人（もっとも他の魅力を持つ人もよいが）がもっと現れるのを期待する。八田　聡　17歳　横浜市戸塚区和泉町3999−6高橋太郎治方

●そっそれから、新人はなんといっても星崎真紀！あの「サラダ・ボウル・シティ」はよかった。ミッキーという、おデコの広い女の子が気にいったという単純な理由なのだが、やっぱりすごい。
上田民生　18歳　大阪府吹田市桃山台2—7　D13—307

●ゆうきさんの「受けは人類を救っちゃう」での〝受け〟のテーマと言うのはマジに考えさせられた。まったくこれこそ奥の深い永遠のテーマではないだろうか。
藤田こうしん　17歳　青森市長島2の5の9

●新人賞は別マの佐伯律子サン、53年デビューだから有効でしょう。森脇サンとかはほかの人が入れるからいいけど、この人のかざりっけのないとこがいい。ほのぼのしみじみしてるとこがいい。絵が独特なとこが他の新人にくらべると強みだと思う。　小林真実　16歳　埼玉県入間市下藤沢151　14—74

●新人賞。谷地さんはもう新人ではないのかもしれないけど是非どこかに名を出したかった。パンク（ニューウエーブというのか）・ロックする人間をこうまで素敵に描く人は他にいない。　糸岡和子　21歳　札幌市白石区本郷通1丁目南3　尾関M・S

●湯田伸子ー。このすごい感覚の持ち主の作品をお読みになったことありますか？　まず一番新しい作品から。「硝子戸の中」これは結核におかされた青年のお話なのですが、湯田先生の場合、結核をまったく違う角度から見ていらっしゃって、こちらとしては、病気という内容のごくありふれた題材を、こういう感覚で、せまってこられては、もうお手上げです。「グッドラック」、舞子さんラストでスケバンの仲間から、うらぎられたと思っているところに傷だらけのその仲間たちが入院している舞子さんのところに入ってくるシーン、胸がジーンときました。「ハイ・アングザイエティ」。SEXというものを、これまた湯田先生独特のフィーリングで、作品にうめこませている。高いビルをこわくないとみつめるヒロインの目はもうすべてこの作品の内容をかたる目だと思います。すっごい人です。湯田伸子！　中原美季　22歳　福岡県宗像郡宗像町自由ケ丘11丁目16—13

●佐野とまとの強烈な個性はおもしろい。わたしは主として集英社系の雑誌（週刊マーガレット、別冊マーガレット、月刊セブンティーン、りぼん）を愛読しているが、最近の新人ではトップクラスの水準を持っている。しかし、私の趣味からすれば男性の顔が……。全体としてはいいな。うん！　笠井敬子　19歳　奈良市南京終1　167　2　岡本様方

●実力のある人がごろごろいるのでだれにしようかと迷ったが、乙女チック口マンの継承者であり、その流れをひょっとして変えることができるのではないかという期待から池野恋さま。　大西通博　19歳　茨城県新治郡桜村天久保2—1　1築波大学平砂学生宿舎10　201

●もう一人は野口正之氏。以前から自分は口リコンじゃなかろかと思っていたが、「美保子」を読んで完全に自覚してしまった。それにしても、この人のかく美少女は超絶的ですな。　佐藤　淳　18歳　京都西京区

●織みゆきを新人に入れていいかちょっと迷ったが他にみあたらないので入れた。「かいとう乱麻」のギャグ路線からうって変わってのシリアスな作品での成功により。　石塚　淳　18歳　宮崎県延岡市瀬ノ口町2丁目1—13

●新人賞は、「Dr.スランプ」の鳥山明

秋本尚美　「色ずく秋のその中で」
LaLa（白泉社）掲載

新人賞

と「ばらの進さま」及び「るんるんカンパニー」のトリミキの2人に絞った。で、結局女性でありながらだいたんなタッチで太い線が生き生きしており、ギャグもなかなかいいトリミキを将来性も加味して選出。　安倍昭彦　19歳　東京都練馬区上石神井1―127石神井公園団地5―409

●新人はDrスランプをけってあえて細野不二彦をえらびました。クラッシャージョーをかいていたころとのあの線のちがい！のびのびとした線にかかれたカアイー女ノコ！（ううつよっぽどワシはスケベか!!）たまらんわー。もっといろんなストーリーかいてみてね。ここでとまっちまわないで…。　平井賢治　18歳　徳島県徳島市南前川町2丁目20の2

●その中で吉野朔実は、独特な絵とストーリーで、最も注目に値する人だと思う。デビュー以来の四作は、全て今回の短編部門に選びたいほどのすばらしい出来だと思う。　大西　力　17歳　横浜市緑区川和町2393―1

●新人賞の秋元尚美には、将来を期待して――です。ララ編集部様！気長に彼女を使ってやって下さい。時間はかかるかもしれないけど、何か持ってると思うのですよ。　川口聡子　20歳　朝霞市田島185―3―3―404

●私が眉村さんに会った（といっても作品に）のは、高3の2学期直前でした。私っていうのが、わりにヘンケンの持ち主で、フレンドってどうも好きになれなくって!!だから、誰がいるかってのも、あまりくわしくなかったのです。が、『ぱふ』のおかげで、眉村さんと出会えたわけなのです。

友人の間をかけずりまわって、

「ねえねえ!!少フレ持ってる？」

…というわけです。ところが、やはり高3ともなると、みんなあまり買ってなくって!!　やっと、「うすやみ色の中で」を手に入れたのです!!

すっごい感動でした。

フレンドに、こんな人がいたなんて!!!

彼女の作品を通して感じたことは、まず絵がうまいということ。普通、新人って、わりとごまかしてうまい人が多いじゃない？でも彼女の場合、正統派でうまいのですよ。

それから、ストーリーの中から、にじみ出てくる内的世界。私文章力ないから、うまく表せないんだけど、簡単に言えば目は口ほどに物を言う。ああいう感じなのです。そして、登場人物の口から発せられる何気ない一言が、全て見おとせない!!

彼女のすばらしい画力と、お話のマッチした作品。すごいの一言につきます。

最近発表された「純子の像」も、心理的描写のうまさに、感動させられてます。

本当に…今、一番気になる新人マンガ家と言ったら、彼女一人です。　岡本裕子　17歳　浜田市黒川一町内

11	細野不二彦	13	20	ゆうきまさみ	6
12	くぼた尚子	11	24	佐々木規子	5
13	吉野朔美	10	24	高橋留美子	5
14	高野文子	9	24	高橋由佳利	5
14	眉村千恵子	9	27	新沢基栄	4
14	秋本尚美	9	27	金子屋敷	4
17	山田双葉	8	27	佐伯律子	4
17	篠有紀子	8	27	竜巻竜次	4
17	竹沢タカ子	8	27	猫十字社	4
20	かわみなみ	6	27	八木橋涼子	4
20	星崎真紀	6	27	谷池恵美子	4
20	三浦のりこ	6	27	湯田伸子	4

ベストアニメーション賞 第1位

機動戦士ガンダム

アニメーションについてはあまり書かないばふ。(まんが専門だから無理ないか。また書かれすぎても困るけど。)ガンダムはいろんなアニメ雑誌で充分すぎるほど評価されているので今更私が書くことも無いとは思うけれど自分個人としての作品についての感想を…。本来この類のアニメは低年齢向けなのだけどこれは違う。むしろ子供たちには難しかっただろう。この作品は単なる戦争ものではない。その中にある人間のありとあらゆる感情が含まれている。本来戦闘を嫌う主人公などありえないはずなのに、闘うことを嫌うこの主人公はよりこの作品を身近に感じさせている。主張が感じられるのである。若い主人公達が大人達の仕組む戦争にもまれながらも必死に生きようとしている。人命の尊さというものを、教えてくれるような作品だと思う。　細田陽子　15歳　甲府市朝日3丁目2－7

日本サンライズ　松竹提供

第2位

地球へ…

東映動画　東映洋画提供

43点

第4位

ルパン三世 カリオストロの城

25点

東京ムービー　東宝提供

第3位

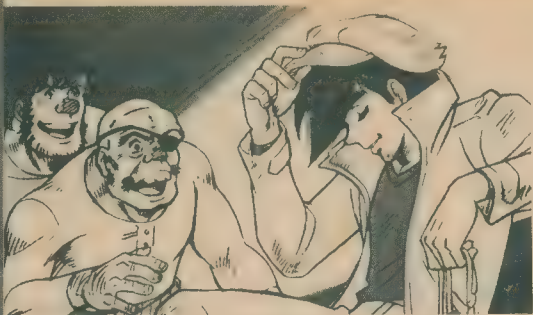
イデオン

41点

竜の子プロ　東京12チャンネル提供

ニルスのふしぎな旅

18点

NHK提供

第6位　あしたのジョー2　17点
第7位　おじゃまんが山田くん　13点

第8位　マルコポーロの冒険　12点

第8位　ルパン三世・
さらばいとしのルパン　12点

第8位
ウォーターシップダウンのうさぎたち 12点

アニメ＝ガンダムという式が出来上がってしまったような気がするほどガンダムの人気はすごい。事実おもしろいが、ベストワンとして私は地球へを上げたい。なぜかというと、まず絵が美しい。そしてそれにもまして内容が深い。ガンダムもいい作品だが、ＳＦ的に（私はＳＦファンです）もテーマの大きさについても地球への方が上だと思う。　舛木　拓　17歳　福島県須賀川市栄町15－1

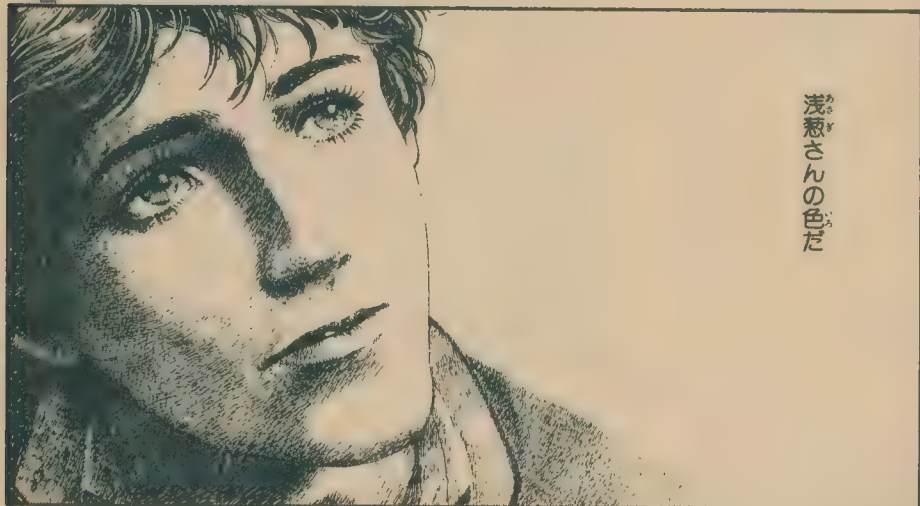
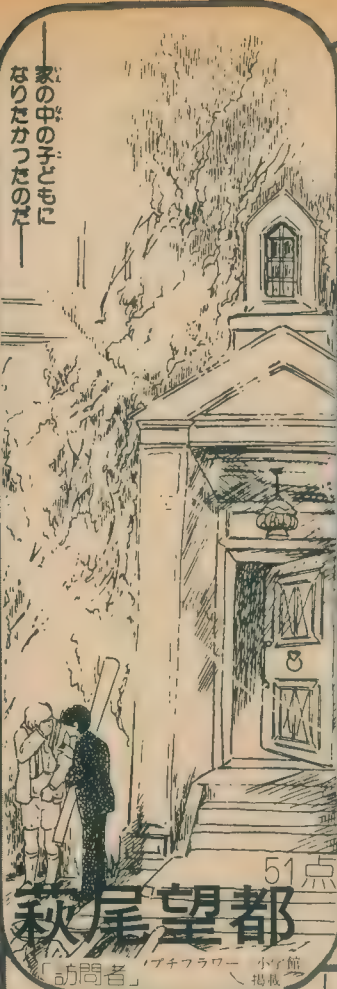
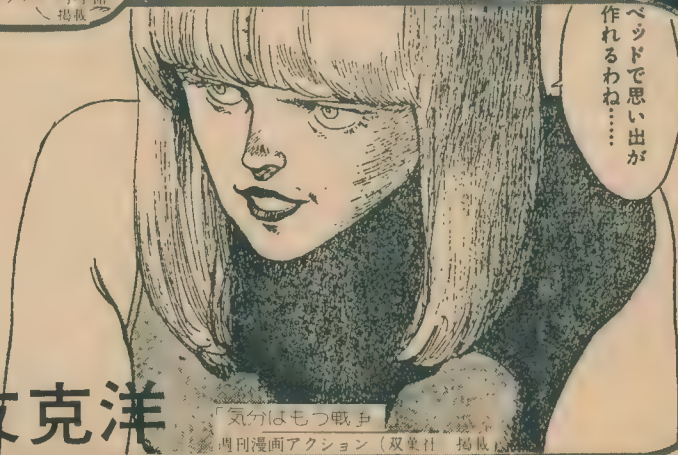
「マルコ・ポーロの冒険」「あしたのジョー2」で迷ったのだが、ジョーはラストに問題が残っているのでやめました。劇場用では「カリオストロの城」も入るのだろうか、やはり。「ヤマトよ永遠に」だっておもしろかったゾ。
しかし、「ウォーターシップダウンのうさぎたち」は良かった。　秋山則子　17才　高崎市粕町16

ヤマトよ永遠に一今年みた劇場用アニメは3本で、「テラ」と「スリリマ」と「ヤマト」である。「スリリマ」はみていて手塚氏が気の毒になったし、「テラ」は原作の方が良かった。この3作の中では「ヤマト」が一番良いと思ったので、これを選びました。あしからず

実はイデオン、最初から見てないんですよね。で、友達の話してるのを聞いて見だしたというか…まあそんなところで。一年間何を見たかって考えてみるとちっとも覚えてなくて…。これになっちゃった。最近見てて、一番おもしろ味のある作品かな。別にこれといって目立つキャラクターがいるわけじゃないけど、歌もいいし、人間関係がややこしくて、一回でも飛ばして見ると内容がちっともわからなくなるという所がいいのかなあ。なんといってもなぞが多いから、それが毎回少しずつわかっていくのも楽しいし…。とにかくやっぱりこれしか思いつかなかった。（なんか結構いいかげんだったりして…）　岡田直美　15歳
愛知県春日井市上条町9丁目1の1

11	ヤマトよ、永遠に	11
12	トム・ソーヤの冒険	10
12	ネオ・ファンタジア	10
14	ルパン三世	9
15	がんばれ元気	7
15	ドラえもん	7
17	あしたのジョー	6
18	がんばれ!!タブチくん	5
18	鉄腕アトム	5
18	ベルサイユのばら	5

技能賞第1位
内田善美

ぶーけ（集英社）掲載「空の色に似ている」等

―家の中の子どもになりたかったのだ―
51点
萩尾望都
「訪問者」
プチフラワー（小学館）掲載
ハァ…
ハァ…
安彦良和
徳間書店
山岸凉子
36点
「日出処の天子」等
LaLa（白泉社）掲載
ベッドで思い出が作れるわね……
この街が砂漠なのよ
大友克洋
「気分はもう戦争」
週刊漫画アクション（双葉社）掲載

技能賞

●技能賞っていうと、みんな内田善美さんとかおおやちき女史を思い出すかもしれないけど彼女だってすごくうまいのですよ。殊に、家具、調度品はすばらしく見事です。「私の夜啼鳥」では東洋風の「不死の花」では純日本風のムードをそれぞれ、とてもすてきにかもしだしていましたし、他にもたくさんすてきなシーンを描いてます。
能の装束なんかも、重たくならず、しかもただの着物ではない、独特の曲線をちゃんとみてます。
わりあい地味な絵柄なので、ずいぶん損をしているようにも思うけど、そこが彼女のよさなのです。　堀口千晶　18歳　松原市三宅中3－3－12

●迷ってしまった。山岸涼子先生も、秋生くんも、大好きだし、とても〝うまい〟と思う。むずかしいことはよくわからないけど、すごくきれいな絵を書く人が、とても多くなったんじゃないかとも思うし、でもやっぱり史生さまの画が好き、〝夢みる惑星よりをみてくれー、あのイリスの美しいこと、私はモデスコ王のファンだが…。　山田恵津子　18歳　大阪府枚方市伊加賀東町4－3

●なんつーても、絵を描かせたら坂口先生の右に出るもんなんてないべー。
今年の坂口先生はおーいそがしだったでしょーなー。フウムーンもあったし。
しかしなんとしてもざんねんなのは、トムの連載に4色ページがなくなってしまった。ぜひ、ぜひに4色ページをとりもどえー。　藤浦一理　22歳　町田市中町一丁目19－17岡本荘一号室

●もしかしたらワンカット賞にしても良いのかもしれないのだけれど、その絵のチミツさで魔夜さんをあげたのです。本当は池田理代子女史にしようかとも思ったのだけれど、ベタのところを3回塗ってるという話をきいて、魔夜氏にしました。まだ独身のようであるし…。　松野みどり　20歳　静岡県清水市西久保170

●名香智子の魅力は、やはりゴシックロマンにおいて、最高に発揮されると思う。名香智子の描くゴシックロマンなら、たとえどんなストーリーであろうと買ってしまう。「砂城」などは、もうマンガというより、映画か、西洋の絵物語を見ているようである。こういうのを技能賞というのかどうか知らないが、他にあてはまるのがないので、技能賞に入れた。　斎藤葉子　17歳　茨城県下館市上野殿1326

●こんなにマンガきれいなもんだと思ったのははじめてでした――「おやこ刑事」。大島先生は、「天下一大物伝」の時は、これほど美しい世界を描けるなんて思わなかったけど…まあ汚くもなかったけど、とにかく今年の大島先生の絵は素晴しく（こればっか）シンプルで美しかったのです！原作のよさも光ってたけど、とにかくよかった。　青木誉　16歳　千葉県我孫子市下ケ戸468－2

順位	名前	票	順位	名前	票
1	内田善美	74	9	宮西計三	9
2	萩尾望都	51	9	三原　順	9
3	安彦良和	43	11	成田美名子	8
4	山岸凉子	36	12	竹宮惠子	7
5	大友克洋	22	12	名香智子	7
6	ひさうちみちお	13	14	高野文子	6
7	青池保子	12	15	宮谷一彦	5
8	鳥山　明	10	15	吉田秋生	5

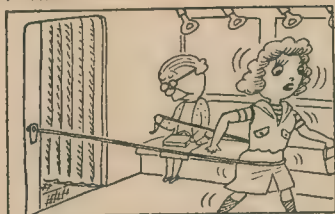
第1位

フジ三太郎

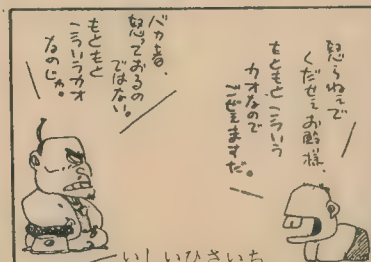
13点 サトウサンペイ
朝日新聞（朝日新聞社）掲載

フジ三太郎
サトウサンペイ

第2位

ほんにゃらゴッコ

植田まさし
週刊漫画アクション（双葉社）掲載 10点

第3位 7点

ドタバタぱあてぃー

いしいひさいち
週刊漫画アクション（双葉社）掲載

コママンガ賞

カレンダー

第4位 ブラック・アングル

山藤章二

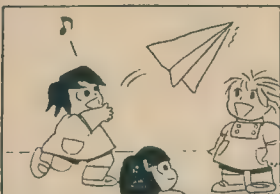
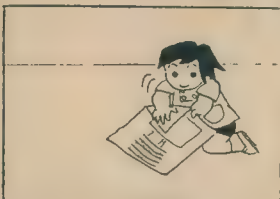
週刊朝日（朝日新聞社）掲載

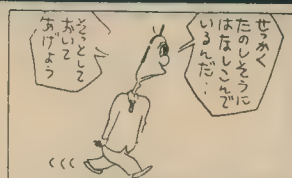
山藤章二、まァすごい人ですねェ、頭のいい人ですねェ、この人にかかったら、長嶋茂雄もゴルフのクラブ、王貞治もドラえもん絵かき歌になるんですよ、こわいですねェ。　中村はるひろ　18歳　愛知県春日井郡清洲町土田1の6の10

第8位 地底人シリーズ

いしいひさいち

週刊漫画アクション（双葉社）

小野耕世氏もほめていましたが、ヤングマガジンの中で面白いまんがはこれだけです。関西弁がまた最高！　辻　晶宏　19歳　埼玉県川口市末広1－4－16

第4位　チルドレンプレイ

寺島令子　ヤングマガジン（講談社）掲載

第8位　あっぱれさん

秋竜山　読売新聞（読売新聞社）掲載

1	フジ三太郎	サトウサンペイ	13
2	ほんにゃらゴッコ	植田まさし	10
3	ドタバタばあてぃー	いしいひさいち	7
4	チルドレン　プレイ	寺島令子	5
4	フリテンくん	植田まさし	5
4	ブラック・アングル	山藤章二	5
7	がんばれ!!タブチくん	いしいひさいち	4
8	あっぱれさん	秋　竜山	3
8	地底人シリーズ	いしいひさいち	3
8	ひるね劇場	いしいひさいち	3

萩尾望都とコンビを組んだ事のあるＳＦ作家光瀬龍が、今度アンドロメダ・ストーリーズという作品で、竹宮恵子とコンビを組んだ。まだ始まったばかりで何とも云えないし、賞にあげるのは早計かもしれないが、これからの期待作ということで、あえてこの作品を選んだ。光瀬氏については、萩尾望都とのコンビで良い作品を生み出しているし、特別賞に価するだけのものはあると思う。　伊藤嘉之　19歳　板橋区赤塚２－27－２

光瀬龍「アンドロメダ・ストーリーズ」竹宮恵子

51点　マンガ少年（朝日ソノラマ）掲載

第2位　矢作俊彦「気分はもう戦争」

大友克洋

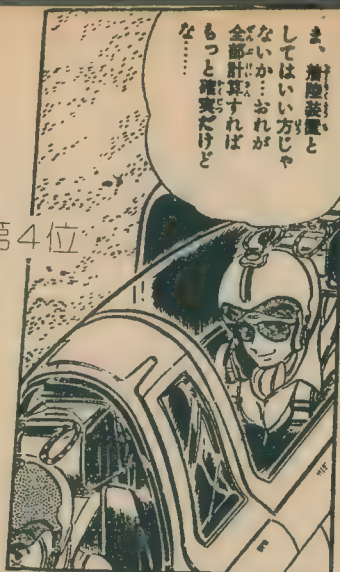
週刊漫画アクション（双葉社）掲載

第３位　やまさき十三「番外甲子園」

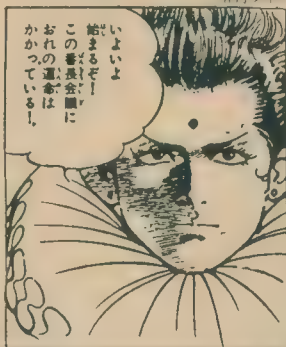
内山まもる

週刊少年サンデー（小学館）掲載

原作賞

第6位 光瀬龍
「宇宙叙事詩」
萩尾望都
SFマガジン(ハヤカワ書房)掲載

第4位
史村翔「ファントム無頼」新谷かおる
増刊少年サンデー(小学館)掲載

第8位 雁屋哲
「男大空」
池上遼一
週刊少年サンデー(小学館)掲載

原作賞の雁屋哲さんは、「男大空」ではまだよくわからないが、「男組」が好きだったので。(実を言うと『メガロマン』が好きだったので。) 秋山則子 17歳 高崎市鞘町6

1	アンドロメダ・ストーリーズ	光瀬 龍	竹宮恵子	51
2	気分はもう戦争	矢作俊彦	大友克洋	20
3	番外甲子園	やまさき十三	内山まもる	12
4	ファントム無頼	史村 翔	新谷かおる	11
4	あさき夢みし	紫式部	大和和紀	11
6	宇宙叙事詩	光瀬 龍	萩尾望都	9
7	おやこ刑事	林 律雄	大島やすいち	8
8	男大空	雁谷 哲	池上遼一	7
9	そばかす少年	ジーン・ポーター	竹宮恵子	6
9	テニス・ボーイ	寺島 優	小谷憲一	6

第1位
ジェイムズ君
「エロイカより愛をこめて」　青池保子
プリンセス（秋田書店）掲載 41点

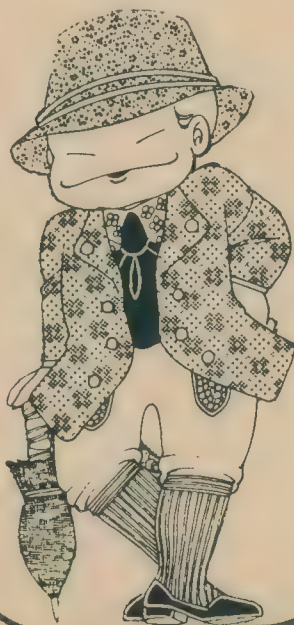
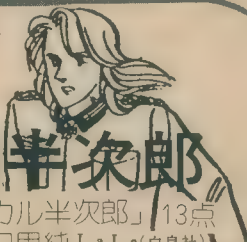
ジェイムズ君のせこい行動のおかげで、とんでもない方向へ事が動き、少佐や伯爵がふりまわされる、愛すべき人物。　大石圭子　17歳　静岡県藤枝市高柳2丁目10−25

第2位
パタリロ8世
「パタリロ！」魔夜峰央
25点　花とゆめ（白泉社）掲載

第3位
エーベルバッハ
18点　「エロイカより愛をこめて」
青池保子　プリンセス（秋田書店）掲載

第4位
新田半次郎
「トロピカル半次郎」13点
高口里純　LaLa（白泉社）

「緑茶夢シリーズ」
大城
森脇真末味

12点
プチコミック（小学館）掲載

特別個性派賞

第9位 安部弘

「緑茶夢シリーズ」森脇真末味

プチコミック（小学館）掲載

あんなメロディーはなかった

第6位 則巻アラレ

「Drスランプ」鳥山明

週刊少年ジャンプ（集英社）掲載

第10位 あじましでお

吾妻ひでおの諸作品

第6位 とらじゃ

「黒のもんもん組」猫十字社

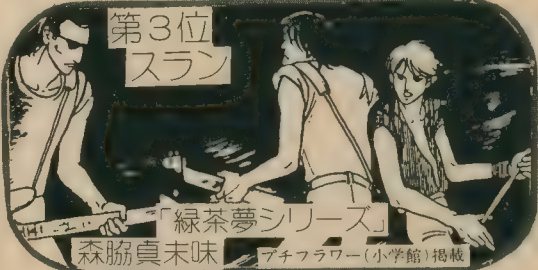
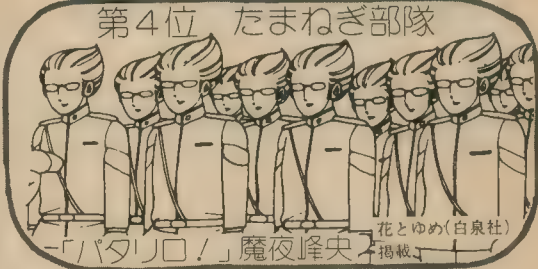
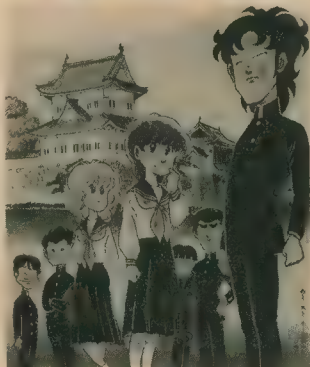
LaLa（白泉社）掲載

順位	キャラクター	作品	作者	票数
1	ジェイムズ君	エロイカより愛をこめて	青池保子	41
2	パタリロ8世	パタリロ！	魔夜峰央	25
3	エーベルバッハ	エロイカより愛をこめて	青池保子	18
4	新田半次郎	トロピカル半次郎	高口里純	13
5	大城	緑茶夢シリーズ	森脇真末味	12
6	とらじゃ	黒のもんもん組	猫十字社	10
6	則巻アラレ	Drスランプ	鳥山 明	10
8	不気味	不気味が走る他	吾妻ひでお	9
9	安部弘	緑茶夢シリーズ	森脇真末味	8
10	あじましでお	吾妻ひでお諸作品	吾妻ひでお	6
10	伊賀野カバ丸	伊賀野カバ丸	亜月 裕	6
10	サテンドールのマスター	三丁目のサテンドール	清原なつの	6
10	田辺つる	田辺のつる	高野文子	6
10	プラズマメ	パタリロ！	魔夜峰央	6
15	厩戸王子	日出処の天子	山岸涼子	5
15	ラシャーヌのおじさん	ラシャーヌ！	魔夜峰央	5
17	小鉄	じゃりン子チエ	はるき悦巳	4
17	アソコ	アソコの大冒険	ひさうちみちお	4
17	岩清水健太郎	1・2の三四郎他	小林まこと	4
17	瀬戸内海	トロピカル半次郎	高口里純	4
17	ニコちゃん大王	Drスランプ	鳥山 明	4
17	まついなつき	かれいらいす物語他	まついなつき	4

第１位
はみだしっ子4人組 59点
「はみだしっ子」三原順
花とゆめ（白泉社）掲載

マックスの足がのびた。サーニンの顔が水ぶくれになった。グレアムの目が小さくなった。４人みんな成長したんだナって思う今日このごろ。もう私の分身みたいな存在なのだ。はみだしっ子は。　関本真理
15歳　香川県高松市楠上町１－３－31

第２位
NATO 59点
「エロイカより愛をこめて」
青池保子
プリンセス（秋田書店）掲載

少佐以下ＮＡＴＯの情報部一同は、Ａから Ｚまで、とにかくよいのです。エロイカの部下さんもよいですけれど、やはり和気あいあいより、アラスカと少佐におびえている彼らの方が、団結の度合からいってもー集団賞にふさわしいと考えました。　宮地千里　22歳　東京都北区東十条３の10の３の309

集団賞

森脇真末味さんがプチフラワー秋の号で集団について書いていたでしょう。あの言葉が好きです。スランのシリーズがなぜあんなにうけるのかわかったみたい。人間ってやっぱり一人で生きてるっていう感じがあるから、集団にあこがれるんだよね。私なんか特にその傾向が強いから、スランなんか見ているとうらやましくって。一人一人はすごく個性があって、あんなんでよくグループがつくれるなっていう感じだけど考えればそれだからよりステキなグループができるんだよね。スランのシリーズももう終わっちゃったけれど、一つ一つの話の良さよりも、私にはスランというグループの方が心に残るから、文句なしで集団賞。

田中せつ子　22歳　枚方市三栗2丁目3－507

第6位　千葉パイレーツ

「進め！パイレーツ」江口寿史
週刊少年ジャンプ（集英社）掲載

第9位 奇面組

「三年奇面組」
週刊少年ジャンプ（集英社）掲載

2年4組はすてきです。正明くんを頭にみいんな素直で、かわいくて、さわがしくて普通のいい子たちなのです。例えば、夏休みも終わりというときに、みんなでせっせと「増道」のお面を3日がかりで作っている姿を思うと、ついにんまりしてしまうのです。男ことばの松尾先生もすてきだし。遊べよ学べ中学生諸君！ストラビンスキーを大事にな。　宮本千賀子　17歳　山口県宇部市西区下条8－5

第6位 2年4組

「2年4組シリーズ」
成田美名子
LaLa（白泉社）掲載

1	1	3	4	5	6	6	8	9	9	11
はみだしっ子4人組	NATO	スラン	たまねぎ部隊	黒もん3人組	千葉パイレーツ	2年4組	日本ジュニア	奇面組	天竜高校格闘部	サイボーグ戦士たち
はみだしっ子	エロイカより愛をこめて	緑茶夢シリーズ	パタリロ！	黒のもんもん組	すすめ！パイレーツ	2年4組シリーズ	リングにかけろ！	三年奇面組	1・2の三四郎	サイボーグ009
三原　順	青池保子	森脇真末味	魔夜峰央	猫十字社	江口寿史	成田美名子	車田正美	新沢基栄	小林まこと	石森章太郎
59	59	51	38	11	9	9	8	7	7	6

11	11	14	14	16	17	17	17	17	17	17
持堂院全猛者連	ペンギン村一同	清懸会	ノストラ探偵団	八犬伝一同	あくたれ団	KGB〈カー・ゲー・ベー〉	南星ナイン	明訓ナイン	楽園ヒマ人グループ	持堂院桜薔寮生
摩利と新吾	Drスランプ	元気なき戦い	ノストラ探偵団	展作ひでお八犬伝	生徒諸君!!	エロイカより愛をこめて	番外甲子園	ドカベン	はるかな天使たちの群れ	摩利と新吾
木原敏江	鳥山　明	いしいひさいち	かわみなみ	吾妻ひでお	庄司陽子	青池保子	やまさき十三 内山まもる	水島新司	吉田秋生	木原敏江
6	.6	5	5	4	3	3	3	3	3	3

聖徳太子

日頃お世話になってる聖徳太子様。最近では、すっかり価値が下がってしまいましたが、"日出処の天子"での活躍ぶりには、すっかりファンになってしまいました。
かわい美由木　20歳　神戸市東灘区北青木3丁目14の9

29点

「日出処の天子」より　厩戸皇子
山岸涼子　LaLa（白泉社）掲載

第4位

長島茂雄　8点

「ブラックアングル」より
山藤章二　週刊朝日（朝日新聞社）掲載

第4位　8点

山口百恵

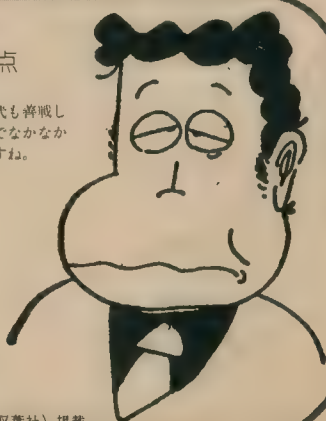
「百恵・　和ディスカッション」より
松岡修二　主婦の友社発行

第2位

24点

今年のシーズンも始まり、西武も奮戦しています。タブチ選手、私生活でなかなか華やかな話題を振り巻いていますね。

田渕幸一

「がんばれ！タブチくん」より
いしいひさいち
週刊漫画アクション（双葉社）掲載

同人誌賞

第2位 17点

グループ（作画グループ）

最大の規模、最高のレベルで漫画を描く作画グループは、結成から14年を経て今や〝日本一〟といえる団体であろう。現在は週刊少女フレンドで「銀河を継ぐ者」を連載しており、みなもと太郎、聖悠紀、あずみ椋、神坂智子などが参加している。

第1位 ラヴリ 32点

価値感が多様化している中で、まんが愛好家達は本当に読みたいまんがが、描きたいまんがを求めて止まない。彼らは集り同人誌を作り始めた。

その中で「ラヴリ」は、読者に最も評価されたものである。森川久美、坂田靖子などのプロを生みだし、これからも走り続けるであろう。

第3位 6点

吾妻ひでおに花束を

大日本吾妻漫画振興会なる〝信仰〟団体が出した、アジマニアのための必携書。すみずみまでソツなく吾妻ひでおを分析してあり、楽しく読める一冊である。

第4位 5点

楽書館

本格的にまんがを描こうとする人たちによる、素朴なやさしさが滲みでる同人誌。高橋葉介、高野文子、さべあのま、やまだ紫、森雅之、水野流転などが参加している。

第4位

Queen

少女まんが界に最も多くプロを送りこんでいるQueen は（吉野朔美、明智抄、更紗糖など）、その名の通りロック少女が多く集まる耽美主義的同人誌といえよう。

第4位 5点

DEGAS

名古屋で活躍する同人誌界の雄。「コミック・カーニバル」の主催も行っており、森博嗣が活躍している。

5点

第7位	ODIN	4点
第7位	COMBINATION	4点
第7位	少佐通信	4点
第7位	FILM 1/24	点

帰ってきたアンケート

有川　優
飯田耕一郎
石子　順
伊藤比呂美
梶井　純
瀬戸川猛資
杉田健一
高千穂　遥
竹内オサム
辻　真先
鶴見俊輔
野口文雄
橋本　治
日高　敏
松下　見之
宮岡蓮二
武庫守男
アウト
ブロンズ社
青林堂
ビック・リハウス編集部
チャンネルゼロ

新人賞/7位
山田双葉「KOOL COOL」
ギャルズコミックDX掲載

有川　優
(主婦よまんがを読もう!会)

●長編
①日出処の天子（山岸凉子）
②気分はもう戦争（大友克洋）
③童　夢（大友克洋）
④おんちゃん（和気一作）
⑤下北なあなあイズム（石坂啓）

●短編
①田辺のつる（高野文子）
②小羊たちの時（ささやななえ）
③坂口尚の一連のSF
④性悪猫ほか（山田紫）
⑤ハイ・アングザィエティ（湯田伸子）

●80年度まんが界五大ニュース
①女性まんが誌が出た、が……
②漫金超が出た
③渡辺一博の単行本が出た

●コメント
短編作品に上げたいのがもっとあるので書きます。「ALICE IN WONDER BOOGIE WOOGIG」さべあのま、「1980年の未婚貴夫人」樹村みのり、「Bのソナタ」福山庸治、「茶番劇」石坂啓、「アカプルコゴールド」吉田秋生、「Golden Slumbers」白山宣之、守村大のホモレズまんが（題名が思い出せないゴメン）、81年にちょっとはいっちゃうけど「山本さんのおじいさんの場合」ひさうちみちお、「早道節中守」高野文子、「つんちゃん」佐伯 律子、デス。

女性まんが誌の発刊は思ったより早かったのですが、なにせ中味が……ナノデ……ま、ともかく出たネ。色々ふり返ってみるとみんな去年よりもっと前の作品のような気がしてきます。ギャグナンセンスをもっと上げるつもりだったのですが、なんとなく特別功労賞にまとまってしまってごめんなさい。一昨年から通しておもしろいのもあったはずで、それも特別賞にまとめてしまって再びごめんネ。ドクタースランプなんかもっと古い作品のような気がしてならないんだけど、不安になってして来た。時があまりに早すぎるのだ、これは年のせいかなあ、しかし、もしかするとこれはノスタルジィ的要素の強い作品が多いのと、各々の魅力の持続力が弱いのと、余りにも作品数が多すぎるせいではないだろうか? ドクダンとヘンケンとジョーダンで選びましたが、さて来年このうちいくつを記憶しているか、それが楽しみです。ゴキ

ゲンヨウ（←藤沢地区一部局地的流行語）。

飯田耕一郎（まんが家・評論家）

●長編作品
①日出処の天子（山岸凉子）
②カリフォルニア物語（吉田秋生）
③緑茶夢シリーズ（森脇真末味）
④童　夢（大友克洋）
⑤フィメールの逸話（鈴木雅子）

●短編作品
①早道節用守（高野文子）
②ヨセフ（ひさうちみちお）
③不思議なたんきん豆（吾妻ひでお）
④訪問者（萩尾望都）

●80年度まんが界五大ニュース
①「Drスランプ」大ヒット！
②『マンガ奇想天外』創刊
③『漫金超』創刊
後、思いつかん。

●コメント
シリーズ作品部門というのがないと困ると思わない？　コママンガというより、ナンセンスの部類が欲しいし：：。
短編部門は、以下かなりの作品が同列に並ぶのでありますが、メンドーだからやめました。

石子　順（評論家）

●長編作品
①アリオン（安彦良和）
②日出処の天子（山岸凉子）
③火の鳥・乱世編（手塚治虫）
④あした天気になあれ（ちばてつや）
⑤蘇州夜曲（森川久美）

●短編作品
①Drスランプ（鳥山明）
②訪問者（萩尾望都）
③椿ちゃんの漫画百面相（勝川克志）
④釣りバカ日誌（北見けんいち）

●80年度まんが界五大ニュース
①日本漫画家協会による日本漫画代表作選集の刊行
②「地球へ…」ついに完結す！しかも女性漫画家作品の長編アニメ化第一号となる
③大手出版社による青年誌・女性誌の創刊目立つ
④松本零士コレクション『漫画歴史大博物館』として一冊にまとまる。
⑤四コマ漫画ブームのきざし

●コメント
毎回読切り連載ということで「Drスランプ」は短編部門に入れた。なにしろ80年はアラレちゃんにふりまわされた。このキャラクターはこれほど世の中を騒がしたということだけでも特筆に値すると思うのです。萩尾望都の鋭い描線と深い問題提起を評価したい。椿ちゃんはなつかしさの中に現代性をとらえたという点では忘れられない。
長編は、ちばてつやの新作を入れた。まだ途中なのにこのひきつけるおもしろさは何だろう。
「アリオン」はようやく展開しはじめたが、古代という時代をこうまでリアリティをもって描破したその気力に敬服する。これからがどうなっていくのか注目したい。山岸凉子の新作には透きとおった色彩にあふれており、これまた古代日本の権力争いという予想もつかない世界に視点をあてた着眼と、それをこなしていく筆力に舌をまく。「火の鳥・乱世編」は、このシリーズ最近にない出色の出来ばえで、あえてこれも評価したい。「蘇州夜曲」は舞台背景に新境地の開拓を見た。
特別功労賞に大城のぼるを推したい。いその「火星探検」の復刻本を見て、いかにのちの漫画家に多大の影響を与えたかよくわかる。勝川克志、鳥山明にも、そうしたなつかしい描線の復活を見てしまうのだ。

伊藤比呂美（詩人）

●長編
日出処の天子（山岸凉子）
裂けたパスポート
Drスランプ（鳥山明）
れもん白書、れもんカンパニー（吉田まゆみ）

●短編
田辺のつる（高野文子）
ひさうちみちおの諸作品
渡辺和博の諸作品
黒い牧歌（矢島正雄／弘兼憲史）
Z II（青池保子）
大島弓子の諸作品

●コメント
順位はつけられませんので、つけないでください。80年は後半、やけに大友克洋のまねっこが多くて、いやーなかんじでした。どうして、おりじなるなものをうちださないのでしょうか。

梶井　純（評論家・漫画主義）

●コメント
こういう「おあそび」には、まったく興味がありませんので悪しからず。「まんが」に関して何らかの発言をなさった方、なんらかのかたちでまんがに関わった方々」にアンケートを送るのなら、読者が参加できる「おあそび」とはちがうものをお考えになったらいかがでしょうか。
せっかくおさそいいただいたのに、お応えしない非礼をお許しください。貴誌のご健闘ぶりにはふかく敬意をはらい、毎号読ませてもらっておりますので、その分でご寛恕のほどを。がんばってください。

川本三郎（評論家）

●コメント

このところ老化現象をきたしており、マンガをあまり読んでいませんので、無解答にて失礼いたします。お許し下さい。

呉　智英（評論家）

●短編

①力道山がやってきた（はるき悦巳）
②光る仏・不幸虫（花輪和一）
③田辺のつる（高野文子）
④諸作品（谷岡ヤスジ）
⑤おんなの町シリーズ（石井隆）

●80年度まんが界五大ニュース

◎『柔侠伝』シリーズ完結
◎石子順（故・石子順造とは別人）が、まだ評論家業をやっていること。今回のアンケートにも、また顔を出していたりして。

●コメント

◎はるき『力道山』は、『チエ』より凝縮的でよかった。在日朝鮮人、被差別部落民、駐留米軍、といったテーマを、「告発」という手法を一切使わずに描いたのは出色。『チエ』も同テーマなのに、大多数読者は、「テツは乱暴でなまけものだけど、のびのびしていてステキ」などと見当ちがいの評価をしていてウレシイ。何故、テツが乱暴でなまけもので少年院あがりで、しかもヤクザが大嫌いなのが、みなさんフシギに思わないらしい。いずれにしても、円熟したオトナの技倆が生んだ作品である。

◎花輪の中世日本ものは、白土三平の神話シリーズが今一歩、諸星大二郎があまり活躍せず、といった80年の状況の中で、「非近代」なる世界をよく描いている。

◎高野は、後の作品をどう続けるか……。

◎谷岡は、いつもの通り。

◎石井は、『別冊ヤンコミ』としてまとめられたものを通読してみると、真価がよくわかる。

◎いつも変わらぬ力量を発揮しつづけている作家たちは、一々あげなかった。この人たちはエライ。

◎中の上、といったところだが、はやせ淳の『夏の別れ』『惑る日の午後』がよかった。『真剣先生』などというカスのような作品を描いていたのでケーベッしていただけに、少しおどろいた。

◎総じて、今年も状況は、悪いまま変わっていない。つまり、マンガ界だけの問題ではない。もう、一々腹をたてる気もないから、笑ってみる。ワハハハハ。

小松杏里（謎の怪人）

●長編作品

①日出処の天子（山岸凉子）
②うる星やつら（高橋留美子）
③哀愁荒野（松久由宇）
④茶番劇（石坂啓）
⑤メッシュ（萩尾望都）

●短編作品

①孔雀風琴（宮谷一彦）
②田辺のつる（高野文子）
③弥撒子に（野島みちのり）
④忘れられた人々（蛭子収能）
⑤『少女アリス』に連載された作品（吾妻ひでお）

●80年度まんが界五大ニュース

①渡辺和博の単行本
②奥平衣良の単行本
③ひさうちみちおぐわんばる！
④右三人の原画展&パーティー
⑤『ぱふ』がつぶれなかった。

●コメント

特に何も言うことありません。ただ……もっとしたたかに見つめてほしい。これぱっかり……。

権藤　晋（評論家・漫画主義）

●

①窓の手（つげ義春）
②会津の釣り宿（つげ義春）
③日の戯れ（つげ義春）
④文久二年の爆裂弾（湊谷夢吉）
⑤三国峠（菅野　修）

●コメント

「窓の手」は、わずか二十数頁にすぎない作品だが、七、八十頁の中編を読んだような重量感がある。着想自体は、〈夢〉的世界から出自していると思われるが、リアルな絵をともなって、ドラマツルギーの見事さを伝え、つげ義春の力量をあらためて確認させた。内容的なことでいえば、登場人物たちの出逢いと別れが、〃戦後〃という〈運命〉性からとらえられ、根源的な不幸＝生活観を描出した。

「会津の釣り宿」と「日の戯れ」にはかつての〃旅もの〃にも似たユーモアが感じられるが、もっと乾いており、かつてのそれとは全く異質であるといってもいい。別の見方をすれば、そこには読者へのサービスは微塵もうかがわれず、その分〃暴力的〃であるともとれる。つまり、絵柄からうける表面的な印象とは裏腹に、作者の孤独感が幾重にも屈折して沈潜している。

「文久二年の爆裂弾」は、七十年世代のもっとも良質な思想が、幕末を舞台とすることによって表出された。そこにあるのは、七十年情況の単なるアナロジーではない。過激派志士たちの〃マンガ的〃言動や、彼らを一歩距離をおいてみつめる若者の描き方に、作者の真摯な態度が垣間見られる。そして、彼ら幕末の青年たちの〃ズッコケ〃が、暗い感銘を与えないではおかない。

「三国峠」は、〃自殺〃というテーマを描いているが、湿っぽさは感じられない。一見、シリアスなドラマ仕上てではあるが、その本質はナンセンスである。そして、そのナンセンス性は、〃文学〃を基盤としているけれども、描出方法における空間処理が、より劇画表現に近づけていると思える。

ともかく、以上の五編は、劇画、思想、表現を考える上で、多くの問題を提出していると思う。それはまた、作者たちが、あらゆる意味において、現

代、孤立を強いられていることの証しでもある。

瀬戸川猛資（評論家）

●コメント

小生、昨年度は「のたり松五郎」ぐらいしか読んでおらず、アンケートにお答えする資格がないので、失礼させていただきます。

杉田健一（まんが研究家）

●長編作品

①花ざかりの道——樫の木物語——（水上澄子）
②ハイジが来た日シリーズ（榛野なな恵）
③真理子の日記（文月今日子）
④不思議の国の千一夜（曾根まさこ）
⑤ブーメラン5（佐々木淳子）

●短編作品

①風に哭く（花郁悠紀子）
②アンジーガール（奥友志津子）
③待ちぼうけ（志村雅子）
④白昼満月（麻原いつみ）
⑤この空を飛べたら（川路なづな）

●80年度まんが界五大ニュース

①創刊誌ブーム
②復刻本（中野・西沢書店による赤本（貸本）の）
③花郁さんの訃報

●コメント

特別賞は「漫画歴史大博物館」に対して。功労賞は思いつきません。

作品は好みで適当に選びました。読み返せれば良いのですが押入一杯に積んである雑誌を引き出す気力は残念ながらありませんので、記憶をもとにリストアップしたものから全く好みで選んだわけですが、長編はベスト10に確実に入りそうな作品は避けました。

主演・助演についても、名前が記憶に残っており、また雑誌が手前に積んであって確認できた作品です。

新人賞は、80年度にデビューしてすぐに愛読者賞を受賞した若林さんにしました。

コママンガ賞は、72年12月号から80年3月号まで4コマを基本として長期連載を為し遂げた「キノコ・キノコ」にしました。

劇画は絵が好みでないのでほとんど読みません。

少年マンガは多分ベスト10（少年マンガだけでの）に入るであろう作品（連載のもの例えば「Drスランプ」「うる星やつら」）は読んでいるはずですが、今の少年誌の作品は、僕にとっては劇画の絵で好みではないのです。従って少女誌からのみとなりました。

（「リュウ」は多分少年誌かもしれませんが、山田ミネコさんは原則として少女マンガ家なので）

高千穂 遙（作家・スタジオぬえ）

●長編

①Drスランプ（鳥山明）
②日出処の天子（山岸凉子）
③男大空（池上遼一）
④凄の王（永井豪）
⑤翔んでるルーキー（湯沢直子）

●コメント

長編は「バラエティ」に発表したベスト5と同じです。したがって選考理由も同じです。

短編は選べませんでした。いい作品はいろいろとあったのですが、全体に活気がみられないようです。

新人賞の細野は、増刊サンデーに「さすがは猿飛」を連載しています。おもしろいです。

五大ニュースは何もありません。

竹内オサム（評論家・児童まんが研究家）

●長編

①妖女伝説（星野之宣）
②日出処の天子（山岸凉子）
③あした天気になあれ（ちばてつや）

●短編

①訪問者（萩尾望都）
②童 夢（大友克洋）
③田辺のつる（高野文子）
④年野生の王国（山上たつひこ）
⑤ボーイハント（吉田まゆみ）

●コメント

長短編とも個人好みで選んでみた。一九八〇年は短編（100ページ以下？）に秀作が目立つ。特に「田辺のつる」の実験的方法が秀れている。上記以外に「サージャント」「草冠を編む半獣神」「はるかなる天使たちの群れ」「SOS！ 大東京探険隊」などが、印象に残った。新人では「西砂町異邦人」の元良昌博、近藤ようこ、盆子屋教、井藤伴夫など、やや作品の広がりに乏しいけれども注目している。

長編は、連載初回が一九八〇年のものをあげた。過年度からでは「風と木の詩」「タフネス大地」「1・2の三四郎」「がんばれ元気」「まんが道」を楽しみにみている。手塚の不調はどうしたものか、今年はがんばっていただきたい。「がきデカ」終了も残念、「翔んだカップル」も混乱したまま、「綿の国星」シリーズも第一回ほどの感動を与えてくれない。

低学年誌からは相変わらずよい作品が出ない。幼年マンガも同様。藤子のもの以外で目立った作品がないのは淋しい。

評論誌『螺旋』『弾道』が出そろい、『批評大系』とともに活発化の様相。特に『弾道』0号の宮岡論文がおもしろかった。なお小生も『児童漫画研究』で研究分野をおこそうとしているのでよろしく。

辻　真先（脚本家）

●長編作品
風の歌うたい（吉田秋生）
●短編作品
一撃伝（大島やすいち）
●コメント
読んでいるものが少ないですが、少女まんが、少年まんがから各一作ずつ心に残ったものを。
「がんばれ元気」とか「Drスランプ」とかよかったものは他にもいろいろありますが、皆さんお書きになるでしょうから……。

鶴見俊輔（評論家）

●長編
①じゃりン子チエ（はるき悦巳）
②御漫画（いしいひさいち）
③幻想の明治（高信太郎）
●短編
①田辺のつる（高野文子）
②復讐の一寸法師（川崎ゆきお）

野口文雄（評論家）

●手塚治虫
藤子不二夫
松本零士
坂口　尚
鳥山　明
ちばてつや
水島新司
山上たつひこ
望月三起也
永島慎二
●80年度まんが界五大ニュース
①「火星探険」の復刻
②「漫画歴史大博物館」の発刊
③「サロメの唇」限定版（青林堂）が出た事（よく出たね）
●コメント
今、私が望む漫画家は、概ね右記の人達だけ。而も、その全作品を読んでいる訳でもなく、順位をつける気もありません。でも、書きたい事が一つ有ります。それは……、遅れ馳せながら知った「Drスランプ」、ホントに、やたら嬉しくて……。なんちゅういい画を描くんじゃろうね。
或る日、松本さんから電話がきて、血相変えて（?）宣うには〝俺の本は無事か?!〟。ゴチャマンと古本をお借りしている僕は、丁重に〝無事であります〟と答え、後でお目に懸って聞いた話では、あの「火星探険」を復刻する為に、松本さんの宝物であるその本が、本人の知らぬうちにバラバラにされていた（その間には、ここでは書きにくい事情がある）そうで……で、激怒した松本さんは、同時に、旅に出してある可愛い子供達の事が心配になり、私の電話と相成ったという訳（初め、頭24ページだけカラー、後は色抜きでやる筈だったのがォールカラーの完全復刻になったのは、そうする事でのみ、松本さんが怒りを治めたからだんなそうだ）。御陰で、すっかりおびえきった私は、この冬を、隙間風の吹き抜ける陋屋で、電気ゴタツ以外は一切の火の気を絶って過ごす決心（若し焼えちまったら、腹カッサバイても許しては貰えまい）をし、親しい友人（手塚プロの森君は、コートを着たままコタツに入っても、まだ、寒い寒いとブーたれていたが）以外の来客には、余りの寒さに身をよじりながら応待する（上はチラかり放題、下には汚ない犬が潜り込んでいるコタツに入って頂く訳にもゆくまい）ハメに陥った（尤も、客の方も早々に退散してくれるといろ利点も有る。）てな訳で「火星探険」の復刻は、私に迄害が及んだという点で、極めて重大な事件だったのであります。へい、お退屈さま。――いや　冗談ごとではない。ここでは書く余裕もない（だったら、くだらねい事をだらだらと書くなよ）が、実に色々な意味で、あれは、大きなニュースでは有りました。
冗談ついでに、「――大博物館」の中には、僕が大分以前に交換の約束で持っていって、今だに代りの本を貰っていないのが一冊載っているんだけど（まじだね、こりゃ）……、まあ何にしても、あれも大いに意義のあることでしたな。チト高いけどね（松本さんは、自分の好みを少し位は出した改定版を出したいと言い、石上三登志さんは、客観的によろしいと言う。さあ、どっちがいいのかな?）。もう、終り? もっと書かせろよ。

橋本　治（作家）

●長編
①日出処の天子（山岸凉子）
●短編
①山本さん家の長男の場合（ひさうちみちお）
②訪問者（萩尾望都）
●80年度まんが界五大ニュース
①ぱふの内紛
●コメント
今年は、個人的にはマンガを離れた年でした。そして現実とだけつきあっていた年でした。だからマンガのベスト10には興味がありません。個人的には、ぱふのスタッフが拙宅で萩尾望都号の編集作業を進めていたことだけが、ニュースとして残ります。

日高　敏（評論家）

漫画にはそれぞれの読み方があると思います。ぼくにとっては、人気はあまり興味ありません。ただ、昨年の動向としては、少年誌で執筆陣が大きく変わり、「ビックコミック」の女性版「フオア・レディ」が登場し、漫画の世界でも、大きく時代が変わろうとしています。その意味では、今年どのような漫画が登場するかを注目しています。（自分でやった仕事を言うのは好きではありませんが、「漫画歴史大博物館」（ブロンズ社）と、幻の名作・旭太郎作／大城のぼる学「火星探険・復刻版」（晶文社）を去年の収穫としてあげておきます。）

松下則之（高校教師）

●長編
Drスランプ（鳥山明）
童　夢（大友克洋）
日出処の天子（山岸凉子）
事件屋稼業（谷口ジロー／関川夏央）
地球へ…（竹宮恵子）

●短編
田辺のつる（高野文子）
舞　茸（白土三平／一ノ関圭）
孔雀風琴（宮谷一彦）
はるかな天使たちの群（吉田秋生）
アソコの大冒険（ひさうちみちお）

●コメント
長編・短編とも、思いついたままに列挙した。順位は一切考慮していない。
長編部門、「Drスランプ」「童夢」「日出処の天子」はすぐに出たのだけれど、あと二作品にこまった。迷った末、今ボクの一番好きな作品「事件屋稼業」と、とにもかくにもラストまでダレずに描ききった「地球へ…」を選んだ。
短編部門、「田辺のつる」と「アソコの大冒険」は表現の斬新さに拍手。助演女優で唐突に芦川先生が出てくるけれど、元気との関係が、師弟から男女のそれにと変わっていくあたりが、実に良いのだよ。
新人賞は誰が新人なのかわからないのでパス。
功労賞は、大城のぼる本人よりも、出版元の晶文社に贈るべきかも知れない。
特別賞は、柔侠伝シリーズを完結させたバロン吉本に。
総じて、80年度は79年の余熱をそのままひきずってきた感じで、個性に乏しいノッペラボウの一年だった。だから五大ニュースなんて考えつかない。

宮岡蓮二（跋折羅同人）

●コメント
何編かの心に残った作品はありますが、ベスト10に投票するほどマンガ、劇画を読んでいないので、作品をあげる事は控えさせてもらいます。多分私は、現在市場に出まわるマンガ、劇画作品雑誌の何十分の一も目を通していないのではないかと思いますので、あしからず。

武庫守男（児童まんが研究家）

●長編
①Drスランプ（鳥山明）
②宮本武蔵（バロン吉元）
③日出処の天子（山岸凉子）
④ちゃんどら（いしかわじゅん）
⑤ハンティング・ドック（谷口ジロー）

●短編
①高野文子さんの作品
②訪問者（萩尾望都）
③窓の手（つげ義春）
④風の歌うたい（吉田秋生）
⑤海へ…（シュガー佐藤）

●80年度まんが界五大ニュース
①まんが雑誌の創刊相つぐ
②まんが新人賞の新増設ラッシュ
③「ドラエモン」の超人気依然続く
④″女性まんが″の台頭
⑤会話手法のまんがに活気あり。

●コメント
すべての作品にあたって、その中からベスト5を選ぶのが本当なのでしょうが、私には出来ない作業なので、①地方・地域をのみ対象とさた作品。②職域・専門分野を対象とする作品。を除いたうえで、さらに、順位などは決められるものではないと思うので、印象に残ったもの、という意味で記入させていただきました。
あまり数多くは読んでいませんが、記入しきれなかったものに、短編では、樹村みのりさんのSF。白土三平さんの神話・伝説シリーズ。柴門ふみさんの「ホワイトノート」。長編では「アリオン」「じゃりん子チエ」「ぼっけもん」「西遊記」。新人では、三山のぼるさん、川猫めぐみさん、北白川潜さん（職業まんが家）。コママンガでは、山藤章二さんの「ブラック＝アングル」、植田まさしさんの「ほんじゃらごっこ」、古川タクさんの広告漫画、関西の私鉄・阪急電車の車内マナーについてのポスター漫画などが印象に残っています。
※昭和55年8・9月号「ぱふ」の企画、一ケ月に今、まんがはこんなに出ているのだ！の中で、「少年まんが・青年まんが編」と「少女まんが編」に分けておられましたが、「少女まんが編」の方は、実体として「少女まんが」と「女性まんが」にすでに分かれていると思うのですが、いかがなものでしょう。右記の中で、″女性まんが″の胎頭、とあるのは、実体として書いた次第です。些細なことですが一言。

アウト

●長編
①日出処の天子（山岸凉子）
②つれていって（三原順）
③すくらっぷブック（小山田いく）
④バラの進さま（とり・みき）
⑤気分はもう戦争（大友克洋）

●短編
①人間ごっこ（吾妻ひでお）
②伝　説（水樹和佳）
③恐怖の甘いもの一家（山岸凉子）
④FLIGHT（樹村みのり）
⑤りぼんに秋頃に載った作品（清原なつの）

●80年度まんが界三小ニュース
①ALLAN発刊
②アニパロまんがOUTで評判
③米沢嘉博OUTに連載

●コメント
個々に印象に残る作品は多いけれど、何の年とは言いにくかった様に思います。そろそろ、一つの作品や作家、あるいは傾向で無理やりまとめあげるのが無理な状勢になってきたようです。考えてみれば、これが当然なのではないでしょうか。実にいい事だと思います。
ニュースは、誰も書いてくれないだろうから、自分で書きました。これも又、まんが界でおこったことの一つには違いないでしょう。（こんなことを書くから、やっぱりOUTだと言われるのですね。でもいいのだ）

ブロンズ社（有山　博）

●長編
①白　熱（広口広美）
②海辺のカイン（樹村みのり）
③童　夢（大友克洋）
④おんなの街（石井　隆）
⑤夢みる惑星より（佐藤史生）

●短編
①メデュウサ他（山岸凉子）
②あぜみちロードにセクシーねえちゃん他（高野文子）
③ざくろ他（近藤よう子）
④ヨセフ他（ひさうちみちお）
⑤笛（菅野修）

●80年度まんが界五大ニュース
①山岸凉子の諸作。これは事件です。
②けいせい出版、擴済堂、奇想天外社・情報センター出版局etcの意欲的単行本。
③漫金超・漫画想天外・ギャルコミデラックス・jcの創刊・充実。
④〃三流〃劇画誌の低迷。
⑤ブロンズ社がつぶれずに真崎守選集20巻が完結した。

●コメント
・「走る！」「白熱」「社会的責任」と駆けつづける平口さんはオソロシイほど。高取英さんが前に書いたことがあるけど、漫画界でのドストエフスキーになりうるかもしれないと思わせるものがあります。樹村さん、大友さん、石井さんは実力のほどを思いしらされます。山岸さんの「日出処の天子」は、読みおとしている号が多いので今回はパス。
・短編作は、作品名よりも作者名で記してみたい気がします。山岸さん、高野さん、近藤さん、ひさうちさんなどは新作を読むたびに感心しています。菅野さんも、次々と描いていますが、これは、はっきりと「笛」が一番と言えるように思えます。五人の他にも、蛭田能収「地獄に堕ちた教師ども」いつきたかし「キズナ」、元木りょう「ゼンマイじかけの夜」、永井トマト「幸子だいぶマイウェイ」しん・あきら「少年期」、茂谷いずみ「事故」、宮西計三「ペンタメロン」などが印象に残っています。
・新人賞は（実は誰が80年の新人なのかよくわかりませんので）『ヤングマガジン・スペシャル』から伊藤さん。『漫画新批評体系』のたむろ未知さん。「THREE WAY St.」も、このあと主人公ルーカスが、どんなブルースを聞かせてくれるのか楽しみです。
・特別功労賞は、ブロンズ社「漫画歴史大博物館」の編纂、晶文社「火星探険」復刻に骨折られた日高氏に。並の努力でできることではありません。
・特別賞は（その他と思って）、『漫画少年』連載の「なんだなんだなんだ」のみなもとさん。

青林堂

●長編
①こくう物語（鈴木翁二）
②幻想の明治（高信太郎）
③快傑　気楼（谷弘児）
④じゃりン子チエ（はるき悦巳）

●短編
①THE ROBOTS（渡辺和博）
②真夏の放課後（峰岸達）
③風流壺くらべ（菅野修）
④窓の手（つげ義春）
⑤海蛇と北斗七星（つりたくにこ）

●80年度まんが界五大ニュース
〃サロメの唇〃限定版完成
〃虫の標本箱4〃ついに完成
たむらしげる読売漫画賞受賞
白夜書房より〃谷岡ヤスジのギャグトピア〃という、ぶ厚い本を快挙発行！！

天井桟敷

●長編
①じゃリン子チエ（はるき悦巳）
②がんばれ元気（小山ゆう）
③地球へ…（竹宮恵子）
④パタリロ（魔夜峰央）
⑤日出処の天子（山岸凉子）

●短編
①綿の国星シリーズ（大島弓子）
②蘇州夜曲（森川久美）
③メッシュシリーズ（萩尾望都）

●80年度まんが界五大ニュース
①ＢＩＧコミックフオアレディのためのＢ倍の駅の広告ポスター
②「地球へ…」の映画化
③元気と関の対決
④「アトム」のカラー放映

●コメント
少女マンガ界のめざましい発展ぶりにひきずりまわされ、少年マンガでがんばったのは、「じゃりん子チエ」と少年サンデーグループだけ。いったい誰が新人なのかわからんほど、少年マガジンはめちゃくちゃ。少年ジャンプは「Ｄｒスランプ」など、がんばっている様子。

竹宮恵子が、がんばってついに「風と木の詩」を季刊誌にまわし、「アンドロメダ・ストーリーズ」で月刊で描き、じっくりと「風と木」を描いてくれそう。本当は「変奏曲」をつづけてほしいのだが……。

とにかく、休む暇ないほど少女マンガがおもしろい！

パタリロ・横須賀ロビンとめちゃくちゃおもしろいのでこまってしまう。大和の「キラ─キラ─」の文庫もやっと出おわった。

山岸凉子がやっとたちなおってくれてうれしい。

森川久美がうまくなってくれればいいのだが……。

弓子は綿の国星シリーズを早くきりあげてほしい。

望都ももう少しがんばってほしい。

ビックリハウス編集部（巣山邦子）

●長編
①ハイティーン・ブギ（牧野和子）
②じゃリン子チエ（はるき悦巳）
③すくうるでいず（美村あきの）
④伊賀のカバ丸（忘れちゃった）
⑤博多っ子純情（長谷川法世）

●コメント
今年（80年）も、殆どのマンガ本を買いあさりましたが、心に残った短編っていうのは皆無です。同じ顔、同じストーリー、最悪にも同じストーリーのものまであるのでした。

長編では、やはり長いことやるだけあって、おもしろいということ、これがなくちゃ毎月買わないよ、ってのが多いですね──。

パスが多くてゴメンナサイ。

〝まんが界〟などといわれると、ちょっとイジワルしたくなっちゃうかんじね。そんな気ばって読んでないもん。単なる人気投票の方が、ほいほい協力したくなる。そういうとらえ方する私は異常なのかな。でも、まんがが大好きです。

これからも、がんばってください。

チャンネルゼロ（村上知彦）

●長編
①気分はもう戦争（矢作俊彦／大友克洋）
②空の色ににている（内田善美）
③Ｄｒスランプ（鳥山明）
④事件屋稼業（関川夏央／谷口ジロー）
⑤ヒューイ・デューイ物語（坂田靖子）

●短編
①午前10：00の家鴨（高野文子）
②風の歌うたい（吉田秋生）
③陽気な魔女たち（森脇真末未）
④どろろん忍者（吾妻ひでお）
⑤政変（いしいひさいち）

●80年度まんが界五大ニュース
①1月19日株式会社チャンネルゼロ堂々発足
②5月17日漫金超創刊号四カ月遅れで堂々完成
③同日、創刊記念パーティ挙行
④11月19日漫金超二号三カ月遅れで堂々完成
⑤山口百恵結婚・引退

●コメント
長編で未定のもの（読切りを除く）は選考対象からはずしました。バランス中心に選んだ、多分に恣意的なベスト5です。

〈長編〉①はダディ・グースの復活に祝福をこめて。
②こんな作品が漫金超に欲しい！というくやしさ。
③30年代少年まんがの復活？
④と短編④は、休刊した「漫画ギャング」へのレクイエムとして。
⑤は恒例のサカタヤスコさんです。

〈短編〉①高野文子のラブ・ストーリー。
②「はるかな天使たちの群れ」もすてがたいが、作品としてのまとまりはこちら。
③「緑茶夢」はもちろん傑作だけど、こんな小品も捨てがたい。
④忍者がかわいい。なんとなく実験的なのもよい。
⑤80年最大の問題作。ヒロオカの河本がなんともそっくりでおかしい。

読者のアンケート 二

●長編作品
①日出処の天子（山岸凉子）
②エロイカより愛をこめて（青池保子）
③すすめパイレーツ（江口寿史）
④地球へ…（竹宮恵子）
⑤青春エスプリシリーズ（倉多江美）

●短編作品
①レディギネヴィア（名香智子）
②浪漫薔薇（ロマン・ローズ）（倉多江美）
③ZII（青池保子）
④訪問者（萩尾望都）
⑤遙かなり夢のかなた（竹宮恵子）

●主演男優
クラウス・ハインツ・フオン・エーベルバッハ少佐（エロイカより愛をこめて）

●主演女優
ヴアレンチーノ（ヴァレンチーノシリーズ）

●助演男優
Mr・ジェイムズ（エロイカより愛をこめて）

●助演女優
なし

●新人賞
眉村千恵子（ふりむいてギャルソン）

一九八〇年はいまだに輝いて見える年だった。一九八一年はもっと輝く年にしたいが。

ベスト10を見て、私をミーハーだとは思わないでほしい。実のところ、それだけこの人たちがすごかったのだから。

特に名香智子の変身はショッキングだった。「緑の誘惑」から続いて「レディ・ギネヴィア」を読んで時には、私の名香智子に対する偏見はふっとんでしまった。

又、山岸凉子も、私の感覚を一八〇度ひっくり返してしまった人の一人だ。短編の時には多少とっつきにくい人ではあったのだが、それだけでなく、長編作品の中にあれだけの緊張感を持続させる力量には感服してしまう。

竹宮恵子に関しては、まだ偏見を捨てきれずにいるけれども、「遙かなり夢のかなたに」は文句なくベスト10にランクされてよい作品だと思う。それは、ブラアン・オールディスの作品を世界を思い起こさせる。

「浪漫薔薇」「ZII」もすばらしきハード・ロマンの香り高い逸品だった。

新人では、文句なく眉村千恵子にとどめをさす。できればベスト10に入れたかったくらいだが、前記のように、ベテランたちの活躍は上位独占を動かしがたいものにしてしまった。

ただひとつ残念だと思うのは、大友克洋の「気分はもう戦争」を読んでいないことだ。おそらくは、長編・短編のいずれかにランクされるべき作品であろうが、今はその判別さえおぼつかない。

横浜市鶴見区北寺尾1−10−13　高島勝敬　27才

●長編作品
①伝説（水樹和佳）
②伊賀野カバ丸（亜月裕）
③日出処の天子（山岸凉子）
④Dr・スランプ（鳥山明）
⑤黒のもんもん組（猫十字社）

●短編作品
①田辺のつる（高野文子）
②童夢（大友克洋）
③2年4組転入生の乱（成田美名子）

SALAD BOWL CITY
SALAD BOWL CITY
WHERE ARE YOU STAYING
CAN'T YOU HERE ME CALLIN' YOU
COME BACK,
COME BACK TO
THE SALAD BOWL
CITY

新人賞 20位
星崎真紀「サラダ・ボウル・シティ」
LaLa 掲載

④訪問者（萩尾望都）
⑤こうして私はSFした
（吾妻ひでお）
●主演男優
伊賀野カバ丸（伊賀野カバ丸）
●主演女優
ファーラ（惑星ギャラカ）
●助演男優
ヘモ子（贋作ひでお八犬伝）
●助演女優
ロード・レオン（超人ロック）
●新人賞
鳥山　明

長編・短編共に、一位は文句なし。本当に今年も生きてきてよかったと思わせてくれた。有難う。

こうして見ると、長編は、文句なく楽しませてくれる作品、短編は完成度の高い作品が上位に並んだ。これは、短編は、作品の数が多く、競争が激しかった為だろう。「田辺のつる」で、高野文子は、この世界とは全く別の世界を造りだした。その切り口は、現在をそのまま包みこむような大きさを持っている為、現在がその中へ投射されるのだ。その意見で彼女の作品はSF的である。これからどこへ行くのだろう。ドストエフスキー的作家へと変貌していくのだろうか。

5位の吾妻ひでおは、文章を書こうという気を失くさせた。「伝説」で、水樹和佳は、SF作家がやりたかった事を実行してしまった。星野之宣の「サージャント」石川じゅん「至福の街」も入れたかったが、それだけレベルが高かったのだろう。

とにかく、今年もSFマンガの年だった。しかし、長編で読ませる人が減ったようだ。とくに、少年マンガ皆、何をしておるんじゃ。

大阪市生野区鶴橋5−10−13
猪谷義継　24才

●長編作品
①ファントム無頼（新谷かおる）
②エリア88（新谷かおる）
③Drスランプ（鳥山明）
④バジル氏の優雅な生活シリーズ（坂田靖子）
⑤蘇州夜曲（森川久美）
●短編作品
①ZⅡ（青池保子）
②遙かなり夢のかなた（竹宮恵子）
③三番目の季節（さべあ・のま）
④そばが好き（夢野一子）
⑤秋に行く（長広洋子）
●主演男優
神田鉄雄（ファントム無頼）
●主演女優
のりまきあられ（Drスランプ）
●助演男優
栗原広美（ファントム無頼）
●助演女優
なし
●新人賞
さべあのま（高野文子）

なんといっても、新谷かおる、であります。まんがを読んでいて、これはすごい、これはうまい、と思う作品と、これはおもしろい、これは好きだ、と思う作品のふたつの感じ方がありますが、新谷氏の作品は後者にあたり、無条件に「好き!!」と言えるまんがであります。

さて航空ファンの私としては、新谷かおるはジェット機の描けるただ一人のまんが家ではないか？　と思っているのです。きちっとした、どことなくひよわそうに描かれたジェット機は、ひよわであり、また荒々しい面を持つジェット機をよく描いていると思います。また、新谷氏の作品の主人公の男たちが、美形だったり、ひよわな感じのする人が多いのも、ジェットにふさわしい気がしますね。

プロペラ機ならば、松本零士氏の描くところのぶよぶよしたじゃがいもみたいなおにーさんが、根性めいっぱあに飛ばしているほうがいいと思いますが、ジェット機は、新谷氏の美青年が、スマートに飛ばしているほうが、ジェット機らしいと思いますね。

京都市上京区烏丸通寺ノ内上八相国寺西門前町647−1　永井真　23才

●長編作品
①P・S元気です俊平（柴門ふみ）
②うる星やつら（高橋留美子）
③龍一くんライブ（神戸さとみ）
④久美と守男のラブメロディーシリーズ（高口里純）
⑤れもんカンパニー（吉田まゆみ）
●短編作品
①冬の空と雪の白（ひかわきょうこ）
②ふうふ（高橋留美子）
③毛糸玉童話（めるへんめーかー）
④2年4組その逆襲（成田美名子）
⑤黄昏色ろまん（めるへんめーかー）
●主演男優
俊平（P・S元気です、俊平）
●主演女優
ラム（うる星やつら）
●助演男優
和田君（冬の空と雪の色）
●助演女優
桃子（P・S元気です、俊平）
●新人賞
岡崎つぐお（ただいま授業中）

なるべく偏りのないようにしようと思っていたのに、ひどい集中のしかたとなってしまった。しかしめげずにいきます。まず一位の柴門ふみ。死んでもこれは動かさんぞ　キャラクターの方を見てもわかるように、ぞっこんなんだから。あのつまらんヤングマガジンを毎回買っているのは、このためだけなんですねん。だいたい「桃子」なる女の、ふてぶてしくかわいい雰囲気がよろしい。彼女はいい女だよ〜。すごいもんで、私、この作品の中では、自分の感情を作品に移入して読んでしまう。この作品に関しては、欠点もよく見えてくるから、ほとんど冷静な評価ができないと思われまする。柴門ふみ女史は、少女まんが家であろうが、青年誌にのせる活力がすごい。

次に高橋留美子ですが、メチャクチャなところが好きなんだけど、近ごろ好きな所がふえまして、愛読者ならわかるだろうが、ギャグの連続から、一瞬、シリアスになったり、かわいくなってみたりする所があるんですよ。すると話が非常にしんみりきまして、その時の作品は、みんないい出来になっているように私は思うのですが、「ふうふ」などまったくその通りであられるのよ。

三番目はひかわきょうこにいきます。まず第一に絵が好き。特にヒロインがかわいい。ほとんどあれだけかわいく描ける人なんぞ、他にいるかしら？　和田君&ゆき子はとくに、男も女もかわいいから、特に一番にした。いいかね、ミーハーといわれようと、男がひかわきょうこを読んでる、とあざけられようと、好きなものは好きなの。

次に成田美名子。ひかわきょうことともに絵がかわいい。「二年四組」を

出したのは、日本人が主人公をあったため。シリアスとギャグのまじっている人は、私の場合一番性にあっとります。
次に「れもんカンパニー」についてですが、これは、軽薄なタッチが好きな理由となろうか。男がヌボーってしてるんだもん。
最後に「龍一くんライブ」ですが、これは、最近少年キングに連載されはじめた（ヘキ地やのう）作品で、知らん人が多いと思うけど、いいと思う。完全に少女まんがになっている所がいい所といえる。だいたい「とんだかっぷる」なんぞ少女趣味的少年まんがなんですよ。新人賞は、あえて岡崎つぐおをおしておきます。軽薄といわれようとかまわんの。絵がかわいいから。こうしてみると、自分の選ぶ基準が、絵のかわいさによってであるということに気づいてしまった。
もうスペースがないので、今年のフユカイまんが、1ズウ2胸さわぎの放おかつ鼻につく話であること。ほんともう、青春、セイシュン、せいしゅんで、たまらんわい。
新しい紙がきたので続けます。めるへんめーかーさんは、ついこのごろ本が出たわけですが、どれもおもしろい。普通のマンガとタッチがとっても違う。すごく上手な絵だと思う。今年発表されたものがわかっていれば、もっとたくさん入れたかった。もうひとつは高口里純だけど、僕自身としては、トロピカル半次郎より、こっちの森男と久課後3山崎銀二郎4青春-番5翔んだカップル6OH！タカラヅカ。フユカイまんがの条件は、ある程度人気があり、わりと絵が上手で、わかりやすい内容でなければならない。それでな

美シリーズのほうがよろしい。最初に久美の眼とまつげに低抗があったが、すぐ忘れた。特に「うわさのリップステック」という章は、一番面白かった。発想がかわいいよ。ほんと。
別口ながら作家別の順位をつけると5位高口里純4位めるへんめーかー3位高橋留美子2位ひかわきょうこ1位柴門ふみ、ということに相成ります。ひかわきょうこの「白い窓の向こう側」は、二位ぐらいにしてよかった。おくれた自分がアホだった。あーそんした。「れもんカンパニー」はおわりが気にくわん。高橋留美子にシリアスが描けるだろうか？ できるならやってほしい。めるへんめーかーさん、連載するのはできないかね？ ところで順位にあげなかったがおもしろかったもの「ハイティーンブギ」（牧野和子）「みゆき」「日あたり良好」（あだち充）「ドロファイター」（村上もとか）「伊賀野カバ丸」（亜月裕）など。あと、雑誌としては、少年サンデーとララと花とゆめというところでしょうか？ 去年とあまりかわりません。
最後にキャラクターの順位、一位桃子、二位ゆき子（ひかわきょうこ）三位ラム、四位聖子（白い窓の向こう側）五位久美。
男では、一位俊平、二位矢野義人（白い窓の向こう側）三位和田君、四位あたる、五位森男、でした。
ベストテンは、あそびです。これに意義を見い出そうとしてとやかく言うのは、アホのやること。ミーハーでも、マニアぶっても、どちらでも好きな方で、自分の好きなまんがを投票して一喜一憂すべきと思いますな。

川崎市高津区二子515
白井純孝 17才

●長編作品
①綿の国星（大島弓子）、
②いらかの波（河あきら）
③いつもポケットにショパン（くらもちふさこ）
④伊賀野カバ丸（亜月裕）
⑤1・2の三四郎（小林まこと）
●短編作品
①雛菊物語（大島弓子）
②ワイルド7外伝・優しい鷲（望月三起也）
③はえかぶり姫（大島弓子・青池保子・おおやちき・樹村みのり）
④エンドレス・ラブソング（多田かおる）
⑤伝　説（水樹和佳）
●主優男優
デューク東郷（ゴルゴ13）
●主演女優
江藤茜（いらかの波）
●助演男優
ラフィエル（綿の国星）
●助演女優
キャラウェイ（綿の国星・八十八夜）

俺は、少年漫画なら「ジャンプ」「サンデー」「マガジン」、少女漫画なら「ララ」「別冊マーガレット」ぐらいしか読まないので、選ぶにしてもその中からになってしまう。「綿の国星」を今年も一位にしたのは、俺が大島さんの大ファンだということもあるが、なんといっても「八十八夜」と雛菊夜」に泣かされた。大島さんはやはり、少女漫画界の奇跡だ。「いらかの波」の終わり方はど-もくさい。何やら続編の匂いがしてならぬ。「いつもポケットにショパン」、なんとなく感動してしまう。この〃なんとなく〃がくせものなんだな。才能あるんだと思う。それにしてもタコ焼き少年はおかしかった。「カバ丸」を知らないなんて人はどうかしている。笑わずにあれ読める人に会ってみたい。「三四郎」もまったく同じこと言える。「雛菊物語」って俺、ほんとうはよくわからなかったんだけど、他ならぬ大島さんの漫画だから一位にした。よくないね、こういう態度。それにしてもイントロはちょっと印象深かった。「エンドレス・ラブソング」の恵美ちゃんは最高だった。キャラウェイがいなければ助演女優賞をくれてやりたい。「ワイルド7」の外伝はもうないのだろうか。もう飛葉には会えないのだろうか。
最近「ゴルゴ13」がけなされまくっているが悲しい。男はなんた、て飛葉大陸かデューク東郷か王貞治だよ。飛葉も王も現役を引退した今、文字通り一匹狼としてがんばっているデューク東郷に主演男優賞をやりたい。ところでデューク東郷って「カバ丸」読んでも笑わないと思います？ 皆さん。
長編部門に関しては他にも好きなのはいっぱいあって、ざっとあげれば「山崎銀次郎」「テニスボーイ」「うる星やつら」「男大空」「日出処の天子」「愛のアランフェス」「セッチシリーズ」「ダイスをころがせ」「セッチシリーズ」「じゃりン子チエ」「土佐の一本釣り」「俺の空」「ガッツ乱平」「白い窓の向こう側」「カリフォルニア物語」「れもん白書」「エロイカより愛をこめて」「生徒諸君!!」「メッシュ」なもんで、どれもこれもみなかわいい。俺は残念ながら「訪問者」を読んでないけど、読んでいればきっと選んだだろう。でも「トーマの心臓」のあの驚異的な支持率からすれば、短

編部門のベスト1は決まったような気がしないでもない。大島さんの〝すいーん星旅行記」は、あれはやはり漫画とは言わないんだろうな。もし漫画だとみなされるなら、皆がそう判断するなら、「訪問者」の一位もちょっとあぶない。もっとも、あれに感動する人は、あれを漫画とは呼びはしないような気もするけど。とはいえ点をやりたくなるような気持ちもわかるし……俺なんか完璧なミーちゃんハーちゃんだから、彼女の作品に関しては、正統な評価できなくなってるみたい。

板橋区氷川町5－1野口ビル501号
内山淳平　20才

●長編作品
①愛のアランフェス（槇村さとる）
②超人ロック（聖　悠紀）
③アルトの声の少女（篠有紀子）
④パタリロ〝スターダスト〟（魔夜峰央）
⑤いらかの波（河あきら）

●短編作品
①枯葉の街（柴田昌弘）
②第三の娘（柴田昌弘）
③ペアペアライザー（聖悠紀）
④この子野良ねこ（沖倉利津子）
⑤訪問者（萩尾望都）

●主演男優
ロック（超人ロック）

●主演女優
森川亜季実（愛のアランフェス）

●助演男優
ヤマキ長官（超人ロック）

●助演女優
姫川あゆみ（愛のアランフェス）

●新人賞
レダ（未来都市バラン）

なんといっても柴田昌弘。なんでこんなすごいマンガ家があんまり騒がれないんであろうか（あまり騒がれるのも考えものだが）、今年はまさに素晴らしい年、柴田SF初のコミックスは出るわ、「タロン・闇に舞う鷹」以来とだえていた紅い牙の新作「コンクリートパニック」はでるは、でもう大変。あ！　そういえばコミックスは、三世社から「狼少女ラン」が出たっけ。本当はこっちが初のSFコミックスだったなあ。忘れていた。しかしこのコミックス、一番大事な第1作がぬけていたのでがっかり。突然定価（九八〇円）が高く感じた。

短編作「枯葉の街」は、世の中自動車問題のまっただ中、この作品タイムリーなだけではなく、ひねってます。とのひねり具合がなんともいい。「第三の娘」と続けて読むと、思惟の流れもつかめる感じで（作者の）おすすめする。

最後に、個人の好みと世の中のブームに影響され、SF中心になったことをおわびします。あしからず。

乱筆乱文につき御容赦。

大分県津久美市中田引地
五十川享　18才

柴田昌弘「グリーン・ブラッド」
少年少女SFマンガ競作大全集（東京三世社）掲載

●長編作品
①緑茶夢（森脇真末味）
②カリフオルニア物語（吉田秋生）
③下北なあなイズム（石坂啓）
④童　夢（大友克洋）
⑤じゃりン子チエ（はるき悦己）

●短編作品
①訪問者（萩尾望都）
②田辺のつる（高野文子）
③あぜみちロードにセクシーねえちゃん（高野文子）
④絆（坂口　尚）
⑤金曜の夜の集会（萩尾望都）

●主演男優
吾妻ひでお（多数）

●主演女優
竹本チエ（じゃりン子チエ）

●助演男優
岡本部長刑事（童夢）

●助演女優
島津秋緒（下北なあなイズム）

●新人賞
高野文子・鳥山　明

長編のほうから。

1位＝「ドラムス」がなんといってもシリーズのなかでは印象に残る。確かなメッセージをどんどん送り続けている。

2位＝吉田さんは「はるかな天使たちの群れ」とか「風のうたうたい」等、彼女の描く世界と絵柄のフンイキがまさにピッタリ。

3位以下は個人感情の差。でも今年もやっぱり女性が一位（少女マンガ）になってしまった。思うに、今のマンガは逆傾向で人気がある作品が結構多い。今年の1・2位なんて、少年マンガにあってもたいして異和感がないような（個人差による）もんだと僕は思うわけ。なんたっていまだに『翔んだカップル」の連載が続いているくらいだから。そんな中にあって「チエちゃん」の個性は目立つ。今年も主演女優をとってネ。

では短編です。

1位＝絶対これが80年代の望都さんから、読者に送られた最高のプレゼント、と言っても言い過ぎじゃないでしょう。その他「ラーギニー」「メッシュ」ろーむ。さすがにのめり込んでしまった、再び。

そして、高野文子。この人は選ぶのに困った。作品そのものが「マンガ」だった。その新しさ。驚きがあった。内容では際だっていた人。坂口さんは特集もあったし、特にここ2～3年の活躍ぶりはうれしいです。作品では選べなかったけど、今年一番おもしろかったのが、ひさうちみちお。何たって笑っちゃう。読ませる。見せる。ネタが尽きないからアキルことがない。あ、それから星野之宣もよかった。毎度、完成度の高い作品を読ませてくれた。

そいでもって真打ちが吾妻ひでお。描き手が狂うか、読み手が狂うか、というところ。とにかくやたら作者が主人公として登場し、その欲望を満たそうというはかない努力がいっそう泣きを誘う（冗談とも本音とも思えない）。その狂気と純粋さでもって吾妻さんを「主演男優」に選ぶものとします。オスカーには『オスカー賞」やれ！

昭和55年11月28日金曜日午後11時

愛知県小牧市小松寺1491－8住宅3－102
森安彦　19才

●長編作品
①日出処の天子（山岸凉子）
②アリオン（安彦良和）

③がんばれ元気（小山ゆう）
④綿の国星（大島弓子）
⑤緑茶夢シリーズ（森脇真末味）
●短編作品
①Someday…flying（さべあのま）
②アネサとオジ（高野文子）
③3丁目のサテンドール（清原なつの）
④アカプルコ・ゴールド（吉田秋生）
⑤やさしく奪って（山田双葉）
●主演男優
伊賀野カバ丸（伊賀野カバ丸）
●主演女優
ヴァレンチーノ（ヴァレンチーノ・シリーズ）
●助演男優
あじまひでお（もろもろの作品において）
●助演女優
島津秋緒（下北なあなイズム）
●新人賞
Drスランプ（鳥山　明）

・「日出処の天子」にやっぱきまりですな。これを抜く作品はちょっとないと思う。11月号でも扉絵よかったって書いていた人いるけど、それ云えてる。扉絵のすごさ、センスの良さって点では大友さんと山岸さんの右に出る人ちょっといない。扉絵をひとつの作品として描いてしまえる人は、作品自体も描けてしまえるのだなあ。（あっ逆か）
・「アリオン」は云うことなし。（良い意味で）
・「がんばれ元気」は43号の57〜60ページの芦川先生の描き方にすごさを感じた。
・「綿の国星」、本当は「日曜日にリンス」頃からパワーが落ちてるんだけど、僕は今年になって初めてこれに接したんだよね。
・「緑茶夢」シリーズ、もっと彼らを見ていたかった。
・「Someday…flying」これ手元にないんだけど、短編って云ってパッと思い浮かんだのがこれだった。
・「アネサとオジ」、文子さんの作品もっとよい作品あったけど、これ一番おもしろかった。
・「3丁目のサテンドール」。うん、これはよかった。ギャグの中に隠された真理。レスとレースによる比喩。登場人物の位置関係。大五郎さんも親から脱っし切ってはいなかったんですね。やっぱ、親子は親子なんだよね。
・「アカプルコ・ゴールド」。キューピー3分ファッキング、このフレーズに拍手。
・「やさしく奪って」。山田双葉の発見は今年の収穫でした。

千葉県船橋市本町1−21−19　古宮孝志　19才

●長編作品
①すくろるでいず（美村あきの）
②れもんカンパニー（吉田まゆみ）
③きらら星の大予言（あさぎり夕）
④翔べ!!心（三浦浩子）
⑤やさしさエンドレス（藤田和子）
●短編作品
①6月・雨の降る街から（岩館真理子）
②8月・銀河に向けて（岩館真理子）
③2年4組転入生の乱（成田美名子）
④3丁目のサテンドール（清原なつの）
⑤サマークラッシュ（谷地恵美子）
●主演男優賞
諸星あたる（うる星やつら）
●主演女優賞
富永乃里子（れもんカンパニー）
●助演男優賞
美樹本伸（陽あたり良好）
●助演女優賞
野々宮浅黄（空の色ににている）
●新人賞
谷地恵美子（スエ&葉ストーリー）

おそらく僕の選んだベスト10を見たら、ぱふの読者は「アホか〜」なんてけなすでしょうな。なにしろ「超」メジャーなマンガばっかりだから。やっぱり、順当だったら『童夢』や『日出処の天子』『雛菊物語』なんかが上位だよね。もちろん僕もこういった目玉作品はのがさず読んで、ひどく圧倒されましたよ。その点で言えば、僕もマイナー志向で、ニューウェーブ風の作品も好きなんだよね。でも僕がもっと好きなのは、そういった話題の大作を読んで「ガーン」ときた後に読んで、「ホッ」と息がぬけるというか、安心できる作品なんだ。たぶん体質というか、性格からかも知れないけど、こういった作品の主人公の方が、感情移入がしやすくて、思わず胸が「きゅん」となっちゃうことも多々あるんだ。
そこで作品について。えっと、まず長編だけど、『すくろるでいず』は、読んでて一番たくさん胸が「きゅん」てなった作品。（なんか女の子みたいだなア）『れもんカンパニー』は、ノンに敬意を表して二位。『きらら星の大予言』（この作品を読んだことのある人、ぱふの読者にいないだろうなア）は、絵がかわいいから。（単純明快）『翔べ!!心』は、絵もストーリーも、なんとなくさわやかで好きな作品。『やさしさエンドレス』は、エミーが委員長にふられた時、泣けたので。
次に短編。岩館先生の二作品は、くり子さんの性格が非常に気に入ったので。『2年4組転入生の乱』は、真由美ちゃんがかわいいので。（続編は、真由美ちゃんが正明とくっついたので落選）『3丁目のサテンドール』は、もんくなしにおもしろかったから。『サマークラッシュ』は、谷地さんに入れたかったので。
新人賞では、谷地さんと、森脇真末味さんと、岡崎つぐおさんの三人で迷いましたが、スエちゃんが気に入ったので谷地さんに決定。
まあ、今年もマンガマンガの一年でした。（ところで、大友克洋さんの『饅頭こわい』も、マンガなんだろうか。）

大阪府岸和田市額原町271−7　石田茂　18才

●長編作品
①こくう物語（鈴木翁二）
②孔雀風琴（宮谷一彦）
③神話伝説シリーズ（白土三平）
④薩摩義士伝（平田弘史）
⑤怪人アッカーマン（新田たつお）
●短編作品
①落　差（高山和雄）
②窓の手（つげ義春）
③煙が目にしみる（北見けんいち）
④カンデレ（水木しげる）
⑤悪夢を犯せ（いつきたかし）
●主演男優
ヤケアトの男（窓の手）
●主演女優
名美（おんなの街etc）
●助演男優
平吉（こくう物語）
●助演女優

かれん（こくろ物語）

●新人賞

高山和雄・いつきたかし

矢張、今年も「ガロ」が、主流になってしまった。「ガロ」、如何に無視されようと、面白いし素晴しい。作品にムラのある号もある。しかし、その中で「こくろ物語」は、傑出している。翁二先生の、水木的部分と、つげ的部分、さらには永島的部分が素晴らしくミックスされ、その上、翁二独特の個性が明確に打ち出されていた作品だった。

高山和雄の「落差」は、久々に打たれた作品だった。これこそ、実存に対する問、或いは答とも言える作品であった。高山の他の作品（「未知」etcがある）に比べて、これが一番実存というものを表現していた。

「窓の手」は、戦後を集体成した見事な作品だった。つげ先生は、「外のふくらみ」で、70年代の状況というものを、実に明解に表現していただけあって、その表現力、作品力というものは、只々頭の下がる思いである。

長編の次点として、「寄席芸人」を推したい。

最後に一言、白土先生、早く速く、「カムイ伝第二部」を。70年代最大の積み残しといえるこの作品を、早く書いて下さい。つげ先生も頑張り始めているのですから……。

横浜市保土ケ谷区岡沢町3大津アパート3号室　斎藤真一郎　19才

●長編作品

①空の色ににている（内田善美）
②メッシュ（萩尾望都）
③気まぐれ四銃士（川原由美子）
④緑茶夢（森脇真末味）
⑤とっておきの▲BC（愛田真夕美）

●短編作品

①千姫調スプリングタイム（渡辺多恵子）
②サンセット（樹なつみ）
③今は静かな（三原　順）
④風の歌うたい（吉田秋生）
⑤ヒッチハイク（風間すずめ）

●主演男優

メッシュ（メッシュ）

●主演女優

アンリエッタ（気まぐれ四銃士）

●助演男優

グスタフ・ライザー（訪問者）

●助演女優

島津秋緒（下北なあなあイズム）

●新人賞

渡辺多恵子

「空の色ににている」がスゴかった。ちの絵といい、セリフといい、もう本当に何も言えなくなってしまう。「ひぐらしの森」以来何をしているのだろうと思っていたら、期待することさえできなかったような作品をつきつけられてしまった。水樹さんの「樹魔」にしろ、ぶーけに何が起こったんだろう。

それから、渡辺多恵子。近ごろサエない別コミで、ひとり光っている。「たて・よこ・ななめ」みたいなコメディもいいし、「千姫調スプリングタイム」や「聖者たちのてっぺん」のように、ちょっとシリアスなのもいい。期待の新人。

新人といえば、コロネットの長岡良子さんがわりとイケる。ただ、ストーリーが古いパターンばかりなのが気になるが。それからもう一人、週コミの麻原いつみさん。「ウイズアウトユー」なんか実に良かった。タイトルのつけ方がしゃれてるんですよね。それと、新人ではないけど（それとも新人なのかな、よく知らない）風間すずめ。この人はミミに描いているから、ぱふではウケないでしょうが、「ヒッチハイク」はちょいといい話です。

京都市左京区岩倉花園町403花園ハイツ　奥まさる　20才

●長編作品

①日出処の天子（山岸凉子）
②童　夢（大友克洋）
③いつもポケットにショパン（くらもちふさこ）
④夢みる惑星より（佐藤史生）
⑤ドカチンの詩シリーズ（海老沢佳弘）

●短編作品

①田辺のつる（高野文子）
②蜃気楼（坂口　尚）
③うらがえしの黒い猫（高野文子）
④LA　PLANET（奥平衣良）
⑤海のほとりの王国で…（水樹和佳）

●主演男優

厩戸王子（日出処の天子）

●主演女優

田辺つる（田辺のつる）

●助演男優

津幡大五郎（3丁目のサテンドール）

●助演女優

田辺るりか（田辺のつる）

●新人賞

盆子屋敦（からす）

☆田辺のつる→高野文子、来たるべき老人問題を描く。いや、少女問題かな？

☆蜃気楼→絵の表現力が感動的。未完の名作「闇の箱」も完成させてもらいたい。

☆うらがえしの黒い猫→「静まりかえった暗やみの中でシーツの音は〃さようさよう〃と聞こえるような気がする」……いいなあ。本当にいいよ。ものすごく詩的だ。まったくステキだ。

☆LA　PLANET→読むのがオックーだ、イライラする。なぜ、この作品を選んだのか？　別に意味なんてないんだ！　意味なんて。「機械が感情を滅ぼすだろうか、それとも感情が機械を滅ぼすだろうか」……この問題は、一八七二年に、イギリスの小説家サムエル・バトラーが、その小説『エレホン』の中で、言い出した問題だと言われている。

☆日出処の天子→初期と最近とでは、厩戸皇子の顔が少し違っている。ウワサによると、物の本に、聖徳太子は最後に天馬に乗って昇天したと書かれているらしい。本当の話なのかなあ？

☆童夢→衝撃力。

☆いつもポケットにショパン→くらもちふさこは80年に、年令25才のはずだ。25才といえば、山岸凉子は「アラベスク」、大島弓子は「ミモザ館でつかまえて」、萩尾望都は「トーマの心臓」を描いていた年頃だ。そういえば、80年『りぼん』は創刊25周年だった。……関係ないか。

☆夢みる惑星より→この作品は、本当にSFだといった感じがする。ところで、PLANETの訳語は、東大系の学者が「惑星」を使い、京大系の学者が「遊星」を使うというのを聞いたことがある。

☆ドカチンの詩シリーズ→80年に、新宿でバス放火殺人をしたドカチンがいた。この作品は、そういった現実の日本の日常を活写していたと思う。

足立区西新井本町3－5－8　斎藤信行

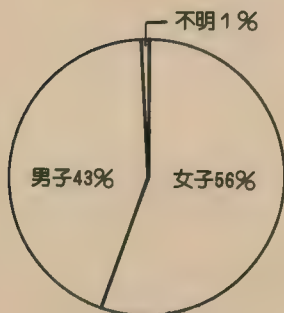
おつかれ放談

●出席者
藤間一郎（必殺お手伝い人）
緒方源次郎（本誌スタッフ）
山口浩（〃）
草留嘉久（〃）

（く）まず初めに、いつ頃からベスト10の集計を始めたの。
（お）いやー俺「ぱふ」に初めて来て3日目に呼ばれて「君は暇そうだからやってみない」。かと言われてやらされたんだよ。あと毎日山ちゃんと二人で、夜シコシコやったんだよ。
（と）あの頃、まだ3日目だったの。
（お）そう。
（と）もうずっといる人みたいに見えた。ヘコヘコして、「手伝わせてください」て言って。
（お）それですぐにこれは大変な仕事だと気づいて、なるべく多くの人に押しつけ始めたのね。
（お）いやァ、あれほんとにやっていてイライラしてくるのね。
（山）私はそうでもないのね。
（お）単純作業ってつらいんだよね。
（山）緒方君のやり方ってすごいんだよね。20分くらいやると、もうやりたくなくてなんだかんだ別のことやりだす。
（お）20分くらいたっと他のことに気が移って、ウロチョロ、ウロチョロしていていたら、また使命感が出てきて…。
（山）しばらくたって決心して始めるんだけど、また長続きしない。私の休憩というのは、緒方君の4回に1回ですよ。
（お）そうそう、この人は本当だまって黙々とやるのね。
俺も自分の根性の無さに…。
（山）向き不向きですよ。
（お）それで投票用紙にハつ当りしたりしてさ、「汚ねエな、字が汚ねエよ。」とか言って。
汚ない字を見るとすごく腹が立ってね。
（と）腹が立つたと言えば、同じ人がいっぱい書いてくるの何て言ったっけ。
（山）組織票ですよ。
（お）組織票。あれ本当にセコイのはコピーしてやるのね。それは、裏が真白なのね。
（と）それまでして、好きな作家推薦したいかな。
（お）それでそんな人に限って選び方がユニークじゃないのね。
（山）ひまと金があるんですよ。ああいう人は。
（お）だったら「ぱふ」をいっぱい買えばいいのに、そうしたらこっちも借金もしないですむ。
（山）中にはまちがっておもしろいのがあったよ。たとえば、「日出処の天子」を「日の出処天子」としたり。
（お）そういうの色々あったね。

☆まんが家別総得点ランキングベスト50

順位	まんが家	合計点数	順位	まんが家	合計点数
1	萩尾望都	(2,541)	26	いしかわじゅん	(193)
2	山岸涼子	(1,839)	27	聖悠紀	(192)
3	青池保子	(1,774)	28	ひさうちみちお	(181)
4	三原順	(1,305)	29	篠有紀子	(172)
5	吉田秋生	(1,014)	30	新谷かおる	(172)
6	竹宮惠子	(934)	31	大谷博子	(162)
7	高野文子	(714)	32	樹村みのり	(158)
8	森脇真末味	(706)	33	ささえななえ	(151)
9	吾妻ひでお	(681)	34	亜月裕	(150)
10	木原敏江	(667)	35	石坂啓	(149)
11	成田美名子	(515)	36	名香智子	(147)
12	森川久美	(507)	37	坂口尚	(134)
13	水樹和佳	(439)	38	岩館真理子	(133)
14	大島弓子	(435)	39	江口寿史	(126)
15	高橋留美子	(390)	40	柴門ふみ	(125)
16	清原なつの	(338)	41	猫十字社	(123)
17	魔夜峰央	(335)	42	はるき悦巳	(123)
18	内田善美	(316)	43	さべあのま	(110)
19	柴田昌弘	(296)	44	池田理代子	(105)
20	佐藤史生	(276)	45	槇村さとる	(103)
21	安彦良和	(260)	46	倉多江美	(100)
22	星野之宣	(248)	47	美内すずえ	(97)
23	鳥山明	(237)	48	高橋亮子	(96)
24	くらもちふさこ	(207)	49	ひかわきょうこ	(91)
25	坂田靖子	(195)	50	御厨さと美	(90)

男女別投票率

(山)あと「エーベル＝バッハより愛を拒んで」というのが……（皆大笑い）。
(お)俺、あれほんとうにあると思っちゃったよ。あれは秀作だよねー。
(山)あれは、『ジュネ』を読んでいた人でないとわからないというのがあるんですよ。
(お)そらア、拒みたくなるわなア。
(山)いやア、でも僕思うんだけど「田辺のつる」が最初は非常に凄いんじゃないかと……。
(お)「田辺のつる」はなかなかね。でも、おかしいと思うのは、高野文子さんという人は、わりとコンスタントにハイレベルな作品を発表していて、どれがどれと言いがたいのね、それなのになぜ「田辺のつる」かと言えば、『ぱふ』の今月の話題作で取り上げたからなんで、ついつい、それにつられて。
(山)いやア、『漫金超』伝説のおかげじゃないですかねエ。
(お)何それ。
(山)やっと出た喜びですよ。
(く)いや、結局それを扱った『ぱふ』があったと……。
(お)ようするに『ぱふ』で扱ったものが上位にきていることは、特徴的だと思うんだ。
(山)それがベスト10あたりなんだけど、もう少し下を見ると今回そうじゃないのが入ってるんだよね。それがなかなか嬉しかったりするんですよ。
(お)高野さんというのは、いや短編作家というのはかなり損するよね。例えば山岸凉子なら「日出処の天子」が思い浮かんで来るけど、高野文子って言うと色々な作品が出てきて、さてどれを選ぶかと言えば、やはり『ぱふ』でとり上げられた「田辺のつる」ということになるんだよね。それが、いちばん顕著に現われたのが吾妻ひでおねっ。
(山)それは言えるね。
(お)俺、試みに吾妻さんの合計点数を作品別ではなくて全部トータルしたら、「田辺のつる」といい勝負だよ。
(と)「吾妻ひでお一週の作品」とかいうの（投票）も、う一んとあったしね。
(山)そういうのは不可とする。ペナルティーだよ。
(お)だから短編作品について少し考えるべきなのは、作品よりも作者に賞を上げるべきではないかって気がだんだんして来た。むろん、賞にも色々な性質というのがあるんだけど。
(と)それと、おもしろいことに気づいたんだけど、やっと二十位に星野之宣が男のまんが家で初めて出てくるんだよね。
(お)そうだね。やはり少女まんが偏重主義という感じだね。
(く)読者も女の子が多いんじゃない。
(お)そんなことない、4.5対5.5の割り合いじゃない。
（皆）そんなもの？
(お)女の子の方が多いことは多いんだけれども、少しだけだよ。年齢もグラフにすると男女いずれも18才を頂点にして14才から24才くらいのあいだで、きれいなカーブを描いてる。高校生が中心なのね。
でもこれで、一概に言えないのは、はがきを出す〝人種〟というのがあって、それだとやっぱり女の子の方が多少有利だよね。男というのはあんまりそういうのに拘わんないのね。
(山)作品の傾向にもあるんじゃないですか。
これイコール『ぱふ』の読者、というのは、ちょっと違うとは思うけど。
(山)だから、少女まんがが好きな読者がわりと出したがる、『ガロ』系の人はあまり出したがらない、ということはあると思う。
(と)かえって、ベスト10を無視している人の方が、おもしろい考え持っているかもしれないね。
(お)うん、千何百人の人間が「日出処の天子」を支持するなんてさア、ちょっと気味悪い。
皆がバラバラなのがおもしろいよ。
(と)年度の初めに終った作品は損だね。
(お)それはどんなベスト10にも言えることだよ。
映画なんかでも、正月に公開された映画はいつも割りを食うんだよね。
それとマイナーじゃ無いけど「どうせ○○○は『ぱふ』では受け入れられていないから……」という苦言を呈したのがあった。

(山)それと、やたらに青池保子関係というのが目についた。
(お)青池保子、本当に今いちばんおもしろいね。
(山)毎回楽しみですよねあれ。
少佐がすごいですねエ。
(お)少佐が助演か主演かという問題、どちらでも上位にくいこんでいるという。
(山)助演で一位、主演が二位。
(と)作者も、どちらかわからなかったりして。キャラクターに魅力があるんだよね。
(お)あと長編と短編の区別を、もう一つ明確にできなかったというのは、かなり不満があるんじゃないかな。短編だと思って投票したのが長編になっていたりとか、そんなバラつきというのがかなりあると思うんだ。
実際それで損をしている作品というのもかなりあったと思うんだよね。

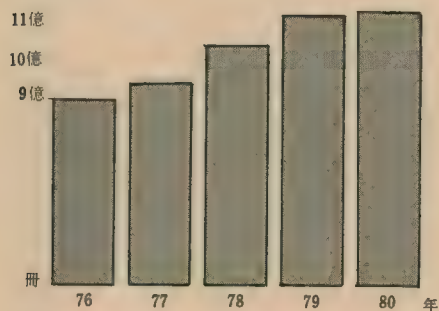
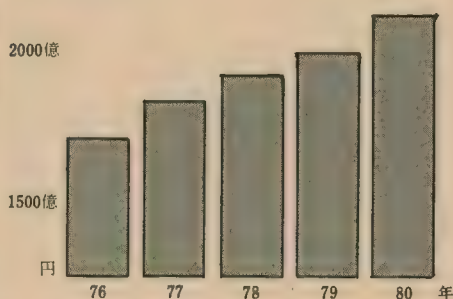
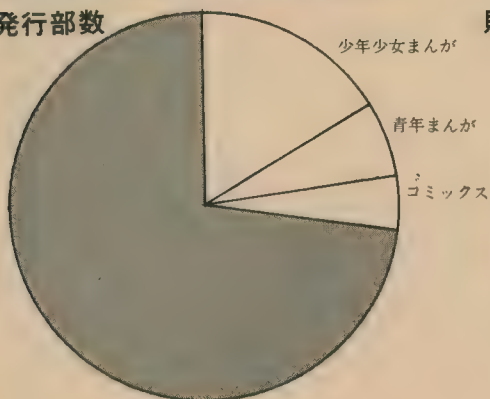
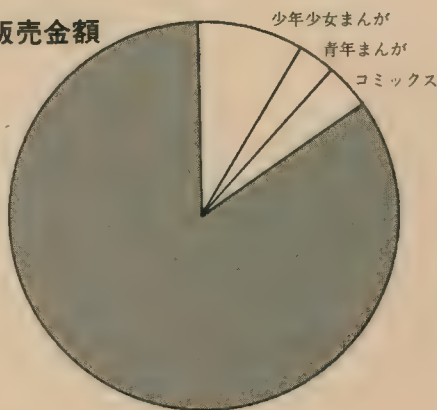
(く)「茶番劇」シリーズとかね。
(お)そう、あと吾妻ひでおとか、この集計ではシリーズ物をひとつの長編にしたけれども、投票ではその読切り作品一つ一つに票が入ってるんだよね。
だからほんとうは、最初にこれは長編これは短編という風にリストにやったらいいんだけど。
(山)誰がそれやるの。
(お)うーむ……だから言うだけ言うだけ。
(く)うーん、だからそれはあくまでも限界があるからね。
(山)それはリストやる人が大変ですよ。
(と)「Dr.スランプ」のアラレちゃんが一位(主演女優)というのもちょっと意外だったと思うけど。
(山)私は、〃主演女優〃というのはわかりませんよ。魅力のあるキャラクターというのは、だいたい男に票が行っちゃってるんですよ。
(お)やっぱりまんが家に対する賞というのはもう一つ考えてみたい気がするんだけど。
(山)技能賞とかあるんだよね。まんが家全体的に見てというのはなんだよね。
(お)その作品を産み出す作家に拍手を送りたいという気持ちは皆あるんじゃないかな。
だから作品に拍手を送りたい人もいれば、まんが家に拍手を送りたかった人もいて皆がバラバラだったりする。もう少しそういう所を明確に来年はしたいなと思う。
(お)来年まで続いていればの話だけど。
(く)あと高知の読者が集計手伝ってくれたでしょ。
(お)山本直人君　高知市南ノ丸町18番　17才。
わざわざ東京まで来て手伝ってくれたんだよね。
(く)彼にありがとうを言おう。
(皆)どうもありがとう。
(お)あと、作品の発表された出版社別にしたらおもしろいんじゃないかな。
(山)いや雑誌別をやりたいですね。
(お)多いのはやっぱり集英社・白泉社系ね。それがドーンと出て来て、次が小学館系であんまりないのが講談社系なのね。
(山)講談社系は少ないね。
(お)庄司陽子も大和和紀も出てこないしね庄
(山)私は美村あきのなんか好きですなあ。
(お)講談社系なぜ出てこないんだろうね。『ぱふ』であつかわないからかな。かなり俺、「生徒諸君」が好きなんだけど。
(お)最後に読者の皆さんにおわびしないといけないんだけど、〃ワンカット賞〃はまあいいかげんに設定したこちら側が完全に悪いのだけど、結局編集部側で今回は取りやめることにしました、ごめんなさい。

'80年まんがあたりの出来事

1月
○「エースをねらえ」終る。
○第1回読売国際漫画大賞発表
大賞ピチョク・ムクダマニー「エネルギー」。
2月
○「私立極道高校」実名の学校を漫画の中に登上させて抗義が「少年ジャンプ」へ来て連載が11号までで打ち切り。
○『毎日映画コンクール』において79年暮れから80年1月までに公開された「ルパンIII世・カリオストロの城』(東京ムービー新社作品・原作モンキー・パンチ)が“大藤賞”に入賞。芸術性の高い作品が入賞する傾向の強い“大藤賞”に「カリオストロ…」が入賞したのは快挙といえよう。
3月
○弘兼憲史と柴門ふみ結婚。
○第25回小学館漫画賞発表
第1部(少年少女向け)入賞竹宮恵子「地球へ…」「風と木の詩」第2部(青年一般向け)入賞青柳裕介「土佐の一本釣り」
4月
○「おれは鉄兵」7年間におよぶ連載終る。
6月
○第4回講談社漫画賞発表
受賞者永井豪「凄ノ王」・吉田まゆみ「レモン白書」。
7月
○サンディゴ・コミコンに手塚治虫・永井豪・モンキーパンチ・風忍・いがらしゆみこ・バロン吉元氏ら参加。
10月
○「日刊まんが」(日刊漫画社)発刊予定が伸び伸びになっていたものが、ついに無期延期。
11月
○「がきデカ」7年目にして連載突然終る。
○永島慎二、大麻で逮捕される。
12月
○12月13日花郁悠紀子さん亡くなる。

まんがの売り上げ'80

		発行部数	販売金額
少年少女まんが誌	週刊	47.955	715
	月刊	21.606	501
青年まんが誌	週刊	8.475	129
	月刊	19.438	318
計		97.474	1663
コミックス		19.513	577
合計		116.987	2240
		（万冊）	（億円）

5年間の推移

全出版物に対する割合(80年)

〈'80年長篇劇場アニメ上映リスト〉

封切日	題名	製作所	製作(企画)	原作(原案)	脚本(脚色)	監督	撮映	音楽
3／8	家なき子(東宝)	東京ムービー新社	藤岡 豊	エクトル・マロー	山崎 晴哉 伊藤 恒久 杉江 慧子	出崎 統	高橋 宏固	渡辺 岳夫
3／15	火の鳥 2772 愛のコスモゾーン(東宝)	＝手塚プロ	市川 喜一 明田川 進	手塚 治虫	手塚 治虫 杉山 卓	杉山 卓	八巻 磐	樋口 康夫
3／15	ドラえもん のび太の恐竜(東宝)	小学館＝シンエイ動画	楠本三吉郎	藤子不二夫	藤子不二夫 松岡 清治	福富 博	三沢 勝治	菊地 俊輔
7／26	まことちゃん(東映)	東京ムービー新社	藤岡 豊	楳図かずお	城山 昇	芝山 努	高橋 宏固	楳図かずお
3／15	森は生きている(東映)	東映動画	今田 智憲 横山 賢二 プロデューサー	サムエル・マルシャーク	隆 巴 矢吹 公郎	矢吹 公郎		ボロジミル・クリフォツフ
3／15	銀河鉄道999 ガラスのクレア(東映)	東映動画	横山 賢二 小湊 洋市	松本 零士	藤川 桂介	井内 秀治 内山まさゆき		青木 望
3／15	花の子ルンルン(東映)	東映動画	山口 康男	神保 史郎	城山 昇	遠藤 勇二 (演出)		筒井 広志
3／15	ゼンダマン(東映)	竜の子プロダクション	吉田 健二		小山 高男	笹川ひろし (監修)		
4／26	地球へ・・・・(東映)	東映動画	今田 智憲	竹宮 恵子	恩地日出男 塩田 千種	恩地日出男	吉村 次郎 池田 重好	佐藤 勝
8／2	魔法少女ララベル(東映)	東映動画	山口 康男	藤原 栄子	曽田 博久	福島 和美		いづみたく

8/2	ゲゲゲの鬼太郎（東映）	東映動画	斎藤 侑	水木しげる	柴田 夏余	笠井 由勝		
8/2	ヤマトよ永遠に（東映）	オフィス・アカデミー	西崎 義展 吉田 達	松本 零士 西崎 義展	田 利雄 山本 英明 藤川 桂介	舛田 利雄	片山 幸雄	宮川 泰
12/20	80アニメーション ザ・ベストテン（東映）	東 京	石川 芳彰 飯島 敬 徳山 雅一			ドン・上野		
12/20	サイボーグ009 超銀河伝説（東映）	東映動画	渡邊 亮徳 今田 智憲	石森章太郎	中西 隆三	明比 正行	池田 重好 細田 民男	
3/8	あしたのジョー（ヘラルド＝富士映画）	三協映画＝富士映画＝ヘラルドエンタープライズ	川野 泰彦 （総指揮＝梶原一騎）	高森 朝雄 ちばてつや	福田陽一郎	福田陽一郎		鈴木 邦彦
7/19	11ぴきのねこ（ヘラルド）	グループ・タック	田代 敦巳 古川 博三 プロデューサー＝宇田川東樹	馬場のぼる	鈴木 良武	藤本 四郎 アニメ監督＝前田庸生	森山 一	小室 等
5/3	がんばれタブチくん!!（東宝東和）	東京ムービー新社	藤岡 豊 山本又一朗	いしいひさいち	辻 真先 金子 裕 金春 智子 川島 三郎 水谷 龍二 高橋 英樹 高屋敷英夫	芝山 努 小林 治 前田 実 作画監督		乾 裕樹
7/19	母をたずねて三千里（東宝東和）	日本アニメーション	本橋 浩一 プロデューサー＝中島 順三 松戸 隆三	エドモンド・デ・アミーチス	深沢 一夫	高畑 進 作画監督＝小田部	トランスアーツ	

12/13	がんばれ!!タブチくん!! あゝツッパリ人生 (東宝東和)	東京ムービー新社／東宝東和配給	藤岡 豊 山本又一郎	いしいひさいち	高屋敷英夫 辻 真先 金子 裕 金春 智子 川島 三郎 水谷 龍二 高橋 英樹	芝山 努 作画監督＝ 小林 治 前田 実		小林 泉美 京 建輔
8/ 9	ピンク・パンサー&クルーゾー警部 Pink Panther & Inspector Clouseau (東宝東和)	ディビッド・デパティ・プロ		リチャード・ウィリアムズ原案		ハウリー・プラット		ヘンリー・マンシーニ
7/12	ウォーターシップダウンのうさぎたち Watership Down (ヘラルド)	ネペンス・プロ			マーチン・ローゼン リチャード アダムス	マーチン・ローゼン アニメ監督 トニー・ガイ		アンジェラ・モーレイ
8/ 9	ドラゴン水滸伝 The Story of Chinese (東宝東和)	チャン・イン・フィルム			シェン・カン編集	チャン・チー・ホイ		
1/ 2	ネオ・ファンタジア Allegro non Troppo	ブルーノ・ボゼット・フィルム			ブルーノ・ボゼット／ギード・マヌリ／モリツオ・ニケッティ	ブルーノ・ボゼット	マリオ・マシニ (実写部分)	

▶ウォーターシップダウンのうさぎたち

すばらしき日本アニメ

あのね、この日本の企業アニメーションに関する限り、ベスト・テンとかなんとかいって騒ぐのは、もうほとんど意味がないのですよね。これは別に、私が、プライベイト・アニメーション（古川タク氏とか、そのほかの人たちが作っている作品）を良しとして、テレビに流されさらに劇場にかけられる企業アニメーションの内容がばかげてると思っているとか、そんなことではまったくないのです（もう、そんなことを論じるのもめんどうくすい）。つまり、システムの問題なのです。

あなたね、たとえば、あれだけ大ヒットした宇宙戦艦ナントカというアニメを手伝った下請けのひとたちのなかでは、まだきちんとお金を払ってもらえずに、うやむやにされてしまっているひとたちがいること、知ってますか。いや、というより、こんなはなしはいくらでもくさるほどあるので、ここに記すのもはずかしいぐらい。すべて、そうした地獄のシステムに泣く人たちのうえで、このいわゆる、みんなニコニコ、セルを買いましょう、声優がすてき――なんていうブームが成りたっているのですよ。それを知ったうえで、あなた、どのアニメがよかったなんて（いかに動かないですませるか、ちょっとアーティストの良心が痛んで、絵の枚数を多くすると、そのスタッフは上からにらまれてしまうようなプロダクションのなかで）、のんきなはなしが、本気でできますか？

それと、もうひとつ、中国の上海アニメ・スタジオから、所員以下三人の代表が日本アニメーション協会の招待でやってきたとき、日本側企業の動きのすさまじさは、まさに東洋侵略の日本の伝統は、戦後三五年経ったあとも護られていると痛感しましたね。ビジネスのはなしはまったくぬき、アーティスト同志の交流ということで来日したのに、社長命令でぴったりついている某企業の男、宿舎にもどると、電柱の影から、つつつつ……と現われて売りこみにかかる。どこで調べたのか、ホテルの部屋に連日電話をかけてくる怪しげなブローカー……。

日本の某社が上海スタジオに下請けに出している事実を、私が『キネマ旬報』に書いたら、それならうちもと、すぐ上海にとんで、下請けの交渉をしたが、門前払いをくった某アニメ・プロダクション……。

また、アニメを作る現場の人間関係も、他の劇映画の世界では考えられない特殊社会。まず、映画というのは、監督が第一であり、どんな劇映画でも（出演スターの名は別として）、監督の名がいちばん大きくあつかわれるのが基本で、こんな外国ならアニメでもあたりまえ。「ウォーターシップダウン」では、アニメ演出は初めてのマーチン・ローゼンの名がいちばん大きい。これはもう世界映画界の常識だろう。ところが、日本では、アニメの演出家の名は、せいぜい作画監督と同じ大きさになる。つまり、演出家以外の現場のスタッフのおもわくがからみ、めんどうだからみんな同じ大きさにしちゃえということになって、結果的には、演出家よりもなによりも、原作マンガ家の名がいちばん大きく出るという皮肉な結果があたりまえになっている。

演出家の立場が弱いのは日本的な特殊現象で、アメリカなどで意味する演出家と日本での演出家は（アニメに関する限り）同じではないようだ。だから、作品として論じる以前にシステムに目を向けなければ、日本のアニメについては語れないだろう。

なお、去年からことしにかけてのアニメーションのベスト一は、文句なしに、カレル・ゼーマン一九七七年作の長編「クラバート」です。（これは劇映画を含めてのベスト一といっていいほど）。さあみなさん、どなたもごぞんじでだれも口にしない日本アニメ残酷物語に目をつぶって、バラ色のメガネをかけて、ハッピーハッピーに世界に冠たる日本のアニメをほめたたえましょう。

小野耕世

（★今後の予定）のない団体とは連絡がとれませんでした。
こころあたりのある方の情報をお待ちしております。

コミックフェスティバル　IN　宮崎

①11月２日　②寿屋宮崎店８F 催会場　③MMAA　④〒880 宮崎県宮崎市霧島３丁目90畑野幸子　☎0985—28—7473

仙台まんが展

①12月５日～７日　②仙台美術館６，７F　③東北学生漫画研究会連盟　④下斗米方子　☎0222—71—3352

★今年暮開催予定

コミックロード1980

①７月24日～29日　②弘前大学内　③青森漫画研人会　④〒036 青森県弘前市富士見町29—14斎藤方高橋

同人誌ミニコミフェア

（第８回）①８月３日　②大田区産業会館　③東京文芸　④〒154 東京都世田谷郵便局私書箱９号吉見孝之　☎03—422—1191
（第９回）①11月23日～24日　②～④同上
（第10回）①'81年４月29日　②～④同上
★　11回７月19日、12回今冬開催予定

まんがミニマーケット

（第１回）①８月２、３日　②川崎中小企業婦人会館　③迷宮'80　④〒176 東京都練馬区桜台第２郵便局留
（第２回）①10月26日　②板橋産業会館　③、④同上
（第３回）①11月23日　②③④同上
（第４回）①'81年１月25日　②川崎中小企業婦人会館　③迷宮'81
（第５回）①'81年５月31日　②大田区産業会館　③、④同上

コミックマーケット

（第14回）①５月11日　②川崎市民プラザ　③迷宮'80　④〒176 東京都練馬区桜台郵便局留
（第15回）①９月14日　②～④同上
（第16回）①12月14日②～④同上
（第17回）①'81年４月５日　③迷宮'81　②、④同上
★　第18回、８月15、16日、横浜産貿ホール、第19回、12月20日、川崎市民プラザにて開催予定

コミックカーニバル

（５）　①12月21日、22日　②名古屋公開堂４F ホール　③スタッフコミカ　④〒460 愛知県名古屋市新栄１—35—14　堀田方
（６）　①'81年５月４日　②～③同上
★コミックカーニバル７を11月23日に開催予定

GUNMAN（岩手）

（第１回）①８月16日・17日　②東山堂書店４F　③GUNMAN準備会　④〒177東京都隅田区関町３—814 鈴木荘小田秀次
（第2回）①'81年３月21日　②北夕顔瀬町畑中公民館　③同上　④〒233神奈川県横浜市港区最戸２—10—31田村富士子
★①８月23日　②岩手県金属工業会館大会議室　③岩マン実行委員会　④〒020岩手県盛岡市つつじケ丘44—13徳永佳子

まんが同人誌市場'80

①期日　②会場　③主催　④連絡先　　★今後の予定

北九州合同まんが展

（第２回）①３月28日～４月２日　②北九州市山城デパート６Ｆ　③漫研シルバーリング　④〒801福岡県北九州市門司区東門司１－22－10　安芸さとみ　Tel093-332-1894

★第３回北九州コミックマーケット　８月９日紫水会館内（小倉北区中津口２－１－72）

同人誌即売会（RING ON CIRCLE）

①３月23日　②岡山県総合福祉会館　③中野栄子　④〒700岡山県岡山市津島福居２－16－20　Tel0862－53－8072　★今年は予定なし

コミックバザール

（６）①３月20日　②大阪市区民センター区民ホール　③まんがはうす、少年少女アニジン　④〒545大阪市阿部野区旭町２－10－21青木方　Tel06－624－8193

（７）①８月23日　②～④同上

（８）①'81年３月28日

★今年秋新規に開催予定

COMI COMIC SALE

①４月29日　②神戸国際会館５Ｆ小ホール　③ファンジンサークル連盟、中途半端　④〒577大阪府東大阪市稲田465－6　太田博之

コミックフェスティバル（岐阜）

（第１回）①８月16日、17日　②岐阜市民センター　③コミフェススタッフルーム　④〒500－91岐阜郵便局私書箱49号　Tel0582－71－7148杉山方

（第２回）①'81年５月３日

金沢コミック祭

①８月17日　②中日ホール　③金沢大学マンガアニメ同好会　④〒920石川県金沢市博労町67荻田方

まんがせえる

（ＰＡＲＴ１）①７月27日　②南海放送本町会館７Ｆキャッスルホール　③まんがせえる本部　④〒790愛媛県松山市福音寺615－２谷本方

（ＰＡＲＴ２）①'81年３月29日　②～④同上

コミックフェア

（第２回）①８月10日　②中央公民館　③参加全サークル　④〒950新潟県新潟市青山1436－794 高橋治　Tel0252－67－8207

★今年は予定はない

コミックフィールド

①８月24日　②開拓会館　③コミックフィールド福島

札幌コミックフェスティバル

（第３回）①８月19日～23日　②４丁目プラザ　③ＨＣＮ　④〒060北海道札幌市中央区北２西18国鉄ＡＰ307－101 柴田拓

コミックフェスティバル IN KOBE

（２）①９月７日　②神戸市立新長田勤労センター大会議室　④〒671-01兵庫県高砂市北浜町西浜1062　藤井光

まんが大会　京都

（第３回）①10月10日　②産業会館８Ｆシルクホール　③手塚治虫ファンクラブ京都　④〒606京都府京都市左京区一乗寺里ノ前町24

ミヤギコミックコンベンション

①11月23日、24日　②仙台市全逓会館、仙台市読売ホール　④〒989-12宮城県柴田郡大河原町住吉町５－１半沢和彦　Tel02245－２－5439

①'81年５月３日、４日　②仙台市読売ホール　④同上

★'81年11月22日、23日　仙台市読売ホール

前略・お変りありませんか？マンガ同人誌界は元気です。

マンガ同人誌の興隆ぶりは、決して一時のブームなどではない。高校や大学には必ずといっていいほどマン研があり、会誌を出しているし、それ以外のマン研やFCの数も全国で数千はあるだろう。マンガ読者という広大なすそ野の上にあるこれら描き手やファン達のサークルもまた、広大な地平を持っているのだ。ここ当分、マンガ同人誌は下火になることなどありはしない。

それは各地で開かれているマンガ同人誌展示即売会の盛況ぶりにも現われている。参加サークルは毎回確実に増え、一般参加者の数も増えていき、どこも広い会場を必要としているのが現状だ。東京のコミックマーケット、ミニコミ同人誌市、名古屋のコミックカーニバル、大阪のコミックバザール等がそういったマンガ同人誌展示即売会だ。それ以外に、地方で開かれているし、80年には創作マンガ同人誌中心のミニマーケットやアニメ系マーケット・FC中心のマーセット等も旗上げした。――マンガ同人誌界もクラス化の波が押し寄せている。

一〇にマンガ同人誌といっても、サークルの数だけ宅張、好み、方向性があるわけで、例えばコミケットを例にとってみるならば、80年冬の参加サークル数三五〇。うち、アニメ系の研究批評誌、FC、パロディ誌が80強。主に少女マンガ家を中心とするマンガFCが40強。SFや文芸、批評誌等が十数。残り二百有余が所謂、創作マンガ同人誌ということになる。

ところが、この創作マンガ同人誌も、SF系、学マン系、少女マンガ系、青春マンガ系、実験(?)マンガ系と千差万別。少女マンガ系も、オトメチック系、ファンタジー系、ロック系と分かれていくのだから、一口で語ることなぞできはしない。描き手の数だけ、マンガのタイプが分けられていくのだ。

つまり、マンガ同人誌界もプロダムと似たりよったりの多様性と広がりを持ち、個々のコミュニケーションやぶつかりあいの為もあってか、プロダム以上の急激な変容を続けているのである。

80年という区切られた時点における、マンガ同人誌界の顕著な動きは、同人マンガの多様化にあるといえる。それは、個々の遊びがはっきりと形を取りはじめたことでもある。その一つに、ロリコンマンガの人気と、アニメパロディの人気がある。共に既製のお気にいりのキャラクターを使って遊ぶところが、受けている要素らしいが、マンガの中にアニメのテクニックを持ち込み、新しい少年マンガ的タッチを展開し始めているところもある。特にアニメの模写から入ってきた描き手の中には、従来のマンガが失ない始めていた動きやカッコ良さを表現している者もあり、そのうちプロ界にどっと進出していくことになるだろう。

また一時少女マンガの主流だった麗わしマンガは幾分衰退し、萩尾幾都や大島了子のエピゴーネンも減った。かわって、めるへんめーかーに代表されるファンタジーや、学園マンガ、SFが増えてきているようだ。それもまた、個々の趣味や好みのマンガへの移植を思わせる。

一方、かって同人誌的マンガと呼ばれた、独自のスタイルを持つマンガも決して少なくなったわけではない。自乙表現の一つとしてのマンガに徹底して取り組んでいる描き手達も多いのだ。しかし、それらは全体の中に埋没している。いや、マンガとはそんないろいろのものを飲み込んでいるのではなく、そんな様々のものが混沌としてあるからこそ、エネルギーを保ち続けられるのではなかろうか。

80年のマンガ同人誌状況――それは、盛況であります、多様化しております、ぐらいしか言えはしない。だからこそ、マンガ同人誌界は未だ可能性を持ち、混沌の中にエネルギーを秘め、おもしろさを提供してくれるのだ。一言、二言ぐらいで言い尽せてしまえるような状況の到来の時こそ、マンガ同人誌界、いやマンガ自体が衰退していく時に違いあるまい。

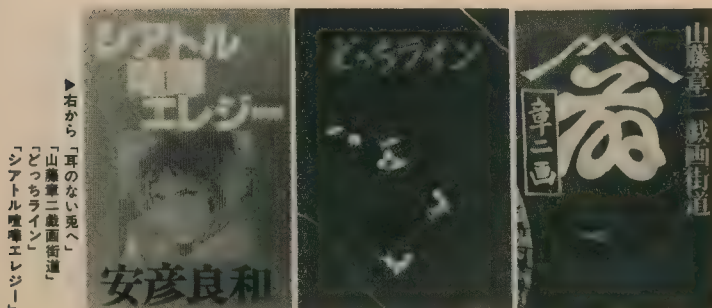
米沢嘉博

〈'80年まんが周辺本発売リスト〉

題名	出版社	価格	著者	内容
戦後少女マンガ史	新評社	1,200	米沢嘉博	戦後のあらゆる少女まんがをクールに考察する労作
子ども漫画の世界	現代書館	1,600	斎藤次郎	子どもにとっての子ども漫画とは？
虫プロのサムライたち	双葉社	680	石津嵐	今アニメ界のトップで活躍中の虫プロ出身者たちを、人物事典風に紹介
少女マンガ家になれる本	二見書房	890		萩尾望都、竹宮恵子、木原敏江等、豪華メンバーによる入門書
東京いろは	（自主）		畑田国男	著者独自のアイデアによるかるた
小さな同時代人	冬樹社	1200	斎藤次郎	抑圧される子どもたちの情況を撃つ
ひなたが丘ものがたり	書苑刊	1,200	みむらぐっち	イラストをますむらひろしが描いているメルヘン
あしたのジョー・イラスト集	講談社			連載時のカット、タイトル頁等収録
脱帽賞	河出書房新社	680	福地泡介	ホースケの、字でかいたマンガ
TOKYO '79	アライプランニング	2,000	古川タク	TOKYO百景を描くイラスト集
漂流する世代	教育研究社	880	池田信一	"漂流する世代"である若者たちを描く
秘本世界生玉子	北宋社	980	橋本治	
昼の夢 夜の夢（絵本 綿の国星）	白泉社	1,200	大島弓子	カラーイラストとポエムによる絵本
名美を探して	白夜書房	2,000	石井隆	自作に写真をとり入れた著者の初めての写真集
秘密の手塚治虫	太陽企画出版	670	石津嵐	アニメ方面を17年手塚治虫とつきあった著者の手塚レポート
漫画歴史大博物館	ブロンズ社	5,800	松本零士／日高敏(編)	松本氏所有の膨大な資料を元にした、読み物としても価値ある一冊
ブラックニアングル②	朝日新聞社	2,800	山藤章二	『週刊朝日』連載'78～'79年分
アタゴオル・ゴロナオ通信	たざわ書房	980	ますむらひろし	画と文によるファンタジィの世界
竹宮恵子・アニメ カーニバル	立風書房	700		竹宮さんの作品をアニメにしたら…？　本人のコメントつき、夢の一冊
破裏拳ポリマー	徳間書店	580		ロマン・アルバム㉞
『地球へ…』イラスト集	朝日ソノラマ		竹宮恵子	描き下ろしを含む、カラーイラスト集
テレビ・アニメ最前線	大和書房	880	石黒昇／小原乃梨子	私説・TVアニメ17年史
竹宮恵子・麗絵コレクション	白泉社	1,300		デビューから現在までの10年を年代順に構成
竹宮恵子・カードコレクション	実業之日本社	880		竹宮さんの描いたカード、所有してるカードを集めた、シャレ本
鏡の国の少年たち	新書館	1,500	竹宮恵子	著者が少年たちに送るラブ・レター
金銀砂岸	新書館	1,500	萩尾望都	カラーイラスト、ファンタジイ、2色描下し等、抒情の香り高き一冊
サニーサイドアップ	CBSソニー	2,000	和田誠	オールカラーの贅沢な一コマ漫画集
IVYイラスト集	講談社	550	吉田まゆみ	名場面集、カバーコレクション等
翔んだカップル	講談社	750	柳沢きみお	カラーイラスト、ピンナップ集
すいーん星旅行記	徳間書店	780	大島弓子	ユーミンの描下し絵本
日本まんが賞事典	るいべ社			各種まんが賞を網羅、資料的価値はバツグン
火星探検（復刻）	晶文社	6,000	大城のぼる・画／旭太郎・作	40年も前のSFまんがを、オール3色カラーの美しさそのままに復刻

▶右から「戦後少女マンガ史」「子ども漫画の世界」「ひなたが丘物語」

マンガは世界三段跳び	本の雑誌社	860	飯田耕一郎／有川優／亀和田武	手塚まんが、少女まんが、三流劇画の３点からまんがに迫る
戦後ＳＦマンガ史	新評社	1,300	米沢嘉博	思い入れたっぷりの少年ＳＦマンガ史
アニメポスター大全集	秋田書店	750		劇場・ＴＶ・レコード・雑誌附録等のポスター100点以上
ソ連は笑う	青村出版	1,500		ソ連まんが傑作集
映画悪党伝	双葉社	1,200	バロン吉元	映画中年の著者がスクリーンの悪役を語る、松田優作との対談有
ウェルカム・ラブランド	新書館	750	伊藤愛子	詩、イラスト、文によるエッセイ集
明治まんが遊覧船	文藝春秋社	1,400	清水勲	二万点の一枚絵漫画を証人に明治を探る
戦後漫画思想史	未来社	3,800	片寄みつぐ	現在に至る漫画の流れを独自の視点で考察する、入魂の一冊
コラレス世代	創拓社	1,000	深作光貞／斎藤光	コラレス（核無し）世代の若者の心理を『がきデカ』を中心に探る
耳のない兎へ	北宋社	180	飯田耕一郎	著者初のまんが個人評論集
山藤章二劇画街道	美術出版社	2,500	山藤章二	若き日から現在に至るイラスト、対談、エッセイ等による豪華個人集
12人の作家によるアニメーションフィルムの作り方	主婦と生活社	980	手塚治虫／古川タク／林静一等	『アニメは見るよりも作る方が断然面白い』という本
どっちライン	北宋社		倉多江美	ごみとりさんの絵本
超人ロックの世界Ⅱ	新書館			聖悠紀の人気長篇まんがの特集本
小説・あしたのジョー	ヘラルド・エンタープライズ		ちばてつや／高森朝雄／高森真士・文	原作を忠実に小説化
水木しげるの世界	新評社			対談、評論、エッセイ、グラフィティ等
ガッツ☆ブラックパロディ	講談社	1,200	畑田国男	まんがと文で構成したパロディ集
ニューヨークエスニック図鑑	草思社	1,400	永沢まこと・イラスト／宮本美智子・文	ニューヨークのエスニック・グループ（人種・文化集団）を初めて描いた本
シアトル喧嘩エレジー	徳間書店	[illegible]	安彦良和	著者の自伝的小説
アニメーターになれる本	実業之日本社		小田克也	豊富な体験を元に書下した一冊
石森章太郎落書ノート	小学館	1,800		創作ノート等、著者のまんがづくりの秘密を公開
ドラえもん研究	ブレーン出版	1,800	南博・編	子どもにとってのドラえもんの魅力を、心理学的に分析
漫画少年史	湘南出版社	2,400	寺田ヒロオ・編	全巻作品目録を中心に、復刻、投稿家達の思い出文集の３部構成
だから僕は…	徳間書店	[illegible]	富野喜幸	『ガンダム』生みの親が語る青春の辿り道
安彦良和画集	講談社	1,800	安彦良和	著者のアニメ作品を網羅、未発表も有
虫られっ話	潮出版	[illegible]	手塚治虫	小松左京、北杜夫、横尾忠則等９人とのおしゃべり
[illegible] ーマンガと偉人伝ー	北斗出版	1,500	佐野美津男	児童文学者が探る、現代マンガの主人公の深層構造と偉人伝との間
吾妻ひでお大全集	奇想天外社	[illegible]		
漫画少年史	潮南出版社	2,400	寺田ヒロオ・編	少年まんが誌の原点・幻の雑誌の全容を公開

耳のない兎へ　飯田耕一郎

▶右から「耳のない兎へ」「山藤章二戯画街道」「どっちライン」「シアトル喧嘩エレジー」

〈80年アニメまんがレコード発売リスト〉

	曲目	演奏者	発売会社	レコード番号	値段
〈2月〉	インビテーション 小原乃梨子 ①旅立ち ②トランジットパッセンジャー ③運河のある街 ④ショッピング ⑤美術館 ⑥ロワールの雨 ⑦童話 ⑧ナイト・トレーン ⑨ディスコティック ⑩ベットで朝食 ⑪ジェット・フィーリング・ラヴ"私の部屋" ⑫プロローグ ⑬ペパーミントティー ⑭サテンのドレス ⑮下町・祭日・釣忍 ⑯クルーザー ⑰少年 ⑱グットバイ・ブルース ⑲エピローグ	小原 乃梨子	キング	SKS—102	¥2500
	仮面の忍者／赤影 ①忍者マーチ〜第1部オープニング〜忍者マーチ ②第1話：「怪物妻法師」〜第2話「甲賀の悪童子」より③金目教のテーマ ④影烈風斎 ⑤道中記 ⑥第2部オープニング〜忍者マーチ ⑦死闘 ⑧孤独な赤影 ⑨赤影の歌 ⑩情景 ⑪青影のテーマ ⑫第3部オープニング ⑬大怪獣 ⑭白影のテーマ ⑮暗躍 ⑯第4部オープニング〜忍者マーチ〜第52話：「六大怪獣包囲陣」より	サウンドトラックより 歌：ヤング・フレッシュ ボーカルショップ	キング	SKD—2013	¥2000
	火の鳥ライブ"明編"①序曲〜生と死 ②第1楽章〜くまそ ③第2楽章〜やまたい ④第3章〜火の山 ⑤第4楽章〜騎馬軍団	実況録音	コロムビア	CS—7162〜3	¥2000
	オリジナルBGMコレクション／宝島 ①オープニング・テーマ：宝島 ②母の愛 ③シルバー船長はすごい奴 ④ジムの決意 ⑤居酒屋 ⑥出発 ⑦大海原 ⑧海賊の合唱 ⑨にらみあい ⑩暴力 ⑪陸地が見えた ⑫不気味な宝島 ⑬大海賊 ⑭夕陽の大船団 ⑮エンディングテーマ：小さな船乗り	町田 よしと ケイ・アンド・フラッターオーケストラ	コロムビア	CQ—7038	¥2300
〈3月〉	佐武と市捕物控 ①オープニング・テーマ ②第3話「般若」より ③町人気質〜犯罪 ④事件の謎〜黒い罠 ⑤尾行〜暗闇殺法 ⑥問き込み〜渦巻く陰謀 ⑦挫折 ⑧涙の逆手斬りより ⑨大捕物〜江戸の暗雲 ⑩十手に賭けた命 ⑪「稲妻小僧参上」より ⑫悲しい結末 ⑬追憶 ⑭オープニング・テーマ ⑮第52話「江戸の太陽」より ⑯エンディング・テーマ	サウンド トラックより 歌：坂梨 昇	キング	SKD—2014	¥2000
	TVオリジナルBGMコレクション／人造人間キカイダー・キカイダー01音楽集"人造人間キカイダー"①ゴーゴー・キカイダー ②ギターの青年ジロー ③プロフェッサー・ギルの野望 ④サイボーグ破壊部隊 ⑤人造人間キカイダー・アイキャッチ ⑥平和そして新たなる決意"キカイダー01" ⑦キカイダー01 ⑧正義の戦士登場 ⑨甦える悪魔たち ⑩苦しみの旅は果てしなく ⑪悲劇の人造人間ビジンダー ⑫人造人間キカイダー・アイキャッチ	サウンド・トラックより	コロムビア	CQ—7039	¥1800
〈4月〉	機動戦士ガンダムIII／永遠にアムロ A) ①第1話：ガンダム大地に立つ ②第2話：ガンダム破壊命令 ③第9話：翔べ、ガンダム ④第10話：ガルマ散る ⑤第19話 ランバ・ラル特攻 ⑥第21話：激闘は憎しみ深く ⑦第24話： 撃、トリプル・ドムB(①34話：宿命の出会い ②第36話：恐怖、機動ビッ・ザム ③第38話、再会、シャアとセイラ ④第41話：光る宇宙 ⑤第42話：宇宙要塞ア・バオア・クー ⑥第43話：脱出	サウンド・トラックより	コロムビア	SKK—2136〜7	¥3600
	東宝アニメーション映画／「火の鳥」ドラマ編	サウンド・トラックより	コロムビア	CS—7175〜6	¥3600
	ルパン三世／カリオストロの城"ドラマ編"	ボビー、ユー&エクスプロージョンバンド	コロムビア	YP—7074	¥2500
	TVオリジナルBGMコレクション／ルパン三世 ①ルパン三世Parr1 ②ムーディ・テーマ ③アフロ・ロック・テ マ ④ジャパニーズ・トーン・オブ・ルパン ⑤ギャロップ・サンバ ⑥ディスコ・プレイズ・ルパン ⑦スキャット・テーマ ⑧ロック・テーマNo.1 ⑨2ビートロック ⑩スロー・バラード ⑪デキシー・ロック・マーチ ⑫ア・タッチ・オブ・ジャパニーズ・トーン ⑲ルパン三世Part2	作・編曲：山下毅雄 歌：チャーリー・コーセー	コロムビア	YP—707[illegible]	¥[illegible]300
	東映映画「地球へ……」／音楽集	サウンド・トラックより 佐藤 勝	コロムビア	CQ—7041	¥2300
	火の鳥2772／サウンド・トラックより ①プロローグ〜ゴドー ②試練 ③憧れ ④ぼくは大人になった ⑤愛と苦悩の時 ⑥地上悪 ⑦旅立ち ⑧愉快な仲間たち ⑨出逢い ⑩愛の戦い ⑪帰還 ⑫地球の最 ⑬死 ⑭復活	樋口 康雄 オーケストラ2772 千住真理子	コロムビア	CQ—7042	¥2300
	長編漫画映画「森は生きている」"ドラマ編" ①泣かないわ ②森は生きている	真理ヨシコ、グリンカ合唱団 他	コロムビア	CQ—7172	¥1800
	サイボーグ009／ヒット曲集 ①誰がために ②九つの命 ③フランソワーズのテーマ ④ジェットストリーム・ララバイ ⑤母は大地 ⑥闘いは終った ⑦戦えサイボーグ戦士 ⑧やさしさは勇気 ⑨宿命のバラード ⑩いつの日か	成田 賢 こおろぎ73 他	コロムビア	CS—7174	¥1800
	メーテルリンクの「青い鳥」／同上 ①幸せのパピラトラリラ ②今ほしいものは愛 ③お化けのフーガ ④妖精たちのファンタジー ⑤夜の女王	サウンド・トラック	コロムビア	CS—7177	¥1800
	映画「ドラえもん〜のび太の恐竜」	サウンド・トラックより	コロムビア	CS—7178	¥1800

月	タイトル・収録曲	アーティスト	レーベル	品番	価格
〈5月〉	風をみちづれに／水島　裕①メルヘン・トレイン　②レモンと地球儀　③風をみちづれに　④間違い電話　⑤沙羅葉Part 2　⑥ソー・ロング・ソー・ロング　⑦パロ　⑧ジューン・ブランド（幸せなあなたに）　⑨こころね岸辺　⑩ゲームはおしまい	水島　裕	キング	SKS—113	¥2500
	綿の国星／大島弓子Ⅰ　①ねむれない夜　②夏の来る日　③ペティさん　④ひぐらし　⑤海にいるのは　⑥舞台袖の天使　⑦マジック　⑧ラスト・ヒンデンブルク　⑨綿の国星　⑩ぐみ	松尾　清憲　ムーン・ライダース	ビクター	KVX—1073	¥2500
	「あしたのジョー」名場面集	サウンド・トラックより	オレンジハウス	ORF—5007	¥2500
	「がんばれ!!タブチくん」／がんばれば愛　（全8曲）	サウンド・トラックより	キティ	MKF—1062	¥2500
	アニメーション「ベルサイユのバラ」オリジナルBGMセレクション	鈴木　宏子	キティ	MKA—7003	¥2000
	トム・ソーヤの冒険　①誰よりも遠くへ　②セント・ピーターズバークの夜明け　③ぐうたらマン・ハック　④トム・ソーヤはよんでいる　⑤恋するベッキー　⑥星の恋人たち　⑦はるかなる蒸気船　⑧行こうぜ兄弟　⑨いたずら行進曲　⑩地獄のジョー　⑪冒険と友情　⑫ぼくのミシシッピー	スラップスティック　潘　恵子、日下まろん、若子内悦郎　ワンダーランド・オーケストラ	キャニオン	C18G—0044	¥1800
	最新アニメヒットヒット“円卓の騎士物語燃えろアーサー～銀河鉄道999”A）希望よそれは～父をもとめて（全12曲）　B）銀河鉄道999～チーキング・オフ（全12曲）	ささきいさお、こおろぎ73、堀江美都子、神谷　明、他	コロムビア	CW～7235～6	¥3000
	ヒーロー大変身“テレビ特撮映画主題歌ヒット&ヒット”A）バトル・フィーバーJ～大空のキャプター（全12曲）B）キカイダー01～はるかなる愛にかけて（全13曲）	MOJO、コロムビアゆりかご会、フィーリング・フリー他	コロムビア	CW～7237～8	¥3000
	ギャグまんが傑作集“おかしなおかしな主題歌大行進”A）ドラえもんの歌～元祖天才バカボンの春（全12曲）B）ど根性がえる～ぼくらのパーマン（全13曲）	大杉久美子、大山のぶ代、こおろぎ73、白石冬美、他	コロムビア	CW～72[illegible]～40	¥3000
	最新テレビまんが大行進“仮面ライダー～ドラえもん”A）希望よそれは～ぼくらのガッチャマン（全12曲）B）ドラえもん音頭～ひとりぼっちの誓い（全12曲）	ささきいさお、こおろぎ73、成田　賢　大杉久美子、他	コロムビア	CW～7241～2	¥3000
	交響組曲「地球へ」①地球（テラ）へ②はるかなる憧憬の地　③目覚めの日　④眠れる獅子‥‥ミュウ　⑤苦難への旅立ち　⑥アタラクシアの若者たち　⑦新しい生命の賛歌　⑧宿命の2人　⑨メンバーズ・エリート・キース・アニアン　⑪燃える惑星ナスカ　⑫星の海の闘い　⑬ジョミー・マーキス・シン　⑬友情の勝利　⑭愛の惑星	ダ・カーポ　佐藤　勝指揮　コロンビア・シンフォニック・オーケストラ	コロムビア	CQ～7041	¥2300
	NHKテレビアニメーション紀行／マルコポーロの冒険“ドラマ総集編”①いつの日か旅するものよ　②じゅうたんに秘めた恋～パミール越えの恐怖　③王の中の王フビライ～思いは東方を駆けて　④まだ旅仕度	ナレーション：小池朝雄　出演：富山　敬　麻上洋子他	コロムビア	CS—7183	¥1800
〈6月〉	青春ひとりぼっち／曾我部和行　①明日へ‥　②ダル・ナーラの船　③サファイヤの指輪　④白い砂の渚　⑤白銀の翼“青春へのタイム・トリップ　⑥青春ひとりぼっち　⑦寂しがりや　⑧秋の終りに‥	曾我部　和行	キング	SKS—118	¥2500
	世界名作アニメーション集“ドラマ入り”〈トム・ソーヤーの冒険〉①誰よりも遠くへ　②ドラマ：トムとハックのブタ騒動　③同：トムとベッキーの出逢い　④ぼくのミシシッピ〈未来少年コナン〉⑤愛をもう一度　⑥ドラマ：コナンとジムシー、バラクーダ号へ　⑦同：三角塔から飛ぶコ	日下　まろん　研　ナオコ　鈴木　賢三郎	キャニオン	C18G—0053	¥1800
	無敵鋼人ダイターン3①カム・ヒア・ダイターン3　②第1話：出ました破嵐万丈より　③～⑥：オリジナルBGM　⑦第20話：コロスは殺せないより　⑧トッポでタンゴ　⑨第22話：スターの中のスターより　⑩～⑬：オリジナルBGM　⑭第40話：万丈暁に消ゆより	堀　光一路　サウンド・トラックより　ザ・ブレッスン・フォア	キング	SKD—2016	¥2000
	映画音楽「地球へ‥」“ドラマ編”	井上純一、沖雅也　秋吉久美子他	コロムビア	CS—7186～7	¥3600
	ムーの白鯨“音楽集”	羽田　健太郎	コロムビア	CQ—7043	¥2300
	テレビ・オリジナルBGMコレクション／巨人の星　①プロローグ：めざせ栄光の星　②血染めの決勝戦　③よみがえれ飛雄馬　④栄光への第一戦　⑤炎の青春　⑥無気味な予感　⑦吼えろ若獅子　⑧宿命の出会い　⑨陽炎の中で　⑩決死の完全試合　⑪エピローグ：輝け、巨人の星	テレビ・スタジオ・オーケストラ　アンサンブル・ポッカ	コロムビア	CQ—7045	¥2300
	アニメ&ポップ・ヒット・マーチ“行進曲”　①ドラえもん　②宇宙船艦ヤマト　③銀河鉄道999　④地球（テラ）へ‥　⑤愛のオルゴール　⑥ウルトラマン80　⑦異邦人“駈足曲”　⑧燃えろ、仮面ライダー	コロムビア・マーチ・オーケストラ	コロムビア	EZ—7158	¥2000
	仮面ライダー“ドラマ編”　①仮面ライダー1号編　②同2号編		コロムビア	CS—7179	¥1800
	同　上　①仮面ライダーV3編　②ライダーマン編	子門　真人　藤　浩一	コロムビア	CS—7180	¥1800
	同　上　①仮面ライダーX編　②仮面ライダー・アマゾン編	宮内　洋	コロムビア	CS—7181	¥1800
	同　上　①仮面ライダー・ストロンガー編　②新・仮面ライダー編	水木　一郎　他	コロムビア	CS—7182	¥1800
	映画「仮面ライダー」／サウンド・トラック“ドラマ編”	サウンド・トラック	コロムビア	CS—7188	¥1800
	テレフィーチャー：銀河鉄道999／永遠の旅人エメラルダス	より	コロムビア	CS—7189	¥1800
	怪獣王ゴジラ名場面集①ゴジラ対ガメラ　②モスラ対ゴジラ　③三大怪獣地上最大の決戦	大門正明、田島怜子　高島忠夫　他	コロムビア	CS—7190	¥1800

月	内容	出演	発売元	番号	価格
	最新テレビまんが大行進（1集） ①ウルトラマン80 ②レッツ・ゴーUGM ③おれはアーサー ④旅すりゃ友達 ⑤ムーへ飛べ ⑥信じるかい ⑦男の名は仮面ライダー ⑧輝け、8人ライダー	タリスマン 水木一郎 かおりくみこ 他	コロムビア	CS—7191	¥1800
	同 上（2集） ①ハロー・ララベル ②魔法少女ララベル ③森は生きている ④泣かないわ ⑤君は走れ君は歌え ⑥そいつあだれだ	堀江美都子 大杉久美子 他	コロムビア	CS—7192	¥1800
〈7月〉	江戚子抄／増山江威子オリジナル・アルバム ①キャンティのテーマ ②エッちゃんのテーマ ③てるてる坊主の歌 ④ひとりミュージカル『私は或る女』 ⑤星のオンディーヌ ⑥夜霧のハニー ⑦ラブ・スコール ⑧迷い道	歌とナレーション：増山 江威子	キング	SKS—123	¥2500
	「11ぴきのねこ」（全11曲）	サウンド・トラック	CBSソニー	25AH—1015	¥2500
	決定盤，ウルトラマンのすべて（全21曲）	みすず児童合唱団 武村 太郎 他	キング	SKD—2017	¥2000
	風と木の詩 ①風と木の詩 ②ジルベールのテーマ ③セルジュのテーマ ④ジルベールとセルジュの対話 ⑤テーマ ⑥ピアノ・コンチェルト	NHK交響楽団他	コロムビア	CQ—7047	¥2300
	日本テレビ系スーパー・アニメ・スペシャル／ヒット曲集 ①ザ・マリン・エクスプレス ②序曲〜マリン・エクスプレス ③愛ある世界 ⑤夢のララバイ ⑤序曲〜大恐竜時代 ⑥君は何かができる ⑦ありがとう	トミー・スナイダー ケーシー・ランキン 堀江 美都子 他	コロムビア	CQ—7048	¥2300
	映画「母をたずねて三千里」より“ドラマ編” ①草原のマルコ ②かあさんおはよう	松尾佳子，曾我部和行 他	コロムビア	CZ—7013	¥2000
	旧ルパン三世“ドラマ編” ①殺し屋ブルースを歌う ②ルパンを捕えてヨーロッパへ行こう ③ルパン三世（その一・二）	山田康雄，二階堂有希子 他	コロムビア	CZ—7032	¥2000
	スーパー・アニメ・スペシャル「若草物語」より“ドラマ編”①愛はいつ ②春の兆し	杉山佳津子，麻上洋子 他	コロムビア	CZ—7033	¥2000
	デンジマン・ヒット曲集“セリフとアクション・サウンド，デンジマンなんでも百科”①ああ電子戦隊デンジマン ②デンジマンにまかせろ ③輝け，デンジマン ④星から来た超兵器 ⑤戦う電子部隊デンジマン ⑥進めデンジタイガー ⑦青春放浪 ⑧デンジマン全員集合 ⑨アイシーとは ⑩デンジ星の秘密 ⑪デンジマンの武器 ⑫デンジマンの超能力	歌：成田 賢，こおろぎ73，コロムビアゆりかご会 出演：結城真一 大葉健二， 他	コロムビア	CZ—7034	¥2000
	魔法少女ララベル“歌とおはなし” ①ハロー・ララベル ②魔法少女ララベル ③愛の魔法 ④あなたへ ⑤おなじ星の友だち ⑥咲花小学校	堀江 美都子 こおろぎ73 他	コロムビア	CZ—7035	¥2000
〈8月〉	マリンスノウの伝説／鵜 鷺	鵜 鷺	（V）	VIH—28012	¥2800
	無敵鋼人ダイターン3（全14曲）	堀光一路 他	キング	SKD—2016	¥2000
	伝説巨人イデオン ①コスモスに君と ②星々たちの物語 ③伝説のこだま ④闇からの手 ⑤発動 ⑥イデオン ⑦同 ⑧銀河の黒い流れ ⑨ふれてごらん ⑩デス・ファイト ⑪チルドレン ⑫復活のイデオン	戸田 恵子 サウンド・トラック たいら いさお	キング	SKD—2018	¥2000
	決定盤：アニメヒットソング16 ①復活のイデオン ②コスモスに君と ③トライダーG7 ④俺は社長だ ⑤マジカル・アクション ⑥アイム・ダンディ ⑦ドンデラ音頭〜調子でてますか ⑧荒野の一番星	たいらいさお，戸田恵子，ノベラ，大塚文雄，池田	キング	SKK—2138	¥1800
	テレビまんがアクションデラックス ①ウルトラマン80 ②レッツ・ゴーUGM ③ムーへ飛べ ④信じるかい ⑤がんばれ，宇宙の戦士 ⑥レッド・ブルー・イエロー ⑦ああ電子戦隊デンジマン	タリスマン，長谷川初範，中山 仁，石田えり，水木一郎，他	コロムビア	CZ—7036	¥2000
	テレビまんが歌とおはなしデラックス ①ドラえもん数え歌 ②ポケットの中に ③ハロー・ララベル ④魔法少女ララベル ⑤森へおいでよ ⑥おやすみチュチュナ ⑦幸せのパピラトラリラ ⑧窓灯り ⑨がんばれゴンベ ⑩イタズラ3人組 ⑪タンゴむりするな ⑫そいつあだれだ	大山のぶ代，ヤングフレッシュ，立壁和也，堀江美都子，大杉久美子 他	コロムビア	CZ—7037	¥2000
	まんが子ども文庫 ①梨の実 ②兄弟 ③ごうごう鐘 ④少年駅伝夫	話し：岸田今日子 東京五重奏団	コロムビア	CZ—7038	¥2000
	NHK「ニルスのふしぎな旅」“ドラマ編”A）小さくなったわんぱくニルス ②大空への旅立ち〜ニルスのふしぎな旅〜わんぱくニルス ③モルモンの大ピンチ ④ツルの舞踏会：わたしは歌う〜腹ぺこレックス	小山茉美，山崎 唯 安原義人，寺島信子 富山 敬，田中秀幸	ビクター	JBX〜230〜1	¥3000
	ディズニーランドの小鳩くるみ／ディズニー映画主題歌集 ①星に願いを ②ジッパ・デイ・ドウ・ダ ③ハイホー ④なぜかしら ⑤ビビディ・バ	小鳩くるみ	ビクター	JBX—2005	¥2000
	アクション・シリーズ “仮面ライダーより”①男の名は仮面ライダー ②輝け！8人ライダー“デンジマン”より①ああ電子部隊デンジマン，	水木一郎，成田 賢 他	コロムビア	CH—3001	¥700
	同 上ウルトラマン80”より ①ウルトラマン80 ②レッツ・ゴーUGM “ムーの白鯨より”③ムーへ飛べ ④信じるかい	タリスマン，水木一郎 他	コロムビア	CH—3002	¥700
	同 上 “新・燃えろ！アーサーより①おれはアーサー ②旅すりゃ友達 “ゴット・シグマ”より③がんばれ宇宙の戦士 ④レット・ブルー・イエロー	水木一郎，大杉久美子 他	コロムビア	CH—3003	¥700
	同 上 “魔法少女ララベル”より①ハロー・ララベル ②魔法少女ララベル “ベルフィーとルビット”より③森へおいでよ ④おやすみチュチュナ	堀江美都子，大杉久美子 他	コロムビア	CH—3004	¥700
	同 上 “ドラえもん”より ①ドラえもん数えうた②ポケットの中に“がんばれゴンベ”より③がんばれゴンベ ④イタズラ3人組	大山のぶ代，こおろぎ73 他	コロムビア	CH—3005	¥700
	同 上 “青い鳥”より①幸せのパピラトラリラ②窓灯り“あばれはっちゃくより③タンゴむりするな ④そいつあだれだ！	福原みどり，堀江美都子 他	コロムビア	CH—3006	¥700

月	内容	アーティスト	レーベル	番号	価格
	長編アニメ映画「母をたずねて三千里」 ①草原のマルコ ②陽気なマルコ ③ペッピーノ一座のうた ④かあさんおはよう	大杉久美子，曽我部和行，永井一郎，他	コロムビア	CH—3007	¥ 700
	アニメーション映画「まことちゃん」より①まことちゃん ②ビチクソ・ロック ③グワシ！まことちゃん ④ギャングの母	野下まこと，KAZZ，チャープス 他	コロムビア	CH—3008	¥ 700
〈9月〉	交響詩：ガンダム ①序曲 ②平和への祈り ③悲愴そして決然と ④出動 ⑤戦闘 ⑥シャア ⑦ララア ⑧アムロ ⑨巨大な戦い ⑩宇宙よ〜ニュータイプへ	小松 一彦指揮 新日本フィルハーモニー	キング	—7001	¥ 2500
	宇宙戦士バルディオス ①あしたに生きろバルディオス ②Part I「S—1星」：帝国の危機〜暗殺の夜〜新世界へ ③Part II「地球」：異星の客〜侵略の日〜地球の緑の丘〜行け，宇宙戦士マリン ④立て，バルディオス ⑤Part III「大宇宙戦」：亜空間要塞〜地球の一番長い午後 ⑥Part IV「破滅への序曲」：星空の虹〜アフロディアに花束を〜永遠の終り〜地球人よ故郷に還れ ⑦マリン，いのちの旅	サウンド・トラックより 伊勢功一 たいらいさお 川島和子	キング	K22G—7002	¥ 2200
	アニメーション映画主題歌／ベスト・コレクション ①地球（テラ）へ… ②愛の惑星 ③銀河鉄道999 ④テーキング・オフ ⑤やさしくしないで ⑥森は生きている ⑦泣かないわ ⑧火の鳥2772〜プロローグ	ダ・カーポ，ゴダイゴ，かおりくみこ 真理ヨシコ，他	コロムビア	CQ—7053	¥ 2300
	シュワッチ，ウルトラ兄弟勢ぞろい“ウルトラマン〜ウルトラマン80”	タリスマン，ささき	コロムビア	EZ—7049	¥ 2000
	日本TV系スーパー・アニメ・スペシャル／キャプテン“ドラマ編”	森山 周一郎 他	コロムビア	CZ—7051	¥ 2000
	アニメ・ベスト・カップリング・シリーズ（1）①翔べ、ガンダム ②永遠にアムロ ③シャアが来る ④いまはおやすみ	堀光 一路 戸田 恵子 他	キング	K08S—3003	¥ 800
	同 上（2）①「伝説巨人イデオン」：復活のイデオン ②同：コスモスに君と ③「宇宙戦士バルディオス」：あしたに生きろバルディオス ④同：マリン，いのちの旅	たいらいさお 戸田 恵子 伊勢 功一	キング	K08S—3004	¥ 800
	同 上（3） ①トライダーG—7のテーマ ②俺は社長だ ③行けザンボット3 ④宇宙の星よ永遠に	たいらいさお 堀光 一路	キング	K08S—3005	¥ 800
〈10月〉	古谷 徹／ページ1①サンライズ・アゲイン ②あの頃 ③砂時計		ビクター	JBX—2001	¥ 2500
	あしたのジョー（パートII）	サウンド・トラック	（Tk）	ORF—5011	¥ 2500
	エイトマン ①エイトマンの歌 ②ドラマ第1話：エイトマン登場より ③BGM第9話より ④ドラマ第8話：超小型ミサイルより ⑤BGM第10話より ⑥エイトマン・ナレーション ⑦ドラマ34話：決闘より ⑧BGM第22話より ⑨ドラマ第55・56話：超人類ミュータントより	サウンド・トラック たいら いさお	キング	K22G—7003	¥ 2200
	アニメーション映画「まことちゃん」“ドラマ編”	杉山佳寿子，吉田理保子，小原乃梨子	コロムビア	CZ—7054〜5	¥ 4000
	テレビ・アニメ・スペシャル「闇の帝王・吸血鬼ドラキュラ」“音楽集” ①プロローグ ②ドミニのテーマ ③クインシーハーカーのテーマ ④バンパイヤハンター ⑤宿命の星イエナス ⑨ドラキュラのフーガ ⑦トランシルバニアの伝説 ⑧哀しみのドミニ ⑼愛の誓い ⑩父と子の対決	サウンド・トラックより トランシルバニア・バロック・アンサンブル	コロムビア	CQ—7057	¥ 2300
	メーテルリンクの青い鳥／チルチルミチルの冒険旅行“テーマ音楽集” ①夜は美しい ②幸せと喜びのファンタジア ③ハートがだいじ ④コンピューターと真空管 ⑤おいでおいで ⑥アニマル・パワーだぞオ	杉まゆみ，田村しげる，ラ・ロンド 永井一郎，他	コロムビア	CZ—7053	¥ 2000
	ほえるブンブン“ドラマ編1” ①テーマ：遙かなる旅路 ②ドラマ：ブンブンは独りぼっちじゃない ③同：ノラ犬の掟第7章 ④同：ごめんよノラおじさん ⑤サブテーマ：ママのセレナーデ	松尾 香	東芝	TC—60001	¥ 2000
	アニメ・ベスト・カップリング・シリーズ（4）①立て！バルディオス ②星空の虹 ③ドンデラ音頭 ④荒野の一番星	たいらいさお，川島和子，大塚文雄	キング	K08S—3006	¥ 800
	同 上（5） ①さあ！歩きはじめよう ②はらぺこマーチ ③青春にかけろ ④明日に向かて	沢田亜矢子 VIP	キング	K08S—3007	¥ 800
	同 上（6） ①ウルトラマンの歌 ②進め！ウルトラマン ③ウルトラ・セブンの歌 ④ウルトラ・セブン	みすず児童合唱団 他	キング	K08S—3008	¥ 800
	同 上（7） ①帰ってきたウルトラマン ②MATチームの歌 ③ウルトラマン・エース ④タックの歌	ボニー・ジャックス ひばり児童合唱団	キング	K08S—3009	¥ 800
	同 上（8） ①ウルトラマン・タロウ ②ウルトラ6兄弟 ③戦え！ ウルトラマン・レオ ④星空のバラード	少年少女合唱団みずうみ 他	キング	K08S—3010	¥ 800
〈11月〉	水島 裕／YOU 3①ラブ・シャワー ②キス・イン・ザ・ドリーム ③ジョーカー ④ハプニング・デート ⑤チョッパー・フィーバー	水島 裕	キング	K25A—43	¥ 2500
	無敵ロボ・トライダーG 7①トライダーG 7のテーマ：俺は社長だ ドラマ編 ③BGM（ナレーション入り）	たいらいさお 門 里美	キング	K22G—7004	¥ 2200
	家なき子“BGM集” ①さあ歩きはじめよう ②オリジナル ③はらぺこマーチ	サウンド・トラック 沢田亜矢子	キング	K22G—7005	¥ 2200
	ヤマトよ永遠に“ドラマ編”／完全収録盤	サウンド・トラックより	コロムビア	CB—7099〜101	¥ 5400
	テレビ・オリジナルBGMコレクション／無敵鋼人ダイターン3〈オープニング〉①カムヒア・ダイターン3 ②世のため人のため〈出ました，破嵐万丈〉 ㊿トッポでタンゴ ㊿また来週	サウンド・トラック 藤原 誠 こおろぎ73	コロムビア	CX—7002	¥ 2500

	タイトル・曲目	出演・演奏	レーベル	品番	価格
	ヤマトよ永遠に "音楽集PartⅡ"	サウンド・トラック	コロムビア	CX—7002	¥2500
	かおりくみこ／ベストヒット14 ①想い出なみだ色 ②レリューズのテーマ ③愛の星フランソワーズ ④LOVE ⑤エリカのバラード ⑥若草のシャルロット ⑦メイ・フラワー ⑧やさしくしないで	かおりくみこ 大倉正文，フィーリング・フリー，	コロムビア	CX—7052	¥2300
	神谷 明／ベスト・ヒット ①天駆ける夢 ②旅人ひとり ③カム・オン・ザ・ドリーム ④満天の星 ⑤雪の花びら ⑥君よふりかえるな ⑦まわり灯籠 ⑧今こそ ⑨友よ ⑩ミス・スニーカー ⑪マイ・ウエイ	神谷 明 ザ・ミンツ	コロムビア	CQ—7056	¥2300
	テレビ映画／ウルトラマン80 "名場面集" ①ウルトラマン先生 ②まぼろしの街 ③恐怖のガス・パニック ④美しい転校生	タリスマン 長谷川 初範	コロムビア	CZ—7056	¥2300
	スーパー怪獣ゴジラ映画シリーズ2／怪獣王ゴジラ（1） ①ゴジラ ②ゴジラの逆襲 ③キングコング対ゴジラ	志村 喬，河内桃子 宝田 明， 他	コロムビア	CZ—7057	¥2000
	同 上（2） ①怪獣大戦争 ②南海の大決闘 ③ゴジラの息子	宝田 明 他	コロムビア	CZ—7058	¥2000
〈12月〉	川内康範，月光仮面アルバム／ノーザン・ライツ ①愛の助っ人 ②そこにいる人どうしたの ③彼は歌う ④ドン・クライ・マイ・ハニー	ノーザン・ライツ	（To）	EWS—91005	¥2800
	「伝説巨人イデオンⅡ」 ①はるかなイデオン ②バック・クランの矢 ③弦がぶ ④プレッシャー ⑤揺れる心 ⑥はずむチルドレン ⑦因果地平へ ⑧バトル・フィールド ⑨星々たち ⑩亜空間エコー ⑪ギャラクティカ・クラッシュ ⑫イデの流れ ⑬コスモス哀歌 ⑭胎生	サウンド・トラック	キング	K22G—7007	¥2200
	テレビ・オリジナルBGMコレクション／勇者ライディーン ①勇者ライディーン ②レッド団 ③平和の時 ④敵の出現 ⑤苦難 ⑥神秘恐怖	子門真人	コロムビア	CZ—7060	¥2000
	最新テレビマンガ大行進 ①風になれ ②まっ白なリングへ ③やがて青春 ④好きさ好きさレッツトピッキーズ ⑤ユカイツーカイ怪物くん ⑥おれたちゃ怪物3人組よ ⑦ああ電子戦隊デンジマン ⑧デンジマンにまかせろ ⑨おじゃまんが山田くん ⑩今日も夕やけ ⑪ハーイ，生徒諸君 ⑫悪たれ団へ ⑬ローラーヒーロー・ムテキング ⑭おれたちゃグロタコブラザース ⑮ウルトラマン80 ⑯レッツゴーUGM	堀 欣也 水木一郎 こおろぎ73 山野さと子 他	コロムビア	CZ—7060	¥2000
	ドラえもん／バラエティジョッキー（1集）フォーマット例第1集 ①ドラえもんの歌とおしゃべり ②ドラマ	大山のぶ代 小原乃梨子	ロロムビア	CZ—7061	¥2000
	同 上（2集） ①ドラえもんの歌 ②ジョッキードラマ	大杉久美子 他	コロムビア	CZ—7062	¥2000
	アニメランド・シリーズ（1）テレビまんが主題歌のあゆみ／アニメランド63～65 ①鉄腕アトム ②ロボットマーチ ③鉄人28号 ④正太郎マーチ ⑤狼少年ケン ⑥ケンとチッチとポッポのチャチャチャ ⑦少年忍者風のワジ丸 ⑧たたかう少年忍者 ⑨ビックX ⑩スーパー・ジェッター ⑪流星号マーチ ⑫宇宙パトロールポッパ ⑬ジュンの歌 ⑭宇宙人ピピ ⑮ピピの歌 ⑯宇宙少年ソラン ⑰いざ行けソラン	コロムビアゆりかご会，西六郷，少年少女合唱団，上高田少年合唱団，松島みのり，ボーカル・ショップ，中村メイコ他	コロムビア	CZ—7063	¥2000
	同 上（2）同 上／アニメランド66～66 ①星の炎に ②ワンダー3 ③オバQ音頭 ④オバケのQ太郎 ⑤ジャングル大帝 ⑥レオの歌 ⑦ハッスルパンチの歌 ⑧パンチ・タッチ・ブンの歌 ⑨おそ松くん ⑩レインボー戦隊ロビン ⑪ロビンの宇宙旅行 ⑫海賊王子 ⑬海賊稼業はやめられない ⑭ハリスの旋風 ⑮遊星仮面	みすず児童合唱団，ボーカル・ショップ 曽我町子，石川 進 コロムビア女声合唱団 他	コロムビア	CZ—7064	¥2000
	同 上（3）同 上／アニメランド66～67 ①ロボタンの歌 ②魔法使いサリー ③魔法のマンボ ④悟空の大冒険マーチ ⑤悟空が好き好き ⑥黄金バット ⑦黄金バット数え歌 ⑧ピッカリ・ピーの歌 ⑨ピッカリ・ピーはいいな ⑩ぼくらのパーマン ⑪すてきなパー子 ⑫リボンの騎士 ⑬リボンのマーチ ⑭マッハゴー・ゴー・ゴー	古今亭志ん朝，ダイヤモンド・シスターズ，前川陽子，ハニー・ナイツ，鈴木やすし 他	コロムビア	CZ—7065	¥2000
	同 上（4）同 上／アニメランド67～68 ①冒険ガボテン島 ②いももコンビで ③グズラ音頭 ④おらあグズラだど ⑤ゲゲゲの鬼太郎 ⑥カランコロンの歌 ⑦わんぱく探偵団 ⑧怪人二十面相はうたう ⑨行け行け飛雄馬 ⑩友情の虹 ⑪アニマル1の歌 ⑫ナナ子の歌 ⑬サイボーグ009 ⑭戦いおわって ⑮あかねちゃん ⑯ヒデハロ・ソング	ボーカル・ショップ 伊藤牧子，東 美恵 杉山加寿子，太田淑子，野沢雅子，西尾徳，大平 透 他	コロムビア	CZ—7066	¥2000
	同 上（5）同 上／アニメランド68～69 ①ファイトだピュー太 ②ピュー太ぐるぐるソングだれが主役だ ③おれは怪物くんだ ④そろた怪物3人組 ⑤サスケ ⑥かあさんの歌 ⑦バンパイヤ ⑧佐武と市 ⑨妖怪人間ベム ⑩ベロは友だち ⑪ひみつのアッコちゃん ⑫すきすきソング ⑬ウメ星デンカがこんにちは ⑭ウメ星マーチ ⑮紅三四郎	フォア・ジェッツ，伊藤牧子，相模 武 小林恭治，関 敬六 菅谷政子，白石冬美 今西正男， 他	コロムビア	CZ—7067	¥2000
	怪獣王ゴジラ ①怪獣総進撃 ②オール怪獣大進撃 ③ゴジラ対ヘドラ	平田昭彦，久保 明	コロムビア	CZ—7068	¥2000
	同 上 ①メカゴジラの逆襲 ②ゴジラ対ガイガー ③ゴジラ対メガ	田崎 潤，山内 明	コロムビア	CZ—7069	¥2000
	連続テレビ・アニメーション／まんが・ことわざ事典 ①オープニング・テーマ：今日もピカピカ ②犬も歩けば俸にあたる ③傍目八目	子門真人	CBSソニー	25AH—1149	¥2500
	テレビ・ヒットソング大行進80 ①ぼくドラえもん ②ドラえもんの歌 ③ウルトラマン80 ④男の名は仮面ライダー ⑤ああ電子戦隊デンジマン ⑥翔べ，ガンダム ⑦ハロー・ララベル ⑧花の子ルンルン	朝倉理恵 大和田りつこ 石岡 宏 他	CBB·ソニー	20AH—1440	¥2000

	まんが日本昔ばなし ①テーマ：日本昔ばなし ②安珍清姫 ③鮭の恩返し ④芋ほり長者 ⑤ソラ豆の黒いすじ	市原 悦子	東 芝	TC—60002	¥2000
	同 上 ①テーマ：日本昔ばなし ②百合若大臣 ③屁ひり女房 ④ねずみの嫁入り ⑤ひょうたん長者	常田富士男	東 芝	TC—60003	¥2000
	テレビアニメ人気主題歌集 ①ニルスのふしぎな旅 ②ハロー・ララベル ③キャンディ・キャンディ ④誰よりも遠くへ ⑤ドラえもんの歌 ⑥ぼくドラえもん ⑦花の子ルンルン ⑧とんちんかん一休さん	加橋かつみ，今田裕子，カモフラージェ大和田りつ子，ロー	ビクター	JBX—223	¥1500
〈1月〉	鈴置洋孝／破嵐万丈	鈴置洋孝	キング	K25A—102	¥2500
	エモーション／堀江美都子 ①カリフオルニア・ドリーム ②甘いテレパシー ③幸せのイエスタデイ ④郵便ポスト ⑤摂氏85度	堀江 美都子	コロムビア	CX—7006	¥2500
	みんなで歌おう／最新アニメ・カラオケ・ベスト16 ①復活のイデオン ②コスモスに君と ③あしたに生きる，バルディオス ④マリン，いのちの旅 ⑤立て！ バルディオス ⑥星空の虹 ⑦愛よその日まで ⑧銀河伝説 ⑨ウルトラマン80 ⑩レッツ・ゴーUGM ⑪燃えろ！仮面ライダー	キング・オーケストラ	キング	K13A—128	¥1300
	スーパー・ジェッター ①スーパー・ジェッター主題歌 ②流星号マーチ ③第1話：未来から来た少年 ④第24話：過去への挑戦 ⑤第28話：犯罪王スパイダー ⑥第51話：タイム・パトロール	サウンド・トラック	キング	K22G—7008	¥2200
	80年ヤマト・フェスティバル・イン武道館 A）①序曲 ②誕生 ③宇宙船艦ヤマト ④出発 ⑤真赤なスカーフ ⑥決戦 ⑦イスカンダル ⑧回想 ⑨白色彗星 ⑩英雄の丘 ⑫デスラー ⑫襲撃 ⑬好敵手 ⑭大いなる愛 B）①新コスモタイガー ②ゴルバ ③デスラー 他	ささきいさお 堀江 美都子	コロムビア	CQ—7059～60	¥4600
	東映長編アニメーション映画「サイボーグ009」音楽集 ①プロローグ：神聖なる宇宙 ②サバのテーマ ③ダガスの使者 ④悲しみのアルベルト ⑤誓いの戦士たち ⑥さらばとは言わない ⑦スターゲートのかなたに ⑧美しきフアンタリオン星 ⑨女王タマラのテーマ ⑩愛はまぼろし	町田 義人 山本 百合子 マジカル・スペース・オーケストラ	コロムビア	CX—7005	¥2500
	宇宙戦艦ヤマト／主題歌ヒット曲集 ①宇宙船艦ヤマト ②星のペンダント ③好敵手 ④銀河伝説 ⑤ヤマトより愛をこめて ⑥サーシャわが愛 ⑦ヤマト，新たなる旅だち ⑧おもかげ星 ⑨星に想うスターシャ ⑩テレサよ永遠に ⑪愛の生命 ⑫愛よその日まで ⑬真赤なスカーフ	ささきいさお 堀江 美都子 島倉 千代子 他	コロムビア	CQ—7058	¥2300
	最新アニメーション映画ベストヒット ①10億光年の愛 ②さらばとは言わない ③愛はまぼろし ④この星の上で ⑤地球へ… ⑥愛の惑星 ⑦星のペンダント ⑧おもかげ星 ⑨サンバ・デ・まことちゃん ⑩パパ&ママ・ロック ⑪タルカの冒険 ⑫愛しい君へ	町田義人，山本百合子，ダ・カーポ，ささきいさお，堀江美都子 他	コロムビア	CQ—7061	¥2300
	アニメランド・シリーズ（1）テレビまんが主題歌のあゆみ／アニメランド63～65（全17曲）	コロムビアゆりかご会，松島みのり，ボ	コロムビア	CZ—7063	¥2000
	同 上（2）／アニメランド65～66（全15曲）	ーカル・ショップ，	コロムビア	CZ—7064	¥2000
	同 上（3）／アニメランド66～67（全15曲）	中村メイコ，吉田亜	コロムビア	CZ—7065	¥2000
	同 上（4）／アニメランド67～68（全16曲）	矢，みすず児童合唱	コロムビア	CZ—7066	¥2000
	同 上（5）／アニメランド68～69（全16曲）	団，曾我町子 他	コロムビア	CZ—7067	¥2000
	がんばれ元気"歌とお話し" ①風になれ ②名場面集Part1 ③君はまぶしさ ④もんしろちょう ⑤名場面集Part2	藤田淑子，井上真樹夫，杉山佳寿子，堀	コロムビア	CZ—7073	¥2000
	テレビまんが／アクションシリーズ ①ヤマトPartⅢ ②同 ③仮面ライダー・スーパー1 ④火を噴けライダー拳 ⑤ウルトラマン80 ⑥レッツ・ゴーUGM ⑦ローラーヒーロー・ムテキング ⑧おれたちゃクロダコブラザース ⑨おじゃまんが山田くん ⑩今日も夕やけ ⑪風になれ ⑫まっ白なリングへ	高杉俊价，こおろぎ73，タリスマン，水木一郎，フィーリング・フリー，堀欣也	コロムビア	CZ—7093	¥2000
	同 上 ①ユカイツーカイ怪物くん ②おれたちゃ怪物3人組よ ③やがて青春 ④好き好きレッドビッキーズ ⑤ハロー・ララベル ⑥魔法少女ララベル ⑦ハーイ！生徒諸君 ⑧悪たれ団へ ⑨ドラミちゃんの絵かき歌 ⑩ドラえもん子守唄 ⑪ドラえもん数え歌 ⑫ドラえもんマーチ	こおろぎ73，コロムビアゆりかご会，山野さと子，スクールメイツ，	コロムビア	CZ—7094	¥2000
	白雪姫"英語盤"	サウンド・トラック	（C）	CZ—7187～8	¥4000
	ディズニーよい子の名作シリーズ（1） ①白雪姫：ハイ・ホー～いつか王子さまが ②眠れる森の美女 ③シンデレラ姫 ④不思議な国のアリス	指揮：富田勲 新音楽協会， 他	（C）	CZ—5001	¥2000
	同 上（2） ①バンビ ②ダンボ ③101匹わんちゃん大行進 ④3匹の子ぶた～狼なんかこわくない	指揮：渡辺岳夫 小幡昭子 他	（C）	CZ—5002	¥2000
	同 上（3） ①ピノキオ ②わんわん物語：シャムねこの歌～ベラ・ノッチ ③みにくいあひるの子 ④豆ぞうの冒険：象のマーチ～虎の歌～ネズミの殺し屋	天地総子，島田多恵子，斎藤尚子，高沢明 他	（C）	CZ—5003	¥2000
	同 上（4） ①ピーターパン ②ジャングル・ブック ③子ぐまものがたり ④町のねずみといなかのねずみ	清水 徳，関口正子 劇団若草，矢島正明	（C）	CZ—5004	¥2000
	同 上（5） ①ミッキーのジャックと豆の木 ②ミッキーの巨人退治：ミッキーの仕立屋マーチ～ミニーの王子さま ③ミッキーの宇宙旅行～行こう宇宙へ空高く ④ミッキーの海底探険：行くぞ7つの海こえて～人魚の歌	小幡昭子，田の中勇 藤岡琢也，高橋和枝 天地総子，ボーカル・ショップ 他	（C）	CZ—5005	¥2000

	曲目	演奏者	発売元	番号	価格
	同　上（6）①王さまの剣 ②青い自動車：かわいいクーペ〜さびしい夜 ③がんばれハイアワサ〜10人のインディアン	トニー 谷，石垣良関 敬六　他	（C）	CZ−5006	¥2000
	同　上（7）①ハイ・ホー ②いつか王子さまが ③オーロラ姫 ④いつか夢で ⑤ビビディ・バビディ・ブー ⑥ゆめはあなたの心のねがい ⑦スーパーカリフラジリスティック・エクスピアリドウーシャス ⑧チム・チム・チェリー ⑨ピーター・パンの歌 ⑩第2の星は右に ⑪ラ・ラ・ルー ⑫ベラ・ノッテ	ボン・クール，コロムビアゆりかご会，真理ヨシコ，ボーカル・ショップ，松島トモ子　他	（C）	CZ−5007	¥2000
	ほえろブンブン“ドラマ編”（1）①テーマ：遙かなる旅路 ②ドラマ：川をながされてきた小犬 ③同：ノラ犬のおきて ④同：ぼく，ノラ犬になるんだ ⑤同：ブンブンの旅立ち ⑥サブテーマ	サウンド・トラックより　松尾　香，松島みのり，　他	東　芝	TC−60041	¥2000
	同　上“名場面音楽集” ①テーマ：遙かなる旅路 ②ほえろブンブン序曲 ③情景BGM（1）：夜空の星〜春の野山〜ギラギラ太陽 ④挿入歌：知らなかったボク ⑤情景（2）：秋〜さびれた町〜広大な野原 ⑥BGM感情（1）：夢〜やすらぎ〜喜び〜感動 ⑦同（2）：悲しい別れ〜想い出〜悲しみを胸に ⑧同（3）：寂しさ〜絶対絶命〜おやすみ ⑨挿入歌：俺はノラ様だ ⑩BGM行動（1）：活躍〜特訓〜しのび足	松尾　香　前田　昌明　指揮：林　紀人　東京交響楽団	東　芝	TC−60042	¥2000
〈2月〉	夢想紀行／井上真樹夫 ①バロックロマン「赤の告白」 ②同「ひとり旅から」 ③ひとり旅ひとりダンス ④無名花 ⑤きらめいて一瞬	井上真樹夫	キング	K25A−119	¥2500
	新エースをねらえⅢ“音楽集”（BGM編） ①オープニング・テーマ：青春にかけろ ②港の見える街 ③ブリッジコレクション〜イニシャルはH・O ④憧れのお蝶夫人 ⑤冷たい視線 ⑥哀しみにたえて	サウンド・トラック	キング	K22G−7010	¥2200
	フジTVアニメックス「二十四の瞳」 ①愛は輝く瞳 ②君の ③ドラマ ④BGM	倍賞　千恵子　サウンド・トラック	キング	K22G−7010	¥2200
	東映映画「超銀河伝説・サイボーグ009」“ドラマ編” A）①プロローグ ②集結 ③コマダー星の使者 ④宇宙の危機 ⑤旅立ち ⑥さらばとはいわない ⑦スターゲートへ ⑧フアンタリオン星の着陸 ⑨サイクルシップス・ロダック B）①救出 ②タマラの死 ③愛はまぼろし ④ガゼッツ要塞星 ⑤超エネルギー・ボルデクス ⑥決戦 ⑦宇宙の迷路スターメース ⑧帰還 ⑨エピローグ：10億光年の愛	町田義人，山本百合子，井上和彦，杉山佳寿子，山田俊二，白石冬美，肝付兼太　小原乃梨子，大平透　他	コロムビア	CZ−7074〜5	¥4000
	テレビ・オリジナルBGMコレクション／超電磁マシン・ボルテスV ①ボルテスVの歌 ②侵略の魔手〜ボアザン星辺境征服軍地球に来襲す：aプロローグ〜暗黒の宇宙b前進基地地底城cスカールークの出陣dボアザン軍総攻撃開始 ③ボルテス・勇姿の出現〜地球の命運を双肩に賭けて：a5人の戦士登場bボルテスチームの訓練c出撃，ボルテスメカdレッツ・ボルトインeボルテス対攻撃戦士f必殺，天空剣Vの字斬り ④若き英雄たち〜正義に燃える青春の血潮：a健一，友情の絆b西部の男，一平c男一匹大次郎dくの一めぐみe日吉とタツコf剛兄弟涙の誓い ⑤ブリッジ・コレクションaブリッジbアイキャッチャーcエンディングd次号予告 ⑥ボルテス，死闘の戦歴〜壮絶なる電磁波の攻防戦：aボアザンの罠bボルテス戦闘空域突入c攻撃戦士の逆襲dボルテス絶対絶命eボルテス怒りの反撃 ⑦剛兄弟出生の秘密〜ラ・ゴール如何に宿命と闘いしか	堀江　美都子　こおろぎ73　コロムビアやりかご会　水木　一郎　コロムビア・オーケストラ	コロムビア	CX−7004	¥2500
	テレビ・オリジナルBGMコレクション／宇宙船艦ヤマトPart1 ①宇宙船艦ヤマト ②a無限に広がる大宇宙bヤマト発進c地球を飛び立つヤマト ③aデスラー登場bイスカンダルの女c悲しみd敵宇宙船の出撃 ④a船隊集結bブラックタイガー ⑤a探索艇bロマンス　他	さ さ き い さ お	コロムビア	CX−7008	¥2500
	TVオリジナル・サントラ「ルパン三世」“総集編” ①ルパン三世のテーマ ②ルパン三世79 ③ルパン三世80	山田康雄，増山江威子，小林清志　他	コロムビア	CX−7012	¥2500
	同　上“BGM集” ①荒野に消えて ②尾行者 ③ルパン三世愛のテーマ ④ゆれる炎 ⑤ラブ・スコール ⑥千鳥歩き ⑦秘密の通路 ⑧ルパン三世のテーマ ⑨ハスラーを追って ⑩ナイト・フライト	ユー&エクスプロージョンバンド	コロムビア	CX−7013	¥2500
	テレビ朝日系テレビまんが「怪物くん」“歌とドラマ” ①怪物くんマーチ ②おれたちゃ怪物3人組よ ③フランケンの歌 ④ドラキュラの歌 ⑤オオカミ男の歌 ⑥ユカイツーカイ怪物くん ⑦怪物くん登場 ⑧ペット怪物ゴロニャーン ⑧いそうろう怪物ガメル君	野沢雅子，ヤング・フレッシュ，神山卓三，肝付兼太，相模太郎	コロムビア	CX−7076	¥2000
	テレビまんが「とんでも戦士ムテキング」より／ムテキングとんでもジョッキー ①ローラーヒーロー・ムテキング ②タコローダンシング ③クロダコ踊りPart1 ④モンスター・パーティ ⑤勇気があれば	水木一郎，大杉久美子，こおろぎ73　井上和彦，佐々木　誠　藤田淑子，穴倉正信	コロムビア	CZ−7077	¥2000
	アニメランド・シリーズ（6）テレビまんが主題歌のあゆみ／アニメランド69〜70 ①どろろの歌 ②男一匹ガキ大将 ③仲間たちの歌 ④タイガー・マスク ⑤みなしごのバラード ⑥ハクション大魔王の歌 ⑦アクビ娘 ⑧アタックNo.1 ⑨パン・ポ・ポン ⑩あしたのジョー ⑪ジョーの子守唄 ⑫みなしごハッチ ⑬ママをたずねて ⑭赤き血のイレブン ⑮わが友玉井真吾	ザ・トラベラーズ，新田　洋，堀江美都子，山尾百合子，大江由貴子，ザ・モンジュ　他	コロムビア	CZ−7081	¥2000

	同　上（7）同　上／アニメランド70～71 ①男どアホウ甲子園 ②どアホウ賛歌 ③キックの鬼 ④キックのあけぼの ⑤大ちゃん数え歌 ⑥いなかっぺ大将 ⑦魔法のマコちゃん ⑧ボクはマコについていく ⑨カバトットのサンバ ⑩カバトット ⑪ミスター・アンデルセン ⑫キャンディの歌 ⑬ズコの歌 ⑭決断 ⑮男ぶし	フォー・スラッガーズ，山田叔子，コロムビアゆりかご会 井上裕子，吉田よしみ，堀江美都子　他	コロムビア	CZ—7082	¥2000
	同　上（8）同　上／アニメランド71 ①さすらいの太陽 ②心の歌 ③オバケのQ太郎 ④オバQ絵かき歌 ⑤天才バカボン ⑥バカボンのパパ ⑦ふしぎなメルモ ⑧幸せをはこぶメルモ ⑨エッちゃん ⑩エッちゃんが好きや ⑪国松さまのお通りだい ⑫逆転の応援歌 ⑬アパッチ野球軍 ⑭みんなみんな ⑮ゲゲゲの鬼太郎 ⑯カランコロンの歌	スリー・グレイセス ボーカル・ショップ 堀江美都子堀　絢子 ニューロイヤル，ザ・グリンピース　他	コロムビア	CZ—7083	¥2000
	同　上（9）同　上／アニメランド71～72 ①ルパン三世その1 ②同：2 ③原始少年リュウが行く ④ランの歌 ⑤樫の木モック ⑥ボクは悲しい木の人形 ⑦海のトリトン ⑧ピピの歌 ⑨魔法使いチャッピー ⑩ドンちゃんの歌 ⑪魔法のワルツ ⑫がんばれ，赤胴鈴之助 ⑬赤胴音頭 ⑭デビルマンの歌 ⑮今日もどこかでデビルマン ⑯ガッチャマンの歌 ⑰倒せ，ギャラクター	チャーリー・コーセー，水木一郎，堀江美都子，小野木久美子，コロムビアゆりかご会，ムーン・ドロップス　他	コロムビア	CZ—7084	¥2000
	同　上（10）同　上／アニメランド72～73 ①アストロガンガー ②進め アストロガンガー ③ハゼドン音頭 ④ぼくはハゼドン ⑤ ⑤かいけつタマゴン ⑥タマゴンだよん ⑦ど根性ガエル ⑧ど根性でヤンス ⑨マジンガーZ ⑩Zのテーマ ⑪ぼくらのマジンガーZ ⑫バビル2世 ⑬正義の超能力少年 ⑭けろっとデメタン ⑮まけるなデメタン	水木一郎，コロムビアゆりかご会，水森亜土，ムーン・ドロップス，石川　進，和泉常寛　他	コロムビア	CZ—7085	¥2000
	まんが日本昔ばなし（29） ①テーマ：日本昔ばなし ②ネズミ浄土 ③こがねの斧 ④猿の恩返し ⑤とろかし草	市原悦子，常田	東芝	TC—60029	¥2000
	同　上（30） ①テーマ：日本昔はなし ②蛸薬師 ③あさこゆうこ ④クラゲの骨なし ⑤かじ屋のばばあ	富士男，花頭巾	東芝	TC—60030	¥2000
	東京12チャンネル系放映「ほえろブンブン」“ドラマ編”（2） ①テーマ：遙かなる旅路 ②闘犬ラッキーとの友情 ③ブンブンの初恋 ④ブンブン危機一発 ⑤ゴーストタウンの口笛 ⑥サブテーマ：俺はのら様だ	テレビ・サウンド・トラックより 松島みのり　他	東芝	TC—60043	¥2000
	ルパン三世 I ①ルパン三世のテーマ ②ルパン三世愛のテーマ ③ルパン三世79 ④ラブ・スコール	サンドラ・フォーボ ビー	コロムビア	CE—3001	¥800
	同　上Ⅱ ①ラブ・イズ・エブリシング ②ルパン三世80 ③炎のたからもの ④ミステリアス・ジャーニー	ユー＆エクスプロージョン・バンド	コロムビア	CE—3002	¥800
〈3月〉	アニメトピア／吉田理保子&麻上洋子 “理保子の部屋・洋子の部屋 ①田辺聖子と瀬戸内晴美 ②さみしがりや ③ダサイひと ④素敵な夜を ⑤メッセージ“アニメトピア発オトコトピア行” ⑥街角のカフェ ⑦おばはあのテーマ ⑧哀愁のイケズ娘 ⑨街角のカフェ	吉田理保子 麻上　洋子 ⑥～⑨はインストルメンタル	キング	K25A—118	¥2500
	無敵ロボ／トラナイダーG7“BGM集” ①オープニング・テーマ：トラナイダーG7のテーマ ②今日も元気で学校へ ③わんぱくワッ太の一日 ④ガバール帝国の陰謀 ⑤襲来メカ・ロボット軍団 ⑥涙の友情 ⑦ブリッジ・コレクション ⑧さあ，仕事仕事 ⑨広くはてしない大宇宙 ⑩お食事の時間です ⑪陽気なシャイン達 ⑫希望の光り ⑬決意も新たに ⑭G7大激戦 ⑮明日もがんばろう ⑯俺は社長だ	たいらいさお	キング	K22G—7015	¥2200
	テレビ・オリジナルBGMコレクション／超電磁ロボ・コン・バトラー・V ①オープニング・テーマ～コンバトラーVのテーマ ②キャンベル星人の挑戦：大地底海～オレアナ像～怪鳥人ガルーダ～悪魔のどれい獣 ③正義の使者コンバトラーV：出鈍，バトル・チーム～バトルメカ発進～レッツ・コンバイン～コンバトラーV登場～コン・バトラー戦闘開始～初めての勝利 ④地球を守る5人の仲間：1人ぼっちの豹馬～十三と豹馬の対立～九州男児大作～ちずる・オトメチックに～天才北小介～5人のマーチ ⑤戦い・孤独・そして愛：安らぎのとき～心のふれあい～戦いの中の崩哀～悲しみを越えて ⑥戦え，コン・バトラーV：どれい獣の襲来～危機に立つコン・バトラー～アタック，コン・バトラーV～必殺，超電磁スピン ⑦平和の砦南原コレクション：ひととき戦いを忘れて～ドタバタ～緊張と焦燥～危機迫るコレクション ⑧大将軍ガルーダの悲劇：決闘，豹馬対ガルーダ：悲壮なる戦い～孤独のガルーダ～ガルーダ愛のテーマ ⑨最後の戦い，そして勝利：三面鬼殿～マグマ獣大反撃～友情の勝利～正義の凱旋 ⑩エンディング・テーマ：行け，コンバトラーV	水木一郎 ザ・ブレッスン・フォア コロムビアゆりかご会 コロムビア・オーケストラ	コロムビア	CX—7010	¥2500
	長編漫画映画「白鳥の湖」“音楽集” チャイコフスキー：バレイ音楽「白鳥の湖」Op20	ウイーン交響楽団 他	コロムビア	CX—7009	¥2500
	宇宙戦艦ヤマトⅢ“音楽集” ①太陽のシンフォニー ②ヤマト新兵のテーマ ③ガルマンガミラス ④LOVE ⑤第18機甲師団 ⑥ボラー連邦の大テーマ ⑦シャルバート星 ⑧デスラーズパレス ⑨ルダ王女のテーマ ⑩ルダ王女の恋 ⑪ガルマンガミラスの戦い ⑫ボラー連邦	シンフォニック・オーケストラ・ヤマト	コロムビア	CX—7015	¥2500

YOKOHAMA —— NAGOYA —— TOYAMA —— KANSAI —— HAKATA —— TOKYO etc

INDEPENDENT RECORDS LIST OF JAPAN

D SUPER O HEAD L MAGAZINE L NO. 3

にゅーうえいぶ? にほんのろっく? なんのじょうだんじゃあ?! なんてことをちょっとゆーてみたりなんかして、しゃちょー、ごめんね。

編集室——東京都杉並区高円寺北3－1－9青田ビル303 〒166　Phone03－339－1952

1980年の未婚老読者

村上知彦
（漫画雑誌『漫金超』編集長）

★『漫金超』創刊は、三十代になろうとする自分たちのためのまんがを自らの手で送りだしたい、という思いの結晶でもあった。さて、編集者1年目の村上氏に、80年まんが界はどんな風に映ったのだろう——。

■「読み捨てる」ことを知った一年■

昨年ほどまんがを読むのがしんどかった一年はなかった。仲間たちとまんが雑誌を編集しはじめて、読むことが仕事の一部になったせいもあるかもしれないが、それにしても今振り返って萩尾望都の「訪問者」や「メッシュ」にも、大島弓子の「綿の国星」や「雛菊物語」にも、樹村みのりの「カインの海辺」にすら言いたいことが何もみつからず、原稿のために読み返すのもおっくうだというのはいささか異常だ。それらの作品がいずれも一九八〇年を代表する傑作であることは疑う余地がない。だが、何故？と問い返されると、とたんにぼくは困り果てる。どこがどうとか、これこれこうだからというふうに、どうしてもうまく言えないのだ。言う自信がないと言ってもよい。発表された作品を読んでいる間は確かに、感動し、面白がり、これは傑作だと思っていたのが、読み終えた途端、その感動や面白さの内容をきれいさっぱり忘れてしまい、傑作だという事実だけが、直観から導きだされたもののように手元に残っていた。そんなふうにしか読めなかった作品について何が語れるというのだ。だいいち作者に対しても失礼ではないか。

まんがを読むという行為はそういうことではなかった。少なくともぼくはこれまで、まんがを「読み捨てる」ということが、どうしても理解できなかった。まんがを読めば、確実に何かがぼくの手元に残り、残った何かにせかされるように、それを一時も早くべつの誰かに手渡したくて、ぼくはまんがについて語ったり書いたりしはじめる。同じように語りたがっている誰かと、互いの受けとった何かを交換しあって、確認したり、疑問を持ったり、反発したり、発見したり……そのような過程のすべてが、ぼくにとっての「まんがを読むこと」だった。

だが昨年は違っていた。読んだまんがを反趨したり、誰かに伝えたいという衝動に駆られるいとまもなく、次から次へとまんがを読みこなしていった、だけだったような気がする。「読み捨てる」というのがどういうことか、それがいかに味気なく、空しいことであるのか、ぼくは初めて知った。まんがを読んだあとに何も残らないなんて。自分がいったい何を読み、何に感動していたのかすらたちまち忘れてしまうな

んて！

■語りつくせぬ作品群■

伝えたい衝動を残してくれた作品も、むろんいくつかはあった。

目をおおうばかりのヘタな絵が横行する『少年ジャンプ』に突如登場した**鳥山明**の**『Dr・スランプ』**はその洗練された絵柄とほのぼのとした雰囲気、ギャグのセンスの新しさで、山上たつひこや鴨川つばめの時代が明らかに終わったことを強烈に印象づけた。鳥山明の新しさは、昭和30年代の少年まんがを思わせるその「古さ」である。大友朗「日の丸くん」や浅野りじ「発明ソン太」といった、少年まんがの黄金時代に生まれた作品に、「Dr・スランプ」は驚くほど似かよっている。むろん語り口も絵柄もテンポも、より現代的にスマートになってはいるし、ギャグの質も変わってはきているが、基本的なトーンは全くといってよいほど「古きよき少年まんが」なのだ。こういう作品は盲点だった。ぼくら老いぼれまんが読みは、内心ひそかにこういった作品をこそ待ち望んでいたのだが、それがいまの若い読者にも熱く支持されるなどとは思ってもみなかった。「どこでもない場所」ペンギン村に住む、発明家・則巻千兵衛はかせと、アンドロイド少女・アラレちゃん、級友のあかねちゃん、タロウくん、ピースケくん、山吹みどり先生たちのくりひろげるSFドタバタコメディなのだが、ファッションや小道具のディテールの正確さ、SF映画やアニメのパロディと動物や自然の風物が同居する奇妙さ、アメコミやSFアート、外国アニメなどの影響があると思われる、シンプルでめっちゃんこ可愛い絵、などがあいまって、独自の世界を形づくっている。ぼくがこのまんがを読んで感無量だったのは、主人公・アラレちゃんの父親役にあたるセンベイはかせが、なんとぼくと同い年であることだった。アラレちゃん13歳、はかせ28歳という設定だから父親というほどではないが、おっさんであることは間違いない。自分の年齢などというのものを相対的に自覚したことがなかっただけに、これはこたえた。独身の　ンベイはかせの、結婚のことがまんがの中で話題になるたびに、ぐさっとくるのだ。現実のなかでは忘れてしまえる、気にもとめないことがらが、まんがのなかで初めて見えてくるというのは得がたい経験だった。ぼくにとっては、まんがのなかの世界のほうが、よりリアリティーを持ってしまっているのかもしれない。

Dr, スランプ
／少年ジャンプ

そのほかにも、**山岸凉子**の**『日出処の天子』**が、長編まんがとはこういうものだったと、毎月ワクワクしながら続きを待つ楽しみを思い出させてくれたし、**森脇真末味『緑茶夢（グリーンティー・ドリーム）』**シリーズが、ロックグル

ープの若者たちの集団ドラマとして、それぞれに個性的な人間たちの間の微妙な関係、人と人とのつながりのなかで営まれていく人生のニュアンスを捉えていた。**大友克洋・矢作俊彦**の**「気分はもう戦争」**は、国際政治状況と同時進行の面白さて、まんがの持つアソビの機能を最大限に発揮してみせてくれたし、**内田善美「空の色ににている」**が、この作品をぼくの雑誌『漫金超』に欲しかったと、編集者としてのぼくを悔しがらせた。そして**高野文子**がポツリポツリと発表した**「方南町経由新宿西口京王百貨店前行」「田辺のつる」「うらがえしの黒い猫」「あぜみちロードにセクシーねえちゃん」「アネサとオジ」「たあたあたあと遠くで銃の鳴く声がする」「午前10：00の家鴨」**の諸作品が、一作ごとにガラッと方向を変えて、まんがの可能性の極みへそのつど行き着いてみせるのを、めくるめく思いて眺めていた。

▶空の色ににている／ぶーけ

◀うらがえしの黒い猫／プチフラワー

▼気分はもう戦争／週刊漫画アクション

■三十路が読むまんがとは？■

これらの作品に関していえば、語っても語っても、まだ足りぬほど、語るべきことは山ほどあった。だとすれば、ぼくがこれらの突出してきた作品以上に、まんがの方へと自らのめり込むことがなかったのは、やはり「編集者」としての自己規定、まんがとの距離のとり方に起因するものだったのだろうか。

ある意味ではそうかもしれない。「読むこと」を無条件に前提して、あらゆるまんがに向かいあえるほどには若くはなくなったということなのだろう。「何故読むか」「何を読むか」「いかに読むか」これらの関門をかいくぐって、一気にぼくの内部までたどりつく力を持った作品以外に関しては、ぼくは昨年、すべて「保留」の棚にしまい込んでしまったような気がする。そしてそれは、自分たちの読みたいまんがが雑誌を作ろうと、自らの手で雑誌を始めようとしたことと決して無関係ではない。

『漫金超』の発想の原点は、三十路を目前に控えたぼくらには、読むべきまんがが雑誌がないという認識だった。いわゆる「劇画」誌はサラリーマンの読み捨て本と化し、少年誌にかつての熱気はなく、少女誌がいくらがんばっても少女誌である限りいつかは少女の側へ引き戻されるのは目にみえていた。ぼくらは、三十代が三十代として読めるまんがが欲しかった。そのように読み続けられるという保証を作りたかった

のだ。折から、同人誌や三流劇画誌を主要な発表舞台に、注目を集め始めていた作家たちがいた。彼らとなら、そんな雑誌が作れるかもしれないと思った。とりあえず大友克洋・さべあのま、高野文子、ひさうちみちお、宮西計三に原稿依頼し、メンバーの一人であるいしいひさいちと、関西在住て交友のあった川崎ゆきお、雑賀陽平を加えて『漫金超』創刊号のラインナップが出来あがった。場として成立すれば、少女まんが、少年まんが、青年まんがを問わず、それぞれの枠からはみださざるを得ない作家、作品をとりこんでいこうというつもりだった。

■新傾向の雑誌ラッシュ■

それは別にぼくらに限ったことではなかったようだ。SFやロック、映画関係のヤング向け雑誌がいちはやく彼らの作品を誌面にとり入れ始めたし、まんが専門のメジャー各紙も、既成の年齢別タテ割系列からはみ出す作家、作品のための受け皿を準備しはじめていた。新しい名前の雑誌ではなく、新しい傾向を持った雑誌が、昨年ほど創刊されたことはいまだかつてなかったのではないか。ざっと名を挙げただけでも**『ヤングマガジン』『ビッグコミックスピリッツ』『ポップコーン』『マンガ奇想天外』『コミックトム』『プチフラワー』『ビッグコミックフォアレディ』『YOU』『ギャルズコミックDX』**など。これに一昨年あたりから出ていたものを加えれば**『ヤングジャンプ』『ビッグゴールド』『アクションデラックス』『アクションスーパーフィクション』『カスタムコミック』『リュウ』『少年少女SFマンガ競作大全集』『BE・LOVE』**などである。ジャンルも傾向もさまざまながら、共通していえることは、いずれも少年少女誌を「卒業」し、かといっていわゆる青年誌にも移行できない「新」高年齢層、あるいは特定ジャンルのマニア的ファンを狙ったものだということだろう。そこに新たなマーケットが形成されるであろうという読みは、さすがにメジャーは素早い。そして注目すべきなのは、これまでまんがに手を染めていなかったか、あるいは遠ざかっていた新参組がかなりあることだ。『リュウ』の徳間書店、『競作大全集』の東京三世社、『ポップコーン』の光文社、『ギャルズコミック』の主婦の友社、『マンガ奇想天外』の奇想天外社などである。

かつては(今でも?)マイナー、マニア向けと言われた作品を軸にすえ、あるいは大幅に許容する雑誌がこれだけいっせいに登場してくるということは、現在マイナー、マニアといえども無視できないほどの「量」として存在してしまっているということかもしれない。それはすでに、マニアという名のマスである。名前を持っているぶんだけ、無名の大衆より操作されやすいのかもしれないのである。これらの新雑誌創刊のかげて、一昨年ブームと騒がれた「三流劇画」の中心を担っていた三誌が『エロジェニカ』は倒産、『劇画アリス』は休刊、残る『大快楽』もスタッフが全員退社してかつてのパワーを失うという事態が起きている。マニアのマス化が、現実に対して有効な力を持ち得るとは限らない。

先に述べたヤング誌へのまんが作品の導入へも、これと並行して考えられるだろう。**『奇想天外』『スターログ』『SFマガジン』『バラエティ』『宝島』『ビックリハウス』**……これらの雑誌は、まんがを読むのはべつにまんが雑誌でなくてもよいし、べつにまんがファンでなくてもよいのだ、と、あたりまえのようでじつはかなり新しいまんがの読み方を提起している。

『ヤングマガジン』『ヤングジャンプ』の『ビッグコミック』と『少年ジャンプ』の中間層の開拓。『マンガ奇想天外』『漫金超』の性別、年齢別タテ割りシステムの解体。『プチフラワー』『ビッグゴールド』『アクションデラックス』の長編一挙掲載。そして『フォアレディ』『YOU』『BE・LOVE』の〝女性まんが〟の模索。さまざまな方向の提示のなかで、問われているのは読者の「読むこと」の再検討なのだと思う。「何を読むか」「いかに読むか」そして、何より「何故読むか」を検証することなしに、ぼくらはもはやこの方向も色あいもさまざまに異った雑誌、まんがの海に漕ぎ出すことはできそうにない。

夜が明けて、陽が昇る。まんがは相変わらずそこにあったけれども、それを眺めるぼくの眼は、以前とは明らかに違っていた。一生つきあっていけるまんがを見つけ出さねばならない。なければ自分で創り出すまでだ。1981年、80年代のさいしょの年、今年ぼくは30歳になる。

(『ヤング&子ども通信』№92 '81・3・25発行 子ども調査研究所発行 より再録しました。)

'80年まんが総括2
――「現代マンガの手帖」を中心に

★最近の少年誌、青年誌では四コマまんがやそれに類するものの比重が高くなってきている。その事実が、とりもなおさず劇画の不調を示していると言えよう。今、劇画はどこにいるのか。

劇画不振の時代

梶井 純

■四コマ、ギャグまんがの隆盛■

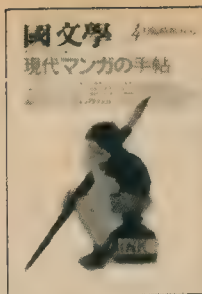
ことしの春、学燈社の**『国文学――解釈と教材の研究』**誌が臨時増刊号**『現代マンガの手帖』**をだした。執筆者は、小比木啓吾から椎名誠まで多種多様な人たち三三人におよぶメチャクチャ(?)なラインナップで、そのための良さと悪さが同居するなかなかおもしろいものだった。

こういう特集形式の企画は、おもわぬところでとても興味ぶかい発言に出会うことがあるから「なかなかおもしろい」のだが、たいていのばあい特集テーマにかんする体系的なまとまりは、期待するほうがむりだ。この「現代マンガの手帖」のばあいも、例外ではなかったけれども、そうした全体としての混乱は、むしろマンガをめぐる論議の現在地点をかなりの精度で体現しているように思えた。さまざまな雑誌の特集や増刊形式で企画されるこうした試みはそのつどその時点でのマンガ状況を敏感に映しだすものになる。マンガなり劇画なりのレヴェルを個々の作品を読むときとはちがう地点から考えるために役にたつ。

もし、そういう読みとり方が可能なりとせば(可能であるとともに、それが正当であるにちがいないのだが)、個々の論考がどれほどくだらないものであったとしても、全体としてはそのくだらなさの存在そのものがマンガの現状ないしはマンガ批評の現状を反映していることによって意味をもってくる。

さて、まえおきが長くなったが、「現代マンガの手帖」を読んでいると、この特集全体がいかに劇画の現在にかかわっているかがよくわかる。たとえば、つぎのようないい方がある。

「いま少年向けコミック雑誌のなかで、いちばん人気があるのは、これまで刺身の具のような役割をしていた軽い漫画のほうだ。(中略)もちろんいまでもページ数のほうは、連載劇画のほうがずっと多いことには変わりがないが、読者の購売動機は、軽くて楽しい作品のほうにより大きなウエイトがかかっている」(太田克彦「ギャグとナンセンスのエクリチュール」)。

最近のマンガ誌がこういう傾向にあることはたしかだろう。いわゆる少年週刊誌でなくともやたらに四コママンガやそれに類するものの占める割合が高くなっているのは周知の事実である。そして、それはとりもなおさず劇画作品の不振を如実にあらわしている。

もとより四コママンガの輩出している状態をさして、マンガの基本的な形だからいい傾向だといいたいわけではないし、くだらない四コマ作品が多いとけなすつもりもない。しかし、四コマ作品を中心に、ギャグやユーモアを売りものにする作品が相対的な地位を上げている現象は、あくまでも、四コマなら四コマにいい作品が多いかどうかというところで論議されるべき状況にあるわけではないといいたいだけだ。

■あきらかなる劇画の退潮■

残念ながら、近年の劇画作品がまったく不作で、それ以外のジャンルの作品に活性がみられるのは衆目の認めるところだろう。この劇画の不振という状況を、いま流行の概念(?)でとらえると、つぎのような文脈になる。

「モラトリアム人間の運命と、現代マンガの運命にも、たしかに、一種の並行関係があるようにみえる。もはやマンガは、青年たちの自己主張の媒体といった思想性や革命性を失ってしまい、大規模に商業化されてしまった」(小此木啓吾「現代マンガとモラトリアム人間」)。

▲「現代マンガの手帖」／学燈社

七〇年前後の時代に顕著になった「若者文化」(そのなかにはむろんマンガ文化もはいっている)そのものが「モラトリアム人間」の文化革命運動だったとみなす小此木の論理からいえば子どもとはいえない若者たちが劇画を読みふけりだした七〇年前後と現代では、時代の社会心理がちがうように劇画の内実もまたちがう。その意味では、小此木のこの指摘は、「思想性や革命性」のない劇画の現状を構造的にいいあてているようにみえる。

しかし、それは、劇画が若者たちの支持をあつめはじめた時代の動機を、いわば「モラトリアム　識」に求めうるかぎりにおいてだろう。七〇年前後の時代に若者たちの「モラトリアム意識」を許容する社会心理をもっていたことは、わたしも疑わない。しかし、マンガ（厳密には劇画）によって自己主張する可能性をきりひらいたことが、おとなたちの既成の活字文化にとりこまれたくないという自己主張——つまりモラトリアムをつづけたいという主張にかかわりがあったとは　わない。おそらくこの点は、劇画（小此木のいう「現代マンガ」）の登場をこの時期に比定することの粗雑さからくるきわめて皮相的な見方である。

いや、いまここでその点を考えることは本題からはずれる。問題は、すぐに短絡的な「解釈」をしがちな心理学系の学者の目にもあきらかな劇画の退潮という現状である。太田と小此木が書いており、またこの特集全体の個々の論考にもぬきがたい前提となっているものがそれである。

■たんなる〝絵解き劇画〟の氾濫■

「現代マンガの手帖」の巻末には、**清水哲男、鈴木志郎康、関井光男**の編になる**「現代マンガ・コレクション70選」**が付されている。「一九六〇年代後半から八〇年代にかけてのストーリーマンガの動向」を集約したというこの内容はかなり公平な選択がはたらいており、多様な読まれ方にともなって必然的に生じる価値観のバラつきを最大公約数におさえていると思われる。こういう試みにだれもが感じるにちがいない不満を、その最低の鞍部でおしとどめているといってもいい。

そのことを仮に「公平さ」と呼べるとして、そのかぎりにおいて、この「70選」をみていて再確認できる問題は、おそらくつぎの二点である。約半分を占める「劇画」作品のほとんどがたんなる絵解きを表現論の核としているというのがひとつ、さらにそのことがいわゆる「少女マンガ」(松田修のいう「少女劇画」)のロマネスク好みを支えているというのがひとつ、である。せいいっぱい遠慮したいい方をすると、わたしじしんは少女マンガに「偏見」をもっている。(したがって、少女マンガについて発言する男

の文章には吐き気がすることが多い)。そのことを隠したいとは思っていないけれども、後者の点については、わたしが発言する資格はないのかもしれない。
　そこで、前者にかかわる問題である。たとえば、典型的な受けとめ方として、こんなものがある。いずれも、「70選」のなかにつけられたコメントである。
「篠原とおるの描く女主人公は、ぞくっとするように妖しい、冷たい色気がある。(中略)エロティシズムの裏に隠された女の強靱なしたたかさ、優しさをそこに感じてしまうのだ」(関井光男)。

▶キャッツ・アイ/別冊漫画アクション

ファイヤー/小学館漫画文庫

「『ファイヤー!』に描かれているのは、一九六〇年代後半を疾風のように生き急ぎ、斃れていったロック・ミュージシャンの凄絶な姿である。(中略)若者は自分の全存在を賭けた闘いを『自由』の旗印のもとで行う。たとえアロンのように発狂するにしても」(同前)。
　ひとがどう読みとろうと勝手であるけれども、関井が懸命に解読したこの二つの感想は、感覚的に相似形であるところに、ある正しさがあると思われる。いうまでもなく、篠原とおる『さそり』と水野英子『ファイヤー!』は、「劇画」と「少女マンガ」として、それぞれ相対的な水準をこえるものであろう。しかし、わたしには篠原の作品はしょせん様式化された絵解き「劇画」のなかで良質な部分をもっているとしか思えないし、その「良質な部分」とは、女主人公の「妖しい冷たさ」や「したたかさ、優しさ」を絵解きした部分とはなんの関係もない。また、水野の作品にみる「青春」などは、甘ったれた若者のダメな部分であるとしか思えない。
わたしの二〇代と同時代を生きた水野の作品が「全存在を賭けた闘い」を描いているなど、まことに笑止千万としかいいようがない。べつにわたしが、水野やここでの関井に悪意をもっているわけではなく、わたしたちの六〇年代が擬制としてもっていた、いわば青春のファッションの絵解きがどう読解されているかを問題にしたいだけだ。
　私事にわたってつい熱くなってしまったが、結局のところ、おおかたの読者がたんなる絵解き「劇画」に抵抗なくからめとられている現状がみえてくるようなのだ。いまの関井のコメントが典型としての意味をもってくるというのも、篠原と水野をほとんど同じ視覚でしかとらえられないことに正しさがあるというのも、そういう意味にほかならない。

■「ゴルゴ13」を頂点として■

　ここで、いまやモノマニアックな読者にとって揶揄の対象でしかない「ゴルゴ13」をもちだしてもいい。様式的という意味では、この作品ほど「完璧」につくられている劇画作品はまれである。現在の「劇画」なり「コミック」なりの様式を、文字どおり様式的に琢磨することで読者の支持を固めてきた。そこではらわれた努力は、絵解き技術の完成度を高めるための試行

にだけむけられた。この作品表現（と呼べるとして）の現在の到達点こそが、劇画の水準をいまもっとも端的にあらわしているといえるだろう。

公平にみても、いま作品としての「ゴルゴ13」を笑うことのできる他の作品が多いとはい　ない。なぜならば、「ゴルゴ13」がめざした、というよりも、さいとうプロが果たしてきた作品表現のヴェクトルに大半の劇画が収　されて　まっているからだ。ゴルゴ13というキャラクターのもつストイックな超人性や、描線の泥くささとはあいいれないキャラクターをもつ作品にしても、本質的なちがいはありうるべくもなく、たかだかゴルゴ13よりも弱々しかったり、繊細だったりするだけだろう。

説明不足を承知でいえば、一コマ一コマの絵それじたいが、ストーリーに完全に従属したかたちでつみ重ねされる作品づくりは、青年劇画誌だろうと、少女マンガ誌だろうと瀰漫していて、例外はすくない。

▲ゴルゴ13／ビッグコミック

もう紙幅がないので、この小文のなかで心残りな点をメモふうに掲げておきたい。

それは、前出の関井のコメントの対象になっている二つの劇画作品をどう評価するのかという点である。

まず、具体的な検証をはぶいたまま「さそり」のところでいった「良質な部分」についてである。それは、主人公ナミの表面的な「色気」や「エロティシズム」の発現などを瑣末なものにしてしまうもの――呪詛や復しゅうの社会観が存在していることであり、その重みを作者じしん認識しているところもあてはまる。

もうひとつは、「ファイヤー！」についてだ。この作品については、次元を異にする二種類の不満がある。「ロック・ミュージシャンの凄絶な姿」がきわめて情緒的に描かれているという意味では、このていどの青春を「凄絶」とうけとめてしまう現実感覚の貧しさと、劇画としてこのていどの安手な表現にしかなじめないダルな感覚へ失望せざるをえない。

この二作にたいする、いささかトゲのあるいい方が、しょせんわたしの劇画認識にほかならない。それがどのように僭越にきこえるとしても、しかたがない。

ハード鼎談

一瞬ごとが勝負!それが俺たちのまんがなんだ!!

●タイトルカット/谷口ジロー●

―どうしようもなくまんがを愛してしまった俺たち

狩撫麻礼 VS 関川夏央

司会：高取 英

まんが原作者。主[illegible]作品に神田たけ志と組んだ[illegible]へん」、谷ロジ[illegible]と組んだ「青[illegible]の戦士」、守[illegible]大と組んだ「唇にブルース・ハープ」、大[illegible]克洋と組んだ「East of The Sun, West Of The Moon」等。

まんが原作者。谷口ジローと組んだ数々の名作「無防備都市」「事件屋稼業」「リンド3」等は、日本には珍しい本格ハードボイルドの傑作。他に[illegible]、川崎三枝子[illegible]と[illegible]る。小説、[illegible]も[illegible]

●原作は、

絵描きとのパンチの応酬だ

高取　狩撫さん、原作者になられるきっかけというのは、どういったことですか?

狩撫　単純に言えば、10年間本当に何もしなかったというのがたまってきて、丁度借金もかなりたまっていたというか…。小池(一夫)さんが教える、という『ヤング・コミック』の記事を飲み屋で見たんですよね、それで…。なんとなく妙な自信はありまして、それからデビューするまでは時間かかったんですが、まんがの原作、これしかない、という気持ちがありました。

高取　けっこう小さい時からまんがは好きだったんですか?

狩撫　他のひとに比べるとそれほどでもないですね。「カムイ伝」、『ガロ』、それから『ヤンコミ』のいい時、そのぐらいであとは少年誌もほとんど読んでなかったですね。自分で分析すると、'70年前後に『ガロ』も『ヤンコミ』も全部昂揚した時の、まんがに対するいいイメージが10年間も自分のなかに眠ってたんじゃないかな、と思う。

高取　やっぱり「カムイ伝」はお好きですか。あの作品は色々なキャラクターがでてきて、それぞれに好きなキャラクターがいると思うんですけど、狩撫さんは誰が好きですか?

狩撫　原作者らしく――夢屋が好きですね。たくらむタイプでも決して単なる悪じゃない、というキャラクターね。

高取　なるほど…。関川さんは、原作者になられるきっかけというのは?

関川　偶然ですよ、僕は。たまたま頼まれた。芳文社の雑誌なんですけどね、そこで谷口ジローがオリジナルで描いてたんですよ。僕は、まんが雑誌によくあるコラムを書いてたんですよね。で、谷口ジローの悪口なんか書いてたの。このひとは画が上手いみたいだけど、印象が暗くておもしろくない、先は伸びないであろう、なんてね。(笑)そうしたら、彼が話につまってどうしても困ってる、原作書いてみてくれないか、と編集者が言うんですよ。それがきっかけで。

高取　雑誌は何ですか?

関川　『漫画パンチ』。当時はいい雑誌でしたよ。結局、もうひとつの『漫画ルック』という雑誌と編集者総入替えになって、『パンチ』は事実上なくなりました。一流、というより超一流の個性的な雑誌だったんだけどね。

狩撫　関川さんの説では、それを引き継いだのが『漫画ギャング』なんだよね。

なんとなく妙な自信はありまして…まんがの原作、これしかない、という気がした。

まんが雑誌のコラムで谷口の悪口なんか書いてたの、そしたら原作依頼がきたりして

●柱のカット：いしかわじゅん●

関川 そう、もっと発展的に引き継いだのね。

狩撫 僕も同感です。

関川 双葉社には、動物的に嗅覚の発達した人間が多いですからね。「花の応援団」を最初に、いい、と思う人間なんて動物ですよね、あとこれは集英社だけど、「東大一直線」とか。僕らは5回目くらいからいいかな、とやっと思い始めるのにね。

高取 原作者というと、一応梶原一騎、小池一夫とでてくるんですけれど、そういうひと達に対する意識というのはどうなんでしょう?

関川 僕は知りませんでした。

狩撫 僕も失礼ながら、その時点ではよく知りませんでした。小池さんも梶原さんもただ、関川さんのことは知ってたんですよ。『増刊ヤンコミ』で川崎三枝子さんと組んだ**「マイダスの指」**という作品があるんですよ、あれを読んでしびれた、原作として読んでしびれた記憶がある。劇画が抒情していたんですよね、どう考えても。読者は程度が悪い、ということを前提に書いてないんですよね。

高取 僕も「ちょこっと原作やったことあるんですけどね。まんが、というか画を描けないことに対するコンプレックスは感じませんか?

狩撫 それは、原作の初歩の悩みです。(笑)

高取 初歩しかやってませんから。」

狩撫 そこから先に突き当たるものが、最近の僕の感想なんですが…。絵描きだって、今まで二十何年間生きてきて、何かを見て何かを感じてきたわけで、そういうヤツとどういう風にパンチを応酬し合うかという悩みに関川さんはきてると思う。まぁ、自分のことは言わないですけど。だから原作5、6本書いて、画が描けたらなぁ、という悩み方はあと5、6本書けば…という気がします。

関川 狩撫さんは何か話に聞くと、これから巨匠たちみたいにいっぱい書くんだって?

狩撫 僕は、仕事量で自分を問うという実験は是非やりたいと思ってますよ。つまり、自分の無意識をこえて、忙しい時にどういう風に他人とちゃんと向き合えるか、という実験。僕は、いつも実験ばっかりしてますからね。色んなもの混ぜて飲むとどんな酔い方するかを科学的な(笑)方向から攻めるとかね。

◀彼のモデルは矢作俊彦自身では、と思う。
「ハード・オン」矢作俊彦・平野仁「週刊漫画アクション」

●狩撫、関川、矢作 3年後は姿を消す?

関川 この間矢作(俊彦)さんと話してたら、狩撫さんに会いたいって言ってたね。いろんな意味で興味もってる、と。

狩撫 喧嘩したいとか?(笑)

関川 いやぁ、彼弱いもの。(笑)そうじゃなくて非常に興味もってると。嫉妬してるんじゃないか?狩撫は売れてるみたいだし。彼は生活に困ってるらしいよ。(笑)

狩撫 じゃ、皆ンな同じじゃないですか。矢作さんだけは困ってないと思ってたけど。

関川 彼はおしゃれに金かけるからね。俺はあの道歩まなくてよかったよ。金かかるし疲れるし。週に2回床屋行くとかね。

矢作は何でも徹底してるタイプで、割合敬遠されがちでしょ。けむたがられるのね、ひとに。弱いひとはいじめるし。口で。(笑)自分に規範を課してることは確かですね。徹底してるんだから。僕なんか清潔な感じがしますけどね。

狩撫 ええ、同感です。

関川 彼、最近まじめにまんがやってるでしょ、だから好きなんですよね。ふざけてやってるんじゃないからね。

僕らは悲しくも原作者だから最後の演出にたちあえない——それは画描きがやるもの。

大友、谷口の演出力は天才だぜ。僕ら幸福にして、演出にたちあわなくていいんだ。

▲「けものへん2」
狩撫麻礼・神田たけ志
「ヤング・コミック」

▼「私のカルナバル」
狩撫麻礼・芳谷圭児
『増刊漫画アクション』

▼「ジタンヌ90」　関川夏央・川崎三枝子
「ヤング・コミック」

狩撫　あの、関川さんが原作をやめるとかいう噂をさ、聞くでしょ。関川夏央が、もうダメだ！と思ってマンガ界をやめちゃう時というのは、僕もダメなんだという気がとてもしてね。このひとは、そんなことはない、おまえは売れ線をいつも知ってるじゃないかというニュアンスをいつも言うけれど、そういう言い方は僕をなめてるし、ひいては読者を、大衆をなめてると思う。

僕は、飲んでるから言うわけじゃないけれど関川夏央、矢作俊彦、狩撫麻礼の三人てのは結局まんが界からホサれるというか、絶対日の目を見ないと思うのな。で、あなたが一番初めにケツを割ると思うんだよな。（笑）

関川　あなたにそう言われると、そうかもしれないと思っちゃうよ。（笑）

多分、一番泥臭いのは僕で、その次に少し洗練されてるのが関川夏央で、一番気取りきってるのがつまりカッコイイということで矢作俊彦というね、この構図が三人を説明する時に一番分りやすいじゃないかというのは当ってません？

関川　当ってません。（笑）

狩撫　認めない？どの辺が違う？

関川　全然気取りなんか関係ないじゃないですか。それぞれがどういう風に緊張を日常のなかに求めるか、という反応の違いだけで…。どれに金を使うかということじゃない。あなたは酒に使うし、俺はパチンコしたり無駄使いするし、矢作は服に使う、それだけでしょ。

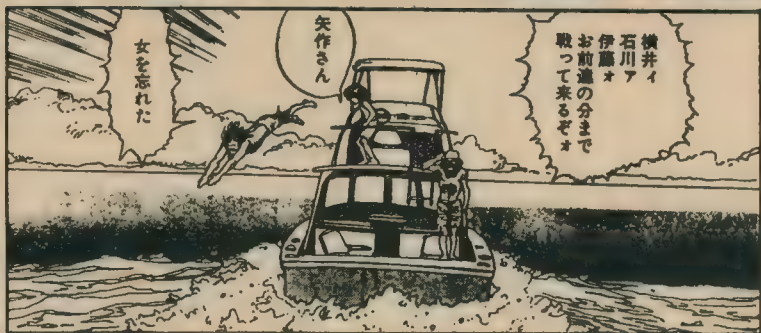
●ターゲットは大友克洋、谷口ジロー

——まんが家さんにしても、よっぽど気の合うひとじゃないと仕事しない性質ではないですか？

関川　それは、誰でもそうですよね。僕なんかも時々微妙になりますね。

——微妙なところがおもしろいんでしょうか？

狩撫　おもしろくないですね、そんなものは。腹がたつというか…。

——大友さんと矢作さんの関係というのはどうなんでしょう？

▶「気分はもう戦争」矢作俊彦・大友克洋「週刊漫画アクション」

関川　大友はやっぱり一種の天才ですからね。穏やかに、いなしてるんじゃないですか。（笑）

狩撫　これは多分三人共同じだと思うんだけども、**大友克洋**と**谷口ジロー**を狙ってるんですよね、三人共。僕たちの焦点ですね。たまたま僕は今谷口と組んでいるけれど、関川さんは何度くやし涙にむせんでいるかわからない…。

関川　いや、そんなことないですよ。穏やかな気持ちで、たまには浮気もいいよ、と。（笑）

狩撫　三人共、何て言うのかな、ニュアンスを絵にできる作家…

関川　うーん、ニュアンスを絵にするっていうのは、描けるひとはできるんだけれど……たとえばね、僕らはあるイメージのもとに台本書くわけで、またそうじゃないと書きにくい。そうした場合、並通の上のまんが家だとぼくのイメージどおりに描いてくる。彼らの場合は逆だ。そうしてこないわけですよ。ああ、こういうアングルがあった、こういう目の高さがあるのか、とびっくりするわけです。時どき裏から見たりする。あれはテクニックじゃないですよ、演出力の問題、演出力の天才なんですよ、やっぱり。

狩撫　僕はもう一歩進めて思うに、彼らが世間に対していつもどういう位置をとっているかということが、そういう画の主張を可能にするんですよね。僕らは悲しくも原作者だから、最後の演出にはたちあえないわけですよね、それは彼らがやるもんだから。そういう意味で、僕も関川さんも、あるバッド・チューニングがあって何か言い切ろうとする時に、そのとおりの顔で描かれるとシラけるんですよ。関川さんが今やってるのなんかそうだと思うけど、そうなるとできてきたものに対して全く興味がないことになっちゃうのね。

関川　狩撫さんは「不幸にして最後の演出にたちあえない」と言ったけれど、俺は逆だと思うんだ。幸運にして、演出にたちあわなくてもいいんだよ。

狩撫　それは、同じことじゃないのかな。

関川　違うよ。あなたは、演出したがってるんだよ。

狩撫　したいよ。

関川　俺は、したくないんだよ。そういう不運な状況で画描きと仕事することが最も不幸だね。まかせられる場合には、充分責任もってまかせるべきだと思うからね。

狩撫　でも、あなたはそういうことを言いながらさ、それを受けてくれるのは谷口ジローしかいないじゃないか。

関川　そう思う？

狩撫　これから先もそうだよ。だとしたら、あなたの言い方は少し楽天的にすぎませんか？　そういう時にきっと、**小池一夫**という巨人がいるわけだ。

関川　うーん、そう言うと微妙な気持ちになるけどね。……小池さんなんか、やっちゃいけない例、悪い例、関川、と言うそうじゃない。

狩撫　それは光栄じゃないか。

関川　嬉しいよ、嬉しいけど。全然タッチが違うんだよね。

狩撫　タッチじゃないよ。目的が違うんだよ。

——小池さんなんか、コマ割りまで指定すると聞きますけど。

狩撫　いや、僕だって指定しますよ、表情まで。表情まで指定しても、それに逆らってほしいよ、信念をもって。その時に初めて二人でやる意味があるんで…。

俺はもう一回言うけど、あなたの、指定しないでも通じ合える仲っていうのは偶然性なんだよね。だから、あなたが谷口ジローそのほか、ごく少数の理解者以外と組んだ時に見るも無残な作品になるっていうのは何なのか、ということだよね。そこに小池一夫が居るということ、その溝を俺達は埋めるか埋めないか知らないけどね、俺は最初にあなたに会った時、そのことだけを言いたかったの。

関川　だけど、たとえば谷口ジローが『漫画パンチ』に描いてた時に、このひとはだいぶからだも固いし頭も固いし将来ダメなんじゃないか、と俺なんか書いてたの。で、谷口ジローの方はそれを聞いて、ちょっとカチンときてたらしいんだよね。それでさっき言ったみたいに偶然組むことになった時に、こっちはある意味で相手をバカにしてたわけ。これが描けるかって。向こうは、こんなもんが描けないでどないするかって顔をね。お互い表面はにこやかな談笑のうちに、実は火花が散るという感じ…。

つまり俺が言いたいのは、谷口も最初からそこに居たわけじゃないし、俺も最初からそこに居たわけじゃない。お互いに、こいつは気骨のあるヤツだ、才能のあるヤツだ、ということになれば、互いのさりげない会話のうちに宿題を提出し合い、解答を提出し合いしながら、大袈裟に言えば弁証法的にね進んでいくもんなんだよ。あなたのニュアンスだと、最初から諦めてるんだね。あいつは描けないからダメだ、指定した方がいい…

狩撫　違う、絶対に違う。俺はアマチュアリズムっていうのは好きじゃないんだよ。『ぱふ』ってのは、だから好きじゃないんですよ。わかるヤツはいつだってわかるんだよ。だけど、銭取ってひとに物語を与えるということは、別な戦略がなきゃおかしいと思うんだよ。俺は、指定するのが画描きをバカにしてるとは思わない。それと反対のこととか、俺の条件を全く消して演出したって絶対怒らないもの。だから、俺が指定するのは相手を強制するんじゃなくて、ひとつのパンチですよ。

関川　谷口ジローの場合にはね、何をやるにもほとんど一回ごとに会う。それで、作品の話はしない。今度、あの顔がよくなってきたね、あの顔成長させるのも悪くないね、なんて感じでさりげなく…。それは作戦じゃないですよ、お互いに必然性があるからですよ。どの顔がいいか、印象的か、自分にとっての快感と商業ベースとの微妙なモメントがどこにあるか、そういう話は僕らが生きてく上での必然的なテクニックだと思うね。それがない場合には、最も悲惨になりますよ。

僕は〝原作〟という言葉が大嫌いなんです。僕はベースメントを書いてるつもりはない。台本を書いてるんだ。勝手に変えてもいいけれど、変えるんなら覚悟を決めてちゃんと変えろよって、そういう感じですね。信じてまじめにやったんなら、失敗しても全然構わない。

狩撫　同感だな。

関川　つまり僕が言いたいのは、オリジナルをちゃんと描けないヤツは台本付きをやるべきじゃないんだよ。絶対できないよ。そういう場合は、「単なるストーリー・メーカーがやればいいんだよ。ストーリー・メーカーなんかくさるほどいるからね。

狩撫　とにかく、俺はマトモな神経もってたら原作ってできないと思うんですよ。

関川　そうだね。

狩撫　俺最初に原作渡す時、あなたの感性をかけて変えるんならいくら変えても構わないと、それだけは言うんですよ。

関川　そんなに言われるとよほど感性でもなきゃ変えちゃいけないみたいだけど、違うんだよな。まじめにやったら何やっても構わない。なのに皆ビビるんだよな、半分怠け者なんだよ。

それに、まんが界ってのが画描きの方が手早く巨匠になりすぎるんだよ。2年もやってある程度商業的な実績があれば、すぐ巨匠扱いされるでしょ。問題なのはそこからなんだよ。巨匠は進歩しなくていい、という気持ちがまん

プロだからこそ相手へのパンチとして表情まで指定する。それでも逆らってほしい。

俺も谷口も最初からそこにいたんじゃない。お互いに、弁証法的に進んできたんだ。

▼「事件屋稼業」▶
関川夏央・谷口ジロー

▶「リンド3」関川夏央・谷口ジロー
／アクション・コミックス

口数は少なかったけど……

▲「春の戦士」　狩撫麻礼・谷口ジロー
「ビッグ・コミックスピリッツ」

▼「無防備都市」
関川夏央・谷口ジロー
／別冊エースファイブ・コミックス

が編集者にはあるんだよ。ジグソウパズルなんだよ。ここに丁度あてはまるから、このままでいい…。で、たまにまんが家の方が文句言うわけ、もうそろそろつまってきた、なんとかしてくれ……じゃあ、台本つけます。とこう言うんだよ。〝新機軸〟とか銘うって。

　そうじゃないんだよ。問題なのは目の位置とか距離の取り方だとか、裏から見るか表から見るかとか、そういうことなんだよ。要するに志の高さ。

狩撫　皆な絵描はいいヤツには違いないんですよ。ただ、どうしてひとつの事物を見る時に、そんな分りやすい角度で見るのかということなんですよね、きっと。これはかなり始原的、根元的な僕の怒りです。

●俺たちは、リングの上のボクサーだ

——閑話休題みたいな感じで、まんが評論について少し話していただきたいんですが…。

狩撫　まんが評論なんて、やってもしょうがないじゃないですか。自分のホンネを言うのに、自分に一番近いところを言うしかないじゃないんですか。あなた達には楽天性を感じるよ、別にバカにしてるわけじゃないけど。俺とか関川はそんなことを言ってもしょうがない、だからこそ二人の間にこういうバイオレンスな雰囲気があるわけよ。

　皆ンな言葉で埋められないから、ある男はボクサーであったりバーテンであったり、映画のさ、「グロリア」の中年女だったりするわけじゃない。あなた方は一番いい所にいるじゃない、言葉で、あるものを切れるようなさ。そういう楽天性が、つまりは月刊誌をつくっていながら平気で何ヵ月も出さなかったりするアマチュアリズムなわけでしょ。俺も関川も矢作も、もう少し自分が銭になるかならないかという地点に居るから、そういうアマチュアリズムに対して接点が無いんだよね。だって、ボクサーはその試合に負けたらもう、敗残者でヒモとして生きなきゃなんないじゃない。あなた方なんか、年に数回本出したぐらいでまんが状況切ってけるような言い方、するわけじゃない。そういった場、ぱふと描き手ってのは全く断絶があると思

うんですよ。
関川　やや、補足的に反論すると、俺はどっちかっていうと『ぱふ』のファンなんですね。
狩撫　ファンなのか、キミは?
関川　ああ。つまり彼らは大衆なわけだよ。俺はボクシングの試合をたまに見に行くけどね、リングサイドに座ってる女の子がいるんだよね。なぜか知らないけど、いつも居る。ボクサーの情婦かも知れないし、プロモーターの情婦かも知れないし、或いはそこらのOLかも知れない。そいつを見てるとね、思うんだよ、あれが『ぱふ』だなって。彼女達は、ボクサーが血を流すのを見て喜ぶんだ、多分。そいつらにとって、ボクサーの死は美しいし、苦しみも美しい。それが、たいていイイ女なんだよ。そんな気がするよ。そういう彼らに、僕らは見せるんだよ、芝居を。
狩撫　そういう言い方をするなら、リングサイドの女は必ずイイ女でなきゃ…。ぱふがイイ女とは思えない。本当にイイ女なら、リングで打たれた腹の痛さもイキるんじゃないか。
関川　俺は、そんなに女を信用してないよ。
狩撫　好きな男が打たれたっていうんでリングサイドで吐くようなイイ女が、本当の評論ということなんじゃないのかな。ぱふは、そういうことをやってんのかよ?
関川　やってないよ。僕はそれで構わないんだ、リングサイドの女がイイ女であれば。そいつがバカであろうと構わない、別に寝るわけじゃないんだから。ただ、僕らは試合をしながら時どき横目で見るんだ、あいつが見てるな、たまには勝ちたいな…と心からそう思うよ。そして横目で見るたびに顎を打たれるんだ。ボクサーは女を信用してない、俺が『ぱふ』を信用してないように。ただ、そこにいることを楽しんでるんだ。少なくとも、読者ってそんなもんだと思う。バカにもしないけど、敬もしない、認めもしないけど無視もしない。
狩撫　君は、ロマンチストだね。
関川　ロマンチックじゃなきゃあこんな業界やってらんないじゃないか。

●やっぱりどうしようもない ギャップがある

狩撫　俺は、つげ忠男こそが――つげ義春でなくつげ忠男こそが、俺や関川さんがナウい若者であることを否定するようなまんがだと、それくらいつげ忠男を評価してるんだ。君の今の言い方じゃ、つげ忠男の登場人物には対抗できないと思う。無論、俺もできないけどな。
　この『ぱふ』はさ、ある意味でアホなイイ奴等だからこそ、少女まんがの一番いい爛熟に対して一生懸命誌面を割くわけだろ。それは分るんだよな。俺、**倉多江美**なんて、まんが見てるだけで最高にイイ女だって分るもんな。そんなのは一目瞭然なんだよ。僕は少女まんがは読めないんだけど、あのひとのだけは読めるんですよ。もう何度シビれたことか。関川と谷口、狩撫と谷口が組んで、どうしても出ない時代の倦怠というか…。たとえば『**一万十秒物語**』でね、焚火をする父親に対する娘、それから残った釘をビンに入れるカラーンという音、まんがで音が聞こえてくるなんてすごいことじゃないか。
　だけど『ぱふ』に対しては、否定的なイメージが強いわけ。俺達原作者と君らとの間にはやっぱりどうしようもないギャップがあるし、それは『ぱふ』と読者とのギャップでもあるんだ。何故、関川みたいに何でもできるヤツがまんがに固執してるかっていうこと。君等は、まんがしかないんだろ?はかりがつりあわないと思わないか?
関川　よく分らない。
狩撫　分らない?褒めてると分らないんだよ。僕や関川には、この一瞬だけで後にも先にも何も責任は負えないという、そのくらいまんがに対して信仰がある。ひとには、なかなか言っちゃいけないことだけどね。関川がやめない理由、僕がヤバイのにセリフの表情まで指定してしまう理由ね。
　『ぱふ』は初めに**大島弓子**をもってきた、**倉多江美**をもってきた、**橋本治**をつれてきた、あの辺の編集っていうのは、一番言える立場をもった雑誌と言える書き手と言える素材とが立ち

リングサイドにはなぜかいつも女の子が座ってる。そいつが"ぱふ"なんだと思う。

"ぱふ"が本当にイイ女なら、好きな男が打たれればリングサイドで吐くんじゃないか。

合った瞬間だと、本当に僕は信じてるんだよな。ところが、その後もあなた方（ぱふ）は同じように少女まんがにばかりこだわってるわけじゃない。少女もがんばってるけど、少年もがんばってるんだ！関川はこんな見かけだけどさ、こんな男でも唯一取柄があるとしたら、40過ぎても50過ぎても見果てぬ夢を見てるの、そういうとこが少年まんがじゃないですかね。

そりゃあ、大島弓子と比べたら俺達は白痴的ですよ。それだけは、認めざるを得んね。でも、男性原理ってそういうもんじゃないですか？イヤイヤながらストリッパーのヒモであったり、タイヤキ屋であったりするわけじゃない。だから俺、『ぱふ』とはこういう対談はあり得ない、と初めに電話で言ったわけ。それをテープに取って、たとえ全頁やったところで俺は何もでてこないと思う。全く何も伝わらない気がするね。何も伝わらない気がすること自体、アマチュアリズムだと思うんですよ。

関川　ひとつ訂正させたいんだけど、〝こんな見かけだけど云々〟て言ったよね、それどういう意味だ？

狩撫　俺は褒めたんだよ。（笑）

関川　ちょっと、さっきの話と違うね。

狩撫　違いますよ。いしかわじゅんが描くより実物の方がいいと思うでしょ？

関川　またまた糊塗しようとして…。（笑）ひとつ補足的に反論すると、俺はアマチュアリズムでもいいと思うんだよ。つまり、さっき言ったリングサイドの女ということだよ。

狩撫　言うだけ言え、後で反論するから。

関川　だから俺はアマチュアリズムで結構だよ。実に快感だよ。

狩撫　（編集者に）今の『アクション』がつまんないですか、『ヤング・コミック』がつまんないですか？

関川　『アクション』は面白いよ。僕は反論したいなぁ。

狩撫　うるさい、ちょっと待ってくれ。もしぱふ達がその雑誌を否定するなら、こいつらが銭になるかならないかという位置に最底いなけりゃ。つまり、3カ月も本出さないで成立するような位置にいるなら、絶対に君らがバカにするヤクザ青年誌は切ったことにならない。

関川　あなたは、そんなに『ぱふ』を愛してるのか。

狩撫　なにを言ってるの？

関川　愛してるから、さっきからグチグチ言うんだろ？

狩撫　そうじゃなくて、俺は『ぱふ』が間違ってると思うのは、言葉と言葉でやり合えば何とかなる、という楽天性が嫌いなんだよ。

関川　にわかには賛成できないね……ただ、狩撫が言う気持ちは、俺は半分わかるよ。『ぱふ』はもっと、資本主義的にまじめにやるべきだよ。それと、大人まんがを扱わないということね。たとえば、『漫画ギャング』や『ヤン・コミ増刊』や、往時の『漫画パンチ』なんかがなぜ終ったかということ、分析的に研究してないでしょ。ほとんど、まんがとしてやってはいけないことまでやろうとしてたんだよ。見るべきところを、みんな、見てないんだよ。『ぱふ』しかないっていうのに。

狩撫　だからもう、この話はやめましょ。『ぱふ』でやってもしょうがないよ、意味ないよ。解散解散！（と立ち上る）

関川　俺は載せてもいいと思う。今のは面白い話だよ。俺は、狩撫の言うことは非常に理解できる、半分以上賛成できると言っておく。

狩撫　載せて誰に読んでほしいんだよ？

関川　読者にだよ。俺は確実に読者だから、ぱふの。俺みたいな読者が必ずいるはずだよ。何でそんなに、初めから否定するんだよ。そんなに何もかも否定したら、僕らの友達は五、六人しかいないじゃないか。

狩撫　二人ぐらいで、いいんじゃないですか。

関川　俺は五、六百人ほしいよ。

狩撫　俺が言いたいのは、『ぱふ』が青年誌に目を向けないとか少女まんがに肩入れするとか、そんなことじゃないんだよね。この、クラブ活動的なボケたツラがいやなんであります。

――ひとつ言うと、『ぱふ』は批評誌にするつもりはないんですが。

狩撫　そんなことを俺に言っていいのか!?君等は安全パイを百ぐらい揃えてるじゃないか！全然ラジカルじゃないよ、あの攻め方は。だから橋本治なんかに逃げられさゃうんぱよ。あいつの文体なんて、来たるべき文体じゃないか。

●ブザマなヤツは負けなきゃおかしい

狩撫　この間の具志堅が負けた試合、感動したね。

関川　感動した。

狩撫　あの日を待ってたんですよ、僕は。判定負けでなくね、チャンピオンが倒れる瞬間というのをね。描き手も雑誌も有限性であって、ちょっとダレたらダウン、つまりはっきり白黒つける瞬間として、あんなに待ち望んでいたもんはないですよ。あいつはヤバくなると、リングサイドの会長を見るんですよ。二人で闘ってる時にそれはないじゃない。そういうのが非常にイヤだったわけ。でも、あいつの試合はいつもいいわけ。それは、露呈しないブザマさなんですよね。それが、今度の敗戦で僕にとって明らかになったわけね。

　無様なヤツは、負けなきゃおかしいよ。君等は〝休刊〟というかたちで延命する、それは全然リングに立ってねえんだから、まだ。ヤバイじゃない。関川夏央は少なくとも、バッド・チューニングな描き手と組んで皆に罵倒されながらもやってる。どっちがプロなのかな、無様な方と一見美がありそうな方と、甲乙つけ難いと思いますよ。

高取　話を聞いていて、お二人の関係がもうひとつ分らないんですが…

関川　関係？ 僕らはそれほどお互いに知り合ってるわけじゃないし、関係があるわけじゃない。矢作さんも加えて、お互いに作品を見合ってるだけですよ。

狩撫　俺は川崎三枝子の作品の頁をめくっていても、関川夏央の原作を読むという関係で関川と逢ってるし、それは矢作とも同じことだし。今一番がんばってるのは、順番をつければ矢作、関川、狩撫と…。

関川　それは違うよ。関川、矢作、狩撫だよ。

（笑）そういう風に言おうよ。

狩撫　僕が遠慮しているのが分らないのか。（笑）なんか三人共、3年後はどの雑誌をめくっても出てない、という予感が俺はあるね。もう一回言うけど、最初にケツを割るのは関川だと思うね。

関川　ひとつどうしても言っておきたいのは、ケツを割るというのは間違いだよ。そういう言葉は使ってもらいたくないね。俺は逃げないよ。

狩撫　それでも君は、小説も書けるしルポも書けるけれどよ、なおかつまんがに居るというところで俺は期待してるんだけど。君はまんがダメだったら、即…。

関川　まんがダメじゃないもの。どうして、そういう言い方してくれるの？ 何かこの対談読んだひとは、俺が全然売れない作家でしょうがなくここに来てる、という感じがするじゃない。

狩撫　事実、そうだよ。（笑）

関川　そうでもないぜ。否定したい。

どちらにしても、3年後には誰もいなくなる。

関川　いや、俺はいるかもしれないな。ある意味で、かなり希望もってるんだ。仕事楽しいんだよ、時々。燃えちゃうんだよ。いい事書いてるなって。（笑）俺はまんがは大好きだ、愛してるよ。

狩撫　いつ、いい状況というのが来る？

関川　今でも俺は、いい状況のなかの〝ワン・オブ・ゼム〟だよ。今でもそうだ、これからも来るよ。

編集・所感

80年を中心に、現在のまんがの状況を一角から切りこんでみよう、という当初の企画が大幅におれて、御覧のとおりの対談となった。さて、この話を実際にどの程度まで再録してよいものか少々迷ったが、結局話してもらったことそのままを全て素直に掲載することにした。けっこう酒もはいったホンネの話の、かなり忠実な誌上再録である

対談当時、わたし達はまだ「ぱふ」の編集員だった。指摘された批判のひとつひとつが、それまで本をつくってきた内での一番痛い部分であることはまちがいない。だからこそ、そのまま全て掲載した。この対談が「ぱふ」とその周辺の混沌を、ひいてはまんが界そのものの混沌を、見事に或る鋭い角度で突いたものだと信じるからこそ。そして、一番にあなたに読んでもらいたいと思う。

この先、わたし達の新しい本がどうゆう方向へいくのかという問いに対して、この対談はひとつの指標になるのではないだろうか。掲載したからには、掲載したままで終わらせはしない

――それが、今できる唯一の解答である。

関川、矢作、狩撫と3年後には3人共いなくなるよ。最初にケツを割るのは関川だ。

俺は逃げない。最近、時々仕事に燃えちゃうんだよ。3年後もいるかもしれないな。

7月から毎月2回発売

隔週刊にパワーアップ！
おもしろさも2倍。

大人気にこたえて、ついに月2回の発売！毎月第2・第4金曜が発売日！

まちどおしい隔週刊第1号

定価200円

7月10日㊎書店で発売！

学研 学習研究社・販売局

毎月30日発売●800円●全国の書店で買ってネ。書店で買えない人、編集室まで申し込んで下さい。送料はサービスなのだ！●〒160 東京都新宿区四谷2-11-9報友ビル201号室 ムルム編集室まで●郵便振替(東京3-70550) か 現金書留でお願い！

★

MLMW ムルム

My Life My-Way

発行・放送批評懇談会
5月号好評発売中 480円

放送批評

発売 源流社03-261-9721
千代田区飯田橋3－6－8

特集●テレビの"性表現"を考える●

「青春残酷物語」とテレビ——斎藤正治
性的欲望仕掛装置と権力装置——西山征男
じつはじつはの記————彦坂俊弥
刑法改正問題とテレビ——伊豫田康弘

番組解剖■おんな太閤記■
志賀信夫　井口泰子　中津　涼
村川　英　松村順子

人物研究　田丸美寿々
おちゃっぴいの復権　松尾羊一
好評・悪評…神戸大学映画研究部

fusion product・総力特集

まんが家48人インタヴュー

★ベスト・テンの特集から抜けおちてしまう、まんが家さんの生の声を聞きたい！ということで、前代未聞の大インタヴュー特集となった。今回は、去年活躍がめざましく今年期待される若手、中堅作家という視点で人選した。まんがの〝今〟を少しでも確かに映しとれていれば、と思う。

カット／やまだ紫

あだち充
吾妻ひでお
石井　隆
いしかわじゅん
石坂　啓
岩重　孝
奥平衣良
風　忍
勝川克志
川崎ゆきお
向後つぐお
小山ゆう
近藤よう子
柴門ふみ
酒井美羽
坂口　尚
坂田靖子
佐藤史生
さべあのま
嶌峰麻利子
新谷かおる
鈴木翁二
髙橋葉介
髙橋留美子
高野文子
谷口ジロー
たむらしげる
名香智子
新田たつお
猫十字社
はしもとてつじ
長谷川法世
はるき悦巳
ひさうちみちお
平口広美
福山庸治
星野之宣
御厨さと美
宮西計三
宮谷一彦
村上もとか
森　雅之
守村　大
山田双葉
やまだ紫
湯田伸子
吉田秋生
渡辺和博

INTERVIEW

あだち充

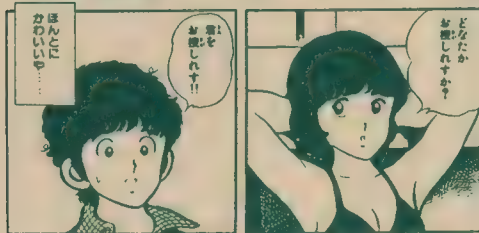
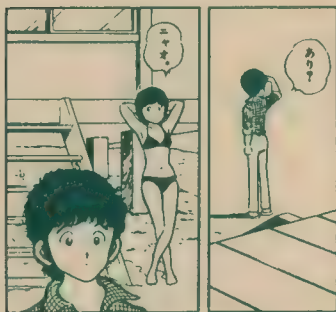
僕は純粋なスケベなんです

★今「みゆき」が大ヒットのあだち充さん。時代がぼくのまんがに合ってくれたんですとおっしゃっておりました。そうなんです。現代はスケベの時代なんですよね。

みゆき／『少年ビックコミック』 小学館より 左ページ鹿島みゆきちゃん、右ページ若松みゆきちゃん。キミはどっちのみゆきが、よいかな？

高校に入った時は、一応デザインの方へ行こうとして、そういう関係の高校を選んで、クラブでもデザインなんかやっていて、ちょうど兄貴が東京のデザイン会社へ入ったんで、そこへ入るつもりだったんです。

ところが高校時代に入ってCOMが出てきて、それでまんがなどを描いて、高校一年の時ですね。それでそれをCOMに送って、結構良い点を取ったんで。だからかなりな本数描いたと思うんですよね、高校時代に。ま、それで自信つけた、とは言わんけどね、その気にはなってきたですね。

高校二年の時位からまんが家になろうと思ったのかな。それは兄貴が奨めたんですけどね。だから兄貴の影響は大きいですよね。

高校を出て、親を説得して東京にとび出して、兄貴と一緒に住んでいたんですけどね。それで石井いさみ先生の所へ行って、それでデビューしたのは19才の時でしたね。それは先生の紹介なんですけどね、デラックス少年サンデーという、月刊サンデーのようなもんでした。だからそれから10年間ずっと小学館で。まあその間にちょこちょこと他の会社に描いているんだけど、別に独占契約ということなしに、まあ小学館ですね。

少年ビッグコミックの担当の人も、少女コミックの担当の人も、僕の昔からの担当で、まあ僕の関係する編集者があっちゃこっちゃ行っちゃうんで、僕もあっちゃこっちゃに描くことになっちゃうんです。義理とか色々とからんで本当に大変なんですよね。だけど昔から固い意志みたいなものがないから、なんでも描いてやろうという気でやってたからね。まあ節操のない人だから。

それで、ちゃんとなんか作品描いているな、と感じるのはここ2・3年なんですよね。それまでずっと原作付きが多くって、欲求不満みたいなものがたまりこんでいて、それで少女コミックで何本か読み切りをやって、なんとなく自分の方向みたいなものをね、描きたいものが分ったというか、だから今は、全然無理しないで描いてますよね。なんか枠がはずされたような気がするんですよね、自分でも。だから去年あたりは、まあ納得出

来る年だったですね。
「みゆき」っていうのは、まあかわいい女の子を描いてみようというのがあったんですね。それでまあ、僕には妹がいないから、かわいい妹を描きたいと。それだったら描けそうな気がするっていってやったんですけどね。
あとそれから始める時に、まあ今は女にもてる奴がヒーローだろうということで、チャンピオンになろうとか、巨人の星になろうとかじゃなくて、とにかくなにげない男なんだけど、女にもてちゃうということでね。そういう発想もあったんです。
出て来る男はみんなみゆきに惚れさせちゃおうとね、まあ、みんな正直なスケべで、一般的な意味でのマトモな人間がいないんですよね。ただかたっぽのみゆきは、最初はマトモなお嬢さんというように描いてたんだけど、やっぱりあの子もおかしいよね。
まあ少女まんがでずっと描いてて、ある程度限界を感じてたんです。やっぱり女の子が相手ですからね。なにか深い所に行っちゃうと、ああ解んないなあというのがあるんですよね。今の所だと結構軽薄に扱ってるからね。気にしないで描けるんだけど、ちょっと女の子の心理描写に入っちゃうと、しんどくなっちゃうんですよね。
それだったら、やっぱり少年誌の方が読者の考えが結構分るでしょ。あ、こんなことやれば喜んでくれるとかね。女の子ってのは、かなりどっか分んない部分があるんですよね。
でも女の子は描いていて楽しいですよね。けれどそれも少女誌で女の子を描くより、少年誌で描く方がのめりこめるんです。意識してはいないつもりなんだけど、自分のこうあって欲しい、こんなこと言っちゃだめ、とかが出ちゃうんですね。
僕としては野球の為に女を棄てて行くような男は嫌いでね、女の子の為に試合放棄して戻って来るような男を描きたいと、十年位前から言ってたんですけどね。なにか、大きい声で叫んで投げていないといけないみたいなね。そういう欲求不満がかなり溜っていた部分があって、まあやっと今そういう時代になってくれて。だから時代の方が僕にあってくれたような気がしますね。

(編集部)

さりげなく、ごく自然に…

じつは私は、あだち充ファンとしては新参者なのです。(あだちさんごめんなさい)前から名前だけは知ってましたし、少しは読んではいましたけど。それでは、何故に、何時からファンになったかと言いますと、『少年ビッグコミック』に連載している、「みゆき」を読んでからなんですね。いやびっくりしました、正直いって。なんてスケベな人なんだろう。またそれを、なんてノビノビと描いているんだろう。そう思い、そしてモーレツに感激してしまったのであります。

ちょうど同じような感激の仕方をした時があります。ひさうちみちおさんの、「罪と罰」を読んだ時です。あだちさんとひさうちさんは、一見全く違うような線を持ち、方向性を持っているように見えますが、実はそのスケベさにおいて、そしてそれをなんの衒いも意気込みもなく、ごく自然に描く態度において、非常に共通しておると思うのですが、どうでしょうか。

もう一人、あだちさんと比較してみたいまんが家さんがおります。新田たつおさんです。新田さんのまんがの登場人物達は、みんなスケベです。というよりは「好き者」なんですね。すぐやってしまう。それこそ単刀直入に。だから新田さん御自身もスケベであり、その点であだちさんと共通する…とは思えんのです。

新田さんのスケベは単刀直入なのです。ですからまんがを描きながら、スケベに描こうと奮闘努力している新田さんの姿が見えて来ます。もしかしたら、新田さんという方は、その自らのポリシーに対する姿勢の真シさにおいて、とてもマジメな方なのかもしれないと思います。

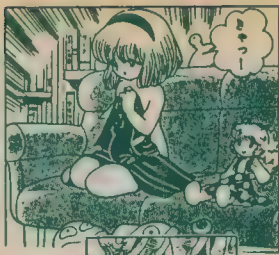
一方あだちさんはさりげないのです。ほとんど何も(こう言っては失礼ですが)考えないで描いているのではないでしょうか。その結果があのスケベなのです。ですから、あだちさんのスケベの質を一言でいうと、こう…なんか、コマとコマの間から、じわ〜っと滲み出てくるようなスケベなのです。

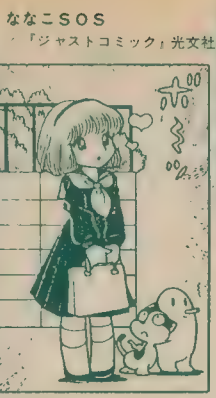
枚数が足りないのが、とても残念です。とりあえず、今回は夏から始まる、『少年サンデー』の新連載で、あだちさんがどんな新展開を見せてくれるのかを期待しつつ、ペンを置きたいと思います

本誌編集 小杉克宏

吾妻ひでお

トラウマにオブラートしてみました

★吾妻さん、今はあなたの時代なんです。今を生きる僕たちはあなたを支持し続けます。疲れるでしょーけど、どうか頑張って下さい。

ななこSOS 『ジャストコミック』光文社

◀帰り道／「マンガ奇想天外」奇想天外社

▲帰り道／「マンガ奇想天外」奇想天外社

一九五〇年一月六日、北海道十勝郡浦幌に生まれし後、何年かしてまんが家となる。風呂に入っているが体臭は天才の臭いである。主な作品・コレは！ちゅーのはない（本人）。

――去年はどんな年でしたか？

まーまー好きなことやれたなあという感じ。最近はマニア受けでも生活できるという時代だから。趣味が細分化しているつーか。そーゆー傾向があるでしょ。

一般誌には描いてないんだけど、いろいろ、あの、売れてない雑誌に描かしてもらったから。売れてない雑誌だと何でもできる。だから少年チャンピオンとかでは描けないよーなSFがだいぶ描けたです。

――吾妻さんのはSFでもニュー・ウエーブ風ですね。

ハードSF描こうと思っても専門知識ないから。そーならざるをえない。

――ハードSFを描きたいですか？

今度、描くつもりなんです。ガチガチのハードSF。これで堀晃さんに挑戦する。いま、ちょっと、協力者と、えーと一緒に話をつくってるとこなんです。買い手をさがしてるんです。いちおー原作ついてるんだけど。長編です。

――原作はダレですか？

えーと。ハードSFの…無名の人が。

――内容はどんな？

未来宇宙物です。人類進化の究極を哲学するとゆー話です。

――「メチル・メタフィジーク」のような？

いや、あーゆーギャグじゃなくて、ガチガチのハード。実験とゆーか。遊びとゆーかね。趣味で描きたい。仕事になっちゃうと冷たくなるから。……エンターティメントの精神は忘れないけれども、その中にも趣味を入れるつーか。

――絵柄なんかも変えて？

変えないです。絵柄を変えるってことは思想を変えることだから。そーゆーのはよくない。

――…………マージャンしないそーですね。

マージャンはねー。2、3年前にやめたんです。ムナシーから。酒にきりかえ

▲水道　『少女アリス』アリス出版

▲ぬいぐるみ（川又千秋原作）
／『吾妻ひでお大全集』奇想天外社

た。あんまり外で飲む機会ないけど。最近は寝る時に本読みながら酒飲むとゆーのが楽しみです。

—最近読んだSFは？

高千穂遙さんの。あとSFMなんかの短編。それから筒井さんのは雑誌にのると読みます。ファンだから。「ジャズ大名」とか良かったですね。

—仕事の量はどうですか？

増えすぎたんでなんとか減らそーと。いそがしいといやになってくる。やっぱり絵かくのが楽しくないとまずいね。

あんまり青年誌を描かないで少年誌にもどりたいと思ってるんだけど。

—そのへんの見通しは？

暗いんですよね♡

ずっと青年誌やってきたら、ギャグのネタとか、だんだん疲れてきた。パターンになって自分でも同じよーな描いていやになって。同じことやってられんし。どーゆー方向にいったらいーか、オレはなんにも思いつかんしね。

だから、あんまりひねくれてない素直な少年まんが描きたいなって気分になってきた。「スクラップ学園」なんか、わりとそーゆー、まともな感じを意識してる。「ぶらっとバニー」なんかも分かりやすいよーにしようと思ってるけど、読みかえしてみると分かりにくいんだよね。もーちょっと素直なの描きたい。淡々としてるとゆーか。あの、藤子不二雄さんを目指してるんです。

—そーするとエロチックな面は？

見せるのは飽きてきたので、間接的なエロチシズムみたいなものを　脱がないエロを描きたい。服ぬいじゃうと色っぽくないから。なるべくピラピラを着せて……見せない。

—今まで性表現にクレームついたことは？

ないです。それは私の人格のなせるわざです。

—知佳ちゃん（娘）はかわいいですね。

かわいい。やっぱり猫と似たよーな可愛さです。育てるの、猫より大変だけど。今、十ケ月です。

—知佳ちゃんが吾妻氏に与えた影響は？

子供のためなら自分の芸術的なー、身上も捨て去る…と。いつもオフロに入れてます。たくましく育ってほし

二月五日、カトレアにて

インタビュアー：城戸口寛（放送作家）

でたらめではなく、いいかげんでもなく

去年は吾妻さんにとってよい年であったに違いない。知佳ちゃんは生れたし、奇想天外社から作品集の発行は始まったし、雑誌は次々と特集を組むし（去年だけで、何本のインタビューがあったことか…）振興会としても、うれしい限りという年だった。

ではなぜ、この一、二年で吾妻作品の受け取られ方がこうも変って来てしまったのか？　数年前は、「ふたりと5人」を描いていた頃は「ハレンチ漫画家」の一人と世間に思われていた吾妻さんだった。PTAの攻撃目標の一人であった。もちろん、それなりに人気もあった。けれども、それは今の「人気」には結びついていない。

デビュー以来の吾妻作品の流れを追って行ってみると、むしろ「ふたりと5人」頃の作品の方が流れから、外れた作品群だということがわかる。今の吾妻作品への評価はデビュー以来の積み重ねに対して贈られているものなのかもしれない。

それでは吾妻作品の根底にあるものは何だろうか。それは大変シビアな現実認識ではなかろうか。つい、「ギャグマンガ＝でたらめ、いいかげん」という連想をしがちだが、「でたらめ」からは笑いは起らないのではないか。ことに吾妻作品は論理的でさえある。吾妻作品はとてもしっかりした現実認識の上に建てられた、論理のがっちりした構築物と言えるのではなかろうか。

その上を、流麗な線とまるくて甘い絵で飾っている。それが吾妻ひでおの漫画ではなかろうか。私はそんな気がする。SFも美少女も化物も実はみなカモフラージュなのかもしれない。テクニックなのかもしれない。

吾妻さんが今後、どういう作品を描いていくのか、今年は何をするのだろうかといった事もとても興味深い。でも、結局、吾妻ひでおは吾妻ひでおであり続けるのではないかと思うのだ。吾妻さんは吾妻さんであってくれればいい。それの結果が漫画賞であったり、ベストセラーであったら、とても素晴しいことだ。

吾妻さん、今年も、よろしく。

（PS「吾妻ひでおに花束を」Part2を御予約の皆さん、もうしばらくお待ち下さい。）

高垣昌二
大日本吾妻漫画振興会

僕のエロは、病気的エロで健康的じゃないんですね

★そうだったんですか。『カスタムコミック』のあの終り方はそういうことだったんですか。「その後のあなた」はとてもたのしみに見ていたんですが残念なことです。

'46年7月、宮城県生まれ。本名石井秀紀。'70年、『事件劇画』に出木英杞のペンネームでデビュー。以後『劇画ハスラー』などに作品を発表する。'75年頃より『ヤングコミック』を中心に活動、「天使のはらわた」で注目される。現在、『ヤングコミック』で「黒の天使」を連載中。

――描き始めて何年になります？

『ヤングコミック』にきてからが6年位で、それ以前を合わせると10年です。10年間飽きもせず、男と女の話ばかり描いてます。

――昨年はいかがでしたか？

劇画は『ヤンコミ』の「おんなの街」と『漫画タッチ』の「魔奴」、それと写真集「名美を探して」です。

――ちょっと感じが変わったという気がしましたが。

そうですか……僕が一時的にマスコミに名前が出たのは、作品が評価されてという事じゃなくて、「大卒がエロ劇画」という面白人間登場といった扱いだったわけですね。取材の意図を聞いた限りではそうじゃなかったんだけど、違ったのは、石井＝エロ＝ワイセツ発禁、というレッテルだけだったですね。発禁や警告受けた事もないんだけど、ま、実体は読んでもらえていないわけで、エロはエロなんだけど、例えば男が楽しめるエロという物をことさらイメージされても、応える力が無いというか……僕のエロは、病気的エロでね、健康的じゃないでしょ、そういう意味でいうと、「おんなの街」は、地味ですし、暗く重苦しいし、救いが無い描き方でしたから、やり切れなか

抱けというなら抱いてやるけどサえ〜〜!!

川島みたいな野郎と一緒にすんなよなぁ!

おんなの街／別冊ヤングコミック　少年画報社

ったかも知れませんね。下手なんですね。劇画体験って、正負いろんな意味での感動だと思うけど、それ言うにしても、もう一つパワー不足だったし、優しさが足りなかったですね。思う事の半分も描けないんで、「おんなの街」描きながら、自分でも落ち込んじゃってたんですね。

――「ヤンコミ」連載中の「黒の天使」について。

僕のテリトリーは、やはり、男と女の夜の風俗話というか……それならどうにか描けるつもりでいるんだけど、〃名美〃を出さずに。アクション物で、という注文で……不安なんだけど、アクション好きですし、それにプラス、犯罪・怪奇・猟奇趣味みたいな自分の生理をミックスさせて、変な言い方だけど、リリカルな殺人劇、殺しの美学を、と頑張ってるところなんです 血の通った女の肉と息づかいが聞えて来るアクションが描ければ、と思ってるんです。

――「カスタムコミック」の「その後のあなた」が途中で終ってるのは？

あれは、13回連載という事で、話は作り終えていたんですけど、社外記者・村木が、かつて関係のあった、今は行方不明の幻の女・名美を、忌わしい過去を引きずって生きてる女性たちの「その後」を取材しながら探し歩く話で、いよいよ名美が登場して来るところだったんだけど、……『カスタム』側の小さなミスが原因で、誤解が誤解を生んで、まあ、こういう公の場で活字にすると、また誤解されるんで顛末は控えますけど、僕の様なたかだかエロ劇画描きじゃ、途中で強引にハシゴを外されたら、素直にハイと、落とされるしかないんですね。

――「その後のあなた」の後の部分は宙に浮いてるわけですね。

映画の「赤い教室」のシナリオで描いた名美と村木の「その後」を描こうと入れ込んでいたし、続けたかったんですけど、こっちに落度が無くとも、ハイ、あんた要らないよって言われたら、どうしようもないですしね。でも、読者は、何が何だか判んないでしょうし、申し訳ないです。

今後は？

一部のメジャー誌を除けば、コミックブームとは言われてても、僕が載る様な青年誌の現状は苦しいですし、活気がないんですね。『ヤンコミ』なんか、紙質も最悪になったし、トーンも使えないし、ストーリーの絵解きだけの為の画であるんじゃなくって、劇としての画を、と思ってやってる僕なんかには、絵が活かせなくって不利なんだけど、そういう時だけに一層、ただただパワーのある面白い仕事をして、読者によろこんでもらう様努力するしかないですね。

（インタビュー・編集部）

「おんなの街」をもっと評価すべきだ

僕はかなりの漫画中毒で、あればどんな雑誌でも単行本でも読んでしまう。昔は少女漫画は全然読まなかったが、最近はそれほど抵抗は感じなくなった。

ただ積極的な興味の方はだんだん衰退してきていて、何が何んでも読まなければと思うような作品や作家は少なくなってしまった。

そんな中で石井隆は数少ない積極的な興味を抱かせる作家の一人である。いや、今や大友克洋がほとんど描かないので、唯一の作家といえるかもしれない。

特に79年、ヤング・コミックに連載していたおんなの街シリーズは素晴しく、まさに漫画の新しい地平を切りひらいた（何んと評論家っぽい表現！）作品といえる。

何度も書いた事なので気がひけるが、漫画が漫画でしかない不可避性みたいなものが実現された画期的なものだった。何んであの傑作がもっと高く評価されないのか不思議だ。〃ぱふ〃も少女漫画家ばかり取りあげず、石井隆の特集号でも出すべきだ。

ただヤンコミの覚氏の話だと読者にあのシリーズは不評だったらしく、現在連載中の〃黒の天使〃は、あれほどアバンギャルドではなくかなり分り易くなっている。それでもパワーは落ちていないところはさすが

ガキ向けの雑誌は少女漫画化するばかりで面白いのは〃激虎〃と〃花園〃ぐらいなもんだし、青年誌は相も変らぬメンツで、ビッグ・コミックなんかまるで養老院だ。メディアとして限りない可能性を持ちながら、回りでその可能性を殺してしまっている その中での石井隆の作業は必然的に孤独なものにならざるを得ない。

当人はそんな気負いはないだろうか、ファンとしては彼の仕事に過剰な思い入れを抱いてしまう。

だいたい今の漫画家は漫画の視覚的な可能性に対し無自覚すぎるし、努力が足りなさすぎる。もっともっと冒険すべきだし、大胆になるべきだ。こんなに巷に漫画があふれながら、石井隆だけしか居ないというのはさみしすぎる。

渋谷陽一
（ロッキング・オン　編集長）

INTERVIEW

いしかわじゅん

来月の特集に期待してください

★いしかわじゅんさんの全雑誌制覇は有名な話で、あと原稿依頼に来ないのは学研だけだそうです。それから吾妻ーいしかわ抗争も最近戦火が拡大しつつあるようです。ともあれ来月号を読んで下さい。

カットは全て　約束の地／『ヤングマガジン』講談社　より取りました。

'51年2月15日、愛知県生まれ。本名石川潤。'70年明治大学入学、漫研で活躍。「特集漫画」に3Pでデビュー。その後は、麻雀劇画を中心に描く。現在は、ギャグまんがを数多く発表、全雑誌制覇をめざしている。代表作「憂国」「かんぱりソーダ」「ドラゴン・ブギ」など。

—昨年は忙しかったですか?

昨年よりは一昨年の方が忙かった。昨年は、わりと仕事が整理できたし、質みたいなものは昨年の方が上がったんだけど。一昨年は、6枚とか8枚とかいうのが多くて、〆切りか本当に多かったけど、昨年は10枚以下はやらないつもりでいたから。

—「マンガ少年」でやった「かんぱりソーダ」が単行本になりましたね。

月刊誌だったからね、ちょっとやりにくい部分もあったんだよね。途中から続き話みたいになったんでね。本当は全部まとめるとちゃんとした話になるように描こうと思ってたの。でも、月刊で16Pくらいだと描ききれないのね。半端な所で引いちゃうしかなくてね、そうすると(読者が)一ヶ月はちょっと待てないだろうな、と思うと描けないんだよね。

結局、本筋の方はしっかりやらないまま終わっちゃったみたいで…。悔いが残るな。

—はじめからストーリーなんか考えて描くんですか?

最初はいい加減に始めて、学園ものみたいにしようかと思ったんだけど、途中で双子のキャラクターができて、あ、これ使って何かできないかな、て考え始めて、この一族とこっちにまた一族があってと……かなりしっかりした話ができてたんだけど、描けなかったなー。なんか収拾つけなきゃいけないから、五万年戦争の結着つくあたりで父親にネームで全部語らしちゃって、それでカタつけたという。安易なんだよね。

あの時、新しいキャラクターを初めてつくったんだよね。蘭丸もドラゴンもいつのまにかできたキャラクターなんだけど、「マン少」やる時、新しいキャラクターつくんなきゃいけないってことで、苦労してね。天中殺って名前たけはでき

て、気に入ってたんだよね。キャラクターがいまいちで、あれではいつかの主役座をおわれるだろうな。もっと面白いキャラクターが出れば、違った展開になってただろうけど。

―それだけキャラクターが重要だと。

そうね、キャラクターの魅力に負う所が大きいみたい。

―知り合いとか後輩とかが、よく登場するのは？

大した意味ないんだよね。単なるキャラクターとして出すから。

パンク・ドラゴンの登場予定は？

『100てんコミック』でやるかもしれない。ドラゴンは好きだから、もう一回なんとかしたいと思ってる。だけど、手間かかるのね、あれは。全部スクリーントーンはってるじゃない、アシスタントがいやがるという（笑）。

―好きな女優は？

やっぱり、薬師丸ひろ子と真行寺君枝と浅野温子ですね。

最近、読んでいて、いいな、と思うまんがは？

「青の戦士」かな、やっぱり。雑誌では『スピリッツ』か今いいと思うなあ。

ギャグ以外のシリアスなのは？

いつもね、シリアスなものもギャグもの、自分の中にあるわけ。たまたま、ギャグばかり描いてるから、ギャグまんが家ってことになってるけどね。

ギャグまんが家って本質的に暗いんじゃないかな。吾妻さんもそうだし、昔のまんが家ってのは、赤塚さんみたいに本人がそういう感じだったんだけど。

―今の絵について。誰か人からの影響はありましたか？

いや、ないね。最初劇画だったから…。それをくずしたらああなったという感じ。

『ヤングマガジン』の「約束の地」は、かなり長めの話ですね。

でも全部で12回なんだよね。15、16回は欲しかった。初め5、6回のつもりが、途中で10回くらいの話になって、ふくらましちゃったのね。ふくらましすぎて、12回じゃ終わらなくなってしまった。描きたいことといっぱいあるのに、困ってしまってるの。

―今年の予定は？

「約束の地」が4月いっぱいで終わるんで、その後何やろうかと思ってるんだ。隔週やって、読みきり一本ぐらいずつやればちょうどいいんだけど。

―来月のいしかわじゅん特集に向けてひとこと。

『週刊明星』まんが版をやります。

（インタビュー・編集部）

新しい保守派・いしかわじゅん

初めていしかわじゅん氏の絵を見て、こりゃ学漫だなと思ったわけよ。学漫の絵と僕が言うのは、三浦早大教授を始祖とし、園山、福地、東海林の三大スターをもって60年代、70年代半ばまで学生漫画連盟の主流を成したいわゆる〝おとなマンガ〟のことですね。学漫の主流は、漫画春秋の廃刊、漫画サンデーの編集方針転換あたりから劇画ブームにおされていき、今ではアニメ・少女マンガ族にとって変わられた。〝おとなマンガ〟族にとってこの変革はインテリジェンスの退行とうけとるのが常だったね。実際劇画族の指向するところは大学漫研の枠からはみだしていくべき流れな訳でしょ。いしかわじゅんの絵はそういうインテリの絵遊びたる〝おとなマンガ〟の系譜の末尾に、しかし正統的に位置する絵柄なのよ。要するに保守派であったり、最後のニホンオオカミだったりするわけだよ。ところがいしかわじゅんの発想するものは、学漫の変遷そのままに、劇画的であったり、少女マンガへの傾斜が見られたりえらくナウなのだ。まぎれもなく現代のスターだし、誰も保守派だなんて言うわきゃないマニア好みの作家だ。てことは学漫のおとな漫画族の最後の末裔にして彼はその系譜に終止符を打ってしまったということになる。えー、ながながと書いてきたのは結局彼の作品の原性は、自らのインテリジェンスと保守性をひたすらかくし、ナウく見せたがる事にあると言いたいわけよ。ようするに見せかけたかるんだね。彼は、矢作俊彦への徹底した排撃やら、東北差別などはシンセサイザーを駆使する新作落語家みたいで、ある種の同情心すら抱かせるね。東北差別なんてやってっけどね、彼自身はあの保守反動の牙城たる愛知県出身だしね。これは彼の原罪たる部分だね。愛知県人って、妙に抹香臭い、妙に古いとこあるじゃない。高千穂遙とかスターログの編集長とか、石坂啓とか、僕の知ってる愛知県人てたいがいその古さをひっかかえた新しがり屋なんだよ、ええ。でもって、僕はそういういしかわじゅんが好きなわけです。メジャー誌じゃアンケートのとれない知性派やぶれのいしかわじゅんが。某雑誌で吾妻ひでおと新田たつおに宣戦布告なんかしたり涙ぐましく戦闘的なのね。僕は彼にエールを送りたい。あんたますますヒネておもしろくなってほしい。僕？えー長崎県人です。イタチやマムシやイノシシと遊んで育ったド田舎人ですよ。織田信長か憧れ徳川家康かおそれた長崎です。（まんが家）**御厨さと美**

手塚先生に会えて感激しました

★石坂啓の作品を読むと、男の子より女の子の方ががんばってる場合が多いような気がする。学生時代ってそうなのか、今の時代だけそうなのか、石坂さん自身そうだったのか…。

下北なあな薬イズム
／「マンガ少年」朝日ソノラマ
▼真中は、正体不明のうんこネコ

▲がんばりやのG・Fアキオくん

'56年3月28日生まれ、名古屋市出身。'78年4月から翌年8月まで手塚プロに所属'78デビューは、'79年6月『マンガ少年』の「とろりんなんぼく」。現在の若者を主人公とした作品が多く、そのフレッシュな感覚に人気がある。代表作は「下北なあなあイズム」「茶番劇」。

——手塚治虫さんのアシスタントをやっていたのは、いつ頃ですか？

78年の春から79年の夏ぐらいまで。あそこ、すごく居心地よかったのでね、もっといたかったんですけど。

——やっぱり手塚さんに影響うけましたか？

ええ、すごく思いつめてましたから。地方にいくと、かなりマニアの人多いでしょ。東京の人の方が淡白みたいでね。地方にいると、いろいろ敏感になるというか……くやしいな、という感じで見てたから、すごかったですよ、思いつめ方か

——手塚プロでの収穫というと？

手塚先生に会えたことです（笑）。私、ソノラマに入選した時より、会社に入れた時の方が嬉しかったです。田舎の子だから、上京して会社はじめてっていう三日間くらいは、夜、全然眠れなかったです。すごく嬉しくて。

手塚プロにいると、何でも刺激になります。まんが描いてる人がまわりにいることは勉強になります

ひまわり荘のど恐怖

トイレにみみずが出たねん。
しかも壁にはりついとったねん。
せっかくの自画像なのに
パンツあげとるひまもなかった。

▼こういうネームが女性らしいところ（？）

シリーズ「茶番劇」より
／『マンガ少年』朝日ソノラマ

▲最近女の子が色っぽくなりました

——昔からまんが家になりたかった？

それはすごく思ってましたね。小学生の頃は、友達同志でいい気になって言ってましたけど、中三くらいの時に、かなり真剣に思いました 進学する時に、私は高校でたら上京したいって言ったんです。手塚先生のアシスタントやりたい、と。そしたら、先生が侮蔑しきった顔でね、「甘い!!」とか言ってね（笑） それがすごくショックでした。

——受験をテーマとした作品がけっこうありますが、それは？

『マンガ少年』だから、やっぱり高校生くらいを対象にということで 私が高校の時、受験がやっぱり切り離せなかった感じだったから。学生だったら学校自体でいいし、仕事してる人だったら職場でいいし、何でもいいから、自分をとりまいている環境に目を向けるというかね、そのへんにみんなの言いたい所が絶対あるんだと思って。

私、人の描いてるまんが読むとおちこむんです。みんなすごいの描いてるなあと（笑） 気が大きくなると、私たって描けると思うし、おちこむと、やっぱりダメだなと思うし、ただ、低学年を対象にするんなら別だけど、少なくとも中高校生くらいを相手にする話だったら、手離しで空想に浸りきってるようなお話ってのは苦手になると思う。そういったのは見てて楽しいし、あってもいいと思うんだけど、私はちょっとこだわりたい所があるのね、もうちょっと現実から離せないな、という感じがね。隠れた陰気くさい性格がそのへん、でちゃうんですね。

——話を考えるのは、どういう時ですか。

自分で気のすむ作品描いて、答えられればいいんですけど、まだ自信もてない所あるので大口たたきたくないんですが、「茶番劇」になってからは、大抵ラストシーンが描きたいっていうのが多いと思います。あとの話はわりとこじつけ的で（笑）。

——これからどういうものを描きたいですか？

すごく、軽薄なのが描きたいです（笑）でも、なりきれないというか、やっぱり、こだわりたいですね。

——最後に、読者にひとこと。

『DUO』を読んでやってください。

（インタビュー・編集部）

石坂さん、どんな高校生だったのかな

あなた中学生？高校生？浪人生？ま、どれでもいーんだけど、学生であることって、なかなか苦労が多いのよね、実際の話。

毎日アクセクタラタラ、先生はなにかというと「内申書！」だし「偏差値！」だし、そうやって脅されながら、やれ模試だやれ期末試験だ……試験近くなると関係ない授業なんかもうロコツに内職してるもんね。生徒会にしたって、とにかく受験に関係ないことは全部押しつけあい。そうだ、啓子も予備校通い始めた、っていうし、アセルなー、わたしもゼミ行こうかな。家にいたって、親は小言か勉強の話しかしないし、彼のことなんかとても話す気になんないわよね。もうAまで言っちゃったけど 話せばどーせ、「勉強の妨げになるようなことはやめなさい！」って言われるだけよ、フン！

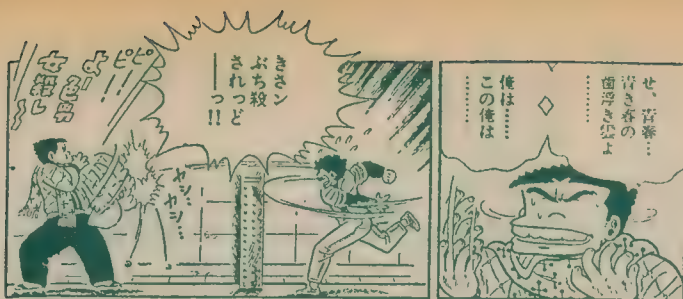
アレ、？どこかで似たような話、読んだなぁ……あ、そうか、**石坂啓**だ、そう！ねえ、あなた石坂啓、ていうまんが家知ってる？『マンガ少年』「下北なあなあイズム」とか「茶番劇」とか連載してるの。画がかわいくてスッキリして読みやすいんでパラパラッと見てたら、おもしろいのよね、これが。

わたしと同じなの、登場人物の生活が、考えてることが。石坂さんてどんな学生生活送ったのかな、なんて想像しちゃう。特別ドラマチックな話は全然ないけれど、高校生なら誰でも知ってる事を丹念に描いてくれていて、しかも流行の少年まんがみたいにベタベタしてないとこがいい。女性には珍しくムードに流されないしっかりした構成力があって、ディテールもきちんと押さえてるしい、読みでがあるのよね、とっても。それでも、生理の話とか女の子の心理描写になると、やっぱり女性の視点だなって思う。だから、一層うれしくなってしまうわけ。

連載から一話完結に変わって、話も画もどんどん上手になっていくみたい。特に最近、女性が色っぽくなってきたのよねー、恋でもしたのかな、ンク？ーまたまだ先が楽しみなまんが家さんですよ、彼女は！

代筆：**香月千成子**

まんがを描くより鹿児島の夏が……

★78年ビックコミック大賞受賞後『ビックスピリッツ』創刊に伴い「ぼっけもん」が連載化・そして『ビックコミック』では「うち、若葉！」をただ今大好評連載中。ともあれ大活躍の岩重孝さんです。

本名　岩重孝　昭和29年12月31日、鹿児島市で生を受ける。やぎ座で血液型はAB型。デビュー作は昭和53年、小学館新人コミック大賞作「忘れ雪」。この作品は、現在『ビッグ・コミック・スピリッツ』に連載中の「ぼっけもん」のプロローグで、浅井義男が上京するまでの話。
身長170cm、体重58kg。

生年月日
昭和29年12月31日

――最初にまんがを読まれたのは。
覚えていません

――最初にまんがを描こうと思われたのはいつで、それは何故。
どちらもはっきりせず

――好きな音楽のジャンルと歌手は。
R・Cサクセションが、今一番良い。（ジャンルは問わない。）

――よく聞かれるラジオ番組は。
特に無し。

――よく見られるテレビ番組は。
歌謡番組はすべて。

――アルコールは、当然いも焼酎でしょうか。
焼酎、日本酒はダメ。サントリーホワイトを愛飲。

――何歳で、酒を口にされましたか。
高校生の時

――好きな食べ物は。
ピーマン以外は、何でもOK。

――かるかんとボタンづけ、どちらがお好きですか。
どちらも、あまり好きではない（つまらん質問だ！）

――好きな映画監督と作品、この項見た映画でおもしろかったもの。
エリア・カザン。作品は監督は違うが、「ミッドナイト・エクスプレス」最近は「シャイニング」。

――好きな作家は。
梶井基次郎

――岩重さんのまんがの原点は。
うまく答えられる言葉を持ちあわせていない

ぼっけもん
／ビッグコミックスピリッツ
小学館

――岩重さんの高校時代は、どんな生活をおくられましたか。

優等生でも劣等生でもなかった。よくケンカをしました。

――鹿児島について思い浮かんで来る事をあれこれと。

入道雲。

――東京（都会）は夢（がある所）だと思われますか、それとも〝夢の街〟は幻想だと思われますか。

特に夢があるとは思れない。

――現代の日本では、若者のUターン現象が多くなっていますが、どう思われますか。

同調できます。

――窓を閉めた部屋でも桜島の灰でざらつく鹿児島の夏と、〝まんがを描けない事〟、一方を取れと言われたら。

鹿児島の夏。

――「ぼっけもん」が連載になる前と、なってからと生活はどのように変わりましたか。

連載とほぼ同時に結婚しました

――「ぼっけもん」の中の、浅井義男と中村太士郎、どちらに岩重さんご本人は近いと思われますか。

浅井義男。

――目標とされているまんが家、もしくは人物は。

好きな漫画家は、はるき悦巳氏と、つげ義春氏

――現在のライバルは。

無し。

――このごろ読まれて印象に残ったまんがは。

大友克洋氏の「童夢」

――まんが家になる決心をされたのは。

『小学館新人コミック大賞』に入選した時。

――これから岩重さんのやってみたいまんがのジャンルは。

「ナウい」ということから〝遠い〟漫画を描きたい。

（筆記インタビュー）

未熟な人間の恥多き日々に

僕は、岩重孝さんの事を、ほとんど知らなかった。いや〝知らなかったと言うよりも現在でも、よく知らないと言ったほうが良いだろう。（岩重さんゴメンナサイ。）それでもって岩重さんと岩重さんの作品に対するコメントを書こうとしているのだから恐しい事だ。岩重さんと話した事も、ましてや会った事も無いのに。

僕が一番最初に岩重さんの作品を読んだのは、たしか『ビッグ・ゴールド』に載った作品だったと思うのだけど、あれを読んで自分の高校時代の生活が、オーバーラップして来たものだった。

そして現在の『ビッグ・C・スピリッツ』に連載中の「ぼっけもん」があるが、この作品についても少し前の自分の〝恥多き日々〟や、現在の〝恥多き日々〟がそこにあるようだ

この「ぼっけもん」が、多くの読者の共感を得ているのは、やはり読者と等身大の主人公浅井義男やその周辺の人間達の行動や考え方によるものだと思う。

このコメントを書いている自分にしてもそうだが、現在の若者達に〝青雲の志〟などというものは、ほとんど無いと言って良いだろう

一人の若者が、何気無く田舎から都会へ出て来て、先にどんな職業につこうかとか、どんな事をやろうなんて考えていずに、ただなんとなく今現在を過ごしている。

主人公の浅井義男も、その一人なのだが、学生生活と現実社会とのはざまにいて、恋に悩みこれからの自分の行く末を考えていなかった事にそろそろ気づきだしている。

これから浅井義男が、どのように生き方を変えて行くだろうか

義男が故郷鹿児島の言葉や、鹿児島の匂いを身に付けているように、きっと作者の岩重さんも、漫画を描くより桜島の灰でザラつく鹿児島の夏が良いと言われる方だから、鹿児島の匂いを身に付けていらっしゃる「ぼっけもん」なのだろう。

岩重さん、これからも末長く、未熟な人間の〝恥多き日々〟を描き続けてください。

草留嘉久（編集部）

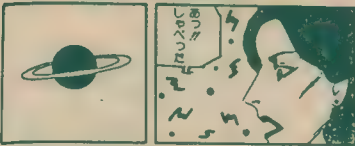
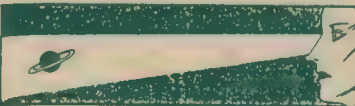
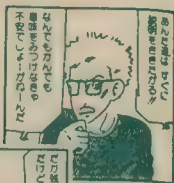
奥平衣良

今日は僕、あまり考えたくないの。

★インタビューに出かけて行った絹集子曰く「いやあ、実にスバラシク且つタメになるインタビューでした。ガハハハ」

▲D．J．『漫画タッチ』

▲デジタル・ライフ／「ガロ」

あたしが 何なのか 考えてるんだろう？

あたしは何でもないよ
そおら あんたはあたしが現れた意味を考えてる

言っておくけど 意味なんてないんだ
意味なんてありゃ しないんだ

場所は奥平さんの御自宅、マンションの一室。白を基調に直線を多用したインテリアの、いかにも奥平さんのまんがに似つかわしい部屋。シンセサイザーをBGM(?)に流して、衣良的世界に浸りつつインタビュー開始。インタビューアーは、頭初の予定の中村直也さんが、いつまで待っても来ないので、急遽奥さんの森美喜さんがつとめることになりましたが…

(ボイス・シンセサイザーで)あ・あ・テス・テス・じゃあインタビュー初めます。

はい、じゃあ奥平先生一言。

去年の反省、今年の抱負だっけ。うん…去年はあまり悪いことしなかったな。良いこともしなかった。

今年は僕はね、がんばって、ええと毛皮が欲しいね。まず。あとはブーツが欲しいね。

なんだそれは。

あとね…。欲しいものはね。なんか欲しいものある？

――今年はカメラマンになるんでしょ。

そ、今年はね、カメラマンになる。インタビューらしくなってきた？ 今年はね、なんでもいいや、いつもなんでもいいから、いいんだ。

――だって、やるって言ってたじゃない。

うん、やることはしっかりやる。今年はね。なんかおもしろい事あったっけかな、なにもないな。

今年になっておもしろい事一つもなかったね。

去年もなかったような気がする。

――去年だっけ、「ビックリハウス」からおもしろい事ないですかって電話あったでしょ。

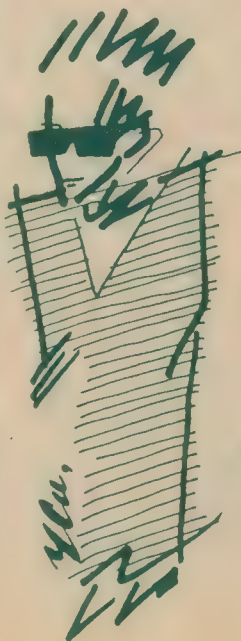
あれ今年だよ。あ、今年は「スーパーアート」がつぶれた。あれおもしろかったけどな。

あれ、つぶれたの。なんで。

やっぱり売れなかったんじゃないの。

――へえ、かわいそうに。

しかし実のないインタビューですなあ。

うん、今からね、今から真剣にやろう。

LA PLANET／『劇画アリス』
〝そこには何らたしかなものなどひとつとしてない、アナーキーなまでに価値や秩序の解体と懐疑が流出されるニヒリズムの臭いがある〟
――解説・森脇美貴夫

――そうです。
去年の反省と今年の抱負でしょ。去年の反省はぁ、去年の反省はオリンピック開催できなかったこと。今年は僕はね、ポートピアにかけるね。
僕も、もうデビューして十年。
――うそばっかり。
七、八年
――そんなになる？
まんがのこと？だったらそんなになってないよね。まんがは…デビューしたおぼえてないんだけどね。
去年は反省ないね。
――なんで。
反省する点がないね。今年の抱負もないなぁ。
――少女まんが界にデビューするんじゃないの？
そういうことはしない、そういう悪どいまねはしない。
――うそばっかり、秘かに狙ってたくせに。
真剣にインタビューしようとしてるでしょ。すぐにまんがの話をしようとするでしょ。よくないなぁ。
――だって、やるって言ったじゃない。
なるべくまんがの話しないでね。

――なんで？
まんが嫌いなんですもん。
――最近描かせてもらえないから？
まんがって、好きじゃないな。正直言って。
今日は僕、あんまりものを考えたくないの。
――どして。
昨日いっぱい考えたから。昨日わりとシリアスな日だったから。今日は何も考えたくない。おなか空いたなぁ。
――中村君どうしたんでしょうね。
中村君はホモだから
――うそばっかり。
だってみんなホモだよ。男はみんなホモなんだ。
今年やりたいことはね…板前さん。テクノ板前さん。あと土人したいね。
――陽に焼けなきゃいけないじゃない。
塗ればいいじゃない。
――塗るのお、いやだきたならしい。
だって全身塗ってさ。夏になったら竹の子ぶり返すかな。夏になったら、みんなであそこ行って土人やろうよ。ナウいよ。絶対ナウい。
お腹へったね。ということでインタビュー終りましょっ。

ロマンティック神経症

ジオメトリックな画風に包みこまれた奥平衣良の世界は、けっしておしきせのMODERNによって安易に創り上げられたものではない。そして、薄っぺらな感性によって描かれ得るものでもない。シリアスな毒を内包しながらコマを埋める作業は、彼自身の感性の葛藤に他ならない。
描かれる絵の空白の部分が多ければ多いほど、ぼくは彼のニヒリスティックな表情を想い浮べることができる。加えて、「なーに、本気じゃないですよ」といった態度をとりながら構想にふける彼を横目でみながら、ぼくは幾重にも折り込められた伏線をひっぱりだしてやろうとしている自分に気がつく。
テクノでプラスティックでハイ・テックな奥平衣良と称するのはたやすい。しかし、その内に秘められたヒューマンな感情移入を指摘する人は少ない。そして当の本人は、一見テクノな発想の裏に仕組んだ皮肉を胸に、「なーに、本気じゃないですよ」と嘯ぶいているのだ。
漫画を職業にしている人は、多かれ少なかれ閉鎖的で自閉症患者のような部分があるのだが、ぼくの知る限りの彼は、極めて硬質に明るい。もってまわった言い方だが、要するに乾いた感性を内から外へと放っているということだ。それは、『ガロ』の中での彼の存在を思い浮かべてみればよく解る。
デザイナーあがりの漫画家という事が、彼の感性に大きく影響しているのかもしれない。流行に敏感でいなくてはならない、デザイナー気質が漫画という方法論を経て奇妙なバランスを保っているのかもしれない。
人を観察するというのは気持ちのいいものじゃないし、とくに身近にいる人間であればなおさらである。でも秘そかにぼくが言えることは、奥平衣良はアイロニックなロマンティック神経症にかかっているということだ。

（100％PROJECT）
中村直也

絵でみせるまんがが もう少し増えても いいと思うんです

★去年はアメリカコミック誌『ヘヴィメタル』に作品が掲載され、その独自な感性を大きく評価された風忍さん。今年は日本国内での正当な評価を得られることを願ってやみません。

宇宙に向ってとび出せない！／「バイオレンス&ピース」奇想天外社より。

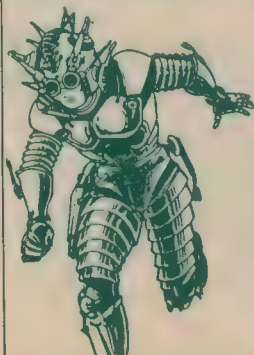
52年生れ。高校卒業後、ダイナミックプロに入社。永井豪に師事。一年後に、ギャグまんが「百円病院」(『別冊少年マガジン』)でデビュー。77年「地上最強の男、竜」(朝日ソノラマ刊)において、まんがの図像表現としての可能性を求めた大胆な試みをみせ注目される。その後も「ガバメントを持った少年」(『マンガ少年』)「心の内なる声を聞け」(『SFマガジン』)等、その試みを進めた意欲作を発表し続ける。昨年は、アメリカのコミック誌『ヘヴィメタル』に作品が掲載され話題となる。それら各作品を含んだ短篇集「バイオレンス&ピース」(奇想天外社刊)は、マニアックなまんがファンにとっては必見の一冊。

だいたい朝九時か十時に起きまして、軽く体操してから、あとずっと夜二時半頃までやってます。仕事を。スピードは遅いんですよね。一日に何枚っていうようなものじゃないんです。書けないですよね。今、向うの仕事をやってます。持ち込みと同じですから、しかも採用が決っても載るまで一年以上かかったりとかあって大変なんですが、『ヘヴィメタル』に載せたいんで、全力を尽して描いてます。

『ヘヴィメタル』が出た当時、ひじょうにすごいのが出たなあとびっくりして、こういうのに載ったらいいなあと、夢みたいに思ってはいました。『エピック』とか『ヘヴィメタル』とか向うでも新しい傾向の雑誌なんですよ、スーパーヒーローものではないんです。日本のまんがはお話中心ですので、絵でみせるまんがももう少し増えてもいいと思うんです。そもそもまんがは色んな形があっていいわけで、週刊誌のまんがなどみてますと、個性はあるんですが、絵にしても結局似たような感じなんですよね。もっと強烈な感じのが欲しいですね。向うの雑誌をみると、かなりそれぞれ書き方が違ってあって、みてて楽しいですよ。

心の内なる声を聞け！／「バイオレンス＆ピース」奇想天外社より

自分の場合は、ストーリーは付いていくようなもので、イメージの展開でふくらませていくような感じがいいんです。向うに描いているのは特に、絵そのものを一番大事に考えています。日本とアメリカでは文化が違いますので、セリフなして、絵でわかるというまんがの方がいいわけです。普通のまんがだと、コマがあって、映画のように流れて継がって行きますよね。そうじゃなくて一枚一枚の絵でみせる、イラストみたいな感じでやって行きたいんです。本当は流れのあるやつもやりたいんですけどね。

とにかく昔からずっとまんがを描いてきているんですが、以前はギャグを描いてたんですよ。だから今のようなものを描くとは、全々思ってもみなかったですね。「地上最強の男・竜」で、ストリーのある、ああいう絵でというのを初めて描いたんです。やはり影響を受けたというのは、フィリップ＝ドリューイエというフランスのまんが家です。あの人は今までとはちょっと違うまんがでしたからね。一番びっくりしましたね。どんな風に影響されたかというのは、見れば判ると思いますが、かなり似た印象は受けると思います。大友さんなども向うの人の影響がありますよね。やはり好きな作家から刺激を受けたりとか、影響されたりとかありますよね。

ＳＦの本はほとんど読まないです。ＵＦＯとか魂とか超常現象とかが好きなんですよね。そういうところから来てるんじゃないですか。作品のイメージというのは。そういうものを絵だけで描き込みたいとやっているんです。だからお話ではないんですよね。まだ十分じゃなくて、自分で納得できないという感じもありますが、やっていきたいです。

時間があくと、映画が大好きなんで、よく観ます。何でもいいんですが、やはりオカルトものとか結構好きですね。あとアクションものとか。最近のでは「テス」はもう全てがすばらしいという感じで観ました。もっと最間があれば、撮りたいですね、映画を。プロとして撮ろうというわけじゃあないんですけど、まんがに対してと同じように、やっぱり好きですから。まんがを描いてもこんなのか撮ってみたらおもしろいなと思う事は思うんですよ。また逆に映画を観てて、その強い影響と印象かあってまんがにする場合もありますね。

〈インタビュー編集部〉

インタビュー雑感

いったい何を聞きたいかも考えず、いきなりインタビューに行ったものだから、質問はしどろもどろ、一貫性に欠け、同じ事を何度もたずね、あげくにあまり詳しくないものですからとあまえてしまうありさま。終始ボソボソと、一言一言間を置いての応答。さながらお通夜インタビュー（そんなものあるのかね）となりに付きそっていたマネージャーの桜井さんがあきれて笑っておりましたねえ。

こちらの不手際を差っ引いても無口な風さんという印象がありまして、これしかないんですよというヒジの抜けたセーターを着込み、一日中ひとりでシコシコと仕事をするとくれば、ちょっと鬼気迫る感じがします。でもひじょうにやさしい人であります。実は人を驚かせるのが趣味とかで、いきなり「そーなんですよ川崎さん」とやられたのにはビックリしました。

正直いって風忍のスゴサは、友人に教えられたもので「物語性の崩壊」「絵画表現の変革」「まんが的エクリチュールの刷新」等々のことばに、そういうものなのかと感心しつつ関心を持って読んでみたのが始まり。教えてもらわぬとわからぬということはありますね確かに。その友人も最近は、あの精神世界に固執するテーマ面での作風に批判的でありますが、逆に私は読み直すほどに共感を覚えつつあります。

描いている時はいいと思っても、後で見るとまだまだと思い、昔のよりは今の方が良いという前向きの心構えは、内に秘めた自信の現われでしょう。もちろんすでに第一線の作家ですが、将来明らかにビッグな一人となるはずです。その意味でも、日本の仕事の方へ力を向けてくれる事を期待したいと思うのはまちがいでしょうか。あの特異な画風を日本でこそ定着させ、また新たに改変して行ってもらいたいと思います。海外での話題が逆輸入というのでは、ちょっとくやしいですよ勝手を言ってすみません。

和光大学ＳＦ学会　**山下聡輔**

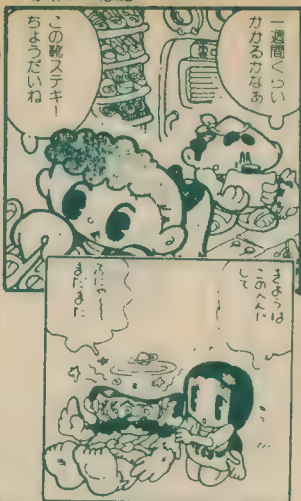
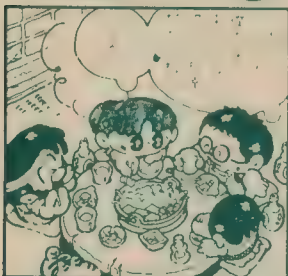
勝川克志

痛快漫画工房は、きょうもフル運転

★駄菓子屋、かすりの着物、古道具屋の埃のつもった時計や眼鏡、浪漫ちっくな喫茶店、赤い靴、のぞきからくり
勝川克志のまんがには懐しい匂いがする。

▼かわいい悪魔『ばふ』

▲休暇の終り「亜宇宙珍品館」たざわ書房より

▲めそめそ影法師『跋折羅』

◀一度死んだ男『螺旋』

'50年、岐阜県生まれ 18歳で上京、アシスタントをつとめながら、短篇、カット等の仕事を開始、'76年「わたしのお兄ちゃん」で『ヤング・コミック』よりデビュー。以後『宝島』『奇想天外』『マンガ少年』『猫の手帖』等に執筆。『跋折羅』同人

●さて勝川克志さん。勝川さんにはずっと読者の声の表紙絵を描いてもらっていたのでまいどの顔なじみ。会うといつも長話になるので、もう互いに聞くこともない。「最近調子どう?」ということぐらいで、最後に「やっぱお金欲しいネ」でおしまい。でこのインタヴューはなにかおもしろい趣向はないかと考えて、勝川さんの友人が平口広美さんだというから、そいつはいいや、じゃお互いにインタヴューしあってもらおう、てなワケで平口さんがインタヴュアー。　(編集室/可部)

——勝川さんの新婚生活から…

勝川　新婚…日婚だもんね、もう。

平口　あれいつ頃でしたっけ。

勝川　55年ぐらいだったもんね。

平口　と、もう6年ぐらいかな。

勝川　けっこうあれが、ケンカ好きなんですよ。わりとした方ですね。

平口　親がハラハラしてんじゃない?

勝川　でも、子供出来たら変わるよ

(※註■勝川さんにはもうすぐ始めての子ができる)

平口　でも今日なんかさ、あの、お昼のワイドショーか何かあるでしょう、川崎さんが。

勝川　見てた。

平口　見てた?あんなの別かれた女じゃ無い。ってね。ハハハ。なんか嫌い合うと、も一ね。羞恥心が無いと言うか。

勝川　金出す気、無いんでしょうかね。

平口　無いんでしょう。でも男もすごいんだよね。

勝川　80万とか。月に稼いでるって。話は違うけど。

平口　あっ、そーなの?そいで全然はらわないワケ?いったい何やってる人?

平口　何か、セールスか何か。

勝川　キャバレー何とかって…

平口　ありゃ女でしょ。で、女が無断で辞めたんで、キャバレーの店主が怒って、残りの給料を半分しかくれなかったって言うことで、またモメて。ワケがワカラナイ。

克坊豆科学①

「こめかみマイク」こめかみに伝わった声の振動を電気に変えて遠くまで伝えるものです

▶椿小町危機一髪

勝川さんのまんがは、こーゆーおもちゃみたいな、不思議なからくり仕掛の世界

◀幽霊沼冒険記

克坊豆科学②

「お・88」ラナオ木の一番の葉に含まれる強力な吸音物質 音を吸い込んで分解する性質を持っている

■「椿ちゃんの漫画百面相」シリーズ 『マンガ少年』朝日ソノラマ

勝川 あっ、2回目なんですか？

平口 うん、先週もちょっと見たんだよね。

勝川 好きだねー。

平口 いや、だってお昼にホラ、12時半ぐらいでしょ。

勝川 「徹子の部屋」とか。

平口 あれ見て、「徹子の部屋」見て、仕事に入る。

――じゃ眠るのは比較的遅いでしょう。大体どの位ですか？

勝川 今、大体5時か6時ぐらい。だんだんズレてくんだよね。

平口 ズレると遅くなるの？

平口 うん、仕事は4時位に止めるんだけど、飲んで…ちょっとね。

勝川 まだ飲んでるの？

平口 うん、1時間位。今、なんか飲まないと寝れない…このあいだ飲まないで寝たら寝つけなくてね。何か習慣みたいになっちゃった。

（中略）

勝川 運動不足だから、最近ダメだな、体が

平口 うん、そうなんだよね。この前も屋根上がってヒシヒシと感じたよ、落ちるんじゃないかって思ったもんね。最初。

勝川 引っ越しの後ね、動かなくなってね、足が。階段上がれなくなった。

平口 あれはちょっとつらいね。3階に階段でってのは。

勝川 うちの犬も一匹老犬の方がかわいそうでね。もう歳とって。もう13、4歳だし――。

平口 犬ってのは15年ぐらい生きるでしょ。

勝川 育て方によって違うらしいよ。18年位生きるのもいるし、10年位で死んじゃうのもいたし――

平口 犬はあれ、目が悪くなるでしょ。

勝川 何か目薬さしてるって、

平口 人間の？

勝川 いや犬の……。犬猫目薬って。犬も猫もいっしょらしいけど

（インタヴュー／平口広美）

絶対ボロもうけするどー

勝川さんのまんがの表紙のなまえの横にいつも"痛快漫画工房"とあの勝川さんの独特の描き文字でちょこんと載っている。工房だから勝川さん以外に誰がいるのかと長いことずっとそう思っていたらどうもいまのところ勝川さんひとりでYの工房をきりもりしてるらしい。

でも、では何故"痛快漫画工房"という名称なのか心秘かに疑問におもっていたが、その謎が解けた。つまり――"ぼくと同じ絵が描ける人が三人、マネージャーが一人で、そのメンバーの頭文字がT・O・K・A・Iとなり、新宿三丁目の事務所で、バリバリ仕事をこなし、ボロもうけをする……というのが我工房の将来の姿である。"（勝川克志著「克宇宙珍品館」たざわ書房刊）ということらしい。なるほど。

いつも勝川さんにあって、誰かに似てるなーとおもっていたのだが、そうだ、役者のリチャード・ドレファスに似ているんだ あの笑顔とそして知足（失礼）

その勝川さんが新宿三丁目の痛快漫画工房の事ム所でバリバリ仕事をしている。当然まんがを描くから夜遅くなる 窓から新宿の原色のネオン、酔客のドラ声の歌。ドアを開けて、階段を降りればすぐに酒場だ、その誘惑と戦いながら、時折実家に残してきた妻子のことなど思い出しながら机に向う工房主事我らが克ノチャン

うーん。

どう考えても、バリバリ仕事をする勝川さんは想像できても、"ボロもうけ"する勝川さんを連想するのは無理だな。

さて、ぼくの事務所は偶然にも新宿三丁目にある よし、今日も勝川さんを誘って、酒場の片隅でなんとか"ボロもうけ"する方法はないか話し合うことにしよう。

そして酔っぱらって大声で叫ぶ。

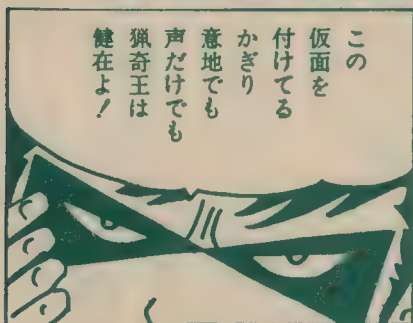
「よーし、明日こそは絶対にボロもうけするど――!!」

可部達郎（本誌編集）

INTERVIEW

川崎ゆきお

病気の小説と伝奇SFマンガに取り組んでいる

★猟奇、怪奇、伝奇、病気、悩天気、漫画の王道をゆく不世出の傑物、愈愈登場。

猟奇王／プレイガイドジャーナル社

昭和28年3月31日、兵庫県伊丹市生れ。昭和46年、『ガロ（10月号）』に「うらぶれ夜風」が入選、デビュー。

作品集としては、『猟奇王』『天地無用』（いずれもプレイガイドジャーナル社刊）の二冊を上梓。

観念の奴僕に居直り、標準的市井生活の影の部分を増殖させ、百鬼夜行を生み出す。おもしろおかしくても、しょせん一夜の夢、明日の朝にはうらがなしい。そんな風な作品が、人生の裏面に静かな熱狂を送り込んでいる。

秋に大阪のプレイガイドジャーナル社より、2冊目の単行本『天地無用』を出した川崎ゆきお氏に電話でインタビュー午後2時だ。

はい　川崎ですゥ。あ、今、起きたところです。夜の6時半か、朝の3時4時くらいまでマンガ描いてるもんで。

――今、連載は？

『BODY』（アリス出版）の少女探偵物が月刊です。あとは『マンガ奇想天外』に時々描いてますゥ。今度は路地の話をじっくりとかいてるんです。

――失礼ですが、月収は？

まあ、4・5万ちゅうとこですね。

――えっ!!あ、あのう、いつもどういう風に一日を過ごしてるんですか？

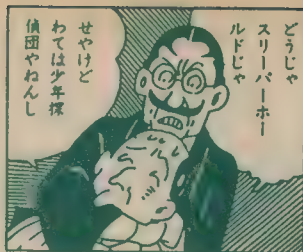
だいたい、4時から5時まで、自転車で散歩するか、近所の喫茶店「沙羅の木」でコーヒーを飲みながら、次の作品の構想を考えてます。

――『漫金超』に小説を書かれたとか。

はい。病気の小説です。畜膿小説といいますか。

――小説家では誰が好きなんですか。

司馬遼太郎と松本清張ですねん。だいたい全部読んでます。異色小説なんてのは、あきてしまいます。次にどうなるかなァ思って読めるのがおもしろいです。半村良の伝奇SFなんかも好きです。

――単行本の次の予定は？

▶
猟奇のパラドックス／漫金超
チャンネル0

▼ 黄金城／プレイガイドジャーナル社刊

青林堂から、『ガロ』に発表した初期のやつをまとめるゆう話もあるんですけど、どうやろなァ。今、『漫金超』に、書き下ろしの構想を練ってるんです。

──それはどんな内容ですか？

神戸の町で「居留地」というところがあんです。明治時代の洋館がずらっとあって、時々写真を撮りにいくんです。そこを舞台に、伝奇SFをかくつもりです。いちおう、明治時代が舞台なんやけど、織田信長が滅ぼそうとした神の国があったという設定なんです。彼は、その国を滅ぼそうとして、本能寺で死ぬんてす。森蘭丸探偵てゆうのが出てきて、神の国の秘密をあばくために、走るんです。いつものパターンやけどな。

川崎ゆきおは、4年ほど前は、梅田の「オメガ」という喫茶店によく行っていた。そこでは、童話を書く人たちの会などがあり、あの淀川さんぽも顔を出していた。ガリ刷の同人誌「もののけ」を発行していた頃でもある。『ガロ』以外に『エロジェニカ』『官能劇画』に連載を始め、突如色気のないベッドシーンをかいてファンをびっくりさせたのもその頃である。やがて、単行本『猟奇生』が出版された。しかし、『もののけ』は疾刊となり、「オメガ」もつぶれてしまった。

現在は、連載もひかえて、大長編の構想と小説にとりくむなど、転換期にあるといってよいだろう。

──映画「ガキ帝国」（井筒康隆監督）のポスターを描いてますね？

あ、あれですか。もうポスターは2度とやりたないと思ってます。プロデューサーとデザイナーが両方で意見をゆうんですが、絵かきを殺すようなんがしましただんだんおもしろのうなってきて、自分を出さんようになりましたな、

映画は必見の名作だったが、ポスターの方はなんかあったのかな。

高取英（詩人）

怪人伝説「─猟奇王の仮面の下─」

私の友だちに宇宙人に出会ったという人がいる。世の中にはヘンな人も結構いるもので、こーゆー人たちは超能力者とかいって、私みたいなふつーの人と区別するのです。

ところで・川崎ゆきおの場合はどうなんだろうか？　彼には、ふつーでない人（この場合は、社会人では決してない人という意味）を呼びよせる目に見えない不思議な力がある。しかし、この力を超能力と呼ぶには、すこしブサイクな気がする。まあ、超能力者ではないにしても、どこか彼はふつーでない。第一に容貌かふつーでない。第二に描くまんががふつーでない。

本人は、典型的社会人風趣味である写真に凝ってみたり、チェリーを吸ってみたり、社会人に見せかけようとしているみたいだが、その細工のしかたがいかにも彼らしくブサイクで、そのブサイクさが彼がふつーでないことを証明しているのである。社会人を装っているつもりの彼の後側にあるふつーでない何かを、たいがいの人が感づいているのを、彼は知らない。ましてや同族であるふつーでない人たちが、その匂いを嗅ぎつけないわけはないのである。それは例えば、彼の万年筆（ボールペンにも使える）を持ちまった老年のさぎ師であったり、公演の稼ぎが悪く、その日の食いぶちにも困っていたインド大魔術団のインド人だったりする。

しかし、ここで全く逆の考え方も成りたつ。それは、彼が、社会人のふりをしようとしているふつーでない人間を更に装っているのではないかということである。彼の社会人のふりはあまりにもブサイクすぎるからだ。では二重の仮面の下に隠された彼の本当の姿とは何なのか？一つは彼が宇宙人と何らかの関係を持っていて、それを悟られまいとしているのではないか。それでなくて誰があんなブサイクな円盤を描くだろうか？　あれは円盤など見たことがないと思わせるためなのだ。となれば、彼は超能力者というよりも猟奇人である。そしてもう一つ考えられる恐ろしいことは、彼こそ真の社会人であるかもしれないということ。もしそうであれば、これは猟奇人であるより恐い。パニックが起こる。

猟奇人か、社会人か。二つに一つである。

山口由美子（プレイガイドジャーナル）

INTERVIEW

向後つぐお
惚れたヒトに読んでもらう為に

★今、いい喫茶店をかく人はいても、いい呑み屋をかける人は多くない。そんな店に似合う女ならなおさらだ。だから向後つぐおにこだわりたい。向後つぐおなら浅草がいい。

中学生の頃出合った「漫画家残酷物語」が、漫画家となる切掛になり作者の永島慎二氏に師事。17才の冬のことで、当時「挨」を『COM』に掲載。二年の修業の後、独立。

村岡英一がホームラン文庫で出版した同人誌の『アイ』に「道化師」を発表の後、ガロの長井さんにひろわれ、いい勉強をさせていただき、現在『漫画ゴラク』に「真知子」に続き、『ラジコンブルース』を連載中。

本名、向後次男、24年11月19日、東京は亀戸の生れ。

――浅草へはよく行かれるのですか。

最近はそれほどでもないけれど、なじみの呑み屋がいくつかあるし、でも、呑み屋の仲間にしても金曜、土曜に店の娘を目あてにのみにくる連中で情けないと思うよりもオロかしい

ただ、取材で行ってみても面白くない。

――作品に描かれるのはいい呑み屋ですねえ。

「真知子」の「ふくふく」は所沢（現在のお住まい）にモデルがありました。のむのではなく、あびる方です。

――ところで、昨年はいかがでしたか。

特に、去年がどうということもないな。流されているだけ、流れのままにね

実は今『隅田川』という隅田川をきれいにしようというミニコミ、下町の専門誌なんですけれど、これに6ページ位かいています。秩父の山奥から東京の下町まで、隅田川沿いの民話なんです。

漫画を考えるのはどうにもわずらわしいので、まあ落書きみたいなものですけれども、絵を描いているんですよ。できれば絵本をつくりたいと思いましてね。以前、永島（慎二）先生にみせていただいた「ふきまんぶく」という田島征三さ

ラジコン・ブルース／日本文芸社

んの絵本があって、あんな風なのをつくってみたい。趣味的なやつをね。

――いわゆる「COMの時代」から、かいておられますが。

10年間、漫画をかいてきてちゃんと覚えたのは半分です。それに、漫画が今だにわからないし、あまり考えません。色んな漫画家が色んなことを言っていましたけれど、私は何も考えません。どちらかといえばあまり裏を考えないストレートな人間だし、流れに身をまかせていればいつかわかるのではないかと思っています。これは願望なのですけれど。

あらゆる漫画家を尊敬していますよ。漫画を仕上げると言う事はとても大変だと思うから。若い人と話をしていると、色々と漫画の批判をしたりしますけれど、第一、批評は両刃の刀だし、どんな漫画家にしろ机に向えばほんとうに必死ですよ。徹夜なんかしてけなげなものだと思いますよ。それをおもえばどんな漫画もひどいとは思いません。許します。落ちる時は落ちるのだし、生き残ってゆくことは大変なことなんです。流れにさからう生き方は正しくない。

私は素直ではないのですよ。ウソツキですね。江戸っ子といっても、自分の生れ育ってきた場所と地域的に違う人と話してみても、ちょっとした言葉のあやが通じなかったりします。漫画をかくには説得力が必要なのでしょうけれども、実生活ではどうでもいいようなところがあります。机を一度はなれるともうウソツキですよ。

――影響を受けられたような本や映画などは。

影響と言うよりも数えきれない程オイシイ作品を呑ませてもらった。どの本を読んでも、どの映画を観ても、私の為につくってくれたのだと思う事にしております。私にとって芸術は酒のいい肴のようなものです　山本周五郎の小説を読んでいると「肴」という字が出てきただけでお酒が欲しくなるというような、そんなふうなオイシサですね。

御趣味などは。

しばらく前まで座禅を組んでいました。ほんとうはどこでも組めるものなのだそうだけど、あれはやっぱりお寺へ行かないとだめですね。線香のかおりというような、環境に左右される部分がかなりありまして。

いい人間になりたいと願ってはじめましたが、いい人間になるのをあきらめました。

今、プールへ通っています。泳いだ後のビールがまたよくて、うまいビールをのむために通っているのです。漫画もうまい酒をあびる為に描いているようなもの、惚れたヒトに読んでもらう為だけに描いているようなもの、たかが漫画だと、本気で思っている五月一日現在です

（編集・O）

もう一つの女へ

あいつのことで前から思っているのは、「現代娼婦考」を組んでやっていたときからしょっちゅういっていたことなんだけれども、女に色気がないということね。「ラジコンブルース」も娼婦のはなしだし、多少は女っぽい女か描けるようになってきているけれども、まだ少女的というのか青くさいのね。もう一度組んだらそういう三十位の女の話をかかせたいな。そういったものが出てくるだろうしね。そこのところでまだ遊びか足らないと思う。真面目な遊びが多い。そういうところを補なって、徐々に変えていってもらいたい。女の子をかいているわりには女かもう一つだと思う。

もともと下世話な人情ばなしが好きなのだし、本質的には人間模様をかきたいと思っているんだろうけれど、背景を現代にしようとした時、線がかたくなるのね。四畳半の方が、あの人の世界は描きやすい、それをホテルのロビーにしようとしたところに、なんかまだちょっと無理があるのね　大正時代を背負わないというのはあるけれど、もともと昭和初期指向があって、引きづられて中途半端になってしまう。山本周五郎的な女像はかけても、女が本当に緻密な計算の上に動くというのは難かしくなりすぎちゃうのね。そういう現代の女の色気がでない。

貧困の中に美しさを見出すのはたやすいと思うわけ、現代というのはリッチのなかのプアさ、寂しさを描かなきゃならないの。ホテルのロビーの貧しさを描いた時に本当に現代なの　そこのところかまた暗中模索だと思う

もっと人と組んで吸収してほしい。そこでブチ当たることがあっても、次に人でかいたとき一歩進むのだから。わからないといって一つの形式にこだわって固まってほしくない。才能のない人じゃないんだし、若いし、まだまだですよ。律義なとこは好きだけど、もっと遊ばないと。遊ばなきゃわからない世界だってあるじゃない。むしろ流されてほしい。（談）

荒木一郎（音楽プロデューサー）

INTERVIEW

ひとを笑わせたり、泣かせたりするのが好きなんです

★「がんばれ元気」は、本当に久々に興奮できる少年まんがだった。登場人物一人一人の、特にラスト近くの元気の眼が忘れられない。小山さん、お疲れさま。ゆっくり休養して…早く次回作に会わせて下さい！

がんばれ元気／『少年サンデー』小学館
元気のなかには、心やさしき少年と闘争本能に満ちたボクサーとが同居している…

'48年、静岡に生まれる。本名大竹由次。20歳ではいったさいとうプロでの3年間にまんが家になる決心をする。'73年「おれは直角」でデビュー。さいとうプロ時代に結婚、一男一女あり。

——まず「がんばれ元気」のことからお聞きしたいんですが、ラストはやはり最初から考えてたんですか？

そうですね、かなり最初の頃から決まってました。要するに、じいちゃんばあちゃんにひきとられるあたりから、もう当然帰ってくることは決まってましたね。

皆でいろいろ予想し合ったんですよね。あの終わり方はやはり、作者のなかでは必然的だったんでしょうか。

結局、チャンピオンになることは元気自身の夢でもあるけれど、どこか自分の生き方ではないというか…。親父のやり残したことを代わりにやろうとか、三島やあるいは自分が倒した皆の夢をかぶるとか、ちょっと自分を殺して無理して生きたところがあると思うんですよ。ボクサー・タイプの男ではないんだよね、ハングリーでもないし。とにかく5才で決めたことを突っ走ってしまって、それを果たしてから彼自身の人生を送るという、そういう主人公として描いたんで、もう田沼元気に戻るということは決まってたんですね。

それともうひとつは、今まであった梶原一騎さんの描いたヒーローというのは、破滅に向かっていく美しさなんですよ。それはそれでいいんだけれど、僕もやってしまってはダメなんで今度は上りつめていく男を描こうと思ったんですよ。だから連戦連勝、全部K・Oで絶対に負けない、ということは初めから決めてたんですよ。で、上りつめたところで帰っていくと。

——小山さん自身は「あしたのジョー」に対する意識はどうだったんですか？

「ジョー」は僕は大ファンですよ。「ジョー」からまんがを読み始めたというか。すっと小さい、小学生の頃は、「鉄腕アトム」とか「鉄人28号」とか読んでて、それから「あしたのジョー」まで僕は全然まんが読んでないんですよ。

◀風の三郎　〝少年ビッグコミック〟小学館

——元気というのは、少年まんがが久々のヒーローではないかと思うんですが…。

うーん、僕が本当につくりたいヒーローというのはもっと別でね、もう本当のヒーローっていうのがあるんですよ。たとえば真空斬りの赤胴鈴之介とか、大リーグボールの星飛雄馬とか、クロスカウンターの矢吹丈とか、もう画を見せれば、ああ、という理屈抜きのヒーローね。元気はそうではないと思うんですよ、ちょっと弱いですね。

人間群像を描いたんですよ、元気一人じゃなくてね。そういう意味ではどこかで「ジョー」を越えたかもしれないけど、主人公の強烈さ、魅力という面では丈にはかなわなかったと思いますね。

——本当に、キャラクター一人ずつに生活があり、人生があるように感じましたね。

うーん、やっぱりまず生活基盤を考えてから出したからね。実際に画面には出さなくても、決めてないと困っちゃう。出す出さないに関わらず一応全て決めてしまうから、リアルさがでるんでしょうね。

さいとうプロ時代にまんが家になる決心をされたそうですが、その最大の動機って何なんでしょう?

まんががどうこうというより、ドラマが好きになったんですよ。だから仕事する時もネームに一番時間かけて、ネームが終わると終わったような気になってね、あとは画描くのが苦痛というか…。(笑)僕は演出家タイプというか、もう一コマごとの構成に凝るんですよ。全部意味があり、緻密な計算に基いていて、説明しろって言われたら一コマ一コマ全て説明できるし。

——小山さんの、そういうまんがを描くエネルギーって、どこからくるんでしょうか?

やっぱり、まず受けたい。(笑)だから、昔僕自身が「ジョー」なんか読んで受けた感動を読者に味わせたいですね。要するに、ドラマをつくってひとを笑わす、泣かす、という仕事をやっていきたい。頭のなかで色々とドラマを考えることが、本当に好きみたいですね。

——最後に次回作について。

元気とは又違うキャラクターを考えてますけど……まだ秘密です。当分は休養したいですね、かっこよくいっちゃうと。

(編集部)

小山ゆう先生のこと

小山ゆう、本名を大竹由次という。大竹由次である彼は異才、天才の類の賛嗣を好まない。自ら平凡な人間としてふるまおうとする。手のかからぬ夫であり、優しい父である。友である彼は陽気で気のやさしい純情な少年だ。

小山氏の才能の秘密を、この大竹由次の中にさぐろうとしても、彼は他人と同じ平凡な青春時代をもって語るにすぎない。そして、我々は、貪欲なまでに人生を楽しもうとする楽天家を発見するだけだ。

だが、小山ゆうである彼は、きわめてすぐれた〝人生の観察者〟に変身する。

我々は、強烈な彼の才能にうろたえることになる。小山ゆうによって、大竹由次の体験がみごとに昇華され、分析され、再構成されてゆく。

TVの前でミーハー的な興味をいかんなく発揮する彼と「わー、千代の富士が勝った」などとやっていると、作家小山ゆうに変身した彼から手痛いシッペ返しを食うことになる。〝なぜ千代の富士がうけるのか〟から始まって〝ヒーローとは何か〟という遠大なテーマへと発展してゆくのだ。ご多分にもれず、若い女性のことなどニヤニヤ談じていて、それはそれ…などと思っていると、彼は違う。「女性をきれいに描くにはどうすればいいか」なんて質問に、ずばり「渇望していることと」「スイカだって食いたいと思って描くことだ」などと明解であったりする。

みるべきところをしっかりとみる。感じるところを忘れない。作家小山ゆう氏はそんな人である。だから、彼の作品の登場人物は、端役の一人〳〵にまで人生があったりする。その深さに驚かされる。そして誰よりも彼はすぐれた演出家である。〝何を描くか〟に彼は満足しない。それを〝いかに描くか〟ということに心血をそそいでいる。

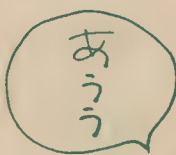
小山ゆう氏は自閉症的に描きたいことを描くという私小説風な作家ではない。それでいて、読者におもねて喜々とする通俗作家でもない。〝ドラマとは何か〟〝ヒーローとは何か〟に作家小山ゆうをかけている。彼は読者を読みきった知的なエンターティナーなのだ。平凡であろうとする自分と、卓越した観察力と演出力を持つ作家とのみごとな融合がそこにはある。

若い女性を相手にさわいでいた時のことだ。大竹由次でモテずに悪戦苦闘していた彼の、ペンネームがバレたことがある。すると嘘のようにモテたという。彼が自嘲気味に語るエピソードなのだが、昨今は大竹由次のままで大いにモテている。人間的な魅力もふんぷんとする彼をみていると、さもありなん…という感じである。

(少年サンデー編集部) 三宅克

近藤ようこ

同性の読者がふえるというのは少しこわい

★去年は『劇画アリス』等の三流劇画誌から『マンガ奇想天外』へと、「少し広いところへ出た感じ」と言う近藤さん。本人は否定するけれど、やはり深く鮮烈な女の感性をその作品に感じるのです。

梓弓／『マンガ奇想天外』
奇想天外社

現在、とある有名大書店にお勤めの一方で、まんがをかき続けておられる。

大学在学中、『ガロ』（79年5月号）に投稿作品「ものろおぐ」でデビュー。その後、『劇画アリス』、『漫画ダイナミックス』に作品を発表。昨年より『マンガ奇想天外』にも登場し、広く世人の注目を集める。近々ブロンズ社から作品集を出される予定。

高橋留美子とは同じ高校出身であり、髙野文子など同世代の才能ある新潟県出身者と共に、いわゆる「裏日本花之新潟組」の一端を担う。

――本屋さんにお勤めですが、本がお好きなのでしょうね。

本の中をなんとなく歩きまわるのが好きなのです。このところ読んでいないのですけど、最近面白かったのは「野性チンパンジーの社会」という本です。

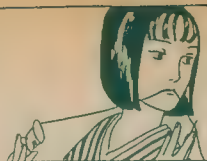
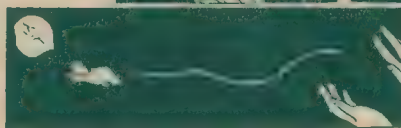
――……昨年はいかがでしたか。

そうですねえ、少し広いところへ出たような感じです。

――いわゆる三流劇画誌の他に『マンガ奇想天外』にも作品を発表されましたが。

三流劇画誌では制約なくかかせていただいて感謝してます。『劇画アリス』に持ち込みしたのも、自由な感じがしたからです。『マンガ奇想天外』にのって読者層が広がったのはうれしいのですが、一方で同性の読者がふえるというのは少しこわいです。それからこれまでとは違って非日常的なものをストレートな表現でかけるのでその意味では楽なのです。

――「サホヒコ　サホヒメ」で一つの星をお腹の中に育くむというのには、驚ろきましたし、全ての作品に「女の感性」というものを感じるのですが。

特に女の感性とか、女にしかわからないものをとは思っていません。性別より

傀儡女／『マンガ奇想天外』
奇想天外社
こんなカットにドキリと（或いはゾクッと）する。やはり女性ならでは…と思うのだが。

も好き嫌いや個人的な感覚の違いがあると思います。それほどむずかしいテーマも持っていない人です。(笑)

それに、「サホヒコ、サホヒメ」は太陽を男にたとえると、月は女を象徴するというのがあるでしょう。それをふくらませたものなのです。

――「梓弓」などよみますと古典にも通じていらっしゃるようですが。

いえ、あれは民俗学のほうからもってきたものなのです。学校では折口民俗学をやりましたので。特に女巫などと宗教に関することには興味がありますね。

――ところで、まんがとのお付き合いはいかがですか。

'60年代後半から'70年代前半の少年まんがを読んでいました。ちょうど真崎守さんが連載を持たれていたあたりですね。少女まんがでは「ポーの一族」がよかったですし、それから『ガロ』の安部慎一さんなんか。

――なにかおいしいところばかり食べておいでですね。(笑) 最近はいかがですか。

最近はあまり読んでいないのですが、このまえ、山岸涼子さんの「日出処の天子」の（単行本の）第一巻を読んだのですけど、実はまだ二巻目には手をつけていないのです。こわくて……。(笑)

山岸さんの作品では「スピンクス」などほんとうにすばらしいですね。私もあいうのがかけたらと思うのですが。

――ご自身でまんがをかかれるようになったのは。

中学の頃からかきだしたのですけど、お話を終わらせることができなくて一つも完成した作品はないのです。あの頃、やまだ紫さんの「質問があります」を読みまして非常な衝撃を受けたのです。それで私もおとなになったこういうものをかいてみたいと思いました。

やまださんとは、先日あるパーティーで知り合いになりまして、作品のお手伝いもしました。ほんの少しですけど。

――そうですか、よく出歩かれるほうなのでしょうか。

いえ、あまり出歩いたりしません。暇なときは、部屋にいて寝ています。私はねむりが浅いたちで、そのぶん長くねていないとだめなのです。1日12時間くらい。からだがもたないので、最近は徹夜で原稿をかくというようなこともありません。

――次の作品はどうなるのでしょう。

『漫金超』に入ります。これは、『マンガ奇想天外』からの揺れ戻しで、もとのようなかきかたをしました。

――そうですか『漫金超』ですか。

『漫金超』です。

（編集部）

ようこさんの恐いネーム

ようこさんが私宅へ泊まった日、朝の4時頃までごちゃごちゃとやっていて、さて眠りましょうというのでベランダの鍵をかけました。いつもはかけません。猫が自分で戸を開けてトイレに行くからです。が、かの猫は戸を閉めるところまでしませんから、朝めざめると部屋はいつもひょうひょうと冬の寒風が吹きすさんでいるという具合です。かの猫は早朝はトイレに立たない習慣でしたから安心して鍵をしたのでしたが、この日に限り例外であったようです。目覚めて洗顔に立とうと、タオルと歯ブラシを持参のバッグに手を伸ばすと、ようこさんは「あっ…こ、これは…!」と言ったきりどうしたわけか猫のうんとしーのどっかり乗ったビニール袋をささげもっているのでした。

私はすみっこにかくれている猫をひきずり出し、そのオブツに彼の鼻をあてがってておしおき。よう子さんはパジャマのスソをにぎって「わ…かわいそ…」なんかって言ってました。そのやさしげな様子は、近藤ようこのまんがから出てくる、例えば（わたしが　おまえを　おとこにしてあげる）というようなおそろしい度胸のありようはどこにもありませんでした。そうしてようこさんは、私が新しいタオルを貸すと言うのも押して、白い指でポタポタと黄色い雫のしたたるビニール袋をつまみあげ、静やかにタオルと歯ブランを取り出し風呂場へ洗顔に向われたのでした。

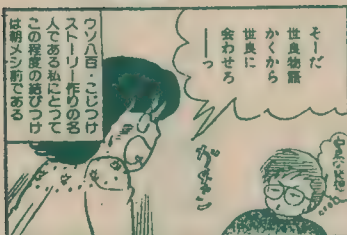
（まんが家）**やまだ紫**

柴門ふみ

登場人物が話す速度と同時進行で

★昨年は、結婚、『ヤング・マガジン』連載…と様々な出来事があった。しかし本人は相変わらずのマイペースで、フフフと煙をくゆらせて見せたりするのです。俊平はこの先、どうなるんですか？

▲みんなでデイト／『ギャルズコミックＤＸ』主婦の友社

▼世良クンに会ったのよ!!
『ギャルズコミックＤＸ』
主婦の友社
上がインタビュー前、
下はインタビュー中

'57年徳島県生まれ。少年誌、少女誌、青年誌を問わず作品を発表（『ぱふ』にも'79 5月号に描く）、'79年少年マガジンスペシャル第一回新人王に選ばれ注目を集め、今や押しも押されぬメジャー作家。著者は「ライミン・フーミン」。一年前まんが家の弘兼憲史さんと結婚。

3月4日、（つまり、小学館漫画賞パーティの翌日）柴門さんを訪ねた。成増の駅で明治のカステリーム（アイスクリームのはいったカステラロール）を私は見け、上智大生の編集者に頼んで持っていくことにした。私が食べたかったからで、ほんとはひと切れだけではなく、もっと食べたかった。その後、探しているが、私の都内の行動範囲にはカステリームを売っているのを見たことがなく、いまだに思い出して、柴門さんが冷蔵庫にしまった残りをどうしたのかこころのこりでならない（もちろん食べてしまったろうけど）。
ＫＯＳＥＩ

——今、月に何枚ぐらい描いてますか？
70枚ぐらいですね。大体、1本2日であげちゃうんで…。
——ええっ!?本当ですか？
ネームは別です、もちろん。画は2日です。まあ、背景ない画だから。（笑）
——『ギャルズコミックＤＸ』で、歌手に会ってそのレポートをまんがにする、という連載がありましたよね。おもしろい企画だったけどすぐ終わっちゃって…。
結局2回ですね、世良さん（ツイスト）と桑田さん（サザンオールスターズ）と。もう会いたいひとがいなくなっちゃって。でもわたしミーハーなんですよ。タノキンとかも会いたいですけどね。芸能週刊誌なんか好きなの、一所懸命読む。
——柴門なんていい名前ですね、感じが。初めは何て読むのかと思ったけど。
あれは漢文からとった読み方だから、日本人はああいう読み方しないんで、つけてないと思いますよ。東京都の電話帳見たら一人もいなかったし、日本中でもいないんじゃないですか。サイモンとガーファンクルが好きだっただけです。中学の時からもう熱狂的なファンで、大きくなったら絶対ポール・サイモンと結婚しようと思ってたわけ。て皆に「私のことサイモンさんて呼んでくれる？」って言ってて…。（笑）今は見事に夢がかないました。
——「P・S元気です俊平」はいつまで続くんですか？
予定としては決まってないみたいですね。

▼憧れの小夜子さん。せっかく会えたというのに…

▶隣に住むヒモ氏

コップが割れたのは
霊の力か 偶然なのか
そんなことは わからない
ともかくも 女どもは理屈をつけて
自分がいちばん思われていると
思い込みたいらしい
けなげというか……
おそろしいというか……

P.S. 春 爛漫

PS元気です、俊平
／『ヤング・マガジン』講談社

俊平

じゃあ、まだずっと続くの?よかった。

なかなか終わらせてくれないんですよ。俊平が大学はいったところで終わらせようとしたんだけど。少なくとも〝第一部終わり〟とかしたらね、長篇ものみたいでかっこいいのに。今、柳沢きみおのと小野新二のと、『ヤング・マガジン』の三本柱なんですって。

――「俊平」のファンは何歳ぐらいですか?

高いですね。20歳以上だと大体トップみたい。

――いつも俊平と一緒の男の子がいるでしょ、あのひとおもしろいね。ちょっと離れたりちょっと寄ってきて皮肉言ったりね。傍観者タイプで。

下川ですか?あれ、モデルがいるんですよ。私の友人で、女の子だけど。

――昨日いしかわじゅんさんと初めて会ったんだけど、瞬間「俊平」のなかのヒモ氏みたいなイメージがしてね。(笑)

いしかわさん自身も一度、スナックのマスターの役で顔出したんですよね。

あ、そうそう、スナックのマスターだ。それで、どこかで見たと思ったんだ。

ヒモ氏にもモデルがいるんですよ、夫婦で。

――桃子さんなんかもモデルいるのかな、ああいう女子大生、いそうじゃない。

そうですね、彼女は普通じゃない、はみでた部分があるでしょ、そういうとこ、わたしと重なる部分あるでしょうね。まあ、「俊平」なんかやっぱり自分の学生時代が基になってるから。

それにしても、1本2日というのは早いですね。ペンは何使ってるんですか?

Gペンです。早いんですよね、太く勢いつけてやった方が。(笑)人物だけだと一晩で18頁あがりますね。そのっちほとんどがネーム書き写す時間だから、画描くのは本当早いですね。ペン入れだと1頁10分ぐらい。

しゃべってる速度と同じ時間で描きたいのね。登場人物が生きてる時間と同時進行させたいというところがあって、そうすると自分も、物語のなかと同じ時間を生きられる、という気がするんですね。

――SFなんか、描かないんですか?

SFねー、SFだとドラマというか設定の方に重点がいっちゃって、人間が弱くなるでしょ。やっぱりわたしは人間が一番おもしろいですね、人間を描いていきたい。描いていくと欲かでてきますから、描きたいものいろいろあるけれど。ギャグとシリアス、いりまじってね。

インタビュアー 小野耕世(評論家)

「結婚? 漫画家はイヤです」

柴門ふみと僕が初めて会ったのは四年前の五月だった。目の前で彼女が持参のセブンスターをまたたく間に空にすると、僕があけたラークを嬉しそうに抱えて帰って行った。梅雨の近い雨気の強い日で、彼女はスーパーマンのTシャツを着ていた。胸がでかい娘だった。学生である彼女が夏休みで四国へ帰郷する数カ月間、僕の仕事場で彼女はアシスタントとしてベタを塗り、トーンを貼り、歪んだ民家の屋根を描いた。どちらかというと無口な方でいつも怒ったような顔をしていた。どういう人間と結婚したいのかと問うと、「学者がいいです」と答える。漫画家はイヤかと聞いたらイヤですと言った。

当時彼女は彼女自身学者になりたかったらしく、徹夜でどんちゃん騒いでも翌朝はそそくさと学校へ出かけていた。秋口からは双方の友人知人を一同に集めては、しょっ中夜っぴて騒いでいたのだ。アシスタントとしてではなく、単に遊びにだけ来る方が多くなっていた。それに従い表情も柔らぎ、学校もサボり始めた学者は諦めたらしい。

翌年、彼女は大学四年になり、僕は連載を幾つか抱え多忙となり、会う機会も少なくなっていた。秋だったか電話口で彼女の声が急に鼻声になり、そしてヒステリーを起こし、わめいた。そんな彼女は初めてだった。それまでは内心動揺しながらも努めて平静を装い、ごまかし、黙否の殻に逃げていたのだ。辛い数分で機嫌は直り、マンガ家をやると言った。

正直言って柴門ふみの漫画は面白い。予想もつかぬエキセントリックな結末をいつも用意しているからだ。しかしそれは意図的ではなくて、偶然性に依るものということが最近わかった。描いている途中でどうなるかは本人もわからぬと言う。なるほど僕のように、結末から話をこね上げていく作意的な漫画とは違う。横でみているとハラハラする。こりゃ勝てないなとも思う。しかし、かなりいい加減ではあるなという気もする。

いい加減な気持ちでかどうかはわからないが、とにかく彼女は僕と結婚して、現在は成増の喫茶店の日溜りで煙草を吸っています

弘兼憲史(漫画家)

酒井美羽

どんな話も主人公はみんな私です

★中学生の女の子のさりげない日常を描かせたら、酒井美羽が一番ではなかろうか。亜紀子も都も皆作者、そして同時に作品を読んでるあなた自身でもあるのです。

今さらはずせないよね

…だって私の顔ってこう…凹凸が少なくてつまり…メガネをしてた方がひきしまって見える顔なんだよね

でも でも世の中メガネをはずさなくちゃいけない場面はいくらでもあるし

通り過ぎた季節／「花とゆめ」白泉社
大人でもなく子供でもない、一瞬に駆けぬける季節の中で揺れ動く少女たち——

'56年2月23日、熊本県生まれ。本名酒井美和子。東京デザイナー学院卒業後、山田ミネコらのアシスタントを経て、'78年『花とゆめ増刊』より「ロリオン」でデビュー。現在『花とゆめ』に「セーラーブルーの青春」を連載中。「トラブル・メーカー」同人。代表作は「通り過ぎた季節」「あの娘におせっかい」など。

——昨年を振り返って、いかがですか?

去年やったのは「通り過ぎた季節」の尻尾の方と「マンハッタン・サンセット」と「セーラーブルーの青春」ですね。

大体「マンハッタン」で、完全に肉体的にも疲れちゃったから、体力回復する暇なくて「セーラーブルー」に入ったので、しんどかった。ああいうことはもうやりたくない(笑)。今度から、次のものに移行する時は、最低正味一ヶ月、つまり読者からは三ヶ月くらい姿を消すようなしくみにしたいと(笑)。

——「セーラーブルー」はいつまで?

秋です。最初の予定では12回連載で去年の秋までのつもりが、ストーリーが入んなくなって、その後もどんどん拡散してしまったの。結局は、あと6回分足すから、6月に終わる筈が10月でおしまい。でも、話が10月でもストーリーの中は4月のままなんですよ。

——水泳のクラブの経験はあるんですか。

中一の頃、ちょっとだけ。でも印象が強烈だったから、描こうって気になったんだろうけど。

ファンレターの中にね、都のタイムが速すぎるっていうのが結構きてるのね。かといって、かつてのスポ根ものみたいに全ての人から注目されるタイムとしては低いのよね。ただ水泳始めて一年という設定だから、それにしては速すぎると。今、女子のクロールじゃ中一か小六くらいが日本の上でしょ。だから、それほど速いわけじゃないのね。

——「通り過ぎた季節」の亜紀子さんが自分とすると、都ちゃんは?

やっぱり私が入ってるでしょうね。「通りすぎた…」シリーズで、主人公の中に自分を入れるという癖がついちゃったから、どんな話を描いても、自分がもしこの主人公だったらどう反応するだろうかっていう思考パターンから抜けられない

セーラーブルーの青春／「花とゆめ」白泉社
中学にはいって水泳を始めたミャーコはめきめきと実力を発揮。でも、前途はまだまだ多難のよう……。

（笑）。今後、私が描くものはみんな私ですよ、主人公は。アメリカだろうが中近東だろうが（笑）。

――「マンハッタン」は？

イメージとしては、アメリカの刑事ものというと「ダーティハリー」がパーッと頭にくるのね。そういう感じで。

洋もの描くのは「ロリオン」以来だったから、感情移入に抵抗があって。日本なら、私がもしこうだったらって、日本の気候風土を想像すれば何とかなったのが、いきなりニューヨークでしょ、私は金髪じゃないし、目も青くないし。必死になって金髪で目が青い自画像を描いて、こうなるんだこうなるんだ、とか言って（笑）。で、ニューヨークの写真見て、山下達郎の「サーカスタウン」とかビリー・ジョエルなんか聴いて。

でも、いくら外国ものだっていって、あんまり外国人になりきって描いちゃうとまた、読者の方が今度は感情移入しにくいから、そのへんが和風ニューヨークという（笑） そういう兼ね合いがね。

――資料はかなり集めました？

ええ、ちょうど山田ミネコさんが「スプーン一杯の愛で」でニューヨークやって、その資料があったんて、それをまるごと借りてきて。あと本を買ってきて、急にやろうとして、捜すと案外ないのね（笑）。一番いいのは、本当にニューヨーク行くことなんだけど。

――これから描きたいものは？

単行本用の描き下しもしなくちゃいけないし、たぶん四年後くらいなるだろうけど、もしやるとすれば、中学生が主人公のメロドラマとかね（笑）。オカルトラブロマンス、題して「おまえは悪魔の子じゃ！」とかいう（笑）。まだ全然イメージの段階たから。描きたいもののストックは沢山あるけれど、いつ描けるか……。量産できないから、月産60枚がせいいっぱいです。

――小説なんか、参考にならない？

物語から物語をとる、てのはあまり好きじゃないから。想像力を働かすきっかけにしてるって感じね。でもねえ、たぶん似たようなのをつくってるんだわ（笑）、そういう意味で、小説にないような、世の中に生まれてる物語にないような話を描きたいってのか「通り過ぎた季節」を描いた動機だったりして。これはちょっとその辺にはないだろうなと

インタビュアー・鈴木重明（酒井美羽ファンクラブ）

二十才くらいに見える女の子

「ねえ、中肉中背で髪の毛長くてメガネかけた、目の細い二十才ぐらいにみえる女の子こなかった？」

これはいつだったか、何かの時に酒井先生を探していた時に尋ねた言葉です。

そうなのです 酒井美羽先生は中肉中背で、髪の毛か長いのです。長い髪の毛を三ツ編みカールにしたり、丸め上げたりするのです。そんでもってメガネをかけたりするのです。それからナンと言っても目が細いんですよ。これがもう絶品本人は、自分の自画像をカブラペンで描いとるが、本来なら目だけは丸ペン使った方がよりリアル。目の形からなのか、いつもニコニコ笑顔を絶やさん人です。二十才くらいに見えるというのは、何か知らんが、初対面の人が酒井先生を見ると、二十才に見えるそーなのです（80年1月頃の話）

マア、外観は目が細いだけで、普通の人類と変わらん。目だってよくみるとちゃんと二つあるし、鼻も口もある。ただ指は五本しかなかったなあ（片手に）。

こないだ魔夜峰央の生物（ナマモノ）を目の前で目撃したが、この人の場合ホントに「フム！魔夜峰央」とゆーくらい魔夜峰央的、そこいくと我が、酒井先生はせいぜい亜紀子サンを一歩俗化したくらいで、おもしろくもなんともない。もっとも顔だけはいくらみてもタイクツせん造作やが、

しかしこの一見平凡で小柄な身体の中につまっている漫画に対する情熱、愛情には時として恐ろしいくらいのものを感じる。こんなもんプロならあたり前か知れんが、例えば先生に会った次の日に花ゆめが発売されたりして、先生の作品を読み、作者と重ね合わせると、モーだめ。その鋭い観察眼にドキッとさせられ、巧みなストーリィ構成に舌をまき、クライマックスに至る頃には、もう作品全体から伝わる、彼女の、「二十才ぐらいに見える女の子」の漫画に対する深い執着心に圧倒されて、しまいにゃ自己嫌悪……

よくよく考えると、オ…恐しいお方や

鈴木重明
ミワプラネット

INTERVIEW

坂口尚

描き上げてサインをいれた瞬間、苦しみが喜びに変わる

★画を描くことへのこだわりが坂口尚の原点なのだろう。線が走る、走りすぎて困る、と本人は言う。最近作品数が多いけれど、一作ごとの思い入れは少しも変わらない。どうか、マイペースで描き続けてほしいものだ。

◀おるごおおる
『ぱふ』清彗社
はにかみやのヤッちゃんと、不思議なオルゴールのお話。

▶12色物語／『コミック・トム』潮出版

5月5日生まれ、おうし座。埼玉に生まれてすぐ東京に移る。'63年虫プロ入社、「アトム」「レオ」を手がける。退社後「COM」等にまんがを描き始める。著書に「魚の少年」「たつまきを売る老人」。

——去年から今年にかけて、随分お忙しそうですね。

そうですね、僕自身にとってはかなり忙しかったですね。忙しい状態っていうのはある部分ではいいんだけれど……追いこまれるとどうしても必死になるでしょ、必死になってプラスの部分とマイナスの部分があって。

——マイナスの部分というと、具体的にどんな…？

結局、アイデア練るのにギリギリ使っちゃうでしょ。描く部分ていうのは多少計算できてるんだけど、それでも時間がなくなっちゃってやり残したみたいな感じで提出してしまう、というのがありますね。

——これで充分、というところはやっぱりないんでしょうね。

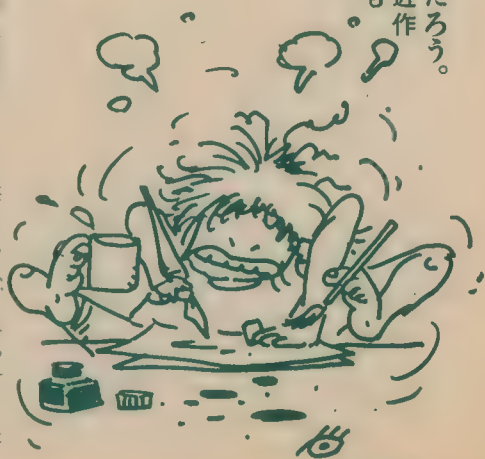
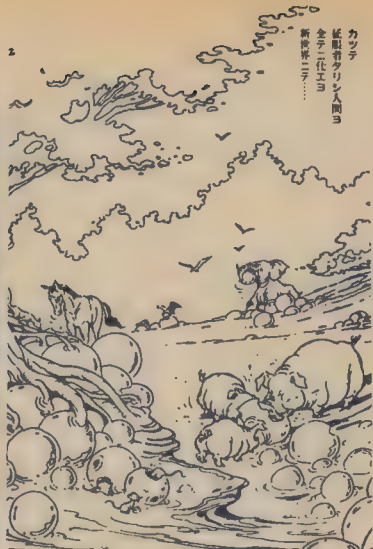
それがあるから、よく言われるように又描く気がおこってくるんでしょうね。

描いて渡してしばらくは、まあちょっとしたミスとか忘れものみたいなのがあるにせよ、大体渡した時点から一カ月くらいはなんとか感じよかったかな、と思いつつ過ぎてね。一カ月以上たってくると、段々気持ち悪くなってきて…。(笑)一カ月もたって本になると、多少離れて冷静に見れるでしょ、しまったぁ、とか(笑)。

——今、月に何頁くらいですか？

大体、基本的に30頁くらいというのが一番いいんですよ。なまじ、一度1日10頁やったりすると、もうそれで描く時間計算しちゃうでしょ。30頁だから3日で大丈夫だなんて考えて、ギリギリまでネームとかプロットに時間かけたりして。やっぱり1日10頁だと、画が白っぽくなりますね。そういう時って線が走りすぎちゃって、画を止めたいという時に困りますね、アクションものならいいんだろうけど。

——最近、ほとんど人間がでてこない作

カツテ
征服者タリシ人間ヨ
全テニ化エヨ
新世界ニテ……

▲新世界／「マンガ奇想天外」奇想天外社

▼星降る夜
／「マンガ奇想天外」
奇想天外社

品をよく見ますけど…
『マンガ奇想天外』でしょ。「12色物語」(『コミック・トム』)の方で人間描くでしょ、そうするとひとつ描いて次の作品ていうのは、前と全然別の対極的な話描きたくなるのね。「12色」やって『奇天』やろうとすると、もう人間飽きちゃって機械描きたい、風景描きたいと。割と単純な発想なんです。

——今後の予定を聞かせて下さい。

あと一年とちょっとはまんが描きますね。まぁ、普通のひとが一カ月でやるようなことかもしれないけれど、ぼちぼちと。かっこよく言えば一作ごとがライフワークみたいなつもりで、毎回段崖絶壁にたった気分でね。

——その後は？

もちろん、何かのかたちで画は描いてると思います。

——あまり、まんが描くことには固執しないんですか？

そうですね。とにかく画描くのが非常に好きなんだけど、最初はまんが家になるなんておよそ考えてなかったです。話をつくるのがとてもじゃないけど大変だと思うし、同じ顔をいくつも描くことがどうしても信じられなくてね、飽きちゃうんじゃないかと思って…。(笑)そういう気持ちが未だに尾を引いてますね。

——まんが以外にも絵描いてらっしゃるんですか？

油絵をね、ちょっとやってます。やっぱりまんがの一コマ毎に描くのはなんかわずらわしくてね、ムチャクチャというか、のびのび描きたくなるんですよ。まんがの画と比重のかけ方が違いますね。まんがだとパターンで描いてしまうところがあってね。顔でも表情でも。それにブレーキかける意味でもいいですね、僕の場合は。

——ファンとしては、ずっとまんが描き続けてほしいですね。

発表されるかどうかに関わらず、まんがも描いていきますよ、きっと。それが編集の目にとまるか、読者の目にとまるかはわかりませんけど。もちろん苦しいんだけど、できあがった作品がわりと自分の気に入ったりするとね、苦しみが喜びに変わる、その味が忘れられなくてやってるんじゃないかと思いますね。描き上げて日付とサインをいれた瞬間の気持ちが何ともいえない。今日は死ぬまで飲んでやろう、なんてね。(笑)

(本誌編集部)

坂口尚と女の子たち

坂口尚の描く作品はどうしていつもあんな風に、みずみずしく、やさしく、魅力的なのだろう。特に男の子や女の子を描いた時、その線は一層のびやかにイキイキと流れだす。坂口尚のメイン・キャラクターは決して若い美男美女などではなく、輝く目をして駆け回る男の子であり、はにかみやの女の子なのだ。

「子供や老人の方が描いてておもしろいから」と氏は言うけれど、もちろんそれだけが理由であろうはずはない。氏がどんな子供時代を過してきたか定かではないが、坂口尚のなかには、きっといつでも男の子が居て(もしかしたら女の子も居るのかもしれない)、紙の上の線となって走り出すのを待っているのだ、と確信している。でなければ少年の瞳があんなに魅力的なわけがない、風の音があんなにはっきりと聞えるわけがない、夜空があんなに近く感じられるわけがない、不思議な世界をあんなに幾つも幾つももっていられるわけがない……ではないですか。

それに比べて若い男女、特に女性に対するそっけなさは一体どういうわけなんだろう。「画で言えば、若い男性とか女性とかいうのはのっぺりして好きじゃない」などと、とりつくしまのないことを言ったりする。そう、多分坂口尚の興味の対象は、化粧した女性などよりもっと美しく、笑いさざめく男女よりもっと微妙で秘やかな世界へとつながっているのだろう。

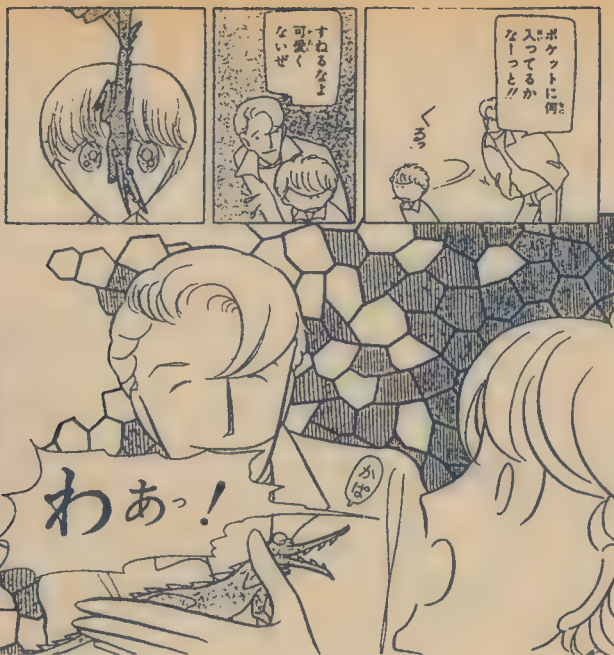
男の子の話には、「魚の少年」「3月の風は3ノット」「たつまきを売る老人」等傑作がたくさんあるけれど、女の子を描いたものにもすてきな作品は多い。『ミル』という名の娘についての事」「……110よ」「影子み」「野の花」、そして『ぱふ』'80 11月号掲載の「おるごおおる」も…。本当に、可憐に且つ生き生きと動き回る女の子たち——きれいだね、わたしもあんな風だったかな、かなうならばいつまでもそのままいたいものを……と思うのはやはりしょーもないこと、だろうか。

願わくは、もっと女の子の話たくさん描いてほしい、もちろん男の子の話も描いてほしい。そして一編集者としては、カラーの原稿を充分に描いてもらえたら…と思うのです。

香月千成子(編集部)

坂田靖子

描きたい話はいっぱいあるのに時間がなくって

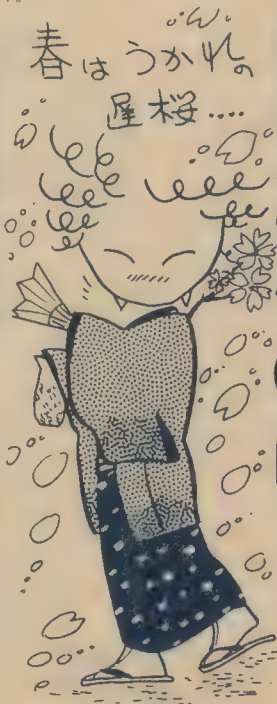
★去年は「バジル氏」のシリーズに加えて「ヒューイデューイ物語」の連載、と大忙し。しかも、同人誌「ラヴリ」でも活躍。熱のいれ方も一味違います。

▲ヒューイデューイ物語／『ＬａＬａ』白泉社
大金持の息子ヒューイを預ることとなった、かっぱらいのデューイ。地道な生活を始めようとがんばるが…。

'53年2月25日生まれ。本名同じ。同人誌「ラヴリ」を主宰し、'75年「再婚狂騒曲」で『花とゆめ』よりデビュー。以後「ＬａＬａ」中心に、映画を思わせるユニークな作品で人気を集めている。代表作に「Ｄ班レポート」「エルドンの夜」「バジル氏の優雅な生活」などがある。

――昨年は仕事量としてはどうでした？

ちょっとページの多いものが多かったんですよね。「ヒューイデューイ物語」が間にはさまっていたし、その後「バジル氏の優雅な生活」のシリーズにかかりましたから、なんだか描きすぎたんじゃないかと……。

――「バジル氏」はこれからもずっと？

ええ、今のところは続くと思うんですが（笑）描かせてもらえるかよくわからないんです。連載じゃないもので。今やってるもの「バジル氏」シリーズで、「スキャンダル・クラブ」というのを描くことになってます。

――ひと月に何枚くらいですか？

たぶん、昨年あたりは30～40枚くらいだったんじゃないでしょうか。

――ペースとして、その枚数は？

かなりきついですね。絵を描いたりする時間的制限がきついんですけど。ただ、描きたい話はけっこうあったりして、作品数が少ないと、今度は欲求不満に陥るという。ジレンマなんですよね。だから同人誌（ラヴリ）の方にも、ちょっと手を出したりしまして、いよいよ時間がなくなるんです。

――「ラヴリ」に発表する作品というのは、やや重い話が多いようですが。

私はどっちかっていうと、商業誌ではコメディ作家という風な分野に入ってますので、あんまり重い話というのは好まれないようなんですね。だからそういったのを好き勝手に描こうとすると、時間つくって同人誌で、という形になるんですね。

――「ラヴリ」は人気がありますね。

おかげさまで（笑）。なんとか購読者が今、六百人くらいまでいきまして……。最初のうちは、二百人購読者がもてたらいいね、と思って始めたんですが。今度から久掛彦見さんの連載が始まるものですから、また読んで下さる方が増えるんじゃないかと期待しているんですけど。

――作品の舞台が外国が多いのは？

どうしても日本の固有のイメージというのか生活感みたいなのが、どうも暗いわけですよ。私としては、かなりどこか洒落っ気のある性格というか、カラッとした部分がないと作品的にうまく描けないところがありまして、どうしても舞台が外国になっちゃうんですよね。アメリカ映画か何かを見て育ってきたせいもあるんじゃないかと思うんですけど。日本を舞台にすると、知りすぎている面が足をひっぱって、描きにくいんですよね、あまり奇抜な行動をスッと起こせないようで……。

――外国ものだと、一歩離れた所で見られるという感じですか。

そうなんですよね。そのかわり、よく失敗もしますけどね（笑）。外国に住んでないわけですからね、知らないことが山ほどあるんです。「バジル氏」を描いてると、とくにそうなんですけど、イギリスの貴族社会ですからね、あの辺がすごく難しいんです。先日も、バジル氏がハイ・ティー、つまり午後のお茶ですね、それに招かれるという所を描いて、で、そのすぐ後で気がついたんですよね。「ハイ・ティー」というのは中流以下の言葉でして、上流階級では「アフタヌーン・ティー」というんです（笑）。これ式の失敗を山ほどやっております。

――映画がお好きなようですね。

ヒチコックなんかがかなり好きですね。あるいは50年代くらいのハリウッドのミュージカル映画とか、コメディー映画の感覚なんかも非常に好きですね。他に、イギリス映画の一風変わった雰囲気も好きなんです。個人的には、ビリー・ワイルダーが本当によくて。「アパートの鍵貸します」とか。

――これからやってみたいものは？

本質的に、何でもやりたがる方なんです。今、ヒマラヤからシルクロードのあたりを舞台にして、ちょっと昔風の冒険ものを考えてるんです。それに単発もののファンタジィもやりたいですね。

――読者にひとことどうぞ。

「ラヴリ」を読んで下さい。すごく図図しいみたいだけど（笑）。

（インタビュー・編集部）

誇り高き戦場　再開の予定でしたが

◀同人誌『ラヴリ』より
小さい字だけど、読めるかなあ。坂田さんにとっては、同人誌も重要な創作活動の場。

▼バジル氏の優雅な生活
／『LaLa』白泉社

坂田さんのこと

彼女との交友が始まったのは5年前、私が漫画家とやらになる直前でした。初対面の時のことを思い出すとなんだか不思議な気がします。私は彼女のデビュー作に惚れ込んでいて、彼女はそのちょっと前に同人誌で私の作品を見ていて、そんなこんなで話がめっぽうはずみ、以来金沢に帰ると彼女の家にいりびたる仲となりました。でもホント不思議、それまではお互い知らない同士だったなんて。まあ友達というのはみんなそういうものなのでしょうけど……。

ド・シロウトだった私と違って、彼女は大泉にも出入りしていたりして、漫画家というものに対してとてもしっかりした考えを持っていました。マニアに毛が生えた程度で、突然〆切に追いまくられる生活に投げ込まれた私はマニア気質が抜けず、かといってそのまま「さよなら」とイチ抜けるのもシャクにさわって、ヒステリーばかり起こしながら仕事をしていました。そんな時彼女は非常に適確で現実的なアドバイスをしてくれて、私はずいぶんと彼女のその言葉で平衡感覚を取り戻したものです。

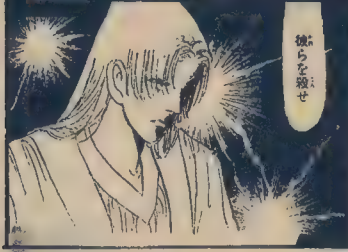
そんな訳で私は彼女には頭が上がりません。例えば、ですね、私が何か思いついた考えをトウトウと彼女に述べるとします。私は古今東西の著名人のセリフを借り、聞きかじりの弁証法を用いて熱弁をふるい、「だから、こうあるべきなのよ!!」と結論を言い終わります。（ゼイハー）すると彼女はその大正の美人画のような顔をニッコリとほころばせて、静かにのたまうのです。「それで?」――ううっ、彼女はとっても強いのです。

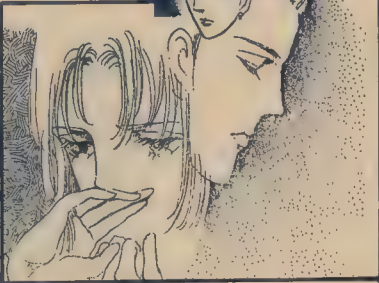
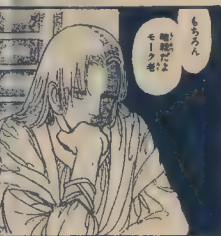
そういう人徳(?)を慕ってか、家に引きこもりっぱなしの彼女のところには、いろんな楽しい人が集まります。私も金沢にいる時は家より彼女の家にいることが多いくらい。しかしたまには野田山でも散策なさることを勧めます。菜園作りだけでは絶対に運動不足に陥りますぞ。

森川久美（まんが家）

佐藤史生

いけないいけないと思いつつも嘘八百を…

★プチフラワーに初めての長編「夢みる惑星より」を連載し、好評を博している佐藤史生さん。本当は飯田耕一郎さんにインタビューをお願いする筈だったのですが、結局アウト。本当に残念でした。

「夢みる惑星より」はサトサマの初ての長編です。いかにも練りに練ったストーリーという感じの、骨組みのしっかりしたSFで楽しませてくれます。だいたいがSFというのは骨組み、つまり設定が適当だと読んでて不安になってきたりするものですが、この作品においては全くそれがない。安心して物語にのめりこめるのであります。

カットは全て夢みる惑星より／プチフラワー　小学館から取りました。

某年12月6日、宮城県生まれ。(ユーリスモール＝バイハンと同じ。実はユーリがサトサマと同じなのだ。)高校を出て上京、大泉サロンへ出入しつつ漫画家修業。デビューは'77年「恋は味なもの」で。

――去年はどうでしたか

最悪でした。仕事より友人(花郁悠紀子さん)が病気で亡くなって。自分より若い人が死ぬってのは、想像以上に嫌なもんですね。まだ可能性が充分残っているのに。やっと気持の整理がついてきたところですけど。

――「プチフラワー」の連載がおもしろいですね。

長編は初めてなんですけど、長編のテクニックってのがまださっぱりわからなくてとまどってます。『星の丘より』が「少コミ」に投稿して佳作に入ったの。その続編だからだいぶ昔に考えた話なんですけど。今年中にはまだ終わらないでしょう。結果は考えてあるんですけどね。ファンから苦情が来まして。デタラメゆうなと。科学的に考えると合わないのね。地球がまだ五大陸に分れる以前、2億年程前の話なんですけど、作中では今天変地異が起ころうとしている。でも実際には起こんないわけですよ。全然。本当はもっとゆっくり分裂するんだから。それでは話にならない。いけないとは思いつつ適当にうそ八百並べまして。地球物理学やってる人は腹立つだろうなあ。

――今おもしろい漫画は?

あたしが去年も今も狂ってるのはお涼さまですよ。もう生き甲斐です。『日出処』が終わると楽しみがなくなるなあ、王子が大人になるまでは描かないって聞いたけど。お札の聖徳太子が出てきちゃ困る。青池保子さんのブキミ～～なのになっちゃう。あれは不気味ですよォ。あと諸星さんの『オンゴロの仮面』好きなんですよ、オドロオドロしいのが。

ニューウェーブの方は絵のうまい人多いですね。漫画界にとっていい事ですよね。でもあたしは、何ていうんですか、高尚な、写実的なものがだめなんです。マ

ワニではありません

史生さんのまんがには動きが余り感じられない。ゆったりゆったりしたリズムの中で物語が進行してゆく。なにか夢の中の出来事を描いている。そんな印象を受ける。

ニア雑誌に興味ない。ひたすら俗っぽい方が好きなんです。日常性にあまり惹かれない。そこが欠点だと言われるんだけれど、絵でも背広とかGパンとか通りの風景より、全くかけ離れたものが好きなんです。おもしろさが通俗的でドラマチックでなければ、そういう漫画で育ったものですから。

——この似顔絵はいつ頃の？（といって「金星樹」の裏表紙を見せる）

もう7年前だから近影じゃなく遠影ですよ。このちゃんちゃんこ、竹宮さんのなんだけど、あたしが専門に着てまして。似てるって評判だったんですよ。

——大泉サロンの雰囲気は？

1つの目的を持った女の子達が、好きで集ってワイワイやっている。アシスタントとして雇われてたんじゃなくて、遊びに行って彼女たちが仕事してればメシスタントやってって感じ。モー様のファンでね、デビューして2・3作目で手紙出したら一度いらっしゃいと返事をもらいまして。あの頃は確率が高かったんですよ。今じゃもう無理ですけどね。

——割と面長の顔お好きですよね。

「春を夢みし」の表紙はペンがすべったの。アゴがぁー。ペンが自在に動かない。もっと休みなく描かなくてはね。40枚の作品だと30枚目頃にやっとペンが動き出す。私あまり絵に執着ないので見るべき絵が描けない。モー様みたいに完璧にできる人ってのはなかなかいないですよ。だからアシスタント使うのではなく、映画のように分業形式で、プロダクション作ってやりたいですね、プロデューサーみたいのがやってみたいのね。

——唐突ですが好きな男性のタイプは？

複雑なのです。二種類あって、男らしい、気は優しくて力持ちの桃太郎タイプと、すごく女性的でおだやかな男性にも興味あるの。後者は私自身がなりたい男性なのです。今女性の置かれている立場が嫌いだから。男性が恋愛の対象以外に、人としてつき合おうとしないでしょ。うーん……。

えっ「ぱふ」は3月に3月号が出るの？いいですねえ。私しゃどうしても1月に3月号が出るってのがいやでして。気分が出ないこと夥しい。でなくても仕事柄、一本仕上げて外出るといつの間にか冬が終わって春になってて。虚しいね。

（編集部）

うちにも一、二個キャベツを……

佐藤さんの作品というのは、単行本『金星樹』で始めて知って読んだのです。正直に言うと絵は僕にとって少々とっつきにくい絵柄だったのですが、読んでみて実際驚きました。とにかくどれもこれも素晴しくもちょっとスゴい話ばかりなのです。とりわけ表題作の「金星樹」というのは印象に残り、何度も読み返したりしたものです。

一番気に入ったことは、とにかく佐藤さんの描くSFというのが僕の最も魅せられている部分であり、それをマンガにしてみせてくれるということです。そして短編とはいうものの、大長編の素材が作中にゴロゴロしていて、それが僕の背すじをゾクッとさせて、この人に大長編を描かせよう！と一人で思っていたわけですが、それが現在、既に実現してしまっていて、嬉しくも大変楽しく読ませて頂いております。

そのプチフラワーの「夢みる惑星」というのは、聞けば「金星樹」に収録されている「星の丘より」が元なのだそうですが、ああそうだったのか…と今頃気づいておろかにも情ない。けれど、とにかく読みごたえのある話です。いつまで続くかはわかりませんが、出来る限り長く続けて欲しい。でも正直、読切りだって読んでみたい気はするのですが（あぁいう長編・本にしぼっていると、逆に短編の方の話がたまってきませんか？）余裕が出てきたら、多少無理しても描いてほしいものです。

佐藤さんにはまだ一度もお目にかかったことがありません。だもんで僕の佐藤さん本人のイメージは、まだ萩尾さんの「キャベツ畑の遺産相続人」という作品のポージィおばさんとして捕えているわけですが、やはりキャベツはお好きですか？　出来ますれば今度、うちにも一・二個、キャベツに来るように言い聞かせてやって欲しいのですが、ええ、いかがなもんでしょう……。

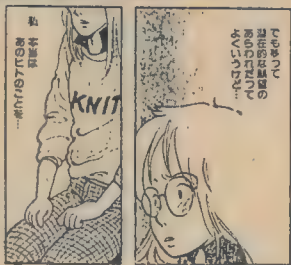
飯田耕一郎（漫画家）

INTERVIEW

さべあのま

今は、生活をきっちり描きたいと思ってます

★最近『ギャルズコミックDX』等に発表しているのは、以前の叙情的な作品とはちょっと違った〝少女まんが〟。でも、日常の機微を淡々と綴る眼の確かさと軽さは変わらない。モト子先生の行方が気になるところですが…。

▲4年ぶりに再会したモト子先生と高寺くん

モト子先生の場合
「ギャルズコミックDX」
主婦の友社

'70年代後半、同人誌や『PEKE』『AGAIN』等に詩情溢れる作品を発表し、その鋭い感性が注目を集める。著者に「シングル・ピジョン」「ライトブルー・ページ」。現在『ギャルズコミックDX』で連載中。

――去年の話だったら、まずは少女まんが誌（『プチフラワー』『ギャルズコミックDX』）に描いたことですね。その辺は…？

別に変わんないですけど、少女まんが誌だから少女まんが描こうと思って

――さべあさんにとって、少女まんがってどういうの？

今一番わからないですねー、少女まんがは。

――「モト子先生の場合」なんか、少女まんがになるかならないかってところで、ちょっと青年誌ぽいところもあるけど…

それは、要するに主人公をいくつにおいたかということだけであって、基本的には少女まんがと変わらないと思うんですけどね。

――だけど、わりとリアルなというか日常的なというか、そういう積み重ねでしょ。あまり極端な飛躍とかなくて。

そーゆーことは一応信条なんですけど、ただ、なるべく〝まんが〟にしたいと思う。

――そこらへんは「モト子先生」あたりからはっきりでてきたみたいね。

うーん、ストーリーみたいなものに未だに慣れてないところがあるんですよね……

――昨年はやはり忙しかったな、という印象はあるの？枚数はどのぐらい描いた？

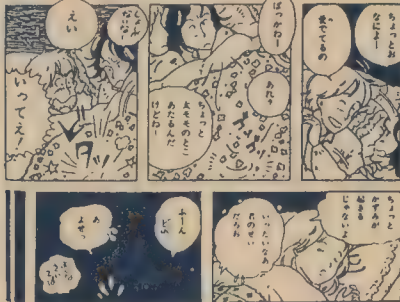
枚数たいした事ないです。枚数言ったら恥ずかしいだけです！忙しいっていっても、その前の年は毎月一本描いてたわけだけど、それに比べれば月に必ず一本押まったかというとそれほどじゃなかったし。ただ、一本のページ数が今までの倍以上になってきましたけど。あと、やっぱり描きたいものが変わってきたから…

――たとえば、どんなふうに？

自分で言うのも恥ずかしいけど…、今まではわりと心象風景みたいなものが多くて、だから流して描けたし、それほど時間かかんなかったんですよね。ああいうの一番楽だから。生活をきっちり描かなくちゃいけない、という苦労もなかったし。今はそういうものを描きたくなってきてるというか、自分の中で描かなきゃ

▶ふぇいどいん ふぇいどあうと

▲Someday …Flying
／「ギャルズコミックDX」主婦の友社

▼I LOVE MY HOME
／「漫金超」（株）チャンネル・ゼロ
ウッ！きわどいネームが…！

ならなくなってきてるから。それに、結局他人の話ですよね、だから客観的にならなきゃならないし。そんなこんなで、ページ数増えたし描くのも大変だしで、結局いつも時間がかかっちゃう。仕事の量的にはどうかわかんないけど、前よりはハードになっちゃった。

——一年描いた現実と希望と…

希望というか理想、理想と自分の技量みたいなものとにかなりギャップあるから……。描くと、もう描いた時点でその作品については忘れちゃいますね、もう次のに気がいっちゃう。その時点でもってる技術なり技量なりでどんどん描いていかないとね、次に行けないという気持ちがあるから。

——さべあさんの言ってるまんがっていうのは…？

まんがはおもしろくなきゃいけないと思います。なんにしろ楽しめるものが描きたいです。感動されたいとか、そういうものとはちょっと違うみたいですね。別に主張があるわけじゃないんですよね、わたしの場合は、おもしろかったと言ってもらえるのが一番うれしいです。今はまんがの上で深刻になりたくないっていうの、ありますね。最近描いてるものは、もう完全に突き放しちゃってるところがありますね、登場人物に対して。

——今まではマイナーだったんですけど、少女まんが誌に描いてその辺は…？

前から知ってて読んでくれてたひと達の読み方っていうのは一種独特違うんですけど、初めて知ってくれたひとっていうのはすごく素直に読んでくれてるんですね。そういうの、一番うれしいですね。

大体わたしは、一年ぐらいでやりたいことが変わっていくところがあるから、「モト子先生」みたいなのが終わった後でやりたいことが、そろそろできてるみたい…。変身というほどオーバーじゃなくて、わたしの場合はじくじく変わっていくタイプだから。

——「ぱふ」の読者の方も「ギャルズコミック」を買って是否「モト子先生の場合」に注目してほしい。2号から読んだひとはバックナンバー請求して読んでください。今のは、さべあさんが言ったことにしといてください。

わたしは、絶対そういうことは言いません！

まんが以外で何か…

太りました。

インタビュアー：村田耕一（ギャルズ★ライフ編集部）

マンガ少女もマンガ中年(?)もおもしろがらせる

さべあさんは、現在、『ギャルコミ』に、「モト子せんせいの場合」を連載中です。このマンガをお読みになった方、これからお読みになる方、モト子＝さべあという等式を安易に作らないでください。（一部は作ってもかまいませんが……）

この作品をギャルコミの読者はおもしろいといいます。担当としてもおもしろいと思います。かつてマンガ少女であり、今は、あんまりマンガを読まない女性もおもしろがります。マンガ好きの女のコにくわえ、ボク（主に青年マンガのファン）、女性（元マンガ少女）までもを、おもしろいといわせるマンガがかつてあったか!?（あったかもしれないが、レトリックでこうなる）

このへんが、さべあさんの作品のミソだと思います。

現在、少女マンガを年齢層で見ると、18才以上のOL、学生、主婦を対象としたマンガ誌が、ワァーという感じで創刊されましたが、さべあ作品は、こういったマンガ誌がどのようなマンガを目指すかの一つの指標になるのではないかと思います。この年齢層に対しては、ただの少女マンガの延長での大人版ということでは受けいれられないのではないでしょうか。はじめから、この年齢層用の作品をかくことが必要でしょう、絵においても、ストーリーにおいても。

しかし、この年齢層のマンガが確立され、流行し、定着するまでには、まだしばらくの時間と試行錯誤を要するはずです。さべあさん自身にとってもそうだと思います。「これからが大変でしょうが、がんばってください」としかいえないのが現状です。担当としては、まことに頼りないのですが。

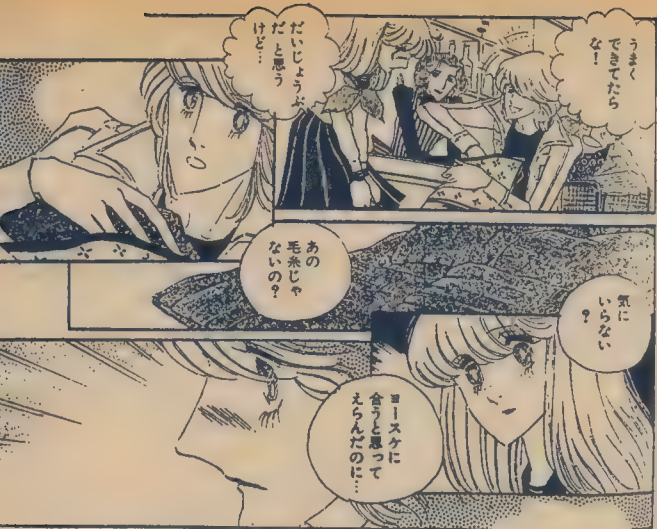
こう書くと、さべあさんは、「ソンなことォ、ないでしょう。別に気負ってはいません。適当にやってるんですから」とおっしゃるだろうから、こっちとしても少しは安心できるのですが……

（最後に、担当として、原稿のほうは早目にとお願いします）

村田耕一（ギャルズ★ライフ編集部）

嵩峰麻利子

もっときちっとラブコメ描いてみたい

★結婚後デビュー、という少女まんが家にはちょっと珍しい嵩峰さん。昨年の女性まんが誌の創刊が刺激剤になったと言うが、今年は大人の女性ならではの活躍が期される。

▲18番めの水たまり
／ギャルズコミックＤＸ」主婦の友社
縮小するのがもったいない、繊細な線

女子美付属の中学・高校で漫研を結成して活動。わたなべまさこさんのアシスタントを経て'77年『月刊セブンティーン』から「エマヌエラの肖像」でデビュー。現在『ピバプリンセス』『ギャルズコミック』に執筆中。ダンナ様一人アリ。

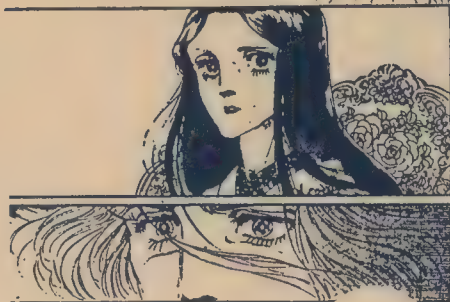
——デビューして何年になりますか。

今年の9月で5年になるのかな。描き始めたのは、中学高校の頃漫研で同人誌やってて、大学時代は描く方も読む方もブランクになってるんですけど、大学出て仕事探してたら、私が昔漫研にいたのを知ってる友達がわたなべまさこ先生の息子さんと知合でね。アシスタントとして紹介されていって。でたまたま描いてみないかというお話になって……。始めた頃は『ＣＯＭ』の創刊当時だから、一時代前のまんがブームに属しちゃうのかしら。

——最近注目しているまんがはどんなものですか。

女性誌が出たでしょう。やってみたいですね。自分の年齢そのままに描ける気がして。ラブコメ好きなんですよ。でも描きにくいのね。ただ好きと描けるとは別でしょう。もっときちっとラブコメ描いてみたいとは思うんですけどね。東京三世社のに出した「扉」ね。あれはデビュー前のネームなのね。あれとかショート・ショートやデビュー作あるいは「18番目の水たまり」なんかは、割と自分本位で楽に考えられる。私のマンガって生活感とか存在感がないでしょう。ラブコメ描いてもたてまえになっちゃう。そういうのいやなのね。自分の言葉でしゃべらなきゃと思うの。「扉」のような、時間も場所も関係ない、夢とか幻想とかかなり個人的な作品も、自己満足って非難されるかもしれないけど、あってもいい

▲1年7ヵ月めの海
／『ギャルズコミックDX』
主婦の友社

◀扉／『少年少女SF競作大全集』
東京三世社

と思うの。読者の意向と合えばね。だって小説にはあるじゃない、もちろんまんがを小説と一緒にするつもりないし、それだけっていうのも困るけど。有川優さんってマン研時代からの友人でね、この前話したのが、まんがと小説と映画の違いって何だろうって。映画っていうのは目に見える場面だけでしょ。まんがは見えない構図っていうか絵画的な場面が描ける。で、小説と比べると視点を限定するでしょ。そういう制約を含めて何か新しいことが出来るんじゃないかって思うの。以前ぱふに独創性を望むって書かれたけれど、そう思いますね。まだ自分のものをはっきりつかまえていない。自分を出すのってすごく恥ずかしいわね。でもそれを踏ってイイ加減なもの描いてたら読者だって納得しない。それは年齢が上である程そうね。その意味で女性まんが誌なんかはゴマカシきかないと思うの。(女性誌を数冊開きながら)ただ今の段階では、この本自体どこをねらっているのかはっきりしない、すごく知りたいわね。大人の女が気楽に読めるものでなくては、考え込んじゃって楽しめないっていうのではね、きっと少女誌からの持ち上がりじゃなくこれを読んで育った人が出てくるとおもしろくなると思うのね。少女まんがの内容で高校生をOLにしたってダメよね、日常の感性の深みとか成熟度、大人の視点というか絶対違うもの。自分の年齢で安心して読めるもの描きたいですね。あ、でも作家はそこまで考えちゃいけないのかしら。私よく編集さんにマジメすぎるっていわれちゃうんですよ。考えすぎるって。

――あの、女性向けのエロマンガ誌ってのは出ないんでしょうか。(笑)

私、原作物好きなんですよ。「源氏」や集別王子、大和和紀先生や西谷先生おやりになってるわね、だから現代の芸事なんかの世界で。あと田辺聖子さんの世界あたり、でもこれはオリジナルでやってみたいですね。とにかく今年は自分の位置をはっきりしたい。これは女性のマンガ家全体にいえるけれど、もっと試す機会を与えて欲しい。若い作家なんか、長い目で見守って欲しいですね。世代交代がずいぶん速いような気がしちゃうんだけどどうなのかしら。読者のまんがへの要求が単にファッション的なものなのかしら。

とにかく今年はなにかつかみたいと思っています。

(編集部)

マリコ

女の子ばかりの付属中学で、私たちは知り合った。ひたすら少女まんがを描いていた彼女たち数人と、少年まんがに夢中だった私を含む数人。同好会やクラブを作り、好きなまんが家や、編集部、時にはアニメのスタジオまでおしかけてはワァワァキァアキャア、ああでもないこうでもないと騒ぎ回っていたが、不思議と私たちにはプロになろうという意識がなかった。ただ好きだという、それだけが一大事だった。くっついたり離れたりしながら、私たちは中学から高校の数年間を、どっぷりまんがにひたって過ごした。

5、6年たってひさしぶりに顔を合わせた時、彼女は渡辺まさこさんのアシスタントをしていた。私はといえば、あいかわらずの周辺飛行で、まんがの編集が主な仕事だった。他の仲間とは没交渉になっていたが、〝まんが〟というやっかいな共通項をはさんで、再び私たちのつきあいが始まった。

渡辺まさこさんとの出合いがなければ、彼女はプロにはならなかったろう。出会いによって、一端は別方向へ向けられた情熱が、再びあの幼いが充実していた頃へ立ち戻ってきたのだ。

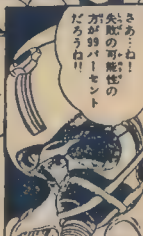
彼女の特徴は何といっても、手抜きのない絵にあると思う。いかにも真面目な性格がそこに表われているが、ストーリーも含めてまだ本領を発揮しているとは言い難い。私はそのていねいな作品を見るたびに、独特のひきしまった魅力と共に、多少の不自由さを感じる。

20才過ぎで、しかも結婚後のデビューはかなりのハンディだ。若い、編集者の言うことをよく聞く、良くいえば素直な女の子と、ある程度自己を確立した主張の強い女とでは、自ずと編集側の扱いが違ってくる。その他にも、少女時代の感性をどう持続するかという内部の問題もあるだろう。彼女のこれからは、こうしたハンディをどう有利に展開していくかにかかっていると思う。そしてそれは少女まんがが、女性まんがだけでなく、まんが界全体の体質の問題にも少なからず関係しているはずだ。頑張れ、マリコ!

有川　優(フリーライター)

新谷かおる

もう一度少女まんがに挑戦したい

★自衛隊まんがはうけない、と言われながら「ファントム無頼」は4年目に突入！これも作者のメカ好きの成せる業だろうが、「時にはデレデレに女々しいものも描いてみたい」とは本人の弁。

▲ファントム無頼／『増刊少年サンデー』小学館

◀エリア88／『少年ビッグコミック』小学館

'51年4月26日、大阪府生まれ。本名新谷薫。'72年「吸血鬼はおいや？」がりぼんまんが賞に佳作入選。松本零士のアシスタントを経て、少年誌に航空機ものを中心に数多く描く。現在、『少年ビッグコミック』に「エリア88」『増刊少年サンデー』に「ファントム無頼」（原作・史村翔）を好評連載中。

――昨年はいかがでした？

ベラボーに忙しくて、4月に風邪で寝こんでしまって、初めて原稿おとしまして（笑）。今ちょっとオーバーペースですね。

――月産何枚くらいですか？

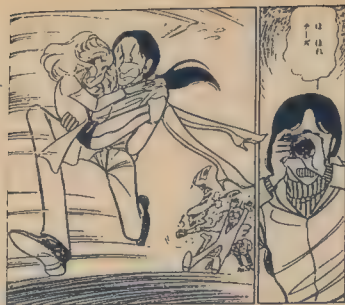
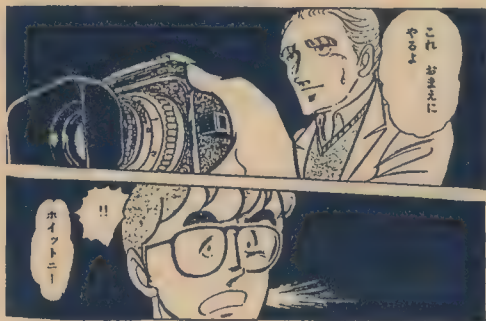
百五、六十枚くらいですね。一時期、二百枚こしてたから、やや減ったと思います。とにかく原稿を期日までにあげないというのは師匠（松本零士氏）を凌ぐとね（笑）。

――プラモデルは相変わらずプロ並み？

最近はペース落ちてるね、一年に二作くらいじゃないかな。昔は作品が一年に一作あがるかあがらないかで、プラモデルが一年にたっぷり二、三十作という。

――『増刊少年サンデー』の「ファントム無頼」が人気ありますね。

今回でまる三年たちますね。初めは、自衛隊まんがは絶対にうけないっていうジンクスみたいなものがありまして。扱い方が非常に難しいんですよね。僕はなるべく「自衛隊員」というのを出さないようにしてるんですよね。だから服装にしても階級章、一切つけてないんです。ファンの方から時々、おかしいとか、手抜いてんじゃないかと言われるんですけど（笑）。口のきき方なんかにしてもね。

だから『サンデー』の方じゃ「スーパーメカ劇画」と銘打っておりますが、僕としては一応、ホームドラマとして受け

▲シリーズ1／100sec.
／『マンガ少年』　朝日ソノラマ
これはカメラもの。
メカの説明もバッチリ、
愛着度が伺われる　。

とっていただければいいんじゃないかと。

——『マンガ少年』の「シリーズ1／100sec.」はカメラマンものですね。

あれ始めた頃、鬱期だったんですよね。連載始まったら操期になっちゃいましてね、非常に変なムードのまま一部終了ということになってしまって（笑）。

——操鬱型なんですか？

自分ではどっちかというと操型人間だと思ってたんですが、原稿がどんどんつまってくると、だんだん鬱々になってきまして、一体自分は何をやっているんだろう、とね。まんがを描くってのはもう少し楽しいことではなかったのかと（笑）。

小さい頃憧れていたまんが家像というのは、原稿描いて、その後は札束握ってどっかへ遊びに行くんだ、とね（笑）。やってみたら、札束は握れないわ、遊びには行けないわ。まるで詐欺じゃないか、誰だ、「マンガ家入門」を書いたのは！（笑）

ただ、自分が原稿描いて食っていけて、いろいろ言ってもらえるだけいいんじゃないか、とこの頃考えてますけどね。

——これから描きたいものは？

兵器とかそういったメカものから離れたものを一回描きたいですね。少女まんがの夢よもう一度をやりたいと。ある雑誌から、新しい少女誌つくるんで、知り合いでいい人いないか、と言うんで、オレがいるじゃないか、と言うと向こうが黙ってしまいまして（笑）。一回描いたことがあるんですよね、そしたらファンレターが二通しかこなくて、で、一通が身内でね。しかし、あくなき挑戦はやってみようかな、と思ってます。

男の友情はこうだ、なんてのを描いてるとね、たまにはデレンデレンに女々しいものを描きたくなってね、竹宮さんなんか「風と木の詩」で若年性ホモを扱ってあそこまでいったんだから、少年誌で一回、若年性レズを扱ってみたらどうだってね。「クルージング」みて、ある編集者が、じゃいっそハードゲイをやったらどうだってね。考えてみれば『ジャンプ』でやってた「男一匹ガキ大将」とかも、どっちかっていうとハードゲイに入るんじゃないかと（笑）。男の友情がいきつく所は、所詮、倒錯の世界だと。わーっ、いしかわじゅんの世界になってしまった（笑）。

——最後に今年の抱負など。

仕事を減らして、四輪の免許をとることです。いい作品を描こうとか、後世に名を残すような作品を描こうとか、そういったことは言いません。本来の目的に立ち戻って、札束つかんで遊びまわるんだ（笑）、ということです。

インタビュアー・小川保夫（まんが家）

バイク狂の亭主ドノ

うちの亭主ドノのメカ好きは、作品に於ても、周知の事実と言ったところなのですが、目下、凝りに凝ってる（狂ってる？）のがバイク。会う人毎にバイクの話をしまくっております。影響力が強いというのか、説得力があるのか、周囲にバイク乗りが増えてるこの頃なのです。その連中が寄るとさわると、走行距離がいくらになったの、どこまで行って来ただの…。さて、その元となった本人はと言うと、仕事、仕事に追われ走るヒマもなし。馴じみのバイク屋さんと駅前の本屋さんに通う程度。時には走る口実に、取りに行くからとおっしゃる編集さんをおさえ、真夜中の目白通りを出版社にひた走る……。

そう言えば、亭主ドノから初めてもらった手紙と言うのが、「六甲で事故ってアゴを割った」という文面で、図入りで詳しく説明してあった。かなりの怪我だったらしいのだが、これだけの手紙を書いてる事だし…と安心したのを覚えてる。その事故が元で、両親に免許証を取り上げられたかでと、再び自動二輪の免許を手にしたのは10年後。この時も事故が心配で家族全員で反対したのだが、こういう時の説得力たるやものすごく、全身全霊を傾けての迫力に、遂には白旗を上げるのみ。「バイクは刹那的にも走るものだ」と言いつつ関越高速の鬼（自称）となって東松山、前橋方面へ駆け上っていってたのは何ヶ月前の事か…。ここしばらく、おみやげの笹だんごにお目にかかっておりません。「尻が2つ欲しい」と言いつつ、机にはりついてる毎日です。

ストレス解消が唯一、走る事という亭主ドノ。良い仕事をする為にも、事故に気を付けてくれさえすれば、思う存分、走って欲しいと思うのですが……。

佐伯かよの（まんが家）

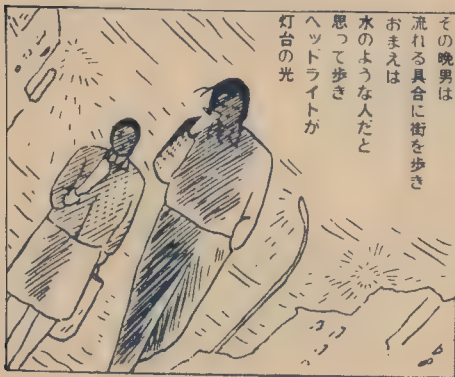
INTERVIEW

鈴木翁二

生きること。私にまで伝えて。光の中

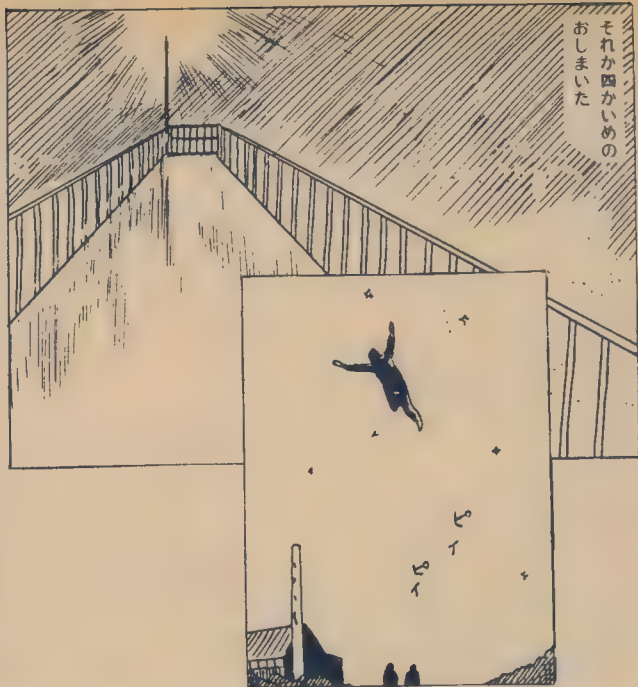
★鈴木翁二が描く世界には、いつも子供がいる。幼い彼ら彼女らの瞳の向こうに見える真実を、作者は追い続けているのかもしれない。

「麦畑野原」
／而立書房　より

鈴木翁二　米ヲ研グ鈴木先生

'49年愛知県に生まれる。18歳の時上京して『ガロ』に投稿、以後同誌の常連作家になる。主な著書に「オートバイ少女」「麦畑野原」。自分の作品を「小さな子供にも読んでもらいたい」という。

おれの読者の一人が、去年首吊って死んじゃった、大船観音の近くの、神社の境内で、三十、三十三ぐらいか、子供が、最初見つけたのは子供が、遊びに行って、石段をのぼって行ったら、おじさんが、ぶらぶらしてるっていうんだな、見ると、ねてる、立ってねてるって言うんだ、それをお巡りに言った、おじさんが、立ってねてたと、おれんとこに電話がきたのは、そいつが一緒に住んでた、まあ、愛人、その人から電話がきて、現場を見に行ったんだけど、まあ、そいつが死ぬのに、ふさわしかった、ほんとに猫のひたいみたいな、土のかたまりの上の、場所で、あっ、そこにぶらさがっていたんですとか言われた、死ぬとは思わなかったんだな、死ぬとは思わなかった、生きることってのは、いつもあとまわしになるわけなんです、交通標識みたいに、青だから渡れというのはあるんです、正しいことなんだから、でも生きていくというのは、青だから渡れない、ただそういうのは、あとまわしになる、でも人間は、それはちゃんとわかってるんです。青だ

翁二頌

王霙

いつかまた
どこかの都市どこかのすすけた店の
ひしゃいだテーブルとがたつく椅子と
油いためとテレビの音が
まじりあうよどんだ空気
はだか電球のあかりに祝福されて
新しい翁二と王霙は出会うだろう
なれたとおもったら

たかが詩人だったとか
たかが死人だったとか
翁二の目にオットーの灯がゆれて
かたむいて
くだけたコップの片切れから
祈りなんかが生まれていたり

から、渡れないんだ、だからそういうことが頼りになるんです、大方の人間はそうだと思って、一番弱い人はそういうことを知ってるんだということは、頼りなんだ、でなければ、マンガなんかかいていけない、横浜の洋光台という団地にいて、その一緒に住んでいた人と、まず、死んだ場所に行った、で、もう、子細に点検したんです、つまり、いつかマンガにかいてやろうという心で、そのときも、その女の人はおれのことを、見きわめたらしくて、あとできいたんだけど、あなたは、ああ、そういうつもりで来てたんだわってこと言われたんです、まさしくそうなんですが、印象に残ってるのは、首吊った場所の、賽銭箱の横に、若いアベックが、二人で仲よく話してた、はなむけだった、おれにとっては、気が楽だった、それをみて、おまえよかったなと思って、死んだとき、雨が降ってたらしいんだが、自分で麻のひもをもって、もう完全に死ぬつもりで、外に飛びだしたらしい、それからそいつが、くらしてた団地の、マンションみたいな所に行ったんです。で、おれが、たまたま、エレベーターにのぼっておりて、ぱっと外を見たら、すごく心ひかれた、そうしたら、その女の人が来て、あ、あの人もここすごく好きだったとかいうんだ、この眺め、その眺めというのは、おれはたまたまそのときに、これは仮の街ですね、とか言ったんだ、仮の街、あかりばっかりついてて、街灯ばっかりがついてて、なにか実体がない、まさしく水の底みたいな、あ、これは、最初からねらったなと思った、よばれるわけです、その街の、あかりによばれるんだ、下からもチャポンと音がきこえてきそうなかんじなんだ、水銀灯ばっかりついていて。

インタビュアー：王霙（詩人）

「会えば離れると唄が唄う」
いつか沈みます・私にはわかるのです・そんなに重いかたまりは・うかんでなどいられない・あなたの肩ほども・この世界はつよくないのです（夕日）
「たった四かいあった」
声のある空から・降って来る花びら・しなやかな光を・一層まげるてのひら（空）
「はじめはおまえの弟の声が」
林に・雹降る・微光の果てから（雹）
「口紅きれいだね」
生きること・私にまで伝えて・光の中中に・おまえはいる（芝生）
「考えたように言えなかったおまえの背中を」
雪の歩廊におまえはいた・雪がおまえを抱いていた（邂逅）
「わたしに」
生きるのに・それは・あまりに美しすぎるのです（告白）
「男はついにやってこなかった」
地におちたせみを・ひろい上げると・かなしいほどの・かるさだった（夏）
「ちきしょうとつぶやいた」
犬は眠っている・さざんかが咲き・冬が肩に落ちる（冬）
「それが四かいめのおしまいだ」
外は霙・生きて行こう・冬の木立のように（霙）
「それから何かい会っただろう」
さし出すてのひらに・霰はほのかに白くおもい・いくつの冬を・おまえはこうして生きて来たのか（霰）
「ピイピイピイ」
或る年の夏・私は都市の片すみで・古代のひすいをみた・おまえへの祈りであるかのように（都市）
「むぎはたのはらだもの」
世界がもし・私を必要とするのなら・どうか歩かせてください（祈り）
（短篇集『麦畑野原』は而立書房（〇三－二九一－五五八九）より発売されています。定価二〇〇〇円）

高橋葉介

紙芝居みたいな世界が描きたい

★葉介さんとさべあさんとは、『楽書館』の仲間なんです。本当は水野流転さんも同席されていて、おもしろ話も沢山あったのですが、フフフ残念ですなあ。

▲骨笛／ＳＦマンガ競作大全集　東京三世社　本来オドロオドロしいものを、なにかとてもオモシロク描いてしまうのが葉介さんなのだ。

’56年3月15日長野県生まれ。本名高橋庸介。駒沢大学卒。『楽書館』などに作品を発表した後、’77年、『マンガ少年』よりデビュー。筆を使ったユニークな絵で活躍。代表作に「ヨウスケの奇妙な世界」シリーズがある。

——去年は連作ものでしたね。

ええ、最初は乗り気でやるんだけど、三回続くと飽きます。

男の子が主人公のと女の子が主人公のと、どっちがやってて面白い？

どっちも飽きたら面白くないですよ。

——ギャグは魅力ないの？

うけないの（笑）。

——しばらく休もうなんて気はないの？

休んだんだよ、去年。二ヶ月休んでね、今のやつ（夢幻紳士）始めたんだけど、『マンガ少年』が休刊でしょ。

——もったいないね、今の。

ネタがあるからさ。いくつか見せたんだよ、去年の暮れに。

——葉介さんは、わりかしストーリーテラーなんですよね。お話づくりの人。

そう、完全に作りものの人なの。何かこう、さべあさんみたいに実体験と密着したものじゃないものね。

そういう風なものしか描けない人もいるわけだから……。葉介さんの、背景だってあれは全部、裏はないみたいなもんだし。うしろにつっかえ棒がしてあるという。

そうそう。

——同じキャラで、他の雑誌で続きやりたいとかいうのは？

それはあります。とにかくあれは、今年一くらいは続けようと思って始めたんですから。

さべあさんは、キャラクターはエンピツの先でつっつかないと動いてくれない？そういう所があるんだよね、僕は。背景描いてる方が、なんぼか楽だって所がある。そりゃバックばっかりってのはきついけど。でもバック描いてると不思議に心が安らぐ、という所がある。

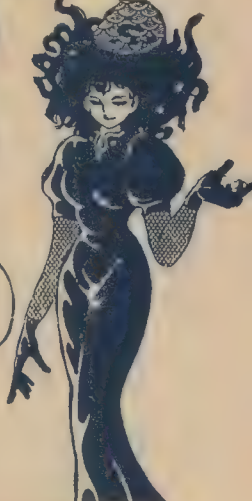
——最近、そういう安らぎを感じながらバック描けるだけの余裕がないの（笑）

1981 2/26.

葉介さんの描く女の人は、或る時はかわいく、また或る時は妖しい。そしてこの女達を抜きにして葉介さんのまんがは語れない一種独特の魅力があるのだ。そこで今迄の葉介さんが登場させた女達のアトランダムに並べてみた。

▶夢幻紳士／マンガ少年 朝日ソノラマ 夢の中の美少女萩原桜子

▶宵闇通りのブン／朝日ソノラマ刊 吾妻さんごひいきのブンさゃん

▲ミルクがねじを回す時／腹話術 朝日ソノラマ刊 おなじみミルクちゃん

▲ライヤー教授の午後／朝日ソノラマ刊 猫夫人

▲▶夢幻紳士／朝日ソノラマ刊 左杏仁ちゃん 右青蛇夫人

──筆とペン使い分けてるんでしょ。面倒じゃない？

面倒いよ。

──それでも使い分ける方がいい？

同じ下描きで描き分けてみて、完成品を見るとね、筆で描いた方がいいんだけど、描いてる時に、クーッとなることあるよ。

──筆で細い線描くでしょ、あれはすごいなと思う。

あれは無駄な努力なんだよね。ペンで描けばいいのに、筆でどうしても描きたいんだよね。ラフった時には同じなんだけど。

──「宵闇通りのブン」あたりまで、絵がカタマリだった気がするんだけど。

カタマリってのは言い得て妙ですね。大福みたいな感じで（笑）。

──最近、すごくシャープになってきたでしょ。

あれ、時間をかけたから。

──時間をかけるとああなるの？

ペンを多く使うようになったから。ペンって使い慣れないから時間がかかるわけ。筆の場合は、一本一本はさっと引くけど、それまでに精神集中がいる。

──読者の対象は？

子供のためのまんがってのに、すごく憧れてるのね。絵として描きたいものと、意識として描きたいものの間にギャップがあるというか。「ドラえもん」とかね、まんがとしてすごくいいなと思うんだけど、ちょっとあそこまで清潔になれない所があるのね。

──私はね、大河ドラマが描きたいの。

それほど壮大なテーマとかね、それよりもうちょっと四畳半的でいいから、紙芝居みたいなもの描きたいのね。僕の絵は大体、広がりのある絵じゃないし。

──それは、つめてるって感じでしょ。ハコの中につめこんだ世界っていうか。

紙芝居の世界って感じでね。狭い板切れに、こう、極彩色でベタベタと。

──新しいやつね、人物もそうだけど、背景に凝ってるのね。

安っぽいものでいいんですね。

あれは、その紙芝居みたいなのにしようと。空間がないみたいな感じで。つめこまなきゃ不安というのか。ベタが多いってのもそうだね。塗りつぶすのが好き。

──最後に読者の皆さんにひとこと。

「マンガ少年」はなくなりますが……高橋葉介は不滅です、と言われたらいいなァ（笑）。

さべあのま（まんが家）

葉介さんのこと

ぼくはミーハー的葉介さんファンなのであまり評論ふうのことは言えないけども、やっぱりあの漫画全体にただよう「明朗怪奇」なムードはひたすらここち良い。

舞台の国籍不明さにうれし泣きし、洗練されたギャグにニヤリとさせられ、お、女の子のかわいらしさによがり狂っておるわけなのであります、ぼくはブンちゃんが一等好きだなー。以前大川金太さん主催の酒飲み会で一度だけお逢いしたことがある。

葉介さんは漫画のイメージピッタリの、もの静かな「少年」風な感じを残された方で、わたくしは深く感動したのであります。

一篇のゲキガを読むような感動の対面の後、わたくしはたくさんお酒を飲んで酔っぱらういつものパターンを展開しつくしたのであった。

吾妻ひでお（まんが家）

▲吾妻さんが描いたブンちゃんなのだ。

INTERVIEW

高橋留美子

ドンくさいSFまんがを描いてみたい

★高橋さんの描く女性の色っぽさは定評があるけれど、作品自体が自由で、ハチャメチャで、とんでもなくて、そしてどこか色っぽい気がするのです。「男性より女性描く方がおもしろい」というのも、頷ける。

うる星やつら／「週刊少年サンデー」小学館

さくらさんと錯乱坊

世にも稀なる凶相の持主あたると鬼っ子ラムちゃんを中心に宇宙的ドタバタがまきおこる

小学6年生後の春休みが投稿初体験。その後もまんがを描き続け、高校・大学と漫研で活躍。小池一夫劇画村塾一期生でもある。'77年第2回小学館新人コミック大賞佳作入選、'81年第　回小学館漫画賞受賞。「サンデーは読者がやさしくて、好きです」

――小学館漫画賞受賞おめでとうございます。受賞の感想を。

まず、ありがとうございます。とにかくこれからもがんばって……何て言うんですかね、こんな時……要するに、賞をもらうだけのものはあったと言われたい……わかるでしょ、言わんとすることは。

――噂で、一日に20頁描くと聞きましたけれど本当ですか？

要するに、20頁が一晩で仕上がるというのは本当ですけれど、その前に当然下描きとかありますから。背景だったら、一晩で下描きから20枚いきます。

――高橋さんの描く男性の、あのスケベさはどこからくるのでしょう？

うーん、別にスケベな男性が好きなわけではないけれど(笑)、作品の質からきてるんですよ。

――高橋さんの描く女性の、あの色っぽさはどこからくるのでしょう？

どこからと言われても……。色っぽい女性は好きですけどね。

――今、月産何頁ですか？

85枚程度で、調度いいですね。

――それ以上はいかない？

まあ否応なくはいってくるのもあるから……(笑)。そのなかから又、調度よくするべく努力します。

――まんが体験で何かありますか？

やっぱり池上（遼一）さんの昔のですね。『少年サンデー』に載ったんですよ、「何にもいらない」というの。その前の「怒りよさらば」とか、その頃「スパイダーマン」もやってて…。13才ぐらいの時かな、で、画をコピーしたり、画柄を変えようと思ったり、そういうことはありました。

――少女時代はどんな女の子でした？

とてもとても内向的で、想像にふけっているようなおとなしい子でしたね。手塚先生の少女まんがが、「リボンの騎士」なんかの大ファンだったんですよ、小学

めぞん一刻
『ビッグコミック・スピリッツ』小学館

それにしても、高橋さんの描く女性は色っぽい!

校にあがりたての頃というのは。それで、キャラクターを頭のなかで動かして遊んだり……誰でもそういう体験あると思うんですけど。

――高橋さんのキャラクターのなかで、一番作者に似ているのは?

そうですねー、考え方は錯乱坊が一番似てますけど。

――仕事していない時、余暇のすごし方は?

寝てるか、TV見てるか、電話するかです。

――おちこんだ時、イライラした時の解消法があったら教えて下さい。

寝てるか、TV見てるか、電話するかです。

――高橋さんのまんがの魅力はキャラクターの魅力である、とも言えると思いますが、あのキャラクター達はどうやって生まれるんでしょう。

ラクガキをしながら考える……。もう、〝デザイン〟と受けとってもらってかまわないと思います。

――SFは、どんな作品をお読みになりますか?

そうですね、筒井康隆さん。やっぱり日本のもので、それもドタバタなんか…。スペース・オペラは読めません。

――条件さえ許せば描いてみたい分野、というのはありますか?たとえば、シリアスものは描かないんですか?

シリアス、やりたいなというところはありますね。とにかく、ドンくさいのがやってみたい。ドンくさいSFというか……(笑)。SFでも、民族学関係の方をちょっと調べたいなと思ってます。まあ、根底にあるのはメロドラマです(笑)。

――ドンくさいというのはどういう意味で?

要するに、機械なんかでてこない。伝承とかを扱って、言ってしまえば諸星大二郎さんをもっともっと下世話にやれないかな……と。

――シリアスとは逆に、ギャグまんがだからこそいい点、というのはありますか?

反応がすぐ返ってくるんですよね。たとえば目の前で読んでて、笑ったらおもしろかったんだってわかるでしょ。そこが快感ですよね。やっぱりストレートだから、ギャグまんがっておもしろい。

――最後に、好みの男性のタイプを聞かせて下さい。

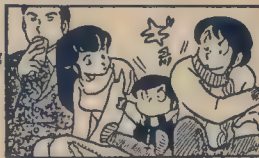
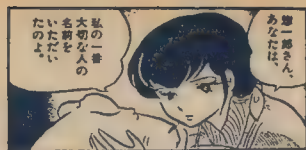
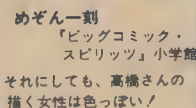
暖かくて、居てホッとすればそれがいいんじゃないか、と思います。

賀関・編集部

インタビュアー・大島(少年サンデー編集部)

色っぽくセマッて!!

高橋留美子の描く作品にでてくる女性群は何故あのように色っぽく魅力的なのか。

まず、彼女たちはたいていグラマーで、しかも、一目でそれとわかる服を着ている。「めぞん一刻」の管理人さんのセーター姿なんてゾクゾクっとするし(女のくせに変態か!?ワリャ)、作者がノッてくるのに比例して身体にまとわりつく衣服の面積が縮小していく――要するに肌が露出していくのネ。描いてる本人もけっこうそれを楽しんでる、というようなことをどこかで読んだ記憶がある。

そして、眼がいい。少女まんがのつぶらな瞳とは一味違う三重眼に、程良く長い睫毛。相手の顔を見つめている時でもどこか遠くを見ているような――或いは焦点が定まらないような、と言った方がいいのかもしれない――視線。女性は、近視の方が瞳がうるんで美しく見えるからいい、なんて言うけれど、高橋留美子が描く女性たちにはきっと近視が多いのであろう、と確信したくもなる。加えてプックリした唇に長い髪、ともうこれだけ揃えば色っぽい女性としては充分すぎるほどだ。

では、何故彼女たちは色っぽくあらねばならないのか。

普通女性が色っぽさを身につける窮極の目的は唯一つ、〝男をつかまえる〟ため、これに尽きる筈だ。その場合女性は目的遂行のために、色っぽさの他に〝かわいさ〟とか〝ちょっぴりわがまま〟とか〝清純さ〟なんかのエッセンスも持っている。が、高橋留美子の場合、〝かわいさ〟云々はあまりあてはまらない。かえって、テンちゃんやあたるの一瞬の表情に母性本能をくすぐられたりして、高橋留美子の世界では、かわいいのは女性ではなく、男性群の方なのだ。

そうやって母性本能に取り入りつつ迫ってくる男たちに対抗するにはどうしたらいいか。決まってる、ひっぱたくしかないのだ。だから、彼女たちはいつも恐ろしく強い。そして、ワンダー・ウーマン風に男たちと渡り合う時こそ、彼女たちは最も色っぽいのだ。群がる男性陣と対等に張合うためにこそ、女は色っぽくあらねばならない!うん、だからきっと、女の子も高橋留美子の描く女性に憧れるのだろう。

本誌編集　香月　千成子

INTERVIEW

高野文子

意識して〃軽い〃んでしょ、深刻に描いていたらちょっと恥ずかしい

★一作ごとに読者の予想を裏切りつつ、読者の期待を決して裏切らない作品を発表し続ける高野さん。パズルみたいにハサミとホチキスをつかって、次はどんな翔んでる世界を見せてくれるのだろう。

▲田辺のつる
／『漫金超』(株) チャンネル・ゼロ

こっちのほうが自画像
たかのふみこ

'57年新潟県生まれ。少女時代は佐藤まさる等の児童文学で育ち、高校時代は油絵を描く。'77年『楽書館』に「花」を発表。以後、一作ごとに斬新なイメージで読者を魅了する。

――この間の、江戸時代の話(「早道節用守」)はすごくよかったですけど……意識してたんですか? 特に読者をびっくりさせようとか。あの作品は『マンガ奇想天外』の読者の頁でも、「異例の作品だ」とか言われてたけど。

ええわりと意識してるつもりなんですよ、これでも。

――今度、大正ロマンを描くんでしょ。

ええ、まだどこに載せてもらうかは決めてないんですけど。その当時の写真集をいくつかながめてるんですよね。大正と昭和初期の家族の記念撮影なんかでね、みんな正装してすまして写ってるでしょ。その中で、ああ、この人は今の時代にはいない人だなって顔があるんですよ。40～50年でひとの顔の骨格がそう変わるわけはないと思うけど、ああ、これはやっぱり大正の顔だっていうのがある。おもしろいですよ。

高野さんの描き方って、だいたいどのくらいのペースなんでしょう。

えーと、今年の目標、月産16頁。一作終わってすぐ次のにとりかかればできないことはないんでしょうけどね。すぐ遊んじゃうから。

――よく、みんな高野さんの漫画の〃軽み〃みたいなこと言うでしょ。自分ではどう思います?

うーん、わりとね、何にでも執着したくないっていうのがあるんですよね。

――たとえば世の中に〃暗い作品〃って言われてるのがあるでしょ。そういうのって意識的に暗くするのと、そうじゃなくて作者の性格自体が暗いのと二種類あると思うんだけど、その辺、高野さんの場合どうなんですか?

意識して軽いんでしょ、きっと。これ

▲午前10：00の家鴨
／『マンガ奇想天外』奇想天外社

◀あぜみちロードにセクシーねえにちゃん
／ギャルズコミックDX』主婦の友社

▲早道節用守／『マンガ奇想天外』
奇想天外社

は今言われて考えたことなんだけどね。

――テレなんですか。

そうかもしれませんね。

――手塚治虫がテレるとヒョウタンツギ出すのと同じかな。大友克洋さんもそうですよね。何ていうのかな。自分自身の顔出さないでしょ、あくまで作品が表に出てる。

そうですね、ひとり深刻になって漫画描いてるっていうのを自分で認めたくないみたいのがあるみたいですね。ミエですねこれはもう(笑)。汗水流してなにかやるっていうのがにがてです、確かに。ドアの向うで汗流してても、表に出るときはすました顔してたいってのがある。

――汗水流すことが嫌いなんじゃなくて、見せるのが嫌なんだ。

そうそう。汗流すことが一生懸命やったことの証明みたいになるのっておかしいと思うのですよね。スポーツだめなのそのせいかな(笑)。

昔は違いましたよ、19の頃は。汗流したり泥んこになったりすると感動してた、ひとりで。自分のことしか興味なかったし、自分のことしか描けなかった。

――その辺の転機というのは?

自分のことより他人のことに興味ができてきた。それなりに腹の立つ他人も目につくようになったけど、結局〝寛容なヒト〟になりました。(笑) 最近はもう「ああ、あーゆうひともいるんだ」(笑)「おもしろいなー」と思いながら描いちゃう。

――話の作り方で決った方法ってのあります?

つくり方ですか? ホチキスでとめてつくる。

えっ、ホチキス!?

そうです。最初の出だしを一頁。それからクライマックスを一頁で、ラストを一頁。その3枚を1mくらい間隔あけて畳の上に置くんです。その間のページをうめてくわけなんだけど。おもいついたコマを一つ描くたびにあいてる場所に置くんです。ジグソーパズルみたいにね、畳の上で。はさみでチョキチョキ切ったり場所入れ換えたりしながら、パズルがちょうど原稿一枚分のB4と同じ大きさになったら、それとホチキスで一コマずつつなげる。16頁の作品なら、のれんみたいにピラピラしたのが16枚できあがるわけです。16頁一度に見ながらでないと作れないものだから、部屋いっぱいに原稿で大きな輪をつくって、私はその真ん中に座るの。でぐるぐるまわりながら描きます。これ結構うまくいくんですよ。

インタビュアー　高寺彰彦(漫画家)

あ、いつか作品を頼みたいひとだな

高野文子さんに初めてお会いしたのは、一九七九年三月十日。何故このように鮮明にその時のことを覚えているのかというと、その日は大友克洋氏の結婚パーティがあり、その会場で、ささやななえ氏が高野さんとさべあのまさんを紹介して下さったのだ。パーティの後、ぼくはささやさんを、ささやさんは高野さんとさべあさんを誘って、つまり四人で阿佐谷へと向かった。そこには坂口尚さんが待っていて、飲み直そうというわけだったのだ。高野さんとさべあさんは、あまり喋らず、寡黙な人なのだな、と思った。(そーでないコトは、後にわかったのだが……)

高野さんは、同じ月の七日に発売された『JUNE』に「絶対安全剃刀」で商業誌にデビューしたばかりだった。この作品を読んだ時すぐに、あ、この人にいつか作品を頼みたいな、と思った。その機会は割と早くやって来た。七月に発売された『別冊奇想天外／SFマンガ大全集 PART3』で、高野さんに描き下ろしを頼むことにしたのだ。

依頼の電話は日曜日の昼間にした。(理由はここでは書かない) 最初は躊躇っていた高野さんも、長い説得に応じてくれた。この時に、あの「ふとん」が発表されることが決まったわけである。

当時の手帖を繰ってみると、高野さんの名前が初めて出て来るのは、五月二十二日。それから三年近くになる。「ふとん」、「アネサとオジ」、「午前10：00の家鴨」、「早道節用守」、などなど。ぼくの手帖には、その度に何度も何度も高野さんの名前が書かれた。高野さんは他にも、『漫金超』の「田辺のつる」や最新作『プオアレディ』の「いこいの宿」まで、それ程数は多くないけれども、毎回毎回、読者の期待を裏切らない作品を発表しつづけている。そしてこれからも、きっとぼくたちの期待を裏切ることはないだろう。

小口　宏(奇想天外社)

INTERVIEW

谷口ジロー

谷口ジローとの四年間プラス二時間

★このところ超多忙の谷口さん。『ビッグスピリッツ』の「青の戦士」『エロトピアデラックス』の「ハンティングドッグ」等々。オーバーワーク気味のようでしたが大丈夫でしょうか？

◀事件屋稼業／双葉社刊　瞬間の表情を凍らせる。それが谷口ジローの世界だ。

日本・フィリピンの混血。10年にわたるヒッピー生活を送る。その後日本でオモチャ屋を開業し、失敗。生活のためまんが家となる。

——関川です。

谷口です。

——生活は楽ですか？

食えますが、忙しいわりにはまったく儲りません。時どきじっと手を見たりします。

——ご同病ですな。まったく世間というものは、いったい何を見ているんでしょうか。

まったく。業界ではぼくたちのことを〃ハイカン男組〃と呼びならわしているようですが、不謹慎きわまりないことです。こちらとしては努力に悖るところはありません。すべてが自信作です。

——習作時代を抜け出してからのこの四年間の作品はすべて……

そう自負しております。むろん代表作は常に次回作ではありますが。

編　あのー、おふたりは初対面…

——のわけがないでしょ。四年もいっしょに仕事してるんですから。

編　**たんなる冗談です。ユーモアは作意を追い落とし、墜落を予防します。**

——まことに然り。それは絵にも言える。

そう。ユーモアとギャグは違います。リアリズムのマンガ、つまり劇画ではユーモアのないものは動きが際立ちません。つまりシークエンスがありません。登場人物の感情の動き、つまり具体的には表情の微妙な変化がユーモアを生かすし、ひと昔前のぴったり決めたポーズの連続は殺します。それしか描かない人、あるいは描けない人の作品に感心したことはありません。リアリズムというのはスタイル画とは違ったものだと思っています。

——それにつながることだけれど、もうひとつは人物の手の位置ですね。役者と同じで、処置に困る。

そうです。さりげなく手をある場所におさめるのはたいへん難しい。十二分に手にも芝居をさせようと腐心しているの

青の戦士／ビックコミックスピリッツ　下リンド3／双葉社刊

大いなる野性／オハヨー出版刊

▲谷口ジローが動物ものを好むのは、つまる所人間を描かないですむからでは。

ですが、ときおり肩をすくめる例の仕草をさせてしまう。あれはひとつには困ったあげくの応急処置というニュアンスもあります。

――カメラアイの位置は？

ロングです。原則的にロングが最も美しい。

――あなたはよく脚本を突き返しちゃうそうですね。

それはやや大げさです。つまらない脚本は描けません。無前提的に仕事を引受けるのは堕落へのショートカットです。しかし、すぐれた脚本なら、限りなく演出意欲が湧きます。脚本書きがイメージしているはずの絵をそのままやったとしてもおもしろくもなんともありません。挑戦、あるいは相互補完的な仕事、または弁証法的と言ってしまいましょうか、そういう緊張を脚本書きとの間に生み出せればその作品は成功と評価します。

――もうひとりいます。

そうだ、編集者ですね。彼の協力も、絶対に必要です。むこうはこちら側を試しているつもりかも知れません。それはそうです。けれど、こちらも先方の様子を喫茶店でスポーツ新聞のページの蔭からうかがっているわけです。作品を読んだ相手の反応、表情、ひいては先方の知力と粘着力と想像力と決断力を。信頼できる編集者にめぐりあうということも書き手生活の不可欠要素です。

――ホーリー・トライアングルですな。ところで自分のどんな作品に愛着を持ちますか？

ほとんどすべてに。たとえば四年前に漫画パンチに連載した「名前のない動物たちシリーズ」三年前の警察もの「無防備都市」、二年前の現代の冒険もの「リンド3！」、同じ頃の幻の超B級雑誌『ヤングコミック増刊』の「シリーズ・西風は白い」、昨年はハードボイルドの「事件屋稼業」、そして現在連載中で狩撫麻礼さんとの共同作業「青の戦士」。どれをとっても捨てがたいです。しかしとりわけ中断の形をハイカン事情からとらざるを得なかった「事件屋稼業」には強い愛着と、限りない心残りを感じています。

――同感。あれはこういう言い方もなんですが、名作です。読まないひとは不幸だと信じます。

今月になるのかな、単行本が出ますので、まあ、もって冥すべし、でしょうか。

現在の希望は？

動物ものを描くこと。年に二本は描きたいです。そうしないと気が狂います。あれはぼくにとっての休暇なのですよ。もう少しだけ自由な時間が欲しいし、最後の希望と言えばもう少しだけお金が欲しいということでしょうか。

関川夏央

執念に惹かれて

執念から執念らしさをとった〝執念〟というものが谷口氏にはあると、いつも感じる。そして、多分それが現在を築きあげたのだと僕は考える。でなければかなり短期間でここまで果してこれるものだろうか？

谷口氏の線というのは、まさに劇画である。とりわけ線が密集している。デビューの頃はそれがうるさく感じて、線も固かったので、一歩間違えば、慣れて整理された時に、いかにも劇画チックな、何というかあの平均的な味気ない、ただの劇画になってしまうのではないか――そんな危惧が僕にはあった。ところが、全然そうはならずに、一味も二味も違う谷口ジローの劇画というのを創りあげてしまったのである。

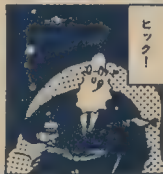
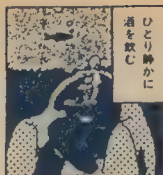
結局〝執念〟だと思わざるをえないのは、環境にプラスを引きよせた、と考えるからで、引きよせる力というのは〝執念〟以外にない、と思うからです。言わずもがなで、その最たるものは関川夏央という原作者なのだけれど、そういう巡りあわせというのは、単なる偶然だとは僕は考えない。因があって果である。そして運命を操つる程の因といえば〝執念〟以外にないではないか。

「リンド3」はかなり良かった。「無防備都市」の発展的変転がこの作品を埋めつくしていてかなりいい。とても詳しく書けるスペースではないので腹立たしいが、この線で落ち着いても一向にかまわないな、と僕自身はその時思った。ところが、同『コミックギャング』での同コンビによる「事件屋稼業」は、驚くことに更に飛躍を遂げてしまうのである。詳しくは書けない、腹立たしい、が（単行本が多分もう出てる筈だ）実に挑戦的な画面がその作品には充満していた。一体誰に対して挑戦的なのか？　原作者に対してか？読者に対してか？――それもあるだろうが、結局の所、自分に他ならない。どうして谷口ジローはそれ程に挑戦的なのだろうかと思う。良くはわからない。わからないが、みえるその〝執念〟に、やたら僕は魅かれる

飯田耕一郎（まんが家）

たむらしげる

絵本や、オールカラーのまんがをやりたい

★もしあなたが今のまんがの騒々しさとド迫力にホンの少し嫌気がさしたなら、たむらしげるの作品の頁を繰って、フープ博士と一緒に旅立ってみればいい。キラキラと、サラサラフワフワと、そう、ゆったりと…。

▲PHANTASMAGORIA／「ガロ」青林堂

1949年生まれ。凸版印刷に勤務し、デザイナーとしてスタートした。退社後、絵本の仕事をしながら『ガロ』で漫画家としてもデビュー。今でも絵本はメインの仕事。「フープ博士の月への旅」は『ガロ』連載の作品で、去年一冊の素敵な本になった。（青林堂刊　¥一〇〇〇）また、今回、第2回読売漫画大賞優秀賞も授賞した。

2月13日。阿佐ヶ谷のたむら家におじゃまする。

――どーも、おじゃましまーす。

と言いつつ、二階にあがり込む。壁にかかった、たむらさんの絵をのぞき込んでいると、

「それはね、リトグラフなんです。これから少し凝ろうと思って。昔の漫画のね、少し色ズレのある印刷って感じがいいでしょ。」

――たむらさん。フープ博士のシリーズ、ずっと続きますか?

「うーん。それは解んないな。どんどんできるって訳じゃないから。もっといろんなシリーズもやりたいし。そんなに量こなせないからね。」

最近出版された**「タックそらをゆく」**（小峰書店）を見せてもらう。この作品は何と2年半かかっているそうだ。たむらさんの作品は、どれも手作りのあたたかみが残っている。だから2年半もかけて作られたことを、素直に聴けてしまうのは、作品に対するやさしさを肌で感じとれてしまうからだろう。

フープ博士の月への旅
（特に注なきカットは全て）
青林堂

――これから、どういう漫画を描いていきたいですか？

「昔の漫画にあった、楽しさみたいなもの。楽しい漫画を描きたいと思ってます。仕事としては、絵本の構想が一本頭の中にあって、それを来年ぐらいには本にしたいな。それに、今後会長があれば、大人向けのオールカラーのマンガをぜひやりたいですね。30〜50ページぐらいで。」

――たむらさんの漫画って、読むのも楽しいけど、光のまぶしさとか、水晶のキラメキとか、そういうのいいですね。こう漫画の世界がね、1/24スケールの世界みたいな感じとか。

「うん。僕は箱庭みたいなのが好きでね、ほら、戸棚に鉄道模型があるでしょ。あれのレイアウトまで作ってあるんです。それと家に興味があって、面白い形の家をこう並べて、その間に人間を置いて動かすみたいな感覚とかね。」

去年、デザイナー廃業宣言をして、これからは絵本と漫画でいきたいと、はっきりした口調のたむらさん。

「『ぱふ』はもう少し薄くてもいいから、漫画をいっぱいのっければいいのに。」

――そうですね、僕もそう思います。でも、なかなか大変みたい。

いろんな話をしたり、映画をみせてもらったりで、ついつい長居してしまった阿佐ヶ谷の夕暮。最後は奥様とお会いして、

――また遊びにこさせて下さい。

駅までの道は、フープ博士の飛行機に乗っても構わないぞと思うほど複雑で、もう一度たむら家に戻ると、「月に引越しました。住所は月の希望の海です。」という貼り紙がしてあった…としても不思議じゃないかんじ…。阿佐ヶ谷の駅には、月へは行かない中央線が、ゴーッといってホームにすべり込んで来た。

K先生（ぱふランニング特派員）

月世界の散歩者

ども。今の読者はほとんど知らんでしようが、あのK先生です。ども。

たむらしげるの世界って、水晶の箱みたいなものだと僕は思ってる。デュシャンの、のぞき戸の感覚、コーネルの箱の神秘、カタカタ動き出すオモチャ箱の世界。みる者を不思議な世界に散歩させてくれる、イメージ世界の創造主。

だから、たむらしげるの作品は、ゆっくりとページをめくってみるのがいい。ストーリーだけを追って読むんじゃなくて、絵の中で自分のイメージをふくらませるのがとても楽しい。

地球の端が滝になっている世界。月人のいる水晶の家。一コマ・コマをそれこそ額に入れてとっておきたいような絵に。僕はまばゆい光と宝石のキラメキをイメージする。たむらしげるの絵は、きっと夜道に落ちている鏡のかけらの中で、キラリと光ることだろう。もし、今の漫画みたくド迫力って感じじゃなくて、もうちょっと不思議っぽく、楽しく、それにゆっくりとしたのが読みたい人がいれば、心からおすすめします。K先生も夜の星や、月の光が大好きで、星のキラメキや月の微笑がきれいに描ける絵描きになりたい。

フープ博士、無茶しないで、ケガをしないようにね！

K先生

INTERVIEW

名香智子

★名香智子の画を見ているといつも、ためいきがでてしまう。男性も女性も、身につけているものも調度も、女の子が好きで憧れるものばかりだもの。

社会のモラルを変えてみたいの

PARTNER
／『プチコミック』
踊る姿も衣装も限りなく
華麗でウツクシイ！　小学

'53年川越市に生まれる。本名田中智子。'73年『別冊少女フレンド』の「とってもしあわせ」でデビュー。代表作は「花の美女姫」「ファンション・ファデ」等。

―この部屋、美女姫の家の中、という感じがしますが…。(なんと蔵を改造したという、アンチック風のステキなお部屋です)

色か揃えてあるから、そう見えるだけですよ。

―今日は、名香先生にお会いできるというので緊張してるんですが……小さい頃はどんなまんが読まれましな？　た

そうですね、中学の初めぐらいからで、白土三平とか石森章太郎とか…。

―白土三平!?忍者まんがですか？

ああいうのが好きだったみたいね、昔は。で高校はいって投稿し始めると、商業ペースに乗って少女まんが描き始めるのね、眼大きくして。

―あ、初めから大きくじゃなくて？

やっぱりかわいい顔描かなくちゃいけない、といわれてね、忠津陽子先生の作品なんかトレースしたり…。

―御自分の作品で特に好きなのってあります？「美女姫」は？

もう随分前のことみたい。

―わたし、好きだったんですよ。不思議な荒唐無稽。

あれはやっぱり、あの歳だから描けたんでしょうね。たとえば20歳とかそのぐらいだと、先のことなんか全然わからないわけ。自分でいろんなことやったことないし、ものごとを楽観的に描けるのね。今は、あんまりいろんな問題で楽観的じゃないことが多々あるんで、そういうものが無視できなくなってしまう。ここ1～2年かな。

―美少年趣味とかそういうのは？ありそでなさそな…。

男の子でも女の子でも、きれいな子はみーんな好き。でも、一番好きなタイプはね、男のひとで口髭があるひとです。口髭が似合うひとっていうと、それだけで大体決まってくるのね。で、絶対女のひとが持てない性格ってあるでしょ、そういうのに憧れるんじゃないかな。たとえば〝タフ〟とかね、要するにハードボイルドの世界。

―まんがを描く時、どこに一番時間かけます？

わたしはひどくいい加減な話のつくり方しててね、ネームを先にやらないひとなの。一頁ネームやって、一頁下描きして、一頁ペン入れて、又一頁…と。

―えぇっ!?それで、うまく終わるんです？

まぁ、終わってるみたいですね。結局、「ファンション・ファデ」の頃からなんですよね、週刊の連載もってるとどうしても追われちゃって、間に合わなくなっ

▲ファンション・ファデ／『週刊少女コミック』小学館

ちゃうの。

——今の連載はあとどのくらい？

「パートナー」ねー、あれは今困ってて…。一応一年という約束だから、あと5・6回かな。

——予定通り終わります？

終わらせます。

——さすが、プロ!!あれ描く時はやはりタンゴなんか聞きながら?まさか民謡とか…。

一応レコード買ってきたけど、最初だけ。

——体力はある方ですか？

ありますね。週刊やってた頃、5日は間で睡眠時間2時間とか。すごい時は5日で40頁あげたのかな、もちろんネームも含めて。

——はぁー。描いてて楽しいですか？

描いてる時よりも考えてる時の方が楽しいですね。全てが完璧というか、自分の考えてることがそのままうまくできるように思ってる時期だから。もうネームにはいるとつっかえちゃう。

——そうなんですよね、よかった、聞いて。えーと、描きやすい読者の年令層ってあります？

高校生、大学生。読んで、割合素直に受けとめてくれるのね。

あのー、社会っていろいろ変化するでしょ、モラルを変えたいのね、やっぱり。たとえば一番簡単なところでは性の問題ね。わたしは、子供をつくろうと思わないで妊娠することには大反対。別にセックスするのは全然構わないけどちゃんと避妊しなさい、と。あと、初めて好きになったひとと結ばれるとか、それから少女まんがにでてくる男の子って優しすぎるでしょ。本当は何千件に一件の話なのに、だからこそ物語になるんだろうけど、やっぱりその辺の本当のことをちゃんと知ってほしいのね。少女まんが読む子って、割と奥手でしょ。男の子とつきあってるような子は、少女まんが読まないでしょ。

今の日本で、嫌いなことがいっぱいあるわけ。そういうの、男の子が大体いけないんだけれど、男の子を啓蒙するというのはまず無理なのね。女の子っていうのは割と信じやすくて啓蒙されやすくて、そうしたらその内男の子も影響されるんじゃないかと…。本当は別にどうでもいいことなんだろうけど、今はそう思って描いてます。

インタビュアー：湯田伸子（漫画家）

絹の手触りの向こうに

優雅で冷酷で知的で高貴、という登場人物がある。何も少女マンガに限らない。たいてい主人公ではなく、ライバル、片想いの相手、友人、保護者、抑圧者といった脇役ながら重要な存在であったり、主人公の人気をくってしまったりする。近頃では、このタイプが主人公になってるのも多いし、主人公がひとりとは限らない。

問題は、このノーブルとされる登場人物なのだ。何ゆえかくもアーリア人種風貴族的美型は根強い人気を持つのか。日本人と設定されていても、見たところそう大差はない。描き手の趣味か読者の要求かもはや判然としない。鹿鳴館の頃よりなぜか続く西洋文明崇拝アーリア人種への劣等感と憧れとまぜこぜ……そこまで言うほどのことではないか…。

例えば絹の手触りが好きとか極上のワインを極上のグラスで賞味するといった感覚のはるか延長上にあるんではなかろうか。それが悪いとは全く思わない。

もしかしたら少女マンガを好きな女の子たちは（男の子はどうなのかしら？やっぱり王室とか貴族とか興味あるのかなあ？）ノーブルとされるものの中に、襟を正すべき毅然たる態度といったもの、フォーマルに扱われてしかるべきもの、とはいったい何なのか、敏感にかぎとろうとしているのかもしれない。そして、美しいと見るものは実は行為であり態度にあるのだということ、どの人種であろうと、階級であろうと、誇り高いということが血筋ではなく存在のしかたにあるのだ、と、先刻ご承知なのかもしれない。

それに美しい顔のタイプ、肢体をまとわせるのに何の文句つける余地があるだろう。眼にして快いものであれと希うことが悪かろうはずがない。快くないとする判断のありかまで視れるとしたらもっとすてきだったりするし。

名香智子さんの独特の貴族風趣向には、何ものにも侵されない冷たい光を放つ名刀のようなものがある、ような気がする。わかり易さの花々に酔い痴れてばかりもいられない。

行森夏子

⑤INTERVIEW

新田たつお

今年は愛に生きますワ

★あのアッカーマンというキャラクターのバイタリティーってすごいんですね。『ギャング』休刊にもめげず、今年『別冊アクション』にハナバナしく復活した「怪人アッカーマン」の新田たつおさんです。

▲ザ・ニッターマン／増刊アクション　双葉社　新田たつおキャラクターズ・オンパレード。さあて、誰が誰だか全部分かる人はエライ！
　しかし、この作品は新田たつお自身のキャラクター観が出ていて、その気で見ると新田まんがの全体像が把めておもしろい。

本名、島田好晴。さそり座、巳年生まれの27歳、独身。高校時代、「少年サンデー」に「母と子の詩」で準デビュー、プロのきびしさを知る。奈良芸術大学卒業後、75年に「少年マガジン」の「台所の鬼」でしぶとく再デビュー。現在「怪人アッカーマン」「少年探究団」「山本風太郎くん」などを連載中。西武新宿線沿線に住む孝行息子である。

――まず、80年はどんな年でしたか？

そうねえ、まあ2番目にいい年だったんじゃないですか？年頭は『漫画ギャング』が休刊になったりして、あんまりいい年じゃなかったんですけど、ギャングがなくなった後アメリカへ行ったりしたんですよ。

――アメリカですか、いいですねえ。

一週間ぐらいでしたけどね。ツアーじゃなかったから面白かったですよ。

――帰ってきてからは？

「ザ・ドン兵衛」の単行本が出るので、18ページかきたしたんですよ。今、「怪人アッカーマン」が別冊アクションで連載されてるでしょ。それやってますがね。

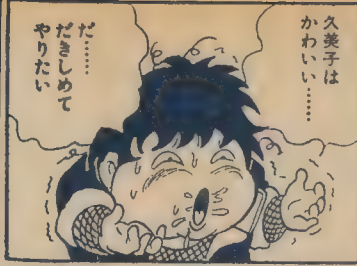
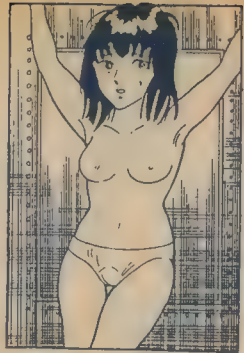
――では、昨年一年は充実した年といえますね。

まあ、そうね。

――ところで、新田さんのギャグの発想というのは、どういう所から出てくるんですか？読んでいると随分映画がお好きのようですが…。

そうねえ、映画は好きですよ。最近は忙しくてあんまり観てないけど、ラヴ・ストーリー以外なら好きですね。

――ラヴ・ストーリーはだめなんですか？

うん、だって男と女の騙し合いが見え

▲山本風太郎くん／ジャストコミック　光文社
しぶくきめてる忍者の山本くんは、女の人に近ずくと、皮がゆるんでほんとの姿に戻ってしまうのです。

▲怪人アッカーマン／別冊アクション　双葉社

▲ザ・ニッターマン／増刊アクション　双葉社

見えでしょ。猫十字社さんだったかな、少女まんがはキスにもっていくまでに50ページは使うって言ってたけど、僕のなんかそれこそ一コマですむからね。ああいう面倒なのは、ちょっと苦手だね。

――音楽はどんなのがお好きですか？

レゲエが多いね。あと、わりと派手なディスコ音楽とか…。

――ディスコには良く行かれるんですか？

そうでもないね。もうディスコって歳じゃないしね。

――でも六本木あたりなら相当の歳の人も来てますよ。

ああ、そうね。GIZAなんかたくさんいるみたいね。

――そうすると、体を動かすことは何かなさっているんですか？

あんまりやらないね。一昨年(おととし)だったかな、大友（克洋）さんの野球チームに入って試合したけど、ひどかったね。48対0で負けちゃって、回によっては一時間も守っていい加減ダレちゃったよ。僕なんか途中でアシスタントと交代しながら守ったけどね。なにせこっちのチームには女の子が二、三人いたんだから。高野文子さんなんか来ていたかなあ。

――なるほど。そうすると、今趣味というと？

ないですね。僕は無趣味な人間だから。仕事が趣味みたいなものですね。

――小説はどんなものがお好きですか？

高校の頃はよくSF読んでいたね。そのうち、大江健三郎や安部公房…今は山本周五郎、山田風太郎なんか好きだね。「項羽と劉邦」や「蒼き狼」は面白かった。ああいうストーリー物に最近は興味を持っているんだ。僕自身、これからは単なるギャグじゃなくて、ストーリー性のあるものをかきたいね。

――中国の歴史なんかを？

いやあ、そこまでいかないよ。歴史物を書くとなると、すごい史料が必要だからね。ギャグの場合は、わからなければ適当にごまかせるけどね。

――そうすると、81年はわりとストーリー性のはっきりしたものをおかきになりたいわけですか？

うん、そろそろね。

――では最後に、今年の抱負を伺いたいんですが。

うん、初詣に行った時は、まんがの大ヒットを祈願したけど、もう今はまんがはいいから愛に生きるって感じだね。

2月13日　仕事場にて取材
インタビュアー：編集部♀＋♂

浪漫チック、ヨーロッパ映画ですね

戦後、日本人をダメにする策として3つのSがアメリカから伝えられたという。Song、Sport そしてSex。日本の若者をこの3つに夢中にさせることにより骨抜きにしようということらしい。さてさて、わしらはすっかりアメリカさんの思うように踊らされてしまっているのではないのかしらん。〝ポパイ少年〟や〝J・Jガール〟が六本木や原宿をカッポして、クリスタル族がナウさの最先端をいっているのだから。

ところで新田さんのまんがは、セックスというものを全く日常的に感じさせ、臆する所なく表現しているから、イヤラしくも何ともない。第一、新田さんのまんがを読んで勃起したり潤んだりするといったことを聞いたことがあるだろうか？『怪人アッカーマン』にしたって、セックスなんてのは単なるジョークの手段でしかなくて、体位を幾つ知っているかというのは、ジョークを幾つ飛ばせるかという程度（いや、これは重要）のことなのだから。まして最近の新田さんのまんがは、パロディも巧みで絵柄も当世風になって実にシティ感覚にマッチしている。

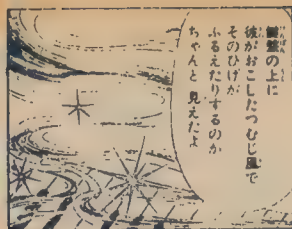
新田さんって映画やまんがのパロディがうまいんですよねえ。「怪人アッカーマン」の表紙は、浪漫チックなヨーロッパ映画を思わせる美しいもので、エロ・グロまんがのワクを越えている。こんなのを見せられると、新田さんて女性に対しての理想がすごーく高いんじゃないかなって気がしてしまう。

いずれにしても、本当のスケベまんがって他にあるような気がする、例えばあだち充さんのような。新田さんのまんがはやはり、男女共学高校、大学生向きなんじゃないのかなあ。

柴田尚栄（編集部）

©INTERVIEW

猫十字社
まんがしかなかった

★いやあ大変だったんです。連絡ミス、行き違い、すれ違い。こんなに予定が狂ったインタビューも珍しい。その上発売日まで遅れに遅れて…猫さん宮西さんゴメンナサイ。

▶小さなお茶会／花とゆめ 白泉社 何も事件が起らず、平穏無事な静かな世界、それが「お茶会」の世界なんです。つまり「黒もん」を逆にした世界ですね。

昭和三十七年三月六日生れ、順調に小中高を卒業するも大学で挫折。デビュー作「天使の一日」、代表作「黒のもんもん組」「小さなお茶会」

――「黒のもんもん組」ていうのは、ギャグじゃないでしょ。

形式としては、ギャグの筈なんだけども、そういう所からはみ出てしまうことはあるかも知れないなあ、とは思ってるんです。一応ギャグのつもりで描いてます。

――僕なんか見てると、割とシリアスに伝わって来たりするのね。それでね、まんが的な事を言えば、コマ割りあるでしょ。あれがギャグのコマ割りじゃなくてストーリーマンガのコマ割りって感じがするの。

あ、それは言えるかも知れません。だいたいね、ギャグ描いたことの無い人なんで、あのう、受賞作で初めて描いたの。今だにギャグのコマ割りを、やってないんじゃないかなあって。ていうか、少年マンガのギャグっていうのは、みんな同じアングルから描いてたりするんだけど、ああいう事が出来ないんですね。すごく不安になって。

――あ、解る。なんか同じ、例えばロングショットならロングショットで、人物が動く時に、一度に何動作も一コマでやってしまうというか、それが出来ないんでしょ。

あれは、ストーリーまんがには無いでしょう。

――僕なんか思うのは、ストーリーを解説していくコマ割りは、あれでいいかも知れないけど、感情的なコマ割りでしょう、猫さんにしろ、僕にしろ。だからね。あのう、FMで「現代の音楽」というのあるでしょう。ああいう音楽は、「小さなお茶会」なんかのBGMに良いのかな。

「お茶会…」の場合はクラシックで、割と描いてますけど。こないだは、「グレン・ミラー」で描いたんですけど。

――「お茶会」で好きなのは、6P位でただお茶を飲むだけの話とかね、なんかどっかへピクニック行くだけの話とかね。

それを言われるとつらい。

――いやつらくないんだよ。そういった

やっぱりシリアスまんがへの怨念というか、憧憬というか、なにかそんなものを感じてしまいますね。描きたいけど描けないという屈折が「黒もん」のおもしろさのヒケツじゃないですか。

黒のもんもん組/LaLa白泉社 独特のコマ運びで初めて読む人を驚かせたりしますが、よーするに論理の世界なんですよ。「黒もん」は。

の、とても好きなんですよね。

あ、そうですか。あのね、事件が起りようが無い時ってあるんですよね。自分でもわりと、そういうの好きだと思って描いてたんですけど、最近お茶飲むの飽きてきたんですよね。二人並んで、つまらないこと話して。

——それが、僕なんかとても良いけどね。なんか漫画といったら、ストーリーとかさ、変なものなけりゃだめみたいな、あるでしょ。割とそういうの嫌いなんですよね。単なるタバコを持つ仕草とかね、お茶を飲む仕草をね。その時々の心情で描けたらね。

私としてはね、もうちょっと雰囲気を大事にしたいっていうか。ネコでしょ、あれ、おまけにぬいぐるみみたいにブクブクして、ところがティーカップ持っても、全然持った感じしないの。

——僕ね、猫さんとお話したり、こう顔を見たりしていると、同性を感じるの。猫さんの中にね、男性をね。あのう、過去においてね、猫さんが一人で、女の身でありながらっていうと失礼だけど、何か猫かなきゃいけない、猫きたいと思った時に、性別を入れ換える努力というかね、なんかきっかけって言うか。あ、女の部分だけじゃ描けないって思った時ってのがあったのかな。

それはメチャクチャ疎外されていた時期があって、だから、まんがしか無いという状況にいっぺんはなったからじゃないかと思うの。それも十四とか十五位に、その、世間から追放されたみたいな形を味わったから、それじゃないかと…で…なんか罪人みたいな感じになってしまって、それからそうなったのかも知れませんね。もういいやって開き直ったってのもあるし。

——今年中になんかシリアスなものを描く予定とか。

ええ、なんとか一作はものにしたいと思っています。

——割と描きたいものって自分の中でいっぱいあるでしょう。

でも、そういう部分は、どこか殺してきたっていう所があって。

——期待してるんですよね。

まあ、今迄苦労してきたんですから、一本位描かせてくれても…。でもシリアスやって、今度は学園コメディー描けとか言われるんだったら、やめた方がいいなあって(笑)

——本当、シリアスなものを期待してます。

ありがとうございます。

インタビュアー:宮西計三(まんが家)

猫さん単行本持ってます

——まずは猫さんとのなれそめを。

僕が『コミック・JUNE』に描いてた時に、編集の佐川さんから、猫十字社という人が、そちらに行くかも知れないので、みたいなことをお聞きしまして。で、その後来られたんですけど、ただ出版社の方に、あまり外に出ないようにと言われているので、来てもらえないかと呼び出されまして、だからあまり良い気はしなかったんですけど。だけどその時は余り仕事がきつくなかったんで、かわいい子だったらいいなっていう、スケベ根性で行きましたけど。なんかトカゲみたいなアクセサリーを身につけておられていたのが、非常に印象に残っております。なんか変態チックで。まあ自分もかなり変態チックな人間なもので。

——作品の方は。

それまで、全然知らなかったんですけど、その時にお会いして、本屋さんでこれがそうですっていう感じで見せてもらって。ところがあの方、ご自分で、自分の漫画を読んで笑うんですねえ。ガハハと。自分で描いたのを見て、大笑いしているまんが家さんて、僕初めて知りましたですけどねえ。僕なんかも割とそういうとこあるんですけどねえ、やっぱり同病相哀れむでしょうか。なんか自分のを見て大笑いするまんが家さんて、良い感じがするんですけど。醒めた感じで見ているよりは、ずっといいんじゃないかなあと思うんですけどもねえ。

その後も何度かお会いして、それで単行本出たら送るって言ってたんですね。それで、じゃあ楽しみにして、買わなくていいやと。ううん…いつまでたっても送ってくれない(笑) 僕はちゃんとねえ、単行本「ラビリンス」出たら送ってあげたんですけどねえ。彼女はどうしたんでしょうねえ、全然送ってくれない。部数にしてもあっちの方が、ケタ違いに多いと思うんですけどもねえ。(談)

ひさうちみちお(漫画家)

INTERVIEW

はしもとてつじ

女の子とジョンと拓郎と

★ビートルズ少年だったはしもとさん。そして今、ビートルズは無くジョンは逝った。だけどここに過去も現在も、そして未来も生きている。

▲妹に……／『マンガ少年』朝日ソノラマ

ひさうちみちお

▼アッケラカンとカワイイ子を前にして、男はただテレてオロオロするのみ…か。
ミルキー・ウェイ／「GORO」小学館

本名　橋本哲嗣　昭和二四年生まれ
出身　福岡　高校は長谷川法世と同じ
デビューは「漫画サンデー」71年
代表作として「あした天気になあれ」「いらっしゃい青春」などがある。

――はしもとさんが、上京して漫画を描き始めたきっかけと言いますと。

やっぱり先生（真崎守）だよね。結局漫画家という目的をとるために、手段として先生の所には入ったのだけど、独立して一人で食い始めたのは、最近だと思うね、ここ三年位かな。

――それまでの自分は修業時代の一部と。

修業時代ッて言っても、何もやってなかったからね。

――自分の気持の上でのデビューと言えば一応三年前という事になります。

そうやね、長谷川（法世）さんの所やめた頃からやね。

――長谷川さんとはしもとさんの接点というと。

大接点は、高校の先輩という事と同じ漫画という事かな。だけど長谷川さんは、良き先輩であるというより、今は雲の上の存在という感じやね。

――真崎先生の所の修業時代と、長谷川さんの所のアシスタント時代と比べたら。

両方……、両極端じゃないけれど、わりと類似点のある人なんだけど、二人ともね。法世さんなんかわりと商業主義に徹する人やからね、あのくらい締切りをきちっと守る人もいないしね、いつも早いし、逆に先生の所では、仕事の厳しさみたいなものを習って来たしね。法世さんの所では描く楽しさみたいな、読者をどう楽しませて行くかみたいな、描き方の勉強をさせてもらったみたいね。

――今現在二人の子持ちですね、それで生活を背おって行くというのと、漫画家としての欲みたいなギャップは。

それは、食わす為に描くと言ったらおかしいけど、結果的に食わす為に描くみたいな風になっていったみたいなね、だけどあまり双方のずれみたいなものは、あまり無かったみたいね。わりと書けと言われたら何んでも描くのね。せっそう無いから（皆な大笑い）。

▲左からキシもとのり　宮西計三
キシ先生のお友だち／『漫画エロジェニカ』海潮社

▲はしもとてつじの描く女の子たち。カワイイ！上から「YOUNG ONE」、「君の心に夏の光を」（コミック・トム）、「あいつ気まぐれキスの味」（増刊アクション）

▶YOUNG ONE／「高2時代」学研

——はしもとさんの作品のおもに恋愛ものなんだけど見て、心地良さというのを感じるんだけど、その辺の原点を。

それは自分の色んな体験がベースになってるんだけど……。

早い話が振られっぱなしだったわけよ。もおオーソリティーみたいで（笑）。だから、振られない為には、あの時こう話してたら女の子の気持ちも、こう変わっていたのじゃないかってね。それでね、作品にシンが無いとか、振られた腹いせで書いてるとよく言われるのね（笑）。それで、自分の書く恋愛物と自分の体験が、たぶんダブッてるよね。それで自分自身で美化やってるし、こう成ったらいいみたいな作者の勝手でさ……。

——それで昔のはしもとさんといえば、女の子とか車の事とか、あとビートルズ少年でジョン・レノンが好きで、たぶん一番最初はしもとさんに会った時、「ジョンの魂」を持って走り回っていたのね。

完全なビートルズ少年だったね。第一髪をあんなに長くしたのもジョンのせいだったね。

——そう言えば昔は「ひばりヶ丘で一番髪の毛が長いのは、僕かはしもとさんだねッ」て良く張り合ったもんだね。嗚呼、ジョンが死んじゃったね。

久し振り泣いたね。ワンワンは泣かないけど、涙がチョロッと出て来たね。それで「Wファンタジー」買うかというと「ジョンの魂」又買ってってきちゃって。ジョンと言えば、いやになるほど、人間的で情け無い部分があったけど、それが良かったんだよね。

アイドルではもう一人吉田拓郎がいるんだけど。自分はいつまでたっても子供でさ、どうしても職業自身が、こんな職業だしね、子供の気分が抜けないんだけどね。

——はしもとさん自身、女の子と車とジョンと拓郎が原点と

いやあ、やっぱり僕だけじゃなくて皆などと思うんだけど、やっぱり家庭にこういう人間を育てた原点みたいなものがあったと思うんだけど……　それにね、女の子とかジョンとか拓郎なんかが影響して来たんだと思うんだけどね。

——僕なんか、はしもとさんに望むことと言えば、もっと描いてほしいのだけど。

それね、四月から事務所借りて、と言ってもアパートだけど、人ももう一人入れるけどね。だけど質落したくないね。

宮西計三（まんが家）

いつも何か楽しい日々の風が吹いている

僕が彼と会うことになったのは、真崎守さんのアシスタントとして上京して、彼と出合ったのですが、彼の田舎で描いていた作品を見せてもらった最初の印象は、彼の線にしろ背景にしろ、何かとても爽やかな風景、いつも何か楽しい日々の風が吹いているような、それが夢と言うか現実と離れた所で、彼の作品の中にある感じでがしたものです。そしてそれが今彼の作品に、より現実的な生活の場を接点とした所で、誰もが持っている共通項として、淡い恋であったり苦い想い出であったりします。しかし僕は現実としてそういった所で生活できなかったし、接っすることもあまり無かったので、もし僕がこういった所で女の子と付き合えたり、生活の苦しみを味わえたらそれはとても素晴らしくて良いなと思うのです。

彼とは付き合いも長いですが、若い頃の彼はとても〃清潔な青年〃という感じで、彼自身の描く主人公や登場人物に近いものであったと思います。それは僕などが、今彼の作品を通して見ても、僕の中からその作品との接点を見つけて懐かしむのでなく、はしもとてつじという人間の若い日の姿が浮かんでとても懐かしい気がして、僕が十年前に彼に会って好感を持った部分を、今も持ち続けているのだなという思いが僕の心をなごませます。だから僕と彼の作品を比較はでき無くて、僕と彼との付き合の他には接点は無いと思うし、それを僕が最初に彼に好感を持った部分と、今彼の作品を読んで良いなと思うところは変わりません。

僕にとって彼は付き合いやすい存在であり、これからもやはり友達だと思うし、別に僕達が描いている作品がうんぬんでは無くて、僕が今まで付き合って来た人が、あの様な作品を描く事、はしもとてつじという人間が、何故あの様な作品を描くかというのが、十年位い付き合って来て僕はにとても納得がいきます。だから彼の作品を読んで、又彼を再確認します。彼の中からあの作品が出て来るのは、「うん！なるほどな」と僕は感じて、とても安心感を覚えます。

宮西計三（まんが家）

⑬INTERVIEW

長谷川法世

「博多っ子純情」は世代が変わるまでやりたい

★この前初めて原稿を落としてしまった、と長谷川さん。そんなに気を落とさないで下さい。僕たちはおもしろい「博多っ子純情」を見ればそれでいいんですから。

このページのカットは、全て博多っ子純情／双葉社刊から取りました。
「博多っ子純情」は若い世代の物語であると同時に、また新旧世代の相克のドラマである。早い話が単なる青春ものにはとどまらず、人間が生きていく上での、全てのドラマのまんが化であると言える。

'45年9月6日、福岡県生まれ。本名同じ。'68年『COM』で「正午に教会へ」が月例新人賞受賞。その後、'72年に「痴漢」で本格的デビュー。現在も連載中の「博多っ子純情」が大人気をよぶ。『ビッグオリジナル』に「がんがらがん」、『ビッグスピリッツ』に「猫」を連載中。今年、小学館漫画賞を受賞した。

――昨年一年を振りかえっていかがでしたか？

あんまり思い切ってやれなかったですね。体の調子が悪くなりまして。仕事の量からいったら楽な筈なんだけど。

――「博多っ子純情」は長いですね。

5年目に入りました。正直言って今年でやめようかと思ってたのね。もう高校卒業するでしょ、今度浪人させようかと思ってるけど、大学入ったら、もし中退するにしても、3年はやらなくちゃいけないでしょ。どうしようかな、という時に小学館漫画賞をもらったということで、ま、続けよう、とね。

もともと続けたいんですけどね。続けられれば10年、20年やりたいんですよ。そうしないと本当の意味での「博多っ子……」は出来ないんじゃないかと。でも体のこともあるし、それだけにかかわってると他のが全然できないわけでしょ、続けるからには質を維持していきたいし。

――昨年は『ビッグオリジナル』の「がんがらがん」が始まりましたね。

この時期にあんな風なものをつくるってのはあまりないから、稀少価値だけでもみてほしい。もっとアメリカ側の方をやりたいけど、英文読めないし、準備期間もあまりとれなかったし。

――ああいうものを描こうと思ったのはどうしてですか？

二つありまして、まず本音は、体を動かしたい、太陽にあたりたいというのがあって、アフリカぐらい行きたいな、と。それなら海外ものを描けば海外旅行ができる、という（笑）。でも、アフリカは、

予防接種とか9種類くらいあって、肩が腫れるそうで。蚊はトンボくらいあるっていうし、この体力衰えた体じゃ死ぬぞ、と思って、ちょっと文明的な所でアメリカにしよう、アメリカに何があるかというと、ま、移民ものだろうな、と（笑）。

もう一つは、「博多っ子…」を描いてて、これは時代が入ってないわけですよ。一応現代なんですが。庶民の人情の機微みたいなもの描く時、時代入れちゃうと、ずーっと流れてる庶民の感情がでないような気がするんですよ。そういったものを排して、親と子のつながりとか時代に左右されないものを描きたかったので。でも、入れないと、六平が成長していくに従って、政治とかそんなのに関心がでてきた時、どうするかというのが難しいんですね。それで、時代的な背景があって、庶民的なものをやってみたいな、と。ぼくの中では「がんがらがん」は「博多っ子」を一歩進めたものだとして始めたんですがね。

――どちらもこの先ずっと続けて？

やっと日露戦争まできたんだけれど、やりたいのはやはり現代までというところで。「博多っ子」は、世代が変わるまでやりたい。六平の子供が中学二年までなって、そこで初めて庶民のまんがとして一つの作品としてできるんじゃないかと。ひとつの輪が回転すると。

――影響をうけたまんがというと？

手塚さんなんか一番好きだし、うしおそうじさんの「どんぐり天狗」とか、福井英一さんの庶民的な所が好きでね。手塚さんのはハイセンスというか、そういう所が好きで。昔から人間の感情なんかを描いたのが好きでしたね。

――最近好きなまんがは？

村上もとかさん、迫力あるし。「ガラスの仮面」とか、ギャグは「パタリロ！」

――これからどうしたいですか？

自分の中では、メジャーぽい所でやっていきたいな、と思うわけです。人に見せることがなかったら何にもならない。だから『ガロ』なんて読めないし……。メジャー指向なんです。これはもう、福岡県の人間の県風というか性格なんです（笑）。

――今年は二本の連載でがんばると。

そうですね。今のところ、これを充実させるしか手がないですね。あと荒唐無稽なものも描いてみたい。どれも自分の人生と半分重なったようなのばかり描いていますからね。

（インタビュー・編集部）

このページのカットは、全てがんがらがん／ビックコミック・オリジナル 小学館 から取りました。現代ものとは言っても、はっきりした時代を感じさせない「博多っ子純情」に比べて、明治時代という時代設定がはっきりしている「がんがらがん」の方が、よりおもしろくなりそうな気がするのです。

法世さんは　酒が恐く強い

あの細い身体で底なしなんです。ボクも酒には相当の自身はあるけど、法世さんと呑むと、おかしなことに負けてしまう。どこかでセーブしながら呑んでおられるのだろうけど、それが見抜けない。やはり強いんでしょう。

ボクは六年前、法世さんのアシスタントだったんです。法世さんがボクの高校の先輩だったから少しは甘えながら仕事ができるかもしれないと思っていたりしたんです。

でも違った、酒も強いけど仕事にも強い。あんなに睡眠時間の少ない人をボクは知らない。二、三十分の仮眠からさめたあと、パッと机に向い、もうGペンの音をカリカリたてている。こんなすごい人をボクは知らない。ある時なんか、ペンを持ったままの左手を（法世さんはサウスポ！）タオルかなんかでグルグルにしばりつけて、絵を描いている、ボク聞いたんです「なんばしようとですか、ケガでもしたとですか」　法世さん「いや一秒でちゃペンから、手ば離すとが惜しいっちゃん」　あ〜〜天才とは、これ程の努力をしているんだ。ガ〜〜ン、その項よく言われました。法世さん「橋本クン、あんたチーフやけんが、皆が帰ったっちゃ残って仕事ばしていきない」他のアシスタントが八時で帰ってもボクだけテツヤ、ガ〜〜ン、なんと法世さんもつきあってテツヤ、ガ〜〜ン、あの項、法世さん、いつ眠ってたんだろう。

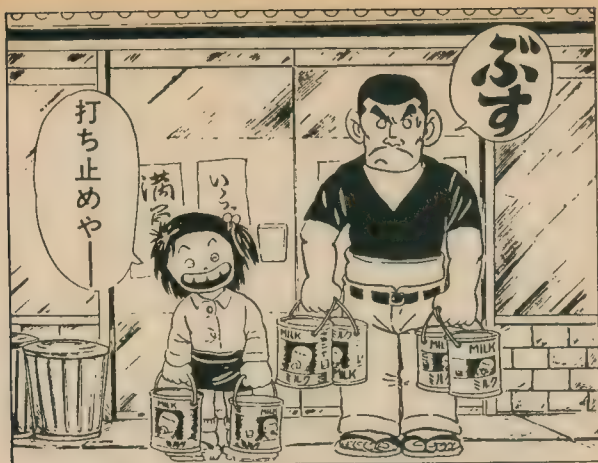
法世さんに、ボクが初めて逢ったのは、高校の時、その頃ボクは映研の部 やってて、法世さんは、もう卒業してて、美術部のOBだったんです。映研部室と美術部は隣ど−しで、法世さんよく、漫画描いて美術部に持って来てたんです。（そういや、あの頃美術部にかわいい娘がいたなや、マツイさ〜〜ん）その頃、見せてもらった法世さんの原稿！　もうピッカピカに光ってて、目がクラクラしたもんです（COMに投稿した「イヤダノダ、スキダノダ」だった）なにやかやあって小学館漫画賞をもらってしまった法世さん。いよいよ雲上人になってしまった法世さん、こんどまた、呑みましょ――、そんな時は、酔いつぶれんで呑みますけん。

はしもとてつじ（まんが家）

◎INTERVIEW

はるき悦巳

とにかく忙しくて忙しくて……

★「じゃりン子チエ」は、相変わらずの好調連載。チエちゃんがいつも元気な理由は、大阪人のもつバイタリティなんだろうか、はるきさんのもつエネルギーなんだろうか。

カットは全て　じゃりん子チエ／「漫画アクション」双葉社　より

◀一クセ、二クセもある登場人物たち　上から、お好焼屋のオッちゃん、右下が花井のオッちゃん、隣りはマサルと子分のタカシ、チエの親友ヒラメちゃん、その右のコマはチエとマサルのお母さん、一番下が小鉄とアントニオ。

'47年、大阪生まれ。'78年、『平凡パンチ』のまんが賞に「政・トラぶっとん音頭」が佳作入選。大阪の下町を舞台にした「じゃりン子チエ」（週刊漫画アクション）が好評連載中。現在、他に『ビッグスピリッツ』で「ガチャバイ」を連載。今年、小学館漫画賞を受賞。

——昨年はどんな年でした？

忙しくて。いつも同じですわ。

——先日は、小学館漫画賞受賞ということで、おめでとうございます。

どうも。本当は、あんまり人前に出たくないんよね。

——「漫画アクション」の「じゃりン子チエ」はこれから？

週刊誌やからね、先のことはあまり考えてませんね。

——間もなく映画もできますね。

アニメの方は全然タッチしてない。監督とは二度ほど会いましたけど。

一話一話がしっかり完結してないから、やりにくいんやないですか。単行本の1巻か2巻くらいまでという話らしいですね。ヒラメちゃんも出てこんいうし。一度見には行くつもりやけど。

『チエ』も3年になりますか。ちょっと難しいね。キャラクターが出来あがってる分だけ、こちらの思う通りに動いてくれんし。

——『カスタムコミック』でやった「日の出食堂の青春」は、また「チエ」とは違った感じで面白かったんですけど。

あれはもともと短編のつもりやったんよね。前後編で終わる予定が連載になって。ミッちゃんと迫丸が結婚するのでおしまいになるという。

何もせんとブラブラしてる連中の話やから、長くやってもしゃあないと思ってね。あのままやっといたら、回りの人間とかもいろいろ描かないし、きりないんや。

——『ビッグスピリッツ』で始まった「ガチャバイ」は？

「チエ」の時は読み切りで始めたから、ほんで初めからチエ中心でやったんやけど、今度のはまず全体を見せといて、関係をつくっておいてやろうと思ってね。

――まず設定をつくってから?

輪郭ができてから、咲を中心に動していこういう感じで。今まだ輪郭つくってるところやね。

――今年は、この2本でやっていく予定ですか?

あんまり沢山描けんしね。これだけでめちゃくちゃ忙しいわ。何でやろうな、こんなことなるとは全然考えんかったんよね。『アクション』通しての、ポスターなんかもあるし、なんか余裕ない。

――お子さんが生まれたそうで。

去年の6月ごろやったかな。同じ家の中おるのに、時間帯が違うやろ、すれちがいなんよね(笑)。

――今、月にどれくらい描いてます?

100枚ちょっとかな。苦しいわ。嫁はんが子供できてから手伝いできんようなったし。『アクション』でアシスタント募集を出すんやけど、まあカケアミくらいやけど、なんとか一人でもやれんことないやろと思うしね。

――ペンは何を使ってます?

大体丸ペン。背景なんかはGペンでやってます。

――最近面白いと思うまんが家は?

あんまり読まんのよね。いしいひさいちとかいしかわじゅんがいいね。いしいひさいちみたいに、あれだけ売れて表に出ないいうのはいいなあ。

いしかわじゅんの絵、うまいでしょ、面白いし。

――ファンの層なんかは?

直接来るわけやないから、よくわからんのやけど、かなりいろいろな層みたいですね。初めて手紙書くいう人なんか、けっこう多いようやし、60才くらいの人からも来ることあるしね。

――これから描きたいものなど。

描きたいんはいろいろあるけど、とにかく忙しくて描けんでしょ、だから考えてもしゃあない思うてね。

――「日の出食堂」も「ガチャパイ」も映画がよくでてますけど。

子供の頃は、映画館が近所にいくつもあったんよね、親に連れて行ってもらったりして週に2回くらいは見てたしね。好きなんやけど、近頃は見られへんね。「シャイニング」みて、おもしろかったわ。

まんがで何をしたいとか何を描きたいとかそういうことはあまりないのね、先のこと考える余裕もないし。

なんか、実りのないインタビューでしたね(笑)。

(インタビュー・編集部)

朋、遠方より来る

東京から大阪を見たら、どんなふうに見えるのだろう。東京の役者の使う大阪弁は、なにやら誇張が過ぎて、もう一つしっくりこないことが多い。だから多分そういうことなのだろう。

大阪に生まれ住んでいる僕の周辺では、当然大阪弁がしゃべられている。もちろん意識されることはない。大声が似合う訳でもなく、ひそひそ声が似合う訳でもない。言葉を〝コミュニケーション〟の道具と考えるよりは〝気持ち〟を放出するために使っているような感じが強い。大阪がある種の〝どぎつさ〟を持っているとしたら自分の気持ちにへばりついたところで言葉を使うことが多いからかもしれない。

そして、今よりも昔がそうだった。

僕が小学生だったころ(20年ぐらい前)の世間の雰囲気が「じゃりン子チエ」の中にはごく当り前のような顔をして存在している。しかし別段、懐しいとは思わせない。それはそこに描かれているものが、現在とさして隔りを持っていないことの証明でもある。

現在ということで言えば、大阪の北は比較的東京風で、南がいくらか遅れていて、天王寺あたりは取り残されているということになる。その遅れ加減や取り残され具合いが面白いとされている反面、大阪全体は東京を指向する速度を緩めない。

何が生まれて、何がなくなっていくかは別として、はるき悦巳の筆先は経続されていくものを捕えて離さない。しかし、その〝継続〟に対しての思い入れは見当らない。このことが、一種の散慢さを感じさせる。

当初「じゃりン子チエ」は何となく読まない作品の一つだった。しかし〝続む気〟を起こして読んでみたら、とても面白い作品だった。そしていつの間にか、大ヒットになっている。僕としては、東京へ行っていた友達が帰って来て、昔の楽しかった話に、割と淡々と合い槌ちを打ちながら、それでいて結構楽しんでいるといった風なのだ。

(わんだ～らんど通信編集長)

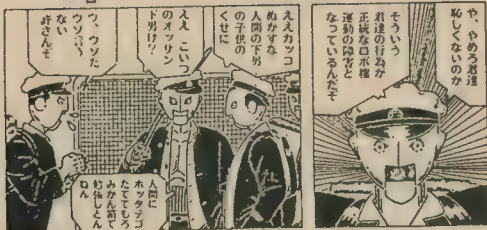
南端利晴

INTERVIEW

ひさうちみちお

そおゆう面白い事は、時代のマンナカで起るのであります

★去年も傑作怪作をゾクゾク発表のひさうちさん。今回は編集部で用意した質問に答える形で原稿をまとめて下さいました。

▶職員会議／「罪と罰」けいせい出版より。
▼山本さんのおじいさんの場合／「マンガ奇想天外」奇想天外社より。

51年生れ、76年デビュー後ガロ・JUNE、大快楽等の誌上で活躍。昨年は漫金超に意欲作を、またSF作品も手がけファン層を広げる。一昨年の第一短篇集「ラビリンス」に続き「アポクリファ」(ブロンズ社)及び、にっかつ映画「快楽学園、禁じられた遊び」の原作に使われた「罪と罰」(けいせい出版)と二冊の単行本が刊行され、人気に拍車がかかる。売れている！今年はブロンズ社から絵本が出る(4月か5月頃) 宝島連載を見てもらいたいとのこと。ガロにも描くソーデス。

映画の原作に使ってもらったのは大変めでたい事でした。特に神代監督が撮って下さるとゆうのがマコトにめでたかったです。作品そのものに関しては長くなるのではぶきますが、要するにヤラシクて良かったと思います。映画の見方とゆうのは特に考えた事はありませんが、小学生の頃は昼の3時頃からテレビでやっていた奥様映画劇場かなんかを見てました。何故かイタリア映画ばかり記憶に残ってます。中学生の時はそうゆう映画をきれいさっぱり忘れて日曜日に街の映画館へ007を見に行って映画とはこおゆうものだと思ってました。その後は東映の仁侠路線、高校を出て一年ぐらいしてからカリガリ博士とかブニュエルを見て認識が変わりましてその後は時々自主上映などで昔の名画やそうでない映画を見に行ったり、むつかしい映画もタマ～に見るようになりましたが現在では年に三、四回ぐらいしか足を運びません。

職業としてのまんがを意識したのは二年前ぐらい。例の大快楽(当時の)とJUNEから仕事をもらうようになってからですが高校を卒業するまでは、かなり本気で自分はマンガ家になるんだ、と決心してました(十二才頃から十八才ぐら

▶ヨセフ／「漫金超」チャンネル・ネルゼロより。

いまでの間）　まんが以外でも自分に出来て面白いものがあればやってみたいですが今は特に希望もありませんし、マンガとゆう形式から他の形式へ移る前に、もっとまんがとゆう形式をいじくりまわして変容させる事の方が興味深いです。基本的にはまんがとゆうのは面白ければ何をやっても良いし、そのくせ今だに何一つされてないのがまんがだと思います(形式に関して）でも絵（色のついているの）は描きたいです。

時代の先端を歩いているとは考えていません。ボクがまんがのテーマとして興味があるのは生活の中で逃れようなく定着してしまっている（へばりついてる）思考なり観念なり事物なり現象ですので時代の先端を歩いているものはハナシのタネに成り得ないわけです。ただ絵に関してはそうでない事もあるのですが、それでもやはり最近はいろんな新しい絵を見て自分の線を模索するよりは日常生活の中でその絵が否応なく与えられた使命によって埋もれてしまってるのを抜き出して模写したりするのが好きです。最近トチ狂ってる「アソコ」と「不幸」の活字を一所懸命手描きする不毛っぽい楽しみもそのセンでやってます。こおゆう事はもう少しむつかしく芸術の人なんかが以前からやっていたかも知れませんが、しかしまんがでこそやらなければならないと思うのですワタシは。芸術と言えばカッコイイ評論家のオジサマの東野芳明先生が二、三年ぐらい前にある雑誌の中で「ポップアートの作家達ほどその時代の現実を肯定し芸術が大衆のレベルに遅れをとっている事を知らしめようとした芸術家達はいない。ところが大衆は、芸術が自分達より遅れていては芸術をありがたがるワケにはいかなくなるので皮肉な事にもそんなものは芸術ではない、と拒否した…」とかそんな事を書いておられましたがそれさえも六〇年代の、今から考えれば素朴な現象だったですね。無論先生はポップアートの開花期の事を言っておらるわけですが、とにかくそれが76年か77年かにウォーホール先生がイレブンに出て大丸あたりが展覧会など開いてヤングがつめかけてインタビュアーに「きれい」とか「いんじゃない」とか素直に感想など言って受け入れている図はさすがにポップアーティスト達も予想しなかったでしょう。この十年以上遅れたしかも日本でのちょっとしたブームは一体芸術が大衆に追いついたのでしょうか、大衆が芸術に追いついたのでしょうか、それともそおゆうニュートラルな問題とは関係のないアサッテの出来事なのでしょうか。とにかくそおゆう面白い事は時代の先端で起るのではなく時代のマンナカで起るのであります。

〈編集部筆記インタビュー〉

きっとモダンなのです

全部の作品を読まないと気が済まないとゆうのはなぜか、と考えてみました。読みかえすとゆうのは、人に宣伝する時どのようにおもしろいのか説明し、説得するために詳しく知っていないといけないと思うからですし、自分でもその発想なり方法をマネて使ってみたいと思ったりとゆう恐れ多い考えをいだくからなのでしょう。だからたぶん新作を期待するというのは、また別な理由があるわけです。それは、すでに語られみせられた形では無く、また別の他の新たなおもしろさを期待するということです。逆にいえば、おもしろさという点にのみそれら諸作の魅力がある以上、その産出される作品はさまざまな形をとってしまうのだと。だって同じパターンでおもしろいものがあるし、同じパターンだからこそおもしろいというおもしろさもあるではないかといわれるかもしれません。そーゆーおもしろさではないんです。いわばモダンなおもしろさといえるかもしれません。求道的でないおもしろさ、こうゆうパターンはおもしろいのだと決めてかかったおもしろさではなく、おもしろい事というのはこんなにあるんだよ、とゆうおもしろさなのです。

私にとって同じように全作品を読まねば気が済まず、また新作を期待する作家として筒井康隆がいます。誰は誰それに似ているというい方は一番容易でまた失礼なことと判っていながら、それでもひさうちみちおはまんが界の筒井康隆であると宣伝して歩いております。筒井康隆は人生をいかに生くべきかを語りません。主体性の変革を迫らない作家であるともいわれます。まさにそれが現代感覚なのではないかと思うのであります。おもしろさだけを問題にします。

だから創作活動に関しては節操の無い発想を続けます。しかし社会生活を営む上では、節操の無い事は問題があります。そんなことは百も承知でしょうから、きっとノーマルな社会人にちがいないのです。ひさうちみちおとゆーひとは。

和光大学ＳＦ学会
山下聡輔

平口広美

★あの楚々とした美少女の広美さんがあんなまんがを描くなんてショックでした。自画像の方も恥しいとかで非公開。

私、少しおかしいみたい……

本名・同じ。昭和25年3月11日北海道生まれ。昭和43年上京、東京デザインカレッジ入学（経営不振で一年後廃校とのこと）、昭和51年に神田の美術学校入学。通うかたわら『大快楽』への持ち込み、デビューとまんが家への道を歩む。

◉平口広美さんのインタヴューは、最近引っこして来たばかりの平口さんの自宅。西武新宿線花小金井の駅から歩いて15分。東京郊外、畑をつぶしてあちこちに家がたちはじめている。騒音に対して極度に神経質な平口さんはようやくここの一軒屋に越してきて落ちついたという。同居人、猫が数匹。質問は平口さんのまんが仲間、勝川克志氏にお願いした。

平口　昨年の暮れだっけ、ナイロン100％でほら、渋谷にそういう個展…。ギャラリーみたいなとこ有ってね、そこであの～ひさうちさんと衣良さんとナベゾーで原画展やったの。その時にね、サインして…俺が。いやー、その時、平口さんですかって女の子ふたりいてね、サインしてやった。そしたら年賀状が来てね。で、こっちから連絡するのって何となくイヤじゃない。何かさ。

勝川　年賀状の返事って手もあるじゃない。

平口　うん、出した。すぐ、封書で。そしてすぐ引っ越しの案内出したの、越したんでね。

勝川　しつこい。

平口　それじゃってよ、あんた、女のファンって初めてじゃない。

勝川　でも、こっちから出すと恥ずかしいって言ってたじゃない。

平口　でも最近は、そうも言ってられない。

そしたらね、この前4月…あのほら、ミス・ワイコフってやってたでしょ、この前。あれん時ね、あの日だよ。あれを見てたら電話来てね。あれ見ながら電話で話して、2時間、で頭おかしくなって、テレホンセックスみたいな話になって。

勝川　初めてなんでしょ、話したの。

平口　うん、いやそのサインの時、ちょっと話してね。何かマンガ家らしいんだよね。ララとか言う雑誌、ララに最近載り初めたって、2人で住んでて2人で描いてるって。…（中略）

勝川　例のあの話もいっかいする？しょうがないから。

平口　どうゆうの、のぞきとか。

勝川　あのトイレのぞく。

平口　のぞき、またですか？

――便器にもぐりこんで？あ、違うか。

勝川　便槽にもぐりこんで3日間とか……

はははは。

平口　押し入れの上から上がれるじゃない。普通ね。あの屋根裏の。

――ここですか？

平口　いやあの、練馬に居たときだからもう大分前、5年、もっと前かな？7年ぐらい前。6帖6帖だったのね、押し入れはさんで。こっちにトイレが有って、あて押し入れが有って。玄関があって便所が有って押し入れが有って。対称なのね、玄関はさんで押し入れはさんで。

勝川　あ、2世帯なの？

平口　うん、6帖の一間づつ。そいで押し入れからすぐトイレ行けるわけ。あっちの押し入れが見えるんだけども、それがこう夕ケの部分が開いてててね。むこうには行けない。だけどトイレには小さい夕ケだったんで、動くと見えるわな。すぐ

カットは全て**白熱**　けいせい出版より

そっちにトイレ行けてトイレに（聞きとれない）ところ開けて。でも結局上からだから、このへんしか見えないわけ、しやがんでも。（中略）

勝川何か平口さん、合鍵作って（女の子の室に）入ろうとしたとか……

平口あ、それはあの、そのカイバンドが入って来る前。

—何、女の子の室に？

平口女の子の室に。正月すぎ魔がさして。正月ってほら、学生が多いから皆んな帰っちゃうじゃない。そして俺しかいないんだよね。2階の、下の2階とあんだよね。俺2階に住んでて。皆んな帰っちゃって俺しかいないじゃない。そして俺酒飲んでて、なぁーんかね。つい、トイレ共同でしょ。トイレ行ったりなんかして。そいでシーンとしてるでしょ。つい、つい酔った勢いで鍵いじくってたらね。ひっかかったんで力一杯（針金を）ぬいたのね。そしたら、ぬいたら半分とれてきたわけ。鍵の、こう戸があってこっちとこっちがあるみたいで。（中略）そいでね、あれんときあせって、あっ、とれちやったって思ってね。今人が来たら何て言い訳しようって…（ワハハハハ）（中略）

勝川何か新しいフィルム入った？

平口イヤ、入ってないよ。いいのこんな話。うん、やっぱあきるね、ああいうの。疲れるね。もうちょっと鮮明かと思ったんだよネ、始め。ンで一時停止ボタンで止めて写真撮ろうとかと思ったの、でもあれじゃぁネ。

勝川　写真撮れるの？　あ、ブレちゃうかな。

平口うん、ぶれちゃうし、アレはやっぱりちょっとね。撮ってもあまり資料にならない。あれだったらビニ本の方がまだイイね。

（※註■ここでいうフィルムとは、ラブホテルで客の消し忘れたビデオテープを極秘ルートで入手したもの）

勝川でもやっぱ、あれはハクリョクあるね。

平口でしょ。

勝川目に焼きついてる。やっぱ、嘘が無いカンジで。

平口うーん、でも普通なのかな。ああいうの。

（インタヴュー／勝川克志）

広美さんのこと

平口広美さんは今年二十二歳。京都の生れ。欧米に二十八の洋装店を持つ平口財閥の娘さんで、去年白百合学園を卒業された

私は五年ほど前にユトリロの展覧会を観に行ったとき、友人に紹介されたのがはじめてだった。私が画家であるということもあってその後よくいっしょに展覧会を観に行ったりしているが、いつも白いブラウスにチョコレート色のスカートで着飾っている。それがよく見ると、いつも少しずつ違っているので、一度聞いてみたら、白いブラウスだけでも二十枚ほど持っていると言っていた。おそらくチョコレート色のスカートも、生地や色が少しずつ違うものを何十枚も持っているのだろうと思う。

いつも柔らかく長い髪、そしてふわりと白い頬が印象的である。それにいつもうっすらとしか口紅をつけていない肉感的な唇が魅惑的である。広美さんと会っているときは、私はつい上品な言葉づかいになってしまう。自分でも一瞬恥ずかしくなる。だけど自分をキザだとは思わない。広美さんの体のまわりに漂っている香りのようなものが、私を自然に上品にさせてしまうのだろう。（中略）

その広美さんがマンガを書いていると聞いたときは意外だったが、そのマンガをはじめて見て驚いた。ほとんど顎然としたのだ。物凄いのだ。私はそのときのショックを忘れられない。あの広美さんが何故こんな下品なマンガを、—私はあえて"下品な"と書いてしまったが、じっさいの広美さんがあまりにも、細雪のように美しいので、私はこう書かずにはいられないのだ）あの広美さんが何故こういうマンガを書いているのか、私にはいまでも理解できない。理屈では言えることもあるだろう。精神的にも肉体的にも、あまりにも澄みきって美しいものは、ひっそりと汚物に魅せられる、そういう説を読んだことがある。だけどそれは理屈だ。あの長い髪、白い頬の広美さんが、白いブラウスからのぞく細い指で、このようにペンを走らせていたのかと思うと恐しくなる。あの黒い、夜の海のような眸の奥で、あの人は何を考えていたのだろうか。（中略）

こんど広美さんの作品集が出ることを噂で聞いた。そういう本にはよく著者近影という写真が載っている。広美さんは自分の写真を載せるのだろうか。いや載せないと思う。もし載せるとしても、それはきっとどこか、三分間写真ボックスの屑入から拾ってきたような、自分とはまったく縁のない、見知らぬ人の顔写真を載せるのに違いない。広美さんはそういう人だ。そういうイキな、そして拒絶的な魅力を持った人なのだ。

私は結局広美さんのマンガについて、まだ一度も本人にたずねたことがない。だけどたずねなくてよかったと思っている。これはやはり妄想なのだ。広美さんがそんなマンガを描いているなんて、いまではもうとても信じられない。このマンガを描いたのは広美さんではないと思う。そう思いたいし、そう思うほかはない。きっと人違いである。私はいつもそう思おうとして、渾身の力を込めて努力している。また展覧会が近づいて来る。今度はグリューネワルトの展覧会である。

赤瀬川原平（まんが家）

「マッスル」ブロンズ社　より

INTERVIEW

福山庸治

ブラックというより灰色ユーモアですね

★80年は単行本を二冊出された福山さん。意外なことに、これが初めての単行本だそうです。「やっぱり本が出ると描くにもハリが違います」とか。

▲戦争の季節／「誘拐ローン」　▼西武沿線異常なし／増刊アクション

'50年5月20日、大牟田市生まれ。学芸大在学中、『漫画アクション』に持ち込みで採用され、以来今日まで多くの青年誌に描いている。去年「私鉄前線」「誘拐ローン」の2冊の単行本が出た。

—福山さんは、まんがを描いていて、人がイライラする方へ話をわざともっていっているような気がするんですが。

そうですか。うう〜ん…そう、人が嫌がる方がいい。僕の中ではその方がおもしろい。だから割と人情っぽい話には抵抗あるんですよ。どうも素直になれない。本人は素直な性格なんですけど(笑)

—去年は福山さんにとって転機だったんではないですか。というのは雑誌ごと、作品ごとに絵が変っていったでしょう。

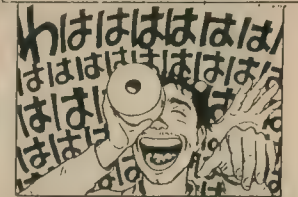
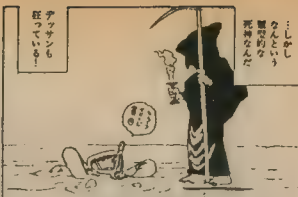
去年ということに限らず、意識的に絵を変えていってるんです。前の絵に飽きちゃうんですよね。おもしろくないと思うから、よりしっかりした絵を模索してスケッチしたりしていく。そうでもしないと、そうそういい絵は生まれないもんです。もちろんその途中で誰かのに似たり、影響受けたりすることは有り得るしようがないことですね。

作品の種類によって絵柄を変えてみるというのも無論あります。まあ暗っぽい絵でギャグをやってもしょうがないですからね。

—ギャグだと特に、読み手の期待を裏切ろう裏切ろうという気持ちがあるでしょう。

やっぱりステロタイプに流れるとおもしろくないですよ。実際つまらないですからね、そういうのは。人を喰ったようなのがおもしろいんです。

—福山さんのまんがは、一つの情景があって、それをもとに話をふくらませていくというタイプだと思うんですが。話を異常な方へと…

そうですね。それはあると思います。常識というものを拡大していくと、非常識になっちゃうでしょう。例えば年度末調整の予算の帳尻合わせで、三月になると急に道路工事が増えるとかいう、普段何でもない事が、ちょっと場面を変えてみると、ひどい非常識になってしまう。

▲▶死神交換イタシマス／「マンガ奇想天外」より

そういうような所がおもしろいんですよ。そういう意味では、サラリーマンの日常なんかが、一番「常識」として捉え易い材料ですね。

――現在の福山さんのまんがは、いわゆるスラップスティックが主流みたいですけど、デビュー当時はどうだったんですか。

最初の頃は、かなりテーマ偏重主義というか、非常にシリアスなものをやってました。今でもそうですけど、不条理劇が好きでしたので。二作目の「靴」というのもそうでしたし。で、ずっとシリアスなものを描き続けているうちに、自分の中に蓄積されたギャグを出したくなって、それ迄とは反対にエンターティメント指向になっていきました。

――小さい時に読んでいたまんがは？

「COM」や、「鉄腕アトム」の「少年」。あの頃の手塚治虫はもう僕等にとって神様でしたね。一時否定してた頃もあったけど、やっぱりすごい人だと思います。アニメにしろコマ漫画にしろ、部分的にはもう随分超えられているんでしょうが、トータルな所では超えている人はいないでしょう。今はある方面のスペシャリストが多いですからね。

――もう10年間まんがを描き続けておられるわけですが、それだけまんがというジャンルに対するこだわりがあるわけなのでしょうか。

いやあ、というより30才じゃあもう転職できないしね、諦めですよ（笑）ただ最近、まんがで自己主張できる、自分のクレジットでね、これは割と大したことじゃないかと思うんです。あとまんがが独自の可能性、めちゃくちゃやれるでしょう。音楽やイラストとも違う表現ができる。つながりがあり、デフォルメしたり途中で読み返したりできるでしょう。もちろんとていやり尽せるものじゃありませんけどね。

――今後はどのようなものを描いていきたいと？

僕のまんがは、せこい話が多いから、長編ドラマというか具体的な拡がりを持たせるのは難しいけど、読者の想像力が拡がるような作品を描きたいとは思いますね。

学生時代からそうですけど、自分にはどっか醒めてる部分があって、ストイックじゃない。求道的じゃないんですよ。だから、自分の人生が楽しければいいと思っている。それで今、ブラックユーモアというより、灰色ユーモアですか、その線でやっているのが居心地がいいんですね。その場所は今後も刻々と変わっていくんだろうとは思います。

本誌編集部

好きですね、ぼく

えっ福山さんですか？　一度会ったことがあります、そうです青梅までたずねて行ったんです。「私鉄前線」を読みましてね、あれの一回目がスゴく好きだったんです、もう四年程前になりますね――そう、今度単行本になりましたね、ええ懐かしくて、買っちゃいました私。

福山さんの作品というのは、大変に読みやすいんですね、なんてゆーかチョット軽くてシャレた感じのタッチでしょ、だからスッと読み終えてしまうわけですが、ところが軽く読めてしまうくせに、実はすごくコッてある所があって、その辺の微妙なバランスとゆーか、それが後で気になるんですね、例えば「私鉄前線」の単行本にも収録されている「ハンプルパイ」ですね、これなんか主人公がうしろ向きに歩いてるシーンがあって、女の子と歩いてるんですが、足元を描いたコマが二人向きあって描いてあって、最初何かなと思ったんですが、つまり話しながら主人公が先を歩くもんだからこうなるわけで、でも余り見ないんですね、そういう描き方って、その辺が、こう気になるんですね、で、また読み返したりして結構何度も読んでしまうわけですが、気になるコマ、気になるシーン、でもって気になるタッチってゆーんですか、最近特にウマいなぁと思って気になることが多いですね。

『蝿』っていう作品がありまして、その原画をたずねて行った時にみせて貰ったんですが、良かったですね、非常に変わった原画だと思った印象が強く残っています。あ、そういえばあれまだ単行本になってないでしょ？そうなんですよね、僕が印象に残っててまだ単行本になってない作品がかなりあるんですよね、なんとかなりませんか？　実際、既刊の二冊はかなり良い単行本です。ええ、だから楽しみにしていたわけです、今回うまくいけば会えたわけですから――残念ながらそうはいかなかったのですが、でも前に会ったことなど、きっと福山さんは忘れていらっしゃるわ、いいのよ私なんかア――（といって遁り去るうしろ姿）。

注　契茶店でこれを書いていて女子高生がとなりでうるさくて、気分が少し乱れました。内容はマジです。

飯田耕一郎（まんが家）

星野之宣
正統派とは言われるけれど…

カットは全て「妖女伝説」／集英社刊より取りました。

★去年一年間は集英社を離れて、色々な雑誌に描いてみたという星野之宣さん。まあ、色々と面倒くさかったようで、今年は『ヤング・ジャンプ』一本だそうですが…

一九五四年一月二九日、北海道帯広市に生まれる。デビュー作から一貫して本格的なSF作品を発表し続けている。

代表作「巨人たちの伝説」「妖女伝説」

まんがを描く時に、先ず念頭に置くことがありましたら、お話して下さい。

まず読者に解ってもらおうというのが最初にあるでしょうね。別におおげさな物を描こうという気はないですから。解ってもらえないと意味がないというか。それは「少年ジャンプ」の頃から良く言われていました。あそこはみんなそうですからね。なんかそういう気風に染まったというか。特にSFなどというのは、ヘタをすると一人よがりになってしまう。よくアマチュアの描くものが一人よがりになっている傾向があるけれども、そういうのを目にするにつけて、絶対に一人よがりになってはいけないと思ってます。一人よがりにならないということは、やっぱり解ってもらうということですからね。

――デビューから現在まで、SF作品を描き続けているわけですが

SFを描いている、という自覚は前からあります。

誰でしたか、ポーランドのSF作家が自分の作品がそのままSFの進化を物語っているというようなことを言ってましたけど、それに近いですね、意識的には。自分で描いてきたものが、SFの進化の中できているんじゃないか。それは進化の最先端をいっているというんじゃなくて、自分のものがSFの進化の歴史に沿ってきたものだということですが。

――SFという全く架空の物語を描き続ける事というのは、かなりしんどいという気がするのですが。

現実の世界を舞台に日常生活を描き込んでいくという方法と、架空の世界を舞台に非日常の出来事を描き込んでゆくという方法と、どちらが楽かという事は一概に言えないですけど、有るものを描くというのは、それを知らなければならないし、その通りにしないといけないですからね。全然無いものを描こうとしたら

頭の中で描けるから楽なんじゃないですかね。

ただ全く頭の中で考えて、それをストレートに出してきてしまうというのは、楽なような気がするんです　架空の説得力のある材料を放り込んでいって、それて全く異質の世界を作り上げて構築してゆく、そんな過程があってその世界か伝わってくると思うんです。そっちの方が大変なような気がするし、自分でもその方が好きですからね。

——構築ですか。

ええ、必然性があると思うんですよね、自分で。これは絶対こうでなければならなかったってね。だけどまるきりでためな世界というか、構築材料がない世界というのは、どうにでもなると思うんてすよ。別にそうなる必然性はないし、こうでもできる、ああでもいける、そういうのはやっぱり隙があるんじゃないか、そして描いてても余り気持ちの良いものじゃないですし。

——今後はどの様なSFを。

まあ、どっちみちSFっていうのは、相当大きな世界て、色々な形かあってもかまわないと思うんです。ファンタジーは含まれるだろうし、P・Fというような物も含まるでしょう。だからどういう分野に行ってもかまわないでしょうし。

ぼくもよく正統派だとか言われますけど、「正統派SF」というものだけでも相当広い分野なんですね。だから正統なら正統でも構まわないんだけど。まあ自分の守備範囲みたいなものを、一通り回ってみようと思うんですけどね。

——他に何かまんがを描く上で意識することはありませんか。

まんがの形で映画をやりたい。そんな意識はありますね。しかしたった一人で映画を作ることはできないからマンカて描いているんです。つまりもし自分が脚本を書いて、それを映画化しても、役者とか監督という他人が介在することによって、結局自分の抱いていたイメージと全く違うものになってしまう。つまる所自分の満足のいくようなものかできるのはまんがしかないんじゃないかな

——小説はどうですか。

ぼくは視覚的イメージが先にあるんです。だからまんがて描いた方が早いんでしょうね。単に頭の中にあるイメージを言葉て表現しようという考え方てはない筈てす。これはやはりまんが家の考え方てしょう　ぼくはやっはりまんかを描いていた方がいいです。

（編集部）

完璧なサポートをします

星野さんは、僕たち編集の人間に言わせてもらえば質の良い読者がついてくれる作家なのよ。データを言えば二月の末に出した単行本の「妖女伝説」なんかは一週間たたないうちに、もう増刷が決定されてます。

まあ、一番「妖女伝説」の中で人気があったのは「月夢」なんだけど、これは星野さんにとってもかなりの自信作なんですよね。もちろんそんな事は、あの人はおくびにも出さないんだなあ。あの人はそういう人なんだ。原稿をこちらに手渡す時も、いくら出来栄えに満足していても、いつも不満気な顔で渡す。

とにかく、うちの雑誌でも、諸星さんと星野さんだけは別格てね。他の作家と違って、ゆったりとしたペースて描いてもらっている。タイプが全く別なんだなあの人達は。せっついて、良い作品が描ける人達じゃないんだ。結局はじっくりと練る時間をとって、取材を重ねて、その結果本領発揮できるタイプなんだな。もちろんこれは質の良い読者がついてくれる作家だから出来る事なんだろうけど。

星野さんの絵、うますぎるんだなあ。おかげでアシスタントが余り使えない。〆切りまぎわになって、弟さんと、あともう一人に手伝ってもらう、あとは僕がベタを塗る程度。とにかくヘタに他人か寄りつけないのよね、あの絵に。

星野さんは、『少年ジャンプ』から、うちの『ヤングジャンプ』に移って来たわけなんだけど、まあぴったりですね。「妖女伝説」なんかうちでなければ描けないでしょう。それに、こう言ってはなんだけど、うちは星野さんを完璧にサポートする自信がある。たいていの資料なら捜し出してそろえられるし、取材もきちんとやってもらえるようにできるし。実際の話、今度星野さんと沖縄へちょっと行くんです、次の長編の取材で。まあ、これは集英社みたいな所だから出来る事だろうけど。

『ヤングジャンプ』の、作家の担当者の決め方というのは、とにかくやりたい奴が担当をやるというシステムなんだけど、まあ良かったですよ、星野さんの担当やれて。

大門千春（談）
（ヤングジャンプ編集）

御厨さと美

★どんな作品でも、自分なりの確かな知識と意思表示に裏づけされた御厨作品。それにしても、今回ノーラとの別れは中途半端だった。又近いうちに彼女に会いたいよ、御厨先生。

現実とフィクションの境い目でやってます

▲惑星ギャラガ／「ポップコーン」光文社

▼裂けたパスポート
／「ビッグコミック・オリジナル」小学館

'48年5月20日、長崎県生まれ。本名御厨哲美。'67年早稲田大学入学、漫研に入る。その御、フリーライターして活動、'72年「JL72」がビッグコミック大賞入選第一席となり、現在も精力的に活躍している。代表作に「裂けた旅券」「ノーラの箱船」「シンデレラボーイズ」など。

——去年はいかがでしたか？

去年は惨々だったんじゃないかという（笑）。初めて原稿おとしまして。

——病気で？

風邪と腱鞘炎で。2本たて続けに…。最近、それで手が痛くってね、どうもペンタッチが変わっちゃった。

僕が一番いい感じで描けてる時って、なんか不自然なんですよね、手首がかえってるみたいで。そうしないと、おもしろい線がでないんですよね。

——今は意外といい感じで？

そうなの。いい絵ってのは、自然な時に描ける筈なんだけど……。自分としては描きすぎだな、と思ってる。大したページ描いてないんだけど。

——月に何枚くらいですか？

120枚前後かな。けっこう多いか、大友克洋の倍は描いてる（笑）。

——デビューしてから何年になります？

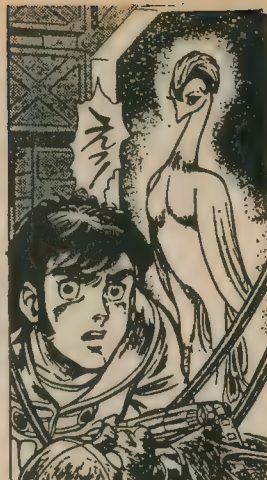
一番最初めからすると、12年くらいかな。まんが専業にしてからは、まだ4、5年くらいで、それまではつかず離れずブラブラしてた。年に一作なんて年もあったし。多くても2ヶ月に一ぺんくらいしか描いてなかった。

——現在は？

『ポップコーン』が休刊になって、『惑星ギャラガ』が空中分解してしまいまして、どこか引き取り先がない限り、無理と。ああいうオフセット印刷の本じゃないとダメですからね。何とか完結させたいんですがね。これから佳境に入る所で、という感じで。続くも何も「どうもすみません」も書けないで消えるというのはね。

続けて「NORA」も空中分解です。『マンガ少年』が休刊して。12回のつもりだったんですが、9回で終わりで、どうやっても終わらないという（笑）。

——ノーラは何度も登場しますね。

『ビッグオリジナル』から始まって、『まんがドンキイ』に移って、『漫画アクション』の別冊でやって、『マンガ少年』が休刊で、お先真暗（笑）。もう四代目なんだね。一人一人違うの。足の長

▶火の鳥2772
／「マンガ少年」朝日ソノラマ

NORA
／『マンガ少年』朝日ソノラマ

さなんかも、ちょっとずつ違ってる。

――これからノーラは？

途中で休刊てのは、やっぱりめげますね。どうしていいのかわからない。茫然というか（笑）。かわいそうなキャラクターです。完結するにしても掲載する雑誌がないんで……。自主的に単行本用に描くってのは、ちょっとできないですし。

――『裂けた旅券』は長いですね。

丸三年になります。一番金くってるんじゃないかな。ＳＦっていいなあ、宇宙船は写真なくっていいもの（笑）。

取材は、都合3回、パリを中心に11ヵ国をまわりました。そんなにじっくり見て回れなかった。シメキリがあるし。わりと尻軽だからどこでも出かけてくし、家の中にとじこもってるの好きじゃないんですね。遊ぶの大好き人間だから。

――前は航空機ものが多かったようですね。

今でもやらない訳じゃないけど……疲れる（笑）。実際の人を意識しちゃって。『裂けパス』でもね、結局フランス人が見たら怒るんじゃないかという恐しさがあってね。なるべくフランス人の気持ちを考えながら描こう、みたいな。かといって、そればかりじゃどうしようもないから、日本人にわかる形でという、バランスの危うい所でやってる気がするのね。飛行機のりなら飛行機のりで、現実とフィクションの境い目のとこで。これ以上専門的になると読者はもうダメ、これ以上フィクションにすると描かれる側がたまらない、というようなね。

少女まんがが悪いっていうんじゃないけど、例えばスキーが出てきた時ね、スキーってのはとっても美しい訳ですよ、うまければ。滑ってるフォームがね。ところが、描かないのね、あの美しいフォームをね。自分はわかってるつもりで描くわけですよ。まあ、全てに通じるのは無理なことだと思うんですけど、根本的には描かれているものと自分との距離感の問題だと思うんですよ。こういうものについて、これだけの問題意識を抱いています、という意思表示だと。リアリズムととられると心外なんだけど。細かく描いてあればいいってんじゃなくて、自分はこういう風に描きたい、こういう世界をつきつめて描きたいと思ってやってんだと。別にそういう風な人がいたっていいじゃないか、と思うんですけどね。

――これからの予定を。

『プレイボーイ』の週刊連載が決まっていて、これはガチガチのアクション劇画なんです。

（インタビュー・編集部）

御厨さんのこと

御厨さんは、たいへんにクレバーな漫家だと思う。

クリエイターというのは、秀でたセンスを有しているか、もしくはクレバーでなくてはいけないというのが、ぼくの自論である。センスにあふれた作品は、内容や展開のこまかい部分を気にすることなく、ストーリーやキャラクターを楽しむことができる。一方、クレバーな作品は、その逆に内容や展開の妙にこだわりながら、中身をじっくりと愛読することができる。どちらが、いいとか悪いとかいうのではない。傑作と呼ばれる作品は、つねにそのどちらかなのだ。

御厨さんは、クレバーな漫画家の代表である。

どういうわけか。クレバーな漫画家や原作者はひじょうにすくない。漫画という表現方式そのものがかなり感覚的なもののせいかもしれないが、本来クレバーでなくてはならないような作品までもが漫画においては感覚的に処理され、けっきょくダメになっている。せめてセンスが良ければ何とか救われるのだが、それもない作品が多すぎるのだ。

御厨さんが情報魔かどうかは、ぼくは知らない。しかし、知識は確実に身についており、描写は理にかなっている。生半可な教養では、ああは描けない。とくに漫画は、状況を絵にしなければならないのである。本格的にやろうと思ったら調べて調べすぎるということはない。だが、調べるという行為はクレバーでないと中途半端に終わるということもたしかだ。知識の増加に想像力がついていかないのだ。つまりは作品として結実しないことになる。もしくは知識だけが正面にでた味けない作品になる。

御厨さんの作品はそうではない。知識とストーリーとが見事に調和し、作品におけるひとつの強い魅力となっている。彼のようにクレバーな漫画家がもっと多く世にでないかと願っているのは、ぼくだけではないだろう。

高千穂遙（ＳＦ作家）

INTERVIEW

宮西計三

まんが描くのやめて、音楽だけ聞いていたい…

★宮西さんのカットを選ぶ時はいつも困ってしまう。その繊細さ、丁寧さ、精巧さが、縮小することによってボヤけてしまうのがあまりに惜しいから。『ぱふ』'80 9月号掲載の、真崎守に寄せた一文も同じように繊細で、心優しきラヴ・レターでした。

◀▼▼鬼百合秘／単行本「笑みぬ花」ブロンズ社

宮西計三 一九五六年一月二十三日生。二十五歳。血液型A型。大阪市生まれ。十四歳（中二）の時、家出。東京をめざす。代表作「ピッピュ」「笑みぬ花」

――昨年でした。お子さんがお生まれになったのは。

エー一昨年になりますね。

――もう一昨年になりますか。どうですか。

憎たらしいですよ（笑い）。

――でも普通の年齢にしては、若い父親ですよね。

そうですね。一番最初の子供が二十歳の時で、現在二十五歳です。

――で二人の子連れとして、ためらいは。

いやア、悔む部分もあり、これで良かったという部分もあり。別に――できてしまったのはしょうがないですし（笑い）。

――子育てというのはどうですか。

最初の子供の時はかなり一生懸命に僕もやりましたけれど、二人目からはほったらかしですね。それにまあ子供ができまして色々この世の綾を体験しました。

――今一番宮西さん興味があるのは何ですか。

今興味があるものですか。（少し考えて）油絵描きたいですね。それと音楽やりたいですね。

――どういう油絵ですか。

別に何と特別に無いんですが、最初花とか自然とかそれで練習して、その後女の人を描きたいと思っています。

――ラフですか。

何んでも良いです、体全体でなくても顔だけでも良いしあまり順行的な物は描きたくないですよね。

――宮西さんの絵見ていて、点描とかありますが、油絵では点描はできないんじゃないですか（笑い）。

毛穴を描きます（笑い）。

計三

——感じとして宮西さんは油というよりも日本画が……。

ええ日本画も好きですよ。ですから、やるとしたら日本画か油絵どっちかですね。

——というのは油か日本画、どっちと決めてないいんですか。

ええ決めてません。一応今の所イタリアのルネッサンス期のジョルジョーネとかピッツアーノとか一番好きなのは、ルネッサンス期の人ではないけどレオナルド・ダ・ピンチ。ダ・ピンチの描く女の人とか背景とか、あれはもうピッタリきますね。他の画家観てもあれほどピッタりくる人はいないですね。

——で音楽の方というのは。

音楽の方は好きな音を出したい。

——楽器は。

楽器はギター。バンドを作ったんですがメンバーが集まらなくてねー。

——コードとかそれくらいは分かるんですか。

いやコードも二、三しか押えられないです。楽器を弾ける人が良く言いますよね、「コードとか関係ない」って、それが僕ら音楽から離れている人間は、そのコードとか音楽的知識というのがかなり重要なものだと思っていたんです。

それでやったら、表現する時の自分の頭の中にある音が出て来ないのね。

最近やっと、そんな音楽的知識というのでテクニック的に演奏するんじゃない別の方法がみつかった気がするんですね。

——おたまじゃくしが読めないですか。

そう、読めないですね。

——チャップリンも読めなかったらしいですね。

そうですね、ですからまったく音楽的な所を離れてやる、つるべみたいな物をみつけてたどっていたっら、又ちょっと違う音楽的な物にぶつかってしまったんですよね。

コードとかまったく関係なくて、その人の音楽に対する考え方だと思います。

僕の場合メロディとかハーモニーとかを考えずに、ただ音を出すというその事に集中してやろうと思っていますね。

——今まんが描かれる時に、どういう感じで描かれているんですか。

気が向いたらレコードかけたりテープかけたりします。

——気が向かないと……。

そうですね、音楽かけて仕事やる場合気分良ければ仕事できるけど、まんが描くのやめて音楽だけ聞いていたくなるんですよね。

（本誌編集長）

ソドムの街の少年（宮西計三のこと）

等身大のイドラなんてあり得ない　私たちのそれぞれの相貌は、それぞれの肉の軋みによって、視られる外観の秩序を壊し、不定の位置に堪えているのだから。その肉の軋みをおしひらいて、いたみにうずくまり、わだかまり、官能の水輪から狂おしく羽ばたくとき美神は目の高さまで舞い降りてくる。

宮西計三は、そういうふうな恩寵を堕天使から受けた、数少ない絵描きのなかの一人である。宮西はいつまでも少年であり、少年の怖ろしさを持続できる少年であり、後ろ向きの、つまり少年に退化しようと試みる青年である。だから、宮西は最初っから失墜しているのである。

珊瑚の瞳の少年達が／重いシーツでからみあう／暗闇の中で濡れる言葉は／溶けない壊れた冷蔵庫／街は荒れ果て／海は流れることもなく／薔薇が青く月に映える／ここはソドムの街だ／青い夜の淋のぬかるみ／冷たく凍る精子の充満／鮫の肌のきらめきが飛び交うとき／性をなくした男たちがものかげでもだえ／やににしばたき／沙漠にゆらめく予感への／手の試みは／打ちあげられた死根／物達を凶暴にかさみ／やさしくしめ殺す爪ももたない麻痺したひれ／りんかくのないくちづけに鱗がふるえ

「ソドム」——以下略——

十年前の私の詩集『星への歩み』-思潮社刊-の一篇、『ソドム』を宮西計三に捧げたいと思っている。つたない詩だと思っているのだが。

宮西よ、ビアズレーを越え、もっと困難で異形で、しかも美形な、グロッタの闇を見せてくれ。大快楽にも原稿を寄せてくれ。

一度っきりしか会っていない、宮西の、むしろ華奢とはいえない実像を想いながら、君の肉の軋み、外観を裏切る不健康な精神に、私はいま喝采を送っている。

田中眞人（大快楽編集）

INTERVIEW

巨大なものと戦う戦略として狡猾に生きたい

★自費出版をしてでも読者に訴えたいという宮谷さん。したたかですね。いずれにしてもこれからの活動が見逃せない宮谷さんです。

このページのカットは全て　孔雀風琴／『ビックコミック・ゴールド　小学館よりとりました。

なまめかしい空気を更に匂い濃くさせていた……

ああ…きみはこの世ならぬ美しいものに溺れねばいけない

1940年生れ、現在『ビック・スピリッツ』に「虎の娘」連載中。

――『ビック・ゴールド』に掲載した「孔雀風琴」の第2部の予定は？

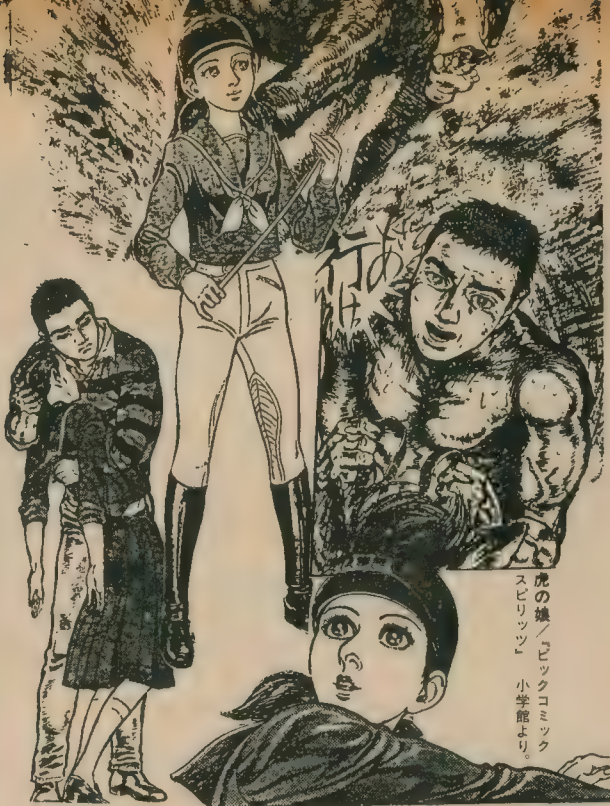
コマーシャルベースでかける作品ではないんです。3年、4年かけて、次をかくつもりです。創作には、個人のパッションでかくものと、編集者が依頼し、雑誌に掲載することで会社の利益になるものがあります。「孔雀風琴」は、前者の仕事なんです。現在、歌でもそうですが、資本の論理が勝っているんですね。歌いたい歌を歌うことは、コマーシャリズムとぶつかります。かといって、書き手が創造を放棄しては、おもちゃとしてのアイドル歌手のような作品が出来るわけです。俺の一票で政治が変わるわけはないといって、まあいいやと思うと、それではおしまいになるんですね。資本が、人間、読者をおもちゃにして儲けること、遊戯は遊戯として完結すること、それをさせてはならない、というのがマンガ家として持っている覚悟です。資本を相手にしての悪アガキが「孔雀風琴」なんです。売れない作品だろうと思ったんですが人間的な「縁」で掲載されました。いいか、わるいかわからないんですが、まあよかったんでしょうね。

――『ガロ』に描いた「生態」と同種の作品なんですね。

そうです。「孔琴風琴」は原稿料をもらっていますが、かかった経費の[illegible]ですからね。そうした作品を支持する読者もいますが、まだまだ少数なんですね。コマーシャリズムとそうした創作がぶつかる時、かくという行為だけで、ストップしては、いけないと思っています。自分で、読者を組織化していかなきゃならないと考えています。コマーシャリズムを通して作品を読者に届けるんではなくて、つきつめれば、自費出版をしてでも、直接、読者に届けることも考えているわけです。僕は、そうしてでも、文化的作業を続けたいんです。

――70年頃「地下演劇403」(芥正彦編集)で三島由紀夫をパロディにしていましたが、三島由紀夫についてどうお考え

虎の娘／『ビックコミックスピリッツ』小学館より。

ですか？

日本は、明治維新後、知識階段の支配が続いているわけです。文化的創造というのは、生活から見ると剰余のものなんです。三島由紀夫が、その剰余のものを、最終的に結実させることは、ブルジョアジーのためのものになったんですね。彼の耽美的な、純粋芸術は、エリートによるものだったわけです。しかし僕は、そうではなく、ロシア革命のもっと底辺の、大衆、人民へ目を向けて、執筆活動をしていきたいんです。「孔雀風琴」を読めばわかりますが、自分の内側にある三島由紀夫を、どういう風に乗り越えるか、どういうふうにひっくりかえすか、というものがあるんです。あの作品で乗り越えたつもりもあるんですが、それは自分の思い上がりかもしれません。

——東大全共闘として三島由紀夫と論争して勝ったといわれた芥正彦さんと親しかったと聞いていますか？

はい、彼が、あそこにいるな、と思うことは、僕にとっては、心が奮い立つことです。がんばろうという気になります。

孔雀風琴より、もっといいものがかけた時に、十年以内に、会いにいこうと思っています。

——宮谷さんは、どういう作家に影響を受けたんですか。

最初は、羽仁五郎、そして、吉本隆明、殖谷雄高たち近代文学派ですね。三島由紀夫のアンチとしての近代文学派のやせた部分に追いついて、一歩でも先へ、乗り越えたいというのが、僕の一生のテーマなんです。

——単行本「性蝕記」の著者略歴に、急進的無政府主義者と書いてありましたか。

今は、全部が、まっ黒けですね。打ち崩すものが大きいほど、自分の力は小さいことを思い知らされます。狡猾に生きたいと、今は思っています。巨大なものと戦うための戦略としてですね。

「孔雀風琴」は、生と死がよりそうエロティシズムあふれる名作である。宮谷一彦の語るところによれば、『ビックゴールド』の読者には、あまり好評ではなかったらしい。僕は、この作品に関しては、「大快楽」で絶讃したのでここでは繰り返さない。

——犯罪については？

永山則夫のような犯罪をやるタイプの人間でした。僕は、やるまえに気がついたんですが。僕の中には、自分が有罪であるという、原罪意識があるんです。

高取　英（劇作家）

遠い眼差し

宮谷さんのかくところの主人公というのは、ひどく深く、そして遠い目をしている。

世の中を生きてゆくということは、見方にもよるのだけれど、常に変化するスピードと時に不意をつくような起伏に富んだものだと思うのだ。たとえば、山に登る時わたしらは麓で先づこれから臨む山を見上げ、その全様を確かめ、山道へ踏みこむ。その時、頂上へ向けて上へ上へと目をやってはいけないことになっている。足場の確認もさることながら、上の方へ気持ちをやっていては、体に加えて精神の疲労も大きいといわれているからだし、事実その通りなのだ。せいぜい数歩先の足場を見きわめながら、たんたんと歩を進めるのが山登りの知恵だ。もちろん最初は、周囲を見渡たす余裕があっても、次第に疲労からうつむいてしまうということもあるけれど、わたしらは浅く近い目を持ってしまう。なおかつ道に迷ってしまったりするのでやっかいなものだ。

生きるということについて、わたしらは同じように薄い目を持つようになってしまっている。かつて、山に臨んだ遠い目を捨てることを生きる為の知恵だと思いこんでいる部分がある。

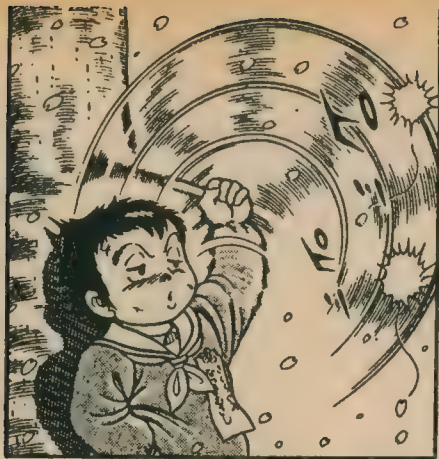
そして、宮谷さんの主人公の眼差しは深い。遠くをみつめる彼らは、時に足もとの現実に足払いを食ってしまうのだ。そういう彼らに付き合う時、自分の知恵と信ずるものをうとましく思い、脛の痛みをおもいだす。静かに激しく挫折してゆく者供をみるにつけ、わたしらは、感傷と不安を合わせた感概にふけった。

そういった事を、いわゆる「青春」という言葉でひっくくった時、宮谷さんは確かな「青春」を描いていた。しかし、最近の作品に登場する主人公達は、挫けることなく遠くを見つめ続ける。かつて挫折をもって物語は完結したが、今の彼らは足もとを乱して転んだ後も、まだ深い瞳を捨てない。常ならざる物語りが進行する時、わたしらは新たな可能性へ向けて、・時の飛躍を試みる。

本誌編集　深道宏太郎

村上もとか

読者からの支持のある内は できるだけ"少年マンガ"で

★純正少年まんが家村上もとかさん。この時はちょうど「ドロファイター」の連載を無事終えられて、新連載「六三四の剣」の第二回目を執筆中でありました。

▲六三四の剣／「少年サンデー」　小学館

▲岳人列伝／「少年ビッグコミック」

本名　村上紀香　一九五一年六月三日生まれ。七三年「燃えて走れ」で「少年ジャンプ」においてデビュー。七七年より「少年サンデー」に連載の「赤いペガサス」はF―の世界での一人の男の成長を描き、人気を博し出世作となる。

代表作に「赤いペガサス」「岳人列伝（クライマー）」「クレージーロード」「エーイ！剣道」などがある。

―まず一昨年の話ですが、「赤いペガサス」のラストは最初から考えていたのですか。

いえ、あれはまったく考えていなくてあれは最初短期のつもりで描いたのです。

短期で駆抜けていったレーサーで、タッチは少し暗くていいじゃないかと言う感じだったのですが、意外と反応があるからもう少し続けてみようかということで。

それで短期用のラストというのは悲劇的に終るだろうと考えていたのですが、長期連載に成りそうだと感じた頃から、当然読者はラストを空想するから作者としてもう一捻りしたいと考えていたのが、あんな風になったわけですね。

―「赤いペガサス」の話自体かなりハードで重いと思ったんですが。

そうですね。描いてる方としても、重い話というのは、それはそれなりにつらいですけどね。あれはそう言う意味で非常に暗い話になってしまったというのは、最初に設定したものがかなり暗いものだったので、あの作品に関して暗いか暗くないかは別にして、もう少し読みやすい形に色々工夫できたんじゃないかというのは、反省として残る所なんですけどね。

―ある面から言うと「あしたのジョー」とか「がんばれ元気」などと同じ要素があったと思うんですが。

そうですね、長期連載になりそうだというころから、せっかく描くんだから、大河ドラマの見習いでも良いから、自分の作品で勉強してみようと意識したことはあるんですが。

―あのころスーパーカーブームで、結構自動車物があったんですけど、結局残ったのは「赤いペガサス」だけだったと

▲赤いペガサス／『少年サンデー』

思うんですけど。

ただ、自分では車にも乗ることできないし、車の事全然知らなかったんですが、ジャンプにいた時、資料などから「熱風の虎」など描いていて、この世界も案外おもしろいなと思いまして、サンデーから車の話描かないかと来たもんですから、ではF1であのような話にしようか、という感じでやったんですが。

――昨年の話に変わりますが、「ドロファイター」というのがあるんですが、僕なんかが一番気になるのはむしろ「岳人列伝」なんですが、かなり質が高い作品だと思うんですね。あのように山を描くという企画など昔からあったのですか。

これも又、何の知識も無いんですけれども、ああいうのが意外と好きでして、又友達が山が好きで一回連れて行かれてヘバッたことがありましてね。その頃新田次郎さんの本など読みまして、おもしろいなと思い、こんなのをまんがで描けないかなと思っていたのです。それでたまたま担当の編集者と話をしていて、前から山にも興味があると言っていたのですが、山に関して玄人でも無いし、全然素人ですから、その人間が山を描くという時には山そのものを描くので無くて、山男とか、山に登る人達を通じて色々なテーマを言ってみようじゃないか、レーサーなんかと同じで極限にある死と隣り合わせというような行為もする。そんな人達がどんな考えで山に登るんだろう。それは人それぞれ違うだろう、「何故山に登るんだ。そこに山があるからさ。」という言葉は、分かるようで実は良く分からんじゃないかと思い、本当はもっと内側にある色々な動機とか背景とか、それが一番空想できるのではないかと考えて、一つ一つテーマを考えて描いているのですが。

――昨年までの作品が出た所で、新連載のお話しを、うかがいたいのですが。

新連載は、「六三四(ムサシ)の剣」という剣道まんがなんです。「エイ！剣道」を描き始めた頃から色々読んだんですが、よく知られている江戸時代以前の剣豪というのでなく、明治・大正・昭和の剣の使い手、剣道というより〝剣術〟という、現代のハングリーなボクサーのように、剣に人生を注ぎ込んでいった人達をここでは掘り下げた形で、〝少年まんが〟として描こうと思っています。

――〝少年まんが〟という言葉が、出たのですが青年誌で描こうという気は。

青年誌で描いてみないか、という話は時々あるんですが、読者からの支持のある内はできるだけ〝少年まんが〟にこだわって描き続けていきたいと思います。

本誌編集部

テストは風の香りをいつまでも

辛いのです―なぜなら村上さんへのメッセージをこの一介なるアシスタントに書けとは、そんな惨い！（机に泣き崩れる）。そりゃあ自分に文才があれば少しは楽観的になれるけど…「ぱふ様お願げえでございますだ。おらあベタしか塗れねえだにあんまりでごぜえますだ」（机ごと泣き崩れる）

現在、自分は村上さんのアシスタントをして一年なるかぐらいの時期にさしかかっている。村上さんに会うまでは当り前的にアメリカ、カーレースそして異常なまでの兄弟愛という強裂なイメージが脳髄を支配していたのであった。しかしこの頃になって村上さん自身の今まで描かれた作品のイメージが、ほんの少しばかり自分の中で形作られてきたのだ。

あのネームを考える時の組んだ腕の中に、赤いペガサスのケンとユキの苦しみがあり、あのニヒルに歪む口元にドロファイターの魂が暴走し、発する言葉にサキの茶目っ化が同しているのだ。（どんな人間や!!）

そして瞳にはクライマー列伝のあの前方に立ちはだかる山と人間のドラマが映る。瞳の奥にはきっとその山を越えて見るであろう、あの五代と白神が沈んでいく海が、広がっているのだと自分は感じてしまうのだ。

村上さんの作品には音がある。レースで爆走する車の音、ノブがたたきつける拳の音、南西壁のカメラの悲しいシャッター音それらの巧みに表現される擬音が現実を作り出す。

また逆にドロファイターのラストでノブがアニーとサキに向かってゴールし、あの巨大な身体に二人を抱きすくめるエンディングへの静けさが、現実から理想を目指したノブとサキが旅した時の流れを感じさせてくれるのだった。

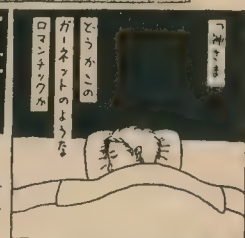
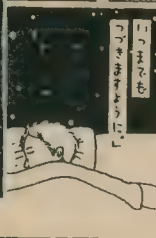
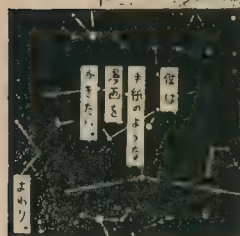
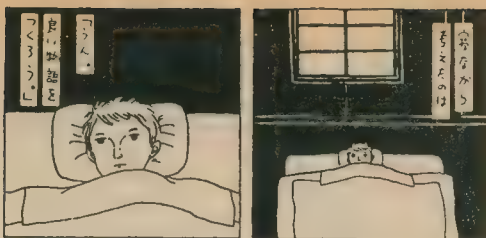
現実の中で瞬間的に溢れるエネルギーを、ぶつけながら理想に向かって行く人間がいつも村上さんの作品にはあり、人間を通しての世界感が根底をなしているのではないかと思う。そしてどの作品もラストは風の香りをいつまでも感じさせてくれる。…うーん、ほめすぎかな？

（机の下で悩む）

阿南勝則（まんが家予備選手）

INTERVIEW

硬くて寒い感じに、憧れるんです

★手紙を書くようにまんがを描きたい、と言う森さん。だから読者は、手紙を受けとるように彼の作品を受けとって、大事に何度も読み返しては、抱きしめてほうっとため息をもらすのだ。

▲ガーネット／「夜と薔薇」より

森雅之　本名同じ。'57年2月11日生まれ。北海道浦河郡浦河町出身、現在も浦河でお家の洋品店を掃除するかたわら、本誌や「楽書館」に執筆中。ぱふまんが叢書第一号の自選作品集「夜と薔薇」好評発売中。買って丁載！(と透さずCM)

――えー、去年は如何でしたか。

そうですねえ、去年は何といっても単行本が出たことがまず第一ですね。売れてますか。

――初版はもう売切れました。先日ね、結婚式の引き出物に「夜と薔薇」をってお電話がありまして。

あ、聞きました。うれしいですね、そんな使われ方滅多にないでしょうね。

――「ガーネット」という作品の最後に「僕は手紙のような漫画をかきたい。」って言葉ありますね。

ええ。手紙って届いた時すごくうれしいでしょ。そんなふうに受け取ってもらえたらと思いますね。この前、ぱふから、僕あてに来た手紙まとめて送ってきました。漫画に返事が来るんですよ。勇気づきますねえ。

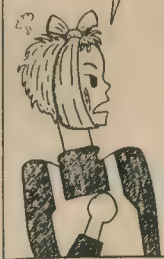
――最近活躍してる若手の漫画家さんの作品どう思いますか。

うーん。あんまり見てないんです。そんなに入って来ないし。大友克洋さんや髙野文子さんみたいに、リアルな画の上手い人が増えてるようですね。すごいなあ、と思って見てます。同じ事やってもかなわんから、むしろデッサンの下手な線の不揃いな画をかこうと思ってます。

最近見て一番面白かったのは、若手じゃないけど、鈴木翁二さんの「吉の花嫁」。久々漫画読んで感動しました。泣ける漫画はいいですね。あんなの画けたらと思いました。

個人的には、楽書館の水野(流転)さん、

モリ

◀歯痛／『ぱふ』80・11月号

▲ロマンチック2／「夜と薔薇」より
森さんの描く物語は、なんてはるけく心優しき世界なのだろう。一言ごとにかみしめて、胸のなかに暖めておきたい。

▲香水／「夜と薔薇」より

画がすごくなって来て、今年は活躍するんではと思います。してもらいたい。

――漫画を読み始めたのはいつですか。

小学校前から貸し本とか「少年」とか。手当り次第読んでたけど、中学の時友達から「COM」見せてもらって、「ああ自分で画いてもいいのか」と。

――少女まんがは読みますか。

高校時代はよく読みましたよ。別冊少女コミック。大島弓子、萩尾望都の出て来た頃で新鮮でしたねえ。でも買うのには勇気いりました。

――最近だんだん絵が変わってきてますね。ベタより線を重視した絵に。

いや線が下手なんで、なるたけ多く使おうと思って。気持ちの入った線を描けるようになりたいです。水木しげるの昔の「河童の三平」の線は素晴らしいですね。あの画にはすごく惹かれます。あんなのが画けるようになりたいですね。線に限らず、僕は画、特別下手なんで、もっと練習しなきゃね。

――森さんはストーリーものは描きませんね。

うーん、まあ、僕はストーリーよりまず、アイディアとか気分を想い浮かべるんです。で、それだけ描いてしまうともういいんです。忍耐とか根性とか持ちあわせてないようで。でも一コマにごちゃごちゃかきこみたいと思ってます。パノラマ漫画みたいなのね。

――森さんの作品にはよく石とか宝石とか出てくる、特に思い入れがあるのですか。石に魂が宿るとか…。

いや、硬い感じが好きなんです。硬質な感じ。僕の考える存在の順位は、鉱物が一番上、そして、植物、動物なんです。気持ちが無い硬質だと思うんです。仏教的なのかな。そうでもないけど。うん。硬くて寒い感じ好きなんです。憧れですね。

――ご自分の作品を誰にいちばん読んで欲しいですか。

漫画好きの人よりも、読んだことのない人に読んで欲しい。比較して読むでしょう多く読んでる人は。そうじゃなくもっと素直に先入観なしに読んでくれたらと思うので。

――今後はどんな事を？

描き下ろしの作品集出す計画してます。長くかかりそうだけど。お金もそうだけど、まず画を勉強しないとね。硬くて寒い作品を作りたいです。

（編集部）

天使なんかに似ないように

ガロという雑誌に、私が、少年の心情あるいは少年と大人との交感といったものを軸にマンガを描き出していた頃、列島の北の方の町ではマンガ好きの高校生がそれらを熱心に読んでいたらしい。彼は読後感をせっせと身内の一人に書き送り、身内の一人もその読み物を愛好しひとつ本体も観察してやろう、とやってくるようになった。こうして当の高校生と初めて出会ったのは彼が受験のため上京した晩で、以後、私たちは北やら南やらの夜の巷を一緒に徘徊することになった。この高校生が森雅之で、観察家の身内の一人は現在も私の傍にいて観察をつづけている人だ。

さて、作品集中私が愛好するとしたら、二少年が実現されることのない美しい計画を企だてる話だろう。ガフト、この少年たちは体をきたえ。ピストルを手に戦場へと向かうのではないかと思ってしまうのは、集中のマンガの指定しかけたものが童心へと、自己への了解という筋径をたどっていいかえるなら童話の世界のエモーションへと戻っていってしまう構造のためで、これが美観をあたえ、実はこの美観が私などにはつまらなく思えてしまう一つのゆえんでもある。石コロや空の星や少年や天使たちや、小さく愛らしいものたちが並び、作品個々も品を変えて配置されているにもかかわらず、私を突き通り私の私を呼び醒まそうとするスリルを感じないのはそんな事情によりそうだ。

小さく愛らしいものたちはその官能によってはかない。時に希いと呼ぶその沈黙はほぼ悲痛と同等だろう。私たちはガイコツの肩を抱くガイコツだけれども、心の骨と骨は触れ合うこともなくただせめぎ合うばかりだ。この骨と骨との間隙を誤差と呼び、この誤差にこそ、小さく愛しいもの、鉱石もガラス片も、そこに映った空も、すれ違った人も未知の精神も、あぶなげであれ並べて行かねばならない。ホントはいや、森がその小卓を一たん壊し始め手品の中の手品を作り出したときに注目してみようと思う兄弟は一人私だけではないだろう。

「フェバリット」と森がその文中で引用していたのは足穂の愛用した言葉だが、足穂はまた「誰にも似ないように」とも言った。そしてこれは、「自分にもまた天使なんかにも」と続くように思える。

鈴木翁二（まんが家）

守村大

★最長作「アダムのおくれ毛」は、ホモの世界の深遠さに触れて恐くなった、と言う。フトンの中で妄想するネタの行方、今年はどんな風に展開するか…。

描き始める時はいつでもすごい傑作なんです

カットは全て　あの・アノ・ANO
：アクション　双葉社より取りました
女子大生たちの、セキララな生活を描く恐怖のリアリズムまんが。

'58年12月6日生まれ。'79年の初め、「週刊漫画アクション」でデビュー。大友克洋、白山宣之らのアシスタントをやり、「週刊漫画」「リイドコミック」などにも作品を発表。代表作に「アダムのおくれ毛」「天下たいへい」シリーズなど。

——出身はどちらですか？

秋田のど田舎です。山の中の、やっと人が住めるくらいな所。

——東京に出てきたのは、高校卒業後？

本当いうと、こっち首てきたのはデビューしてからです。まだ2年ちょっとくらい。

——デビューは？

「漫画アクション」の本誌で。いろいろ運がよかったのね。描かなきゃならないような状況においこまれて、まんがくらいだったら描けるだろう…と思ってね何となく描いて何となく持ち込んだら、それがすごく運がよくて、今までだらだらときちゃって。全然まんが少年じゃなかったんです。

——大友克洋さんの手伝いに行ったのはいつ頃ですか？

デビューして、二、三ヶ月たった頃かな。はじめ、全然大友さん知らなかったの、読まなかったから。もともと村野守美さんが好きで、その剽窃っぽいの描いてた。それを見て、「アクション」の編集が、大友にどっか似てるなー、とか言って、見せてもらったら、めちゃくちゃすごいでしょ。それから今度は大友さんの真似ばっかりしてます。

主体性がないでしょ、ダメです（笑）。

——月に何枚くらいですか？

一本だったんだけども、一本じゃ食えなくなったんです、引越ししたら。仕方ないんで二本やろうと

——作品の傾向とかいうのは？

「リイドコミック」で五本くらいやったんだけど、それ描いてて楽しいのね、あまり大した話じゃないんだけど。好きだった

——SFなんかやりたいとか。

うん、けっこうやってるつもりなんだけど、誰もSFだとは思わない（笑）

——単行本の話なんかないですか？

▲このまんがは、男よりも女達に見せて、感想を聞いてみたいまんがだ。当然下敷きになっているであろう、『宝島』の「ANO・ANO」を、かつて女達は口をとろえて〝あたり前のことが書いてあって、どこがおもしろいか解らない。〟と評したからだ。それを男が描いたらどうなるだろうか。

そんなの全然ない。出したいなーとか思うんだけど。いつぶれるか恐くて。去年、もう一年くらいやってみてダメだったらもうやめよう、まだ若いし、とか思ってた。それから最近は、単行本一冊だしたらやめよう、と(笑)。

―ネタを考えるのはどこで？

フトンの中はいって妄想するんです。大抵、寝ちゃうんだけど。

いっつも最初は、すごい傑作でね。考えてて、こいつはすごい、前代未聞だと、ドキドキして描くの。だんだんやってるうちに、もしかしてこれはあんまし面白くないんじゃないかってなって、最後の方になると、ダメなわけ。もうこれは駄作だ、ひどいの描いちゃった、てね。

―好きなまんが家は？

今、一番好きなのは、水木しげる。特集してる本があって、読んですごいなーと思って。昔読まなかったから。妖怪ものなんて、見てすごいんだよ。ユーモアたっぷりで。とぼけてるの。

―ペンは何を使ってますか？

Gペン。はじめ、何も知らなくて、筆で描いてた。村野さん好きで、線見て、あーこれは何で描いてるんだろうって思って、ペンで描いたら、ギスギスして全然あの柔い線が描けないの。これはきっと筆で描いてるんだろうと自分で勝手に思って、筆で描いたんです。斜線から何から何まで筆で描いた。

―これからの予定は？

『別冊アクション』で一本やって、三月から狩撫麻礼さんの原作で『ヤングコミック』でやる。ちょっとこわい。楽しみだけど。一番長くなるんじゃないかな。『アダムのおくれ毛』が50枚ちょうどで、もう困った。わりとホモなんか面白いんじゃないかなって、あやふやな動機で始めて、調べてみて、『さぶ』とか『薔薇族』とかあゝいうの読むと、とてもじゃないが太刀打ちできない、と思って、恐くなった。大体あんな趣味ないから(笑)。

―SFと推理はどっちがいいですか？

SFがいいわ。SFって好き勝手できるじゃない、無知でも描けるから。そうでもないか(笑)。筒井康隆好き。ドキドキしながら読む。それとラリー・ニーヴン。「ノウン・スペース」シリーズなんか。あゝいうのは無知だと描けませんね。

インタビュアー・高寺彰彦(まんが家)

守村大君について

彼と、初めて会ったのは、去年の暮れである。仕事も上がり、部屋でのんびりと、テレビを見ていたら、電報が来た。『シキュウ　デンワタノム　モリムラ』僕の知人に、モリムラという名は記憶に無かった。とにかく電話をしてみると、

「あっどうも、守村大です。初めまして」

「えっ、あの漫画家の守村大……さん？」僕はいささか驚いた。彼の漫画は、ストーリーはともかく、ペンタッチが好きでほとんど目を通している。「週漫から住所聞いたんです。そちらには電話が無いというもんだから……。僕も高円寺に住んでるんです。一度会いたいと思って……」

そして近くの喫茶店で待ち合せ、彼は時間どおりにやって来た。ファンの女の子から、編んでもらったという自慢の毛糸の帽子をかぶり、スカイブルーのダウンジャケットに、オーバーオールという、現代っ子らしい、イデタチだった。さわやかな笑顔で、話しかけてきた。22才になったばかりの彼は、秋田県出身らしいが、ほとんどなまりが無い。〆切りに追われているらしく、ワラをもつかむ気持で近くに住んでいる僕に電報を打ったらしい。「仕上げぐらいなら手伝うよ」と僕は気軽に引き受けた。

「じゃあ明日、御願いします」彼は安心したらしく、今夜は飲もうという事になり、彼の行きつけのスナックへ行った。同じ漫画家同志、話がはずみなんと！ボトル三本もあけてしまった。(ほとんど僕ひとりが飲んだ)

翌日、僕は、二日酔いがひどくて、結局手伝いには行けなかった。数日して、彼と会い僕は、しきりに謝った。すると彼は、例のさわやかな笑顔で、「飲みに行こうよ」と誘った……。

彼の作品の中で特に気に入ってるのは、カミュをしのぐケッサク「異邦人」とかデカマラ男の悲劇を描いた「ビッグコック」等だ。僕の漫画が、しみったれブルースだとしたら、彼の漫画は、ソフト&メロウな、ミュージックを聞いてるような、気分にさせてくれる。

とにかく若いし、(僕も若いが)これからもいい作品をどんどん発表して下さい

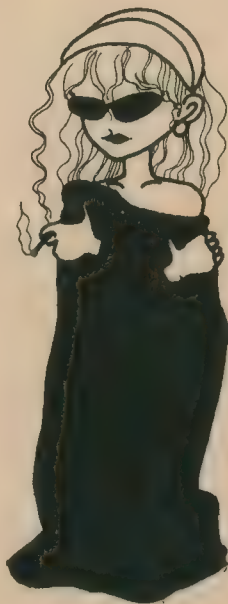
期待してるよ！

福谷たかし(まんが家)

山田双葉

すごいセクシーな男の子を描きたいの

★山田双葉の作品を読んでると、どうしても作者の方に興味がいってしまう。「マンガ償められるより『かわいいっ』とか言われた方がうれしい」なんてすてきだね。願わくば、うんとセクシィな作品をどんどん描いてほしい。

こーゆーセクシィな男の子に、粋なネームが山田双葉の魅力！

▲ジーザス!!／『ギャルズコミックDX』主婦の友社

▼KOOL COOL／「ギャルズコミックDX」主婦の友社

出身は東京。明治大学3年に在学中。大学の漫研に入ってから本格的に漫画を描き始める。今、かの「大快楽」や「ギャルズコミック」で活躍中の話題の新人。漫研の先輩に、いしかわじゅん氏がいる。

（BGMはソウル。双葉さんのタバコはKOOLです。↑脚韻をふんどるの）

——去年描かれた作品はいかがでしたか

あれはもう描き捨てって感じ。あんまり気に入ってないなあ。

——今描いてるのはどんな？

うーん、今度「ギャルズ」に48Pのが載るの。48Pもあると気が狂いそ。今ねやっと終わって遊び歩いてるとこ。内容はニューヨークの泥棒の話なのね。わりと大人っぽくて、ベッドシーンとか少女マンガではちょっと、という言葉も出てくるの。あそこまでやらせてもらえるなら、エロ本に描かなくってもいいかな。

今年はギャルズ中心でエロ本はバイト／んで適当に遊んで暮らしたいんだけどォ

——ファン・レターはどんなのが来るの

熱狂的なのをもらったの。なんか偶像化されてるみたい。イメージ壊さないようにしよ。

——遊ぶ時は主にどんな所へ行くんでしょうか。

今、ベース（米軍基地）のコとつきあってるんだけど。黒人の男のコ好き。体つきがフォトジェニックでセクシーでしょ。ホワイトは好きじゃないの。向こうの人はレディ・ファーストが徹底してるでしょ、それに感情をすごく素直に出すの。あたしなんかマンガ償められるより街で「かわいいっ」とか言われるほうがうれしかったりして。

——やっぱり好きな国はアメリカ？

うん行きたい。ウエスト・コーストは明るい雰囲気がダメね。やっぱイースト

かならずしも感じるわけじゃない
／「漫画エロジェニカ」

ん、セクシー

・コースト。（ペースの）友達は「どうして？こんな平和で住み易い国にいるのにあんな街へ行きたいのか。」って言うけどね。行きたいなぁ。でもお金がない。どっかにいいスポンサーいない？

――吉祥寺は好き？（お住まいがココ）

住んでるけどあんま出歩かない。この前も編集の方にパルコどこ？なんて聞いちゃって笑われたの。遊びに行くのは六本木とか赤坂の方が楽しい。赤星ジュンさんとよくディスコなんか行きますよ。彼女の影響でソウルが好きんなって。ジャズは高校時代からずっと好きだったのね。

――高校時代のお話をちょっと。

ハハハ。変な本ばっか読んでてタチの悪い不良少女だったね。文芸部でね、難かしい本読んでタバコ喫ってるわけ。で先生を煙にまくの。本は好き。フランスのシュールとか最近はハード・ボイルドを読みます。（その他に日本の某女流作家の名前も出たけどヒミツです。当てたらエライッ！）

――文章も書くの？

前はエッセイ風のもの書いてたけど。お話つくるのが好きなのね。話つくって絵コンテ描くまでがとても楽しい。あと絵を入れるのは作業でしょ。苦手ね。まだ絵もヘタだからなあ。そうも言ってられなくなってきたけど。なんかマンガ家インタビューになってないね、他の方にはどんなことをきいたの？皆さん燃えてるでしょマンガに。

――お好きなマンガはどなたの？

少女マンガはあんまり。吉田秋生さんと森脇真末味さんおもしろいね、山岸さんも。あの人たちのは少女マンガっていう枠組の中に入れられないと思う。

――これから描きたい題材といいますと

男のコですごいセクシーなのを。ホモの話は嫌い。苦手ね。今年はギャルズにシリーズで描かせてもらうの。しっかり読んで下さい。お金があって優雅に暮らしている泥棒が主人公。ホント遊んで一生過ごしたいね。結婚？そうね、エマニエル夫人のダンナ様とならしたいね、縛られたくないなあ。

――最後に。双葉さんのまんがにはよくいしかわじゅんさんのカットが出てるんですがどーゆーご関係でしょう。

仕事場をお宅の近くにって探して、来てみたら同じアパートだったの。あの方はもう燃えてますよ。私なんかよく手抜きするけど、原稿きれいだもんね。アシスタントいびりながらやってるけど。

〔編集部〕

後輩・山田双葉のこと

まず、状況説明をしよう。山田双葉は、明大漫研の後輩だ。多分、七、八年後輩だ。だから勿論、同じ頃学校に居たと云う訳では無い。

学園祭に顔を出した時に、双葉は居た。あの頃は、カーリーヘアだった。展示室の隅から、挑発的にこちらを見て居た。黒いミニのワンピース。黒の靴下。背が小さくて、ゆったりした服の中も、きっとゆったりして居るのでは無いかと、これがつまり初印象だった。

だったと云うのは結局、そうでも無かったと云う事で、身長もまずまずだったし、中身も細味の服を着て見れば、まずまずらしかった。

商売で原稿をやってみたがってると、誰かが言って居た。一度だけなのか、継続的になのか、そこ迄はわからなかったが、じゃ場所位は探してやろうかと、エロジェニカに当ってみた。編集者は高取英だ。二つ返事でOKだった。別に高取英が偉かった訳では無い。彼は「女」が欲しかった訳だ。スキャンダル誌エロジェニカに「女」のエロ漫画家、こう云う図式が欲しかったのだと思う。

で、肝心の双葉の絵はどうだったかと云うと、下手だった。今でも下手なのだから、一年前は当然、下手だった。志向する部分が面白ければ、絵は下手でも構わない。そう云う風に双葉は下手だった。

その後は、知ってる人は知ってる通りだ。三流誌から何本も手が伸びて、それからギャルズコミックだ。成り上るパターンと云う奴だ。パターンではあるが、そのパターンを踏める人間は、数多く無い。山田双葉には、その程度の意味はあったのだろう。

最近長編をやり出した。構図やコマ割りが、プロ風で無いのが多少面白い。後は続くかどうかだ。続けて欲しいもんだ。

結論としては、山田双葉はいい女だ。笑った時に、前歯の出歯が見えなければ、もう少しいい。そう思う。

いしかわじゅん（まんが家）

INTERVIEW

やまだ紫

最近やっと、描くのが楽しくなってきたの

★去年は、単行本が2冊たて続けにでたやまださん。『ガロ』を中心に、確かな自分の世界を着実な線で描きあげる。連載中の「しんきらり」も、やまださんならではの作品。

なんていいんだ
わたしがお母さんだ
せけんなど どうでもいいのです お日様いっこ あれば

「性悪猫」／青林社 より

似あわないよ！
三枝だって
無理に似あわせてるみたいよ
……
幼な友だちの「あの子」が いま幼な友だちの「あの人」
「あの子がいけないのよ」と言えた昔
「あの人はいけない」と言えないいま……

▼しつもんがあります／「COM」'70、8

'48年東京で生まれる。'70年「鳳仙花」で『COM』第3回新人賞を受賞。豊かな感性で少女の心情を描く。23歳の時結婚、しばしの休筆後『ガロ』等に再び描き始める。著書に「鳳仙花」「性悪猫」。

――最近作の「しんきらり」読みましたけど、あの旦那さんは御主人さまがモデルですか？

ヒントは、そうなんですよ。本当はもっとシビアな面もあるけれど。なにしろ、楽しく描こうって気持ちが先にたってね、

――今、まんが描くのは楽しい？

楽しいです、最近やっとね。今まででももちろんまんが描くの好きは好きだから、描きたい気持ちが先にあるんだけど、なにしろ画が描けなかったでしょ。3年間も描いてなかったから。ペンをもっと指先からペンがすべり落ちるとかね、そういう状態だったの。本になったの見ると、こんなはずじゃなかったって思って。毎月毎月そんなことやってて、いつになったら描いた地点の気持ちと本になったのを見た気持ちと一致するんだろうって。未だに一致したというわけじゃないけれど、それが自分の力だって納得するようになったのかなぁ。

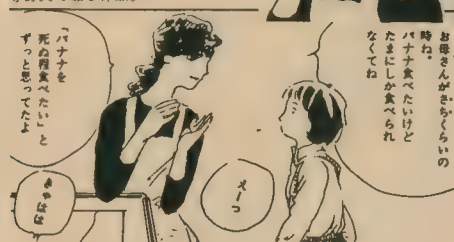
――そういう気持ちというのは、前に『COM』で描いていた頃と比べてどうなんですか？

すごく一所懸命描いてたと思うのね。あの頃は。まじめさというか、うまく描いてやろうっていう意地というか、意気込みがあったのね。それが一面では若さっていうことなのかな。今は、別にうまく描けなくてもこれが自分の力だからしようがないや、というようなところがあるからね。でも、それは羞恥心とは裏腹だから、なかなかうまくいかないのね。

――やまださんが母親であるという部分がね、たとえば「性悪猫」のなかでもお母さんのでてくる話なんか、本当にすてきだと思うんですけど。

でもわたしが母親になってみて思うのは、別にわたしに限らず、子供をもってる女のひとというのは皆すごく"いい"のね。幼稚園で運動会なんかあると、お母さんは皆自分の子供の初めて走る姿見て涙ぐんだりするの。それが、すっごくすてきなのね。たまたまわたしはそれを

▲夜の坂道／『漫金超』チャンネル・ゼロ
母親の家を出て嫁に行く娘

▼しんきらり／『ガロ』青林堂
只今連載中。母親であるやまださんが等身大で綴る作品。

表現する手段をもってて、すごく得してるなと思うの。

――娘さんと、どんな話します？

やっぱり学校や幼稚園の話かなぁ。

――「しんきらり」の、娘が手を離れたという気持ち、あれは実感ですか？

そうなのね。もうかなり前ですけど、何かの用で主人に子供を見てもらって出かけたのね。いつも階段上るんでも、ヨタヨタしたの連れてると下から上ってくるひとがイライラしてるみたいで、すごく周りに気を使うわけ。それがないってことにすごくびっくりして、電車に乗ってからもう、感動して涙がでそうになりましたね。そういう感動を与えてくれる子供ってありがたいですね。

――それは、母と娘の関係が次の段階にきた、ということでしょうか。

子供は成長するけれど、母親は子供を生んだ以上自分が生きている限り、手をかけないですむということは絶対あり得ないと思うのね。子供が小さくて身体の自由がきかない間は、こっちが体力を以てかばうでしょ。段々身体が自由に動かせる年齢になってくると、今度は気持ちを患わせるようになってくるわけね。子供がいる限り、楽になるということはないみたいですね。でも、別につらいとかいう意味じゃないんですよ。苦痛に思っちゃうと失敗するんじゃないかしらね。でも、わたしは割合上手に生きてく方だから。

――まんがに話を戻しますと、去年は単行本が2冊でましたね。ファンとしては非常に待ち望んだ本なんですけれど…。

何ていうのかな、もっと細かいこと考えないような時代だったら本ができたことに対してもっと感動したかもしれないけど…。本ができるのはなりゆきだからね、時がくれば自然にでるもんだと思ってたから。ただ、思ってたより早くでましたけど。今でていいのかな、という気が少しあったのね。結果としてはつくっていただいてよかったですけど。

――「ガロ」の連載はどのくらい続くんですか？

1年か2年か……。

――長期連載ですね。他には？

『猫の手帖』で、猫まんがを毎月3頁描きます。だから、連載2本、売れっ子みたいでしょ。（笑）

（編集部）

風の中、りりしく颯爽と

紫さんとは、ぼくがある雑誌に「性悪猫」についての短い文章を書いてからの、まだほんのわずかなお付合いにすぎないけれど、ぼくにとって紫さんは、『COM』で初めて出会って以来の、十年このかた憧れの人なのだ。その雑誌が出てしばらくたったある日、突然電話がかかってきた。

「やまだ紫です」

結局その日一日、仕事は手につかなかった。

その時なにを話したのか、もうほとんど憶えていないけれど、ひとつだけはっきりと憶えていることがある。この前の本誌のインタビューで、まつわりついてくるお嬢ちゃんに、「うるさい！」と一喝するところがあった。あれはとても感じが出てました、と感想をのべると、

「うそです。ああいうふうにかかれると、せつないです」

紫さんの懸命の否定にもかかわらず、それはいかにも、「性悪猫」の作者らしい愛情表現だと、ぼくは今でも思っている。

それ以来、お宅へ押しかけては手作りの料理を御馳走になったりしているのだけれど、つい先月もいささか時期おくれの新年会という名目で（名目なんてどーでもいいのだ）、村上知彦、近藤ようこさんらと一緒にお邪魔した時のことだ。夜中の十二時近く、まだお仕事中の御主人から、「飲みに出てこないか」と電話がかかってきた。風邪気味なので、と渋る紫さんをせきたてて、ぼくたちは最終電車で新宿にある仕事場まで押しかけた。

「よく呼び出されたりするんですか」

「そうでもないのよ。最初はすごく嬉しくて、いそいそと出かけたものだけど……」

「ふうん」

その日は結局、御主人をまじえて明け方まで飲むことになったのだけど、冷たい風が吹きつける新宿の街を、御主人のもとへと向かう紫さんの姿は、りりしく、颯爽としていた。感動と、寒さにふるえているぼくたちに、紫さんは嬉しそうにいったものだ。

「このあたりで、酔っぱらいに〝お姐ちゃん〟って、からかわれたことがあるのよ」

服部滋
（月刊イメージフォーラム編集部）

INTERVIEW

湯田伸子

いや、プロに徹するんだ 目標は！

★『GALS LIFE』で連載が始まり、いよいよ厳しいプロの道に励む日々。新鮮な感覚で迫る、次代を担うと期待のホープ。

▲硝戸の中／『漫金超』チャンネル・ゼロ

▶ハイ・アングザイエティ／「ギャルズコミックDX」主婦の友社

'55年福島県生まれ。元「鉄腕アトム」クラブ会員、お茶大漫研創設者、という辺りがまんが家への道。'78年「プリティプリティ」の「ホルツプッフの魔女」でデビュー、以後マイナー各誌(含「ぱふ」)で活躍。最近は『ギャルズコミックDX』の常連、「ギャルズライフ」での連載開始にハリキッている。

――〆切の真最中なんですってね、すみません。作品は何ですか?

「GALS LIFE」の次の号です。

――あ、連載始まるんですよね、おめでとうございます。

おめでたいのかな、恐いよ、これは。「いつでも交代用員はいます」なんてね。

――どんな話ですか?

連載見て下さい。一応学校が舞台で、少女まんがで。誰か高校の写真送ってくれないかな、教室とか何気ない窓とか天井とか。あ、ウソウソ、自分で集めなくちゃいけないのよね、プロは。

――自分がプロだっていう意識、あります?

うーん、野川さん(GALS LIFE編集部)叱りそうだけど、あんまりなかったりして…。いや、プロに徹するんだ、目標は。

――湯田さんのなかのプロのイメージってどういうのですか?

竹宮恵子さん。それから一条ゆかりさん。病気してもがんばってね、そんなに画も荒れなくてね。

――仕事のペースはどれくらい?

遅いの、口に出せないくらい遅いんです。

――でも、連載もってたら大変でしょ?

そう、だからこんなことしてられないのよ。

――帰って描きたい?

いや、描きたくはないんだけど、いえ、描きたいんだけど…難しいなぁ。

――仕事は楽しいですか?

いえ、ちっとも。でも何か楽しいんでしょうね。何で楽しいのかな、他のひとは。

▲相聞／『ギャルズコミックDX』主婦の友社
それにしても、美少年・美青年が多いなあ。

▼Sea Feaver ▶
／『ギャルズコミックDX』
主婦の友社

懐しの八月
／『マンガ奇想天外』
奇想天外社

—でも続けてるのはなぜなんでしょう？仕事する時っていつもニコニコ、ハッピーってわけにはいかないでしょ。つくる時きついところってあって、そのあたりで顔しかめたままなの。きっと、本当は楽しいんだよ。

—じゃあ、まんが家になろうとした動機は？

えーとね、昔自分が受けた感動を再現したいと思ったの。手塚先生とか、大島先生とか。

—まんがを描き始めたのはいつ頃なんですか？

大学はいってからなの。小さい頃も思ってたのよね、鉄腕アトムクラブにはいってたころ。でも中断があって、大学行って漫研つくった頃かな。そうそう、1年の時持ち込みしたもの。

—投稿の経験は？

しました。でもやめて、その話は。あれは大低落とされるでしょ。めげずに描き続けるエネルギーがない時にね、問題あるんじゃないかな…あ、ウソウソ、やれるひとはやれるんですね、ダメなひとはダメになるのね、それだけのことだったのよね。

—湯田さんの作品て、ホモ・セクシュアルの話が多いですね。

多いね、びっくりしちゃった、ふりかえってみて。多分セクシーだと思うんでしょ、自分で。

—美少年に対する憧れってあるんですか？

ないです。美青年です。

—たとえばどんな？

館ひろし。

—なるほどねー、少しワイルドな感じがいいんですね。

そう、大きく頷く、と書いといて下さい。

—結婚とかいうこと、考えますか？結婚しても描くとか描かないとか…。

相手によるんじゃありません？でもわたしは、結婚したいと思ってます、はっきりと。

—それで、まんがは？

続けるでしょうよ、続けたい、続けねば。こんなに下手でもそう思ってるんです、恐しいことです。

—じゃあ、他の職業になりたいと思ったことない？

あります、それが、しっかりと。大学でる時に先生になりかけて、試験受けてパスもしたのよ。福島の教育委員会、聞いてるか？

—どうしてならなかったんですか？

卒業できなかったんです。先生になってたら、まんが家になってれば…とクヨクヨしてね、今は先生になってれば…なんて考えたりして。困りますね、使命感に燃えてるひとがこんなことでは。

（編集部）

拝啓、湯田伸子さま

湯田伸子さま。お元気でしょうね。新連載「土曜ハウスへようこそ」が、すべりだし好調で気をよくしてこのハガキを書いてます。いったい一人の編集屋が何人の作家と出会えるものでしょうか、その中で、はたしていくつの個性と出会えるものでしょう。

あなたに会って最初のネームをいただいたときは、ハッとするおどろきでした。テーマも文体も新鮮で、登場人物の名まえのおもしろさ。その最初の作品にニューウェイブの旗手などと表紙に印刷したものだから、あなたはイヤな顔をしていました。でも私は、ほんとうにそう考えているのです。もしかして、あなたは伝統的なストーリーテラーなのかもしれません。

あなたの作品は、少しあとから走ってくる若ものたちへのメッセージであり、少女マンガのターニングポイントといわれている80年代へ向けてのメッセージでもあるわけですから、1作ごと新しい戦慄をもって登場してください。これから、すこうし長い作品も描いていただこうかとも思っています。6月には、単行本をだしましょう。今日のあなたの仕事部屋のBGMはなんでしょうか、私は粉雪の舞う万座スキー場におります。13日にまたお目にかかりましょう。

野川春子（ギャルズ★ライフ編集部）

吉田秋生

あしたはあしたの風が吹く

★夏から秋にかけての「カリフォルニア物語」のエンディングに向って、ただ今奮闘中（?）の吉田さんですが、「カリフォルニア物語」が終ったらまたアメリカへ行くそうで、うらやましいなあ。

▶◀「カリフォルニア物語」／小学館刊より。

某年某月某日に某所に生まれる。某短大出身。「ちょっと不思議な下宿人」で、別冊少女コミック'77年3月号にデビュー。その後、別冊少女コミック中心に作品を発表。代表作に「カリフォルニア物語」などがある。

――よく萩尾望都さんなんかの線に似ていると言われてるみたいですけど。

ええ、人には良く言われるんですけど全く意識していないんです。それに自分の絵もまだ固ってないから、気分によって線も色々と変るんです。今回はちょっと太くしてみようかとかね。

でも私、だれに似ているとか言われても別になんとも思わないんです。プロだったら、やっぱりこれは大変だとか思うんでしょうけど、そういう意識って余りないから、萩尾先生に似ているとか言われても「あ、そうかもしれないわねえ。」とか言って自分で喜んでるんです。まんがって狭い世界だから、そういう人を捜そうと思えばいくらでもいるんじゃないかと思うし。

――吾妻ひでおさんがお好きとか。

ええ、もう本当に私の肉体の一部というか、崇拝しきっちゃってて、先生の前にでるとアガっちゃって、かえって話せないんですよね。遠くで眺めて、へへ〜っていってる方がいいという感じで。あの人いい男じゃないですか。お会いした時びっくりしちゃった。どういう所っていうか……とにかくいい男なんですよ。

――吉田さんのまんがは、非常に日常的な感覚が勝っているところがあるように思えるのですが。

そうですね。私、知らないものは描けないんですよね。というより理解できないものは描けない。だからSFって言っても、理解できないところがあるから、自分で解らなければ拡げていかれないと

すげえな
こんなん
どうやって
手に入れた?

しかも
「マイルド・セフン」
と呼ばれる
超高級品だぜ

へえっ
これが?!

兄キがな
香港で
手に入れた

▲▼アカプルコ・ゴールド／『マンガ奇想天外』

▲「カリフォルニア物語」／小学館刊

いうかね。

まんがを読む側に回ってみても、なぜだろう？なぜ？そういうような、一つでも疑問が湧くともうだめなんです。欲求不満になっちゃう。ストレートに伝わってこないでしょう、ちゃんと。たとえば、自分の作品が載った雑誌を見てみても、解んないのがずいぶんあったですよね。なんか抽象的で解んない。なにか意味はあるんでしょうけどね。とてもじゃないけど私には致達できないですから、ああいう世界は、難かしくて。

――最近の「カルフォルニア物語」なんか特にそうなんですけど、吉田さんの作品を読むのがつらい、気が滅入るという所があるんですが。

そうですか(笑)あれはもっともっと墜ちていって、悲惨になっていきますよ。

不思議とね、でもね、落ち込んでいる人間を描いている方はハイなんですよね。ハイでなければ、私って漫画描けないんですよ。絶対に。もう締め切り遅れようがどうしようが。

笑い飛ばしてるんです。冗談みたいなもんでね、描いてる本人は全然落ち込まないですよ。何か創る時はハイでなくっちゃね。でも、落ち込む人っているんですか。

――そうすると、去年はハイな年だったわけですか。

そうですね。去年はハイでした。いい年でしたね。

――十三夜荘奇談などは。

あ〜、あの話はしたくない。あれはかなりアイデアが古かったんですよね。だけどたまたま約束しちゃったもので。だめなんですよね。当時と全く感覚が違うから。あれはデビュー当初あたりのですからね。かなり昔ですわ。当時考えたのでは、もっともっとファンタジーなもので、ところが最近どうしてもファンタジーって描けなくて。だからかなり中途半端なものに終ってしまって。つくづくあれは昔に描くべきものだったなって思います。

――今年はどう。

今年はもう、最初から落ち込む事が多くて、仕事の事とは関係ないんですけど。それで「カルフォルニア物語」を夏か秋のあいだには、だいたい終らせて、アメリカの方へまた行ってこようと思うんです。でも、わりといきあたりばったりですからね。計画を立てて、計画通りに行ったことないですからね。その都度その都度、今が良ければいいじゃないっていう感じで。気楽ですよ、本当に。

本誌編集部

吉田秋生のペンギン的"眼"　友人"S"の証言

吉田秋生はかなり少女まんが家らしくない作家なのではないかな（特にメジャーのまんが界においては）。絶対になってやろうという根性を持っていたわけでもなく、投稿を重ねたわけでもなく、少女まんが界に彗星のごとく現われて（あっこんな書き方をすると後で怒られるだろーな）すばらしい作品を描き続けているのだから。

ある晩の事。私と彼女はお金持ちの奥様ごっこをしていました。私が「あたくしダイヤモンド買ったんざーんすの」と言うと彼女、（お金持ちの奥様を演じているのだから見栄をはらねばならないのにうらやましそうに）「まーいいわねー。」……かなり本気っぽかったなあ。彼女はまだ自分の立場（売れっ子まんが家としての？）が自覚できていないのですね。

また、別の時のお話。彼女の仕事部屋の冷蔵庫にはペンギンの飾り（ほらよくあるでしょ、セルロイドでできたペラッとした割と大きいやつ）が貼っつけてある。これが異様がられるのですね、アシスタントに来た方々に。「うわっなにこれ？」「ぬいぐるみならわかるけど…」と驚きあきれる人達に、彼女はペンギンのかわいらしさすてきさをとくとくと説明するのですが、"ふーん"とまるで異星人でも見るように眺められてしまうのです。あげくの果ては、前回にこのペンギンを見たアシストさん、初めて来たアシストさんに「ほらっ、これよこれ。」とその異様さを示す始末。実はこのペンギンは私が彼女の誕生日にプレゼントしたものなので、なぜ異様がられるのか私も不思議なのですが…。

ともあれこのへんの話が、彼女が"異色作家"と銘打たれる原因を物語っているような気がするのではあります。

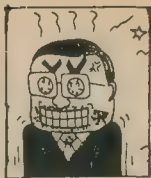
"秋生さん"、これからもオキラクに楽しくいこーね。

須磨裕子
（グラフィック・デザイナー）

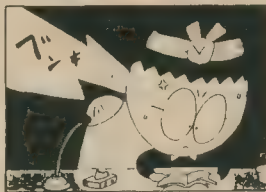
渡辺和博

渡辺和博はこのような人間である

★南さんと渡辺さんとは、知る人ぞ知る『ガロ』編集時代の師弟コンビ。会わなくても原稿位まとめられるよと言う南さんでしたが、それにしてもなんであんなに締切りに遅れるんでしょう…。

▲水飲場／「熊猫人民公社」けいせい出版刊より。

◀2人の海／「熊猫人民公社」けいせい出版より。--日も早く渡辺和博のマンガと知り合いになりなさい　糸井重里

夜明けのマルジュ　「タラコクリーム」　青林堂より。

まず生年月日時分秒血液型を詳細に。

昭和25年2月26日6時45分血液A型RH＋

——魚座ね、四柱推命でいうと魁罡日の生まれだ。魁罡日の生まれっつうのはさ、激烈な運命をもってるんだってよ、生まれは原爆の町ヒロシマね。

広島県広島市堺町1—2—5、おフクロと兄キが被爆者手帳ね、オヤジはそのころ、チャンコロを支配しながら、衛生兵の特権で、ヘロイン打ったりしてた。

ははは、過激だね

カゲキ……

——親子二代でドラッグ

親子二代で変態。

——ああ、オヤジさんもおもしろそうな人だね、話きくと、趣味の鉄工所だし。

発明マニアなんだよね、本来は薬屋なんだけどホビーの鉄工所を裏にもってる

——街の発明狂ね、川崎ゆきおの世界ね、バンドの変りに縄なんかまいてる。

縄バンド……だからさ、ウチんなか、みんなこう、オカシイのばっかりだしさ。あんまりヘンなことしたら、いけないんじゃないかっていうのなかったね。

——非常識がまかり通ってた。

うん、まあ、大体のことはやってもいい。

——ダイジョブ！

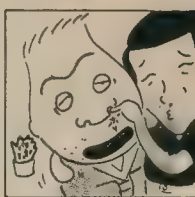
そう、ダイジョブ

——マリファナもLSDも、シンナーも、ダイジョブ

工業薬品卸しだからサ、トルエンなんてドラム缶であるから。でさ、石油缶に移すんだよね、配達する時。うつしかえてる時にダンダン気持イクなっちゃう。で車運転してオトクイに配達するからさ、もう「赤信号一人で抜けても恐くない」

——タメェ、シンナーに気いつけて壁ぬんなァ……ターメェー、シンナーに気ィつけて壁ぬんぬあ〜〜

南さん、ダイジョブ？　なんかヤクやってんじゃないの？　電話盗聴されてっかも知れないよ」

——あはは、トーチョー。

◀熊猫人民公社／けいせい出版

▲タラコクリーム
青林堂刊より

▼夏休み／熊猫人民公社　けいせい出版刊刊

しかしサ、あのシンナーやってた連中っつのはさ、なんでまァ、あーよーに頭をつかわんかねェ。頭ツッパラかしてから、シンナーくれえゆうても売るわけないよ、泥棒すんのにホッカムリしてくるようなもんだ。第一さトルエンのタンクローリーを暴走族はどーしておそわないんだ！って思うね、ここにありますよって書いてあるのにから

――まァ、そう激さないで……ところでさ、あの、5才ぐらいから、常設展示で見てたっていうポップな悪夢があるだろ？

あ、ハンバーグね、あれはハタチで止まった。

――横丁通り抜けると、大通りに巨大なハンバーグが一個、ドーって横たわってるっていう、オルテンバーグより早いよな、5才ン時なんだから、しかし、こうしてみると、オルテンバーグも、けっこう変態だね。ぱふが俺に1800字しかくんないからサ、じゃ、ランダムにナベゾ的なものをあげてもらおうか。

航空ファン、丸、ヒットラー、綺想科学、IVY、VAN、三島由紀夫、渋沢竜彦、森茉莉、稲垣足穂、タラコ、天地真理、木村恒久、中公新書、馬賊、ハルピン、モトグッチルマン、カワサキZ650、幕府、土人、さぶ、デブセン、しょっつる、クサイ街、スインガーのポラロイド、ニコン8×30ハードケース付双眼鏡、河合奈保子（ゴローのピンナップでビキニが小さいのでオッパイがはみ出して日のあたらない所が青になっていたのがイイ）盲腸、色素沈着なども好みです。始祖鳥、トルエン、エチルアルコール、千代の富士、ニコンFM、ヤマハのアンプ、テクニクスのプレイヤーとデッキ、準光ミサイル（ビーム兵器はコストパフォーマンスが低いから〈電気をくう〉キライダ）列仙伝の修羊公、トフラーのサードウェーブ、CARグラフィック（オートバイ雑誌は仕事にさしつかえるので、ひかえている）水戸黄門、アルタードステイツ、実録満鉄調査部（上・下巻）オホーツク諜報船、高信太郎はエライ、イマイ人達の将来を本気で心配している。サンリオイデオロギーを見直している。憲兵になって従軍看護婦を犯す役のビニール本の仕事を待っている。足カバーのデザインもすぐれている。筒井康隆の東海道戦争、ヨロイを着て十二単衣の女の人をレイプするビニール本もぜひひとつ、ナニしたいと、このようなことどもを好きな今日このごろである。

南　伸坊（まんが家）

渡辺和博はイマい

渡辺和博のマンガは、リアルタイムで進行している。それが過去の経験をモデルにしている場合も、イマとしてとらえられないことはない。時代劇を描いても、未来劇を描いても、やはりそこに登場する人物は、イマの人なのであり、イマの興味というものとシンクロしているのである。

そして、渡辺和博のイマは、少しばかり、世の中の人々よりも新しい。読者が編集者がイマに追いつこうとして走っている時に、渡辺和博は、カワサキの400かなんかで、ズルして先をいっているのである。しかし、渡辺和博はフルスロットルで、人々をひきはなしてしまったりはしない。さびしいからだ。彼は、アレでなかなかの人情家なのである。人々、と情を交していたいのである。かといって、バイクをおりないところが、まァ、クセモノである。

ナベゾというニックネームは、宮武外骨の滑稽新聞などで活躍していた、大正のイラストレーターの「なべぞ」の流用・である。このイラストレーターの、猥雑で下品でズサンでパワフルなところが、ひどく似通っていたからである。命名は師匠の赤瀬川原平こと尾辻克彦こと赤瀬川克彦先生である。先生の方は黒坊というペンネームの、もっと完成度の高い職人的機知のあるイラストレーターから、いただいて、赤坊と名乗っていた。

しかし、ナベゾはなべぞから出て、ナベゾを獲得している。小生や糸井重里なんかが、ナベゾ現象と名付けたものは、勿論お互いに無関係ではありながら、次々に後発している。ツービートであり、紳竜であり、なんとなくクリスタルである。漫才にしても、小説にしても、暗黙裡の芸の土俵というものを、知らずのうちにフツーの人は了解していて、その土俵で技を競ったりするのであるが、これらの人々は知らずのうちに土俵をわってしまうのであった。格別、新ジャンルを切り拓こうとしているのではなく、ごくしかたなく、そうなってしまうところが、ナベゾ現象なのである。

南伸坊（まんが家）

嗚呼、愛しのパンツたちよ。'81年パンティは乱舞するか!?

ズロースからパンツへ、パンツからパンティへ、そしてスキャンティへと――限りなく変遷するパンティイメージを追って忙しいおりには暇にまかせて、アホらしくも切実な座談会の夜はふけてゆくのであった――

イラストレーション　あだち充

登場人物紹介

可部達郎(29)
●日本大学芸術学部映画学科卒。在学中より才谷遼名儀でカット・イラストで喰いつなぎ、TV映画の助監督、シナリオ修業の途中、本誌の前身の前身の「だっくす」に参加。以後無意味に歳を重ねて現在に至る。昨年話題になった青春映画『純』の横山博人と大学での同級生。

香月千成子(21)
●上智大学史学科東洋史専攻四年在学中。高校在学中より本作りに興味があり大学合格と同時に全国誌発行寸前の『だっくす』に投び込み、お手伝いから現在本誌になくてはならぬ存在となる。手塚治虫ファンクラブ所属。

南端利晴(30)
●桃山学院大学社会学部〝言語・文化プロジェクト〟専攻ではあるが、学生時代よりロックのコンサート活動に明け暮れ、後5年間測量の仕事に従事、去年の2月に大阪で奥さんと共にまんが専門店「わんだー・らんど」を開店。経営難に四苦八苦しながら『わんだーらんど通信』を発行。

白神康文(26)
●日大芸術学部映画学科撮影コース卒業の後TV「大相撲ダイジェスト」のアシスタントカメラマンとなる。「ぱふ」では主に発送関係の仕事に従事。SMの大家でもある。酔うと、「そもそもSMの唯物史観をマルクスの弁証法的に分析すると……」という有難い講義が聞ける。〝ぱふ倒産事件〟で現在無職。

柴田尚栄(22)
●東海大学卒。高校時代「ベルサイユのバラ」に感動して史学科西洋史を専攻。勿論語学は仏語。在学中に「オルフェウスの窓」にまた感激して卒論はロシア革命。「男のアレは大きさ硬さは関係ないわよ、ようは使いゴコチよ!」と常識にもとづいたうんちくのある意見に編集室一同いつも感心するばかりである。本誌では主に版下制作に取り組む、その特権を利用して本文中に「鉄」となっているがそうはイカのキンタマで「鉄」なる女性は彼女であるので自覚して読まれよ読者諸氏。

小杉克宏(21)
●和光大学人文学部文学科四年在学中。専攻は日本文学。警視庁保安課の要職にある厳格な父のもとで幼年時代を過す。剣道二段。父の教えとアカの道に走った自己の矛盾と相剋に現在非常な苦悩の中におり毎夜酒びたりになっている。

山口　浩(19)
●〝大卒でなければ人間ではない〟という厳格な社風の我社においての高卒の山ちゃんは90㎏の体重を小さくして日々を過している。元警察官で現溶接工の酒乱の父を持ち幼い頃は刃傷沙汰がたえたことなく本人も地元隅田警察署では顔なじみの生活、その荒ンだ生活の故かおとめちっくまんが以外まんがではない!!の確信をもつにいたり、現在毎夜々々、酒気をおびて新宿の街をおとめちっく音頭を大声でうたいながら徘徊している。(こういう席では無口ゆえ酒のみぐびぐびとのんでいる)

草留嘉久(22)
●熊本工業大学土木科卒。卒論「三角測量とトラバース測量」。本籍鹿児島県川内(せんだい)市。大のサッカーファンで野球嫌い。キイッポンの性格で「暴力は止め下さい!」が口癖。根ッからの九州男児。

深道宏太郎(23)
●東海大学文学部文明学科ヨーロッパ専攻。卒論「E・フロムの社会精神分析」。ラテンアメリカ研究部に所属、スペイン語を自在にあやつり昨年メキシコに遊学。日常と酔時との落差が著しく、本人全く自覚のないのがおもしろい。名物始祖鳥踊りの創始者。

村石憲一(23)
●早稲田大学文学部四年在学中。旧「ぱふ」では主に同人誌のコーナーを担当。3日完徹してもケロリとしている根性には脱帽。清彗社より全スタッフ引き揚げ時、唯一彼だけが清彗社に残る。現在清彗社ぱふの編集長に就任、今後の新「ぱふ」の発展は彼の手腕にかかっている。

●その他、女男あわせて二、三人。ゴキブリさん等の特別参加あり。おーい酒がきれたぞ。

可●最近一番感動したのは、あの「ダッシュ勝平」ね。あれで勝平が神業のようにしてパンティーを脱がす場面があるでしょ。一旦片方を引き下げて、それでぴょ～んと上に飛んで脱がすというやつ。あれ理論的には可能なわけでしょ。

小●うん、あれはすごかった。

可●それで思ったんだけど、ああいうのは少し前までは無かったんだよね。たとえば「ダッシュ勝平」なんかの走りの「ハレンチ学園」ではパンティーを脱がすんじゃなくて、スカートをまくるわけじゃない。つまりあれと比べると確実に進歩(?)しているわけなんだ。

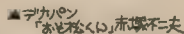
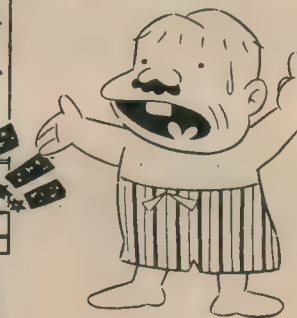
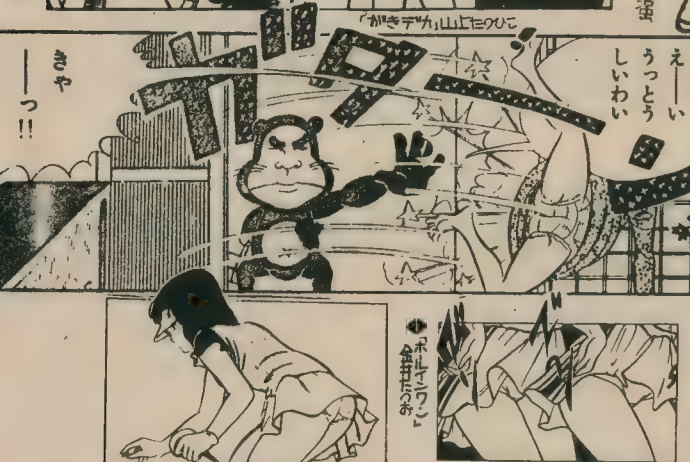
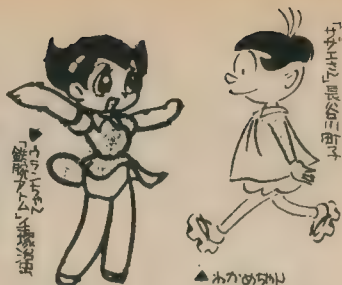
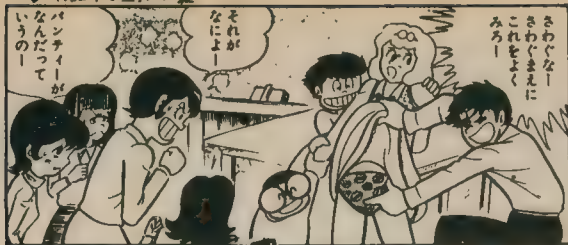
一同●うむむむむむ。

可●或いは、パンティ　そのものの描き方にしても「ハレンチ学園」のパンティーと「ダッシュ勝平」や「みゆき」なんかのパンティーとは質感がが全く違う。だからそういうふうな事を通して、ここ何年かのまんがの何かが出てくるんじゃないかと。

一同●はは あ(呆れている)

♨まずはドキット　した体験談を

可●始めはね、ウランちゃんとかさあのへんでさりげなくパンツが出てくるわけでしょ。それと「おそ松くん」のデカパンで、パンツの中からなんでも出てくるというやつ。それでまあ、「ハレンチ学園」が来て、これが第一次パンティ革命なんだ。

小●もうちょっと詳しく。

可●いや、だからさ、あんなに真白いパンティーがチラチラしていいんだろうかと

▼「ハレンチ学園」永井豪

「サザエさん」長谷川町子 ▲わかめちゃん

▼ウランちゃん「鉄腕アトム」手塚治虫

「がきデカ」山上たつひこ

▲デカパン「おそ松くん」赤塚不二夫

◀「ホールインワン」金井たつお

▼「みゆき」あだち充

いう。それで「ガキデカ」でもってさ、やっクッキリ、ハッキリというのをさ、やったこれが第二次パンティ革命。つまりビーナスの丘のふくらみをくっきりとかいてしまった。それから、エロ劇画を代表した**石井隆**のもっとロー・アングルで接してみようという表現。これが第三次パンティ革命。三、四年前かな。現在はもうパンツをとってしまっているのでこれは今日のテーマと違ってくるね。

そーゆう話になると、やっぱり**「御用牙」のかみそり半蔵**。あれからの歴史と系譜をひもとかなくちゃ。

小●カミソリハンド？

可●米俵にさ、ドスッドスッてさ突き刺すわけ。それとかビールビンでさ、ただいて鍛えてさ。

一同●ビールビン!?☆

草●なんで江戸時代にビールビンがあるんですか。

南●スリコギみたいなのでしょ。

鉄●ひえ～～たたくの☆!!☆☆☆☆

可●あるいわ真崎さんなんかがさ、ハードにやってたわけ、性器なんかについて。それで最近の極め付けはビニール本でさこんなかわいい子が。透けて見える、毛。が一本一本見えるという。

女一同●うふふ　うふふ

香●かわいいのよねえ。

可●いや本当にさ、あれはかわいい子でないと価値ないの。

鉄●〝かわいらしさ〟の基準の問題ですね。

〝かわいい〟のが〝いやらしい〟

可●あとそれから「ホールインワン」あるじゃない。あれは感心した。ビーナスの丘のふくらみね、まあそれをかいているのは現在の水準ではどうのこうのいってもたいしたことないわけ。ところが後からのアングルで、パンティをして性器のふくらみをピシッと描くのね。エロ劇画では常識のことながら、ピシッと描くのねあれはやっぱり、ここまで少年まんがは来たのかと感動してしまった。

小●あれは当時画期的なすけべまんがだよね。

南●「みゆき」が今すごく売れてるでしょ。それから今出た「ホールインワン」。あれで〝SEX〟と〝かわいらしさ〟がドッキングしたと思うの。つまり〝かわいさ〟が〝いやらしい〟のであって〝いやらしい〟が〝かわいい〟になった。

鉄●なるほど

南●ビニール本なんかが、まあ時代的に若干ずれるかもしれへんけど、当初昔から、エロ本というのがあったわけよね。それが透けて見える度合いがどうのこうのとはまた別に、**モデル自体がかわいい**というのが非常に大きな要素になってきた。だから去年位のビニール本のシーンでは、〝かわいらしさ〟が〝いやらしさ〟であり、〝いやらしさが〝かわいい〟そういった状況が完全に実現してるわけよね。だからカワイないと買わへんという。どれだけ見えてるというのとは別問題なんやねん。

鉄●宮崎美子と一緒だひえ～うふふ。

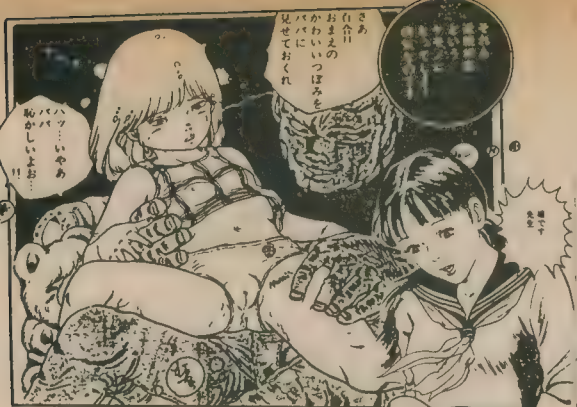
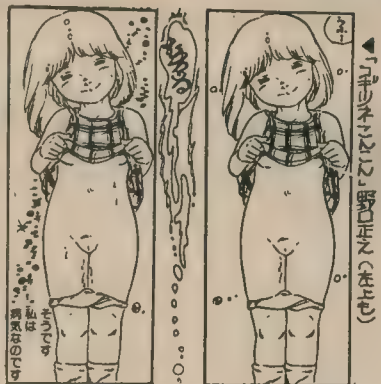
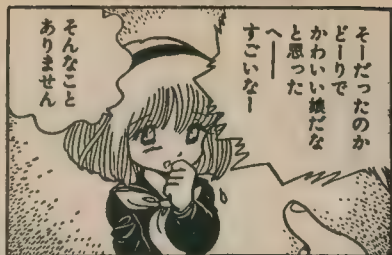
香●「GORO」とかあの辺の「激写」と同じなんだ。

〝かわいい〟のじゃあ立たんもんね

▼「ななこSOS」吾妻ひでお

▼「コギツネこんこん」野口正之（左上も）

▼「ユモレスク」谷口敬「姉妹愛」

▶「もんしろちょうちょのパンツ屋さん」中島史雄

白●全然違うような気がする。
鉄●出たー　ビニ本SMの帝王！
白●ビニール本を買う時の動機と「GORO」の時は全然違うというか判らんというか。だから私は「GORO」なんか買わない。
鉄●かしこい。
（女一同爆笑）
可●でも俺は同じ動機だよ。
鉄●あれ、違うって聞いた、あたし。だって「GORO」なんて見ても立たんつうよ。
白●立たないよ絶対。あんなモンでは。
女一同●うふ
鉄●ビニ本読むのと目的違うんでしょう？
男一同●うむむむ（深ーく考えるなよ。）
南●今でとる「GORO」なんかね、非常に若い子が出てるわけよ。あのうおっぱいのふくらみなんか、かすかにふくらんでるかなあっていう。それで写真の独特のトーンがあるねん。きれいにぼかすやつ、あのトーンを見る時にね、僕なんかビニ本見る時よりも、こうじわぁ～～～っと、こうなんか……
一同●うひひひ
香●ロリ・コンとは違うの？
南●わりとそこらへんは、あるのかもわからへんけどね。
白●それでいうなら、わしロリータもんだわな。9才位の…へへへへ。

♨「みゆき」の読者は中島史雄の読者か

南●前にも言ったけど、「みゆき」が今非常に受けてるわけでしょう。そういったものとね、内山亜紀とかいるでしょう。あれもすごく売れてるの。
可●もと「漫波」よく投稿してたの。よく僕なんか、もっと絵を丁寧に、とか言ってた。今はもうその筋の巨匠だ。
南●それとか中島史雄とかあるわけでしょう。その辺を買う読者層というのがね、はたして本当に違うのかっていう。たぶん「少年ビックコミック」読んでる少年達が、中島史雄の作品に触れたら買うんじゃないかって気もする。
白●うーん、わしは、中島史雄は買うけど、あだち充は買わないの。つまり、いかに過激であるかっていう所に買う基準がある。"かわいらしさ"と"いやらしさ"は絶対イコールでは結ばれない。
可●高取英がいうには今日のエロ劇画の衰退は、大手出版社が有名作家を使って、かつて日のあたらないエロ劇画がやってきたことを大発行部数でドンとやっているからだと分析していたけれど。
鉄●そこら辺は個人差じゃない。
南●というより、ビニ本の中で受けてるのは、かわいい女の子であり、そういうことが「GORO」の写真のトーンとか、「みゆき」とか読むと、まあ実際、全体を通じて触れ合う機会がないから、そういうもの全て買ってる人はいないかも知れないけど、「みゆき」の好きな子供だって、結構そういうような視点は成熟してるんじゃないかという。
小●ううん、そうかあ。
白●全然違うから解らないとしかいいようがない(笑)
まあ個人差はともかく、今の時代で、いわば"かわいいやらしさ"がかなりの支持を集めているということじゃあないですかね。
白●前にも少し話が出たけど、ビニール本のパンティーね。
オ●あ、スケパンてやつ。

白●あれは嫌だね。いかにも、それはバタフライなんかもそうなんだけど、見せる為のものでしょう。わしはああいう時に見る視点というのは、パンティーを見るわけじゃなくて、中味ね。
一●ふんふん。
白●ビニール本の透けて見えるというのはだから一つのテクニックだわな。パンティー自体に感じるというのであれば、やはりパンティーがどこにあるかという…
香●どこにあるっていうと?
白●ちゃんとはいているのか、或いは片方脱いでいるのかという(笑)
一同●へえ(少し感嘆して)
白●その場の状況によって、同じパンティーでも見方が変わるというか。
小●なるほどね。
白●ま、いってみれば一種の舞台装置だな。だから、私はパンティーそのものには感じない。
香●昔からそうなの?(一同爆笑)
だからさ、少年まんがパンティーだけにこだわるのは、その中まで発想がいかないからじゃあないか。
白●いや、だけどその中を発想するからこそ、パンティーイメージ云々という話が出てくるんじゃあないの。うん、そこで一歩止めるっていうことなんだよね。
小●でも少年まんがで、透けて見えたらおもしろいだろうなあ。
香●やっぱり絵で描く時は難しいんじゃない。
鉄●あ、真面目に考えてる。
一同●わはははは。

やっぱり刻明に描きたいものだ。

南●「わんだ~らんど通信」でやってるんですよね、モロに中味を描いてね、それにスクリーントーンを三重位にはり付けてるんです。そういう見開きの一ページがあるんです。
あれが一種のビニ本的描き方ね。
でも性器だけに関する限り、宮谷一彦はクッキリ克明にやったからね、「COM」とか「ヤングコミック」で。
可●女性器だけをこう切り取ってね、そこへ魚がスッと入って行くとかね。空の形とか雲の形に似せね、モロにそういうの描いていくのね。
白●でもそれは「モロに」というんじゃないでしょ。部分だけという。
可●いや、部分だけでも性器をさ、描いて印刷されたことが、かつてあったという。それに、この前宮西計三さんが、「ぱふ」に原画を持ってきてくれたじゃない。宮西さんはきちっと描いてるのね。ところが編集部が黒ベタやったり、指定で印刷しなかったり。
小●そうそう。
可●それとか、この前聞いた話だけど、石井隆さんが全部描くんだってね。鉛筆で全部描いてから消ゴムで消す。
小●うん、それは一種の怨念なのかしら。
可●そうじゃないかな。
鉄●やっぱり描きたいんだよね。
可●手塚治虫さんの「バンパイヤ」でさ、トッペイとチッペイの兄弟があるでしょ、それで変身する時は裸にならんと仕方がないわけ、ところがトッペイの方はオチンチンは描かれないんだけどチッペイの方は有るわけね。それとかロックね。ロックというのはナルシズムの男でさ、裸になって鏡に向って「ぼくは美しい」というシーンがあるの。
香●あれは「バンパイヤ」じゃないよ。
可●おっ手塚治虫ファンクラブ。
香●身体が透けて骨だけ見えちゃうってやつ。うんと…
草●「アラバスター」
香●そうよ、「アラバスター」じゃない。
可●そうか。でもその中でロックの性器は見えないわけ。それは手塚さんの自己規制でしょう。子供の性器はいいんだけど大人の性器はダメなんだよね。
鉄●自分に近いからいやなんじゃないですか。
可●まあ、それはあるかも知れないよね。だから毛が生えて来たらワイセツになるという部分で、手塚さんが何かに搦め取られているという所があるんじゃないか。というよりも現代そのものがからめとられているという気はするがね。

石井隆は「影武者」だ!?

可●そろそろ石井隆のオーソリチーに登場して欲しいんだけど。
村●え、僕はそんなに詳しくないんだよ。出た当初は知らなかったしさ。
可●石井隆のローアングル。あれは間違いなくパンツを見せるためのものじゃない。
村●うん、まあそうね。結局あの人はパンツに限らずアングルの人だと思うわけよ。顔なんかの向きとかね。
可●今回はローアングルのパンツだけに絞ろう(笑)
間違いなく普通じゃ見えない視点なわけでしょう、ローアングルというのは。加藤泰という映画監督がいつもローアングルなのね。たとえば藤純子が着物を着ていて、裾が乱れるんだ。それが普通の視点よりも下だからものすごく色っぽい。で石井隆という人は日活の助監督の出身でしょ。
村●うん。
可●だからそういうのはあるんじゃないかと思って。
鉄●あ、そうなのか。
可●まあ表現がどうかという話じゃなくて感じたか感じないかという話をしよう。
鉄●でも石井隆を読んで感じるのかなあ。
可●でも今の石井隆っていうのは、感じさせないように描いてるんじゃないかっていう気がする。
白●うん、そういう気がする。
村●そうだね。
可●「影武者」を見てる感じでさ。
(一同爆笑。ちなみに彼は「影武者共同戦線過激派突撃隊」に属しており、こと「影武者」についての悪評に対しては過激な言葉で反撃することで知られている)
鉄●どうしてここで「影武者」が出てくるのよ。
可●黒沢映画っていうのはさ、昔は心踊る躍動感てのがあったわけ。ところが今は淡々とした芸術作品でさ、すごいシーンが目の前を流れていくという。
村●もともとあの人はエロというか、いわゆる三流劇画っていわれる、それこそ劣情を催すような本ていうのかな、ああいった所ではやれないっていうのがあるでしょう。
可●そうだね。
村●自分でもそういってるしね。だからそこで求めるものが(そこで)ちょっと違ってくると思うの。
可●最近それがかなり明確になったと思うんだけど。
村●うん、まあ。
可●だから今、石井さんからファンが離れ

▶「水宿」吾妻ひでお」

▲「牝猫の舌」巨匠村祖俊一

▼「天使のはらわた」石井隆

■ヌード氾濫の時代に、あえてヌードで証明するものとは何か!? 次号、革命的オールカラーを待て!! 一勢

▶パンティを投げ捨て幾代はオールヌードだ。「黒大空」池上遼一／雁屋哲 少年サンデー25号'81

▶これはめずらしい白土三平のパンティ「犬狩り」(ビッグコミック連載中)

ていきつつある。

鉄●そうなの。?

可●だって読者は見たいわけでしょ、普段見れない所を。ところが石井隆のローアングルというのは思想になってるわけ。

村●ううん、そういった意味でのファン離れっていうのはあるかも知れないね。そういうの見ようとしたら石井隆じゃ満たされないっていう。

可●昔はそれが満たされていたの。70年の安保の頃はさ、ローアングルであることが過激であり思想でありワイセツだったの。それが丸となって、カミソリ半蔵、ドスッドスッとかさ(笑)宮谷一彦の性器とかさ。

ありきたりのものを ありきたりでなく

可●一つ聞いてみたいんだけど、女の子のパンティーに興味ある人、手を挙げてくれる。

白●はいてみたいゆうかそういうのはある。

南●あれ、はいてみたことないですか。

(爆笑)

白●もちろんはいたことはあるけど(ふたたび爆笑)だからはきたいという欲求があるのであって、別にパンティーそのものに対してどうとかいうのはない。

可●なるほど。それじゃまんがの中で好きなパンティってあるかな。

白●うん、**吾妻ひでお**のパンティってのはとってもかわいらしい。

鉄●あ、吾妻さんはもう出さないって言ってました。

白●出さないって?

鉄●うん、エロチックじゃなくなるから。出さない方がエロチックだって。子供も出来たことだし、もう出さないって。

南●どう関係あるんだろう(笑)

可●あのう、**本宮ひろ志**のパンティに感じない?

香●本宮さんというのはさ、女性に対する征服欲が強いんじゃない? 私は嫌だな。

白●それがまた上常な征服欲だから、ちっともおもしろくないんだな。

白●読んどって恥ずかしくなって、思わず顔をあからめたりする(笑)

(一瞬の沈黙の後爆笑)

可●君の征服欲というのをゼヒ聞きたい。

白●まあ、人それぞれじゃから…うううん本宮ひろ志の場合な、こうありきたりなわけだ。私が気に入らないのは、ありきたりなものをありきたりに描くという所に満足がいかない。ああ難しいな。

可●じゃあ、ことまんがに限ってさ、君が感激するありきたりでないまんがというのはどれでしょう。

白●**村祖俊一**(キッパリと)

可●どういう部分が?

白●まあ変態的な所が好きなんだけど(笑)いわゆる「正常なセックス」に結びつかんでしょう、彼の場合。まあポルノとして見た場合、セックスするというのが目的のまんがっていうのは他に沢山あるわな。彼の場合はセックスすることが目的じゃない。何をするのかというと…いろんなことをするんだけど(笑)

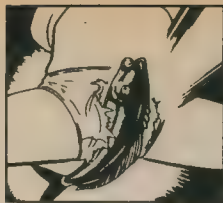
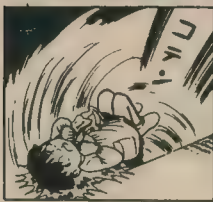
鉄●ナニ、ナニ、ナニをするの

白●いろんなことと言っても、それぞれによって違うけども。たとえばずっと具体的な話をすれば、縄に後を犯されるとかな。……………。(エンエンと続く特殊なセックスのバリエーションの説明。SMマニアの真随を知らされる)

▲▶「半田溶助女狩り」山上たつひこ

視線がズブッと入ってゆく

香●「ダッシュ勝平」って始めからあんな作品だったの。
小●あのう、最初はスポ根まんが描こうと思ったんだって。
香●読者の意向でなのかな、それとも編集の方から…
可●本人だよ、あれは。
小●そう、作者。編集もちょっと唖然としてるみたい。
可●あの人はちばてつやさんのアシスタントだったんじゃないの。
小●いや、山上たつひこさん。
一同●ええーっ!
小●「新喜劇思想大系」の頃にやっていたんだって。
白●あ、そうだ。話がコロッと変って申しわけないが、「新喜劇思想大系」でな、「女」という字を描いて興奮してやってるの(笑)いやあれはすごい、哲学じゃないかと思って。「女」というのは「パンティー」だと置き換えられるんだな。
南●あれは『半田溶助』じゃあなかった?
白●うん、はっきりとは覚えてないんだけど。「娘」とか描いてね。
南●そうそう。
白●要するに想像力の問題じゃあないかと。
可●「半田溶助」で感心したのがあって、「視姦」というのがあってね。
南●そうそう、平均台で女の子がやってて、矢印がずうっと股の間にね。
可●うん、視線がさ、ぐぐっと入って行くわけ(笑)
男一同●うひひ
南●ズブズブッとかね(笑)
香●うわあ、そばにこないで(彼女は南端氏の隣に座っていた)
可●女の子ってさ、そういう視線を感じるんじゃないかと思ってさ。だからマジな話じゃないかと思うんだ。
鉄●エッ、それはないよね。
男一同●そうかなあ。
可●あ、それで今思い出したんだけど、**篠田正浩**という監督がいて、その人が「**心中天網島**」という映画を撮った時、岩下志麻と…ええっと誰だったっけ、からむ相手役は。
鉄●宇崎竜童!
草●違うよ、あれは別のじゃない。
可●いや、まあそれでね、最後に心中する前に墓場でセックスする場面があるんだ。それで篠田さんがね、二人の演技注文で「今½入った、今、½入った!」
小●ううん、なるほど。
白●いや、あれは興奮した。うん興奮すると言うと問題があるんじゃが。
女一同●うふふ
白●自分の女房が犯されているという所を、見てみたいという…まあ視姦の一種じゃな。
一同●うーん
白●自分じゃなくて、他人によ。
鉄●でも、それワカル!ワカル!
女一同●ええっ!
鉄●解るんじゃない。犯されたい欲望と一緒でしょう。女にとっての。
可●自虐趣味ということかな。
鉄●そうそう。
白●そうなのかな。
鉄●そうでしょ。あるでしょう。
香●うん、それはあるね。
可●そうか。あるらしいよ、みんな。
男一同●ウハハ……(一瞬の後)ウヒヒヒ

夜も段々更けてゆき、話も少しずつ変態じみてきた。

▲「まことちゃん」梅図かずお

♨ズロースが吠えて追いかけてくる恐怖

可●山上たつひこの話がさっき出たけど、まあ、出たついでに言っておくと何かギャグをやると、ひっくり返るじゃない、そうすると今迄は足だけひっくり返っていたんだけど、山上さんのまんがではさ、女の子が足を広げて、完全にひっくり返るでしょ。

一同●うんうん

可●あの時パンティがさ、いろんな模様で出てくる、ところがそのパンティの最中に、筋が一本か二本描いてあるの、あれはかなり、革命的であったような気がする。

小●今、思い出したんだけど、**「まことちゃん」**のお姉さんのパンティ、あれはびっくりした。

鉄●美香ねえちゃん。

小●パンティーというより、あれはズロースじゃないかって気がするんだけど、そのズロースの股の間の所が裂けちゃっていて吠えるわけ、「パオーン」とか。それでまことちゃんが「ひえ〜」とかいって棒で突つくんだけど、その棒を噛んじゃうんだよね。そしてまことちゃんを追いかけまわす。猛々しいんだよね。

香●すごおい。

可●**梅図かずお**が昔恐怖まんがを描いていたでしょう。それで「ヘビ少女」とかに、かわいい女の子たちが出てきたでしょう。

一同●知ってる知ってる。

可●あの女の子たちのパンティーが見えたことがあったんじゃないかなって、今思い出したんだけど。

鉄●あります!

可●あったよね。恐怖とワイセツは裏表の関係だ。だからそれが、少し進化したんじゃないか。

香●進化ねえ…。

小●ズロースというのがすごいんだよねえ。

深●ズロース自体が恐怖だったんじゃないかな。

可●なるほど、鋭い。

香●それは個人的なものなのかな。

小●うふふ、あの人まだ独身だったね。

鉄●うん、そうかあ…(何やら思案深げ)

可●さて、本命の**永井豪**はどうかな。

草●そういえば、あの人も独身でしょ。

一同●うむ。

可●かつての「ハレンチ学園」じゃなくて現在の永井豪の話を。

小●**「けっこう仮面」**あるでしょう。あの人、今だにパンティーにこだわってるのね。

香●**「幻パンティー」**。あれも同じ系列でしょう。

小●「幻パンティー」かあ、しかし、感動的な名称だなあ。

山岸涼子はスケベまんがか?

白●**山岸涼子**はスケベまんがか。

小●あの人はスケベじゃないんじゃない。

白●そうかなあ、わしゃ、あの線はスケベだと思うんじゃが…

小●色っぽいけどもねえ。

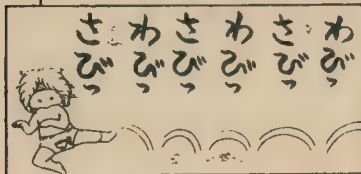
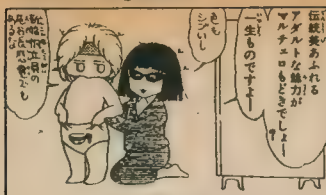
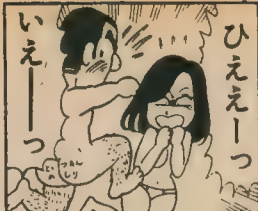
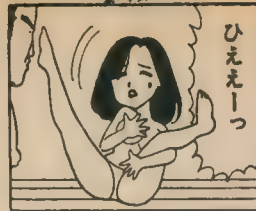
草●そうそう。

白●でも、あれは一番感じるのだが。

小●誰に感じるんですか?

白●あの皇子さまに感じるのじゃが。

香●女装してる時と、普通の時のどっち?

白●そりゃ、まあ普通の時の方が…だから女装の時というのは、実物が目の前にい

萩尾望都
▲〈3月ウサギが集団で〉

るわけじゃないから、絵として見れば女と一緒でしょ。だから普通の時。

一同●うーん。

この人の変態はパンパじゃない。勿論良い意味で

可●この前『少年ジャンプ』と**エロ本**は同次元という話を聞いてきたそうだけど。

小●うん。宮西計三さんにうかがったんだけど、つまり、エンターティメント、他人をおもしろがらせるという事を極限まで追求していった形が、『少年ジャンプ』でありエロ本ではないか。一方は少年誌で、もう一方は青年誌という違いはあるけれど、その意味では同次元に位置するのではないか。とまあ、そんな話だった。

可●それで聞きたいんだけど、宮西さんというのは、そのどちらからも外れてるんじゃないかっていう気がするんだけども。

小●それはそうじゃない。

白●宮西さんのまんがはイキそうでイカないんだ。

香●ううん、今のはスルドイ。

小●それで思ったのは、そうか、ジャンプとエロ本は同じなのか、という事。勿論ジャンプを貶めている意味ではなくて。

白●逆にエロ本が貶められている気がする。

どんどん深化するであろうリアリズムとしてのパンティ。

ここで、可部と白神仕事のため退場。この二人が抜けると、はたして話はどういう方向へ行くのでしょうか。

南●今、販売の最前線では「みゆき」が、たしかに売れとるでしょう。それは何故かということを考えると、パンティにドーンとブチあたるの。

村●うん、だからパンティに限らず、絵そのものがかわいらしくなっているっていうのがあってね。例えば村生ミオみたいに、絵はそうでもないんだけど、やっぱり少女まんが的な人が出てきたり。

南●例えば、「みゆき」の中で、妹の方がお兄さんを待ってて、会った時、「ニャオ」って言うでしょ。ああいう時のかわいさって、パンティを描いてる時のかわいさと同じような気がするの。

村●少年まんがが少女まんが化してるっていう傾向はあるね。ここのところずうっと。そこにどういう風にパンティがからんでくるかという。

南●結局そういうものを、ディティールで追っていったら、パンティというものが一つの核になってるような、つまり象徴しやすいわけでしょう。少年まんがの硬派ものが人気を無くして行くでしょう。70年からずうっと、その中で次にかわる人気者は何かというと、結局リアリティーのあるもの、たとえば学校で隣の女の子のスカートをめくったら有るだろうパンティ。決して「ハレンチ学園」のようなパンツではないわけ。

新聞なんかに聞かれて、よく答えるのは、生活平面でのリアリティーを感じさせるものが、まだまだ伸びるんじゃないかっていうような事を話すの。ヒーローは出てくるかっていうような質問に対してもそういうような事を言うんですよ。

草●ヒーローは出てこないっていうこと？

南●そう。

小●ヒーローというのはカッコ良くないといけないでしょ。つまりタテマエなわけだ。ところが今の時代はタテマエの時代じゃないでしょう。

あだちさんが話していたんだけど、ヒーローというのは、女を棄てて球場へ行って、ウオーと叫んで球を投げてなきゃい

▼「ドッキリ・ドクター」細野不二彦

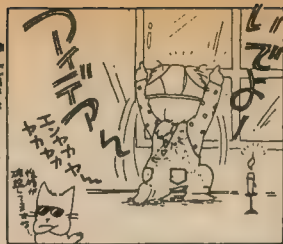
◀「学煙断稲古本番神社乱之記」もとやま礼子

▶「医作の日々」さべあのま

◀「ラブラブ・フランケン」宗我光一

◀「GOOD・BYサブランボ」ビッグ錠

▶「うる星やつら」高橋留美子

けない。でも今は違うでしょ。

南●女の子の方へ行っちゃうんだよね。つまりリアリティーなわけ。

小●それに「**がんばれ元気**」が盛り上がらなかったでしょう、もう一つ。

村●それは、**根性まんが**と現実が、遊離してきたっていうことだじゃない？ つまり、昔根性まんがやれたっていうのはきびしい時代だっていうか、世の中が安保なんかも含めて、必死だったからじゃないかっていう気がする。

南●あ、それは違うと思う。

村●というと？

南●僕なんかが思うのは、いわゆる安保の挫折、70年の挫折、安田講堂であの旗が倒れた時、それから後っていうのはそうじゃない所で根性を発揮したかった。つまり一回挫折して、それでも出したいっていうエネルギーの高まりがスポ根じゃないか。だから70年までの根性と、70年から75年にあった根性とはまた質が違うと思う。端的に言ったら反動だと思う。70年以前のものに対する、

村●実際「**巨人の星**」が始まったのが66年。「**あしたのジョー**」が'68年。じゃあ、70年安保で挫折したパワーっていうのは具体的に、どういう所にあらわれたんだろう。

南●もちろん、その時にあったもの全てがその時代を象徴しているわけじゃないからね。だから「巨人の星」と「あしたのジョー」の根性は別モンだと思う。「あしたのジョー」には、非常に感情移入できるわけでしょう。でもハイジャックして、「俺は巨人の星だ」なんて言わないでしょう。もっと簡単に言うと「巨人の星」は**体制側**で、「あしたのジョー」は**反体制側**なわけ。

村●僕は、はっきり言って70年安保を余り知っているわけじゃあないんだけど、ここで取り上げたのは、単純にパワーっていうのかな、そこまで盛り上って挫折して、またそこから何かやっていこうという、そういうパワーを単純にとらえて、僕は根性ものを考えたんだけどね。

南●僕なんかは、70年当時は大学生だったわけ。それでその時点で何もできなくなった人達が潜行したわけよ、文化的に。決して次に何かやろうとしてスポ根やっただけじゃあないの。

小●最近、そういう人達が表面に出てきてるでしょ。

南●それなりの立場ってあるでしょう。30才前後になっているわけだから。潜行しながら生活していたわけで、そしてその生活の中で、それなりの立場というものを持ったわけ。だから動き出したみたいなね。

小●それで、出て来たのがパンティー。

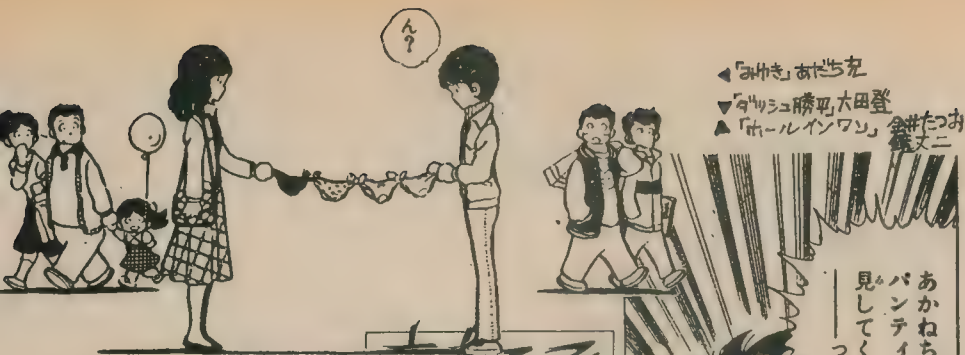
一同 うーむ、そうかな？

話は段々パンティからそれて、もっと大ゲサな話になってしまったらしい。

南●うがった見方をすれば、ああいったスポ根ものの隆盛の背景には、マス・メディアの戦略があったのかも知れない。たとえば、60年代のジーパンというのは、一種反体制的な雰囲気を滞びていたわけね。

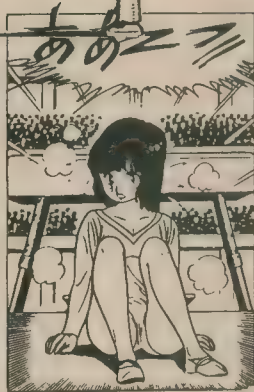
ところが、それがファッションという形で浸透してきて、今では用途別というか、すごいバリエーションが出来てしまったでしょう。つまり資本がずうっと介入して来て、結局ジーパンが全く別のものにされてしまったわけ。極端な言い方をすれば、反体制側のものだったジーンズが、「どうぞ、はきなさい、買いなさい」と許

▲「俺の空」本宮ひろし

◀「みゆき」あだち充
▼「ダッシュ勝平」六田登
▲「ホールインワン」[illegible]

容されたことで、それ以前のスクエアなものと一緒にされてしまった。
それと同じようなことが、根性まんがの隆盛にもあったんじゃないか。

小●たしかに、高度成長みたいな感じ方するもんね。脇目もふらずまっしぐら、みたいなね。

南●スポ根ものを見て、ワーッと単純にそういう世界に入れる人を沢山作りたいわけよ、体制側は。で、それに対する反動としての、リアリティーならば、僕は歓迎するわけ。

小●そうか、パンティーは反体制なのか。

南●いや、体制・反体制という二元論でとらえること自体、難しい時代になってきているわけ。

小●うん、もっと単純に本音を描くってことね。

南●そう、本音。リアリティー。たてまえと本音、そういった相克の中から出てくるリアリティーね。

小●スポ根まんがが、だんだんすたれて来て、今話が出た、リアリティーまんがに変ったのは、一体いつごろなのかな。

香●それは、やっぱり少年まんがが少女まんが化した時期と同じなんじゃない。

小●あ、そうか。でも少年まんがの少女まんが化って何なんだろうね。

香●ようするに、興味がそこでしかなくなったわけよ。女の子のことしか。

草●他に夢がなくなった。冒険ができなくなった。

香●よく言われる話だけれど。

南●現実生活のリアリティーというのを、また別の面からとらえると、現実生活にたっぷり埋没して、他のことは考えないでおきましょう。みたいなね、

小●そうかあ。

南●**「やさしい世代」**とか言うわけでしょう。

小●やさしいというか軟弱というか。

南●うん、軟弱な世代なわけだよ。

小●「やさしい世代」っていうのは、体のいい自己ギマンっていう…。

南●現実逃避。

小●そういうところあるよね。だって他人に対して、本当にやさしくあろうとしたら、きびしくするのが一番やさしいことだもん。

南●自分に対してやさしいのね。

●そう〳〵自分の弱さを隠しているの。

南●大学生なんかでも、四年後のその先っていうのは考えないで、夏はサーフィン、冬はスキーという具合に、この時代の今を楽しんで、みたいなね。だからわりとアッサリ切り換えるんだ、という覚悟はあるんだろうけどね。はっきりと本音とたてまえみたいなものを分断した所で、しっかりと楽しめるものは楽しもうっていう、それが「やさしさの世代」ね。

一同●うん

みんな考え込む。よく考えたら、ほとんど全員がその「やさしさの世代」なのだ。

南●だから、そこからどうするんだろうなあって思うね。ぼくなんかの世代から見ると。そんなにアッサリとカン詰工場の中へ入って行けるものかなあっていう。

草●もう一、二年たったら戦争が起きて世の中がメチャクチャになるんじゃないですかねえ。分らないけど。

南●いや、同じことになると思う。なんでもかんでも戦争が起きたら終るみたいな形でいうのは簡単だから。

草●いや、やればいいというのじゃなくて、そういう風になってみなければ解らないんじゃないか、という。

鉄●戦争起すんなら、革命起した方がいいじゃない。

小●ううん、パンティの話が、ついに革命の話になっちゃったけど、まあここらへんでひとまずお開きにしましょうか。

この座談会を開くにあたって、以上の方々に御協力を頂きました。
あだち充　大島誠（少年サンデー編集）
高取英　宮西計三　（敬称略）
ありがとうございました。

まんがスクール

名称	内容	募集誌	募集
まんが研究生	入選、準入選、佳作、努力賞	週刊少女コミック	毎月
まんが学園	まんが学園賞、優秀賞、努力賞、期待賞、佳作	別冊少女コミック	毎月
ちゃおまんがスクール	ちゃお賞、優秀賞、ホープ賞、佳作、選外佳作	ちゃお	毎月
まんがグランプリ	グランプリ、準グランプリ、ホープ賞、佳作、一席、二席	プチコミック	毎月
		プチフラワー	
		コロネット	
		コロコロコミック	
月例まんが賞	ベスト賞、一席、二席、ホープ賞、フレッシュ賞	プリンセス	毎月
ボニータ月例まんが賞	入選、準入選、佳作、努力賞、期待賞	ボニータ	毎月
フレッシュまんが賞	入選、佳作	少年チャンピオン	
		月刊少年チャンピオン	
なかよしまんがスクール	なかよし賞、佳作、努力賞、期待賞、もう一歩賞	なかよし	毎月
まんがスクール	金賞、銀賞、銅賞、努力賞、期待賞	週刊少女フレンド	毎月
BFまんがゼミナー	別冊少女フレンド賞、佳作、一席、二席、努力賞	別冊少女フレンド	毎月
mimiまんが家コース	mimi賞、優秀賞、佳作、努力賞	mimi	毎月
		ラブリーフレンド	
月例ベスト新人賞	入選、佳作	週刊少年マガジン	毎月
		月刊少年マガジン	
		ヤングマガジン	
ぶーけまんが家養成コース	特別デビュー賞、第一席、第二席、第三席	ぶーけ	毎月
まんがスクール	マーガレット賞、ホープ賞、佳作、努力賞、もう一息の方	週刊マーガレット	毎月
少女まんがスクール	金賞、銀賞、佳作、努力賞、期待賞	別冊マーガレット	毎月
りぼん漫画スクール	りぼん賞、準りぼん賞、佳作、努力賞、もう一息賞	りぼん	毎月
週刊セブンティーンまんがゼミナー	最優秀賞、優秀賞、奨励賞	セブンティーン	4ケ月
月刊セブンティーンまんが研究生	入選、準入選	月刊セブンティーン	3ケ月
フレッシュジャンプ賞	入選、佳作	少年ジャンプ	毎月
月刊少年ジャンプまんが大賞	入選、準入選、佳作	月刊少年ジャンプ	隔月
月刊ヤングジャンプ新人賞	入選、佳作	ヤングジャンプ	毎月
HMC（花とゆめまんが家コース）	金のばら賞　銀のゆり賞　佳作	花とゆめ	毎月
LMS（LaLaまんがスクール）	トップ賞　準トップ賞　Aグラス賞　Bクラス賞　優秀賞	LaLa	隔月

		〃	いきなり日曜日	春日ひろ子
セブンコミックス賞	小学館	〃	該当作なし	
まんが少年新人賞 (第3回)	朝日ソノラマ	新人賞	該当作なし	
		佳作	ミッドナイトストーリー	渡部淳士
		〃	虫喰いのアーモンド	井藤伴夫
		〃	ドラゴンハンティング	鬼城 [illegible]
まんが道大賞 (第1回)	少年画報社	あすなろ賞	蜂の巣とり	後藤長男
		編集長賞	OH! ダイナマイト	青山英雄
		〃	マコちゃん IN PLAY	うのまさみ
		激励賞	地獄よいとこ	羽馬かおり
		〃	海の子伸太郎	金田エイジ
		〃	カブコの壺	上杉昇平
		〃	増殖	鈴木信一
少年チャレンジ新人まんが賞	学習研究社	入選	該当作なし	
		準入選	ぼくのペケペケ	浦和洋次郎
		〃	さつじんがん	市川良彦
		佳作	マシュマロちゃん	やまと未来
アテナ大賞 (第4回)	白泉社	アテナ大賞	該当作なし	
		アテナ大賞第2席	こっち向いて先生	くぼた尚子
		〃	ひっくり返って恋をして	野間美由紀
		〃	猫はネコ	吉田幸子
		第3席	灯を消して	秋本尚子
		〃	拝啓まゆ子ちゃん	飯田みちる
		〃	舞子冬木立	きむらしんこ
		〃	かしこいうさぎさん町へ行く	しばたひろこ
		選外佳作	ロザムンテの間奏曲	千住八重
		〃	宇宙にとどくまで	武山真紀
		〃	ハピネス	村田美久
		〃	彼の子	米山久美子
		〃	ダークグレーの向こう側	緑川圭
LaLa High Schod (第2回)	白泉社	入選	佳作 該当作なし	
		努力賞	かがやいて笑顔	原田真実
		〃	シルバーグレーの雨の中	滝沢美之
		〃	青猫にファンファーレ	星崎真紀
		〃	季節風	矢倉梨花
		〃	マイ♡スイート・インディアン	高見まこ
		〃	わたしの理想の王子様	日高七緒
(第3回)		入選	該当作なし	
		準入選	ケンカしちゃうけど…	松田きりん
		〃	仁久のミスター・メアリ・ポピンズ	安江由美子
		〃	ラストセーリング	ハルノ宵子
		佳作	地下鉄銀河・行	アベ浩子
		〃	ちいちゃんの初恋日記	寺館和子
(第4回)		入選	該当作品なし	
		準入選	あなたのポートレート	すみはら純
		〃	ふりむいて小町ちゃん	賀川かおり
		努力賞	誰かが道をやってくる…	石津ちえこ

			〃	今は秋だよ、今がかんじん 秋がかんじん	するが祐子
			〃	二人のサマースノー	永原陽子
			〃	Twinkle 心のひとしずく	かわせゆかり
別マ・デラマ新人まんが賞	集英社		グランプリ	おれの青春歌	古葉のりこ
			準グランプリ	該当作なし	
			ホープ賞	Love・cushion	聖 千秋
			〃	ポップコーン・エイジ	なかむらりえこ
小学館新人まんが賞	小学館		特選	該当作なし	
		(少年部門)	入選	シネラリヤ	川口啓太郎
			〃	うさぎ小屋の掃除人	木全和也
			〃	木星ピケットライン	浅利義遠
			佳作	才太郎旋風	林 哲郎
			〃	New日本昔話	小久保政則
			〃	風太郎	高木純三
		(少女部門)	特選	ハナテコ・パコペン	堤 聖子
			入選	夏草はるかぜ	賀川祐美
			佳作	ちょっと待った！アーピー	秋枝 純
			〃	グリーンエルムの風の中	みさきのあ
			〃	あたしのコメディアン・ボーイ	牧野比呂子
			〃	兄貴どもスクランブル	穂実あゆ子
			〃	日曜はダメよ	松本英子
		(一般部門)	特選	該当作なし	
			入選	炎の審判	寺安国遠
			〃	ライオン達21世紀	佐々木義彦
			佳作	ストリィトふぁいと	酒生信彌
			〃	アルフォード	上山 敏
小学館新人コミック大賞 (第6回)	小学館		特選	ダーティ・リョーコ	春日光弘
		(少年まんが部門)	入選	Wスマッシュ	桑原久夫
			〃	大さじ一杯のミックスナッツ	とくまるやすじ
			〃	飛んでけエアロ	田仲哲雄
		(少女まんが部門)	入選	もうひとつのハウンプトン	北原文野
			〃	マシュマロティーはひとりで	赤石路代
			〃	グリーン・バック	立脇一科
			佳作	ていん・ぱん・らぶ	山内純子
			〃	虹色蝶みつけた！	宮城朗子
		(一般コミック部門)	佳作	夢 魔	庵原漂介
			〃	望郷ららばい	永瀬敏行
			〃	オペレーション	横内理員
藤子不二雄	小学館		入選	タムイ・シンマー	はちのやすひこ
				迷犬タマ公	田中道明
			〃	カリアゲポリちゃん	ぜんきよし
			〃	ニャンコラキッド	オムライス
プチセブン プチコミック まんがグランプリ	小学館		ホープ賞	そよ風ふわり	森田恵子
(第8期)			佳作	トマト甘いかしょっぱいか	榊 声子
(第9期)			〃	雪他・ゆきやなぎ	吉村明美
			〃	トラペジウムトラペジウム	筒井百々子
(第10期)			ホープ賞	本日晴天！	石塚夢美
			佳作1席	夢みるグリーン・パレス	二木悠理
			〃 2席	公園通り	神保理保子
(第11回)	小学館		入選	該当作なし	
			佳作	恋心♡	土屋初代
			〃	上手な嫁のもらい方	中谷比姫子
			〃	タイム・パッセージ	佐藤真由
			〃	アナザーブライダル	ふさ前好美

賞	出版社	部門・賞	作品名	作者
		〃	てんこうせい	おブモユル
		〃	0点魔神	架空まさる
		〃	われら中ガキ連	のなかみのる
		〃	うふふ	麗紋来夢
赤塚賞	集英社	入選	該当作なし	
(第13回)		準入選	乱町ちるど連	ひすわし
		〃	スター・トラベルスペコマEI	あろひろし
		佳作	おいらタムタム	おく山アキラ
		〃	いってはダメヨ♡雪女	水谷潤
梶原賞	集英社	入選	該当作なし	
(第1回) 55年上期		準入選	狼群突破	西井豊
		〃	彼女のセレナーデ?!	後藤優作
		佳作	サイクルウオーズ	後藤俊夫＋八橋賢一
		〃	弱気でジャッキー	谷野力
		〃	ゴーフオーブロークン（当たって砕けろ）	荒木啓芳
		〃	俺たちの神宮	風破正義
青年漫画大賞	集英社	入選	鉄	石井誠一
(第1回) 55年上期	(漫画部門)	佳作	フライト	風木繭
		〃	OH! フレジネフ	ミスターX
	(原作部門)	入選	該当作なし	
		佳作	学園任侠伝	棟居仁
		〃	歩き続ける時	佐藤玲子
		〃	ジョーカー	弥崎光
		〃	ルージュ・ペン（口紅の筆）	大場侯輝
		〃	マグナム	工藤かずや
		〃	大ボラ集団通天閣ジャック	後藤俊夫
青年漫画大賞	(漫画部門)	入選	該当作なし	
(第2回) 55年下期		準入選	アーム・ピット	矢野健太郎
		〃	ラスト・ラリー	上杉雅臣
		佳作	トライアングル	加園昇
		〃	なんだくん	はた万次郎
	(原作部門)	入選	該当作なし	
		準入選	やあさま麻雀	あらいゆういち
		〃	ケチャップチャップ	みなみまろう
		〃	殻の中で死んだヒヨコ	有光雄二
マーガレット新人まんが賞	集英社	入選	該当作なし	
昭和55年度下期		佳作	青い季節	折原めぐみ
		〃	フリーウェイララバイ	やまさきさとみ
昭和56年度上期		入選	該当作なし	
		佳作	ブルーイメージ	石島希無
		〃	タッチミープリーズ	琴希無
		〃	ハンモックドリーム	つるのあき美
月刊セブンティーン新人まんが賞	集英社	グランプリ	該当作なし	
(第2回)		優秀賞	平和ダンスィング	山田やすみ
		努力賞	あくまがきたぞ	出原正美
		〃	カレーなる日々	宇田川暢子
		〃	ファースト・ラブはあなたと	綾瀬理子
		〃	夏にみつけた愛	植木利江
りぼん新人まんが賞	集英社	入選	該当作なし	
(第13回)		準入選	快刀乱麻桃太郎	浦川まさる
		〃	架事くんの告白レポート	橋本陽子
		佳作	かすかな予感	杏條静子
		〃	18歳未満	柴本かおり
		努力賞	秋からの旅	高井祐
		〃	仮面劇	門田晶子

賞名	出版社	賞	作品	作者
		〃	灼熱のスタンフォード	小原宗夫
		〃	ドライストリート	内田真紀
(第25回)		特選	マーダーゲーム	のなかみのる
		入選	ザ・モーター・ナーブ・O	村上としや
		佳作	女王陛下のダイナマイト	小原宗夫
		〃	帰郷	都築信重
		〃	スーパーフレンド	望月佑一
		〃	ロック浪花節	尾花哲介
		〃	てんとり虫のサンバ	中原とほる
		〃	ラリサよ還れ!!	赤沢暉一
		〃	銀杏よ我とともに在れ	黒岩こうじ
少年マガジン漫画原作賞	講談社	入選	クリアー	相沢かおる
(第3回)		佳作	おじさんは発明王	上原正志
		〃	コンサート	椿 精一
ちばてつや賞	講談社	ちばてつや大賞	とうちゃんボクサー	とさき年裕
(第1回)		優秀新人賞	該当作なし	
		佳作	侵入・経過・脱出	ヤマサキ・ヒサシ
		〃	僕心愚	八木橋正一
		〃	花山要一	村山芳美
		〃	なんじ死に急ぐことなかれ	高井宏子
		〃	ちょっぴり背のびの季節	モモタロサン
		〃	ボクの友達	いのくち忠明
なかよし少女フレンド新人まんが賞	講談社	特選	該当作なし	
(第19回)		入選	ニューヨークWALBIRES無悪法クラブ	茂刈ミンコ
		〃	そしてようよう初恋模様	はざまもり
		〃	12時からのシンデレラ	酒井真美
		佳作	せんせい	永沢狂子
		〃	透き色にまぶしくて	石井まゆみ
		〃	花子のうっふっふSTORY	森 林子
なかよし少女フレンド新人まんが賞	講談社	特選	ひょっとしてプロローグ	さとう智子
(第20回)		入選	スローリィマイラブ	深町実果
		〃	イフ—もしも—	高杉菜穂子
		佳作	銀色の影	はやせたくみ
MiMi新人まんが賞	講談社	新人賞	該当作なし	
		佳作	りんごはいかが?	西浦かおる
		〃	あなたの髪に春風そえて	もりたゆうこ
		〃	一人だけの子守歌	冴木由利
		〃	中町銀座商店街	前川しんすけ
手塚賞	集英社	入選	該当作なし	
(第19回)		準入選	星	新保勝実
		〃	イダテン・ホーク	平松梅造
		佳作	ツバサ	桂 正和
		〃	雨のカーウオシュ	富沢千夏
		〃	それ行け! バントマン	田中啓二
手塚賞	集英社	入選	該当作なし	
(第20回)		準入選	武装ポーカー	荒木利之
		佳作	120%	すずきみつお
		〃	ドスコイ・タンク	美納宇竜
		〃	マリヤ	榎本 勲
		〃	ファイティング・スピリット	田中啓二郎
		〃	コスモフロンティア	久利英田
赤塚賞	集英社	入選	該当作なし	
(第12回)		準入選	〃	
		佳作	短足カブトくん	足立明彦
		〃	パロパロ少女漫画家を斬る	宇土まんぶ

まんが賞リスト

'80年受賞分

名称	主催	賞	受賞作	受賞者
日本漫画家協会賞	日本漫画家協会	大賞	該当作なし	
(第9回)		優秀賞	ムーンノンセンス	タナカミノル
		優秀賞	気ままな音楽家たち	大西ひろみ
		優秀賞	奥田怜子個展作品	奥田怜子
		優秀賞	オルフェウスの窓	池田理世子
		特別賞	まつやまふみおの世界	まつやまふみお
文芸春秋漫画賞	文芸春秋社	賞	中町銀座商店街	前川しんすけ
読売国際漫画大賞	読売新聞社	大賞	いちばん強いのはだれか？	ビチョク・ムクダマニー
(第1回)		近藤日出造賞	火をくんなまし	祐天寺三郎
		課題部門金賞	エネルギー	イジャック・エネ
		自由部門金賞	無題	オクタビアン・コバチ
		選考委員特別賞	エネルギー	柿本八郎
		選考委員特別賞	エネルギー	
		選考委員特別賞	無題	ミハイ・スタネスク
小学館漫画賞	小学館	第一部少年少女向	地球へ、風と木の詩	竹宮恵子
(第25回)		第二部青年一般向	土佐の一本釣り	青柳裕介
講談社漫画賞	講談社		凄の王	永井豪
(第4回)			れもん白書	吉田まゆみ
少年ジャンプ愛読者賞(第8回)	集英社		リングにコけろ	車田正美
マーガレット愛読者賞(第3回)	集英社		スノードロップ	川崎苑子
少年チャンピオン新人賞	秋田書店	入選	該当作なし	
(第14回)		佳作	インディあーばん'80	松王太子
		入選	該当作なし	
(第15回)		佳作	ラストプロジェクタ	堀内ゲン
プレイコミック新人賞	秋田書店			
(第1回)(第2回)			ともに該当作なし	
ひとみ新人まんが賞	秋田書店	金賞	該当作なし	
(第5回)		銀賞	ぽんぽんだりあ	杉あさみ
		銅賞	空は青木々は緑	みやぎひろみ
		〃	ちょっとブルーなスゥイングで	冬木ゆう
		〃	ラストサマー	真崎春望
		〃	ビバ庄助銀色のロマンス	聖原玲音
プリンセス新人まんが賞	秋田書店	プリンセス賞	該当作なし	
(第11回)		佳作賞	該当作なし	
		選外佳作	10年目のハプニング	碧ゆかこ
		〃	アンジュ	たなべまゆみ
(第12回)		プリンセス賞	該当作なし	
		準プリンセス賞	〃	
		佳作賞	〃	
		選外佳作	ファーストラブエクスプレス	水織かおる
		〃	Good－Times	宮塘三智子
		〃	やさしい風に酔いしれて	江幡　美鈴
少年マガジン新人まんが賞	講談社	特選	剣崎くんがんばって!!	井上やすき
(第24回)		入選	マドンナ大作戦	中村博文
		〃	どべ!!流丸	井上大助
		〃	スカイ・ハイスクール	サトウ・コウ
		〃	雪の日のおくりもの	みずき優知

出版社	シリーズ	判型	定価
	ひとみコミックス	新書	350
	プリンセスコミックス	新書	350
講談社	アニメKC	B 6	690
	月刊少年マガジンKC	新書	370
	手塚治虫漫画全集	B 6	340
	テレビマガジンKC	新書	370
	なかよしKC	新書	370
	フレンドKC	新書	370
	別冊フレンドKC	新書	370
	マガジンKC	新書	370
	Mi Mi KC	新書	370
	ヤングレディKCデラックス	B 6	380
	GMコミックス	新書	370
集英社	集英社アニメシリーズ	B 6	690
	ジャンプコミック	新書	360
	ジャンプスーパーコミックス	新書	360
	セブンティーンコミックス	新書	360
	長編傑作ロマン劇場	B 6	450
	ぶ〜けコミックス	新書	360
	プレーボーイコミックス	新書	380
	マーガレットコミックス	新書	360
	マーガレットレインボーコミックス	新書	360
	ヤングジャンプコミックス	新書	360
	りぼんマスコットコミックス	新書	360
小学館	少年サンデーコミックス	新書	320〜
	てんとう虫コミックス	新書	320〜
	フラワーコミックス	新書	340〜
	マンガくんコミックス	新書	320〜
	セブンコミックス	B 6	480
	BIG COMICS	B 6	450
	ポストコミックス	B 6	480
少年画報社	コミックス	B 6変	450〜
	ヒットコミックス	新書	320〜
徳間書店	アニメージュコミックス	B 6	450
	タウンコミックス	B 6	480
	テレビランドコミックス	新書	350〜
大都社	HARO COMICS	B 6	490
主婦の友社	GLコミックス	新書	360
けいせい出版	KEISEI COMICS	B 6	480
久保書店	WORLD COMICS	B 6	480
朝日ソノラマ	サンコミックス	新書	350
奇想天外社	奇想天外コミックス	B 6	480
日本文芸社	ゴラクコミックス	B 6	480〜
東京三世社	マイコミックス	A 5	980

●雑貨・カバン類

㈱ユニテック	江戸川区北小岩7—10—5	Tel 03—672—1166
㈱丸信バック工業	中央区日本橋2—16—11	Tel 03—866—7111
㈱松好鳳舗	京都市伏見区深草南明町1	Tel 075—561—1218
㈱西村繊維工業	大阪市東区久宝寺町2—10	Tel 06—768—2831
㈱イイダ	台東区三筋2—2—6	Tel 03—861—8516
㈱伏見上野旭昇堂	京都市伏見区深草西浦町2—66	
㈱タカイシ	荒川区東日暮里4—31—2	Tel 03—806—8811
㈱シルバー樹脂工業	富山県水橋桜木136	Tel 0764—78—2155

●履物

㈱フジトンボ石川	静岡市籠上176—16	Tel 0542—71—8200
㈱日本ゴム	中央区京橋1—10—1 BSビル	Tel 03—561—8421
㈱神明	神戸市長田区日吉町4—4—15	Tel 078—643—0231
㈲ストロングスリッパ工業	荒川区荒川2—4—4	Tel 03—803—5521

●雑玩・シール

㈱天田印刷加工	足立区本木1—9—7	Tel0489—31—2131
㈱太洋玩具	葛飾区お花茶屋3—25—6	Tel03—602—3815
㈲丸三商店	荒川区荒川2—4—6	
㈱サクラ	台東区浅草橋3—28—7	Tel03—863—1148

●自転車・その他

日米富士自転車㈱	町田市森野2—2—36	Tel0427—22—2211
ブリジストン・サイクル㈱	中央区日本橋3—5—14都民興業日本橋ビル	Tel03—274—3411

コミックス

出版社名	誌名	判型	定価
白泉社	花とゆめコミックス	新書	340
	LaLaデラックスコミックス	B6	480
オハヨー出版	エースファイブコミックス	A5	390
	別冊エースファイブコミックス	B6	460
スタジオジップ主版	劇画キングシリーズ	B6	470
	POKET COMICS	新書	350
サン出版	コミック ペット	新書	350〜
	ジョイコミックス	B6	480〜
双葉社	アクションコミックス	B6	480
こだま出版	E・C・COMICS	新書	360
リンド社	SPコミックス	B6	480
潮出版	希望コミックス	新書	350
サンケイ出版	サンケイコミックス	新書	450〜
竹書房	バンブーコミックス	B6	400
ヘラルドエンタープライズ	ヘラルドアニメコミックス	B6	690
芳文社	芳文社コミックス	B6	480
実業之日本社	マイサンコミックス	新書	530〜
読売新聞社	ヨミウリコミックス	新書	320〜
秋田書店	サンデーコミックス	新書	350〜
	少年チャンピオンコミックス	新書	350
	チャンピオングラフィック	B6	750

●繊維

社名	住所	電話
森文㈱	大阪市西区京町堀1－7－23	Tel 06－441－7251
アテネ㈱	大阪市西区北堀江3－12－10	Tel 06－533－0935
㈱白[illegible]社	立川市柴崎町1－6－6	Tel 0425－26－3254
㈱コモ企画	大阪市東区本町2－25本町ビジネスビル	Tel 06－251－8412
興和㈱	大阪市東区淡路町2－22	Tel 06－204－6052
㈱岩井	台東区蔵前3－17－9	Tel 03－862－0871
友国手袋㈱	香川県大川郡大内町三本松222－1	Tel 08792－5－2451
㈱山口玄	大阪市東区備後町4－1	Tel 06－203－1851
中西㈱	大阪市東区博労町4－53	Tel 06－251－0331
岡本㈱	奈良県北葛城郡広陵町大塚	Tel 0745－55－1551
鈴木プラスチック工業㈱	足立区扇2－20－27	Tel 03－809－7221
マルコ産業㈱	中央区日本橋浜町2－27－5	Tel 03－668－7023
三菱商事㈱ 大阪支社	大阪市北区堂島浜1－1－5	Tel 06－348－6780
岩本㈱	台東区浅草橋5－8－5	Tel 03－866－8281
㈱田口帽子	大阪市東区玉造1－18－6	Tel 06－761－2824
㈱福助	堺市南安町2－1－1	Tel 0722－23－2236
㈱吉田手袋	香川県大川郡白鳥町湊609－2	Tel 08792－5－5151
㈱シャルピー	大阪市東区平野町3－12フロンティアビル601	Tel 06－222－0310
㈱寝具資	大阪市平野区加美西2－4－7	Tel 06－791－8800
㈱ファミリア	墨田区向島5－13－5	Tel 03－625－8680

●文具

社名	住所	電話
クツワ㈱	東大阪市長田中3－1－2	Tel 06－745－5621
セイカノート㈱	墨田区吾妻橋2－17－4	Tel 03－625－7601
㈱サンリオ	品川区西五反田7－22－17ＴＯＣビル	Tel 03－494－3201
㈱パイロットインキ	名古屋市昭和区緑町3－17	Tel 052－733－1561
㈱富房堂	板橋区宮本町43－5	Tel 03－968－2521
ソニー・クリエイティブプロダクト	千代田区紀尾井町3－6	Tel 03－239－0331
㈱山中商事	愛媛県伊予三島市寒川町773	
㈱三昭紙業	高知県土佐市高岡町甲54－1	Tel 08885－2－2168

●食器類

社名	住所	電話
(有)金正陶器	多治見市旭ケ丘10－6－67	Tel 0572－27－8035
㈱日本ユーテンシル	名古屋市北区丸新町27－1	Tel 03－642－3281
㈱大塚硝子	江東区佐賀1－17－8	Tel 06－745－1881
㈱三和鶴工業	東大阪市稲田693－1	Tel 06－797－6281
㈱大阪樹脂工業所	大阪市東住吉区今川8－9－29	Tel 0425－52－1300
㈱ムサシノ化学工業	福生市武蔵野台1－27－5	

●玩具

社名	住所	電話
㈱トミー	葛飾区立石7－9－10	Tel 03－693－1031
㈱ミツワ	墨田区本所3－3－2	Tel 03－629－9865
㈱米沢玩具	台東区浅草橋3－16－6	Tel 03－861－6361
㈱タカラ	葛飾区青戸4－19－16	Tel 03－603－2131
㈱天田印刷加工	足立区本木1－9－7	Tel 03－887－6541
㈱ポピー	台東区駒形1－4－14	Tel 03－843－8751
㈱タカトクトイス	台東区蔵前3－20－2	Tel 03－862－1011
㈱クローバー	葛飾区立石5－16－3	Tel 03－694－8246
㈱バンダイ模型部	台東区駒形2－5－4	Tel 03－842－5151
㈲アオシマ文化教材社	静岡市流通センター12－3	Tel 0542－63－2400

キャラクター商品販売店

店名	住所	電話
丸井今井おもちゃ売場	〒060 北海道札幌市中央区南一条西二丁目大通り新館8F	TEL 011－281－1151
東映アニメーションクラブ北海道本部	〒060 北海道札幌市中央区南一条西7－4東映北海道支社内	TEL 011－281－1151
東映シネショップ	〒980 宮城県仙台市一番町4－2－10	TEL 0222－22－2896
パラマウントミュージック	〒010 秋田県秋田市千秋久保田町4－2なかよしビル ジャスコ秋田店7F	TEL 0188－34－7343
平田源太郎商店	〒013 秋田県横手市四日町4－15 ショッピングプラザコーワ内	TEL 01823－3－1212
アニメハウス（レコードクラブ）	〒020 秋田県盛岡市神明町3－5	TEL 0196－23－4059
ざ・ランド	〒960 福島県福島市置賜町8－7	TEL 0245－22－917代
アニメック（本店）	〒160 東京都新宿区新宿1－1－1 ラポートビアビル2F	TEL 03－354－2262
あいどる	〒180 東京都武蔵野市吉祥寺本町1－12 ウイズビル	TEL 0422－21－4777
アニメフレンド	〒156 東京都世田谷区上北沢4－13－12	TEL 03－304－6373
アニメランド	〒177 東京都練馬区上石神井1－438	TEL 03－928－0173
スタジオロビン	〒182 東京都狛江市本町1－2－5	TEL 03－480－4442
東武百貨店池袋店ビデオ・アニメ売場	〒171 東京都豊島区南池袋1－28－1	TEL 03－981－0111代
竜の子ファンクラブ	〒185 東京都国分寺市北町556	TEL 0423－23－3111
東映アニメファンクラブ	〒177 東京都練馬区東大泉町1002 東映動画内	TEL 03－923－4591
代々木アニメーション（通販のみ）	〒151 東京都渋谷区代々木2－23	TEL 03－379－6652
いずみや横浜ジョイナス店	〒220 神奈川県横浜市西区南幸1－5－1	TEL 045－321－6728
アニメハウス	〒272 千葉県市川市市川1－9－17	TEL 0473－24－6687
アニメック名古屋店	〒466 愛知県名古屋市昭和区華人町7－1 三洋堂いりなか店3F	TEL 052－.832－8202
東映シネショップ名古屋店	〒460 愛知県名古屋市中区錦3－24－3	TEL 052－971－3440
アニメショップレオ	〒500 岐阜県岐阜市日の出町1－13	TEL 0582－65－1428
東映アニメショップ富山店	〒930 富山県富山市大手町4－10	TEL 0764－21－3276
東映アニメショップ金沢店	〒920 石川県金沢市片町2－9－1	TEL 0762－31－5853
東映アニメショップ京都店	〒604 京都府京都市中京区四条大宮	TEL 075－841－3714
駸々堂書店河原町店	〒604 京都府京都市中京区河原町通六角	TEL 075－221－0348
駸々堂書店阪急ファイブ店	〒530 大阪府大阪市北区角田町5－5 阪急ファイブ5F	TEL 06－312－3321
アニメポリス・ペロ	〒530 大阪府大阪市北区曾根崎新地1－13－22 梅新東映会館3F	TEL 06－344－5959
東映シネショップ梅田店	〒530 大阪府大阪市北区曾根崎新地1－13－22	TEL 06－345－7096
東映シネショップ道頓堀店	〒542 大阪府大阪市南区西櫓町1	TEL 06－211－8371
東映シネショップ和歌山店	〒640 和歌山県和歌山市本町2－11	TEL 0732－22－0675
アニメカプセル・ペロ	〒730 広島県広島市南区的場町2丁目的場東映4F	TEL 0822－63－7514
東映シネショップ広島店	〒730 広島県広島市八丁堀16－10	TEL 0822－21－0965
マンボウ	〒738 広島県佐伯郡廿日市町可愛6－32	TEL 0829－31－1757
東映シネショップ高知店	〒780 高知県高知市本町1－2－25	TEL 0888－24－1281
南海ブックス	〒770 徳島県徳島市寺島本町東3－8 南海ショッピングプラザ4F	TEL 0886－53－5014
アニメショップヤマト	〒802 福岡県北九州市小倉北区魚町1 ザボビル4F	TEL 092－521－4218
東映シネショップ小倉店	〒802 福岡県北九州市小倉北区船塚町2－6	TEL 093－521－5250
東映シネショップ福岡店	〒810 福岡県福岡市中央区天神4－4－1 福岡ショッパーズプラザ7F	TEL 092－281－0757
りーぶる・アニメック	〒810 福岡県福岡市博多区中洲4－3－18	TEL 092－721－5411

松本零士アニメＦＣ（松本零士アニメ全作品）　ＳＰＡＣＥ　ＲＯＭＡＮ
〒599－02　大阪府泉南郡阪南町自然団1789－45　玉置英司
荒木伸吾＆荒木プロＦＣ（荒木プロ全作品）　ス　ペ　ー　ス
〒880　宮崎県宮崎市高千穂通１丁目宮崎中央郵便局留荒木伸吾＆荒木プロＦＣ内　右田美智子
竜の子アニメーションＦＣ"サークル・竜のおとし子"（竜の子プロアニメ全作品）　シルバーリング（会誌）
〒359　埼玉県所沢市東住吉３－８昭和荘７号「サークル・竜のおとし子」　海馬友の会（会報）

まんがファンクラブ

★名称、連絡先、主催者、「ファンジン名」順

池田 理代子ＦＣ　〒130　東京都墨田区亀沢４－13－15　青沢悦子　「Ｒｉｙｏｎ」
弓 月　光ＦＣ　〒608　京都市中京区壬生御所ノ内町12　黒田義孝
森脇 真末味ＦＣ　〒245　神奈川県横浜市戸塚区名瀬町789－８　高井佐和子
石森 章太郎ＦＣ　〒227　神奈川県横浜市緑区あざみ野１－12－12三正ハイツ201　大沼弘幸　「風のたより」
井上 恵美子ＦＣ　〒183　東京都府中市美好町３－28－11・１－201　掛川　玲
青池保子と息子の会　〒153　東京都目黒区五本木３－19－15　管原　牙
少佐通信（青池保子）　〒629－04　京都府船井郡丹波町豊田　須和共済住宅６号　梅原知美　「少佐通信」
松本零士作品研究会　〒132　東京都江戸川区葛西１－３ゾンネハイム703　中　厚誌　岬鴨鶏「ハーロック」
樹村 みのりＦＣ　〒140　東京都品川区東大井６－12－３　岡部由里子
赤石路代後援会　〒183　東京都府中市美好町３－28－11・１－201　掛川　玲
成田美名子後援会ワンダーランド　〒300－12　茨城県稲敷郡牛久町栄町3309－９　小林ふみ子
吉田 まゆみＦＣ　〒154　東京都世田谷区瀬田２－2117　邨田一美
木 原 敏 江ＦＣ　〒277　千葉県柏市加賀２－５－８　日高京子
ファンクラブ持堂院（木原敏江ＦＣ）　〒176　東京都新宿区中井１－13－８安江方　「五目飯」
まつざきあけみＦＣ　〒113　東京都文京区西片２－８－３　平瀬靖子　「フアンシェット」
竹宮 恵子後援会　〒344　埼玉県春日部市備後1973－18　有久裕子　「サンルーム」
大日本吾妻漫画振興会　〒164　東京都中野区弥生町４－２－16高垣方　「吾妻ひでおに花束を」
しっぽがない（吾妻ひでお）　〒659　兵庫県芦屋市松浜町６－21　山本佳子
飛 鳥 幸 子ＦＣ　〒143　東京都太田区東馬込10－17　小林節子
手 塚 治 虫ＦＣ　〒160　東京都新宿区高田馬場３－12－５セブンビル２Ｆ
手塚治虫ＦＣ京都　〒606　京都府京都市左京区乗寺里ノ前町24　石川栄基
ひまわり荘（石坂　啓）　〒476　愛知県東海市東海町３－６－11　佐藤幹勝
リングにかけろＦＣ（車田正美）　〒362　埼玉県上尾市本町６－２－34　平井圭子　「ＲＩＮＧ」
ストレインジリィ・ワールド（高橋葉介）　〒309－16　茨城県笠間市旭町1382　内田好美
そりゃそーだ（いしかわじゅん）　〒165　東京都中野区上鷺宮５－29－16ＮＨＫ富士見台寮　天田理恵子
新谷 かおるＦＣ　〒171　東京都豊島区千早町２－10　川村しげよ
ユートピア（藤子不二雄）　〒353　埼玉県志木市柏町６－29－54　鎌田方
Sabea&comic dream「Far」（さべあのま）　〒185　東京都小金井市東町４－９－19・石川真由美「ものろおぐ」
ちばてつや＆あしたのジョーＦＣ　〒150　東京都渋谷区渋谷１－20－28　野沢順子　「ＴＯＭＯＲＲＯＷ」
御厨さと美・ミックマックＦＣ　〒280　千葉県千葉市大宮台３－１－６　戸渡方ＭＦＣ
吉田秋生ＦＣ下宿人の会　〒170　東京都豊島区巣鴨３－20－15　上条早苗　「ずいぶんコミック」
YOKO PRIVATE RESEARCH　〒458　愛知県名古屋市緑区鳴子町２－139　佐藤陽子ＦＣ
高 口 里 純ＦＣ　〒158　東京都世田谷区上野毛３－13－８－106　西森聡子　「ストリートキッド」
速水　翼ＦＣ　WING　〒253　神奈川県茅ケ崎市東海岸北２－10－26　落合美子
中山星香ＦＣ　ELFIN　〒186　東京都国立市谷保5851　漆畑慶子
魔 夜 峰 央ＦＣ　〒230　神奈川県横浜市鶴見区尻手１－11－13　村　里史
牧村 ジュンＦＣ　〒130　東京都墨田区亀沢３－10－４　岩田聡子
野間 美由紀ＦＣ　〒280　千葉県千葉市葛城町１－１－14　栗原みさ子
佐々木けい子ＦＣ　〒211　神奈川県川崎市中原区宮内376市営住宅１－１　粉川康子
酒 井 美 羽ＦＣ　〒227　神奈川県横浜市緑区長津田町1703　鈴木重明
めるへんめーかーＦＣ　〒065　北海道札幌市東区東苗穂町783　笠原明子
さえぐさじゅんＦＣ　〒177　東京都練馬区富士見台１－22－26　大沢荘

宇宙船艦ヤマトFC"テレザート"（宇宙船艦ヤマト）　宇宙船艦ヤマト

〒230　神奈川県横浜市鶴見区下末吉1―12―16CBY FCテレザート

ヤマトFC"イターナルヤマトファンサークル（　〃　）　ISKANDALLIUM

〒107　東京都元赤坂1―4―2知正ビル4F　Tel 03―470―6966～7

伝説巨人イデオンFC（伝説巨神イデオン）　ALBA

〒223　神奈川町横浜市北区日吉本町1802　淡路久美子

伝説巨人イデオンFC（　〃　）　IDEON

〒101　東京都千代田区神田郵便局留　伝説巨人イデオンFC

宇宙大帝ゴッドシグマFC（宇宙大帝ゴッドシグマ）　イ　オ

〒581　大阪府八尾市福万寺南1―30―3　有馬千穂

ボルテスVFC"ザ・ボルテス"（ボルテスV及び日本サンライズ全作品）　ザ・ボルテス

〒761―03　香川県高松市林町2042森沢方　池内けんこ

タイガーマスクFC（タイガーマスク）

〒870―11　大分県大分市鴛野1192―73　赤嶺正美

あしたのジョーFC"JOE REMEMBER"（あしたのジョー）　青春リング

〒095　北海道士別市西士別町3―50　梅津隆二

エースをねらえ！　FC（エースをねらえ！）　アドバンテージ

〒174　東京都板橋区西台1―37―19　久下沼　謙

マルコ・ポーロの冒険FC（マルコ・ポーロの冒険）　SILKROAD

〒123　東京都足立区西新井2―17―7　矢野裕美子

ガンバの冒険FC（ガンバの冒険）

〒599―02　大阪府泉南郡阪南町箱作1047―7　大石利恵

星の王子さまFC（星の王子さまプチ・フランス）

〒399―46　長野県箕輪町松島南4　伯耆原深幸

フランダースの犬FC（フランダースの犬）

〒444　愛知県岡崎市羽根町陣場14　石川隆男

未来少年コナン同好会（未来少年コナン）

〒165　東京都中野区中鷺3―19―2　君野直樹

未来少年コナンFC（　〃　）

〒150　東京都渋谷区松涛1―7―1　川鍋幸一

未来ロボダルタニアスFC"パルミオン"（未来ロボ・ダルタニアス）　PALMION

〒870―03　大分県大分市里2620社宅5―4　岩崎優子

円卓の騎士物語・燃えろアーサーFC（燃えろアーサー）　燃えろアーサー

〒150　東京都渋谷区恵比寿1―7―12岸田プロ内　市原則子

ベルサイユのばらFC（ベルサイユのばら）　Papillon

〒174　東京都板橋区上板橋2―48―2AH204　河原崎なが

家なき子・宝島FC（家なき子・宝島）　レ　ミ

〒386―01長野県上田市蒼久保1175―5　児玉君子

海のトリトンFC北海道支部（海のトリトン）　BLUE TRITON（会誌）おりはるこん（会報）

〒041―11北海道亀田郡七飯町字大川156―3　源富美恵

無敵鋼人ダイターン3FC（無敵鋼人ダイターン3）　破嵐万丈

〒538　大阪府大阪市鶴見区茨田諸口町890　藤岡清行

―キャラクター―

五右エ門ちゃんの会　斬鉄剣

〒183　東京都武蔵府中郵便局留　池田佳也

兜　甲児　FC（マジンガーZ・UFOロボグレンダイザー）　KOJI

〒158　東京都世田谷区東玉川郵便局留　荒木博子

シャア・ガルマ・カイFC（機動戦士ガンダム）

〒321―14　栃木県日光市清滝郵便局留　星野明美

―全作品作家―

日本動画愛好者連合"試衛館"（アニメ全作品）　試衛館

〒192―02　東京都多摩市連光寺1207―226　寺田茂樹

日本サンライズアニメFC"VOISIN"（日本サンライズ全作品）

〒486　愛知県春日井市相原町1―117―2　近藤綾子

塩屋　翼ＦＣ　ヨクチャン
〒228　神奈川県相模原市上鶴間1941町田ハイツＢ３－401　星野美雪
小原乃梨子ＦＣ　Ｓｔｅｒｉｎｇ　Ｓｉｌｖｅｒ
〒306　茨城県古河市中央町１－４－８　宮田知子
小山茉美ＦＣ　まみ
〒180　東京都武蔵野市吉祥寺東町１－５－13　保坂正江
伊武雅之ＦＣ　Ｖ
〒158　東京都世田谷区上野毛１－25－16兼六荘　功　朱実
仲村秀生ＦＣ　ｉｌｌｕｓｉｏｎ
〒201　東京都狛江市西野川４－25－３　高橋まゆみ
大杉おねえさんをかこむ会　ルミエール
〒114　東京都北区西ケ原２－６－７土多荘５号　平尾峰之
中田浩二ＦＣ　エーリアン
〒180　東京都武蔵野市吉祥寺南町４－６－１劇団「櫂」
スラップスティックＦＣ　スラップスティック
〒161　東京都新宿区上落合１－17－９俳協ビル内ＳＳＦＣ係
※野島昭生・古川登志夫・曾我部和行・古谷　徹・三ツ矢雄二のファンクラブ

―作品―

★名称，作品，ファンジン名，住所，主催者順
機動戦士ガンダムファンクラブ"ＫＧＦＣ"（機動戦士ガンダム）　ＷＯ 79
〒214　神奈川県川崎市多摩区生田1762明王台ハイツＡの101　板垣方　佐々木悠爾
機動戦士ガンダムＦＣ（　〃　）　ＷＨＩＴＥ　ＢＡＳＥ
〒732　広島県広島中郵便局私書箱94号機動戦士ガンダムＦＣ　葦原　薫
機動戦士ガンダムＦＣ（　〃　）　ペガサス
〒302　茨城県取手市東６－14－11　橋本　緑
機動戦士ガンダムＦＣ（　〃　）　ホワイトベース
〒194　東京都町田市原町田４－13－８杉本屋アパート６号　ホワイトベース
機動戦士ガンダムＦＣ"サイド・３"（機動戦士ガンダム）　サイド・３
〒270－02　千葉県野田市尾崎805－４山上方　美崎　直
機動戦士ガンダムＦＣ"ソーラ・レイ"（　〃　）　ソーラ・レイ
〒253　神奈川県茅ケ崎市浜竹４－２－53　佐草有紀
機動戦士ガンダムＦＣ"スペースコロニー・サイド・７"（　〃　）スペースコロニー・サイド・７
〒577　大阪府東大阪市菱屋東２－２－７　大熊り津子
機動戦士ガンダムＦＣ（　〃　）　ＴＲＥＥ　ＨＯＲＳＥ
〒791－41　愛知県松山市東山町4112－１　村野　敬
機動戦士ガンダムＦＣ（　〃　）　ＭＯＢＩＬＥ　ＳＵＩＴ
〒545　大阪府大阪市阿倍野区阪南町３－18－10　森尾　恵
科学忍者隊ガッチャマンＦＣ（科学忍者隊ガッチャマン）　ＩＳＯ
〒164　東京都中野区中央２－53－８東京デザイナー学院中野女子寮内　武田かずみ
科学忍者隊ガッチャマン（　〃　）　三日月珊瑚礁
〒114　東京都北区滝野川３－48－１－515　田部井恵美子
ルパン三世ＦＣ"ＬＦＧＺＺＬ"（ルパン三世）　ＬＥＧＺＺＬ（会誌）　ワルサー（新聞）
〒132　東京都江戸川区春江町３－６－15　中村直美
サイボーグ009ＦＣ（サイボーグ009）　ドルフィン
〒583　大阪府羽曳野市西浦１－５－３　中村美樹
サイボーグ009ＦＣ（　〃　）　パラライザー
〒350　埼玉県川越市新宿町６－１－11　飯田恵美子
宇宙海賊キャプテン・ハーロックＦＣ"ＡＬＫＡＤＩＡ"（キャプテン・ハーロック）　ＩＭＰＵＬＳＥ
〒201　東京都狛江市東野川２－11－２　香取めぐみ
マジンガーＺＦＣ"マジンガーＺ連盟"（マジンガーＺ）　赤い稲妻
〒605　京都府京都市東山区京都下馬町郵便局留　鳥　塁子
キャプテンハーロックＦＣ（宇宙海賊キャプテンハーロック）　ＡＲＣＡＤＩＡ
〒220　神奈川県横浜中央郵便局留小倉方　兜刀　守
キャプテンハーロックＦＣ"フリーフラッグ・アルカディア"　ＦＲＥＥ　ＦＲＡＧ
〒143　東京都大田区中馬込１－17－21　片山茂美

一声優一

★名称，フアンジン名，住所，主催者順

肝付兼太FC"風"　四季
〒358　埼玉県入間市高倉4−9−20　寺尾貴美子

福沢　良FC　薔薇窓 II
〒150　東京都渋谷区渋谷1−12渋谷郵便局留

内田直哉FC　義兄弟
〒362　埼玉県上尾市上町2−11−11　小泉方

田中秀幸FC
〒174　東京都板橋区舟渡4−8−8−103佐々木方

古川登志夫FC　TOSHICHAN
〒320　栃木県宇都宮市伝馬町3−20　石川美智子

玄田哲章FC
〒123　東京都足立区江北1−17−34−5船山方

麻上洋子FC"こだぬき会"　Princes Information
〒101　東京都千代田区神田駿河台2−1−19−320麻上洋子フアンクラブ事務局

広川太一郎FC　うすらさんかく
〒240　神奈川県横浜市保土ケ谷区藤塚町223−60　宮崎友恵

納谷悟郎FC　N·F·C支部
〒272−01　千葉県南葛飾郡浦安町当代島193　N·F·C支部　増田博美

三ツ矢雄二の会　YUJI
〒135　東京都江東区三好1−2−10アカサカアパート2F　佐々木正代

井上　瑤FC　とらんすぺあれんと
〒272　千葉県船橋市習志野台3−5−15−202　村田さわ子

古谷　徹FC　TORU
〒228　神奈川県相模原市南台1−7−27　飯島佐知子

井上和彦FC　かみひこーき
〒160　東京都新宿区高田馬場4−2−9　瀬古川順子

石丸博也FC　SYNDICATE
〒176　東京都練馬区中村北3−16−14−401　新郷早苗

杉山佳寿子FC　アリエス
〒248　神奈川県鎌倉市長谷4−3−11　森村康代

野沢雅子FC　むーんらいと　（マコとその仲間たち）
〒154　東京都世田谷区駒沢2−61−1ロワール駒沢204中山実子方「野沢実子FC」

田中　崇FC　レスポアール一希望一
〒211　神奈川県川崎市幸区鹿島田62吉原由美子宛　田中崇FC「ホーマルハウス」　吉原由美子

野田圭一FC　K−1
〒180−03　東京都東久留米市浅間町3−14−11　西田立子

永井一郎FC　人世観
〒173　東京都板橋区大山東町41−1−401　荒井忠徳

高橋和枝FC　ミルキーウェイ
〒700　岡山県岡山市中央町6−29　荒木德美

肝付兼太FC　四季
〒170　東京都豊島区南長崎3−33−12長谷川荘　酒井園美

潘　恵子FC　KEIKO
〒222　神奈川県横浜市港北区太尾町1204　宇野昭恵

井上真樹夫FC　HELLO! MACKEY
〒343　埼玉県越ケ谷市大泊294中島ゆきえ方MFC係　中島ゆきえ

堀江美都子FC　MICCHI
〒158　東京都世田谷区玉川3−33−12佐藤隆二方「サークル・ミッチ」編集部　佐藤隆二

佐々木功FC　ISAO
〒274　千葉県船橋市松ヶ丘2−45−14　松本敏子

水木一郎FC　みずき
〒064　北海道札幌市中央区南10西8清晃荘　木村登美子

東京演劇アンサンブル	〒176 東京都練馬区関町北4−35−17
東京放送劇団	〒150 東京都渋谷区宇田川町4−9くれたけビル
中里事務所	〒107 東京都渋谷区渋谷1−87ニチジュンビル
楡プロダクション	〒107 東京都港区赤坂3−16−5赤坂バリエールメゾン503
俳協	〒150 東京都渋谷区千駄ケ谷5−11−13
向日葵企画	〒107 東京都港区赤坂4−3−9赤坂藤マンション302
富士企画	〒150 東京都渋谷区代々木2−23−1ニューステイトメナー1329
プロダクション エム・スリー	〒107 東京都港区赤坂7−5−3エリートコーポ102
プロダクション独立企画	〒150 東京都渋谷区道玄坂2−7−4戸崎ビル
ぷろだくしょんバオバブ	〒150 東京都渋谷区神宮前1−19−13−401
ぷろだくしょん森	〒150 東京都渋谷区渋谷1−17−4渋谷エステート502
プロモーション・プラス・ワン	〒160 東京都新宿区新宿2−4−2カーサ御苑701
マールイ・プロダクション	〒113 東京都文京区本郷5−29−13赤門アビタシオン
舞プロモーション	〒107 東京都港区南青山3−6−4新幸ビル11
民衆舞台	〒151 東京都渋谷区笹塚1−28−1
矢島プロダクション	〒107 東京都港区赤坂6−4−17赤坂コーポ401
六芸社	〒107 東京都港区南青山5−9−12アイサワビル801
ローマン企画	〒114 東京都北区中里町2−6−9

アニメーションファンクラブ

—会社—

★名称，アニメ作品，ファンジン名，住所，電話番号順

東映アニメーションFC・東映全作品・東映アニメーションファンクラブニュース

〒104 東京都中央区銀座3−2−17 Tel 03−561−4686

竜の子FC・竜の子プロ全作品・Tatsunoko FANCLUB NEWS

〒185 東京都国分寺市南町3−22−12竜の子ファンクラブ事務局 Tel 0423−21−5533

東京ムービーFC・東京ムービー全作品・東京ムービーファンクラブ

〒102 東京都千代田区麴町5−7秀和紀尾井町TBRビル707号「東京ムービーファンクラブ」事務局 Tel 03−230−0195

日本アニメーションFC・日本アニメ全作品・

〒192−02 東京都多摩市和田21−2日本アニメファンクラブ事務局 Tel 0423−74−3311(代)

青二プロ友の会・青二プロ所属声優・青二友の会ニュース

〒107 東京都港区南青山2−11−14青二プロ友の会事務局 Tel 03−475−0901

手塚治虫FC・手塚アニメ全作品・手塚治虫ファンクラブ

〒160 東京都新宿区高田馬場3−12−5手塚治虫ファンクラブ Tel 03−368−8772

宇宙船艦ヤマトFC・宇宙船艦ヤマト・宇宙船艦ヤマト

（本部）〒176 東京都練馬区中村北1−5−9第2永崎ビル2F Tel 03−926−1156

—作品—

★名称，アニメ作品，ファンジン名，住所，主催者順

マジンガーZ FC マジンパワー （マジンガーZ） ・Zのテーマ

〒121 東京都足立区足立北郵便局止め“マジンパワー”

未来ロボ・ダルタニアスFC （未来ロボ・ダルタニアス）

〒104 東京都中央区八丁堀3−8−3 太田久美子

サンライズ&クラッシャージョウFC （日本サンライズ作品及びクラッシャージョウ） サンメージュ

〒400 山梨県甲府市富竹3−1−11 小野まき恵

ふーぜんのともしび （まんが及びアニメ全作品）

〒329−05 栃木県下都賀郡石橋町下古山2−1斎藤方スタジオひょうきん 永渕里緋哉

—作家—

★名称，ファンジン名，住所，主催者順

渡辺宙明ファンクラブ CHŪMEI ※作曲家

〒193 東京都八王子市散田町1−3−7コーポ山口108号 谷口晶彦

芦田豊雄ファンクラブ LIVE ※作画，スタジオライブ代表

〒657 兵庫県神戸市灘区鶴甲鶴甲郵便局止TOYOO・AFC

声優所属劇団

	連絡先
アクターズセブン	〒106 東京都港区六本木1−15 衆楽ビル5 F
安部公房スタジオ	〒150 東京都渋谷区宇田川町4−12 山手マンションB 1
石渊事務所	〒108 東京都港区三田2−8−20−806
エー・アンド・イー（A&E）	〒150 東京都渋谷区恵比寿南2−4−4
江崎プロダクション	〒160 東京都新宿区南元町3 若越ビル
S・K・Y企画	〒150 東京都渋谷区渋谷3−7−4 和風ビル
円企画	〒106 東京都港区東麻布1−5−11 飯倉ビル7 F
大平プロダクション	〒162 東京都新宿区矢来町55
OT企画	〒107 東京都港区南青山5−4−35 たつむら青山ビル13F
オフィス央	〒160 東京都新宿区新宿1−3−9
オフィスC&P	〒107 東京都港区赤坂2−13−4 赤坂第一マンション403
オフィス・トウ・ワン	〒106 東京都港区六本木4−1−4 黒崎ビル4F
オフィス・ノーメル	〒156 東京都世田ケ谷区経堂1−9−16
河	〒160 東京都新宿区信濃町5
カントリー	〒107 東京都港区北青山2−7−25
クリエイティブオフィスZ	〒106 東京都港区六本木3−14−12 秀和六本木405
ぐるーぷえいと	〒160 東京都新宿区百人町2−1−54
クレオ	〒106 東京都港区六本木6−8−29 六本木シローマンション
黒沢良事務所	〒106 東京都港区六本木7−12−22 第一八千代ビル302
群六舎プロダクション	〒160 東京都新宿区高田馬場2−19−8
芸能座	〒150 東京都渋谷区神宮前6−25−8 神宮前コーポラス319
Kプロダクション	〒155 東京都世田ケ谷区代沢2−25−13
芸峰制作	〒150 東京都渋谷区道玄坂2−8−11 サンモール道玄坂
劇団阿香車	〒113 東京都文京区本駒込2−10−18
劇団エヌ・エル・ティー（NLT）	〒106 東京都港区六本木7−18−8
劇団欅	〒180 東京都武蔵野市吉祥寺南4−6−1
劇団近代座	〒106 東京都新宿区四谷2−1 斉藤ビル3 F
劇団現代	〒215 神奈川県川崎市多摩区万福寺482
劇団昴	〒113 東京都文京区本駒込2−29−10
劇団青年座	〒151 東京都渋谷区富ケ岡1−53−12
劇団青俳	〒106 東京都港区南麻布2−8−18
劇団東芸	〒160 東京都新宿区高田馬場1−31−5
劇団仲間	〒164 東京都中野区中央2−54−10
劇団薔薇座	〒151 東京都渋谷区初台2−14−9
劇団文学座	〒114 東京都新宿区信濃町10
劇団文化座	〒114 東京都北区田端3−22−12
劇団民芸	〒107 東京都港区南青山2−3−4
現代制作舎	〒150 東京都渋谷区南平台12−13 南平台第二秀和レジデンス605
才賀京子事務所	〒156 東京都世田ケ谷区松原1−42−11
さち子プロダクション	〒160 東京都新宿区左門町2 富士見マンション405
JKプランニング	〒107 東京都港区北青山3−11−16 羽山レジデンス11
ジャックプロダクション	〒150 東京都渋谷区東1−3−1 常盤松ロイアルハイツ607
松竹新喜劇	〒542 大阪府大阪市南区西櫓町13 松竹関西支社演劇部第二製作室
新企画	〒151 東京都渋谷区千駄ケ谷5−12−13 アドス御苑マンション411
新墨プロ・グループ	〒157 東京都世田ケ谷区成城3−9−5
青二プロダクション	〒107 東京都港区青山2−11−14
太陽プロモーション	〒151 東京都渋谷区代々木1−60−5 南新ビル3 F
竹内事務所	〒150 東京都渋谷区宇田川町36−2 ノア渋谷606
竜企画	〒151 東京都渋谷区本町2−16−7 幡ケ谷マンション402
テアトル・エコー	〒150 東京都渋谷区恵比寿1−18−18
同人舎プロダクション	〒160 東京都新宿区四谷1−20 中村ビル

アニメーション作家

氏名	〒	住所	電話
相原信洋	〒167	東京都杉並区天沼3—33—3カサローザ1—101 OH！プロダクション	Tel 03—398—3449
泉谷しげる	〒150	東京都渋谷区神宮前6—23—4有限会社パパ・ソングス音楽出版	Tel 03—400—8465
岡本忠成	〒180—03	東京都東久留米市学園町2—7—2エコー社	Tel 0424—22—0237
川本喜八郎	〒151	東京都渋谷区千駄ケ谷4—28—15	Tel 03—404—0905
木下蓮三	〒106	東京都港区六本木5—13—14メゾン麻布スタジオロータス	Tel 03—585—0696
久里洋二	〒107	東京都港区元赤坂1—5ロイヤル赤坂サロン203	Tel 03—402—1145
鈴木伸一	〒160	東京都新宿区西新宿5—8—6市川ビル3Fスタジオゼロ	Tel 03—373—1002
島村達雄	〒107	東京都港区青山3—11—16羽山レジデンス10号（株）白組	Tel 03—407—7607
田名網敬一	〒107	東京都港区南青山7—1—21常盤松ハウス606	Tel 03—407—5186
月岡貞夫	〒180	東京都武蔵野市吉祥寺本町2—24—7グリーンハイツ205	Tel 0422—21—6875
手塚治虫	〒160	東京都新宿区高田馬場3—12—5セブンビル2F	Tel 03—368—8772
中島興	〒107	東京都港区南青山2—29—9南青山ビハイム607号室	Tel 03—408—5749
林静一	〒358	埼玉県入間市上藤沢406—7—502スタジオリップ	Tel 0429—64—7691
福島治	〒150	東京都渋谷区道玄坂2—18—11サンモール道玄坂212号室	Tel 03—496—9814
古川タク	〒107	東京都港区南青山7—1—12南青山高樹町ハイツ701	Tel 03—499—5645
和田誠	〒150	東京都渋谷区神宮前3—1—28第2真砂ビル	Tel 03—403—4557

アニメーション製作所

名称	〒	住所	電話
アカデミー製作	176	練馬区中村北1—5—9第二永崎ビル	03—926—1151
葦プロダクション	167	杉並区今川4—28—20	03—394—3721
エイケン	116	荒川区南千住6—27	03—802—3011
OH！プロダクション	167	杉並区天沼3—33—3カサローザ1—101	03—398—3449
グループタック	151	渋谷区代々木1—59—1オーハシビル6階	03—374—3153
シンエイ動画	188	田無市北原町3—6—10	0424—64—0312
竜の子プロダクション	185	国分寺南町3—16—16太陽ビル4階	（本　社）0423—23—9111
	185	国分寺北町5—5—6	（スタジオ）0423—23—3111
ダックスインターナショナル	160	新宿区新宿5—1—1ローヤルマンション100	03—341—1191
手塚プロダクション	160	新宿区高田馬場3—12—5セブンビル2階	03—371—0411
東映動画	177	練馬区東大泉町1002	03—923—4591
東京動画	176	練馬区中村北1—5—9第二永島ビル内	03—926—1151
東京ムービー	166	杉並区成田東4—1—26	03—313—0251
トップクラフト	166	杉並区阿佐ケ谷南1—18—6第7スカイビル2階	03—312—7166
ナック	177	練馬区関町北1—14—7	03—928—4551
日本アニメーション	192—02	多摩市和田21—2	0423—74—3321
日本サンライズ	167	杉並区上井草2—35—11	03—394—0154
マッドハウス	166	杉並区成田東4—39—8芝万ビル3階	03—316—9131～2
虫プロダクション	177	練馬区富士見台2—30—5	03—990—4153
和光プロダクション	176	練馬区豊玉2—5—7	（本　社）03—994—0473
	176	練馬区桜台1—6	（スタジオ）03—994—0471

録音スタジオ

名称	〒	住所	電話
アオイスタジオ	106	港区麻布十番1—1	03—582—7311
アバコスタジオ	160	新宿区西早稲田2—3—18	03—203—4121
映広音響	160	新宿区三栄町25	03—351—2181
グロービジョン	160	新宿区南元町3	03—359—7111
セントラル録音	107	港区北青山2—7—25神宮外苑ビルB1	03—402—6867
タバック	160	新宿区北新宿1—5—2	03—371—1135～7
東北新社	107	港区赤坂4—17—7	03—582—0211
日映録音	141	品川区上大崎2—10—17	03—444—0807

まんが同人誌印刷所

第一印刷 Tel0196—24—5221
〒026宮城県盛岡市加賀野4—6—59

アサヒ印刷 Tel0862—42—3731
〒921 石川県金沢市十一屋町3—36

海津印刷 Tel0257—22—5835
〒951 新潟県新潟市古町通1

大陽印刷所 Tel0252—65—3101
〒951 新潟県新潟市日山浦1町目

木下印刷 Tel03—657—0911
〒125 東京都葛飾区高砂3—14—12

共信印刷 Tel03—295—3206
〒101 東京都千代田区錦町2—9岡田ビル

三協印刷 Tel03—407—7316
〒150 東京都渋谷区渋谷3—11—11

創造出版 Tel03—983—3599
〒170 東京都豊島区東池袋1—47—14大和田ビル

ナール印刷 Tel03—959—5581
〒173 東京都板橋区大山町11—6

日栄印刷 Tel03—987—5668
〒170 東京都豊島区東池袋1—47—14大和田ビル

友湘堂印刷所 Tel0463—22—1500
〒251 神奈川県藤沢市市西富1—1—4

PRI NT BELL Tel052—733—2664
〒464 愛知県名古屋市千種区内山町3—8—4

青木印刷 Tel0596—24—1133
〒513 三重県伊勢市岡木2丁目

大友印刷 Tel06—751—2378
〒544 大阪府大阪市生野区小路3—11—9

丸善印刷 Tel06—628—1033
〒545 大阪府大阪市阿倍野区三明町1—14—5

リコー印刷 Tel06—921—3626
〒 大阪府大阪市都島区都島本通1—19—20

踏青プリント Tel075—803—1247
〒600 京都府京都市下京区

友野印刷所 Tel0862—25—1061
〒700 岡山県岡山市丸の内2—11—18

大丸プリントSHOP Tel0832—32—1111(代)
〒 山口県下関市竹崎町4—4—10

井筒屋クイックプリント Tel093—531—5151
〒 福岡県北九州市小倉北区穀地

まんが関係の学校

学校名	関連学科等	住所
—専門学校—		
大阪総合デザイン専門学校	別科漫画科	〒530 大阪市北区大融寺11—12 Tel 06—361—8375
大阪デザイナー専門学校	デザイナー専門科程アニメーション科	〒530 大阪市北区堂島毎日大阪会館南館 Tel 06—345—4647
国際アニメーション研究所	アニメーション専科 TVアニメーション科 漫画・劇画プロ養成科 漫画・キャラクター商品科	〒150 渋谷区広尾5—4—8むらさきビル Tel 03—447—1301
東京デザイナー学院	アニメーション科	〒101 千代田区神田駿河台2—11 Tel 03—294—2831
千代田工科芸術専門学校	デザイン写真専門課程 アニメーション科 まんが科 まんが専科	〒110 台東区下谷1—5 Tel 03—842—1901
日本電子専門学校	アニメーション科	〒160 新宿区百人町1—25 Tel 03—363—7761
日本デザインアカデミー	マンガ科	〒160 新宿区西新宿1—26—2新宿野村ビル4F Tel 03—348—6863
日本デザイナー学院	まんが専攻科	〒150 渋谷区渋谷2—7—4 Tel 03—400—2371
〃 名古屋校	まんが・アニメ専攻科	〒450 名古屋市中村区名駅4—8—12菱信ビル5F Tel 052—582—2661
—大学—		
京都精華大学	美術学部デザイン学科まんがコース	〒606 京都市左京区岩本木野町137 Tel 075—791—6131
—通信講座—		
日本美術教育センター	現代マンガ講座	〒160 新宿区高田馬場4—2—38 Tel 03—364—6521
日本漫画学院	漫画通信教育講座	〒141 品川区五反田3—7—7 Tel 03—491—4912
代々木アニメイション	自宅アニメ製作	〒151 渋谷区代々木2—23 Tel 03—379—6652
スタジオロビン東京彩画研究所	アニメーション彩画講座	〒201 狛江市和泉本町1—2—5 Tel 03—480—4441

ODIN　川端まゆ子
〒671－11兵庫県姫路市大津区平松218－7

PETIT　井手由美子
〒672－02　兵庫県赤穂市大橋町6－9

森羅　元崎正子
〒672 兵庫県姫路市飾磨区中島2－2

WADACHI轍　府中高校漫画研究班
〒726　広島県府中市出口町898

ATLANTIC　下関漫画研究会
〒750　下関市細江1－6－7山口方　ジグソマティー

両性具有　両性具有　中川清資
〒752　山口県下関市長府町土居ノ内

Cat food　Cat Food　井藤美津子
〒770　徳島県徳島市南矢三町4丁目4－44　Tel0886－31－3291

あるびのう　漫研アルビノウ　四宮良美
〒761　高知県高松市檀紙町1142　Tel0878－86　7504

スターダスト　星くず　池田美香
〒782　高知県香美郡土佐山田町山田島　Tel08875－2－4567

Murmur　Murmur'sぐるうぷ　山本直人
〒780　高知県高知市南ノ丸町18番地

SILVER RING　漫画研究会シルバーリング　安芸さとみ
〒801　北九州門司区東門司1－22－10　Tel093　332－1894

[illegible]　CIRCLE PUMPKIN　吉富正恵
〒816　福岡県春日市須瑕1420－20　畝

あず　アズ漫画研究会
〒803 福岡県北九州市小倉北区日明3丁目2－17あとりえ群生館

ELF　マンガファンクラブELF　田浦真弓
〒811－41福岡県宗像郡宗像町赤間729　教大女子寮内

えのぐ箱　明石典子
〒818 福岡県筑紫野大字永岡226－3

コミック・ライフ　大分マンガ・イラスト創作グループ　よしちかもとみ
〒870　大分県大分市上春日町3組　松原方

藍　漫画研究会ブルーバード　泉川加代子
〒901－01　那覇市字栄原875　C2－203　泉川加代子　Tel0988－58　6489

ティンカーベル　ティンカーベル　徳永佳子
〒020 岩手県盛岡市つつじが丘44―13

劇画村塾　小池一夫劇画村塾　菅本順一
〒152 東京都目黒区東ヶ丘1―5―23スタジオ・シップビル内

あぴーる　ぐるーぷANTI　松浦康久
〒176 東京都練馬区春日町4―1―9第1ふくみ荘5号

魔法陣　品川久恵
〒280 千葉県千葉市大森町509―8

めておーる　ぐるうぷまぜらん　郷崎　和
〒249 神奈川県逗子市池子2―21―1はしもと薬品内

虎落　藤田紀子
〒946 長岡市金房1―5―11

ARIEL　西尾[illegible]子
〒567 大阪府茨木市高田町17―25

ZERO　高井敏之
〒584 大阪府富田林市若松町5―8―30

BOOTLEG　神原博之
〒564 大阪府大阪市吹田市金田町2828号　Tel06―386―9851

でっどらいん　新形式グループ「POP」　菊薫末
〒530 大阪府大阪市北区天満3丁目11番7号(えびすビル)矢的プログクツ

ポケット　相沢拓
〒543 大阪府大阪市天王寺区大道2―282グランドパンション内

児童漫画研究　竹内オサム
〒590 大阪府堺市竹城台一丁2番22―301　Tel0722―92―6424

WITCH　江見明恵
〒580 大阪府松原市天美北4―99―34　江見方

UNICORN　漫画愛好会FAIRY　伊東孝治
〒536 大阪府池田市畑3―1―42　Tel0727―51―8708

チャンネル・ゼロ　チャンネル・ゼロ
〒564 大阪府吹田市広芝町18―103　☎03―386―6373

れだ　柴田育生
〒630 奈良県奈良市つるまい東町1―68―105　☎0742―47―1899

αあるふあ　漫画グループα　青木壱文
〒516 三重県伊勢市岡本1丁目青木印刷内　Tel0596―24―1133

ZOO　広瀬圭
〒663 兵庫県西宮市段上町6丁目6番3の406

乗車券　乗車券スタッフ　桜井景子
〒230　神奈川県横浜市鶴見区矢向２—３—17

ASTEROID　アステロイド　細尾真奈美
〒245　神奈川県横浜市戸塚区汲沢町1716—８　汲沢なか団地222

あほうどり　ひま同人社　野分剛
〒243　神奈川県海老名市柏ヶ谷1117　渋谷方

あど　グループ・あど　小林恵子
〒230　神奈川県横浜市鶴見区東寺尾６—30—６　愛内末吉方

地平線　長浜充江
〒418　静岡県富士見市貴船町12—２

NOVA　NACC　吉川久雄
〒920—21新潟県青山1436—794　高橋方　☎0252—87—8207

KEMO　KEMO本部
〒951　新潟県新潟市信濃町23—19　Tel0252—66—0652

PHR　PHR漫房　神林おさむ
〒940　新潟県長岡市大島本町１—３—12

ラヴリ　大藪淳子
〒921　石川県金沢市額新町１—54

SOOKUN BUSI　ジェット・プロポスト
〒466　愛知県名古屋市昭和区長戸町４—８松栄荘　事務室Tel052—853—2593(水頼・秋)
編集室Tel052—841—0191(森博嗣)

カルマ　クリエイト・クルー・カルマ　奥村弘二
〒457　愛知県名古屋市南区戸部町２—68

同人誌S　同人会S　坂本達也
〒472　愛知県知立市ハッ田矢田良根69

琥珀　琥珀　山田ゆみ
〒464　愛知県名古屋市千種区姫ヶ池通１—13

DEGAS　グループドガ　堀田清成
〒460　愛知県名古屋市中区新栄１—35—14

らくがき　漫画研究会らくがき　神谷玲子
〒451　名古屋市西区蔵原町６—２照美荘５号室　TelTEL052—522—1726

無駄居　漫研無駄居　高橋秦子
〒482　愛知県岩倉市下本町丸の内52番地河国荘名古屋芸大丸の内寮

まんがのむし　グループまんがのむし　岡田尚子
〒450—91 名古屋中央郵便局私書箱244号　岡田方

IMPULSE　漫研SLUMP
〒583 大阪府藤井寺市藤ヶ丘１—５—11　高木方

AMANT　漫画愛好会キツネブックス　楽良美麗
〒192　東京都八王子市元本郷町２―12―１柳ヶ瀬方

蜃気楼　蜃気楼社　小崎泰博
〒187　東京都小平市小川町１―2182

人形館　漫研人形館
〒135　東京都江東区辰巳１―９―57―504根本方　中村ジュネ

PARADOX　漫研オベリスク　大内章江
〒135　東京都江東区住吉２―12―11

ユニオン　作画グループ　ばばよしあき
〒160　東京都新宿区河田町17　Tel03―341―8243

なかま　作画グループ　ばばよしあき
〒160　東京都新宿区河田町17　Tel03―341―8243

漫狂　現代マンガ図書館　内記稔夫
〒162　東京都新宿区早稲田鶴巻町371ビルデンスナイキ２Ｆ　Tel03―203―6523

FANCOMD　全日本まんがファン連合書記局　栢森龍
〒168　東京都杉並区高井戸駅前局留

漫画本　小田秀次
〒177　東京都練馬区関町３丁目814鈴木荘　Tel03―928―0129(呼)

風民[illegible]　㈱ポプルス
〒190―12　東京都西多摩郡瑞穂町石畑769-J-H310　Tel0425 -52―0596

CAPRJCE　アネックス・オブ・アネックス　伊藤卓
〒174　東京都板橋区南常盤台１―21―６

SATISFACTION　Lemon Curry
〒189　東京都東村山市秋津町３―５―27青木方

笑＆？　現代漫画の会　モロズミ勝
〒112　東京都文京区小日向３―７―６モロズミ方

だにぶるっく　漫研ダニブルック　あずみ涼
〒177　東京都練馬区関町2―148―2武蔵野サンハイツ102高橋方

ひとこま　森田拳次
〒171　東京都豊島区高田3―15―7大島マンション201　Tel03―983―0785

作画グループニュース版　作画グループ　ばばよしあき
〒162　東京都新宿区若松町120

プシ・カン　下川直子
〒248　神奈川県鎌倉市腰越1718―33　Tel0467―32―1979

TAKE OFF　西園寺一平
〒241　神奈川県横浜市旭区万騎が原63　西江様方

誌名	会名	代表者	住所
めぐみの目玉		近藤めぐみ	〒154 東京都世田谷区下馬1－2－23田中ビル301 平岩方閑猫工房内
ペンタッチ	ペンタッチ	渡辺幸夫	〒210 神奈川県川崎市幸区中幸町1－49渡辺幸夫
漫画新批評大系	迷宮 '81		〒176 東京都練馬区桜台2－17練馬桜台二郵便局留
ROSE CROSS	ROSE CROSSⅢ	竹田やよい	〒168 東京都杉並区永福1－25－27
木馬館	スクランブル残党	野崎恵美子	〒181 東京都三鷹市牟礼6－21－13鈴木方
ぶあ	ストリィー漫画研究会ぶあこーぽ	青木徹夫	〒120 東京都足立区足立2－43－19 Tel03－886－2300
QUEEN	漫研QUEEN	芳村紫苑	〒171 東京都豊島区池袋2－961
SHURA	ネオ・ロマン	亜砂都優子	〒173 東京都板橋区栄町25－11
ROBIN	ROBIN工房	いけがみひとし	〒167 東京都杉並区桃井2－9－12
マンガサロンニュース	マンガサロン	岩本松徳	〒165 東京都中野区中央4－58－15 Tel03－381－3493
らぴす	ラピス・ラズリィ・プロジェクト	近藤喜久	〒108 東京都港区高輪3－6－23 Tel03－445－4383
Creation	マン研・クリエーション	台場進	〒186 東京都国立市富士見台団地3－4－410大志保方台場進 Tel0425－74－7176
はんみょう	とろーら	渡辺弘	〒135 東京都江東区冬木10－13冬木寮105
[illegible]	平行植物育成会	夕星五百利	〒177 東京都練馬区東大泉4－17－19林方
MERCURY	I.C.C.MERCURY	水井空夢	〒114 東京都北区西ヶ原4－54－6
ぐらす・あい	MERCURY	水井空夢	〒114 東京都北区西ヶ原4－54－6
まのとのま	[illegible]		〒182 東京都調布市国領3－8－15くすのき団地1－204
孟春		[illegible]	〒168 東京都杉並区久我山4－5－4高屋方

壮麗仙	FANTASY 作品創作グループNIGHTMARE 〒376　群馬県桐生市桐生郵便局私書箱24号　NIGHTMARE本部	秋津瑞穂
エカルラート	エカルラート 〒373　群馬県太田市富沢292―1　大隅暁子方	竜矢&幾田玲美
USHI	株式会社"牛" 〒300―31　茨城県新治郡桜村平砂　桜井ハイツ201　横小路正子	藤原晋
まんが大帝	漫画集団「風鈴」 〒311―01　茨城県那河郡那河町鴻巣400　Tel02929―8―0510　大内道明方	大塚誠
ローズティー	A Mad Tea-Party 〒322　栃木県鹿沼市上野町232―18　小林寿子　Tel0289―62―0048	小林千博
ふわまあ	漫画同人「ふわまあ」 〒368　埼玉県秩父市上町2―15―11　Tel04942―3―5395	引間敬一
GLASS ONION	漫研 ORANGE 〒332　埼玉県川口市朝日1―9―6	岩本真由美
螺旋	東考社 〒354―04 埼玉県入間郡毛呂山町川角187―102　Tel04929―4―5011	辰巳義興
跋折羅	跋折羅 〒350―13 埼玉県狭山市鵜の木11―19ハウスNo307　Tel0429―54―3906	
夢幻	APA夢幻出版 〒362 埼玉県上尾市柏座2―11―6	谷口明
ギャザー	フォーエバーグループ 〒272　千葉県市川市鬼高2―12―5（807）	倉林弘人
青いたまご	青いたまご工房 〒273　千葉県船橋市藤原町3―444―4　Tel0474―39―1775	横山みのる
しゃんぐりら	GROUP しゃんぐりら 〒280　千葉県千葉市ちしろ台東3―25―4　Tel0472―37―9380	桐山久美子
イカリング	和洋女子大学付属国府台女子高校漫研 〒260　千葉県千葉市磯辺1―44	竹原早江子
鏡の家	〒174　東京都板橋区富士見町9―9　榎本荘201号	室崎星子
あど	グループ・あど 〒193　東京都八王子市東浅川町874―1　松田荘1F	桑原芳文
とらのこ	トラブル・メーカー 〒120　足立区柳原1―31―7	富士鷹
魔法使いの部屋	三月館 〒194　東京都町田市原田町4―13―8杉本屋アパート6号室A.W.S.C内「三月館」編集部	さえぐさじゅん

まんが喫茶店

店名	〒	住所	電話番号
エコー	〒060	北海道札幌市中央区北5条西3丁目	011—231—5920
まんが図書館	〒062	北海道札幌市豊平区平岸5条7丁目	011—812—8491
茶店ドール	〒063	北海道札幌市西区2軒4—5　24	011—642—9763
モリタ	〒105	東京都港区青山3—5—11高桑ビル	03—478—2506
漫画	〒154	東京都世田谷区野沢1—24—13	03—410—8968
まんが塾	〒176	東京都練馬区旭丘2—59	03—994—9688
ひょうたん島	〒171	東京都豊島区長崎2—13—16	03—974—9348
カントリーロード Part2	〒584	大阪府大阪市富田林市高辺台2—9—20	07212—9—0863
漫画大学	〒810	福岡県福岡市中央区春吉1—1—6	092—731—3988
マンガハウス	〒813	福岡県福岡市博多区中呉服町3—10呉服町ビル地下	092—291—8553
図書館	〒814	福岡県福岡市南区西新5—15—47　西	092—843—9945
まんが村	〒814	福岡県福岡市西区鳥飼532	092—851—7193
マンガハウス	〒814	福岡県福岡市西区片江1562—45	092—861—0430
漫画大学	〒850	長崎県長崎市築町4—13　伊藤ビル3F	0958—27—2976
アート	〒850	長崎県長崎市大橋町15—10	0958—45—4024
ららみい	〒852	長崎県長崎市住吉町1—4	0958—47—9099
学習院	〒850	長崎県長崎市宝町3番地	0958—21—9713
羅舵	〒850	長崎県長崎市樺島町7—9	0958—24—2058
オリーブ	〒860	熊本県熊本市上通り7丁目	0958—25—9538

☆力及ばず情報が不十分です。御免なさい。

まんが同人誌

誌名	主催団体 連絡先	代表
ANGE	漫画連合鷹（FALCON） 氏家雪乃　〒064　北海道札幌市中央区宮の森4条11丁目860番地	
ブランク	まんが同好会モラトリアム 〒061-01　北海道札幌市豊平区北野374—438　—	加賀谷恭子
苦離絵以諸夢	漫画研究会苦離絵以諸夢 〒067　北海道江別市東光町13—2　Tel01138—4—3208	篠崎麻利子
えおみたか	漫画研究会えおみたか 〒016　秋田県能代市東町11番6号	越後谷正子
らいぞーむ・B	マン研あにゅある 〒989—02　宮城県仙台市茂庭字人来田47—161　DC—16	高橋賀代子
FAIRY TALE	嵐慕流義児 〒963　福島県郡山市並木1—21—75　Tel0249—33—0687	若松宏子

まんが専門店

☆高岡書店　Tel03—291—9301
〒100　東京都千代田区神保町１—９
☆コミックプラザ西沢書館　Tel03—263—4445
〒100　東京都千代田区神保町２—２波田町ビル
☆新宿書店コモナール　Tel03—205—1565
〒160　東京都新宿区歌舞伎町１—30—１ＰｅＰｅ
☆ナイキ書房　Tel03—203—6523
〒162　東京都新宿区早稲田鶴巻町371
ヤヤト書房マンガハウス　Tel03—732—1890
〒144　東京都大田区蒲田５—13—１蒲田パリオ
紀伊国屋　Tel03—354—0131
〒160　東京都新宿区新宿３—17—１
西武ブックセンター　Tel03—981—0111
〒171　東京都豊島区南池袋１—28—１
書泉グランデ　Tel03—295—0011
〒101　東京都千代田区神保町１—３
アニメック　Tel03—354—3951
〒160、東京都新宿区新宿２—１—１ラポートビア
新瑞有隣堂書店　Tel052—831—1147
〒467　愛知県名古屋市瑞穂区弥富通１—42
☆コミックハウス　Tel0762—21—7157
〒920　石川県金沢市笠市町６—２
ブックスカミーノ　Tel0252—24—6018
〒951　新潟県新潟市古町通７番地
仙台書店　Tel0222—61—2461
〒980　宮城県仙台市中央１丁目７番１号
米竹書店　Tel0222—23—5473
〒980　宮城県仙台市国分町３丁目１—４
高山ブックスタンド　Tel0222—23—8513
〒980　宮城県仙台市中央１丁目７—１
駸々堂京都店　Tel075—221—0348
〒604　京都府京都市中京区河原町六角下ル
駸々堂阪急ファイブ店　Tel06—312—3322
〒530　大阪府大阪市北区角田町三番地
紀伊国屋梅田店　Tel06—372—5821
〒542　大阪府大阪市南区南街会館東入口
☆わんだーらんど　Tel0722—70—0202
〒593　大阪府堺市深井沢町1619
☆コミックランドキリン堂　Tel0797—73—3006
〒665　兵庫県宝塚市南口２—14—３—１

まんが古本店

店名	住所		電話番号
越谷文庫	〒343	埼玉県越谷市柳町２—12	0489—65—3337
中野書店	〒101	東京都千代田区神田神保町２—３古書センタービル５Ｆ	03—261—3522
いかるが	〒153	東京都目黒区大橋１—４—10	03—461—2834
憂都離夜	〒182	東京都調布市国領町４—51—26	0424—88—0488
宇宙船	〒194	東京都町田市木曽町499	0427—28—4618
まんだらＨ	〒164	東京都中野区中野５—52—15中野ブロードウェイセンター	03—385—1459
もっきり屋	〒593	大阪府大阪市東城区深江南３—16—23	06—981—5201

まんが図書館

館名	住所		電話番号
大宮市漫画会館立	〒330	埼玉県大宮市盆栽町150	0489—63—1541
現代マンガ図書館	〒160	東京都新宿区早稲田鶴巻町37１	03—203—6523
名古屋マンガ図書館	〒451	名古屋市西区那古野１	052—565—0220
あすかマンガ図書館	〒635	奈良県大和高田市東三倉堂９—３	0745—22—6527
日本漫画博物館 まんが寺	〒211	神奈川県川崎市中原区宮内622常楽寺内	044—766—5068
ヘラルドマンガ図書館	〒460	名古屋市中区栄３—35—34　中日ヘラルド会館内	052—241—1581

スタジオシップ		〒152	目黒区東ケ丘1—5—23	Tel 03—401—9881
清山社	山本 八重	〒102	千代田区飯田橋2—16—3 吉田ビル	Tel 03—262—3210
青林堂	長井 勝一	〒101	千代田区神田神保町1—62	Tel 03—291—9556. 2495
世文社	松井 正三	〒101	千代田区西神田1—3—13	Tel 03—293—9171
セルフ出版	末井 昭	〒160	新宿区高田馬場4—28—12	Tel 03—360—1341
蒼竜社	中村 隆一	〒160	新宿区新宿5—13—11	Tel 03—208—8705
大都社	山部 徹郎	〒112	文京区水道2—11—10	Tel 03—947—7707
大亜出版	高見 潤	〒160	新宿区四谷3—2 第3前島ビル6F	Tel 03—353—4371
大洋書房	小出 孝子	〒110	台東区上野5—7—7 公徳道ビル	Tel 03—834—7431
竹書房	野口太郎	〒102	千代田区飯田橋2—7—3	Tel 03—264—1576
辰見出版	児玉貞治郎	〒160	新宿区新宿5—18—20	Tel 03—208—8701
汐文社	吉本 尊則	〒113	文京区本郷1—26—10	Tel 03—815—8421～4
司書房	石川 精亨	〒101	千代田区三崎町2—11—7	Tel 03—263—1181
東京三世社	山岡 総一	〒101	千代田区三崎町3—3—17	Tel 03—263—2081
東考社	辰見 義興	〒350—04	埼玉県入間郡毛呂山町川角竹ノ内187—102	Tel 04929—4—5011
徳間書店	徳間 康快	〒105	港区新橋4—10—1	Tel 03—433—6231
中野書店	中野 実	〒101	千代田区神田神保町2—3 神田古書センタービル5F	Tel 03—261—3522
日本出版社	矢崎 寧之	〒107	港区赤坂4—5—21	Tel 03—583—6141
日本文華社	大島 敬司	〒100	千代田区丸ノ内2—4—1—783 丸ビル	Tel 03—215—2211
日本文芸社	兵頭 武郎	〒101	千代田区神田神保町1—8	Tel 03—294—8931
白泉社	梅村 義直	〒101	千代田区神田神保町3—27	Tel 03—265—1088
白夜書房	森下信太郎	〒160	新宿区高田馬場1—23—9	Tel 03—371—4176
ひばり書房	安藤 雄二	〒162	新宿区早稲田町77	Tel 03—204—1321
二見書房	堀内 俊宏	〒112	文京区音羽1—21—11	Tel 03—942—2311
双葉社	清水 文人	〒162	新宿区神楽坂1—8	Tel 03—268—5111
プレーガイドジャーナル社	村元 武	〒542	大阪市南区塩町通3—2—1	Tel 03—251—9251
ブロンズ社	藤岡 吉只	〒101	千代田区神田神保町1—46 美成社ビル	Tel 03—295—5015
文民社	清野 正信	〒350—13	埼玉県狭山市水野709—46	Tel 03—367—4643
平和出版	亀谷 洋寿	〒101	千代田区小川町2—10	Tel 03—293—8946
KKベストセラーズ	岩瀬 順三	〒160	新宿区四谷3—11光明第2ビル	Tel 03—357—2911
芳英社	孝寿 芳春	〒101	千代田区神田神保町3—10宝栄ビル	Tel 03—261—5582
芳文社	寺沢 敬一	〒112	文京区後楽1—2—12	Tel 03—815—1521
北宋社	渡辺 誠	〒112	文京区水道2—7—4	Tel 03—943—5601
北冬書房	高野 慎三	〒153	目黒区大橋1—4—10	Tel 03—461—6288
みのり書房	久我 奏之	〒113	文京区湯島1—10—4	Tel 03—815—5825
ミリオン出版	平田 明	〒162	新宿区市ケ谷本木町39第5南ビル6F	Tel 03—267—4083
リンド社	斎藤 発司	〒164	中野区本町5—14—23	Tel 03—382—2451
立風書房	下野 博	〒141	品川区五反田3—6—18	Tel 03—447—1191
檸檬社	下平 一郎	〒160	新宿区四谷1—24ニュー上野ビル	Tel 03—351—1085
若木書房	北村 二郎	〒112	文京区小石川2—8—9	Tel 03—814—8851

漫画ジャグボ	日本文華社	55.
問題コミック	芳文社	55. 9
漫画ショック	平和出版	55. 9
漫画ボイン	平和出版	55. 9
漫画ダイナミックス	三和出版	55
漫画セクシカ	[illegible]	55. 10
漫画ガーリー	[illegible]巳出版	55. 10
漫画エクスタ	東京三世社	55. 11
トップコミック	秋田書店	55. 12
ポップコーン	光文社	55.3
月刊漫画男	オハヨー出版	56.3
現代コミックDOKUHON	日本文華社	56.3
マンガ少年	朝日ソノラマ	56.4
漫画族	オハヨー出版	56.5

まんが出版社

社名	社長,		住所	電話
秋田書店	秋田 貞夫	〒102	千代田区飯田橋2—10—8	Tel 03—246—7011
曙出版	土屋 [illegible]	〒113	文京区白山2—1—15	Tel 03—814—8648〜9
朝日ソノラマ	天野 歓三	〒104	中央区銀座4—2—6第2朝日ビル	Tel 03—563—6020
あまとりあ社	久保 [illegible]	〒165	中野区松ケ丘2—21—14	Tel 03—386—3151
淡路書房	滝沢 一郎	〒101	千代田区神田駿河台3—7	Tel 03—293—8946
一水社	村田 愛子	〒105	港区新橋5—10—5	Tel 03—437—6315
壱番館書房	[illegible]田 友宏	〒105	港区芝2—23—13	Tel 03—451—1471
潮出版社	[illegible] [illegible]	〒102	千代田区飯田橋3—1—3	Tel 03—230—0645
オハヨー出版	滝沢 明王	〒180	武蔵野市八幡町1—6—2	Tel 0422—54—0840
海潮社	山田 和明	〒104	中央区銀座2—13—17	Tel 03—542—6271
学習研究社	吉岡 秀人	〒145	大田区上池台4—40—5	Tel 03—720—1111
笠倉出版社	笠倉 操六	〒101	千代田区神田駿河台3—5	Tel 03—263—6282
奇想天外社	千頭 俊吉	〒162	新宿区赤城元町28番地	Tel 03—268—8617
綺譚社	秋山協一郎	〒162	新宿区下宮比町15飯田橋ハイタウン218	Tel 03—267—5466
久保書店	久保 藤吉	〒165	中野区松ケ丘2—21—14	Tel 03—386—3151
けいせい出版	鈴木 重雄	〒162	新宿区納戸町34土方ビル	Tel 03—267—4521 03—267—4535
芸文社	井上 洋二	〒101	千代田区神田駿河台3—5	Tel 03—292—0121
光彩書房	板井 清	〒105	港区新橋5—10—5	Tel 03—437—6315
講談社	野間 省一	〒112	文京区音羽2—12—21	Tel 03—945—1111
光文社	小保方宇三郎	〒112	文京区音羽2—12—13	Tel 03—942—2241
こだま出版	鈴木 克彦	〒113	文京区本郷2—16—10	Tel 03—813—7736
サン出版	宮坂 信	〒102	千代田区麹町3—3	Tel 03—264—1071
サンリオ	辻 信太郎	〒141	品川区西五反田7—22—17	Tel 03—494—5353
実業之日本社	増田 義彦	〒104	中央区銀座1—3—9	Tel 03—562—1021
姉妹社	長谷川まり子	〒154	世田谷区桜新町1—31—12	Tel 03—701—7185
集英社	堀内 末男	〒101	千代田区一ツ橋2—5—10	Tel 03—238—2771
主婦の友社	石川 晴彦	〒101	千代田区神田駿河台1—6—1	Tel 03—294—1111
小学館	相賀 徹夫	〒101	千代田区一ツ橋2—3—1	Tel 03—230—5211
少年画報社	今井 堅	〒101	千代田区三崎町3—3—12	Tel 03—262—3501
情報センター出版局	富田 耕作	〒160	新宿区四谷2—1四谷ビル	Tel 03—358—0231
新樹書房	青木 良信	〒160	新宿区南元町3	Tel 03—359—5161
新書館	白石 洋子	〒112	文京区千石1—21—7	Tel 03—946—5331
駸々堂出版	大淵 薫	〒542	大阪市南区塩町通4—35	Tel 03—253—0391
新和出版	小板橋和春	〒101	千代田区神田神保町3—25—11	Tel 03—234—0601
翠楊社	清野 正信	〒160	新宿区高田馬場4—4—10	Tel 03—367—4643 03—367—4888

誌　名	出版社	創刊年月
ハローフレンド	講談社	55.1
漫画ガーリー	辰巳出版	55.1
プチフラワー	小学館	55.3
漫画ダイナミック	三和出版	55.3
マンガ奇想天外	奇想天外社	55.3
ポップコーン	光文社	55.4
コミックトム	潮出版	55.4
DUNP	大亜出版	55.4
漫画族	オハヨー出版	55.4
コロネット	小学館	55.5
漫金超	チャンネルゼロ	55.5
増刊漫画タウン	徳間書店	55.5
ヤングマガジン	講談社	55.6
劇画ブッチャー	日正堂	55.6
グッドコミック	少年画報社	55.6
少年ポピー	少年画報社	55.7
劇画ダッシュ	リイド社	55.7
Vコミック	日本出版社	55.7
アラン	みのり書房	55.9
漫画ワイルドPUNCH	日本文華社	55.9
特選麻雀	芳文社	55.9
ビッグコミックスプリッツ	小学館	55.10
BE IN LOVE	講談社	55.10
キャンディー	新和出版	55.10
漫画カルメン	蒼竜社	55.10
MYコミックJUMBO	日本文華社	55.10
漫房コミックス	平和出版	55.10
漫画娯楽館	東京三世社	55.11
漫画サロメ	辰巳出版	55.11
フォアレディ	小学館	55.12
コミック1	漣漪社	55.12
劇画ヤッドSUPER	日本文華社	56.3
ジャストコミック	光文社	56.3
別冊コロコロコミックス	小学館	56.3
劇画大飯店	サン出版	56.3
別冊漫画快楽園	新和出版	56.3
プレイヤング	サン出版	56.4
スポコミ	一水社	56.5
漫画ラブパンチ	日本出版社	56.5

改題誌

新誌名（旧誌名）	出版社	改題年月
漫画タウン（劇画タウン）	徳間書店	55.1
漫画エクスタ（漫画スーパーギャンブル）	東京三世社	55.2
漫画スパーク（別冊劇画オールギャンブル）	壱番館書店	55.3
エロトピアデラックス（男のゲキジョー）	KKベストセラーズ	55.4
エロリータ（漫画エロジェニカオリジナル）	海潮社	55.5
漫画ラブトピア（プラザオリジナル）	蒼竜社	55.5
漫画ガーリー（GIRY COMICS）	辰巳出版	55.5
漫画族（漫画ゴリラ）	オハヨー出版	55.4
別冊コミックトム（別冊少年ワールド）	潮出版	55.4
麻雀劇画コミックス（別冊近代麻雀オリジナル）	竹書房	56.3

休刊誌

誌名	出版社	休刊年月
アクションクライマックス	双葉社	55.3
ビッグアドベンチャーシリーズ	竹書房	55.3
漫画ソフト	三和出版	55.4
別冊リイドコミック	リイド社	55.5
コミックヒーロー	大都社	55.6
チャンスコミック	チャンスコミック社	55.6
エロリータ	海潮社	55.7
漫画バクダン	積権社	55.8
漫画快楽セブン	海潮社	55.8
漫画エロジェニカ	海潮社	55.8
漫画セクシカ	司書房	55.8

日泉社								
花とゆめ	服部博	月2	5・20	B5	200	49.6	03−265−1088	編集部全員
別冊花とゆめ	服部博	季	10	A5	360	52.8	〃	〃
ＬａＬａ	小森正義	月	29	B5	320	51.9	03−265−1089	〃
白夜書房								
漫画タッチ	中沢慎一	月	1	B5	400	54.3	03−209−0960代	中沢
双葉社								
週刊漫画アクション	島津真之	週	木	B5	200	42.7	03−268−5118	編集部全員
別冊漫画アクション	[illegible]	隔週	2・4金	B5	220	44.5	〃	〃
百点コミック		隔月		A5	330	55.12	〃	〃
平和出版								
漫画セクシャル	鈴木義一	月	10	Ｂ５	300	54.	03-291 2886	鈴木
漫画エキサイト	鈴木義一	月	5	Ｂ５	300	50.	〃	鈴木
漫画スーパーコミック	鈴木義一	月	12	Ｂ５	300	52.	〃	鈴木
ＫＫベストセラーズ								
漫画[illegible]	牧田紘一郎	月	26	B5	230	49.4	03−357−2911代	牧田
漫画エロトピア	牧原大一郎	隔週	1・3木	B5	200	48.6	〃	牧原
エロトピアデラックス	平田昌平	隔月	22	B5	380	55.4	〃	平田
芳英社								
現代漫画文庫	稲葉武太郎	月	11	B5	230	52.7	03−261−5582代	
ワイド漫画	稲葉武太郎	月	26	B5	230	52.4	〃	稲葉
芳文社								
週刊漫画TIMES I	村山恵一郎	週	金	B5	200	36.11	03−815−1521代	編集部全員
オールコミック	佐藤次夫	月	28	B5	200	54.1	〃	〃
コミックマガジン	鮫島平			B5	200	41.5	〃	〃
長編漫画傑作集	渡辺博	月	下旬	B5	230	45.7	〃	〃
別冊週刊漫画TIMES	渡辺博	隔週	1・3木	B5	200		〃	〃
漫画コミック	藤波七三夫	月	下旬	B5	200	43.5	〃	〃
漫画パンチ	古屋均	隔週	1・3水	B5	200	42.4	〃	〃
増刊週刊漫画TIMES	佐藤次夫	月	中旬	B5	200	40.3	〃	〃
特選麻雀	佐藤次夫	月	4	B5	230	55.9	〃	〃
まんがタイム	古屋均	月	7	B5	200	56.5	〃	〃
みのり出版								
漫画スカット	[illegible]	月	22	B5	300	50.3	03−815−5824	小野寺
官能劇画	[illegible]	月	7	B5	300	50.4	〃	〃
アラン	[illegible]	隔月	5	B5	520	55.9	〃	潮田
ミリオン出版								
劇画野郎	村川考	月	9	Ｂ５	300	53.4	03-267-4083 代	村川
劇画スペシャル	向村修一	月	22	Ｂ５	300	52.3	〃	向村
リイド社								
リイドコミック	五味川隆	隔週	2・4木	B5	200	46.10	03−382−2181	林
劇画ダッシュ	杉山賢二	月	20	B5	360	55.7	03−382−2183	
檸檬社								
漫画大快楽	粕谷幸夫	月	7	B5	300		03−351−1085代	林田
快楽王	粕谷幸夫	月	7	Ｂ５	300	56.6		林田
コミック１	百瀬諒一	月	27	Ｂ５	350	56.1		林田

世文社								
漫画ラブ&ラブ	荒木正三	月	15	B5	200	54.10	03-293-9171 代	荒木
セルフ出版								
コミックセルフ	東尾　孝	月	27	A5	350	51.10	03-360-1341代	東尾
劇画ブッチャー	末井　昭	月	7	B5	300	55.7	〃	末井
青竜社								
漫画カルメン	小谷　哲	月	15	B5	300	55.10	03-208-8705 代	小谷
漫画グランプリ	小島大郎	月	30	B5	300	51.8	〃	小島
漫画プラザ	日野典史	月	4	B5	300	51.5	〃	日浅、高麗
漫画ラブトピア	日野典史	月	8	B5	300	54.5	〃	宮本
大亜出版								
DUNP	幸坂和則	月	3	B5	300	55.3	03-353-4371 代	幸坂
Adams	佐野勝信	月	第2火	B5	300	53.9	〃	佐野
増刊adams	西川延夫	月	第4火	B5	300	53.	〃	西川
大都社								
漫画ボン	遠山　孝	月	25	B5	230	44.10	03-291-2886	遠山
大洋書房								
激画ジャック	駒村	月	5	B5	300	50.7	03-834-7431 代	駒村
竹書房								
漫画ギャンブルパンチ	小室明宏	月	15	B5	230	50.9	03-264-1576 代	小室
近代麻雀オリジナル	牧村康正	月	15	B5	230	52.9	〃	牧村
麻雀劇画コミックス	野辺　肇	月	28	B5	230	54.9	〃	野辺
辰巳出版								
漫画アイドル	古内幸男	月	5	B5	300	50.8	03-208-8701代	古内
漫画ダイナマイト	小島太郎	月	22	B5	300	50.2	〃	小島
漫画サロメ	古内幸男	月	7	B5	300	55.11	〃	古内
漫画オリンピア	古内幸男	月	25	B5	300	52.1	〃	古内
司書房								
漫画エロス	岡野雄一	月	25	B5	300	54.6	03-263-1181代	岡野
東京三世社								
少年少女SF競作大全集	岩尾修蔵	季	6	A5	550	54.9	03-267-8882	平野
漫画ビッグエロブン	山本勝信	月	21	B5	300		03-263-2801	石坂
漫画パンプ	山本勝信	月	21	B5	300		03-291-9886	塩山
漫画エロチスト	石坂隆久	月	26	B5	300			石坂
漫画娯楽館	石田　昇	月	8	B5	300	55.11	03-291-9886	塩山
徳間書店								
SFコミックリュウ	尾形英夫	隔月	26	B5	400	54.5	03-433-6231代	大塚
漫画タウン	内田秀則	月	6	B5	230	54.7	03-438-2317	内田
増刊漫画タウン	内田秀則	月	15	B5	230	55.4	〃	内田
チャンネルゼロ								
季刊漫金超	峰正澄	季	??	B5		55.4	06-386-6371	
日本出版社								
Vコミック	矢崎泰夫	月	25	A5	350	55.7	03-583-6141代	中原
漫画ラブパンチ	石川誠之	月	20	B5	300	56.5	03-294-8931	石川
日本文華社								
特集漫画トピックス	大蔵二郎	月2	5・20	B5	230	43.6	03-215-2213代	大蔵
劇画マッドSuper	山口繁久	月	23	B5	300	56.3	03-571-9292	山口
漫画ワイルドPunch	貴船康男	月	11	B5	300	55.9	03-571-9391	貴船
日本文芸社								
漫画ゴラク	阿部林一郎	週	金	B5	230	39.3	03-294-8931代	編集部全員
増刊漫画ゴラク	阿部林一郎	月	中旬	B5	230		〃	〃
カスタムコミック	阿部林一郎	月	29	B5	230	54.4	〃	〃
清彗社								
ぱふ	村石憲一	月	27	A4	490	53.12	03-348-4610	編集部全員

ハローフレンド	大島与作	月	24	B5	300	54.12	〃	大竹、宮本、小塚
Be in LOVE	星野英晴	月	5	B5	230	55.10	〃	須藤
ヤング マガジン	宮原照夫	月2	1.3月	B5	180	55.6	03-945-8435	宮田
光文社								
ジャストコミック	江島弘	月	5	B5	230	56.3		
サン出版								
劇画悦楽号	桜木哲郎	月	26	B5	300	54.9	03-264-1071代	
劇画ジャンプ	佐川俊彦	月	26	B5	300		〃	
劇画大飯店	石井始	月	下旬	B5	300	56.3	〃	石井
プレイヤング	安西幸吉	月	下旬	B5	300	56.4	〃	安西
実業の日本社								
週刊漫画サンデー	山本和夫	週	火	B5	230	34.8	03-562-2076	中野
別冊漫画サンデー	山本和夫	月	18	B5	230	54.4	〃	村田
集英社								
少年ジャンプ	西村繁男	週	月	B5	170	43.11	03-230-6113	編集部全員
月刊少年ジャンプ	阿部高久	月	6	B5	250	44.12	03-230-6231	〃
週刊マーガレット	徳永孝雄	週	金	B5	170	38.5	03-238-2931	〃
別冊マーガレット	平河内公平	月	13	B5	260	40.7	03-238-2941	〃
デラックスマーガレット	平河内公平	隔月	28	B5	300		032 238-2941	〃
セブンティーン	谷山尚義	週	月	B5	160	43.6	03-230-6241	阿部
月刊セブンティーン	坂口紀和	月	24	B5	260	45.1	03-230-6261	編集部全員
りぼん	渡辺浩志	月	3	B5	370	30.7	03-238-2921	〃
ぶ～け	佐治輝久	月	26	A5	380	53.10	03-238-2919	〃
ヤングジャンプ	中野祐介	週	木	B5	180	54.4	03-230-6220	大門
小学館								
週刊少年サンデー	田中一喜	週	水	B5	170	34.3	03-230-5480	編集部全員
少年ビッグコミック	鈴木俊彦	月2	2.4金	B5	180	51.12	03-230-5510	〃
コロコロコミック	千葉和治	月	15	A5	330	34.3	03-292-9241	平山
別冊コロコロコミック	千葉和治	隔月	1	B5	300	52.4	03-292-9241	編集部全員
少女コミック	浅見勇	月2	5,20	B5	200	56.4	03-230-5489	〃
別冊少女コミック	八塩頼明	月	13	B5	270	45.4	03-230-5488	〃
プチフラワー	渡辺静夫	季	28	A5	390	55.3	03-230-5516	〃
プチセブン	武山健	隔週	1.3金	B5	190	53.1	03-230-5600	〃
プチコミック	武山健	月	24	A5	350	50.12	03-230-5601	〃
ちゃお	飯田吉明	月	3	B5	370	52.9	03-230-5613	前田
ビッグコミック	中條富夫	月2	10・25	B5	200	43.4	03-230-5500	編集部全員
ビッグコミックオリジナル	猪俣光一郎	月2	2・18	B5	180	47.7	03-230-5501	〃
ビッグコミックスピリッツ	白井勝也	月	15	B5	230	55.10	03-230-5507	〃
フォアレディー	渡辺静夫	月	15	B5	230	55.12	03-230-5484	〃
少年画報社								
週刊少年キング	黒川拓二	週	金	B5	170	38.8	03-262-3501代	小林
少年ポピー	馬島進	月	22	A5	320	55.8	〃	編集部全員
ヤングコミック	筧 悟	隔週	2.4水	B5	230	42.12	〃	
グッドコミック	鍛治忠史	月	27	B5	280	55.6	〃	
主婦の友社								
ギャルズライフ	赤羽建美	月	24	AB	230	53.9	03-233-1796	村田、野川
ギャルズコミックスDX	赤羽建美	隔月		A5	350	55.1	〃	〃
新樹書房								
漫画Q	宇田川良雄	月	9	B5	400	42.1	03-359-5161	藤田
新和出版								
漫画快楽園	岡村静男	月	12	B5	300	54.10	03-234-0601 代	岡村
別冊漫画快楽園	岡村静男	月	1	B5	300	54.10	〃	岡村
キャンディー	岡村静男	月	26	B5	300	56.3	〃	岡村
青林堂								
ガロ	長井勝一	月	1	B5	380	39.8	03-291-9556	長井

まんが雑誌リスト

出版社 誌名	編集人	刊行形態	発行日	判型	値段	創刊年月	電話	持込原稿担当
秋田書店								
少年チャンピオン	壁村耐三	週	金	B5	170	44.8	03―264―7011代	編集部全員
月刊少年チャンピオン	壁村耐三	月	6	B5	270	46.1	〃	〃
冒険王	織田訓好	月	3	B5	390	24.8	〃	〃
プリンセス	橋　賢	月	6	B5	不定	50.1	〃	橋、中野、渡辺
ひとみ	神永悦也	月	3	B5	380	53.5	〃	編集部全員
別冊ビバプリンセス	橋　賢	季	22	B5	不定	51.4	〃	〃
ボニータ	野村洋史	月	24	A5	350	56.1	〃	〃
プレイコミック	成田清美	隔週	2·4木	B5	200	43.5	〃	〃
月刊プレイコミック	城戸口紘	月	30	B5	300	50.5	〃	〃
朝日ソノラマ								
DUO	松岡博治	月	24	B5	350	56.7	03−563−6028	編集部全員
あまとりあ社								
漫画ドッキリ号	水野遙介	月	27	B5	300	51.6	03−386−3151	水野
漫画ハンター	水野遙介	月	7	B5	350	51.11		水野
淡路書店								
漫画エロチカ	本間　智	月	5	B5	300	48.8	03−293−8946	本間
一水社								
漫画キック	杉野　浄	月	28	B5	200	49.12	03−437−6315	編集部全員
一道社								
スポコミ	菊池喜格	月	1	B5	230	56.5	03−811−2628	菊地
壱番館書店								
劇画デカメロン	塚田友宏	月	2	B5	230	54.4	03−451−1471	塚田
劇画オールギャンブル	塚田友宏	月	1	B5	230	52.10		塚田
潮出版								
コミックトム	竹尾修	月	14	B5	390	55.4	03−230−0645	
笠倉出版								
漫画ユートピア	杉木椏夫	月	10	B5	300	50.6	03−263−6282	杉木
漫画ストロング	松本馴郎	月	1	B5	300	53.5	〃	杉木
満画大悦楽号	杉木椏夫	月	1	B5	300	51.4	〃	杉木
劇画妖精号	山野辺進	月	2	B5	300	52.5	〃	杉木
学習研究社								
少年チャレンジ	森ひとし	月	5	B5	280	54.2	03−720−1111代	編集部全員
奇想天外社								
マンガ奇想天外	小口　宏	隔月	28	A5	580	55.4	03−268−5618代	編集部全員
芸文社								
漫画天国	細木義文	月	5	B5	200	35.8	03− 292 ―7501	細木　柳田
光彩書房								
漫画エマニエル	内田中平	月	6	B5	250	54.8	03− 437 ―9714	編集部全員
講談社								
週刊少年マガジン	三樹創作	週	水	B5	170	34.3	03−945−1111代	編集部全員
月刊少年マガジン	三樹創作	月	6	B5	290	50.5	〃	〃
なかよし	今川良太郎	月	3	B5	380	30.1	内線355	植木
MiMi	加藤武夫	月	24	B5	270	50.8	03−945−1111代	伊藤
週刊少女フレンド	大島与作	月2	5.20	B5	190	37.12	〃	大竹、宮本、小塚
別冊少女フレンド	高橋好三	月	13	B5	260	40.4	〃	田中、渡辺
なかよしデラックス	今川良太郎	隔月	18	A5	330	53.11	内線355	植木
ラブリーフレンド	高橋好三	月	30	B5	260	55.1	03−945−1111代	田中、渡辺
MiMiデラックス	加藤武夫	季	10	A5	350	54.1	〃	伊藤

まんが周辺情報

号	作品名	作者名	頁
	グッドラック	湯田伸子	(32)
	いち子のパニックデイ	岡田純子	(31)
	あぜみちロードにセクシーねえちゃん	高野文子	(8)
	SUPER OYUKI	あいかわ桂	(20)
	とべとベビロリン	小池わか	(7)
	シークレット・パトロール	千葉真理子	(24)
	世良クンに会ったのよ//	柴門ふみ	(15)
秋の号	UFO殺人事件	平田真貴子	(35)
	教授のイジョーな愛情	平田真貴子	(64)
	ドライファミリー	平田真貴子	(131)
	ヒーヒズヒム	大島弓子	(44)
	メメシカルサーキット	赤星たみこ	(15)
	NAOMI NO NATSU	鹿野かおる	(29)
	秋の日にラプソディー	夢子	(31)
	ふえいどいんふえいどあうと	さべあのま	(17)
	なんだかポップちゃん	RYJ	(4)
	ネコじゃネコじゃ	倉多江美	(8)
	Sea Fever	湯田伸子	(32)
	フィールソウグッド	山田双葉	(23)
	桑田クンがんばって//	柴門ふみ	(16)
	ピーター・ラビットのお気に入り	大谷てるみ	(31)
	TANGOS	アンドレ・ジャリ	(5)
	1980年の未婚貴婦人	樹村みのり	(10)

号	作品名	作者名	頁
※追加			
ひとみデラックス			
春休み	ピュア・シャワーをあびて	小夜月子	(32)
大増刊	恋に恋してどーなった!?	サイキ敬子	(29)
ハローフレンド			
2月号	うるとらママゴン	森田やすこ	(5)
4月号	うるとらママゴン	森田やすこ	(5)
ミミ			
9月号	あゆさんの小部屋	鮎川れんげ	(5)
11月号	あさきゆめみし	大和和紀	(42)
12月号	ひるねが丘の2年B組	森田やすこ	(5)
週刊少女コミック増刊（コロネット）			
連載	ダイナモあや	内堀由美	~¾(86)
プチフラワー			
夏の号	GO!サイリン	藤島生子	(5)
りぼん増刊			
5月号	ヨガをやってヨガった	鈴木田静恵	(30)
週刊マーガレット増刊			
夏の号	香港ラブ・パニック	吉岡かずみ	(43)
デラックスマーガレット			
連載	チョットまっちょん!	星野利代子	3~(20)
LaLa			
7月号	男の子なんてこわくない	松田きりん	(16)

○上記のものが抜けております、時間が足らず、
つくりなおせませんでした、ごめんなさい。

☆少女マンガ作品リストは、298 ページから始まります。

号	作品名	作者名	頁
	ケンカしちゃうけど…	松田きりん	(24)
	嘆きのトリスタン	森川久美	(58)
	乙女心をゆさぶって	かわみなみ	(42)
	花柄・イチゴ・サクランボ	土森真由美	(16)
11月号	乱乱々	木原敏江	(24)
	恋のドッペルゲンガー	文月綾人	(16)
	色づく秋のその中で	秋本尚美	(32)
	ハリーアップハリー	坂田靖子	(60)
	サラダ・ボウル・シティ	星崎真紀	(32)
12月号	ノルディスカ奏鳴曲	竹宮恵子	(54)
	スイートなバニラなの	石本深海	(16)
	イングリッシュ(前)	坂田靖子	(32)
	愛の一家	かわみなみ	(32)
	邦子さんのベイビー	倉掛雅子	(24)

LaLa増刊

号	作品名	作者名	頁
2月号	冬の空と雪の白	ひかわきょうこ	(28)
	マイレディ	高野まさこ	(5)
	ハリーの結婚	坂田靖子	(38)
	はっか煙草のけむり	あおいせい	(24)
	カフェーはいかが?	かわみなみ	(16)
	海に降る雪	遠野章	(48)
	それは記憶から消えた	三山節子	(39)
	ミスター・ロビンソンの午後	赤星由美子	(32)
	ふりむいて貴子さん!	古城ほとり	(24)
	星型クッキーの秘密	山田ミネコ	(41)
	伽羅の天使たち	保川亜矢子	(32)
	5年ぶりでピアニシモ	すみだうみん	(59)
	愛しのトラとよんでくれ	樹なつみ	(31)
	女番長・秘密のにおい!?	山本里見	(24)
4月号	バースディ・マーチ	成田美名子	(8)
	危険なうわさ	三山節子	(48)
	たんぽぽ・ひとりごと	ひかわきょうこ	(16)
	ルイくんの忙しい生活	坂田靖子	(16)
	黒のもんもん組	猫十字社	(9)
	サウンド・オブあ・お・げ・ば・と・う・と・し	高口里純	(24)
	キャンディ・ガゼール	樹なつみ	(39)
	銀星団・天をゆく!	みかみなち	(34)
	ボンボンガール	あおいせい	(21)
	やさしさ一杯	高野まさこ	(16)
	緑の丘の白い家	山田ミネコ	(39)
	開けてみれば…!?	たちばなれい	(24)
	魔法じかけで恋をして	くぼた尚子	(24)
	灯を消して	秋本尚美	(24)
	グッドバイ	村田美久	(24)
	春草色の庭で	赤星由美子	(24)
	思い出にささやいて	千家ゆう	(38)
	ラスベガス・コネクション	永松まるみ	(24)
9月号	トロピカル半次郎刑事編	高口里純	(36)
	ハニー・チャイルド	篠有紀子	(26)
	つばさ	高野まさこ	(5)
	向い風に胸を張れ!	かわみなみ	(30)
	恋のスパイス	秋本尚美	(25)
	かしこいうさぎさんのシュークリーム	しばたひろこ	(8)
	銀星団・天をゆく	みかみなち	(48)
	聖・ドリーム	千家ゆう	(40)
	黒のもんもん組	猫十字社	(12)
	ペーパームーン	村田美久	(32)
	10年目のトラベル・パニック	たちばなれい	(24)
	とんでも源氏物語	古城ほとり	(24)

号	作品名	作者名	頁
	ドウ ユア ベスト	ながみじゅん	(24)
	たった七日のラプソディ	日高七緒	(24)
	みどりのラブ・ステップ	高見まこ	(32)
	サマーゲーム	坂田靖子	(56)
11月号	こ・い・び・と未満	くぼた尚子	(39)
	黒のもんもん組	猫十字社	(12)
	やさしく僕にほほえんで	ながみじゅん	(24)
	芸術家たちの秋	樹なつみ	(33)
	ロマンティック・セレナーデ	千家ゆう	(34)
	見習い魔術師	村田美久	(32)
	アッシャア家の3代目	坂田靖子	(30)
	銀星団・天をゆく!	みかみなち	(48)
	休館日	しばたひろこ	(8)
	美久のミスター・メアリー・ポピンズ	安江由美子	(32)
	バイバイ哀愁クラウン	高見まこ	(32)
	まゆるちゃん危機一髪	いいだみちる	(16)
	美苗ちゃんのプレリュード	滝沢美之	(16)
	愛につまずかないで…	矢倉梨花	(32)
	春姫狂乱	神坂智子	(50)
	ポテ・ポテぽて子さん	高野まさこ	(5)

＊主婦の友社＊

GALS LIFE

号	作品名	作者名	頁
連載	SCYLLA	水野英子	～6(96)
	ドライ・ファミリー	平田真貴子	6～9(131)
	減点ワラビー	小池わか	7～(48)
1月号	気分をかえたら恋がきて	小橋もと子	(32)
2月号	優子ばあと1	倉多江美	(33)
3月号	優子ばあと2	倉多江美	(33)
4月号	雛菊物語	大島弓子	(61)
5月号	地雷を踏んだらサヨウナラ	小橋もと子	(41)
10月号	恐怖の甘い物一家	山岸凉子	(33)
11月号	勝手にモアベター	湯田伸子	(31)
12月号	パンク・パムプキン	倉多江美	(33)

ギャルズコミックDX

号	作品名	作者名	頁
冬の号	あんたとあたい(総)	しらいしあい	(247)
	恐怖の体験レポート	倉多江美	(7)
	GAL NANCY	高崎良	(64)
	ホワイト・ノート	柴門ふみ	(31)
	アルコール・デュオ	麻木みつる	(31)
	ボーイ	夢子	(49)
	メメシカルサーキット	赤星たみこ	(15)
	挑戦者	工藤さちこ	(3)
	たとえばメルヘン	小橋もと子	(48)
夏の号	仏蘭西式にさようなら	小橋もと子	(30)
	雨の日にメスネコひろって	小橋もと子	(32)
	気分をかえたら恋がきて	小橋もと子	(32)
	地雷を踏んだらサヨウナラ	小橋もと子	(31)
	ケチャップ・チャップ	小橋もと子	+×(20)
	気になるこのみちゃん	小橋もと子	+×(8)
	そよぐ若草	小橋もと子	(24)
	愛はアンパン	小橋もと子	(28)
	あらあらアララ姫	小橋もと子	+×(16)
	殺してやってください	小橋もと子	(23)
	18番めの水たまり	高峰マリ子	(41)
	メメシカルサーキット	赤星たみこ	(16)
	Some day….Flying	さべあのま	(33)
	恐怖の体験レポート2	倉多江美	(7)

号	作品名	作者名	頁
	シュガーベビー	高野まさこ	(7)
	C調野郎にご用心／	光崎圭	(40)
	夢の翼をみつけたの!?	めるへんめーかー	(8)
	タロット・ラブ	山本まゆり	(32)
	オー・マイパパ／	こさかべ陽子	(42)
	切ったはったの恋物語	漆砂貴	(16)
	南窓の唐十郎	夢子	(30)
	白頭巾ちゃん・愛の嵐	みなみなち	(40)
	恋のホット・マジック	太田博子	(24)
	たった一夜物語	きくちさなえ	(16)
春の号	通り過ぎた季節（総）	酒井美羽	(113)
	Oh／われら劣等生徒会(総)	愛田真夕美	(90)
	エマちゃん	CESY	(3)
	風は南から	谷地恵美子	(29)
	風船ぱん	谷地恵美子	(30)
	ベギ丸ちゃん	更紗糖	(3)
	ジェット気流のまんなかで	谷地恵美子	(40)
	おとうちゃんのハッピーエンド	田島求見	(24)
	シュガーベビー	高野まさこ	(8)
	ぶらんこの季節	笹尾那実	(32)
	あの子はだあれ!?	菜花めいり	(24)
	海岸通りブギ	沢真琴	(31)
	舞子・冬木立	きむらしんこ	(32)
	ブルー・スマイル青春／	長尾優子	(16)
	拾う神あり	ぬまじりよしみ	(8)
夏の号	学園西遊記(前)	みかみなち	(68)
	パンドラキン	魔夜峰央	(8)
	夏の中に私を見つけて	武上真紀	(24)
	日々草の咲いた日	こやのかずこ	(33)
	くらすめいと	上本まゆり	(32)
	恋の影武者ただ今参上	真木田むつみ	(31)
	しっかり蘭子先生	星田樹	(16)
	恋の五月に花ン中	田中律子	(16)
	おちゃらけホイ／	更紗糖	(8)
	美江とふたごの盲導犬(前)	島みちこ	(45)
	いいかげんにランナウェイ	佐々木けいこ	(16)
	つれて行って(総)	三原順	(170)
	月みれば恋／	あおいせい	(14)
秋の号	パタリロ／(総)	魔夜峰央	(120)
	妖怪女妖観音	魔夜峰央	(24)
	悪魔の雷鳴	魔夜峰央	(16)
	タロット	魔夜峰央	(16)
	見知らぬ訪問者	魔夜峰央	(16)
	つっぱり娘がわあん//	神坂智子	(31)
	落葉ふる日の大決戦	こやのかずこ	(30)
	美江とふたごの盲導犬(完)	島みちこ	(45)
	それぞれにクソまじめ	高野まさこ	(5)
	毎日がサスペンス	稲木至	(24)
	黒板らぶそでい	麻衣ひみこ	(16)
	われらの愛する蘭子先生／	星田樹	(16)
	いつかきっと…	梓美香	(16)
	怪説受験コーチ	佐々木けいこ	(8)
	学園西遊記(完)	みかみなち	(66)
	河童の出てきた日	上田ミネコ	(40)
	おちゃらけホイ／	更紗糖	(4)

LaLa

号	作品名	作者名	頁
連載	ルーとソロモン	三原順	～4,6,7(111)
	あいつ	成田美名子	～6(193)
	アルトの声の少女	篠有紀子	～12(356)
	まじかるむーん	あおいせい	～4(64)
	ティミー・デビル	高野まさこ	～12(95)
	黒のもんもん組	猫十字社	～(116)
	魔利と新吾	木原敏江	3～9(366)
	信長君風雲記	佐々木けいこ	3～5(88)
	一万十秒物語	倉多江美	3～(80)
	日出処の天子	山岸凉子	4～(383)
	ヒューイ・デューイ物語	坂田靖子	4～9(188)
	ダイヤモンド・ダスト	かわみなみ	5～7(92)
	嵐が丘	伊東愛子	5～10(208)
	メイドロイド来夢	あおいせい	7～9(24)
	白い窓の向こう側	ひかわきょうこ	8～(154)
	トロピカル半次郎	高口里純	11～(80)
	蘇州夜曲	森川久美	11～(94)
	エイリアン通り	成田美名子	12～(41)
1月号	ピップ・パップ・ギー	大島弓子	(49)
	道子III(後)	高橋亮子	(42)
	エイリアンレモネード	坂田靖子	(42)
	明日へパス//	真木田むつみ	(48)
	絹のブラウス	秋本尚美	(32)
	ミス露子に捧げるコメディ	樹なつみ	(31)
	たそがれエクスプレス	高口里純	(40)
2月号	忍ぶれど	木原敏江	(55)
	日曜日にリンス	大島弓子	(49)
	春を待つころ	ひかわきょうこ	(49)
	夜は空の上	坂田靖子	(30)
	新春・花の坂東城	かわみなみ	(16)
	アルス・アルペジオネ(前)	伊東愛子	(47)
	気になる陵太郎くん	たちばなれい	(16)
	みそっかすブルース .	千家ゆう	(30)
	こっち向いてセンセ／	くぼた尚子	(34)
3月号	ベルテーンの魔女	山田ミネコ	(61)
	夕焼け通り	坂田靖子	(30)
	アルス・アルペジオネ(後)	伊東愛子	(57)
	林檎館に捧げるコメディ	樹なつみ	(40)
	ハブ・ア・ナイスディ	ながみじゅん	(16)
4月号	エイプリル・マジック	ひかわきょうこ	(24)
	恋のページェント	森川久美	(58)
	拝啓まゆるちゃん	いいだみちる	(16)
5月号	苺苺苺苺	大島弓子	(49)
	メジャーでとんで／	藤本さみ	(16)
	かがやいて笑顔	原田真美	(24)
	わたし病気なんです	高口里純	(39)
6月号	ZII	青池保子	(67)
	花のサンタマリア(前)	森川久美	(66)
	パラソル・エッセイ	ひかわきょうこ	(30)
7月号	八十八夜(前)	大島弓子	(32)
	和歌城戦線異常あり	樹なつみ	(31)
	きらめきキャンペーン	高口里純	(31)
	青猫にファンファーレ	星崎真紀	(32)
8月号	2年4組転入生の乱	成田美名子	(52)
	八十八夜(後)	大島弓子	(16)
	たとえば5年の後	くぼた尚子	(32)
	花のサンタ・マリア(後)	森川久美	(54)
9月号	葡萄夜	大島弓子	(47)
	サルク・オスタ・ボーレ	永松まるみ	(30)
	ラストセイリング	ハルノ宵子	(24)
10月号	2年4組その逆襲	成田美名子	(50)
	今は静かな	三原順	(39)
	サンセット	樹なつみ	(24)

号	作品名	作者名	頁
	エヴァ・グリーンの日曜日	さえぐさじゅん	(4)
	エマちゃん	CECY	(1)
	忍者飛翔(完)	和田慎二	(22)
15号	宗三郎・見参!(前)	柴田昌弘	(50)
	7月シトロン・ラブ	いとう・かこ	(16)
	あたい	高口里純	(31)
16号	夏の夜ならクレイジー	きくちさなえ	(16)
	宗三郎・見参!(後)	柴田昌弘	(50)
	Oh!ネコちゃん	ちびにゃんね	(5)
	夏子	上原きみこ	(58)
	あ・はあと	姫野くみ	(24)
17号	今ひとたびのアツサかな	ぬまじりよしみ	(10)
	サマー・クラッシュPART.1	谷地恵美子	(41)
	土曜日は人待ち顔	川崎ひろこ	(50)
	エマちゃん	CESY	(1)
	パーフェクト・デイ	高口里純	(30)
	サマー・フェスティバル	めるへんめーかー	(30)
18号	ラシャーヌ!青い人魚	魔夜峰央	(40)
	はみだしっ子番外編ミスター・グレンマイアーの休日	三原順	(16)
	サマー・クラッシュPART.2	谷地恵美子	(41)
	土曜日の午後はクレージー	きくちさなえ	(24)
	こんにちわ・さようなら	太田博子	(30)
	落葉おちば赤の糸	神坂智子	(50)
19号	音楽が終ったら	高口里純	(40)
	恋のシネ・ブラボー	野妻まゆみ	(32)
	トワイライト・ウイング	沢真琴	(32)
	未来都市バラン(前)	柴田昌弘	(50)
	セブテンバーラブステップ	宮千恵	(40)
20号	未来都市バラン(後)	柴田昌弘	(40)
	ささやいてロックンロール	山崎睦美	(40)
	ミッドガルドのお客さま	さえぐさじゅん	(24)
	九月野の風ため息ひとつ	芦原しの	(29)
21号	ゴミ箱の中のヒーローたち	谷地恵美子	(40)
	エリカの場合	八木橋涼子	(16)
	おおマイ・ドッペルゲンガー	いなだひろみ	(40)
22号	新宿午前0時	高口里純	(40)
	銀色の瞳の訪問者	さえぐさじゅん	(8)
	秋にのせて・聖子から…	野間美由紀	(31)
	コミック・フェスティバル	佐々木規子	(30)
23号	赤い仔猫は笑わない	柴田昌弘	(60)
	ゆうぐれ慕情	芦原しの	(30)
24号	マイビート・ユアビート	谷地恵美子	(43)
	愛のフラジオレ	いなだひろみ	(50)
	デュエット	八木橋涼子	(24)
	リトル・リトル・バニィ	めるへんめーかー	(24)

花とゆめ増刊

号	作品名	作者名	頁
冬の号	スタンバイ'80	谷地恵美子	(45)
	にっきとダイちゃん	池田ひろみ	(4)
	クリスタル・スワン	金岡律代	(61)
	さらさくん	更紗糖	(4)
	うわさのリップスティック	高口里純	(30)
	のっぽ・リトルストーリィ	こやのかずこ	(29)
	毛糸玉童話	めるへんめーかー	(30)
	早春のモルゲン・ロード	島みち子	(90)
	ひよっこヒヨちゃん	あなだもあ	(3)
	シュガーベビー	高野まさこ	(7)
	ひっくり返って恋をして!?	野間美由紀	(32)
	ブライダル・ベール	戸田のりえ	(29)
	ノア・ノア・ラプソディ	橋本多佳子	(32)
	やさしく雪が…	浜田理枝子	(30)
	ストレンジ・デイ	葉月秋子	(40)
	ジョーとよんでベイビー	明智抄	(24)
春の号	ハイヒールに聞いてくれ	高口里純	(45)
	あこがれパック・ツアー	いなだひろみ	(60)
	ベギ丸ちゃん	更紗糖	(3)
	にっきとダイちゃん	池田ひろみ	(8)
	シンデレラ・ガールにさよなら告げる	芦原しの	(31)
	黄昏色ろまん	めるへんめーかー	(40)
	だから気分はパーフェクト	武山真紀	(24)
	七生ちゃん先生がんばって!	こやのかずこ	(30)
	あの娘のKissはショッキング・れもん!?	きむらしんこ	(32)
	ちょっとコットン気分で…	山崎睦美	(48)
	ガラス玉に愛をこめて	こさかべ陽子	(40)
	スパイス・キャット	さえぐさじゅん	(8)
	ぼくはまりえが好き!	長尾優子	(32)
	夏へのモノローグ	緑井圭	(30)
	10年目のクレイジーラブ	きくちさなえ	(24)
	マディソンはずれのほのかな反乱	渡辺春世	(24)
	いち・にの・いっぱい	ぬまじりよしみ	(12)
夏の号	恋人ゲーム	芦原しの	(48)
	ベギ丸ちゃん	更紗糖	(3)
	成層圏のローレライ	柴田昌弘	(51)
	無知との遭遇	ぬまじりよしみ	(8)
	OH!!ネコちゃん	ちびにゃんね	(4)
	ペン&メリーコール	めるへんめーかー	(40)
	ライト・オン	こさかべ陽子	(80)
	あんぱんとメルヘン	菜花めいり	(30)
	いつかあなたの心が	川崎ひろこ	(50)
	萵苣畑草紙	猫十字社	(8)
	マリー・マリー・マリー	夢子	(30)
	いぬころエッセイ	吉田幸子	(32)
	そりゃないぜあるる	明智抄	(30)
	エプロン・コンプレックス	佐々木規子	(24)
秋の号	秋色メッセージ	いとうかこ	(52)
	秋の陽	川崎ひろこ	(51)
	ひがみっく・くらいしす	ぬまじりよしみ	(8)
	OH!!ネコちゃん	ちびにゃんね	(4)
	ベギ丸ちゃん	更紗糖	(3)
	猫間天狗	魔夜峰央	(10)
	セーラー服とパープルシャドウ	野妻まゆみ	(40)
	アーヤなんておことわり	児島美穂	(20)
	雨	高口里純	(30)
	ダウンタウン・ララバイ	橋本多佳子	(40)
	サングラスをどうぞお月さま	きむらしんこ	(32)
	落葉のひとひら	めるへんめーかー	(40)
	ふしぎの国の…	神坂智子	(40)
	星の雨	さえぐさじゅん	(8)
	純愛小説傑作選	明智抄	(30)
	硬派番長狂い咲き!?	山本まゆり	(30)

別冊花とゆめ

号	作品名	作者名	頁
冬の号	化け猫	魔夜峰央	(40)
	猫間天狗	魔夜峰央	(10)
	貴婦人の唇	魔夜峰央	(30)
	若さま	魔夜峰央	(40)
	妖怪稚児地蔵	魔夜峰央	(16)
	天狗の顔	魔夜峰央	(16)
	おじゃま虫エイリー	更紗糖	(4)
	めざめればチャポ!	神坂智子	(61)

号	作品名	作者名	頁
	小雨まじりのハーモニー(総・後)	土方明美	(99)
	翔んでウェディング	上崎ひろこ	(51)
	なんて長い真昼のいっとき	長浜幸子	(39)
	勝負一発どまんなか!	出原正美	(31)
8月号	6月雨の日招待状	大木三千代	(45)
	俺の姫と非行犯	鈴木玉恵	(45)
	ラブタッチはクレイジー	綾瀬理子	(31)
9月号	ほたる・こい(前)	若林美樹	(46)
	今宵あなたのみる夢は	榛野なな恵	(63)
	まいご鳥とんだ	宇田川暢子	(31)
10月号	ほたる・こい(後)	若林美樹	(46)
	インディアンサマー	のがみけい	(31)
	ハーレー3世	はせちなみ	(31)
	胸さわぎ指数	三谷美佐子	(41)
11月号	風暦	上崎ひろこ	(31)
	おねがい銀河	山田やすみ	(44)
	暴走フリーウェイ	和田由美子	(31)
	ねずみの日	中島一恵	(45)
12月号	恋の予感はバースデー	秋月志穂	(32)
	ささやいてよレクイエム	島津郷子	(31)
	調子はずれの二重奏	湯浅まりこ	(52)
	恋のおくれ姫	宇田川暢子	(31)

月刊セブンティーン増刊

号	作品名	作者名	頁
7月号	あるまいとせんめんき(総II)	しらいしあい	(272)
	炎の器	深見じゅん	(49)
	へーちゃんは猫	中島一恵	(8)
	片想いはもうしない	湯浅まりこ	(31)
	右から3番め	若林美樹	(31)
	白き原野に	宗方ルイ	(45)
	キラキラ星変奏曲	榛野なな恵	(45)
10月号	こうのとり行進曲	立原あゆみ	(50)
	星の森荘3号室	立原あゆみ	(50)
	愛妻ものがたり	立原あゆみ	(70)
	遥かなるゴール	秋月志穂	(61)
	アシュラカタブラ	出原正美	(31)
	ヒールのかけたシンデレラ	綾瀬理子	(31)
	人魚姫の午後	榛野なな恵	(8)
	はろー・ぐっばい	三谷美佐子	(45)
	あしたへデュエット	武田絹子	(45)
	チカンくうーん	あなだ・もあ	(2)
	風にのって	ふくしま美鈴	(31)
	日曜日にデート	高崎良	(31)
	あんさいどきっく	川猫めぐみ	(31)

＊白泉社＊

花とゆめ

号	作品名	作者名	頁
連載	ガラスの仮面	美内すずえ	～15,17～(763)
	小さなお茶会	猫十字社	～(113)
	さらさくん	更紗穂	～8,12～14,17～19,21～23(48)
	シュガーベビー	高野まさこ	～(166)
	スケバン刑事	和田慎二	～3,6～11,15～(575)
	つれて行ってはみだしっ子PART.19	三原順	～4,7～10,12～16,21～23(338)
	パタリロ!	魔夜峰央	～(710)
	Oh!われら劣等生徒会	愛田真夕美	2～5,11～16(298)
	瞳ひらいて	川崎ひろこ	3～12(300)
	ウィニング・ショット	高木美恵子	4～9(185)
	春が来て今あなたは…	酒井美羽	5～7(108)
	ひとつちがい	赤座ひではる	5～11(88)

号	作品名	作者名	頁
	ピカピカ・ギャル	谷地恵美子	11～14(123)
	セーラーブルーの青春	酒井美羽	12～(407)
	とっておきのA・B・C	愛田真夕美	20～(121)
	Oh!!ネコちゃん	ちびにゃんね	20～(18)
	ひがみっく・くらいしす	ぬまじりよしみ	20～(40)
1号	悪というほどワルでなし	酒井美羽	(29)
	スペシャルナイト	谷地恵美子	(30)
	やさしき夢の醒めぬまに	いなだひろみ	(50)
	キャット・エレジー	野妻まゆみ	(16)
	父よあなたは若かった	潜みつる	(30)
	黄金色の午後	めるへんめーかー	(6)
2号	17回目の反抗期(前)	酒井美羽	(40)
	タイタニック'80	柴田昌弘	(61)
	魔法の風を伝えて	めるへんめーかー	(29)
	かすみか雲か聖少女	高口里純	(16)
3号	夢の岸辺から	めるへんめーかー	(4)
	17回目の反抗期(後)	酒井美羽	(40)
	白いメッセージ	山崎睦美	(51)
	今日限りのフリーウェイ	圭美弥子	(16)
4号	おとなりさんちのクレアちゃん	さえぐさじゅん	(8)
	砂糖のかけら降るころに	いとうかこ	(50)
	大きな大きなたまご	めるへんめーかー	(4)
	純白の1ページ	芦原しの	(30)
	猫はネコ	吉田幸子	(16)
5号	バカな女危機一髪	山本まゆり	(30)
	海底土人8823	柴田昌弘	(50)
	魔法マーマレード	めるへんめーかー	(6)
6号	ペットランド・ララバイ	いなだひろみ	(30)
	TOKIO・ザ・スーパースター	光崎圭	(50)
	ウィーブルヴァーク	めるへんめーかー	(4)
7号	またあした	谷地恵美子	(30)
	リーアとエリディルの不思議な旅	さえぐさじゅん	(8)
	木霊の里	神坂智子	(48)
8号	三人そろって春ラ・ラ・ラ	愛田真夕美	(30)
	盗まれたハネムーン	柴田昌弘	(60)
9号	マンハッタン・サンセット(前)	酒井美羽	(60)
	切ったはったのイカサマ野郎	宇咲ななお	(32)
	金曜日のおたのしみ	戸田のりえ	(29)
	ガラス細工の青い馬	飛鷹まのあ	(16)
10号	恋の予感はスキャンダル	野間美由紀	(30)
	マンハッタン・サンセット(後)	酒井美羽	(60)
	バカな女の初体験	山本まゆり	(30)
	美奈子さんのクーデター!?	田島求見	(32)
11号	桜の国から	魔夜峰央	(50)
	グリーン・ラブ・ソネット	浜田理枝子	(32)
	はみだしっ子・番外編	三原順	(24)
	わたしピンクの女の子	神坂智子	(42)
	あざやか緑の物語	明智抄	(30)
12号	忍者飛翔(前)	和田慎二	(52)
	鶏小屋のリトル・ロウィナ	さえぐさじゅん	(8)
	ある愛のかたち	野間美由紀	(4)
	真樹夫くんの恋愛狂詩曲	野妻まゆみ	(30)
13号	忍者飛翔(後)	和田慎二	(46)
	丘を越えていこうよ	ぬまぐりよしみ	(8)
	とりこになったお姫様	さえぐさじゅん	(4)
	彼氏はハスキーボイス	高口里純	(40)
	あいつに贈るノクターン	橋本多佳子	(24)
14号	第3の娘	柴田昌弘	(50)
	ヴァンコラン	魔夜峰央	(16)
	金の糸	神坂智子	(40)

号	作品名	作者名	頁
8号	冬のパッサカリア	長広洋子	(45)
9号	砂漠の王さま	樹村みのり	(45)
10号	♀・はつ恋	ましまくみこ	(31)
11号	橋本せんせい	鈴木玉恵	(31)
12号	昨日にさようなら	永井裕子	(31)
13号	ワン・ホット・ストーリー	深見じゅん	(45)
14号	ミルク色の童話	中島伸子	(31)
15号	さくらさくら…	井上洋子	(45)
16号	復讐のソネット(前)	池田理代子	(31)
17号	復讐のソネット(後)	池田理代子	(35)
18号	ゴリラ先生に愛を!!	つるとみ子	(31)
19号	パーム・ツリー・ストリート	川村恵美子	(31)
20号	正気のSaturday Niyht	滝川佳子	(31)
21/22号	民あんとカーネーション	立原あゆみ	(45)
30号	7月の不思議	鈴木雅子	(31)
35号	人形は夜くる…(前)	宮脇明子	(15)
36号	初恋のフーガ(前)	池田理代子	(39)
	人形は夜くる…(後)	宮脇明子	(15)
37号	初恋のフーガ(後)	池田理代子	(35)
39号	シーサイド・ブルー	井上洋子	(43)
43号	アルバムの中のわたし	土方明美	(43)
48号	エデンの園	ましまくみこ	(45)

週刊セブンティーン増刊

号	作品名	作者名	頁
1月	11月のリセエンヌ	松本弘美	(51)
20日号	二等辺三角形の定理	深見じゅん	(51)
	半年前の美女志願	芹沢やすみ	(31)
	ショウケースのバイオリン	只野まゆみ	(31)
	バタフライ・ラブ・ストーリー	大槻由美子	(31)
	愛しのジョルジュへ…	ゆうき通留	(31)
	平太郎くんの恋	野原恵美子	(32)
	…そして愛	ましまくみこ	(39)
	Don't mind	滝川佳子	(31)
	2年B組センセーション	大野理恵	(63)
	ふたりのコンチェルト	生方めぐみ	(31)
	わすれ雪	久保田美紀	(39)
	佐々木家に電話はなる	山本美子	(16)
	姉貴バンザイ	小野寺善子	(32)
5月	熱烈歓迎我愛人	谷川博実	(41)
25日号	ファザー・グースによろしく	つるとみ子	(35)
	卒業記念	ふくしま美鈴	(43)
	サラー碧の瞳	久保田美紀	(47)
	きらきら笑顔のキミが好き	高野葉子	(31)
	わんすもあ	滝川佳子	(31)
	鳥になった少年	志村雅子	(31)
	青春ラブ・コール	中島伸子	(31)
	おとぎの国のえぐり姫	赤星たみこ	(8)
	ハッピー・アゲイン	川村恵美子	(57)
	赤いサーファー	只野まゆみ	(35)
	ほんの少しまわり道	都築玲	(39)
	花ほたる	わたなべまさこ	(45)
	桜の花の森	菅有亜	(39)
8月	たとえばユウの夏	島津郷子	(45)
15日号	日曜日原宿心中	深見じゅん	(45)
	死者の棲む館	宮脇明子	(45)
	のこったのこった	志村雅子	(31)
	打算の証明	芹沢やすみ	(31)
	想い出リフレイン	只野まゆみ	(31)
	落ちこぼれ甲子園	ましまくみこ	(31)
	きみの小さな手	ふくしま美鈴	(31)
	らりぱっぱ行進曲	立原あゆみ	(8)
	愛験旅行'80	山木美子	(31)
	RINGOストーリー	野原恵美子	(31)
	一発逆転!!	小野寺善子	(31)
	哀愁でいと	中島伸子	(31)
	あめあがり	前田博子	(33)
	名作!!モモエとえぐりの竹くらべ	赤星たみこ	(9)
	夏にさそわれて	大野理恵	(45)
11月	両手いっぱい野の花を	永井裕子	(33)
1日号	風のわすれもの	中島伸子	(31)
	時には傭父のように	滝川佳子	(31)
	情熱のだぼだぼリーゼント	つるとみ子	(39)
	おーい!キャプテン	ふくしま美鈴	(31)
	遠い歓声	小野寺善子	(45)
	しっかり結んで恋心	鈴木玉恵	(45)
	身体に関する覚えがき	樹村みのり	(8)
	すすき野の里	わたなべまさこ	(45)
	♀シンデレラ	長広洋子	(39)
	海に別れる日	前田博子	(39)
	待ちぼうけ	志村雅子	(45)
	降っても晴れても	川村恵美子	(15)
	かぐや姫じゃーっ!	土田よし子	(7)
	沈丁花	久保田美紀	(47)

月刊セブンティーン

号	作品名	作者名	頁
連載	あるまいとせんめんき	しらいしあい	1~12(45)
	気まぐれスケッチ	湯浅まりこ	~1(31)
	オルフェウスの窓	池田理代子	~5(42)
	Oh!ランジェリー王国	あなだ・もあ	~12(27)
	プラタナス抄(総)	鈴木雅子	2~5(36)
	まりあの子守唄	森蘭丸	2~4(84)
	ふぃーりんぐはっぴい	秋月志穂	5~7(92)
	フィメールの逸話	鈴木雅子	8~(112)
	悲しみは歌わない(総)	福原ヒロ子	8~(167)
1月号	ゆの字のプロローグ	川猫めぐみ	(31)
	100日まっか	立原あゆみ	(70)
	マイナス4センチのスニーカー	秋月志穂	(41)
	花ことば知ってる?	若林美樹	(31)
2月号	ペパーミント白書	榛野なな恵	(47)
	そっと愛	島津郷子	(64)
	弁当よこせ	中島一恵	(31)
	さよならミスY子	のがみけい	(37)
3月号	瞳をとじてもういちど	上﨑ひろこ	(46)
	えとせとLOVE	樫みちよ	(42)
	少しだけまわり道	三谷美佐子	(51)
	コロンにキッス	若林美樹	(31)
4月号	満月の夜おいでください	長浜幸子	(29)
	サンセット・リーゼント	大木美千代	(42)
	めくり忘れたカレンダー	湯浅まりこ	(62)
	平和ダンスィング	山田やすみ	(31)
5月号	どこか遠い虹の国	川猫めぐみ	(46)
	月曜日がきらい	中島一恵	(46)
	雨が降るからエスケープ	内田美奈子	(29)
	地獄の近視録	鈴木玉恵	(35)
6月号	小雨まじりのハーモニー(総・前)	土方明美	(94)
	だから歌って	若林美樹	(46)
	空にとどきそう	三谷美佐子	(49)
	愛せん桂	はせちなみ	(46)
	ちょっとシェークスピア	山田やすみ	(31)
7月号	赤いれんがの写真館	湯浅まりこ	(45)

号	作品名	作者名	頁
2月号	こ・来・く…来る！	木原敏江	(63)
	あまりに恋も命がけ	三浦のりこ	(35)
	バースデー・イブ	寺口えみ	(63)
	ミセス・ロビンソンの庭	三岸せいこ	(40)
	雪の午後はうわの空	文月なつ	(24)
	うそつき委員長の告白	曽根富美子	(48)
	オオカミ君すとーりー	江口孝子	(45)
	フフンこれでも女じゃ！	大城一美	(16)
	風は何色ポエム色(総・後)	富塚真弓	(189)
3月号	さよならシェイクスピア	小川理津子	(35)
	のらねこ教室	立原あゆみ	(45)
	直人くんのif病	水森つかさ	(35)
	ウォークパーティ	筏川かおる	(39)
	潔くんの負け	柴田京子	(32)
	ラブラブ戦線異常あり	のがみけい	(59)
	たそがれコンプレックス	吉野朔実	(24)
	黄色い舟を漕ぎだして	千秋湘子	(16)
	空のいろの屋根の下(総)	佐藤真樹	(90)
	森の教室	佐藤真樹	(64)
	レイン…レイン…	佐藤真樹	(35)
4月号	かぼちゃ族のお茶会	星川歩	(47)
	メーリさんのひつじ(前)	ごとう和	(39)
	レモンライムのスプリング	つちやこりの	(35)
	狂いっぱなしのオフィーリア	水星茗	(47)
	トラブルバック	上座理保	(53)
	学校うら川っぷちの決闘	林菜穂子	(32)
	あんマン肉マンカレーマン	井上恵津子	(16)
	花ぶらんこゆれて…(総・完)	太刀掛秀子	(183)
	迷子のプレアード	平岩けい	(30)
5月号	牧太郎ちゃんがんばってー！	沢村砂都	(35)
	伝説(前)	水樹和佳	(50)
	春だからめざめたみたい	松苗あけみ	(39)
	メーリさんのひつじ(後)	ごとう和	(31)
	お山の大将	かじやまなおみ	(50)
	トライアングル最前線	芳村梨絵	(44)
	さみしがりや通信	つるま里子	(32)
	サンドに感謝	楡エルム	(16)
	聖子と吉三郎	沖倉利津子	(91)
	この子野良ねこ	沖倉利津子	(59)
6月号	がんばれ！ブーキー	兵野ひづる	(45)
	ちょっとまわり道	文月なつ	(35)
	晴天なり	耕野裕子	(32)
	伝説(後)	水樹和佳	(50)
	小手毬坂	岡本美佐子	(48)
	トラブル・エクスプレス	三浦のりこ	(39)
	いざ高く旗かかげ	筏川かおる	(41)
	ぼる子にコンセント	大城一美	(31)
	菅原ちゃんの法則	忍海まさき	(16)
	ピンクのシャツが好き	篠崎まこと	(60)
	雪より白く微笑んで	篠崎まこと	(52)
7月号	文月に歌よせて	三山節子	(63)
	のらねこ教室	立原あゆみ	(47)
	サイクル野郎に負けるナ！	小川理津子	(39)
	変人in the温室	吉野朔実	(32)
	拓美くんのカルチャー・ショック	水森つかさ	(48)
	お好みのユートピア	江口孝子	(45)
	おとめちっくになれないの	千秋湘子	(32)
	なんてわからぬお医者さま	尾崎無夢	(16)
	とびきりとばしてミッドナイト	塩森恵子	(46)
	冬には枯れた花を飾り	塩森恵子	(45)
8月号	星月夜に消ゆ	星川歩	(39)
	淡くかすんで昼下り	しのはらくみこ	(32)
	初恋・英雄ここにあり！	水星茗	(47)
	12年目の告白	谷坂尚子	(16)
	由似へ…(総・前)	大谷博子	(184)
9月号	アバンぎゃるド・ラブ	上座理保	(45)
	意地っぱり	かじやまなおみ	(37)
	あのコは速写一眼で	つちやこりの	(31)
	はるか南のSOS	かみたにちづこ	(16)
	由似へ…(総・後)	大谷博子	(178)
10月号	夜想曲	木原敏江	(65)
	その人は銀の雨…	岡本美佐子	(39)
	のらねこ教室	立原あゆみ	(45)
	恋のおとしもの	桐島いつみ	(16)
	Mickey（総）	小椋冬美	(106)
	センチメンタル・ジプシー	芳村梨絵	(45)
11月号	海のほとりの王国で…	水樹和佳	(67)
	だけど…好きっ//	文月なつ	(31)
	洋介クンは冥の海へ	竹坂かほり	(16)
	ほんの少し抵抗	耕野裕子	(31)
	明日の天気雨	千秋湘子	(32)
	チャイ夢(総・前)	岩館真理子	(113)
	春告花	兵野ひづる	(45)
12月号	だきしめて夢子	ごとう和	(62)
	ジジむさいけど彼氏です	小川理津子	(40)
	青空に光る(前)	のがみけい	(49)
	11月のおじゃま猫	水森つかさ	(45)
	金色の落葉のふりしきる…	吉野朔実	(39)
	遠い日の水玉模様	星川歩	(51)
	綾野ちゃんのSECOND LOVE	たがわえいこ	(16)
	チャイ夢(総・後)	岩館真理子	(111)

週刊セブンティーン

号	作品名	作者名	頁
連載	ピアニッシモ物語	谷川博実	～14(180)
	ぷらすＹの悲劇	樫みちよ	～6(60)
	珠姫草紙	鈴木雅子	～12 (150)
	ワンモア・ラブソング	島津郷子	1～16(218)
	えぐりのあなたのナニをえぐっちゃう//	赤星たみこ	1～(102)
	星の娘たち	土方明美	9～29(308)
	愛しのスーパーまんさまへ…	進藤博子	13～47(457)
	風のゆくえ	粕谷紀子	15～35(315)
	クラスメイト	永井裕子	17～28(173)
	もうひとりのイブ	樫みちよ	18～38(299)
	花咲ける堤にすわりて	津雲むつみ	23～26(124)
	はみだしハート99%	つるとみ子	29～39(164)
	わたしのシュガーボーイ	鈴本玉恵	30～35(89)
	遥かなる海へ	津雲むつみ	34～50(255)
	白球まっしぐら！	小野寺善子	37～40(60)
	すいんぐdays	やまき美子	39～48(150)
	ラブ・カルテット	谷川博実	40～(195)
	ナービー―死霊の館―	宮脇明子	41～52(180)
	森はなに色	粕谷紀子	48～(75)
	アイントウバイどりーむ	井上洋子	49～(60)
	生きて愛して微笑んで	只野まゆみ	51～(30)
1号	あいつとホットチョコレート	武田京子	(45)
2/3号	リーゼント子守唄	立原あゆみ	(59)
4/5号	新春だよルミちゃん	つるとみ子	(15)
	二等辺三角関係	井上洋子	(59)
6号	禁酒宣言ラブ宣言	進藤博子	(45)
7号	47年目の真珠	粕谷紀子	(45)

号	作品名	作者名	頁
	おれたちが燃える時！	沢渡けい	(16)
9月号	カッコつけんなよ!!	多田かおる	(50)
	風のポエム雨のメモリー	沖倉利津子	(45)
	まけるかっ！自然児	夏芽あこ	(45)
	星降れば…	朝香のん	(30)
10月号	熱きシュートイン！(前)	宗美智子	(50)
	タッチミー	茶木ひろみ	(43)
	お祭り気分にのって	わだいくこ	(24)
	たんたん玉ねぎ	佐伯律子	(40)
	プラチナ・マスカレード	石井房恵	(44)
	アップダウン心もよう	塩見あきよ	(16)
11月号	エンドレス・ラブ・ソング(前)	多田かおる	(52)
	熱きシュートイン！(後)	宗美智子	(52)
	ときめき・はいすくうる	さえぐさとも	(44)
	ラブ・セレクション	杏崎もりか	(40)
	茶色の髪の生徒会長	小川瑠璃子	(16)
12月号	鏡の中のアリス(前)	槇村さとる	(65)
	ちょっとドギマギ	安積棍子	(47)
	風はつめたくやさしく吹いて	夏芽あこ	(40)
	エンドレス・ラブソング(後)	多田かおる	(52)
	おいでアルメリア	麻尾樹里	(36)
	いきなり愛！	田原亜美	(16)

デラックスマーガレット

号	作品名	作者名	頁
連載	ちるどちゃん	ところはつえ	～(12)
	姫子ちゃん	鬼丸ちひろ	1～(12)
	ぼくの恋人くん	北風智子	～(20)
	えりちゃんと仲間たち	中原ちゃむ	1～7(30)
	南風の中で	市川ジュン	～1(45)
	むさしとコジロー	井上としや	～(25)
1月号	風にふりむけ！	小川みどり	(50)
	3年目のフルネーム	杏崎もりか	(35)
	わたしのようにすてきな娘	佐藤志保里	(48)
	ふたりのコーポ	秋本りん	(40)
	ハッピー・ブー	横谷順子	(30)
	まっけるなあ鳩子ちゃん！	高丘千栄子	(44)
	ぼたん雪に恋みつけ	宮川匡代	(24)
	これが3度めの正直!?	冨田陽子	(40)
	とてもすてきな？贈り物	藤村奈々	(40)
	マジシャンズLOVER	いくえみ綾	(24)
	走れメリ康!!	服部夕紀	(30)
3月号	イエスとノーの交差点	石井房恵	(50)
	サテンドールのように…	生野梨恵	(16)
	16歳そして春へ…	宗美智子	(50)
	パステルトーン季節	わだいくこ	(30)
	おくさまがいちばん!!	佐伯律子	(36)
	ボクの春一番	はにしな良子	(40)
	出来心・恋心	星砂留有	(24)
	晶の四角い部屋	麻尾樹里	(40)
	2月3月風のころ	岡田理知	(40)
	潜入／おいでやす城	尼子騒兵衛	(8)
	おもちゃ箱1番地	森有子	(40)
	ちょっとだけ異邦人	さえぐさとも	(45)
	ほほえみベンチ	横谷順子	(30)
5月号	あなたのそばにいるだけで…	安積棍子	(50)
	なな子・初恋日記	緒形もり	(44)
	野山の風がささやいて…	朝香のん	(24)
	赤いルージュにときめいて	佐藤志保里	(40)
	エヴァ・グリーン	桧垣典子	(45)
	新築／忍者屋敷	尼子騒兵衛	(7)
	春ばら色の風の中	市川ジュン	(50)
	翔んでプレイガール	秋本りん	(40)
	とんでけかずら！	山下泉	(7)
	ポテトスープは好きですか？	あき美かお	(40)
	朝一番!!	横谷順子	(30)
	どうするっリン!?	高丘千栄子	(40)
	クラスメイト	わだいくこ	(30)
7月号	照美くんもおターイヘン！	夏芽あこ	(45)
	ぼくは…ドキドキ!?	萩森千聖	(24)
	つゆわらわ	佐伯律子	(36)
	ココア色の恋人	宮川匡代	(30)
	ピー子さんは春色	麻尾樹里	(45)
	ウェディング・マッチポイント	横谷順子	(30)
	ボロボロ犬小屋3番地	小川みどり	(44)
	ピンク色した風船ガム	岡田理知	(40)
	インディアンはだ・あ・れ？	たかせなぎさ	(24)
	箱の中の天使	はにしな良子	(50)
	16歳カマトトブルース	冨田陽子	(37)
	涙の音がきこえるこ	森有子	(37)
9月号	キャンパスライフ'80	西条美恵子	(46)
	キラキラうさぎのたからもの	緒形もり	(44)
	初恋みつけて輝いて	杏崎もりか	(36)
	すーちゃんをさがせ!!	秋本りん	(30)
	ぱわふるオレンジせぶてんばあ	さえぐさとも	(43)
	怪物くんのR.B	あき美かお	(36)
	きらめき秋	市川ジュン	(44)
	女教師ばらあど	佐伯果林	(16)
	すばらしい・バースディ	森有子	(31)
	1会だけあなたへ…	いとうもも	(46)
	ブキミーと仲間たち	中原ちゃむ	(7)
	ラブレターfrom風来坊	桧垣典子	(40)
11月号	サラダッ子純情	緒形もり	(50)
	つぐみと40ぴきの友だち	小川みどり	(45)
	グリーン・ヒルズのあなぐらで	佐藤志保理	(43)
	秋からの贈り物	宮川匡代	(30)
	ぶー太郎は元気！	いくえみ綾	(38)
	がんばれピー子さん	麻尾樹里	(40)
	坐ちゃんがすごいっ!!	高丘千栄子	(42)
	あなた色に染めて	たかせなぎさ	(30)
	アップルサイダー物語	はにしな良子	(45)
	ぼくは二死満塁	冨田陽子	(35)
	虹色マフラー	横谷順子	(30)

ぶ～け

号	作品名	作者名	頁
連載	すずえのメルヘンランド	石原すずえ	～(48)
	青になれ！	倉持知子	～(36)
	思い出もどき	かじやまなおみ	～1(32)
	高円寺あたり	西谷祥子	5～(314)
	桜あぶない	寺口えみ	7～11(168)
	空の色ににている	内田善美	8～11(212)
	すずめ報告	笈川かおる	9～12(134)
1月号	流星あげる	岡本美佐子	(39)
	5番街でクレイジー！	上座理保	(35)
	冬のほたる	兵野ひづる	(40)
	1丁目の青りんご	ごとう和	(59)
	これが…兄です！	耕野裕子	(24)
	ウツよりソウがよろしいの！	吉野朔実	(16)
	ささやかな恋は農田林高校発	プラタナス・ポプラ	(16)
	睦月夢月いじけ月	三山節子	(45)
	風は何色ポエム色(総・前)	富塚真弓	(101)

号	作品名	作者名	頁
3/4号	3DKのサバイバル	弓月光	(45)
	チャイニーズ・ニンフ	佐野とまと	(64)
5号	雪は何色おもいで色	富塚真弓	(45)
	とまれ・よし・すすめ	西谷祥子	(57)
6号	スノードロップ	川崎苑子	(45)
7号	もう一人のハニー	菊川近子	(45)
8号	冬には枯れた花を飾り	塩森恵子	(45)
9号	卒業旅行	柴田あや子	(45)
	マドンナ'80(前)	山下和美	(19)
10号	マドンナ'80(後)	山下和美	(19)
17号	3年C組ハナコ先生	児島みどり	(48)
18号	ひとりぼっちの日曜日	西田圭子	(19)
30号	6月・雨の降る街から	岩館真理子	(48)
31号	ノアールの逆襲	鎌田幸美	(42)
32号	いたずら猫きの夏	西谷祥子	(42)
33号	ドラマチック学園	しゃまれ	(42)
34号	ノボとニンジン先生	星野めみ	(42)
35号	TOKIO	森川タマミ	(42)
36号	負けるな/ヒーロー	弓月光	(42)
37号	ヘイお祭りGIRL/	佐野とまと	(42)
38号	言問橋純情	塩森恵子	(42)
39号	8月・銀河にむけて	岩館真理子	(48)

週刊マーガレット増刊

号	作品名	作者名	頁
お正月号	指輪にキスして//	鎌田幸美	(58)
	ゆく年くる年スターこらさっさ	いかわようこ	(6)
	天使の忘れもの	森島黎	(51)
	ぐーたら一家	土田よしこ	(16)
	雨ふり駅	楠なお	(51)
	シュガー入りミルク・コーヒー	保高なつみ	(43)
	風をつかまえて	相田けいこ	(34)
	3年C組ハナコ先生	児島みどり	(45)
	青春マッチポイント	柏谷ひとみ	(105)
	おし入れ物語	山下和美	(42)
	うちのおじいちゃん	河野厚子	(31)
	群青の空におつきさま	飯塚修子	(31)
	きみはいとしのジェリー	吉岡かずみ	(31)
春の号	クリスタル・ワルツ	横山文代	(62)
	おじゃママ最前線	武田薫	(43)
	遊園地だよ/スターこらさっさ	いかわようこ	(8)
	もうひとつの誕生日	鈴木香代子	(43)
	陽だまりみーつけ/	芹沢なほ子	(59)
	ワンワン/ワンダ	ワンパック	(8)
	しあわせトワイライト	今枝ルミ	(35)
	思春譜	深沢かすみ	(75)
	異星人より愛をこめて	鶴田トモコ	(11)
	わずか5円のキッス	楠なお	(43)
	仁侠春一番	河野厚子	(31)
	ポテトちっくにささやいて	飯塚修子	(31)
	7:00発ひかり1号	神崎みどり	(31)
	ルーシィ風の中に…	中谷容子	(31)
夏の号	サイン・コサイン・三角関係	弓月光	(32)
	陽ざしでローリング	佐山玲子	(50)
	ふとめでゴメン/	土田よしこ	(4)
	ギャル物語	森川タマミ	(15)
	あなたに賭ける/	津村かおり	(47)
	梨元なんかに負けないわ/	武田薫	(43)
	USA夏へ/	横山文代	(42)
	ミス・テイ子	よしまさこ	(15)
	もうひとりの顔	あつたゆりこ	(37)
	テクノドクター良熱い疾走/	葉月シモン	(43)
	まぐれポリス	いかわようこ	(6)
	夏の空へ…	村田則子	(31)
	きれいなもの好きの魔女	河野厚子	(31)

別冊マーガレット

号	作品名	作者名	頁
連載	フーちゃん	いまいかおる	~(105)
	ゆるして//ねえちゃん	すえつぐなおと	~(64)
	らぶらぶミィミィ	水野レイ	~12(24)
	LOVEのヤンチャ記	井上としや	~7(28)
	ベロベロベェ	ところはつえ	~(48)
	伊賀野カバ丸	亜月裕	~(554)
	由似へ…	大谷博子	~3(140)
	ちびママ日記	鬼丸ちひろ	~(55)
	愛のアランフェス	槙村さとる	1~9(469)
	いらかの波	河あきら	1~11(480)
	いつもポケットにショパン	くらもちふさこ	2~(542)
	由似きみの青春	大谷博子	8~(233)
	お子さまランチ	井上としや	9~10(8)
1月号	だい・だい・だい好き	多田かおる	(48)
	私のためにほほえんで/	緒形もり	(36)
	アウトローは笑わない	あき美・かお	(40)
	ロマンチックな羊たち	市川ジュン	(44)
	カリフォルニアウィッシュボーン	石井房恵	(42)
	やさしい風	朝香のん	(16)
2月号	サヨナラ火曜日またきて日曜	沖倉利津子	(47)
	すれちがいローティーンラブ	夏芽あこ	(40)
	ぱすてる・ラブソング	安積棍子	(36)
	ラッセル・スクエア17番地	佐藤志保里	(44)
	エレクトリックマジックオーケストラ	渡辺かずみ	(16)
3月号	なないろ7日め卒業式	茶木ひろみ	(60)
	なりゆきソング	杏崎もりか	(30)
	ビスケット物語	小川みどり	(34)
	ケンタロウは誰のひと	高丘千栄子	(40)
	イミテイション・ゴールド	佐伯果林	(16)
4月号	エイプリル方程式	多田かおる	(60)
	すずめ進め/	西条美恵子	(45)
	恋人日記	いとうもも	(40)
	心でシングアゲイン	宗美智子	(40)
	浩平くんのシュート	こもとあい	(16)
5月号	おいっこころ/	茶木ひろみ	(45)
	砂糖菓子なんてよばないで/	沖倉利津子	(45)
	あこがれ七味とうがらし	さえぐさとも	(43)
	お月さまに祈れば	平野悦子	(30)
	明日なあーんの日?	夏芽あこ	(40)
	タンジェリン星のとなり	森園咲	(16)
6月号	ド根情娘と短気なライオン	大谷博子	(60)
	らららと浜田くん	多田かおる	(40)
	いつか雨あがり	杏崎もりか	(32)
	6月がさそった風	いくえみ綾	(30)
	ウィッシュボーン・サマー	石井房恵	(40)
	なんとなく生徒会長	江崎裕麻	(16)
7月号	あなたのプロフィール(前)	茶木ひろみ	(55)
	白と黒の青春をつかめ/	宗美智子	(48)
	あふたあすくうる	わだいくこ	(24)
	失恋メルヘン	緒形もり	(32)
	ふしぎの国の聖良ちゃん	佐藤志保里	(40)
8月号	ゆれてゆられて恋心	安積棍子	(40)
	あなたのプロフィール(後)	茶木ひろみ	(55)
	由美子サンがとぶ//	高丘千栄子	(40)

号	作品名	作者名	頁
	オランダ坂から…	荒井裕子	(50)
	これでも先生！	麻久里しず	(37)
	カッコマン・ブギ	樹原ちさと	(31)
9月号	Twinkle Twinkle あの娘の横顔	陸奥A子	(34)
	果樹園	一条ゆかり	(48)
	夏…そして秋	水沢めぐみ	(15)
	放課後には魔女	高橋由佳利	(44)
	なんとバーベキュー味	山本優子	(37)
10月号	勝負あり！	池野恋	(34)
	3丁目のサテンドール	清原なつの	(56)
	極道一家とピンクのりぼん	坂東江利子	(47)
	奇跡の人	森杏里	(25)
11月号	8日目の野菜スープ	高橋由佳利	(50)
	みち草より道かえり道	荒井裕子	(55)
	カッコマン・ベイビー	樹原ちさと	(39)
	物語のはじまり	水沢めぐみ	(31)
12月号	だから今夜はスローダンス	小椋冬美	(50)
	ぼくからのことば	篠崎まこと	(56)
	必殺ドけち人	麻久里しず	(37)
	BGMは26インチ	このうえたきえ	(31)

りぼん増刊

号	作品名	作者名	頁
2月号	好きになったら命がけ！	坂東江利子	(67)
	おばけちゃん	加納あづま	(5)
	C調言葉に御用心！	麻久里しず	(43)
	坂道は夢を…	水沢めぐみ	(43)
	タンジェリン・パイの娘	小椋冬美	(4)
	仙人様になりたあーい！	あさりひろみ	(8)
	カバンにつめたカレンダー	たかだ功	(47)
	赤い首輪と銀のスズ	青木鷹	(39)
	ふんわり妖精	みよしらら	(8)
	ダイヤモンド・チェイサー	佐伯かよの	(63)
	かじか沢夜話	千明初美	(48)
	キャメロットの甘い罠	水星茗	(47)
	ラ・マリオネット	前田由美子	(31)
5月号	バイバイヒーロー！	樹原ちさと	(47)
	ふんわり妖精	みよしらら	(8)
	おあずけラブ	森杏里	(36)
	おばけちゃん	加納あづま	(8)
	春の雨とおり雨	荒井裕子	(67)
	この空を飛べたら	川路なずな	(47)
	アラビアン・チェック・メイト	佐伯かよの	(57)
	仙人様になりたあーい	あさりひろみ	(9)
	猫背	岡本眞澄	(32)
	しゃだん機あがった	市橋かずみ	(32)
	星空にカンパイ！	たかだ功	(53)
	いじけ村のムースくん	沢田とろ	(6)
9月号	たかゆき見参!!	萩岩睦美	(36)
	くうちゅう・しばい	一条ゆかり	(31)
	I愛クリニック	篠崎まこと	(24)
	海の響き	新里敦子	(8)
	涼風ふいてきたら	荒井裕子	(50)
	おいてけぼり	青木鷹	(16)
	あなたの第2ボタン	永井紀子	(31)
	ポニー・ポニー・ポニー	七瀬みつこ	(32)
	わたしの童話かれの空	たかだ功	(45)
	らぶ・ぱっぐ	このうえたきえ	(40)
	るんるんこりす姫	みよしらら	(7)
	太ってララバイ	麻久里しず	(33)
	空くん町へいく!!	小田空	(8)

号	作品名	作者名	頁
	すてきなお友だちいちごとしいら	加納あづま	(4)
	たったひとつの予感	野口弓子	(31)
11月号	流水子さんに花束を	清原なつの	(43)
	ブルー・クレッセント・ナイト	青木鷹	(16)
	うれしいお友だちいちごとしいら	加納あづま	(5)
	いじけ村のムースくん	沢田とろ	(1)
	マジカル・ショッキング・ダイアリー	坂東江利子	(40)
	アウト&セーフ	赤座ひではる	(13)
	こがらし日記	千明初美	(41)
	秋の日にはWith You	本田恵子	(32)
	ちぎれ雲ふたつ	たかだ功	(47)
	るんるんこりす姫	みよしらら	(8)
	恋は貧しく美しく!?	水星茗	(39)
	この愛バトンタッチ	神野あつ子	(64)
	16	岡本眞澄	(31)

週刊マーガレット

号	作品名	作者名	頁
連載	チャイ夢	岩館真理子	1～13(233)
	希林館通り	塩森恵子	～35(615)
	翔んでるルーキー！	湯沢直子	～38,42～(319)
	隼くん元気？	富塚真弓	～23(422)
	危険がいっぱい	森川タマミ	～31(572)
	星にとどく樹	柴田あや子	～16(286)
	かくれんぼキッス	星野めみ	～(379)
	ウルトラななチャンネル	いかわようこ	～(196)
	赤い爪あと	菊川近子	～6(285)
	白球を叩け！	柿崎普美	～14(247)
	ちびブタブチブー	ところはつえ	～(202)
	SWAN	有吉京子	～26,40～(722)
	エースをねらえ！	山本鈴美香	～8(133)
	おたすけ人走る！	弓月光	～2(36)
	花嫁はだれだっ!!	しゃまれ	3,4～13(193)
	フレンズ	松本和代	7～18(230)
	おっと失礼！	葉月シモン	9～18(190)
	チャイニーズ台風	ひたか良	10～30(419)
	ぐーたら一家	土田よしこ	10～27(90)
	おちこぼれ忍法帖	弓月光	11～30(364)
	土曜日の絵本	川崎苑子	14～52(591)
	ザ・スキャンダル	よしまさこ	14～23(182)
	愛がありますか？	西谷祥子	15～52(726)
	おじゃまな関係	佐野とまと	17～26(190)
	ひき裂かれた顔	あつたゆりこ	18～28(209)
	恋の4の字固め	浅野かおる	19～30(229)
	恋のシャッターチャンス！	柴田あや子	24～(376)
	グラサンららばい	山下和美	27～41(281)
	桐子の場合	中森清子	27～46(378)
	むかしむかし…	河野厚子	28～(183)
	白い手の殺意	柿崎普美	29～39(207)
	あなたにとどけ！	富塚真弓	31～49(364)
	Hot-dog／マコ	鎌田幸美	35～43(172)
	もな子…しゃべり勝ち！	松本和代	36～48(248)
	裸足のスーパーギャル	ひたか良	39～(292)
	気になるウルフ！	森川タマミ	41～48(157)
	響子	塩森恵子	44～(187)
	吸血樹	柿崎普美	47～(114)
	かわいいデビル!?	佐野とまと	49～(76)
	ポッキー／まめ台風	あつたゆりこ	49～(76)
	手術しちゃうから！	弓月光	50～(58)
1号	あなた行き最終列車	桂むつみ	(45)
2号	勝手にしやがれ	森川タマミ	(45)

号	作品名	作者名	頁
	ゆめ行き快速電車	鈴木真理子	(32)
	明日へ向かう風	山城あつこ	(31)
	春・春・光・光!!	三浦浩子	(40)
	一枚の夢	くじらいいくこ	(40)
	そしてハッピーエンド	聖鈴子	(31)
	ひと足おくれて春	[illegible]	(40)
	翔べ心!!(総II)	三浦浩子	(147)
6月号	6月の魔法	瑞原芽理	(31)
	環状七号線	佐香厚子	(40)
	空の色の花	鈴木真理子	(31)
	ワカの子守唄	くじらいいくこ	(31)
	紅学園水無月の乱	[illegible]	(40)
	やさしい雨の降る午後に…	伊藤やすこ	(31)
	Hello アンドロメダ	[illegible]	(31)
	古時計が語った話	山城あつこ	(31)
	翔べ心!!(総III)	三浦浩子	(136)
	[illegible]	鈴賀レニ	(50)
	すずらんの丘	灘しげみ	(40)
	ムフフ結婚相談所	山本尚子	(5)
9月号	昼さがりのコーヒー	佐香厚子	(40)
	ふんわり秋風さん	聖鈴子	(31)
	橋のむこう	刀根夕子	(40)
	ラブコールにふりむいて!	瑞原芽理	(31)
	過ぎゆく夏に…	伊藤順子	(31)
	遥かなるあい	灘しげみ	(40)
	向日葵	鈴木真理子	(31)
	ハッピー・ハウスへようこそ	伊藤やすこ	(31)
	カノン	くじらいいくこ	(31)
	翔べ心!!(総IV)	三浦浩子	(147)
	クィーン・コング	仲尾佳	(6)
	アタック!ムフフちゃん	山本尚子	(4)

プチセブン

号	作品名	作者名	頁
連載	ハイティーン・ブギ	牧野和子	～(630)
	姉妹坂	大山和栄	～(720)
	クーリィはどこ	武田京子	1～10(294)
	やって野郎じゃん	重富奎子	1～22(598)
	やさしさ時代	文月今日子	11～16(177)
	花婿に乾杯	風間宏子	17～(198)
	真理子の日記	文月今日子	23～(50)
6号	17歳はスリリング	風間宏子	(25)
12号	けん太つきー	市川みさこ	(6)
20号	翔んでもナイス	星名宏美	(22)

セブンコミック

号	作品名	作者名	頁
冬の号	ラブネットワーク(総・前)	ひびきゆうぞう	(183)
	スターストーリー松山千春	茅聖子	(43)
	スカイホークダンディ登場	聖悠紀	(24)
	湯けむりの町	直野祥子	(24)
	東京・ハートブレイ区	村野守美	(48)
	ローラー・カナリヤの死んだ日	わたなべまさこ	(32)
	運命を売る女パート2	田上憲治	(30)
	花影の女(総)	花村えい子	(184)
	プチプチ・アミィ	みなもと太郎	(9)
	雛〈スウ〉	なかがわとむ	(32)
春の号	ラブネットワーク(総・後)	ひびきゆうぞう	(171)
	同窓会	平田真貴子	(24)
	ミス・ドラキュラ	藤子不二雄	(12)
	異国坂	茅聖子	(43)
	スカイホークダンディ	聖悠紀	(23)
	運命を売る女パート3	田上憲治	(30)
	マインドゲーム	原田千代子	(34)
	遺産相続人	ななおなな	(32)
	プチプチ・アミィ	みなもと太郎	(8)
	夜行列車	なかがわとむ	(32)
	花影の女風の章	花村えい子	(123)
夏の号	ナミさまが危ない!(前)	ひびきゆうぞう	(145)
	ラブ・バッグ	岡崎沙実	(32)
	由布子が翔んだ日	平田真貴子	(32)
	イブの休日	原田千代子	(32)
	私の顔はだれ?	茅聖子	(32)
	プチプチ・アミィ	みなもと太郎	(9)
	スカイホークダンディ華麗な復活	聖悠紀	(24)
	キャリフォルニアの風	なかがわとむ	(32)
	運命を売る女パート4	田上憲治	(30)
	雨のものがたり	金本京子	(20)
	花影の女もえぎ野の章	花村えい子	(117)

集英社

りぼん

号	作品名	作者名	頁
連載	キノコ・キノコ	みをまこと	～(96)
	なきむしメルヘン	赤座ひではる	～10(110)
	花ぶらんこゆれて…	太刀掛秀子	～2(70)
	オッス!美里ちゃん	金子節子	～(461)
	よしこのスーパージョーク	土田よし子	～3(27)
	ときめきのシルバースター	一条ゆかり	～8(263)
	あおぞら散歩道	佐藤真樹	～5(168)
	それからのパスカル	高橋由佳利	1～3(111)
	空くんの手紙	小田空	1～(119)
	いじけ村のムースくん	沢田とろ	1～(12)
	Mickey	小椋冬美	2～4,6～10(268)
	きのうみた夢	陸奥A子	3～6(157)
	まりのきみの声が	太刀掛秀子	4～12(307)
	ほほえんで散歩道	佐藤真樹	9～(151)
	砂の城	一条ゆかり	11～(63)
1月号	夕焼け色の落書きノート	荒井裕子	(59)
	肌にこぼれた金平糖	このうえたきえ	(31)
	雪より白く微笑んで	篠崎まこと	(52)
	星子と魔法のイヤリング	樹原ちさと	(31)
2月号	ちょっと小悪魔	萩岩睦美	(43)
	たぶん馬鹿きっと馬鹿	山本優子	(45)
	指きりゲンマン	久保田律子	(60)
3月号	海はもう春なのさ	荒井裕子	(80)
	となりのワン・パターン	池野恋	(31)
4月号	ドラマチックにせまりたい	篠崎まこと	(64)
	こ奴なに奴!?	坂東江利子	(55)
5月号	双子座ラ!ラ!ラ!	山本優子	(42)
	なんと初恋	麻久里しず	(34)
	たんぽぽ空へ…	久木田律子	(52)
	5月のお茶会	水沢めぐみ	(31)
6月号	ピアニッシモで聞かせて	高橋由佳利	(52)
	くわの実	千明初美	(43)
	Mr. ポパイを夢みて	このうえたきえ	(46)
	あわせる顔もごじゃりません!	土田よしこ	(15)
7月号	白い船白い風	佐藤真樹	(51)
	青いキャンバス	萩岩睦美	(49)
	ちょっとおとぎ話	池野恋	(43)
	ゆうれい館でプロポーズ	坂東江利子	(31)
8月号	ささやかな事件	篠崎まこと	(35)

号	作品名	作者名	頁
	GO / サイリン	藤島生子	(5)
	ひなぎく	長広洋子	(40)
	グレープフルーツストロベリー	ささやななえ	(41)
	チェリージャムをぼくに	鈴木魅矢	(31)
	とびきりとばしてファンキーロード	水口久美子	(40)
	ぼくはぼくに…	北原文野	(30)
	マドンナ・ボーイ	たらさわみち	(41)
	自転車にのって	夢野一子	(40)
	訪問者	萩尾望都	(100)
	ぱぺっと	森脇真末味	(31)
	フリフリCat	さべあのま	(5)
	竜の谷	佐藤史生	(50)
夏の号	あさみどり夏姫	木原敏江	(41)
	ハンク・ウィング・リング	田村すみよ	(40)
	夢のパラレル	金井信子	(45)
	一途って…こわい//	北田恵美	(31)
	グレープフルーツストロベリー第2話	ささやななえ	(40)
	うらがえしの黒い猫	高野文子	(16)
	あてどない夜	北原文野	(31)
	ふたりで海へ	夢野一子	(31)
	ジョーン・Bの夏	樹村みのり	(33)
	ふとん	高野文子	(12)
	銀の舟	佐藤史生	(48)
	三時の子守唄	さべあのま	(26)
	マルガリータ	池田理代子	(5)
秋の号	遥かなり夢のかなた	竹宮恵子	(70)
	秋の雨おと	まるやま佳	(40)
	サラの遺言	ささやななえ	(41)
	喜和子さんの変身	たらさわみち	(40)
	同じ顔のサフラン	田村すみよ	(31)
	そばが好き	夢野一子	(31)
	3番目の季節	さべあのま	(24)
	真夜中のマリア	夢子	(35)
	天の足音	佐藤史生	(34)
	秋に往く	長広洋子	(32)

ちゃお

号	作品名	作者名	頁
連載	笑ってプンプン	桜やよい	～(27)
	こっちむいてノンちゃん	大門多美	～(23)
	うさちゃん	山本尚子	～5(20)
	翔べ心//	三浦浩子	～8(303)
	ピロンちゃん	たちいりハルコ	～5(21)
	ピオランテ	風間宏子	～12(401)
	ハートに一本!	そうだふみえ	～1,4～7(188)
	しゃぼん玉の街	佐香厚子	～5(184)
	花ざかりのアネット	鈴賀レニ	1～11(390)
	じんろく	とべまなみ	2～(51)
	ふたつめのティーカップ	池田さとみ	2～4(116)
	モグリン闘郎	仲尾佳	6～(32)
	Let's go 奈々 /	島貴子	9～(138)
	舞子の詩	上原きみこ	10～(351)
	位置について//	三浦浩子	11～(86)
1月号	雪の中夢の中	刀根夕子	(50)
	屋根ウサギ	くじらいいくこ	(24)
	あたしがんばる// 藤丸くん	すなこ育子	(40)
	ぼくの一番星	聖鈴子	(31)
2月号	ため息まじりの雪模様	三山節子	(40)
	ぷわぷわクッキー	瑞原芽理	(24)
	冬の日のフーガ	河野やす子	(50)
	ふたりの2月	樹崎真美	(31)
3月号	魔法使いの遺書(前)	刀根夕子	(50)
	ぴんぼけピエロ	島貴子	(40)
	11時間のラプソディー	そうだふみえ	(31)
4月号	魔法使いの遺書(後)	刀根夕子	(50)
	ちょっと春かしら	瑞原芽理	(31)
5月号	西のペルシア(前)	池田さとみ	(50)
	パパになりたい藤丸くん	すなこ育子	(31)
	A&Aいじっぱり戦線	樹崎真美	(31)
6月号	真子と誠	島貴子	(40)
	西のペルシア(後)	池田さとみ	(50)
	6月の眠り姫	刀根夕子	(50)
7月号	空がはじまる…(前)	佐香厚子	(50)
	海の風がすき	鈴木真理子	(40)
	ほたる火の宴	三山節子	(50)
8月号	恋にとどきそう	伊藤やすこ	(24)
	たそがれ色に染めて	池田さとみ	(70)
	夏のシンフォニー	くじらいいくこ	(40)
	空がはじまる…(後)	佐香厚子	(50)
9月号	海風に光る	三浦浩子	(70)
	透きとおった秋	鈴木真理子	(40)
	しあわせセプテンバー	聖鈴子	(24)
	不思議の国通信	河野やす子	(50)
10月号	10月は気まぐれ月	瑞原芽理	(31)
	きゃべつ荘物語	佐香厚子	(70)
	遠い街のララバイ	くじらいいくこ	(24)
11月号	恋はすけすけピンク色	瑞原芽理	(16)
	はだしのダンスフロア	池田さとみ	(41)
	うきうき秋の空	聖鈴子	(25)
	きみが好きです//	鈴木真理子	(31)
12月号	ハピネス通信	聖鈴子	(16)
	サンタがくる道	佐香厚子	(41)
	つむじまがり・へそまがり	伊藤やす子	(31)
	白物語	河野やす子	(50)

ちゃお増刊

号	作品名	作者名	頁
連載	Mr. パックン	とべまなび	～(27)
	子ぎつねコン	山本尚子	～4(12)
	ゆかいなポッポ	桜やよい	～4(10)
	ピロンちゃん	たちいり/ハルコ	～1(4)
	リトルラブ	藤島生子	～(13)
1月号	翔べ心//(総 I)	三浦浩子	(147)
	お嫁にいくなら	伊藤やすこ	(31)
	ラストシュート /	杉山りか	(31)
	海のプリズム	くじらいいくこ	(31)
	かっぱっぱ	市川みさこ	(5)
	毛糸玉ころりん	瑞原芽理	(40)
	冬の夜話	山城あつこ	(31)
	粉雪のメロディー	時松早苗	(31)
	雪原の夜明け	灘しげみ	(40)
	ハッピーポピー	三浦浩子	(8)
	ピピンパ	佐香厚子	(8)
	深海魚姫	仲尾佳	(8)
	やったぜ//モウ先生	島貴子	(50)
	オレンジ大将	あいかわ桂	(31)
	201のあなた	樹崎真美	(41)
4月号	つばめ	佐香厚子	(35)
	さよならのあとで…	伊藤やすこ	(31)
	窓辺の白い花	瑞原芽理	(40)
	サーカスっ子物語	灘しげみ	(40)
	ペン銀次郎	仲尾佳	(8)

号	作品名	作者名	頁
	ハーフ・ボーイでつかまえて	七草セリ	(31)
	今は秋今は愛！	水木ちひろ	(31)
	“うん”とあたしは	よねづきようこ	(35)
	浦島玉手箱	小谷泰子	(25)
	リトルセーラマン	くさか里樹	(2)
	ハッピーエンドが好き！	みすたべるね	(28)
	星の夜がたり	宮城朗子	(23)

プチコミック

号	作品名	作者名	頁
連載	ダイスをころがせ	畑中富	1～5(251)
	シンデレラ・ストリー	大原まどか	1～6(298)
	ああせいこうせい同棲	岡元あつこ	～9(443)
	れい子さんが行く	武石りえこ	～(141)
	サミイとチャールズ	佐藤陽子	6～10(225)
	PARTNER	名香智子	11～(102)
	愛よはるかな灯よ	花村えい子	11～(80)
	流星徒たち	畑中富	12～(51)
1月号	ドラマチックな7分間	風間宏子	(60)
	陽気な魔女たち	森脇真末味	(49)
	バラー輪蕾はふたつ	岸裕子	(60)
	ようこそ殺し屋さん	佐藤陽子	(52)
	ラッシュ桃若！	岸本景子	(52)
	すてきな足に気をつけろ！	木下みなも	(33)
	あいつと影踏	大沢洋子	(31)
2月号	白い蝶の館	名香智子	(80)
	失恋予報	なかやなおみ	(60)
	土曜日にはカーテンしめて	あきもと渚	(50)
	空のよぶ声	いしざかゆう	(46)
	ほほえみツモロー	星名宏美	(38)
	ああ結婚!!なぜ結婚	小役丸祥子	(31)
	クレヨンの赤がたりない	葉月絵美	(34)
3月号	エロチックな7分間	風間宏子	(60)
	ドラムス	森脇真末味	(54)
	スプリングレイン	まるやま佳	(56)
	はらぺこラプソディー	佐藤陽子	(52)
	春には胸さわぎ	城章子	(43)
	いもいもこいし	岸本景子	(32)
	思い出のすぎ去るとき	星名宏美	(31)
4月号	ハリエットの娘	文月今日子	(100)
	四月の雨	森脇真末味	(66)
	星にとどけば	あきもと渚	(53)
	はえかぶり姫	青池保子・おおやちき 大島弓子・樹村みのり (合作)	(12)
	イースター受難曲	佐藤陽子	(45)
	涙のアレンジ	なかやなおみ	(38)
5月号	ひとすみの緑の扉	樫みちよ	(60)
	5月はきまぐれ色	佐藤陽子	(50)
	とわいらいとたいむ	河野やす子	(42)
	ゴーイングにマイウェイ	のがみけい	(52)
	フラットな関係	いしざかゆう	(42)
	つっぱってプレーボーイ	小役丸祥子	(33)
	おあずけにしないで	宗行美彌子	(31)
	奇妙なはじまり	稲村裕子	(25)
6月号	経正くんはヒーロー	岸本景子	(68)
	浪漫薔薇	倉多江美	(60)
	緑なす日に	大山和栄	(50)
	アンバランス・シティー	森脇真末味	(50)
	トラベルナイト	なかやなおみ	(50)
	いつか心の扉が	星名宏美	(32)
	ひとつだけ素敵になるために	葉月絵美	(31)
7月号	緑の誘惑	名香智子	(80)
	クロワッサンはいかが？	まるやま佳	(54)
	風吹けば午後	ささやななえ	(52)
	雨雨ふれふれ	大原まどか	(51)
	ウィークエンドのお嬢さん	畑中富	(49)
	さよならにカーネーション	木下みなも	(34)
	7月の交差点	大沢洋子	(31)
	bye-byeウルフマン	白井純子	(31)
8月号	花伝ツア	木原敏江	(81)
	シュガー・フィーリング	岸本景子	(50)
	悪い子	樹村みのり	(60)
	サイレント・メロディー	いしざかゆう	(38)
	タンバリン・ダンス	あきもと渚	(54)
	きえない煙草	森脇真末味	(51)
	ブルーガーデン	宗行美彌子	(31)
	明日への季節	泉かおり	(32)
9月号	不思議の国ふたり	樫みちよ	(51)
	夏の日のララバイ	畑中富	(36)
	黒いサンダル	森脇真末味	(41)
	緑のポップコーン	なかやなおみ	(40)
	レディ・ギネヴィア	名香智子	(57)
	花咲く9月	長広洋子	(40)
	風もよう	佐伯かよの	(50)
	コケティッシュパイ	葉月絵美	(31)
	翔んでもナイス！	星名宏美	(31)
10号月	ハンサムなくもり空	岸本景子	(52)
	前略スキです	大山和栄	(51)
	ファンレター	森脇真末味	(40)
	あふたあウエディング	のがみけい	(49)
	りんごじゃむふあんたじい	まるやま佳	(47)
	ふれあい訪問	あきもと渚	(47)
	イーフリアム	筒井百々子	(6)
	ピアニスト30日間	畑中富	(28)
	10月のコンチェルト	石井真琴	(31)
	夢をうかべて	小役丸祥子	(31)
	まちぼうけ花	吉村明美	(27)
11月号	マジックナイト	樫みちよ	(40)
	しんこんさんが行く	武石りえこ	(8)
	翔んでもナイス！パートⅡ	星名宏美	(45)
	とーきょーガタゴト星人	長広洋子	(49)
	翔んでみたいの	なかやまなおみ	(47)
	ここだけの秘密ね	岡元あつこ	(47)
	レオンズの夜	筒井百合子	(12)
	Mr.クインズリィの息子	海野みつる	(32)
	瑠摩がピンチ！	宗行美彌子	(31)
12月号	雪	吉村明美	(40)
	夏のみどり冬の青	南部ひろみ	(47)
	雨の日猫をひろったら	まるやま佳	(41)
	天使の遺言	石井真琴	(40)
	聖なる夢	筒井百々子	(10)
	あしたになれば	あきもと渚	(39)
	風のまがり角	泉かおり	(31)
	ピーチ・アイランド	白井純子	(31)
	本日晴天！	石塚夢見	(31)

プチフラワー

号	作品名	作者名	頁
連載	ごっつあんでごんす	小道迷子	～(15)
	メッシュ	萩尾望都	夏～(111)
春の号	こちらこの世の天国	名香智子	(50)

号	作品名	作者名	頁
	クロスオーバー舞子	石川しのぶ	(31)
	きらめいてナイスガイ	[illegible]	(35)
	ハロー・ぐっばい・ハロー(後)	岸裕子	(50)
	さわやか優子になりたいの	阿曽利子	(31)
	ひとつちがいのさしすせそ	くさか里樹	(31)
7月号	南南西の恋の風	前田恵津子	(50)
	公園通りＡＢＣ	くさか里樹	(30)
	わたしって矢恋タイプ?	松坂奈緒	(35)
	ビタミン！とカメラEYE	はらだみほ	(31)
	七月六月のシャンゼリゼ	まるやま佳	(40)
	とっておきのハッピー・フレンド	ありさか邦	(35)
8月号	ふしぎの国への紙飛行機	[illegible]	(41)
	小さな親切大きなお世話	[illegible]	(30)
	ラブカウント0-0	赤石路代	(28)
	背中あわせの遠いキミ	くろさわ亜紀	(31)
	花びらレター	石川しのぶ	(24)
	八月恋は乱れ月	岸裕子	(40)
9月号	サマーワインを一口	飯野恵子	(35)
	フライト鳩ぽっぽ	くさか里樹	(31)
	バイバイセレモニー	渡辺多恵子	(51)
	ホップすてっぷ腕の中	前田恵津子	(31)
	柿の木のある家(前)	上原きみこ	(52)
	片恋天使	阿曽利子	(35)
10月号	殺し文句を推理して！	赤石路代	(31)
	さよなら10月	ありさか邦	(27)
	柿の木のある家(後)	上原きみこ	(50)
	ハンバーガーはひみつの味	内美智	(31)
	即席ママちゃんギブアップ	はらだみほ	(29)
	思い出風待	石川しのぶ	(41)
11月号	聖者たちのてっぺん	渡辺多恵子	(40)
	六畳一間の地獄・極楽	ふくもとゆみこ	(24)
	ユメの芽なに色	くさか里樹	(40)
	陽だまりのミオ	まるやま佳	(40)
	スキヤキ食べた?	岸裕子	(35)
	いなかの淑女と都会の姫	阿曽利子	(31)
12月号	やさしさ5センチメンタル	前田恵津子	(50)
	とべ！白く高く(前)	内美智	(40)
	ぼくのハートエイク	高瀬由香	(31)
	せつ聖子もうだめっ?	松坂奈緒	(31)
	あんずの家の下宿人	石川しのぶ	(27)
	ティータウンのうさぎたち	赤石路代	(40)
	紫の貝細工	ひだのぶこ	(40)

別冊少女コミック増刊

号	作品名	作者名	頁
1月号	恋はハッピーエンド	岸裕子	(40)
	いちご・みるく	もりくぼあきこ	(4)
	スウィート スマイル'80	夢野一子	(40)
	ときめき色は銀の色	茅聖子	(31)
	ノンストップ青春Ⅱ	山内左智子	(32)
	春風ふけば…三重丸	水木ちひろ	(31)
	手つなぎ坂	内美智	(40)
	チカムくん	野中レオ	(4)
	大好き！ホットミルク	行田ときえ	(29)
	プレイボーイ裁判	くろさわ亜紀	(31)
	あなたへのラプソディー	小谷泰子	(31)
	赤い星のペガサス	みのりたかこ	(40)
	ふくれっつらのラブちゃんへ	七草セリ	(31)
	それも愛?これも愛！	はらだみほ	(31)
	氷花咲いたら	大里菜々	(40)
	もうひとつのハウプトソ	北原文野	(30)
	マシュマロティーはひとりで…	赤石路代	(24)
	ハーイ！シオン	藤島生子	(4)
	空色エスキース	よねづきようこ	(32)
	ファミリー	飛鳥まり	(31)
5月号	すてきなクーミンランド	まるやま佳	(40)
	ときめきはリラの香り	茅聖子	(41)
	いちご・みるく	もりくぼあきこ	(6)
	いとしのグリーン・バスケット	大里菜々	(35)
	ドヌーブにはなれないけど	赤石路代	(31)
	さちえカーテンあけたら…	七草セリ	(35)
	クールなあいつはホットがお好き	うえだ未知	(27)
	わたしのピーターパン	行田ときえ	(40)
	チカムくん	野中レオ	(6)
	恋=めばえ	坂田和子	(40)
	愛がいっぱい霧の中	水木ちひろ	(31)
	野の花にほほえんで	くろさわ亜紀	(32)
	春の海	夢野一子	(40)
	6年めはさよな…ら	飛鳥まり	(31)
	ハーイ！シオン	藤島生子	(4)
	さがしものは何ですか?	日比野裕美	(31)
	たった35㎜のラブチャンス	みすだべるね	(30)
7月号	そばかすの少年(総)	竹宮恵子	(236)
	いちご・みるく	もりくぼあきこ	(4)
	ゴーインにステディ	坂田和子	(33)
	愛のメロディー聞いて	茅聖子	(31)
	ひとりぼっちのマリエ	夢野一子	(31)
	花の木登りライセンス	大里菜々	(32)
	愛は…そしてここから	小谷泰子	(31)
	忘れえぬとき	よねづきようこ	(32)
	琴重inラプソディー	みのりたかこ	(45)
	ハーイ！シオン	藤島生子	(4)
	ちょっと…妃美子ですが	ふくもとゆみこ	(24)
	チカムくん	野中レオ	(4)
9月号	ねこねこニャーゴ	岸裕子	(50)
	いちご・みるく	もりくぼあきこ	(6)
	こだわり感覚この関係	松坂奈緒	(40)
	ブルー・ウエディング	ありさか邦	(40)
	あのこはラブインベーダー	うえだ未知	(26)
	ブラックコーヒーはお好き?	日比野裕美	(31)
	九月の魔術師	ふくもとゆみこ	(31)
	初恋は155センチ未満!?	瓜生裕美子	(31)
	右みて左みてもう一度	くろさわ亜紀	(40)
	チカムくん	野中レオ	(6)
	ハーイ！シオン	藤島生子	(4)
	秋空恋の大戦線	大里菜々	(31)
	俊介さんめげないで	七草セリ	(31)
	少しだけ遠まわり	水木ちひろ	(31)
	わたしの虹をつなげて	みすだべるね	(24)
	落葉の丘	夢野一子	(38)
11月号	ティブレイクの秋風	高瀬由香	(40)
	敬三くんのポパイのもと	瓜生裕美子	(24)
	陽だまりの風景	ありさか邦	(31)
	夢色まざり毛糸	日比野裕美	(31)
	トム・ソーヤの変身	坂田和子	(29)
	ハーイ！シオン	藤島生子	(2)
	ムーン・ライト・シャワー	夢野一子	(45)
	チカムくん	野中レオ	(4)
	とびきりとばして恋一本//	茅聖子	(40)
	いちご・みるく	もりくぼあきこ	(7)
	ようこそルコックへ	大里菜々	(31)

号	作品名	作者名	頁
	ゆめいくみはっぴい	麻原いつみ	(31)
	真知子の結論	伊藤順子	(31)
	ピュア・ポニーテール	北田恵美	(31)
	ていん・ぱん・らぷ	山内純子	(32)
3月29日	アウト・ドアーズ・クラブ	藤田和子	(33)
増刊号	ハピィ・スノー	長岡良子	(40)
	ネコとひなぎく共和国	宮田陽子	(40)
	ろまんちっくな恩い人	野崎ふみこ	(31)
	ドラマチック願望	柾木敬子	(31)
	おくる言葉	伊藤順子	(31)
	麻里子の冬	たかはしけいこ	(32)
	マジカル・ミステリー・ハット	山内純子	(25)
	シアートクくん	西脇コージ	(4)
5月30日	さよならわたしの貴詩	藤田和子	(33)
増刊	朝になったらキッスミー	水口久美子	(29)
	ソルティー・ベビィ	萬谷弥生	(2)
	初恋・京めぐり	尾瀬あきら	(50)
	地球座通り	内堀由美	(31)
	しってんばってんオール10	すずしろ空子	(5)
	ひだまりTOWN	野崎ふみこ	(60)
	宣郎のうぶーい初恋	堀江要戸	(30)
	風の前の塵	くじらいいくこ	(9)
	シナモンは食べないで／	山内純子	(27)
	ピンポン玉遊戯	長岡良子	(60)
	P.S. アイラブユー	麻原いつみ	(40)
	リトル・MARO	北田恵美	(10)
	ブレーメン5	佐々木淳子	(50)
	コロネット（誌名変更）		
夏の号	ペパーミント通り4番地	河野やす子	(40)
	しってんばってんオール10	すずしろ空子	(5)
	STOPストリート	古田久恵	(31)
	こもれび	北田恵美	(40)
	純情ダブルプレイ	柾木敬子	(31)
	シュー・キャット	萬谷弥生	(4)
	シロにもらった贈り物	伊藤順子	(31)
	祭り白書	尾瀬あきら	(50)
	いりあむさま	内堀由美	(27)
	2年7組ちがさき・みつるちゃん	堀江要戸	(15)
	きみのMr. ピエロ	野崎ふみこ	(31)
	影を撃つ時	長岡良子	(40)
	朝になったらキッスミー	水口久美子	(25)
	赤い壁	佐々木淳子	(37)
秋の号	ペパーミント通り4番地	河野やす子	(40)
	STOPストリート	古田久恵	(31)
	ちょっとだけ勝子さん	金井信子	(40)
	すれちがいのカノン	長岡良子	(31)
	おぎゃあ!!	野崎ふみこ	(31)
	そばかすエピローグ	山内純子	(31)
	おかめ女房	内堀由美	(40)
	シュー・キャット	萬谷弥生	(5)
	風まいあがれ／	尾瀬あきら	(31)
	弟のボーイフレンド	柾木敬子	(31)
	朝になったらキッスミー	水口久美子	(31)
	ブレーメン5	佐々木淳子	(34)
	ボンボン・デージー	斉川めめ	(32)
	地球のまわる音	くじらいいくこ	(5)
冬の号	ペパーミント通り4番地	河野やす子	(40)
	フォロー・ユー フォロー・ミー	麻原いつみ	(40)
	帰ってきたマドンナ	柾木敬子	(31)
	海鳥空へ…	尾瀬あきら	(90)

号	作品名	作者名	頁
	たかりちゃん	萬谷弥生	(5)
	OK／マスター	山内純子	(31)
	オレンジ・セレモニー	長岡良子	(40)
	人形館のライオン	よねやま恵子	(4)
	望さんの場合は…	金井信子	(31)
	赤い空	内堀由美	(31)
	さよならシーズン	佐倉早瀬	(31)
	ブレーメン5	佐々木淳子	(31)
	長い夜	くじらいいくこ	(5)

別冊少女コミック

号	作品名	作者名	頁
連載	キャンバスカルテット	井上恵美子	1～11(481)
	It's年下時代	岡本ゆり	～2(78)
	あんぽんタヌキ	市川みさこ	～(67)
	くりくりかのこ	もりくぼあきこ	～7(22)
	そばかすの少年	竹宮恵子	～4(160)
	わんぱくミック	高橋タクミ	～(24)
	あした天気になーれ!!	飯野恵子	2～7(280)
	あじゃらぱ3人組	みすたべるね	4～9(24)
	ローリング・ブルー	ひだのぶこ	4～10(301)
	カリフォルニア物語	吉田秋生	7～(243)
	SUNれでぃー	岡本ゆり	8～(220)
	プリンセスレモンティー	もりくぼあきこ	10～(12)
	シンデレラガール	飯野恵子	11～(90)
1月号	ひかえい／恋人どの	松坂奈緒	(45)
	たて・よこ・ななめプリズム'80	渡辺多恵子	(40)
	愛しのセリーヌ(前)	ひだのぶこ	(60)
	ミッドナイトラブコール	阿曽利子	(40)
	風の歌うたい	吉田秋生	(32)
	やさしさ片っぽ髪かざり	前田恵津子	(40)
	フィルム感度…ドキ!?	坂田和子	(31)
2月号	チョコレート・メッセージ	石川しのぶ	(24)
	雪舞いあがる	もとやま礼子	(50)
	バレンタインの絵本	まるやま佳	(40)
	愛しのセリーヌ(後)	ひだのぶこ	(60)
	思い出だより	高瀬由香	(31)
	歌ぺ／パペット	ありさか邦	(31)
	グリーンバッグ	立脇一科	(29)
3月号	あなたのリズム聞かせてよ	松坂奈緒	(40)
	はるかな天使たちの群れ(前)	吉田秋生	(40)
	卒業バースデー	前田恵津子	(31)
	千姫調スプリングタイム	渡辺多恵子	(40)
	弥生三月花咲き月	岸裕子	(31)
	ルームナンバー307のハプニング	阿曽利子	(31)
	恋人関係SOS／	うえだ未知	(27)
4月号	春待ち草(前)	岡本ゆり	(50)
	BOSSより愛をこめて	はらだみほ	(31)
	できそこないメルヘン	高瀬由香	(31)
	はるかな天使たちの群れ(後)	吉田秋生	(40)
	ピーターラビットメンバーズ	まるやま佳	(47)
	角をまがればふれあい通り	水木ちひろ	(31)
5月号	春待ち草(後)	岡本ゆり	(50)
	なんてステキなアホウ人	松坂奈緒	(40)
	ラズベリー・LOVEベリー	前田恵津子	(31)
	ラブヘルツをつかまえて	内美智	(37)
	初恋半分	ありさか邦	(31)
	ハロー・ぐっばい・ハロー(前)	岸裕子	(50)
	箱舟の子どもたち	渡辺多恵子	(29)
6月号	きっきみよ／どらまちっくに愛をかたれ	岡本ゆり	(40)
	ぼくらが空を飛べるわけ	渡辺多恵子	(36)

号	作品名	作者名	頁
	浮気草紙	深見じゅん	(31)
	チークレット・らぶ	小橋もと子	(4)
	ウェディング・バースデー	おおにし真	(36)
	人生の美酒	萩尾望都	(3)
11月号	北回帰線	里中満智子	(36)
	Message	森谷幸子	(36)
	3つのケーキ物語	神奈幸子	(4)
	今日が終わるまでに	辻村弘子	(36)
	やわらぎの店	汐見朝子	(35)
	Make up	吉田まゆみ	(4)
12月号	恋人失格	神奈幸子	(44)
	それぞれのプロローグ	高上草苗	(32)
	約束	里中満智子	(4)
	So Long	森谷幸子	(36)
	小羊たちの時	ささやななえ	(40)
	いつまでMIREN	吉田まゆみ	(4)

小学館

週刊少女コミック

号	作品名	作者名	頁
連載	しあわせさん	市川みさこ	～(136)
	ピコラ・ピコラ	たちいりハルコ	～(120)
	気まぐれ四銃士	川原由美子	～5(119)
	純情二重奏	中原千束	～20(494)
	マリーベル	上原きみこ	～10(119)
	シグナル16歳	古田久恵	～11(274)
	明日待ち草	河野やす子	～14(366)
	ふんわり狩人	名香智子	～(265)
	おてんばエース	風間宏子	～1(29)
	やさしさエンドレス	藤田和子	1～4,10～(596)
	陽あたり良好/	あだち充	2～22,24～(600)
	とびたて/宙へ	尾瀬あきら	5～7(97)
	KNOCK/	川原由美子	8～(522)
	レモン色の風	ひだのぶこ	11～18(242)
	風と木の詩	竹宮恵子	14～21(213)
	ジャングルるるこ	すずしろ空子	17～(41)
	8ビートに胸さわぎ	水口久美子	18～20(91)
	ファイナル・ショット	鈴木魅矢	19～21(89)
	スマッシュ/メグ	佐伯かよの	21～(114)
	走れ集明/命がけ	堀江要戸	21～24(110)
	学園ララバイ	野崎ふみこ	22～24(90)
	ナオミ	中原千束	23～(82)
1号	シドニー・ボーイ	たらさわみち	(40)
	放課後のラブ・チャート	ひだのぶこ	(50)
2号	水平線をめざせ/	高橋亮子	(80)
	LOVEをあげたいリンゴちゃん	しらいしあい	(40)
3号	やねうらべや通信	川原由美子	(50)
	はつこい特急すれちがい感情線	中村昭子	(40)
4号	とびっきりのこんな日に…	河野やす子	(50)
	シドニー・ボーイ	たらさわみち	(40)
5号	おぼこ先生発情記	風間宏子	(40)
	雪・ゆき・ストーリー	すぎ恵美子	(40)
6号	冬のおわりの前奏曲	鈴木魅矢	(40)
	ずばり的中!?彼ってオオカミ	中村昭子	(40)
7号	シドニー・ボーイ	たらさわみち	(40)
	おれは女だ/	たかはしけいこ	(40)
8号	水平線をめざせ/	高橋亮子	(50)
	おぼこ先生発情記	風間宏子	(40)
9号	にぎやかエイプリル	すぎ恵美子	(40)
	ライバルは一年生	中村昭子	(40)
10号	水平線をめざせ/	高橋亮子	(40)
	シドニー・ボーイ	たらさわみち	(30)
11号	おぼこ先生発情記	風間宏子	(40)
	スローダンスは二人で…	鈴木魅矢	(40)
12号	水平線をめざせ/	高橋亮子	(50)
	ミッドナイト・ヒロイン	水口久美子	(31)
	16歳・雨あがり	中村昭子	(40)
13号	シドニー・ボーイ	たらさわみち	(40)
	白昼満月	麻原いつみ	(31)
	まりんぱーく横浜	すぎ恵美子	(40)
14号	水平線をめざせ/	高橋亮子	(50)
	あおいの夏'80	野崎ふみこ	(31)
15号	ひかるくんの場合は…	風間宏子	(31)
	11A.M. あのこ	すわみわこ	(30)
	ゆーめいどりーむ	すぎ恵美子	(40)
16号	ちひろの夏に…	古田久恵	(70)
	17歳の季節	長岡良子	(31)
17号	ベルトホームズたち	河野やす子	(70)
	白い翼をとりかえせ	たらさわみち	(31)
18号	風が変わる日	高橋亮子	(70)
19号	シャンパン・シャーベット	名香智子	(70)
20号	ジグザグコネクション	河野やす子	(40)
	センチメンタルのつぼ	中村昭子	(31)
21号	さらさら星あげる	古田久恵	(40)
	10月気まぐれフィーリング	すぎ恵美子	(31)
22号	輝け/ミーハー・スター	水口久美子	(31)
	落ち葉のカレンダー	ひだのぶこ	(40)
	スターリング/	麻原いつみ	(31)
23号	ミルキィにKiss/	すぎ恵美子	(40)
	すきゃんだるDAILY	芥川めめ	(31)
	銀の糸銀の涙	北田恵美	(31)
24号	クリスマスハプニング/	鈴木魅矢	(40)
	りんごの気持	中村昭子	(31)

増刊週刊少女コミックDELUXE

号	作品名	作者名	頁
1月号	あけましてきみが好き	中原千束	(31)
	ぼくのハナコさん(総)	中原千束	(130)
	青空LALALA(総)	古田久恵	(120)
	風のおとしもの(総)	川原由美子	(120)
	チア・チアガール	蔭谷弥生	(5)
	番長とあつまれ/	鈴木眞理子	(31)
	花嫁候補No.1	すずしろ空子	(13)
	約束物語	柾木敬子	(31)
	1年7組ちがさき・みつるちゃん	堀江要戸	(15)
	かわいそうなセシル	秦知未佐子	(25)
	こんな小さな花	麻原いつみ	(16)
	百合ちゃんの冒険旅行	岡田史子	(32)

週刊少女コミック増刊(コロネット)

号	作品名	作者名	頁
連載	マッチポイント/	尾瀬あきら	～3/1(32)
	さそわれて湘南	水口久美子	～3/29(77)
	おとぼけパンプキン	市川みさこ	～(30)
	めしませメシ子	たちいりハルコ	～5/30(15)
	きょうもはちめくん	堀江要戸	～3/15(28)
	みつあみミッチ	あいあいミー	3/29～(45)
	ハルがきた	西脇コージ	5/30～(30)
3月1日	恋人と別れる20の方法	藤田和子	(31)
増刊号	ウッディーハウスの住人	野崎ふみこ	(40)
	知らない旅	くじらいいくこ	(13)
	ゲッツー野郎とホームラン娘	柾木敬子	(32)

号	作品名	作者名	頁
	イニシアル・ラブレター	おおにし真	(40)
10月号	あさきゆめみし	大和和紀	(46)
	つごもりの森	阿保美代	(8)
	かわいいやつら	本間千恵子	(30)
11月号	トワイライト・メルヘン	神奈幸子	(50)
	海辺のカイン	樹村みのり	(40)
	赤い実白い実	阿保美代	(8)
	ひるねが丘の2年B組	森田やすこ	(5)
	チカンよとまれ！	春日のどか	(31)
12月号	はと笛の里から	阿保美代	(8)
	青いリンゴをひとかじり	辻村弘子	(40)
	わなにはまったシンデレラボーイ	本間千恵子	(40)
	優しくフライディ	倉多江美	(24)

ミミデラックス

号	作品名	作者名	頁
冬の号	冬の旅	神奈幸子	(100)
	セイリング・初恋	辻村弘子	(70)
	銀嶺の翼	森谷幸子	(60)
	あゆさんの小部屋	鮎川れんげ	(5)
	ブルーグレーの三日月夜	大和和紀	(50)
	学園ふにゃららら	大和和紀	(50)
	風花の詩	おおにし真	(50)
	セクシー・トロイカ・かっぱ巻	赤星たみこ	(8)
	2階のあいつ	林杏子	(40)
	展覧会の絵日記	春日のどか	(24)
	雪も涙もあたたかく	万里村奈加	(31)
	サイレント・ラブ	弘中麻紀	(30)
夏の号	あさきゆめみし(総I)	大和和紀	(203)
	あいつとわたしのエピローグ	中原静子	(40)
	ひるねが丘の2年B組	森田やすこ	(8)
	やさしさの旅路	おおにし真	(60)
	あゆさんの小部屋	鮎川れんげ	(5)
	ヒッチハイク	風間すずめ	(50)
	あこがれて勝手でしょ！	本間千恵子	(40)
	ライフ・インターン	万里村奈加	(40)
	男と女ともうひとり	弘中麻紀	(31)
	ボーイッシュ・ベイビー	西浦かおる	(31)
秋の号	アガパンサスの夢	森谷幸子	(70)
	あゆさんの小部屋	鮎川れんげ	(5)
	50日間恋のライセンス	辻村弘子	(60)
	ひるねが丘の2年B組	森田やすこ	(7)
	月見草	里中満智子	(16)
	ロング・グッドバイ	吉田まゆみ	(16)
	夢の枝えだ	樹村みのり	(10)
	ピエロの夢	文月今日子	(16)
	ウォータームーン	神奈幸子	(5)
	ガラスの中の水平線	風間すずめ	(50)
	きみの心にナイスシュート	弘中麻紀	(31)
	ファイア・ストーム	おおにし真	(50)
	できちゃった	本間千恵子	(40)
	有名ドリーム	赤星たみこ	(15)
	手袋いっぱいの絆	万里村奈加	(40)
	うれし気分でローラー・ラブ	もりたゆうこ	(32)
	待子・待ちます	西浦かおる	(31)

ヤングレディ

号	作品名	作者名	頁
連載	キャンバスかれんだあ	神奈幸子	1～5,13～24(388)
	狩人の星座	里中満智子	～(392)
	恋愛専科	庄司陽子	～6,9～15(216)
	しなやかな獣	内村月子	5～8(152)
	花の棺	成毛厚子	～11(110)
	背徳の証	内村月子	11～13(124)
	それはDから始まった	おおにし真	17～21(80)
	女が男を口説くとき	内村月子	19～21(122)
	愛のレッスンカウントエイト	森谷幸子	23～(32)
1号	初恋プレイバック	内村月子	(42)
2号	凪物語	立原あゆみ	(42)
3号	ひとりぐらし	森谷幸子	(42)
4号	不幸せごっこ	里中満智子	(6)
	黒い靴下	成毛厚子	(36)
6号	星暦	立原あゆみ	(30)
9号	ひとりぐらし	森谷幸子	(36)
10号	ヤング・パートナー	神奈幸子	(46)
12号	あひるが飛んだ日	立原あゆみ	(30)
14号	ハーバーライト	森谷幸子	(42)
15号	もう一人のフーちゃん	武田京子	(42)
16号	キッコウーマン・恋の道	古賀アンナ	(4)
	夢みるナツコ	司みい	(8)
	め・ざ・め	エンゼル松本	(4)
	愛の極点	内村月子	(38)
17号	SEASON OFF	成毛厚子	(40)
18号	あわせ鏡の向こう側	深見じゅん	(42)
22号	ちょっとアバンチュール(前)	成毛厚子	(42)
23号	ちょっとアバンチュール(後)	成毛厚子	(36)
24号	私のスター&ダスト(前)	おおにし真	(32)

ビーラブ

号	作品名	作者名	頁
連載	昔遊んだジョージ	武田京子	11～(72)
	キッコウーマン恋の道	古賀アンナ	11～(4)
	チークレット・らぶ	小橋もと子	11～(8)
	桜桃物語	立原あゆみ	11～(61)
2月19日	緊那羅の子どもたち	文月今日子	(3)
増刊号	適齢期PART II	庄司陽子	(46)
	結婚線が3本も!!	内村月子	(30)
	騎士物語	神奈幸子	(4)
	Weeding	森谷幸子	(31)
	私だけの愛	里中満智子	(4)
	田さまからきみへ	立原あゆみ	(30)
	そのひとことがいえなくて	武田京子	(41)
	チークレット・らぶ	小橋もと子	(4)
	天使は夜が似合う	成毛厚子	(30)
	アムール	萩尾望都	(4)
5月20日	寝台	池田理代子	(3)
増刊号	マンション・レディ	神奈幸子	(44)
	緑のロードマップ	内村月子	(32)
	もぐら戦争	立原あゆみ	(36)
	愛は何色	里中満智子	(4)
	Some Time	森谷幸子	(36)
	チークレット・らぶ	小橋もと子	(4)
	地獄の木魚録	成毛厚子	(31)
	シングル発トリオ行き	高上早苗	(30)
	夢語り	吉田まゆみ	(4)
8月19日	Like a Bird	森谷幸子	(32)
増刊号	わたしたちの始まり	汐見朝子	(36)
	結婚じゃん！	司みい	(8)
	クリスタル・レイン	辻村弘子	(35)
	永遠の人	里中満智子	(4)
	サウンド：スケッチ	吉田まゆみ	(4)
	グッバイものがたり	立原あゆみ	(30)
	セクシーユーコ	みつはしちかこ	(4)

号	作品名	作者名	頁
	ただいまキスシーン準備中	あらかわみきこ	(31)
	やさしくゆれて海風に	十和田純子	(31)
	拝啓小手毬荘様	よしちかもとみ	(31)
	OH／マイシスターアイドントノウ//	枇杷みゆき	(32)
7月号	おれんじ物語	さこう栄	(50)
	恋のセオリー教えてください	中沢しのぶ	(32)
	シュワッチ／Mr.ホイットニー	高畑梨絵	(40)
	潮騒きらきらラブ・カンバス	きたむらまなみ	(32)
	この指とまれ／おおかみさん	十和田純子	(31)
	あなたへラブ・ボレーを	中山恵子	(31)
	太郎さんあのねのね	小丸栄子	(16)
	いわなくちゃ	本間千恵子	(30)
	あなたなら100%	小坂美由香	(24)
	まぶしいまなざし	波間信子	(45)
8月号	凛	なかや真智	(45)
	パリ4日目の異邦人	なかや真智	(31)
	ポパイケーキとピーチパイ	なかや真智	(24)
	ほっとミルク愛すミルク	中里あたる	(32)
	あくまでもあくまでもやさしく	市川鈴	(31)
	一行ちがいのラブコール	谷口亜夢	(31)
	いじっぱりラブストーリー	波間信子	(40)
	そしてようよう初恋模様	はざまもり	(40)
	あしたのサヨウナラ	あらかわみきこ	(27)
	気がつけばあなたのとなり	小牧成	(29)
9月号	にっくいあいつとセーリングラブ	市川鈴	(45)
	どーでもAけどメンクイベル子	小丸栄子	(41)
	花も嵐もマイウエイ	伊丹理央	(37)
	めい犬タマ	タカベン	(5)
	夏のおわりのあまいワナ	小牧成	(31)
	ちょっと初恋	河村美久	(31)
	ドキドキしたい／	本間千恵子	(31)
	まことちゃんインスプリング	木口屋民子	(32)
	恋はみどり色の風のなかで	中沢しのぶ	(31)
	ポケットいっぱいの海	波間信子	(38)
10月号	恋の告白まだですか?	悠木かおり	(35)
	枯れ葉色の季節	悠木かおり	(50)
	スマイル・マギー	悠木かおり	(25)
	あこがれBナスメンクイベル子	小丸栄子	(42)
	熱くなれ／亜紀	中山恵子	(36)
	テンポもスローに恋人未満	十和田純子	(33)
	夏から秋へのおくりもの	あらかわみきこ	(31)
	風をみつけて	八雲みどり	(31)
	初恋とんでフリスビー	よしちかもとみ	(31)
11月号	彼のハートにナイスシューティング	高畑梨絵	(45)
	きまぐれむなCメンクイベル子	小丸栄子	(40)
	思い出の中のきみへ	さこう栄	(37)
	LOVE サイズでぶちゃん	市川鈴	(31)
	172センチのゆううつ	中沢しのぶ	(31)
	だからグッドバイ	なかや真智	(40)
	平均台の17歳	波間信子	(31)
	亜紀のスニーカー	中山恵子	(31)
	ほほえみ一つ愛二つ	小牧成	(29)
12月号	放課後大通り	谷口亜夢	(40)
	ちょっとドギマギ ねむこvsねむこ	あさくらみゆき	(31)
	異星人に恋したの	樹山まみ	(32)
	走ってみれば愛／	はざまもり	(32)
	やさしさ半分二人で一つ／	河村美久	(31)
	ジュリアン	小野弥夢	(40)
	めい犬タマ	タカベン	(5)
	ファーストキスをもう一度	中沢しのぶ	(31)

号	作品名	作者名	頁
	メッセージはラケットに	きたむらまなみ	(31)
	Mr.教生Missツッパリ	小牧成	(25)

ミミ

号	作品名	作者名	頁
連載	れもんカンパニー	吉田まゆみ	1～10(127)
	タラッタ・ポン	赤星たみこ	～(71)
	あすなろ坂	里中満智子	～2,4～6,8～10(467)
	かんとりーすくーる	風間すずめ	～2(60)
	2年7組・女ともだち	文月今日子	6～12(152)
	見あげれば雲	風間すずめ	10～12(120)
	B・Dフィーリング	吉田まゆみ	12～(62)
1月号	花咲かぬ森の盗人たち	阿保美代	(8)
	ルイ子さんのメガネ	樹村みのり	(38)
	Tomokoセクシーナイト	林春子	(24)
	負けやした	本間千恵子	(31)
	さよならライオンくん	弘中麻紀	(31)
2月号	あさきゆめみし	大和和紀	(53)
	おろろんぎつね	阿保美代	(8)
	夢色の積み木箱	大山和栄	(40)
	終わりのない砂時計	辻村弘子	(40)
3月号	桃源記(前)	神奈幸子	(50)
	北国の各駅停車	風間すずめ	(51)
	ジロー・メルベリウスの話	阿保美代	(8)
	星くず・ひとりきり	森谷幸子	(40)
	光をみつめて	おおにし真	(40)
	春はあけぼの	弘中麻紀	(30)
4月号	あさきゆめみし	大和和紀	(52)
	やまびこ太郎	阿保美代	(8)
	スプリング・ボード	倉名江美	(24)
	桃源記(後)	神奈幸子	(50)
	合いことばはぴったしカンカン	本間千恵子	(30)
5月号	黄色の積み木節パート2	大山和栄	(40)
	あさきゆめみし	大和和紀	(50)
	小鳥のくる広場	阿保美代	(8)
	恋の雲ゆきあれもよう	おおにし真	(40)
	学園坂の娘たち	風間すずめ	(32)
	花守恋語	万里村奈加	(31)
6月号	野いちご村の花絵師たち	阿保美代	(8)
	続かわいい女といわれたい	神奈幸子	(51)
	海辺のカイン	樹村みのり	(40)
	なでしこ通信	辻村弘子	(40)
	TRY・AGAIN	弘中麻紀	(31)
	ひるねが丘の2年B組	森田やすこ	(8)
7月号	スニーカーで行った海	風間すずめ	(51)
	雨の橋姫のはなし	阿保美代	(8)
	ああ／1グラムの青春	本間千恵子	(40)
	夏物語	大山和栄	(50)
	初恋・メモリアル	森谷幸子	(40)
	お姉さまのレーズンパイ	春日のどか	(30)
	ピーチ・ライン	倉多江美	(24)
8月号	ダウンタウンの本屋さん	春日のどか	(20)
	いかれぽんち	牧野和子	(55)
	海辺のカイン	樹村みのり	(37)
	わすれんぼの天使	阿保美代	(8)
	ひるねが丘の2年B組	森田やすこ	(8)
	100万分の16の悲劇	万里村奈加	(31)
9月号	なんせんす・でんしゃ	涙星ベケ	(5)
	2週間のハプニング	神奈幸子	(50)
	金の糸銀の糸	阿保美代	(8)
	雨模様	倉多江美	(24)

号	作品名	作者名	頁
1月号	いつのまにかドレミファ気分	真柴ひろみ	(40)
	海のように風のように	瀬戸みのり	(64)
	グッドフレンドおーるどすばいす	大和和紀	(48)
	スターダスト	布浦翼	(40)
	わたしの王子様はドラキュラ	市川鈴	(32)
	みのって恋初めニューイヤー	伊藤ゆう	(32)
	ラブラブ・キャンペーン	石本華子	(32)
2月号	ちょっと気分でバレンタイン	真柴ひろみ	(40)
	ときめいてヨコハマ	立花恵子	(41)
	星空の切人ちゃん	文月今日子	(45)
	きらめき100パーセント	悠木かおり	(32)
	さびしいヒーロー	小丸栄子	(38)
	14歳・ラブ・ジャンプまだ2軍	なかや真智	(31)
3月号	ガラスの青春	瀬戸みのり	(60)
	気分にまかせてバースデー	真柴ひろみ	(40)
	あたしのカレはアメリカ直輸入	小牧成	(36)
	すきになっていいですか?	八雲みどり	(31)
	春風のまちぼうけ	布浦翼	(20)
	コーヒー・ハウスグラフィティ	伊丹理央	(31)
4月号	ティーンエージャー物語	立花恵子	(50)
	おれたクレバス(前)	瀬戸みのり	(50)
	らぶスクランブル	伊藤ゆう	(40)
	思い思われタッチハート	市川鈴	(31)
	あこがれちゃう//	本間千恵子	(31)
	どきどき恋のスローイン	樹しまみ	(31)
5月号	さよならの一小節	真柴ひろみ	(50)
	おれたクレバス(後)	瀬戸みのり	(50)
	惜春ストリート	立花恵子	(46)
	14歳ラブゴール迷い道	なかや真智	(40)
	めるへんらぶを信じますか	谷口亜夢	(32)
6月号	夏を感じて	前原滋子	(40)
	二人はサイド=バイ=サイド	枇杷みゆき	(40)
	風のネコ又三郎	布浦翼	(40)
	あっかんべー	伊丹理央	(32)
7月号	フラワーショップ愛	瀬戸みのり	(60)
	パパは38歳の新人王/	さこう栄	(40)
	みずいろの季節	八雲みどり	(38)
8月号	キラリゆれてあいつ	真柴ひろみ	(60)
	波のかなたに(前)	前原滋子	(46)
	12時からのシンデレラ	酒井真美	(31)
	ふりんプリンでラブノック	樹しまみ	(32)
9月号	キンピカファンタジアNo.9	小野弥夢	(60)
	波のかなたに(後)	前原滋子	(50)
	セクシーノックにご用心	なかや真智	(40)
	チューリップ畑のまん中で	中里あたる	(31)
10月号	あいつとわたし	真柴ひろみ	(60)
	ハロー先生DON'T キライ	樹しまみ	(33)
	ゴンベが泣いた	さこう栄	(37)
	あこがれピントふりむいてLOVE	あさくらみゆき	(30)
11月号	ちょっと感じてマイ・ハート	小野弥夢	(51)
	つまずき恋気分	悠木かおり	(32)
	しあわせがみえますか	波間信子	(48)
	日曜日にスパイスティーはいかが	谷口亜夢	(31)
12月号	アラミス'78ガギグゲゴGAL	大和和紀	(43)
	カシミア100%に愛をこめて	伊藤ゆう	(35)
	ねこふんじゃった	中里あたる	(32)
	木曜日はパイレーツ	原ちえこ	(40)
	感じてナイトイブの贈り物	なかや真智	(31)
	末っ子ころころお年ごろ!?	はざまもり	(31)

ラブリーフレンド

号	作品名	作者名	頁
連載	ファニーチャコ	五月じゅん	～7(16)
	チェリーandデューク	エンゼル松本	～(61)
	あっちこっちどっち	五月じゅん	8～(10)
1月号	恋のイメージわかないの	さこう栄	(50)
	とっておきのほほえみタッチ	なかや真智	(45)
	恋しちゃった	中里あたる	(31)
	センチメンタルNEW YEAR	悠木かおり	(40)
	初恋予報あしたはしあわせ	十和田純子	(31)
	はっぴい・ラブコール	秋津とんぼ	(32)
	空と風とあなたがいれば	さかいまみ	(32)
	あなたに幸福配達します	桜木孝子	(16)
	パッチワーク・ラブ	中山恵子	(31)
	やっぱり恋人未満	小牧成	(38)
2月号	わがいとしの兎子姫	立花恵子	(50)
	初恋7年生	さこう栄	(44)
	あせっちゃダメよABC	伊丹理央	(31)
	ガッツ/つっぱりママちゃん	波間信子	(38)
	せんちめんたるすの一ラブ	あらかわみきこ	(28)
	ぷれいボーイに恋して候	小室しげ子	(39)
	海上高波注意報	風翼晃	(31)
	ファーストキス大レース	松谷美恵子	(32)
	走って笑ってブッチンガール	まつざきあいこ	(30)
	ちょっぴりカーブらぶロード	十和田純子	(29)
3月号	恋に恋してまったなし	本間千恵子	(50)
	どっちむいてホイ	本間千恵子	(34)
	まさ夢金てんぐりんこ	本間千恵子	(16)
	おれたちの夢半球	さこう栄	(40)
	そっぽむいたキューピッド	小牧成	(24)
	春いちばんは恋の風	高畑梨絵	(39)
	やさしい追憶	桜木孝子	(16)
	三角ラブレターはまわり道	きたむらまなみ	(31)
	愛のシュプールきえないで	十和田純子	(31)
	ノート一冊の魔法	中沢しのぶ	(32)
	1+4のめもりある	よしちかもとみ	(25)
4月号	愛色メロディー	悠木かおり	(50)
	赤ちゃんへの招待状	波間信子	(45)
	GO/GO/ひばりケ丘パイレーツ/	さこう栄	(43)
	告白してもいいですか	中里あたる	(31)
	桃栗3年恋8年	小丸栄子	(40)
	ゆれてラブあなたが好き/	中山恵子	(31)
	この恋半分ワンサイド	なかや真智	(38)
	スイート王子=旅のはじまり	石本華子	(32)
	卒業時代	あらかわみきこ	(29)
5月号	ラブ・チャンスはドラフトで	高畑梨絵	(50)
	ゆらりゆられてラブソング	悠木かおり	(43)
	愛情講座とんで10ページ	小丸栄子	(40)
	はるかのいちばん長い日	中山恵子	(24)
	夜明けのミルキーウェイ	布浦翼	(50)
	あれも恋これも恋みんな恋!?	中沢しのぶ	(32)
	進入禁止! LOVE YOU	きたむらまなみ	(31)
	智ねえ出番です,	はざまもり	(32)
	めい犬タマ	タカベン	(5)
	5月の雨にデュエット	小牧成	(33)
6月号	あじさい気分は恋人さん	伊藤ゆう	(45)
	虹のミルキーウェイ	布浦翼	(50)
	雨のち晴れのラブコンサート	悠木かおり	(46)
	予定外のハッピネス	中里あたる	(31)
	カムバック姫/	市川鈴	(39)

号	作品名	作者名	頁
	よろしくマイ・ガードマン	石丸朋子	(31)
5月号	スカイマリィ(前)	板本こうこ	(50)
	そんなつもりじゃなかったの	古賀アンナ	(7)
	アイスブルーの風を感じて(後)	しのざき薫	(50)
	花いちもんめ	清水奈尾	(31)
	永遠にくちづけを	小森麻実	(31)
	イブたちの恋	高上早苗	(31)
	キャンディーペーパーに恋つつんで	あまねかずみ	(46)
	恋の変則タッグ	おかのきんや	(7)
	ようこそ菜の花畑へ	井上奈緒	(31)
	光の中のメモワール	木又由美	(31)
	一丁あがり恋ラーメン	風かをる	(31)
	三角関係相思相愛	小野佳苗	(31)
6月号	スター参上／	西尚美	(60)
	恋するレミの大冒険	エンゼル松本	(7)
	でかんしょ六住人	小野佳苗	(31)
	スカイマリィ(後)	板本こうこ	(50)
	ふとってもいーかしら	古賀アンナ	(8)
	恋のローラーデート	おかのきんや	(7)
	黒い瞳のルカ	まきのむら	(39)
	月街ものがたり	阿保美代	(16)
	チカンよ止まれ／	森田やすこ	(7)
	おぼえがないのに珍騒動!?	松永るりこ	(31)
	空のつぼの魔法	松島律子	(31)
	バラが咲いた／	松本るい	(31)
	ミステリアスエポニーアイズ	大橋卓	(31)
7月号	やさしさ気分でローズティー	かざり由香	(55)
	風はじけて初恋	かざり由香	(31)
	５ヶ月おくれのメッセージ	かざり由香	(14)
	運転しましょう//	森田やすこ	(5)
	ほ組の桃の木花之介(前)	宮本はるみ	(40)
	この恋いつまでつづく	古賀アンナ	(6)
	雨あがり	波間信子	(40)
	気まぐれスプリング	北川ゆうこ	(31)
	その恋もらった／	田中みつえ	(31)
	ムサシは笑うよ	清水奈尾	(37)
	恋のサラダガール	おかのきんや	(7)
	お・ば・さん！	三原陽子	(32)
	下町の味五目ごはん	井上奈緒	(31)
	瞳おいかけて	みづち檀	(31)
8月号	虹色の歌がきこえる	横田幸子	(100)
	花のスカ人生	森田やすこ	(5)
	ようこそお手伝いさん	松永るりこ	(31)
	アルコール・ラプソディー	木又由美	(31)
	昼下がりのアトリエ	まきのむら	(39)
	鬼さんこちら	清水奈尾	(40)
	根子岳のニモ	松本るい	(16)
	まじめになりたい	古賀アンナ	(7)
	ほ組の桃の木花之介(後)	宮本はるみ	(40)
	海の王国	阿保美代	(12)
	マリーちゃんのマネージャー志願	エンゼル松本	(6)
	ちょっといい夏	小森麻実	(31)
	父の日	三原陽子	(31)
9月号	青春ロードマップ	しのざき薫	(80)
	女房と赤猫	松本るい	(21)
	保田さん日記	古賀アンナ	(7)
	青い風が光るとき	中原しずこ	(48)
	秋の中へおいで	田代あゆむ	(31)
	信じられないけど恋	清水奈尾	(40)
	グラスハウス・メロディー	石丸朋子	(31)

号	作品名	作者名	頁
	避暑地のできごころ	おかのきんや	(7)
	やさしい旅	みづち檀	(31)
	スマイルメッセージ	風かをる	(31)
	ふれ愛カントリー	小野佳苗	(31)
	透き色にまぶしくて	石井まゆみ	(31)
	はっか色の風	松島律子	(31)
10月号	チョコバー３つ恋ひとつ	巻野路子	(100)
	うるとらママゴン	森田やすこ	(5)
	あしたへクリアー	みたむらのりこ	(39)
	山寺猫寺猫だらけ	松本るい	(16)
	あの笑顔にもう一度	古賀アンナ	(10)
	はんたーい／ヤングパパ	松永るりこ	(31)
	花咲かぬ森	眉村千恵子	(39)
	せんせい	永沢京子	(33)
	九月は雨のにおい	阿保美代	(12)
	恋も仕事のうちなのよ／	エンゼル松本	(5)
	やさしさにさようなら	おかのきんや	(6)
	ケンカ石松恋の道	田中みつえ	(31)
	やさしい時間の中で	小森麻美	(31)
	マイダーリン・セーラ	大橋卓	(31)
11月号	アレンジファミリー１＋４	辻村弘子	(48)
	ぼくらの星座	みづち檀	(31)
	あの道この道恋の道	松永るりこ	(40)
	一番星の見えるまで	木又由美	(31)
	つたえて・私のメランコリー	しのざき薫	(48)
	14さいの珠子へ	高上早苗	(31)
	こしゃくなフィアンセ	あまねかずみ	(40)
	ああ／アナウンサー	古賀アンナ	(7)
	イヌがきた／	森田やすこ	(5)
	恐怖のジェラシー男	おかのきんや	(7)
	BGMはレイニーボイス	石井まゆみ	(31)
	まちがえてすすむちゃん	松嶋りつこ	(31)
	つっぱり野郎の育児日記	風かをる	(31)
12月号	クリスタル・イルミネーション	かざり由香	(100)
	涙のインタビュー	エンゼル松本	(5)
	ミツオくんの軟派ブルース	西尚美	(40)
	ねんねんねむの木秋草がたり	阿保美代	(12)
	星の降る日	勝田美代子	(40)
	やせっぽち好きですか	巻野路子	(40)
	純子の像	眉村千恵子	(31)
	あざやかなインディアンサマー	大橋卓	(31)
	あがっちゃった	古賀アンナ	(5)
	ピカピカドッグ	森田やすこ	(5)
	国子マイステップ	そうだふみえ	(31)
	メッセーFrom はなこ	永沢京子	(31)

別冊少女フレンド

号	作品名	作者名	頁
連載	おいらケムケム	大和和紀	～3(6)
	いじいじフレックル	あべゆりこ	～12(24)
	ひねっこひねちゃん	あなだもあ	～12(54)
	ぼくらの法則	まさき輝	1～11(486)
	チョコボンボン	本間千恵子	1～12(48)
	緋の風	小野弥夢	1～7(341)
	じゃましちゃダメよパフ／	高畑梨絵	1～12(214)
	すくうるでいず	美村あきの	2～(536)
	おっとっとっと	五月じゅん	4～(23)
	月光樹	大和和紀	6～8(180)
	イエーイ／仙太郎だぜ	伊藤ゆう	7～9(116)
	二人の四季	瀬戸みのり	9～(174)
	サンディズチャイルド	布浦翼	10～(141)

号	作品名	作者名	頁
	トマトジュースにソルトをすこし	高上早苗	(31)
3号	ペールグリーン風のロマンス	かざり由香	(48)
	わたしのチャンピオン!	あまねかずみ	(39)
	くものつぼさん	阿保美代	(7)
	ラブサーブをあなたに	井上奈緒	(31)
4号	わたぼうし	阿保美代	(7)
	マジカルロマンス	勝田美代子	(40)
	うすやみ色のなかで…	眉村千恵子	(31)
5号	あれいの卒業日記	巻野路子	(36)
	パパンピブさんようこそ	阿保美代	(7)
	お見合天中殺	西条じゅん	(37)
	マザーによろしく	清水奈緒	(31)
6号	夢のつづきをもう一度	かざり由香	(40)
	カロの部屋	阿保美代	(7)
	純情ハートに恋薬	みたむらのりこ	(34)
	ふりむいてギャルソン	眉村千恵子	(31)
7号	春はどこから	阿保美代	(7)
	春待坂の前奏曲	宮本はるみ	(31)
	カレッジダイアリー	勝田美代子	(37)
	はっぴい・バスストップ	北川ゆうこ	(31)
8号	初恋ノックアウト	西条じゅん	(31)
	銀の舟水の舟	阿保美代	(7)
	あれいの初恋日記	巻野路子	(31)
	オニオン・ラブ	銀雪子	(31)
9号	カーテンコール	前原滋子	(60)
	夜の銀の実	阿保美代	(7)
	君はアメリカン・ムービー	石丸朋子	(31)
	ありすスマイルるりの風	眉村千恵子	(31)
10号	かげぼうし	阿保美代	(7)
	はるかな夢の国へ…	はやさかあみい	(45)
	その1ページをひらいて	小森麻美	(31)
	悲しみ2分の1	みたむらのりこ	(31)
11号	乙女ちっくにせまらねば!!	田代あゆむ	(31)
	ちょっと気になるラブ・ジャック	しのざき薫	(45)
	ひつじぐさの夢	阿保美代	(7)
	旅する人よ	勝田美代子	(34)
12号	風のたてごと	阿保美代	(7)
	カンサス・ドリーミング	西条じゅん	(31)
	きのうを誘惑	辻村弘子	(40)
13号	恋のお話どうかくの?	北川ゆうこ	(31)
	キスしちゃやーよ	小野佳苗	(31)
	センチメンタルレイン	あまねかずみ	(35)
	天使は真昼に笛をふく	阿保美代	(7)
14号	木もれ陽はささやく	勝田美代子	(40)
	海のみえる部屋	阿保美代	(7)
	空色のあいつ	みたむらのりこ	(31)
	白い雨にうたれて	眉村千恵子	(31)
15号	陽だまりにくちづけを	かざり由香	(50)
	七月の王さま	阿保美代	(7)
	さよならミーハー	大橋卓	(31)
16号	おいしい水	阿保美代	(7)
	夏の階段のぼれ	あまねかずみ	(48)
	おにいさんだあれ!?	北川ゆうこ	(32)
17号	学・学ばず・学んだら!?	横田幸子	(48)
	ポケットいっぱいの原っぱ	阿保美代	(7)
	つぶやきおもちゃ箱	宮本はるみ	(31)
18号	燃えよ!耕平	横田幸子	(48)
	フルスロットルの夏	勝田美代子	(45)
	花だいこん	三原陽子	(31)
	おおきなトランク	阿保美代	(7)

号	作品名	作者名	頁
19号	そまる色そまらない色	前原滋子	(60)
	悪のり天使たち	石丸朋子	(31)
	風色きっぷ	阿保美代	(7)
20号	キャーッせんぱーい!	小野佳苗	(31)
	青いリンゴ紅いリンゴ	中原しずこ	(45)
	緑のおばさん	阿保美代	(7)
21号	君とやさしい風になる(前)	吉田まゆみ	(45)
	ティンクルティンクルリトルムーン	田代あゆむ	(31)
	10月はリンゴのにおい	阿保美代	(7)
22号	君とやさしい風になる(後)	吉田まゆみ	(45)
	ラストアルバム(未)	前原滋子	(9)
	ナチュラル・メッセージ	菊川近子	(31)
	木琴バードのいる町	阿保美代	(7)
	おもかげ石	松本るい	(21)
23号	青い季節(前)	里中満智子	(50)
	お赤飯たいて	三原陽子	(31)
	白いあしおと	阿保美代	(6)
24号	初恋便り・ツグミより(前)	はやさかあみい	(40)
	青い季節(後)	里中満智子	(50)
	芽利衣Xマス16	巻野路子	(43)
	みるきぃパニック	西条じゅん	(30)
	ミッドナイト・クリッパー	眉村千恵子	(30)

Hello フレンド

号	作品名	作者名	頁
連載	ハニー・ハニー	はやさかあみい	2〜4(121)
	もえぎ色の日記	中原しずこ	4〜6(117)
	リトルエスパー	銀雪子	6〜8(96)
	迦楼羅炎	まきのむら	10〜12(130)
2月号	ラブフライング!	板本こうこ	(100)
	ルージュにかえてほほえみを	巻野路子	(51)
	わたしだけの王子さま	古賀アンナ	(11)
	あの娘はとってもミステリアス	松永るりこ	(39)
	天中殺の少女	おかのきんや	(7)
	ラブシーンはおきらい?	清水奈尾	(31)
	うけとめて!恋の毛糸玉	風かをる	(31)
	早春譜	井上奈緒	(32)
	バレンタインにみつめてよ	みたむらのりこ	(33)
	ホワイトイマジネーション	眉村千恵子	(32)
	雪も涙もあたたかい	石村朋子	(31)
3月号	星の道標	辻村弘子	(100)
	花をたずねて三千里	森田やすこ	(5)
	恋をたべてみませんか?	小森麻実	(39)
	森の仲間とハイチーズ	宮本はるみ	(39)
	冬のサボテン	松本るい	(31)
	ぼくの恋人エイリアン	松島律子	(31)
	太平洋へ	みづち憧	(43)
	夢の歯医者さん	古賀アンナ	(7)
	黒ねこと少女	おかのきんや	(8)
	夕ぐれ時はイジケそう	田代あゆむ	(33)
	オールナイトラブソング	大橋卓	(32)
	きらめきのラブフラッシュ	木又由美	(31)
4月号	アイスフ[illegible]の風を感じて(前)	しのざき薫	(50)
	銀の牙	まきのむら	(100)
	春ひとつぶん恋ふくらませて	あまねかずみ	(37)
	10とひとつの物語	阿保美代	(16)
	遠い森遠い声	銀雪子	(50)
	三保子の青春スケッチ	古賀アンナ	(7)
	ゆうれい騒ぎにのせられて	松永るりこ	(31)
	うるとらママゴン	森田やすこ	(6)
	この恋セーピング	深町陽子	(31)

号	作品名	作者名	頁
	ルージュがおにあい	田所美千子	(31)
	うさぎちゃんの涙	山口ひとみ	(31)

なかよしデラックス

号	作品名	作者名	頁
連載	すずめのチュンちゃん	あなだもあ	～(49)
	ちょいと／えっちゃん	りょー子きつすもと	～(53)
	不思議の国の千一夜	曽祢まさこ	1～11(493)
	リトルギャングバニー	おかのきんや	～12(50)
1月号	しあわせ半分こ(総)	高橋千鶴	(237)
	あした光の中へ／	神崎順子	(42)
	カルタゴ愛の戦士たち(前)	星川とみ	(50)
	暗闇でこんにちわ	くれやまさちこ	(30)
	おしゃべりなキューピッド	島崎ちと	(31)
2月号	春の森のマリアンヌ	原ちえこ	(51)
	ぼうしをかぶった小天使	田所美千子	(32)
	カルタゴ愛の戦士たち(後)	星川とみ	(55)
	恋はあまいかしょっぱいか	佐藤まり子	(45)
	ジュディがおめあて	松島裕子	(41)
	まけてたまるか／ラブ・レース	山口ひとみ	(40)
	手作りのハッピー・タイム	曽根原澄子	(32)
	ちょっとクールガイ	茂刈ミンコ	(32)
	仁科さんの志望校	高杉菜穂子	(31)
	真夜中におじゃまします	富田徳子	(32)
	涙のメモリーひとつずつ	峡塚のん	(45)
4月号	野をわたる風のように	小室しげ子	(90)
	悪魔の安息日	星川とみ	(50)
	ちひろ先生春一番(前)	峡塚のん	(40)
	乙女椿の花の下	いとうかよこ	(32)
	サマー・ドリームストーリー	堺紀世	(31)
	白馬の詩	神崎順子	(40)
	おイモ畑のファンタジー	山口ひとみ	(39)
	ほほえみシルエット	こいわ美保子	(30)
	恋はピリッとスパイシィー	松島裕子	(30)
5月号	しあわせハーモニー	田所美千子	(36)
	四角関係恋ラララ	小室しげ子	(49)
	はるかな緑の谷間に	神崎順子	(40)
	海岸通りで	富田徳子	(32)
	ちひろ先生春一番(後)	峡塚のん	(51)
	花にうもれてベティ＝アン	志摩ようこ	(41)
	修学旅行殺人事件	高階良子	(90)
	ちょっと気になる伝言板	島崎ちと	(34)
7月号	親愛なるMr.ハークネス(前)	小室しげ子	(51)
	夕やけメモワール	田所美千子	(32)
	恋は寄り道迷い道	松島裕子	(33)
	心はいつでもピアニシモ	峡塚のん	(35)
	ちょっぴり毛深いお客さま	神崎順子	(45)
	ひなげし畑のガードマン	富田徳子	(39)
	初恋さがしOKですか？	島崎ちと	(35)
	ティー＝タイムはお静かに	志摩ようこ	(38)
	きみをさらってランナウェイ	いとうかよこ	(32)
	泣きむしトマトちゃん	くれやまさちこ	(31)
8月号	学園祭殺人事件(前)	高階良子	(51)
	ニューヨーク無悪怯クラブ	茂刈ミンコ	(42)
	親愛なるMr.ハークネス(後)	小室しげる	(54)
	オレンジ通信(総)	たかなししずえ	(104)
	わたしのナイトはネプチューン	山口ひとみ	(31)
9月号	風とあいつとレインボー	いがらしゆみこ	(60)
	魔女はローラースケートにのって	田所美千子	(32)
	学園祭殺人事件(後)	高階良子	(49)
	ちょっぴりメルヘン秋の午後	志摩ようこ	(45)
	トンキーがねむった日	神崎順子	(36)
	あした天使になあれ	こいわ美保子	(36)
	真夜中の花どろぼう	くれやまさちこ	(32)
	GO GO／ギャング通り聖歌隊	峡塚のん	(40)
	恋の予感はフライドチキン	堺紀世	(31)
11月号	おいかけて恋／	小室しげ子	(50)
	マジカル館へいらっしゃい	いとうかよこ	(36)
	ちょっぴりブーブー恵理先生	松本洋子	(33)
	シンデレラの休日	松島ゆう子	(40)
	さらばオアシスの灯よ	星川とみ	(57)
	ペパァカァカァ物語	茂刈ミンコ	(36)
	あこがれのテンプルスマイル	尾花亜里	(24)
	おてやわらかに／Missルパン	富田徳子	(32)
	にくいあいつにLOVEかしら	島崎ちと	(36)
12月号	地下室はロマンの香り	原ちえこ	(57)
	キスどろぼうをつかまえて／	小室しげ子	(38)
	アント坊や	如月萌	(6)
	花かざりの道	水上澄子	(110)
	にゃんこちゃん日記	亜桃麗	(7)
	正門前でときめいて	尾花亜里	(40)
	ようこそ銀河荘へ	星川とみ	(42)
	トリプルジャンプをもう一度	島崎ちと	(32)
	恋は平行四辺形	志摩ようこ	(44)
	マイネームイズポッキー	植上智広	(4)
	わたしのかれはアメリカン	くれやまさちこ	(31)

週刊少女フレンド

号	作品名	作者名	頁
連載	さくらんぼママ	エンゼル松本	～(48)
	生徒諸君！	庄司陽子	～8,12～15(391)
	紀元2600年のプレーボール	大和和紀	～6(175)
	セシール気分	吉田まゆみ	～7(204)
	夢のせてリン！	板本こうこ	～4(128)
	とでんではずんでまるめちゃん	古賀アンナ	1～24(120)
	こんとらばすポン	おかのきんや	1～24(120)
	初恋シュート	横田幸子	2～4(138)
	アライヤンナイト	西尚美	4～7(157)
	海のオーロラ	里中満智子	5～17(411)
	たとえば三角関係	辻村弘子	7～9(139)
	ラブオール青春	板本こうこ	8～23(533)
	しあわせ・となり合わせ	横田幸子	8～10(138)
	翼ある者	大和和紀	10～12(180)
	あれいの青春日記	巻野路子	11～13(119)
	ボーイハント	吉田まゆみ	13～16(181)
	あたしの可愛いひと	西尚美	14～18(113)
	スマイル・ミー	はやさかあみい	15～19(152)
	ヒットエンド・LOVE	西条じゅん	16～20(116)
	My Robin	銀雪子	17～21(121)
	バナナケーキのできばえは？	北川ゆうこ	18～22(111)
	よろしく／ひかる学級	清水康代	19～23(111)
	あい色神話	大和和紀	20～23(180)
	学っ子・チャンスは一度	横田幸子	21～(127)
	バイバイあこがれ色	小野佳苗	23～(47)
1号	雪の音	阿保美代	(7)
	けりあげる青春／	西尚美	(47)
	水色のかたみ	勝田美代子	(45)
	大学ノートに想いこめ…	宮本はるみ	(31)
	ナギサ飛びなさい	清水奈尾	(31)
2号	ジュリオの青い宝石	銀雪子	(50)
	ノンストップ／2人のりラブ	西条じゅん	(40)
	みのむし文庫	阿保美代	(7)

号	作品名	作者名	頁
	ラブリーちゃん	さいとうさちこ	(4)
	すてきなストレンジャー	あべゆたか	(12)
11月号	フラッシュ!!(前)	星合操	(43)
	風とじゃじゃ馬ライダー	きららてんこ	(22)
	エイミイラジコンメッセージ	サイキ敬子	(31)
	あいつときょうだい!?	亀山園子	(20)
12月号	ストレンジ・オレンジ(前)	おおの藻梨以	(40)
	12月の魔法	せがわ真子	(48)
	フラッシュ!!(後)	星合操	(39)

ひとみ9月大増刊コミックコレクション

号	作品名	作者名	頁
	春色すとおりい	しらいしあい	(55)
	夏色すとおりい	しらいしあい	(53)
	秋色すとおりい	しらいしあい	(51)
	冬色すとおりい	しらいしあい	(53)
	ロボット・ノンくん	さいとうさちこ	(4)
	まひるのユーレイ	工藤理恵	(25)
	気になる♡♡	きららてんこ	(24
	トム君こっちをむいて!	速水翼	(25)
	好き!と9月が言ってる	曽根富美子	(33)
	ふりむけば夏	小夜月子	(31)
	五線譜ノートに想いをこめて	大谷てるみ	(31,
	マイ・ラブマイ・カントリーボーイ	イケスミチエコ	(31)

ひとみデラックス

号	作品名	作者名	頁
お正月	メグの短足おじさん	しらいしあい	(53)
大増刊	チョッピリしょっぱいモンブラン	あなだもあ	(16)
	ガラスのプリマドンナ	星合操	(41)
	フルーツポンチ白書	小夜月子	(24)
	敵は強いぞてごわいぞ	大谷てるみ	(31)
	ラブリーちゃん	さいとうさちこ	(4)
	オデット姫がいいの!	成実由規	(32)
	メッセージ	おおの藻梨以	(41)
	れんげ草のかみかざり	岬りょう	(25)
	旅ゆくものへ	奥友志津子	(39)
	Love in the morning	工藤理恵	27)
	夢と指輪と欲ばりたち!	小形啓子	(31)
	たかこ姫と四銃士	仲村計	(46)
	コーヒー・ソーダー物語	あべゆたか	(27)
	封印されたエアメール	イケスミチエコ	(41)
春休み	メロンパン・メランコリー	おおの藻梨以	(53)
大増刊	ひとりぼっちで眠らせて	岬りょう	(25)
	ラブリーちゃん	さいとうさちこ	(5)
	風を感じて…めぐ	工藤理恵	(25)
	もういちどプロポーズ	イケスミチエコ	(47)
	すーぱー・アスパラガス	立原あゆみ	(41)
	すもも荘の夢追い人	大谷てるみ	(35)
	春よ恋	なかむらけい	(32)
	杏奈ちっくラブ	サイキ敬子	(29)
	しあわせ草の咲く音	風野朱美	(32)
	ヒゲと騎士とカーリーヘア	早乙女葉子	(31)
	あなたを追いかけて	嵯峨ゆう	(13)
	女王さまのティー・カップ	あべゆたか	(25)
	学園三冠王	新谷かおる	(31)
	オレはあいつに言ったけ	亀山園子	(24)
	フリーダム・ソング	奥友志津子	(61)
夏休み	ブスの木に恋の花は咲かない愛の実はならない	しらいしあい	(101)
大増刊	いたずらサマーラブ	星合操	(31)
	ラブリーちゃん	さいとうさちこ	(3)
	こんな夏ではなかったのに	曽根富美子	(45)

号	作品名	作者名	頁
	センチメンタルGAL	岬りょう	(27)
	お見合いはぜったいイヤ!!	亀山園子	(29)
	MEN'S CLUB PANIC	おおの藻梨以	(39)
	テニス・コートをぬけだして…	工藤理恵	(25)
	十七歳の素描	風野朱美	(32)
	ライト・ブルーの夏の風	あべゆたか	(30)
	幻想庭園	奥友志津子	(21)
	すーぱー・アスパラガスPART 2	立原あゆみ	(41)

講談社

なかよし

号	作品名	作者名	頁
連載	モンモちゃん	りよー子きつすもと	～8(48)
	わんころべえ	あべゆりこ	～(24)
	・・こまめちゃん	あなだもあ	～(48)
	みにみにミッキー	エンゼル松本	～(72)
	メイミー・エンジェル	いがらしゆみこ	～12(469)
	末は博士か花よめか	牧村ジュン	～5(196)
	コクリコ坂から	高橋千鶴	1～8(312)
	そよ風さん見えますか?	いでまゆみ	1～4(142)
	オレンジ通信	たかなししずえ	2～6(202)
	ぼくたちの行進曲	水上澄子	2,4,6 (94)
	きらら星の大予言	あさぎり夕	5～(272)
	OH!サンシャイン	原ちえこ	6～11(229)
	地獄への招待状	星川とみ	7～10(166)
	とびだせ!マオ	いまいかおる	9～(24)
	あこがれ・二重唱	佐藤まり子	10～(105)
	おはよう!スパンク第4部	たかなししずえ	10～(105)
	ミルキー・レディー	高橋千鶴	12～(40)
1月号	ホワイト=メモリー	原ちえこ	(57)
	寒い朝の悲劇	志摩ようこ	(31)
	わたしの恋は星まかせ	あさぎり夕	(40)
2月号	シュガーポットのないしょ話	佐藤まり子	(41)
	愛の心をキャンバスに	小室しげ子	(32)
3月号	初恋かくれんぼ	あさぎり夕	(31)
	真っ白手ぶくろ愛ひとつ	志摩ようこ	(37)
	すぐるくんの変身日記	島崎ちと	(30)
4月号	春の気配恋の予感	佐藤まり子	(48)
5月号	すずらんの精によせて	原ちえこ	(44)
	気分はなんだかピーチパイ	いでまゆみ	(35)
	女の子だもん	佐藤まり子	(28)
6月号	ちょっぴりひかえめ恋の味	佐藤まり子	(40)
	まりっぺ先生なやみ相談室	山口ひとみ	(32)
7月号	スーパーマンになれなかったよ	たかなししずえ	(35)
	なき虫ティンカーベル	曽根原澄子	(30)
	うっふん・探偵日記	いでまゆみ	(35)
8月号	ホップ・ステップ・シェイプアップ	佐藤まり子	(34)
	花子のうっふっふSTORY	小林桃子	(30)
	しあわせ夢飛行	牧村ジュン	(39)
9月号	ばくばくカバンと可愛ちゃん	高橋千鶴	(39)
	近ごろ気になる久人くん	松本洋子	(28)
	ムーンライト・カーにばる	いでまゆみ	(37)
	金の光銀の雨	牧村ジュン	(40)
	スパンクWAO WAO探偵団(付録)	たかなししずえ	(128)
10月号	ビューティフルにせまりたい!	小室しげ子	(32)
	コスモスよりB組つっぱりくんへ	山口ひとみ	(36)
11月号	初恋予報あしたは晴れ?	いでまゆみ	(35)
	めりいの恋はコケコッコー	小林桃子	(28)
	シンデレラボーイに乾杯(前)	牧村ジュン	(37)
12月号	シンデレラボーイに乾杯(後)	牧村ジュン	(36)

号	作品名	作者名	頁
	ろまんていっく・はあもにい	たなべまゆみ	(31)
	ラブラブラプソディ	竜樹諒	(31)
	あなたにロックン・ロール	光富智子	(31)
	緑のカレン	むらかみ季由杞	(31)

ボニータ

号	作品名	作者名	頁
夏の	日めくり夏めぐり	舟木こお	(51)
増刊号	海から来た娘	河名尚子	(31)
	きんたろすけ	小道迷子	(12)
	振って振って振りぬいて	岡崎沙実	(31)
	夢みる星へのパスポート	小川多加	(32)
	花の仁侠伝	金子早苗	(31)
	風に哭く	花郁悠紀子	(50)
	ラブリー750ドライブ	つるぎ剣	(31)
	映画村は大さわぎ	古賀アンナ	(8)
	スクラップラブなの!	岡田純子	(40)
	キャア花嫁ごっこ	泉左京	(31)
	幻のピルカバンバ	高階良子	(45)
	恋のチョコレート0.8oz	中山星香	(24)
	美少女はお好き?	蒼崎七	(31)
	シシクーの魔法使い	むらかみ季由杞	(31)

プリンセスゴールド

号	作品名	作者名	頁
3月25日	二人歩きの春ゆらり…	舟木こお	(50)
増刊号	雪の降る夜は	岡田純子	(34)
	スーパースターに大接近	古賀アンナ	(6)
	チップス君とおねえちゃま	山口玲子	(4)
	ふしぎな国の黒兎	高階良子	(41)
	バラ・マドンナ戦争	泉左京	(24)
	ドリーム・トラベラー	むらかみ季由杞	(31)
	百の木々の花々	花郁悠紀子	(40)
	ゴ ルイン	小森麻実	(32)
	エロイカより愛をこめてNo.4	青池保子	(73)
	エロイカより愛をこめてNo.5	青池保子	(74)
	Z	青池保子	(65)
	ピトラジット・ピンディング	中山星香	(17)
5月25日	王家の紋章(総)	細川知栄子	(194)
増刊号	ありがとうの待ちぼうけ	嵐峰麻利子	(33)
	フォックス・ハンティング	中山星香	(31)
	ふりむけばそこに	森村あすか	(40)
	キッスレポート	泉左京	(33)
	スクランブルエッグ	むらかみ季由杞	(31)
	季節風	中村友姫	(42)
	新婚さんにきをつけろ	古賀アンナ	(8)
	チップス君とおねえちゃま	山口玲子	(4)
	暮れ色の街角で…	小川多加	(35)
	アプリコットララバイ	さわもとあき	(31)
	きんたろすけ	小道迷子	(8)
9月25日	愛は風まかせ	舟木こお	(34)
増刊号	ぼくのファーストダウン	小川多加	(31)
	マジョルカの姫君	松谷美恵子	(40)
	恋とはどんなもの?	岡田純子	(31)
	ハンサム教室	泉左京	(33)
	なんと奇妙な真夏時	中山星香	(24)
	ゼロ%の笑顔	つるぎ剣	(31)
	きんたろすけ	小道迷子	(9)
	風は七色	浅川まゆみ	(31)
	くるみケーキのラブ・タイム	さわもとあき	(31)
	王家の紋章(総)	細川知栄子	(190)
11月25日	エロイカより愛をこめてNo.6	青池保子	(106)
増刊号	エロイカより愛をこめてNo.7	青池保子	(99)
	きんたろすけ	小道迷子	(7)
	星くず色の船に乗せて	中村友姫	(40)
	ドウワップ野郎とフルーツポンチ	舟木こお	(34)
	秋がおわれば…	つるぎ剣	(31)
	花冠の竜の国	中山星香	(40)
	虹をわたるセーラ	松谷美恵子	(31)
	てんてんてんまり	長野加代子	(31)
	すみれ色の夢	蒼崎七	(32)
	生徒会長愛してる!!	岡田純子	(31)

ひとみ

号	作品名	作者名	頁
連載	虹色のトレース	田中雅子	～(410)
	伯爵令嬢	細川知栄子	～(445)
	トコチコいちご	成実由規	～3(30)
	これでいいのかな!?	仲村計	～7(35)
	ブルミエ・ミュゲ	英洋子	～(380)
	ポカポカ春ちゃん	あなだもあ	～(82)
	わたしのあきらクン	しらいしあい	1～(486)
	ポテト・ハウスのみつぼちゃん	工藤理恵	1～(24)
	星くんの朝	立原あゆみ	4～10(184)
	テディ・ベア	あしべゆうほ	5～9(147)
	窓ぎわのオオカミたち	曽根富美子	8～(26)
	砂糖ぬきのコーヒー一杯	奥友志津子	11～(61)
1月号	すまいる	おおの藻梨以	(37)
	あざやかなシーン	星合操	(31)
	美鈴の初恋	風野朱美	(35)
	ハッピーニューLOVE	イケスミチエコ	(31)
2月号	恋の標的	忠津陽子	(40)
	宙に舞う瞬間	イケスミチエコ	(31)
	ミラージュミラージュ!	あしべゆうほ	(40)
	金色の車を探せ	大谷てるみ	(32)
3月号	スキャンダラススパンコール	おおの藻梨以	(38)
	愛はハートのエネルギー	星合操	(31)
	Aがしたいの!	岬りよう	(27)
	笛ふきの森	奥友志津子	(23)
	こちら救急指定外科病院!	イケスミチエコ	(32)
4月号	恋人よ	星合操	(37)
	♡の手術準備OK	イケスミチエコ	(32)
	春風のメロディー	あべゆたか	(25)
	はつね春風	風野朱美	(32)
5月号	天使か悪魔かベビーちゃん	おがたけいこ	(32)
	モア・モア・パンプキン	小夜月子	(31)
	青りんごの森	成実由規	(32)
6月号	ドリーム・ストリート	佐伯かよの	(47)
	ポケットいっぱいの片思い	曽根富美子	(31)
	こんにちは赤ちゃん	イケスミチエコ	(32)
7月号	ストロウ・カラー	おおの藻梨以	(33)
	とんがり屋根のメロディー	大谷てるみ	(29)
	キズのいたみはホットな愛で…	イケスミチエコ	(31)
8月号	やさしさしった!!	イケスミチエコ	(32)
	ジャッキー・ポップ	佐伯かよの	(36)
	アンジー・ガール	奥友志津子	(32)
9月号	あなたからの風	星合操	(34)
	パパとわたしと	小森麻実	(43)
	せい子ちゃんGood-bye	イケスミチエコ	(32)
10月号	フィフィちゃん大変身	おがたけいこ	(32)
	ドラマチック聖子さん	曽根富美子	(37)
	無花果(未)	イケスミチエコ	(16)
	ピーターのおもちゃばこ	イケスミチエコ	(31)

＊秋田書店＊

プリンセス

号	作品名	作者名	頁
連載	王家の紋章	細川知栄子	〜7,9〜(421)
	ラブ・ストリート	せがわ真子	〜(471)
	あたりめトロちゃん	菜摘ペコ	〜(55)
	となりのリブちゃん	田村セツコ	〜(24)
	悪魔の花嫁	あしべゆうほ	〜(372)
	きらきらキャンバス	さわもとあき	〜4(152)
	オニさんあちら	小道迷子	〜12(163)
	エロイカより愛をこめてNo.7	青池保子	〜1(51)
	アンナのミーハーるーむ	古賀アンナ	1〜(75)
	やあ！チャミー	舟木こお	1〜3(117)
	エロイカより愛をこめてNo.8	青池保子	2〜4(139)
	時の中の少女	竜樹諒	5〜7(94)
	LADYパピヨン		.8.9,11,12(228)
	万太郎ちゃんガスキ！	風間宏子	5,7,9,11(172)
	エロイカより愛をこめてNo.9	青池保子	6〜11(290)
	愛してみま専科	舟木こお	6.8.10,12(157)
	星の数ほども	岡崎沙実	10〜12(95)
	やきたてのハート	乙部啓子	11〜(63)
1月号	竜神氏の遺産	高階良子	(44)
	姫君のころには	花郁悠紀子	(40)
	ラジカル・ジョーク	竜樹諒	(45)
2月号	いやどうも！	中山星香	(23)
	冬・恋景色(前)	上原きみこ	(50)
	どこかで鬼が…	長野加代子	(16)
	アーサーとエンジェルども	かざまあや	(31)
3月号	クリスタルモーニングLOVE	風間宏子	(40)
	冬・恋景色(後)	上原きみこ	(54)
	タッチ・ミー・プリーズ	岡崎沙実	(31)
	星のメルヘン	竜樹諒	(14)
4月号	桜さらさら春の風	大山和栄	(38)
	ネリマドールに鶉が鳴く	中山星香	(25)
	こっち向いて芹！	森村あすか	(31)
	歌いながらわらいながら	中村友姫	(31)
	スーパースターはきらいなの	乙部啓子	(50)
5月号	私の夜啼鶯	花郁悠紀子	(50)
	パラダイスホテルに異常あり	岡田純子	(31)
	つづれさんお静かに	長野加代子	(15)
	パンドラの秘密	高階良子	(45)
6月号	一服して候	岡崎沙実	(44)
	夢くるくると(前)	乙部啓子	(55)
7月号	星ふらせてよ天の川	大山和栄	(39)
	幸せの館へようこそ	松藤純子	(38)
	12枚綴りのミルキーウエイ	長野加代子	(15)
	夢くるくると(後)	乙部啓子	(56)
8月号	ペパーミント・ボーイ	文月今日子	(42)
	8月予定表	鷹峰麻利子	(36)
	おそろいろい	むらかみ季由杷	(15)
	ゆふすげびと	中村友姫	(39)
	ハートがいっぱい//	岡田純子	(24)
9月号	蝉しぐれ	松藤純子	(50)
	倒錯の森	竜樹諒	(31)
	セプテンバー・ラブ	森村あすか	(31)
10月号	まじかる・ふろーずん72	中山星香	(25)
	ファンタスティックス	松谷美恵子	(45)
	ブロードウェイドリーム	中村友姫	(50)
11月号	なんて素敵なパートナー	泉左京	(31)
	かくれんぼ風の中	長野加代子	(15)
12月号	特別休暇命令	青池保子	(50)
	空からの白い手紙	大山和栄	(50)

ビバプリンセス

号	作品名	作者名	頁
連載	ファンシーサラダ	山口玲子	〜(16)
	かきねのイバラちゃん	古賀アンナ	〜(45)
	あかんべねこといい湯だな	小道迷子	〜(42)
冬季号	トマトでドッキリ	岡崎沙実	(50)
	すももちゃんの一番長い日	泉左京	(24)
	なんて男と女…	小森麻実	(31)
	ロマンティックリバイバル	中村友姫	(46)
	星になったジョニー	松藤純子	(31)
	より道していた魔法使い	鷹峰麻利子	(40)
	カリフォルニアフリーウェイ	小川多加	(31)
	三人目の騎士	長野加代子	(32)
	つっぱれボーイズ	乙部啓子	(40)
	かくも愛とは強いもの	岡田純子	(31)
	聖夜ウェディング・ベル	河名尚子	(40)
	悩める君に愛の手を	つるぎ剣	(31)
	13枚綴りのお客人	中山星香	(32)
	恋の夢舞	光富智子	(31)
	勝利の女神が微笑む時は	浅川まゆみ	(31)
春季号	クリスタルギャザー	竜樹諒	(49)
	夢つづり歌つむぎ	鷹峰麻利子	(40)
	夢の世界に飛んでごらん	松藤純子	(40)
	薫くんが出てきた日	かざまあや	(31)
	ロックンロール・ナイト	岡崎沙実	(50)
	大きな樅の木の下に	河名尚子	(32)
	コハルおばさん	長野加代子	(31)
	杏と姿教授のメロドラマ	泉左京	(32)
	春を待つソナタ	小川多加	(40)
	コットンシャツの奇跡	小森麻実	(35)
	ギャワソン博士とアミちゃん	菜摘ペコ	(5)
	翔っても愛	浅川まゆみ	(41)
	あたしの主人公さま	つるぎ剣	(31)
	mr.バイクとでっこみ思案	光富智子	(32)
夏季号	ホープ・チェストに入れるのは…	せがわ真子	(42)
	わが夢わが愛	かざまあや	(31)
	ヨコハマやさぐれ涙雨	岡崎沙実	(50)
	マザコン宇宙の美少女	泉左京	(31)
	緑蔭行路	花郁悠紀子	(40)
	翔ってもキャンバス	浅川まゆみ	(31)
	エンゲージリング	鷹峰麻利子	(41)
	恋はワンワン	乙部啓子	(51)
	雪のジョー王	竜樹諒	(31)
	恋のタッチダウン！	光富智子	(31)
	ミトラスの魔詩	中山星香	(31)
	夏の嵐	岡田純子	(31)
	屋根の上の冊人	長野加代子	(31)
秋季号	エンジェル・エッグ	あしべゆうほ	(44)
	鮪のベジタブル	中山星香	(24)
	愛の歌をうたってよ	松藤純子	(39)
	枯葉色の公園で	岡田純子	(31)
	秘密箱あけたら	鷹峰麻利子	(45)
	そして二百十日	河名尚子	(39)
	還らざる未来へ	浅川まゆみ	(31)
	炎のマダムベレ	高階良子	(45)
	かわいい悪女たち	泉左京	(24)
	夢使い	長野加代子	(15)

1980年度

—雑誌別—

少女マンガ作品リスト

杉田健一編

秋田書店　プリンセス
ビバプリンセス
ボニータ
プリンセスゴールド
ひとみ
ひとみコミックコレクション
ひとみデラックス

講談社　なかよし
なかよしデラックス
週刊少女フレンド
ハローフレンド
別冊少女フレンド
ラブリーフレンド
ミミ
ミミデラックス
ヤングレディ
ビーラブ

小学館　週刊少女コミック
増刊週刊少女コミックＤＥＬＵＸＥ
週刊少女コミック増刊（コロネット）
別冊少女コミック
別冊少女コミック増刊
プチコミック
プチフラワー
ちゃお
ちゃお増刊
プチセブン
セブンコミック

集英社　りぼん
りぼん増刊
週刊マーガレット
週刊マーガレット増刊
別冊マーガレット
デラックスマーガレット
ぶーけ
週刊セブンティーン
週刊セブンティーン増刊
月刊セブンティーン
月刊セブンティーン増刊

白泉社　花とゆめ
花とゆめ増刊
別冊花とゆめ
ＬａＬａ
ＬａＬａ増刊

主婦の友社　ＧＡＬＳ　ＬＩＦＥ
ギャルズコミックＤＸ

手塚治虫のすべて／大都社　3800円

手塚治虫の仕事のなかで、ストーリーまんが以外のもの——カレンダー雑誌や本の表紙、展示用作品、新聞等に掲載したコマまんが、年賀状、口絵、絵本etc.を集大成した一冊。普通、読者の目に触れにくいものばかりを集めた貴重本で、カラーの頁もふんだんにある。頁を繰っていくと、手塚治虫というまんが界の巨匠が、いかに広範で豊かな仕事をしているかが実感として伝わってくる。ファンにとってはヨダレもの！Ａ４判・160頁。

イベント

コンベンション

宇宙戦艦ヤマト・大雑談会

■5月31日(日)
時AM1:00～
場大阪府立青少年会館会議室（大阪・森之宮）
料無料
主催宇宙戦艦ヤマトFC／エンタープライズ
内容ヤマトファン同士でヤマトについて語り合い、親交をふかめよう、というものです。
※あの昔のよきヤマトはどこへ飛んでいってしまったんでしょうね、熱狂的なファンの人たちをたくさんのせたまま……。かつてヤマトに熱中していたファンのみなさん、みんなで自分の心のなかをさまようヤマトを語り合おう。集まれ、ヤマトファン‼ 参加希望の人は80円切手同封のうえ、年令を書いて御連絡くださいね。
問〒579東大阪市池島町3－2－34 簗地秀 Tel 0729・82・9029

MGM（まんがギャラリー・マーケット）

■5月31日(日)
時AM11:00～PM4:00
場太田区産業会館（国電蒲田駅下車徒歩5分 蒲田郵便局）
内容まんが同人誌原画展示、即売
料無料
主催迷宮81
問〒176練馬区桜台2－17練馬桜台二郵便局留 迷宮

第11回まんが即売展

■6月20日(土)～22日(月)
時PM10:00～PM5:00
場現代マンガ図書館（新宿区早稲田鶴巻町371 地下鉄有楽町線江戸川橋下車5分 都バス鶴巻町バス停前）
※3冊100円から1冊ン10万円まで種々雑多。今回は雑誌のバック・ナンバーが多いとのこと
問Tel 03・203・6523 現代マンガ図書館

アニメ・エキジビション

■6月28日(日)
場川崎中小企業婦人会館（東横線武蔵小杉駅下車1分）
内容アニメ会誌即売会、上映会、コスチューム・ショウ
問〒154世田谷郵便局私書箱9号 吉見孝之

上映会

アニドウ上映会

■5月29日(金)「新ガリバー旅行記」
時PM7:00開映
場池袋区民センター5F映写室
料会費500（☎予約）
※ソ連長編人形アニメーション

■5月30日(土)「最新短編アニメ集」
時PM7:00～9:00
場右に同
料会費500円（☎予約）
※上映作品＝「シティ・スケーべ」(L・ラーキン)、「ハンガー」(ピーター・フォルデス)、「クリスマス・キャロル」(R・ウイリアムス)

■6月30日(火)「マルコポーロ・ジュニアの冒険」
時PM7:00開映
場中野文化センター
料会費500円（☎予約）
※オーストラリアで制作された英アニメ。長編カラー。

■7月22日(水)、23日(木)「P・A・F・7」
時PM6:00開映
場中野文化センター
料未定
問アニドウ Tel 03・393・0344

「前世紀探険」上映会

■6月15日(月)
時PM6:20開場／7:00開映
場日仏会館ホール
内容チェコスロバキア長編ファンタジー「前世紀探険―古代への旅」（'54／監督：カレル・ゼマン／ゴットワルドフ・スタジオ作品）併映＝「逃げだした二つの霜柱」（監督：イルジー・トルンカ）
料当日800円／前売600円
※襲いくるブロントサウルス、サーベル・タイガー、トリケラトプス‼ 30種類以上の太古の動物たちが続々と出現！ 4人の少年たちは時の河を過去へ…
問アンドウ 〒167杉並区荻窪4－30－9グリーンパーク201並木方 Tel 03・393・0344

アニメポリス・ペロ ホール上映会

■5月24日(日)～30日(土)
内容デビルマン②妖獣シレーヌ／狼少年ケン⑯月夜の出来事
■5月31日(月)～6月6日(日)
内容スタージンガー①とべオーロラ姫／狼少年ケン⑰チッチとポノポの冒険
■6月7日(日)～16日(火)
内容スタージンガー②宇宙一番のあばれん坊／狼少年ケン⑱ジャングル間違いつづき
■6月18日(木)～23日(火)
内容花の子ルンルン①ふしぎな訪問者
■6月25日(木)～30日(火)
内容がんばれ元気①父ちゃんと二人旅

アニメポリス・ペロ 一周年記念大感謝祭

情報募集

このコーナーでは、まんがに関するあらゆる情報を、できるだけ多く集め、掲載していきたいと思います。まんがに関することなら何でもけっこうです。展覧会・サイン会・同人誌即売会・アニメ上映会などなど、まんがに関する情報を遠慮なくお寄せ下さい。全国各地からのお便りを待っています。
掲載希望の方は、**日時・会場・料金・内容・読者への口上**（200字以内で）**問合わせ先**（Tel）を明記し、封筒の表に**情報**と**朱書**して下記にお送り下さい。

〒160東京都新宿区新宿2－1－1 ラポートピアビル701fusion product "情報募集"係

※"8月号の掲載分の〆切は6月5日（必着）。8月号の発売予定日は、6月25日です。

アニメーション

■7月2日(木)～9月上旬
1 アニメプラモデルコンテスト：6月11日～8月20日
◎応募受付：6月11日(木)～7月31日(金)
◎展示：8月10日(日)～20日
2 宇宙戦士バルディオス復活祭：7月2日～12日
①上映会十原画展
②復活祭：7月12日(日)（上映会、サイン会＋Q&A）
3 モンキー・パンチ原画展とサイン会：7月13日～19日
4 コロムビア・ジャケット&ポスター展：7月20日～27日
■
5 '81Yalaxy Express 999
■'81 Portopia：7月26日～30日
◎内容：ダイジェスト上映、声優コーナー、抽選会、原作者コーナー
◎料金：1500円
6 堀江美都子コンサート：7月27日(月)
7 アニメフィルム・マラソン上映会：7月30日(木)
8 さよなら銀河鉄道999展＋松本零士作品キャラクターイラストコンクリートル：7月28日～8月9日
◎応募要項：B5、用紙・色彩自由、締切7月20日
9 フラッペスティックコンサート
10 新谷かおる原画展とサイン会：8月中旬
11 Dr.スランプ島山明原画展とサイン会：8／下～9／上
場アニメポリス・ペロ（毎週水曜定休日）
問アニメポリス・ペロ
〒530大阪市北区曽根崎新地1－13－22うめしん東映会館3F Tel 06・344・5959

公演

夢の遊眠社公演「走れメルス——少女の唇からはダイナマイト——」
■6月12日(金)～7月12日(日)
時PM7：00（土・日マチネPM2：00もあり／月曜休演）
場新宿もりえーる
料前売1300円、当日1500円（前売り開始3月14日）
問紀伊国屋書店事業部 Tel 03・354・0131／遊眠社事務所 Tel 03・485・4798

ソロモン・グランディ
第13回公演
■5月31日(日)
時PM5：00～
場品川区民会館（大井町線等々力下車1分）
内容ポーの村（原作：萩尾望都／脚本・演出：牧村純）
3月ウサギがどうにかしてよ／他1本
料300円
問〒213川崎市高津区溝ノ口793星野方牧村純 Tel 044・811・7805（PM8：00～12：00）

ひさうちみちおサイン会
■6月14日(日)
時PM2：00～4：00
場新宿紀伊国屋4F
※2色刷描下し絵本「オーロラ」発刊記念。
問ブロンズ社 Tel 295・5015
宮西計三も友情出演

アニメはつらいよ 24

キミもお遊び気分で就職をいかが?……

小田克也

絵の素質だけではアニメは無理?

〃あのオー、アニメの仕事をやりたいのですけど、何か資格がいるのでしょうか?〃

〃アニメったって、ま、いろいろありますがねえ。動画を描いたり、背景を描いたり、セルに色をぬるとか……〃

〃うちの子は、絵を描くことだけが取柄で、一日中漫画みたいなものをかいてるんです。〃

〃じゃあ、アニメーターに興味があるわけですね〃

〃えっ、テレビに出てくるアニメっていろんですか、もう小さい時からそういうのかいていましてねえ。あの、からだがちょっと不自由なもので、どこにも就職できないし、とにかく絵くかく仕事以外に関心というか、頼れるものがないのですよ〃

〃はあ……〃

〃何とかできないものでしょうか?…… 絵の仕事なら何でも結構です〃

〃でも、絵の素質があるだけでは——アニメの仕事って大変な労働で、厳しい世界なんです。片手間に趣味的にやれるってもんでは

ない、という認識が必要でしょう〟
〝ええ、それはわかります。大変だってことは――。でも、からだに欠陥があっても、好きな仕事への意欲があればいいのではありませんか？……〟
ざっとこんな調子で、15、6才くらいの息子（か、娘かはよく判らなかったが）の母親とおぼしき人からの電話で、メンメンと就職の相談をうけたときの、その応答の一部であります。
その電話の声から状況を察するに、身体障害というハンデを負いながら自室に閉じこもり、絵を描くことがすべてであり、他人との接触も殆どない我が子を、不ビンに思う母親の心情は痛いほどわかるのデス。
絵を描くことへの思い入れが、唯一の生甲斐であろう彼の、ともすれば閉鎖的になりがちな環境から脱して、社会へ参加という意義は確かに小さくないし、親の願いとしても切実な問題であることも。
世の中には自分の身体のハンディを克服して、能力を発揮している人もいるし、突破口さえあれば、将来天才的な資質を活写する資質をもった、隠れたる芸術家だっているわけである。
先頃亡くなった谷内六郎さんも、少年の頃から病弱体質を持っていたハンディをもっていたという画家でありながら、自分の世界を童画で世に問うことができた天才であった。
谷内さんの場合は、自分のペースで自分の世界を描けるさし絵画専門であったから、それが可能だったのであり、もしアニメーターの職業だったら、創作活動は不可能な人であっただろう。
ぼくの先輩に、そのハンディは全く感じさせないどころか、運動神経もバツグン、技量もレベル以上の、片腕で左利きのアニメーターがいた。
逆境が、飛躍させるリアクションとなることはアニメーターとて例外ではない。先出の、適当な就職の道が他にないというアニメーター志望の人も、世に出る可能性を否定される何ものもないのである。
にもかかわらず、アニメの世界が、そんな逆境の人を歓迎できる情況でないのは、アニメ製作体制からくる余裕のなさ。殊にTVアニメ（に限らず）のスピードがものいう、スケジュールに組み込まれると、体力との戦いをも時にまぬがれない、そんな労働条件も低抗なく受けいれられるだろうか――とかを考えると、そう簡単に相談にのれない事情も一方にあるってこと。

私、アニメにも興味ありますの、ホホホ…

ま、いろんな人がアニメの仕成をやりたいと、電話が飛び込んできたり、訪ねてきたりする。予告をした後に訪ねてくる正統派はいいとしても、有力者の紹介とかコネを利用して、オノレのバックにはこんな人がついてるからナ、とニラミをきかせてくる輩もたまにある。素質がありそうならばいいけど、どう見たって小学生のちょっとしたのにも劣るような下手クソな絵を描いてこられたりすると、ごカンベン下さいませ、といいたくなるのだ。
某大会社重役の娘で、取引先の代理店を通じて、TV局の偉い人を経由し、更にTV局とのパイプ役であるアニメ会社のプロデューサーの紹介で、と、まるでシンデレラ姫でも迎えるかのようであると、こちらとしましてはもう、半分逃げ腰のセンセンキョウキョウなのであります。
このテのルートで参上のアニメーターや、背景マンを志願のお嬢サマって、まあ戦力を期待する向きの世帯プロダクションは敬遠した方が無難かもしれない（但し、別のメリットがあれば別）。つい先頃、Kプロダクションを訪ねてきた女性も、やはりその手の類いであった。
ただし、こちらはそんなジャリンコではありませず、レッキとした外交官夫人か、有閑マダム風。年のころは30代も半ばか、一見人気番組のTVタレント・W嬢によく似た、かなりハデな雰囲気を漂わせた奥サマ貴族といったいでたち。指には数カラットのダイヤの指輪が光っておるのだ。〝オッホホホ……〟と、たえずみせる華いだ笑声には、社交界の豊かさをホーフツとさせる貫録充分。

〝アニメーションて、いまブームでしょ、何か家でやれるお仕事ということで、私、興味がありますの、オホホホ……〟
〝――はあ、絵の方は何か、こう、かいていらっしゃったんですか？〟
〝いいえ、私、絵の方は全然だめ……かけないの、オホホホ……〟
〝――はあ……〟
〝私、いまエレクトーンを教えているんですけれど、それだけではちょっとものたりないってのかしら――オッホホホ……〟
〝で、いったいアニメの何がおやりになりたいのです
〝ほら、よく新聞なんかに広告がでてるでしょ、なんていうのかしら……アニメの〟
〝あっ、彩色の通信講座で、アニメのセルに色をぬったりする、あれですネ〟
〝そう、そうアレなんです。大変なんですか、アレは？……〟
〝やっぱり大変だろうと思います〟
〝別に、私、収入を当てにするつもりではないの。アニメのこと、もっと知りたいわけ、オッホホホ……〟
〝エレクトーンをやってた方がいいかも知れません〟
この彩画希望の貴婦人は、そのあとマンションの一角にある彩画専門の某プロダクションに案内されて、製作現場を見学――と相成りましたが、さて、どのように映ったことやら。

レコード

●劇場長篇「機動戦士ガンダム」が大評判の内に終わり、今度はレコード版長篇ガンダム。**「機動戦士ガンダム最新録音BGM集VOL2」**（K25G—7018¥2500／キングレコード）。「円舞曲」「束の間の休息」「母と子」「砂の十字架」等全14曲。オリジナル・サウンドトラック。5/6にはドラマ編のサントラ盤（K20G17019〜20）2枚組も発売。

●この春"スーパー・ハリウッド方式"という新形式で全国の公民館、市民ホール等で公開された「夏への扉」（竹宮恵子原作）、「悪魔と姫ぎみ」（吉田秋生原作）の、オリジナル・サウンドトラック・ドラマ編がコロムビアレコードから、発売される。

「夏への扉」（CQ17064¥2300）は、音楽：羽田健太郎。主な出演者は井上真樹夫、水島裕、古谷徹、武藤礼子、他。**「悪魔と姫ぎみ」**（CQ17065¥2300）は、**近田春夫**が音楽プロデューサー。声の出演は木ノ葉のこ、富山敬、井上真樹夫、他。共に5/5に発売。

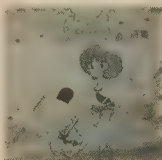
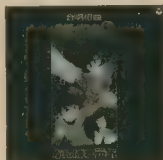
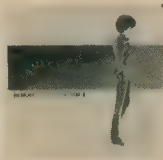
●長篇アニメのサントラ盤をもう1組紹介。毎月1枚は出る、という感じのヤマトのレコード、今月は**「宇宙戦艦ヤマトⅢ」**（CZ17111〜12¥4000／コロムビアレコード）。収録されているのは"滅びゆく太陽系〜ヤマト発進!!"に始まって、"ガルマン・ガミラス大帝国!!""ヤマト捕わる!""デスラーとの再会!""ルダ王女との出会い""あの太陽を撃て"まで。TVを思いだしながらどーぞ。

●BGM集、ドラマ編、組曲etc…とアニメ音楽も実に多彩にイロイロでているけれど、これはなかなか芸術的な感じのする2枚組、**「混声合唱とピアノのための合唱組曲「サイボーグ009」「がんばれ元気」」**（CQ17063〜64¥2300／コロムビアレコード）と題名からしてすごい。「サイボーグ」も「元気」も各々4曲の組曲から成る。合唱編曲は前者が冬木透、後者が川崎祥悦。アニメの音楽も、いよいよ独立した音楽として扱われるようになった、ということばろうか。

●同人誌界から躍りでた、「週刊少年キング」の看板(?)作**「超人ロック」**がLPになった。「超人ロック」（AF7050¥2800／コロムビアレコード）がそれ。主な曲目は「ロック・ザ・スーパーマン」「ザ・インベイジョン」「ウイ・ニード・ユー」「コンピューター"ジー"」「ランデブー」等全12曲、全て横文字のアメリカン風でセマる。スタッフもアチラのひとが半分ぐらい。さて、このレコードがひきがねとなって「ロック」アニメ化となるかどうか…楽しみ!

●この夏公開が待たれる**「さよなら銀河鉄道999」**の主題歌が、映画より一足どころか1ヵ月以上先にコロムビアレコードから発売される。（YH12¥700）A面の題名がなんと「SAYONARA」、B面は「LOVE LIGHT」。スタッフが、作詩・歌：メアリー・マッグレガー、作曲：ディヴィッド・J・ホフマン等、と全てアメリカ人。音楽でもなかなか意欲的な「999」、さて作品はどんな風になるんだろう。

●「なかよし」連載中の**「おはよう!スパンク」**（雪室俊一原作、たかなししずえ画）が、アニメになってテレビ朝日系で放映中だけれど、レコードも早や発売となった。**「おはよう!スパンク・歌と詩集」**（JBX12008¥2000／ビクターレコード）は、歌とポエムで綴るいかにも少女まんがチックなレコードです♡A面はテーマ曲、サブ・テーマ、挿入歌、B面は岡本茉利のナレーションで"愛子の詩集。"少女まんがファンはどーぞ。

●少女まんがといえば、去年の暮に発売された**「いつもポケットにショパン」**（くらもちふさこ原作）、売行好評ということで、発売元のフィリップスレコードが続篇もつくることに決定。7月下旬に発売される。今回は第一弾の後篇という形で、その後の麻子と季晋の物語をやはり原作に沿って綴る。原作の方も7月号で完結、ということでいよいよクライマックス!タイミングとしては抜群。原作の行方もレコードの行方も共に気になるところ。

「ショパン」と同じく「別冊マーガレット」に人気連載中の**「伊賀野カバ丸」**も、某スジによればレコード化の話があるとかないとか…。実現したらおもしろそうだけど、詳しいことはもう少し待たなくてははっきりしないみたい。次の号で。

▲「ガンダムBGM集II」K25G—7018

▲「合唱組曲サイボーグ009」CQ—7063

▲「おはよう!スパンク」JBX—2008

閑話休題

★永らく御無沙汰してます。今号は特別号なので、閑話休題も特別版。まんが単行本の話も、まんが周辺の話も、まんがに関係ない話でも、まとめて面倒みてしまう。

●『本の雑誌』等で活躍しているまんが評論家**有川優**さんが、**〈主婦よまんがを読もう！会〉**というのをつくってがんばっている。葉書大の私製通信を定期的に（？）つくって、会の理解と発展に努める有川さんだが、最近編集室に着いた通信No.7からちょっと紹介。有川宅の住人約2名が参加した、現在のまんが作品のベスト・テンとワースト・テン。

ベスト・テンは、①まんだら屋の良太 ②福山庸治各作品 ③博多っ子純情 ④じゃりン子チエ／湯田伸子各作品 ⑥ぼっけもん／石坂啓各作品 ⑧気分はもう戦争 ⑨日出処の天子／釣りバカ日誌。「偏見に満ち満ちた結果」（有川）かもしれないけれど、本誌のベスト・テンと比べてみてもおもしろい。ワーストの方は一応5位まで紹介すると、①ズウ ②一連の女性まんが ③ゴルゴ13 ④梶原・騎各作品／魔物語。①～④まで全て「文句なく一致」だったとのこと。

●『マンガ少年』が5月号で休刊になって、代わりに朝日ソノラマからは新雑誌『**DUO**』が出る、という話は知ってるひとも多かろう。竹宮恵子、石坂啓、山岸涼子、柴門ふみ、奥友志津子、高橋葉介等の執筆陣を見る限りでは、少女まんが方面からの少年まんが志向という感もあるが、どちらにしても、あまり少年、少女というワクにとらわれない作品が載っていく傾向のようだ。創刊号は7月25日発売。

●創刊誌といえば、これはちょっと気になるニュース。『LaLa』『花とゆめ』で本誌読者に圧倒的にウケのいい**白泉社**が、今度少年まんが誌を出すとのこと。誌名は『**少年ジェッツ**』！（そういえば、昔「少年ジェット」というまんががあったよネ）詳しい内容については、まだ不明なので、次号まわし。創刊は9月になるとのこと。

●手塚治虫氏の長男、**手塚真**クは自主映画界、8％プライベートフィルムのホープとして期待されている。『ぴあ』なんかにも度々出てるから、読者のなかにも知っているひとはいると思う。彼の最新作は「**MOMENT**」という75分フィルムだが、その上映予定が決定したのでさっそく一報。

■**5月31日**(日)
時 PM**1：00～**
場 六本木OM（日比谷線六本木下車俳優座坂下ル歩道橋脇三重ビル6F）
料 950円（シナリオ持参者は350円）／シナリオ360円　5

※シナリオというのは、「MOMENT」上映に先がけて出された「**ビジュアル・シナリオ**」なる小冊子。作品の解説、感想、制作メモ等に加えてなんといってもおもしろいのは、手塚真自ら描いた画コンテ43頁！さすが親譲り…（？）と思わせるうまさ、読んでて楽しいのです。映画のできが気になるところ。

問 CBカンパニー　〒160東京都新宿区新宿2－13－14芸科ビル　磯野好司
Tel 03・354・3089

なんだ なんだ なんなんだ
MOMENT

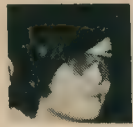
●え－と、あのね、これは㊙の大事な情報なんだけど、あなただけに教えちゃう。ナイショよ。幻の美少年雑誌、あの『**JUNE**』の復刊がどうやらホントになるみたい…かもしれないの♡これは、確かな某スジからの耳打ちだから、かなり可能性大なんだから。もし実現したら、みんなの祈りが通じたのよ、きっと！あ、誰にも言っちゃダメよ、ホントに㊙なんだもの。ネッ！

●**ひさうちみちお**大先生のウシクシ豪華絵本が出た！「**オーロラ／森の奥の氷い睦事**」（ブロンズ社・1400円）という、題名からしてなにやら妖しくなまめかしい匂い。これがなんとオール2色（表紙だけ3色）なのだけれど、中を開けば「これが2色か！」という美しさ。青と黄色とをかけ合わせただけでこんなにも多様な表現ができるのか、とため息がでてしまう。まさに2色刷の魅力を十二分に発揮した一冊であり、格好の素材を得て、ひさうちさんの画はさらに美しく、微妙に、偏執狂的に、冴えわたるのです。で、肝心の物語の方はと言いますと…それはムフフのお楽しみ。買ってから読んで。

●本誌月評でおなじみ、元『エロジェニカ』編集長**高取英**の所属劇団、「演劇団・流山児祥事務所」の’81夏興業が決定した。題して**「黄金箱（オルゴン・ボックス）」**。横にくっつく宣伝コピーから二、三引用すれば、〝男はみんな、怒れる牡牛だ〟〝昭和ワイマール体制崩壊の今、我々は戦前派である。高取英の戦前派三部作第二弾！〟

日時は6月4日(木)〜10日(水)、開演夜7時（日曜日はマチネー3時もあり）。**所**は下北沢スーパーマーケット（小田急線、井の頭線下北沢駅南口下車2分TEL413・3005）。**料金**は前売・予約1300円／当日1500円。作：高取英、流山児祥／演出：藤村民雄／音楽：及川恒平／出演：山口美也子、塩野谷正幸、流山児祥、風吹丈、他。

帝都の闇に咲く悪の華、スーパー・マーケット興行へ、いざ!!

▼**予約問合せ**：演劇団TEL394・3225／群六舎TEL200・2464（PM6：00〜9：00）

高取　英

●モンキーズって知ってる？そう、昔TVで「ザ・モンキーズ」とかやってたでしょ（今でも再放送してるけど）。もちろん本業は歌手、’60年代後半のアメリカン・ポップス界のアイドル・グループで日本での人気も高かった。そのモンキーズが又々再近人気急上昇中で、5月初めにメンバーの一人デイビー・ジョーンズが来日してから増々人気は加熱気味、F・Cの〝モンキー・ビート〟もフル回転中とのこと。

そのモンキーズ・フィーバーに乗って、かつて4人が出演した映画「ＨＥＡＤ！恋の合言葉」（’68米、コロムビア）が近々公開される。この映画が又シッチャチメッチャカの不思議なシロモノ。一貫したドラマはなく、4人がはいりこんだイマジネーションの世界を次々に追っていく32話の内に、’60年代後半のアメリカの仮面がはがれていく…という具合。スタッフが又、今から見ると豪華メンバー。製作：バート・シュナイダー／脚本：ジャック・ニコルソン／監督：ボブ・レイフェルソン。6月13日より東急名画座にてロードショー。なお、F・Cの問合せ先は、〒104東京都中央区銀座1―19―9三鈴ビル　スティック企画内　モンキービート係　Tel03・564・5724

☆200字腹立ち文コーナー

●つぶれたアミは どないなるん

立腹フンガイやるかたないので筆を取る。よー聞いとけよ！印刷屋！

売れて売れて大増刷の「じゃりン子チエ」。売れるはいいがインクのつけすぎで線がベタ〜ッとにじんどる。「緑茶・夢」ではかすれて弘の口がない！「忍者キャプター」に至ってはアミはつぶれ線は2倍の太さとなりもうやけくそ!!ワシの運が悪かったんかも知らんがこらいったいどーゆーこっちゃ!!気イつけんかい印刷屋!!大量生産の犠牲はごめんじゃ!!!徳島市南前川町2丁目20の2　平井賢治　18歳

●本屋さんに対して

近頃、漫画の単行本に、ビニール袋をかぶせて売る店が多くなった。∴必然的に立ち読みができなくなった。かまへんやないかー！立ち読みくらい。道交法改正以来暴走族は暴走できなくなった。私ら暴漫画族っつうほどの気違いマニアにとっても、前の様に昼間から夕暮まで店先でマンガの世界にトリップするなんて極道は、夢のまた夢となってしまった。私ら年上の者のマナーが悪かったせいでもある。年下の人たちに、ひと言詫びたい。〒615京都市西京区桂良町6―16　菱田弘子　19

●「胸さわぎの放課後」（を読んだ後の胸さわぎ）

村生ミオの「胸さわぎの放課後」一巻を買った。少々期待していたのだが驚愕!!完全な「れもんカンパニー」の盗作である。第一回を読んだとき「上唇がつき出ているところが吉田まゆみに似てるな」と思っていたが予感的中。Ｐ114の水着のとれるシーン、Ｐ155の自転車のシーンは、「れもん――」で言うとそれぞれ②Ｐ141、①Ｐ149。極めつけは一平の母親。ノンの母親そのまんま。いつまでもこんなまんが描いてると読者にソッポ向かれるよ。〒332埼玉県川口市末広一―四―十六　辻昌宏

●特集〝三原順子〟！

新刊の総合カタログ誌『サージュ』2月号に載っていた、『ぱふ』2月号の広告文を見ましたか。次の文はその一部です。

特集！「三原順子」

『ぱふ』は芸能誌かっ!!と叫んで、ぼくは数分間、笑い転げました。誤植の帝王『ぱふ』もたじろぐこの凄さ。いくら、順子ちゃんがカワイイったって、これはないですよね（意外とあったりして）。しかし、正月ボケもええかげんにしてほしいわ。ああおもろ。〒577東大阪市長堂2―40　松村智志　17歳

●なんだ、この企画は！

この原稿募集の主旨ほど腹の立つこたアないね、だいたい漫画なんてのは娯楽なんだから面白くてアタリマエ読んで腹の立つ漫画など買うわけねえじゃねえか、生産者側の態度だってああだこうだ言ったって、詰まる所が売れる物オンリー、漫画が商業ベースに乗っかってる以上、それはしかたのねえことなんだヨ、それから電車の中で漫画読んで何が悪いんだ、女のシリさわるよりマシだろうが、こんなの募集して労せず読者の動行を探ろうとする性根がマル見えなんだよ！このバカ野郎！福岡県八女市亀甲193―2　家松文雄　25歳

●まんが賞というと、とかく自社誌掲載中心になったりお祭り騒ぎだったりするけれど、**日本漫画協会賞**という、まんが家さん自身で選ぶまんが賞があるのを知ってるだろうか。受賞者については後ろの頁のリストを見てくれればわかると思うが、とかく企業の論理や様々な思惑に流されがちのまんが賞陣のなかにあって、かなり純粋にその時点のまんが状況が反映しているのではなかろうか。

その日本漫画家協会賞の、81年度受賞者が決定した。今年は大賞の該当者がおらず、優秀賞5人となった。

大友克洋　一連の作品
畑中　純　「まんだら屋の良太」
日暮修一　「ビッグコミック」の表紙等
千葉督太郎　「漫画庁」「迷子」
森本清彦　自費出版「水族館X」

大友さんや畑中さんが受賞するあたり、なかなかニクい選考。なお、5月25日に日生会館で受賞パーティが開かれるとのこと。

●『**漫画少年**』——『マンガ少年』ではありません——というまんが雑誌を知ってますか?これを読んでるあなたの、多分お父さんの世代が夢中になった本だ。創刊は'47年、当時はまんが誌自体ほとんど無く、読者の本に対する思い入れは大変なものだったろうし、加えて、この『漫画少年』が事あるごとに人々の口にのぼり、少年まんがの原点とまで言われる由縁は、同誌が新人発掘に力を入れたためだ。この辺の事情は知ってるひとも多いだろうけれど、この本からでた新人は石森章太郎・藤子不二雄・赤塚不二雄・水野英子・松本零士等今では〃巨匠〃と呼ばれる面々に加えて、アニメやイラスト等の世界で活躍中の人も多い。

それほどの本でありながら、まんが雑誌という性格上まとまった資料がなく記録が散逸しつつあるのを惜しんで、執筆者の一人であった寺田ヒロオ氏が『**漫画少年』史**』(2400円)という資料本を編纂した。中味は作品復刻、投稿者による文集、そしてハイライトは全巻作品目録集という労作。とにかく一刻も早く目録を記録として刊行しておきたかった、という寺田氏の熱意の賜だ。今後、改めて復刻本を刊行していく予定だと言う。『漫画少年』の休刊は'55年、4年後に『サンデー』『マガジン』が創刊され、少年まんが界は週刊誌時代の喧騒に突入していく——。

なお、『『漫画少年』史』の問合せ先は、〒251神奈川県藤沢市藤沢1111湘南出版社　Tel 0466・27・2270

●去る4月25日(土)、徳間書店『アニメージュ』主催の**第3回アニメグランプリ('80年下半期)・フェスティバル**が、日本武道館で開かれた。本誌スタッフも紹待されて、イソイソと出かけたのです。

当日は雨だというのに凄い人、人、人!中心は中学生の女の子、制服姿もチラホラ見える。武道館はほぼ満員で、開演前から会場のアニメ・ショップに群がる女の子たちで熱気はもう充分。東京**12ch**のビデオ・カメラがしっかり録画するなか、司会者が会場の女の子にマイクを向ければ、「(水島)裕くん、見にきたの!」「井上和彦さん、がんばって!」「キャーッ!」

徳間社長の挨拶、尾形編集長の開会宣言の後、さっそく各賞発表に。結果は発売中の『アニメージュ』を見てくれればわかるだろうから省くけれど、**安彦良和**、「**ガンダム**」「**イデヲン**」の人気は相変わらず凄い。声優さんではささきいさお(上田みゆきがお祝いに)、堀江美津子(ミッチー!)、戸田恵子(池田秀一がお祝いに)、井上和彦(キャアー!)等が受賞、その度に歓声やら悲鳴やらコールやら拍手やらで会場はひっきりなしに涌き返る。

受賞者の挨拶から拾ったニュースをいくつか紹介すると、まず「**イデヲン2**」が近々登場する予定。もうラッシュが何本かできあがっている状態なのでTVでの再会はそんなに先ではないみたい。なんと、カーシャが死ぬんだって!松本零士は来年夏の「**我が青春のアルカディア**」に向けての意欲を語り、手塚治虫は又々嬉しい情報を提供してくれた。今年夏の恒例スペシャル・アニメ(グリム童話「ブレーメンの音楽隊」が原作とのこと)に続いて、ついに「**ブラック・ジャック**」がアニメーション化されるとのこと!楽しみじゃの一。

作品賞は「イデヲン」が受賞。最終回の上映にて第一部が終わり、歌とおしゃべりの第二部へ…それにしても、3回目で武道館を借りきりTVまで動員する徳間は凄い、雨にもめげずつめかけたアニメファンの熱気は凄い!ウチも、いつかやりたいもんですなぁ。

☆偏屈雑記①

○マンガ出版は相変らずの花盛り。金もうけ一点張り、キワモノ企画の横行で、正に百鬼夜行の体だ。しかし、下手な鉄砲も数打ちゃの言葉もあるように、ハッとするような好企画にごく稀にぶつかる事がある。サン出版の『アンドロイド・ピニ』もそんな一冊である。今はなきコダマプレスから刊行(昭和41・10初版)されて以来、実に十五年ぶりの復刊という事になる。うれしい事に氏の硬質な描線は、今見ても決して古びてはいない。

○ようやく『アクションデラックス』5号が出た。しかしながら大友克洋の「童夢」は、どうにも釈然としない形で中絶されていた。表紙にはちゃんと〃完結編〃とうたっているし、トビラには「お待たせしました!! 80年代最初の収穫が今エンディングを迎えます」なんて御大層なコメントまで入っている。それでいながら作品自体は、クライマックスを目前にして「未完」に終っているのだ。いったいどうなっておるのだろう。首を長くして待ち続けた読者に対して、これはあまりに酷い仕打ちではないか。作者なり編集なりに、明確な解答を期待したいところだ。

○このところ、樹村みのりにどうも元気がないようで、気が気でなかった。しかし、『ミミ』三月号の「海辺のカイン」最終回を読んで、何となく得心がいった。今、氏は新しい地平を目指す胎動期なのではないか。作品世界に複眼の視点を獲得しようとする試みの陣痛の時期なのではないか、と思うのだ。次作に注目しよう。

○『噂の真相』三月号に、ぱふ編集部の内紛についての記事が載った。このところ編集部にはとんと御無沙汰しているので、事の真偽は私にはわからない。ただ、これが事実であるのなら率直に読者に報告すべきだ、と思う。いや、事実でないなら余計に、正すべき所はきちんと正すべきだろう。赤字だ赤字だ、というものではないはずだ。経営状態に関する事だけ正直に、ではないはずだ。如何であろーか、編集各位殿。

▼大阪・阪急ファイブ駸々堂売上表

	誌　名		入荷数	実売数
1	別冊アニメージュ「リュウ」Vol-11		330	252
2	プレイガイドジャーナル	4月号	250	250
3	アウト	5月号	240	240
4	プチフラワー	5月号	300	236
5	京阪神Lマガジン	4月号	250	230
6	増刊奇想天外「吾妻ひでお大全集」		250	207
7	アニメック17号		250	200
8	TAKE OFF	4月号	200	182
9	アニメージュ	5月号	280	150
10	JJ	5月号	145	145
11	テレビマガジンデラックス4 劇場版ガンダム		200	138
12	ファンタスティックコレクションスペシャル 世界怪獣大全集		150	128
13	ララ	5月号	120	120
14	ノンノ	5/5号	105	103
15	別冊マーガレット	5月号	99	99
16	ポパイ	4/25号	90	90
17	マンガ少年	5月号	90	88
18	アンアン		80	80
19	セブンコレクション	5月号	79	79
20	モア	5月号	90	75
21	流行通信	5月号	75	75
22	ファイン	5月号	75	74
23	セゾンド ノンノ	4月号	70	68
24	マイ アニメ	5月号	150	64
25	ジ アニメ	5月号	150	54
26	スターログ	5月号	60	52
26	HOT DOG PRES	5月号	90	52
28	ぶ～け	5月号	50	50
29	BE IN LOVE	5月号	55	47
30	写楽	5月号	45	45

	書　名	実売数	版元	作家名
1	Dr.スランプ④	560	集英社	鳥山 明
2	日出処の天子③	345	白泉社	山岸涼子
3	パタリロ⑦	233	〃	魔夜峰央
4	綿の国星④	223	〃	大島弓子
5	バイトくん③	218	プレイガイドジャーナル社	いしいひさいち
6	超人ロック⑤	209	少年画報社	聖悠紀
7	じゃりン子チエ⑨	198	双葉社	はるき悦己
8	スケバン刑事⑮	170	白泉社	和田慎二
9	銀河鉄道999⑯	164	少年画報社	松本零士
10	四月怪談	161	主婦の友社	大島弓子
11	ハイティーン・ブギ⑧	158	小学館	牧野和子
12	すくらっぷブック④	149	秋田書店	小山田いく
13	エロイカより愛をこめて④	148	〃	青池保子
13	訪問者	148	小学館	萩尾望都
15	すすめパイレーツ⑩	112	集英社	江口寿史
16	黒のもんもん組②	106	白泉社	描十字社
17	サイボーグ009⑫	99	小学館	石森章太郎
18	ノストラ探偵団③	97	白泉社	かわみなみ
19	パーフェクト・ディ	91	〃	高口里純
20	ドカベン㊽	90	秋田書店	水島新司

〈'81年4月期〉

▶特別賞受賞者の面々

▼男性アニメ歌唱賞受賞／ささきいさお

▲女性アニメ歌唱賞受賞／堀江美津子

▲男優賞受賞，神谷明 右端は女優賞受賞の小原乃梨子

▶アニメーター賞，作品賞受賞／安彦良和

▶会場を埋めつくしたファン

●アニメ・グランプリより●

▼まんが専門店・わんだーらんど(大阪)売上表

	書　名		書　者	新刊 発売日	新刊 入荷数	品切日数	実売冊数
1	Dr.スランプ	4	鳥山明	4/9	75		65
2	じゃりン子チエ	9	はるき悦巳	4/18	40		22
3	日出処の天子	3	山岸涼子	4/20	19		18
4	吾妻ひでお大全集		…………	4/14	23		18
5	じゃりン子チエ	2	はるき悦巳				17
5	GOOD WEATHER		大友克洋				17
7	陽あたり良好	(2)	あだち充				16
8	元祖おじゃまんが山田くん		いしいひさいち			14	14
8	夢みる妖精		内山亜紀	4/14	30		14
8	じゃりン子チエ	(1)	はるき悦巳				14
9	〈今月のカントー賞〉						
10	アタゴオル物語(1)～(4)		ますむらひろし				35

COMICS

●新刊リスト

秋田書店

書名	著者	価格	発売日
少年チャンピオン・コミックス			
熱笑!!花沢高校⑦	どおくまん	370	5／6
月とスッポン⑲	柳沢きみお	370	〃
らんぽう⑪	内崎まさとし	370	〃
アラバスター②	手塚治虫	370	〃
まっぴら半次郎③（完）	安紀宏紀	370	5／20
べにまろ⑤	木村和昭	370	〃
ジュトン③（完）	望月あきら	370	〃
プリンセス・コミックス			
エロイカより愛をこめて④	青池保子	370	5／6
万太郎ちゃんがスキー！①	風間宏子	370	5／20
サンデー・コミックス			
戦場ロマン・シリーズ⑰グルマン定期便	新谷かおる	370	5／13
ひとみ・コミックス			
わたしのあきらクン③	しらいし　あい	370	5／13
フラッシュ!!	星合　操	370	5／20
秋田漫画文庫			
量捕り傘次郎④完	小池一夫／作・小島剛夕／画	330	5／20
21世紀の狐① 全4巻の予定	小池一夫／作・田上憲治／画	330	5／20
けものみち④	真樹日佐夫/作・影丸譲也／画	330	5／20
雨の朝サブは④	梶原一騎／作・下條よしあき／画	330	5／20
少年チャンピオンコミックス			
750ライダー㉘	石井いさみ	370	6／29
らんぽう⑫	内崎まさとし	370	6／29
ズーム・アップ⑧	望月あきら	370	7／18
レッツゴー勇④	小池栄治	370	7／18
ダイナマ舞①	真木富士人	370	7／18
タマゴたまご①	富士鷹なすび	370	7／4
熱笑!!花沢高校⑧	どおくまん	370	6／29
ヨイショで満開	山上たつひこ	370	7／11 18
プリンセスコミックス			
王家の紋章⑧	細川知栄子	370	7／11
幻のビルカバンバ	高階良子	370	7／11
ひとみコミックス			
プルミエ・ミュゲ③	水木杏子・英洋子	370	7／18
四季シリーズ秋色すとおりい	しらいしあい	370	7／4

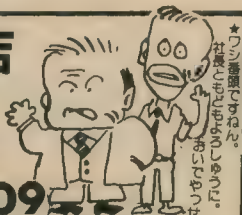
白泉社

書名	著者	価格	発売日
花とゆめコミックス			
ガラスの仮面⑲	美内すずえ	360	5／20
成層圏のローレライ	柴田昌弘	360	〃
エイリアン通りI	成田美名子	360	〃
セーラーブルーの青春③	酒井美羽	360	〃
とっておきのA•B•C	愛田真夕美	360	〃

双葉社

書名	著者	価格	発売日
アクションコミックス			
アニメ版画映じゃりン子チエ②	はるき悦巳	680	5／1
怪人アッカーマン⑤	新田たつお	480	5／14
蜃気郎②	西岸良平	480	〃
アニメ版映画じゃりン子チエ③	はるき悦巳	680	5／15
サーベル・タイガー（仮）	星野之宣	480	5／19
大友克洋傑作選（仮）	大友克洋	650	5／26
オシャカ坊主列伝②	小島功	650	〃
アニメ版おじゃまんが山田くん②	いしいひさいち	680	5／29
パワァコミックス			
いやはや南友⑦	永井豪	350	5／25

けいせい出版

書名	著者	価格	発売日
けいせいコミックス			
恥辱の制服	中島史雄	520	4／下
白熱	平口広美	560	5／上
さくらんぼ前線	中島史雄	560	5／下
白鳥の湖	ひさうちみちお	560	〃

書名	著者	価格	発売日
ワイルドウェイ②	史村翔 井上大助	370	〃
アニメコミックス			
機動戦士ガンダム④⑤（完）	矢立肇・富野喜幸・作 安彦良和・画	各690	未定
なかよし			
きらら星の大予言②(完)	あさぎり夕	370	6／5
丘の上のペティニアン	志摩ようこ	370	6／5
ヤングマガジン			
P.S.元気です、俊平①	柴門ふみ	370	6／10
good gire ①	柳沢きみお	370	6／10
OH！タカラヅカ	史村翔、小野新二	370	6／10
練馬のイタチ①	ちばてつや	370	6／10
ヤングDX			
狩人の星座④	里中満智子	380	6／10
同棲片道切符	深見じゅん	380	6／10
別フレ			
おはよう 空！①	まさき輝	370	6／15
フレンド			
スカイメロディ	板本こうこ	370	6／15
星と月の恋歌(マドリガル)	しのざき薫	370	6／15
ヨコハマ物語①	大和和紀	370	6／15
mi mi			
スプリング・ボード	倉多江美	370	6／15
手塚全集			
オズマ隊長④	手塚治虫	未定	6／15
どろろ④(完)	〃	未定	6／15
ノーマン③(完)	〃	未定	6／15
鉄腕アトム⑰	〃	未定	6／15
月刊マガジン			
釣りキチ三平㊿	矢口高雄	370	6／20
それいけ岩清水①	小林まこと	370	6／20
少年マガジンKC			
初恋物語⑦	梶原一騎、小野新二	370	6／20
あした天気になあれ③	ちばてつや	370	6／20
The かぼちゃワイン②	三浦みつる	370	6／20
マットの旋風②	峰岸とおる	370	6／20
ちかいの魔球①	ちばてつや	370	6／20
〃 ②	〃	370	6／20
〃 ③	〃	370	6／20

リイド社

書名	著者	価格	発売日
LCコミックス			
サムライマン②	園山俊二	400	5／20

書名	著者	価格	発売日
漫画文庫			
殺愛②完	小池一夫・池上遼一	330	7／20
ザ・テロル②	小池一夫・江波じょうじ	330	7／20
男おいら三枚目①	池田悦子・守谷哲巳	330	7／20
大全科シリーズ			
新・なぞなぞ大全科	小森豪人	650	5／30
チャンピオングラフィック			
ウルトラマン怪獣大全集	円谷プロ・監修	750	5／30
日本の特急大全集●国鉄編●	三枝信一郎	750	6／30

講談社

書名	著者	価格	発売日
なかよし・コミックス			
あこがれ♡二重唱	佐藤まり子	370	5／2
不思議の国の千一夜②	曽弥まさこ	370	〃
別冊フレンド・コミックス			3
ちょっと感じてマイハート	小野弥夢	370	5／15
サンディズチャイルド①	布浦翼	370	〃
フレンド・コミックス			3
生徒諸君！⑫	庄司陽子	370	〃
続きみ色の日々	前原滋子	370	〃
THE☆STAR	里中満智子	370	〃
バイバイあこがれ色	小野佳苗	370	〃
mimi・コミックス			
ペン♡ふれんど	辻村弘子	370	〃
海辺のカイン	樹村みのり	370	〃
手塚治虫漫画全集			
オズマ隊長③	手塚治虫	未定	〃
どろろ③	手塚治虫	未定	〃
ノーマン②	手塚治虫	未定	〃
鉄腕アトム⑯	手塚治虫	未定	〃
月刊マガジンコミックス			
甲子園の詩シリーズ②	ヒロナカ・貝塚	370	5／20
ビバ！蘭太郎	山口博史	370	〃
ヤングデラックスコミックス			
愛のレッスンカウントエイト	森谷幸子	380	〃
スーパーマンの子供	立原あゆみ	380	〃
少年マガジンコミックス			
凄ノ王⑨（完）	永井豪	370	〃
1、2の三四郎⑫	小林まこと	370	〃
初恋物語⑦	梶原・小野	370	〃
Theかぼちゃワイン①	三浦みつる	370	〃
マットの旋風①	峰岸とおる	370	〃

小学館

マンガくんコミックス			
エリア88⑥	新谷かおる	340	5／2
ウォー・クライ③	竜崎遼児	340	〃
岳人列伝シリーズ① 西南壁	村上もとか	340	〃
少年サンデーコミックス			
番外甲子園⑩	やまさき十三・内山まもる	340	5／20
ファントム無頼⑦	史村翔・新谷かおる	340	〃
うる星やつら⑥	高橋留美子	340	〃
男大空④	雁屋哲・池上遼一	340	〃
がんばれ元気㉖	小山ゆう	340	〃
ドロファイター④	村上もとか	340	〃
おやこ刑事㉔	林律雄・大島やすいち	340	〃
ズウ⑪	小池一夫・やまさき拓味	340	〃
まことちゃん㉑	楳図かずお	340	〃
フラワーコミックス			
キャンパスカルテット③	井上恵美子	340	5／25
陽あたり良好④	あだち充	340	〃
シグナル16歳②	古田久恵	340	〃
PARTNER①	名香智子	340	〃
てんとう虫コミックス			
おはよう姫子⑥	藤原栄子	340	5／28
ゲームセンター"あらし"⑤	すがやみつる	340	〃
怪物くん⑥	藤子不二雄	340	〃
ビッグコミックス			
異色作品集⑭雨女の島	白土三平	480	5／30
弐十手物語②	小池一夫・神江里見	480	5／30
魔物語①	小池一夫・叶精作	480	5／30
藤子不二雄自選集			
ドラえもんSFの世界②	藤子不二雄	780	5／15
小学館文庫			
M（ムウ）W①	手塚治虫	430	5／20
少年サンデーコミックス			
番外甲子園⑩	やまさき十三・内山まもる	340	5／20
ファントム無頼⑦	史村翔・新谷かおる	340	5／20
うる星やつら⑥	高橋留美子	340	5／20
男大空⑤	雁屋哲・池上遼一	340	5／20
がんばれ元気㉖	小山ゆう	340	5／20
ドロファイター④	村上もとか	340	5／20
おやこ刑事㉔	林律雄・大島やすいち	340	5／20
ズウ⑪	小池一夫・やまさき拓味	340	5／20
まことちゃん㉑	楳図かずお	340	5／20

集英社

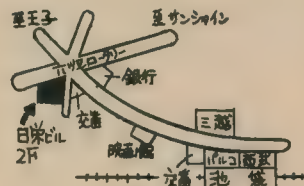
セブンティーンコミックス			
時にはまま父のように	滝川佳子	360	5／2
そっと愛	島津郷子	360	〃
ジャンプコミックス			
リングにかけろ⑰	車田正美	360	5／9
白い戦士ヤマト⑩	高橋よしひろ	360	〃
山崎銀次郎②	本宮ひろ志	360	〃
コブラ⑧	寺沢武一	360	〃
さわやか万太郎⑩	本宮ひろ志	360	〃
激!!極虎一家①	宮下あきら	360	〃
ジャンプスーパーコミックス			
いずみちゃんグラフィティー①	金井たつお	360	〃
りぼんマスコットコミックス			
まりのきみの声が…（前）	太刀掛秀子	360	5／15
キノコ♥キノコ⑤	みをまこと	360	〃
ぶ～けコミックス			
空の色ににている	内田善美	360	〃
ぼくの大好きなトウモロコシ	かじやまなおみ	360	〃
ヤングジャンプコミックス			
キャンパスクロッキー③	八潮路つとむ	360	5／20
哀愁荒野③	梶原一騎・松久由宇	360	〃
マーガレットコミックス			
愛がありますか？③	西谷祥子	360	5／25
裸足のスーパーギャル①	ひたか良	360	〃
かくれんぼキッス⑦	星野めみ	360	〃
土曜日の絵本⑥	川崎苑子	360	〃
月のひとしずく①	桂むつみ	360	〃
明日のヒーロー	槇村さとる	360	〃
ジュンの旋律	はにしな良子	360	〃
アウトローは笑わない	あき美★かお	360	〃
マーガレットレインボーコミックス			
かわいい女と呼ばれたい	佐山玲子	360	〃

奇想天外社

奇想天外コミックス			
伊達粋狂①	黒鉄ヒロシ	予480	5／下
コーシンくん（仮）	高信太郎	予550	〃
ぐうたらママ③	古谷三敏	予480	〃

若木書房

いきいきライダー 初恋ダッシュ！	松坂奈緒	370	中

芳文社

芳文社コミックス

書名	著者	価格	発売日
どくれ者⑤	田上憲治	480	5／14
けものへん①	神田たけ志	480	〃
[illegible]	瀧麻太郎 村岡栄一	480	〃
刑事ごろ	小森一也	480	5／28
赤い野獣②	勝目梓 かわぐちかいじ	480	〃
血しぶき牌	城野晃	480	〃

リイド社

SPコミックス

書名	著者	価格	発売日
漫才（MANZAI）やで	沼田清	450	5／9
いてまえ武蔵①	さいとうたかを	450	〃
さいとうたかをの劇画座招待席⑦青きイバラのトンネル	さいとうたかを	480	5／16

朝日ソノラマ

サンコミックス

書名	著者	価格	発売日
佐武と市捕物控⑬⑭	石森章太郎	予各350	5／中
シリーズ!/1000sec①	新谷かおる	380	〃
アタゴオル物語⑤⑥	ますむらひろし	予各380	5／下
ハロー！マリア①②	佐伯かよの	予各380	〃

少年画報社

ヒットコミックス

書名	著者	価格	発売日
ダンシングファイター②	司敬	370	5／中
若トラ⑨	さだやす圭	370	未

コミック

書名	著者	価格	発売日
ジタンヌ90①	川崎三枝子	480	〃
暮れ六つ同心①	ジョージ秋山	480	〃
OPE（オペ）①	園田光慶	480	〃

スタジオシップ

劇画キングシリーズ

書名	著者	価格	発売日
首斬り朝⑤	小池一夫 小島剛夕	490	5／中
バーボン警察	小池一夫 上村一夫	480	〃

オハヨー出版

別冊エースファイブ・コミックス

書名	著者	価格	発売日
よこみちいろ話（仮）	横山まさみち	490	5／8
おの・エントツ傑作集（仮）	おの・エントツとダイナミックプロ	490	5／9
ゆうきち笑激情②	山松ゆうきち	490	〃
独りくん（下）	永島慎二	450	5／11
ほえろ！竜(白球水滸伝)②	史村翔・作 蛭田充・画	490	5／23
海暴奴②	木村えいじ	490	5／25

日本文芸社

ゴラク・コミックス

書名	著者	価格	発売日
馬ぐそ③（完）	横山まさみち	480	5／25
狂乱横丁④	どおくまんプロ	480	〃

ヒーローコミックス

書名	著者	価格	発売日
いなかっぺ大将①	川崎のぼる	350	〃

立風書房

手塚治虫名作シリーズ

書名	著者	価格	発売日
リボンの騎士③④	手塚治虫・原作	各680	5／15

リップウギャグコミック

書名	著者	価格	発売日
ザ・まねき猫②③	かまちよしろう	各480	5／20

フラワーコミックス

書名	著者	価格	発売日
キャンパスカルテット③	井上恵美子	340	5／25
陽あたり良好④	あだち充	340	5／25
シグナル16歳②	古田久恵	340	5／25
PARTNER①	名香智子	340	5／25

てんとう虫コミックス

書名	著者	価格	発売日
おはよう姫子⑥	藤原栄子	340	5／28
ゲームセンター"あらし"⑤	すがやみつる	340	5／28
怪物くん⑥	藤子不二雄	340	5／28

マンガくんコミックス

書名	著者	価格	発売日
エリア88⑥	新谷かおる	340	5／2
ウォー・クライ③	竜崎遼児	340	5／2
岳人列伝シリーズ①南西壁	村上もとか	340	5／2

ビッグコミックス

書名	著者	価格	発売日
異色作品集⑮お仙	白土三平	480	6／30
釣りバカ日誌④	やまさき十三・北見けんいち	480	6／30
裂けたパスポート③	御厨さと美	480	6／30
弐十手物語③	小池一夫・神江里見	480	6／30
魔物語②	小池一夫・叶精作	480	6／30

小学館文庫

書名	著者	価格	発売日
のたり松太郎⑤	ちばてつや	380	6／20

少年サンデーコミックス

書名	著者	価格	発売日
ダメおやじ⑬	古谷三敏	340	6／20
がんばれ元気㉗	小山ゆう	340	6／20
ダッシュ勝平⑥	六田登	340	6／20
ドロファイター⑤	村上もとか	340	6／20
おやこ刑事㉕	林律雄・大島やすいち	340	6／20
まことちゃん㉒	楳図かずお	340	6／20
番外甲子園①	やまさき十三・内山まもる	340	6／20
スーパーライダー①	石渡治	340	6／20

フラワーコミックス

書名	著者	価格	発売日
ピコラ・ピコラ④	たちいりハルコ	340	6／25
KNOCK！②	川原由美子	340	6／25
真理子の日記①	丈月今日子	340	6／25
やさしさエンドレス③	藤田和子	340	6／25
上原きみこ傑作集①	上原きみこ	340	6／25

てんとう虫コミックス

書名	著者	価格	発売日
名たんていカゲマン⑩	山根あおおに	340	6／29
うわさの姫子⑯	藤原栄子	340	6／29
とどろけ！一番③	のむらしんぼ	340	6／29

マンガくんコミックス

書名	著者	価格	発売日
風の三郎④	小山ゆう	340	6／5
みゆき②	あだち充	340	6／5
青春アンツーカーシリーズ②ジャンパー	吉森みき男	340	6／5

よだれをたらしておもしろい原稿をまっているのだ……

原稿募集

※「会員募集」「情報コーナー」「閑話休題」「伝言版」「ホットライン」へは、備えつけの原稿用紙を使用して下さい。それ以外は没になるので気をつけて。
できるだけ短文でお願いします。(載る可能性が大きい)
●整理のつごう上、一項一封筒で応募して下さい。
●封書の表に「朱書き」で「○○係」と明記して下さい。応募規定外のものは全て没となるので、その辺よろしくね。

◎「私が読みたいのは〃この作者〃の〃こんな話〃なのだ」文

大島弓子さんにこんな話をかいてもらいたいとか、手塚治虫氏にあんな話はどーだというのを、より具体的により具体的に書いて送ってくれ。
この文も字数を200字に制限しよう。200字の中に自分の作家に対する思いをぶつけてみてくれ。例によって右欄外に「○○氏の○○○○という話を読みたい!」とゆーふうなタイトルをつけてくれ。
■〆切り・81年6月末日必着。■本誌9月号(7/25発売)で大発表!!

☆200字腹立ち文コーナー

最近、まんがについて腹の立ったこと、まんが家に対して、出版社に対して、本屋さんに対して、はたまた電車の中でまんがを読んでる読者に対して、まんがに関すること何でもに腹の立った事を200字の原稿用紙にぶつけてみてくれ。応募については201ページの「200字映画批評」の項目を参照してくれ
■〆切り・毎月25日必着(それ以後到着のものは次号まわし)

◎「読者の今月の話題作」文 —それに「まんが月評」

読者の今月の話題作を本格的に募集します。これは本誌とじこみの原稿用紙をつかってくれ(一行17字詰め)。10行以上25行以内で。一作品一原稿用紙で。右欄外に記述する作品の題名を。その作品のカット(コピイ)を同封してくれるとうれしい。
■〆切り・毎月25日必着(それ以後到着のものは次号まわし)

★あわせて「まんが月評」を毎月一篇募集します。200字原稿用紙7枚で「月評」を送って下さい。締切は毎月月末。

★文掲載者には掲載号をさしあげます。

特製原稿用紙

お名前　年令　住所・その他

まんが月評②

コミックスレビュー番外編・その１

ヤアヤアヤア！プロレスがやって来た

高宮成河

でたあ〜〜っ!! 天下の32文ロケットキック!!

おじんくさ〜

▲ラリアント馬場／『スポコミ』一道社

プロレスが表通りを少しはずれた路地にある薄暗い古本屋のようなワクワクするウサン臭さを失って、現在のような派出なものになったのはいつ頃からだったろうか。村松友視サンが書いているように、かってプロレスというものは部屋の電燈を消した暗がりのなかで白黒テレビのチラチラする画面を見つめるような、そんなものだった。プロレスとはいかがわしいものであり、あんなものは歴とした人間の見るものではないという世間の上の方の雰囲気を感じながら、それでもぼくらは学校で昨日見たヘイスタック・カルホーンの巨体を、フレッド・ブラッシーの卑法な噛みつきを、デストロイヤーの四の字固めの威力を話しあっていたのである。いくらタイトルマッチをやろうとTVのスポーツニュースは天から無視して、そんなことはヨソの世界のことのような顔をするし、新聞のスポーツ欄には野球やボクシングのことしか載っていない。野球ファンやボクシングファンの連中はプロレスと聞いただけで露骨に呆れた顔を見せ、「あんなモノを見て何が面白い、あれは八百長なのだ。その証拠にさゃんとした新聞はプロレスなんか無視しているではないか」と、自己の良識を開陳するのだった。野球やボクシングを支持する連中の了間の狭さに噴然としながらも、だが確実に金曜日の8時にプロレスは姿を現わした。

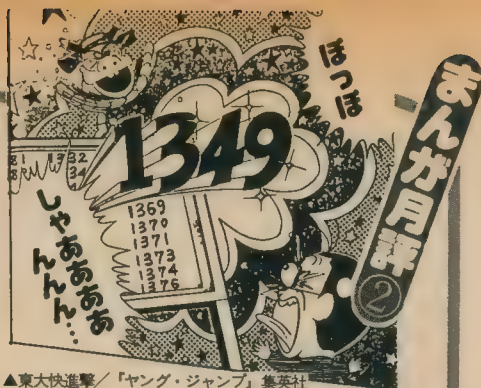
フィリップ・ロスが書いているように野球とは開かれたスポーツである。アメリカ人の朝の会話は昨日のゲームのことから始まるのだろう。だがプロレスはそんなにアッケラカンとしたものではない。プロレスとはウサン臭さやいかがわしさのなかで、かろうじて展開されているものをひたすら見続ける優れて個的な作業を強いる時間のことなのだ。プロレスから、見えることを見たことに変換する作業を強いられて、見た人はプロレスに対して個的になっていく。野球の解りやすい開かれ方に比べてプロレスは、それを見た個人の内側に閉じていくものだと言えるだろう。だから客観報道や公式見解を旨とするTVのスポーツニュースや一般紙にプロレスは登場しないのであり、登場しえないからこそプロレスは、派出になりショー化したとはいえ、ゴングからゴングまでのリングの上の時間はプロレスなのである。

こういった事情は当然のことながらプロレスまんがにも反映する。無論、リングで肉体を使ってその場でつくりあげていく実際のプロレスと違って、それを素材にして新たにまんがに仕上げるそのことによってプロレスが現前するという訳のものではない。現在までにプロレスまんがとして出されている方法は二つの系統に分かれる。ひとつは、実際のプロレスをなぞるもの、ひとつは、プロレスに対する批評意識によってプロレスをギャグ化するものである。前者のオーソドックス系列はゾロゾロあるのだが、後者の方はそんなに数多くはない。その数多くない最新版が、スポコミというこれも怪体でいかがわしい誌名の創刊号に載った**『ラリアント馬場』（新田たつお）**である。さほど新しいとは思えぬ、かつてしおのヨシノリが描いたパターンに近いこのまんがが面白いのは、馬場が杖をつきながな32文キックを放ち、その場面に大きく描き文字で〝おじんくさ〜〜〟と入れるようなものとして馬場のプロレスを見ながらも、そう見た馬場のプロレスの方に猪木のプロレスよりも愛着を示し、肩入れをしているところなのだ。全日本と新日本、馬場と猪木という二つのキャラクターを漫才に見たてて猪木のツッコミに馬場のボケというパターンで、馬場のプロレススタイルを茶化してギャグ化する新田たつおのプロレスを見る目がつまりは彼におけるプロレスだと納得させるところがプロレスまんがとしての『ラリアント馬場』が面白い理由なのである。

〔1981・5・7〕

▲東大快進撃／『ヤング・ジャンプ』集英社

少年・元気の引退と東大通の暴走

高取 英

12月も終る頃、友人が、新宿西口で、元ボクサーがシンナーを売っているのに出会ったという。彼は、客にシンナーを売る際、ほんの少しを自分のために取るのだった。

栄光のあとにくる幸福が永久に続くものではない。

「がんばれ元気」（小山ゆう）が完結した。石田ともこが、関vs堀口戦の直前に涙を流し、堀口元気の死を予感させたが、物語は、元気が関にKO勝ちするハッピー・エンドとなった。父の仇を討った堀口元気は、芦川先生を抱くこともなく、おじいちゃんとおばあちゃんの元に帰った。怒りとやさしさを極端に表わす二重人格の元気は、二重人格者ではなく、実は、父が死んだ時に成長がストップした〈少年〉だったのである。

かくて、「がんばれ元気」は、矢吹丈と白木葉子のプラトニック・ラブを超えることが出来なかった。『プレイコミック』に連載中の「雨の朝サブは！」（原作／梶原一騎 絵／下條よしあき）では、サブは、火鳥を抱いた。しかし、この亜「あしたのジョー」においても、火鳥は、幸福の絶頂の後に、死ぬ。白木葉子の悲劇は、ここでも貫かれているのである。

まもなく、元東洋バンダム級チャンピオン青木勝利が逮捕された記事を読んだ。栄光のあとにくる幸福が永久に続くものではない。具志堅の敗北ではなく青木の逮捕に、三島栄司の敗北を重ねあわせながら、ここでは、かつてエロ劇画誌に描いていた頃より数段絵の上達した下條よしあきに拍手を贈りたい。

「花びら便りとどいたら」（深沢かすみ『週刊マーガレット・増刊』）は、初潮を向かえる小学生の微妙な心理を描いている。僕は、少女を人形の一種のようにあつかう凡百のロリコンたちに対して否定的だが、この作品の中で、深沢は、先生を恋する少女のゆれ動く心理を〈おんな〉として描いている。ポルノ雑誌を少女にみせ「先生だって同じことをするんだぜッ」という男子生徒に対して、「先生はしないわよッ」と叫ぶ恋する少女の叫びは美しい。少女は過激である。

「綿の国星・毛糸弦」（『LaLa』）に登場する猫になりたい少女・美柑のエピソードは秀逸。

「少年は海を前に、あらゆる冒険を夢想するのに、少女は喫茶店のTOILEの汚物缶のフタを開け、人生の終りを覗いてしまう」（唐十郎）という言葉は、そろそろ色褪せてきたようだ。美柑は、猫を前に、ひとつの冒険を夢想したからである。

冒険できなかったのは、芦川先生であり、石田ともこや、美柑は違う。

「東大快進撃」（小林よしのり）では、われらが東大通がエスパーへと変装し、かつて、『劇画アリス』で、僕が予言したように、東大解体へ向けて、赤門をくぐろうとしている。その迫力は凄じいものである。

単行本では、**吉田光彦「ペダルに足がとどく日」**（けいせい出版）に収録されている**「フリ子の家出」**が2色ページを巧みにあつかい、「ぬりえ」少女のその後を描いている。この本の**「春の雷」**は、2・26事件を背景に、叛乱兵士と学生のホモセクシュアルな関係を描いている。吉田光彦は、版画家でもある特異なイラストレーターで、その世界は、大人の目で童話をエロティックに再生させるものが多い。注目すべき作家である。

安西水丸「青の時代」（春林堂）は、抒情詩集のようでもある。その昔、『ガロ』読者欄において貧乏主義vs面白主義論争が展開されたが、面白派のひとりとみなされた安西水丸の抒情は、この論争を軽く凌駕している。

平口広美「白熱」（けいせい出版）に収録された作品群は凄い！この作家を四畳半のドストエフスキーとして論じたことがあるが、「**剝ぐ！**」と「**微笑**」には、平口広美のラスコーリニコフが登場し、暴れまくる。赤瀬川原平の弟子である平口の真骨頂は、この単行本の口絵にある。

最後に吉本隆明の娘で活躍中の少女マンガ家とは誰か？

まんが月評②

何もかも他人事ではありませんわ

行森夏子

▲ひるね新聞／『週刊朝日』

まんがそのものに何かお手伝いできるとは思っていませんが、月評をおおせつかったので、ちょっと書かせていただきます。ただし全てのまんがに目を通しているわけではありません。

いしいひさいちさんが、『週刊朝日』に**『ふてね新聞』**を連載しています。5/8号の作品が近ごろめったに笑わない私を、むちゃくちゃ笑わせました。原子力発電所の放射能もれをひたすら無視しようとはかる人々が、裏山でとれた魚（しかも、4本の足を持つ）の、疑惑に満ちたまなざしで言い放つ「おら、知ってるだ」という言葉に、とまどっているというまんが。本来、海にいるはずの魚が、自衛のために山にいること、しゃべるはずのない魚が発言すること、調査報告をする人、聞く人のとぼけてなお深刻な表情、と、おかしかった理由はいろいろ挙げられるけれど、何かいっても、事件そのものの背後にある事情を笑いにかえて、さりげなく、糾しているいしいさんの眼なんだろうと思ったのでした。これに限らず、最近のいしいさんのまんがは、とってもおもしろいみたい。

『ぶーけ』で連載中の**水樹和佳**さんの**『月虹—セレス還元』**、『プチコミック』で連載の**森脇真末味**さんの「おんなのこ物語」が、毎回楽しみです。前者は百年先の地球の状態についてかなり研究したに違いないと思われるので、「地球を分解しセレスを還元する」という、まだはっきりとはその全貌を現わさないテーマよりも、未来の地球に対する作者の見方の方についつい興味をもってしまう。それは、そのまま、作者が抱いている現在の地球規模で進行中の汚染への危機感であったり、何よりも人間の精神の荒廃への危具——そもそもSFというのはこれまでにたくさんの作品がくり返しそのようなことを警告し続けてきたのだが——この「月虹」には、かなり露骨な意見が語られているようです。それを単なる「お話」上の設定、と思いたい人は、どうか思い直していただきたいと思います。全ての人が、地球型生命体として同胞であることに気づかない限り、大気と大地と水を汚染し続けるその手が、人類ばかりか地球そのものをダメにすることはまちがいないのですから。

森脇さんの方は、タイトルとは裏腹に、「緑茶夢シリーズ」でほのめかされていたかつてのロックグループ「ステッカー」の崩壊の次第が、ドラムの八角京介の思い出話として語られていて（どこが『おんなのこ物語』なのか、ようわからんけれどおもしろい）個性の強い、主観も個々に異なる数人が、一つのグループを維持していくときのむずかしさをとてもていねいに描いてあるので、（じつは他人事ではなかったりする…あら、あなたも？）毎回新鮮なショックを感じる数少ない連載のひとつです。それに「ロック」をきちんと描いてあるのには頭が下がってしまう。「ロック」音楽とは、耳にだけ聞こえるものでなく、まし メイクアップや特異なステージアクションのみではありません。 分を自分にあらしめる切なる願いの結果なのであって（いや現在進行形でもある それはまたロックに限らないのだということも申し添えておきます

自分を活かしたり殺したり、若いうちはとくに、自分自身につき合うのも忙しく、あるいは自分が恐ろしくてならず、そのくせ自分以上のものをあるがままの自分と錯覚することもある人間の、そのホントの気持ちをうかがい知ることのある作品、そういうものにかぎりなく心魅かれてしまうようです。

『ポップティーン』5月号の真崎守さんの**「余花」**にある「先天的感傷過多症で閉鎖志向自己埋没型の空前絶後のバカタレ!!」という言葉を忘れないようにして、また、私はまんがをみるのです。

まんが月評②

「はみだしっ子」が終わるという話ですが……

▲はみだしっ子／『花とゆめ』白泉社

馬淵祥子（読者）

今、ネコがヒザの上でねています。「はみだしっ子」が終りに近づき、あんなこみ入った話、どうやって始末をつけるんだろう? と考えたのも、いらぬ心配だった様で、今まで出て来た伏線を一つづつ消化しながら、意外な方向に話を進めてるみたい。

なにしろミス・フェル・ブラウンが、グレアムの目論見通りに「死ね」と言ってくれなかったんだよね。

計画が空回りに終ったため、グレアムは自縄自縛におちいってしまったんだ。

それは、ミセス・シグナンに対して、グレアムが投げかけたのと、そっくりの言葉だったから、グレアム自身の思いの全てが、彼自身の思惑とは関係なく、拒否されてしまった事によって、よりいっそう悩み込んでしまったんだね。

それは、世の中が決してグレアムの思い通りにすすんで行くものではなく、彼がまだ、子供でしかない事を思い知らされる時だったんだな。

グレアムは、マックスがギイを殺した事の身代りとなって名乗り出れば、フェル・ブラウンは、喜こんでギイの優しゅうを果たすだろう…という目論見が、4年間という時間をおいたためにフイになってしまった。

もうフェルの中に、ギイのいない世界が形成されており、ギイ自体の存在感も、彼女にとってはすでに絶対的なものではなくなっていたんだね。

ギイが殺されたという事件に対しても、事故だったと考える人もいれば、それに対してどうでもいい、と放棄する人もいた、という事を思い知らされたため、グレアムは、決定的なダメージを味わった訳。

それは、ジャックとパムの出現によって、グレアムが彼ら4人の船長ではありえなくなった事を悟り、せめてあの事件だけは、船長として始末をつけようとしたのに、それも出来ない、と言う事を思い知らされたための決定的なおちこみだったのね。

さらに、クークーが死んだ事をサーニニに言えなかった自分の憶病さえの、ジレンマもあると思うの。

グレアムは、あれでもけっこう感情の振幅が激しい人で、でもそれを自分の中にしまい込む事によって、それをおさえていたわけでそれで、その感情のおさえ方というのが、ぼくは4人の船長という義務感からでほんとは、こんな後ろめたさからはオサラバして、一人でどこかに行ってしまいたい、なんて思っているわせ。

だからグレアムは再び自閉症の一歩手前まで行ってしまったんだよね。で、結局ダナの胸に逃避するわけなんだけど、グレアムは、ダナという、ただ愛して抱きしめてくれるだけの存在の手によって、船長ではなくなってしまったけれども、グレアムは、グレアム——ふつうの男の子——になってもいいと、気付くんじゃないかな? どんなもんでしょう?

ところで、三原順って、15才以上の主人公、書いた事ないんじゃないかな? だから、とつぜん止めると聞いた時、やっぱり成長しちゃったからかな、と思ったんだよね。

最近気になる漫画家ってあんまりいないんだよね。でもその中で、一番気になるのは**いしかわじゅん**さんかな? **「パンクドラゴン」**の頃から読んでるけど、最近だんだんボルテージが上がって来てるみたい。「約束の地」は終わってしまったけど、なんかこう、シャープになったというか……んー、うまく言えない、だけど、理くつぬきに面白いんだよね。どっかで写真見たけど、すごく詩人みたいな、いらゆる「いい顔」してるのね。

あの顔からあのマンガが出て来るなんて…信じられない! 天才でしょうね、彼は。何の事ない話しでも〔失礼〕すっごくしてしまうんだものね。

来月はいしかわさんの特集だそうで、楽しみにしています。昔のあたしなんかが知らない作品なんて、再録してほしいな。

あ、ネコが起きた、それでは……

現代作家列伝①

抽象度の深化について

十年間で途方もなく屈折した表現の領域へ突出してしまったつげ義春

権藤晋
（漫画主義同人）

　つげ義春のここ二、三年の作品群のいくつかを見ていて私が抱くのは、十年前ではおよそ想像だにしなかったと思われる、途方もなく屈折しそ表現の領域へ突出してしまったという印象である。いうまでもなく、これらのつげの〝最近作〟は、「沼」以来の、あるいは貸本マンガ以来の延長線上に確実に位置づけられはするけれども、「沼」以降の精力的に創作を続けていた一時期のつげ世界とは、その表出姿勢において、さらに方法論においてある種の移動が顕著である事実を見逃すわけにはいくまい。当然のごとく、それは十数年という作家としての年輪を重ねた結果に起因しないこともない。だが、私は、つげの転位をもう少し違うところに求めたいと思う。劇画表現の退化現象が露出している現在、つげは、であればこそ、より意識的に表現行為にこだわり続けているのであり、こだわり続けることによって、現在のマンガ、そして劇画状況から解放されているのだといってもいい。

　いまここで、私が問題にしたいのは、「外のふくらみ」「夜が掴む」「必殺するめ固め」「コマツ岬の生活」「ヨシボーの犯罪」「窓の手」等の、いわば〈夢〉世界を扱った作品ではあるけれども、以上の作品が内包している厳しい問いかけは、作者個人に還元されるべき性質のものではなく、今日の〈表現〉総体に多くの示唆を与えないでは おか ない性質のものであろうと思われる。

　具体的に個別の作品に当ってみたい。「必殺するめ固め」（『カスタムコミック』一九七九年七月号）は、一見喜劇仕立てではあるけれども、形態的な本質はナンセンスなドラマである。とはいえ、ナンセンス性を目的として描かれたわけではない。ただ、話自体、作者が実際に見た夢を媒介に作品化していることを理解すれば、納得がいくだろう。土台となった夢は、「夢日記」と題してすでに公表されているので（『つげ義春とぼく』晶文社刊）、若手の引用をしたい。

　「かくれ里のような静かな農村。実在する家々の庭には露天の温泉が湧いている。その温泉は地中でもぐらの穴のように、村中の家の温泉とつながっている。

　林の中を村人がゆかたを着て、盆踊りのときのように、にぎやかに散歩している。私と妻（肉感的な見知らぬ女）もゆかた姿で夕涼みに出る。」

　このあと痴漢が現われ、妻を横取りしようとするので争いになるが私は元プロレスラーの痴漢にスルメ固めをかけられ、身動きできなくなってしまう。這って家にたどりつくと妻が痴漢に犯されており、自分は布団に入って絶望的に眺めている。妻は男と世帯をもつもりか新妻らしいしぐさをみせはじめる。痴漢は刑事に逮捕されるが、じき逃げて、再びどこかの家の露天風呂にひそんで次の女を犯す魂胆でいるらしい、というところで「夢日記」は終っている。

　文章で綴れば、誰しもが見る夢の範疇を一歩も越えるものではない。そして、「夢日記」を読んで私たちが想像する画像は、極めて日常的なリアルなものに止まるであろう。ところが、つげは、表出過程で、夢の特性としてあるストーリーの飛躍を画像においても飛躍させたのである。そのとき、「夢日記」と「するめ固め」は別々の固有のものとして出自する他はない。「夢日記」は体験的な夢そのものでしかないけれども、「するめ固め」は画像を獲得することによって、〈表現〉へと自づから転位したのである。である以上、本質的には、「夢日記」と「するめ固め」を混同してはならない。〈夢〉の作品群を読んで、「夢日記」に描かれてあったのを無防備に作品化したとだけ捉えるのははなはだしい誤解に違いない。さらに言えることは、テーマ主義とは無縁の作品であるがために、「観念的」と映り兼ねないが、つげの志向はそんなところにはない、と思える。

　「するめ固め」の絵は、写実からは程遠いなんとも稚拙な絵で展開される。それは、作者が夢の再現を意識したからかもしれない。けれども、この場合、夢の再現とは、夢の右から左へ

の転写を意味してはいない。むしろ、夢の再現は、新たな想像力への昇華であるといってもさしつかえないように思う。
　右に引用したカッコ内の部分に即せば、すでに私たちの観念に存立する〃日本的〃なといってもいい「かくれ里のような静かな山村」はどこにも描かれておらず、あたかも江戸時代の古い感覚に支えられたかのような奇妙な情景が描出されるのである。そして、この際、稚拙をよそおった描法が、〈夢〉的なドラマツルギーの空間処理として最も適しているかどうか、ということは問題ではない。
　もうひとつ「コマツ岬の生活」（『夜行』一九七八年六月）に触れておきたい。若夫婦がガランとした広い部屋でテレビに向きあっている。彼らがみているのは〃コマツ岬の生活〃と題された海女の生活のドキュメントである。蟹とりをする海女の煽情的な姿体がクローズアップされたりするのを二人は歓声を交じえながらみているが、いつの間にか夫が画像の中に登場し、ズボンのすそをまくり上げると海に入いる。そして「ひゃッ、ちめたい」といったセリフをはく。
　この作品は、「するめ固め」以上に極端に描線を俳して描かれている。そのゆえに全体は白昼夢のごとき印象を伝えているが、（とはいえ、「するめ固め」も「コマツ岬」も女の煽情的シーンではつげ義春独特のリアリスティックな描線が突然現出する）それもまた一見喜劇性を帯びたナンセンスな物語として構成されている。
　現在、劇画の多くは加速度的に〃リアリズム〃に接近している。それは、いってみれば言語表示への楽観的な依頼に依拠しており、そこから派及して〈私性〉を憶面もなく露出する。つげの作品群は、これらとは明らかに対立するものとしてある。いうなれば、〈夢〉を媒介にしての言語からの飛躍である。それは、結果的には、抽象度の浄化であり、作品として難解度の増大をともなう。「沼」や「ゲンセン館主人」等の名作では、つげの思想が、リアルな絵をともなって直接的な訴感を表示していたが、〈夢〉の作品群は、訴感からも解放されている。かつてのつげは、言語領域から〃存在の探求〃を試みていたが、最近は、絵が専有する自在さから追求しているのである。
　ともかく、非現実的なドラマを、構成と描法によって現実に置き換えるというのは、困難な作業であると同時に、孤立を強いられる。「するめ固め」や「コマツ岬」等々がユーモラスな展開とは裏腹に、〈孤独感〉を見事に伝えているのは、構成力と描出力によっている。そして、いま劇画にとって、つげ作品ほど内面的な〃攻撃性〃を感じさせる作品はない、と思われる。

つげ義春（つげ・よしはる）

1937年10月31日、東京都葛飾区生まれ。本名、柘植義春。葛飾区立立石小学校卒。中学校へはいかず、メッキ工場などで働く。53年、若木書房の単行本「白面夜叉」でデビュー。以後、若木書房「迷路」や三洋社「忍風」などに、劇画を描く。66年から67年にかけて「ガロ」で発表された、「沼」「チーコ」「山椒魚」「李さん一家」「峠の犬」「海辺の叙景」「紅い花」などの作品に描かれた、リリシズムが注目を集める。68年「ガロ」に発表された「ねじ式」は、まんが界にショックを与え、つげ義春ブームがまきおこる。「情念のまんが」「不条理まんが」などと呼ばれる。以後、人間の心にひそむ情景を、毎年数本ずつ描く。代表作に「ねじ式」「紅い花」「夢の散歩」「やなぎや主人」「大場電気鍍金工業所」「リアリズムの宿」「義男の青春」「沼」「夏の思いで」。著書に「つげ義春とぼく」、「流れ雲旅」などがある。まんが家、つげ忠男は実弟。

この技にかかったものは、するめいかが、火の上でそり返るように、巻かれてしまうのだ。
もちろん、歩くことも口をきくこともできない。
ズズズ

▲必殺するめ固め（カスタム・コミック）

▼コマツ岬の生活（夜行）

現代作家列伝②

〃情感〃について

〃生活〃を凝視した先のメロドラマ
——戸峰美太郎

権藤晋
（漫画主義同人）

ビックコミック受受賞作家である戸峰美太郎の作品が二冊にまとめられて刊行されたことは、私にとって数信ない吉報のひとつであった。私はもともと『ビックコミック』誌に対しては不当な偏見を堅持しており、〃ビックコミック賞〃そのものについても興味の対象外でしかないけれども、戸峰作品に関する限り、偏見を捨てることにやぶさかではなく、いまから四、五年前にも一、二度戸峰作品を推挙したことがある。

戸峰作品は、女と男の出遇いと別れを描いた純然たるメロドラマである。と一口に言い切ってしまっていいのかもしれない。十四、五年前流行した森進一、青江美奈、美川憲一らの歌をベースにつくられた東映の〃旅の歌謡シリーズ〃の現代劇画版と呼んでもよさそうな雰囲気さえ感受され、およそ時代錯誤的な古風な作品と受けとられ兼ねない。そういった意味では〃ビックコミック誌〃の傾向おら幾分逸脱しているとみえなくもないのである。

さて、かつて「神鷺」という作品で受賞した際、選者たちが価置基準をどのあたりに絞っていたかというと、〃情感〃といういわば心情的側面においてであった。私もまた、戸峰作品がかもしだす〃情感〃に好感を抱いている。では、戸峰は、〃情感〃を出すためにエネルギーを費しているかというと、そんなことはないと思う。〃情感〃とは　単に結果であって、目的ではあり得ない。

たしかに、戸峰作品のように、女と男の出遇いと別れを創作する上で、〃情感〃はある程度必然的に派生するものである。だが、現在も女と男の物語は数十、数百と毎月各彰に発表されているけれども、そのほとんどは〃情感〃が欠除したままである。戸峰作品の主人公たちが女性であるがゆえに、〃情感〃がより身近にあるのだ、という見解は、問題にもならないだろう。

戸峰以上の技量をもった作家はいくらでもいる。もう一人の〃ビック賞〃作家である一ノ関もの〃絵画力〃は、戸峰と比較にならぬほどうまい。そして、一ノ関は、そのたくみな〃絵画力〃を駆使して、〃情感〃を出そうとつとめていることが作品からありありとうかがえるが、結果的にはすべて失敗している。つまり、一ノ関の場合〃情感〃とは、結果なのでなく、目的なのである。そこで〃情感〃を出せる、出せないは〃絵画力〃の巧拙の問題ではないことが一層明瞭となる。

したがって〃情感〃は、ただ作家の個性、あるいは感性に帰するものと見做していいのかもしれない。だが、私はそういう考えをとらない。

戸峰作品の女性たちはすべて〃いまわしい〃過去を背負っている。そして伏目勝ちである。さらに寡黙であり、そのゆえに一様に、みずからを〃薄幸の女〃と決めつけているふしさえみられないではない。当然、彼女らの男との出遇いは、別れを導く。戸峰作品のドラマは、いってみれば、テレビの人生相談でよくみかける〃愛憎問題〃の主役たちの生き方とそう隔ってあるわけではない。ストーリー展開だけをつづれば、ひたすらジメジメした印象のみが残るに違いない。にもかかわらず、作品全体からは、きわめて健康なといってもいい清潔感が漂ってくるのである　たしかに、主人公の一人である聖子は、陰気である。その陰気さが、清潔感につながっているのだといえば、余りに強引すぎるだろうか。

戸峰作品の出色は「水のない花瓶」であると思う。聖子の夫は、若い娘と恋愛関係にあり、塑子ば結婚わずか二年で孤独に陥らなければならなかったが、その原因はといえば、聖子の存在自体にあったのだともいえる。そして聖子も絵画きの青年と知り合い、彼の下宿で一夜を明かす。青年は、聖子との結婚を決意するが、彼女は一通の置き手紙を残し、雨の中を立ち去る。こう書けば、それこそよくある三角関係、四角関係の話ということに落ち着く他はない。私が注目したいのは、ストーリーの起承転結などではない。夫やその恋人、聖子や青年の心情が、可不足なく絵によって表現されているからである。彼ら四人の心理の動揺が、ち密なコマ割りと嫌味のない絵に置き換えられているからである。こまかいことをいえば、表情のひとつひとつは勿論、彼らの体の動き、髪型、衣服にいたるまで、神経の行き届いた配慮がうかがわれる。これは、最早、センスが良いなどということとは違うだろう。聖子の孤独を描出するためのそれは最低限の表出行為であるうからだ。

清潔感を保持し得ているのは、嫌味のない絵

柄が第一要因にあげらわるが、では、嫌味のない絵とは、そもそもなんなのか。美じい、上手い絵などとは本質的には異なると思う。視座、視点の問題、認識の問題なのではないだろうか。工峰作品が、ありきたりのメロドラマに堕していないのは、〃生活〃を凝視する視座が用意されているからである。お涙丁戴に流されずにあるのは、哀しい物語か、現実であることを熟知しているからである。別に、私は、作者が体験からそれらを獲得したのだろうと思っているわけではない。聖子をはじめとする登場人物の弧独を他人事とは捉えない思想の持主であるというにすぎない。まさに、嫌味のない絵とは、芸術感覚の問題などではなく〃生活〃感覚の問題なのた。

ところで、戸峰作品に接していて、みやわきしんたろうのラブロマンスものを想起していた。

理由は、みやわきの作品もまた女と男の出遇いと別れを描いているからだ。みやわき作品の絵柄もそれほどの嫌味はない。だが、読者の心を衝く何ものも感じられないのだ。それこそ、哀しい別れが、絵空事のように展開されているだけづあり、少し酷ない方をすると哀しい別れをもて遊んでいる風でさえある。本当のところ作者にとって、登場人物の行方などどうでもいいのかもしれぬ。ことわるまでもなく、それは〃生活〃感覚の欠除を意味する。十二、三年ほど前、つげ義春は「海辺の叙景」を画いた動機を、当時、永島慎二とともに圧倒的に支持されていたみやわきの青春ものへの反発にあったと語ったことんある。その発発とは、みやわき的青春像、恋愛像は、「嘘だ」という確信に由来する。確信とは〃生活〃の視座から生まれる。「海辺の叙景」の青年は、快活な少女の眼前で孤立する以外になかったわけである

ところで、戸峰作品に危惧を感じないわけでもない。なぜなら、聖子がパターン化した心優しい人間像へと転身しない保証はどこにもないからだ。「虹を渡る少年」「夏の日の燃えがら」では危うく人情噺に転落するところである。聖子といえども、フヤけた中流意識に足をすくわれてしまうのだろうか。であるなら、聖子にとって〃終戦後の浮浪児時代〃、そしてその後の辛酸はなんであったのたろう。戸峰作品が現代風の人情噺に移行した時〃孤独〃も〃嫌味のない絵〃も消滅しているものと予見される。

戸峰美太郎（とみね・よしたろう）

1941年５月４日、大阪市旭区生まれ。本名、同じ。70年、「神鷺」で第四回ビッグコミック賞受賞。以後、男と女の関係を描いた佳編を『ビッグコミック』を中心に発表する。「ひとりぼっちの絆」「こぬか雨」「夜が呼んでいる」「鏡の中で」など、女性を主人公にした短編が多い。代表作に「片桐聖子シリーズ」などがある。

「木のない花瓶」
ビッグコミック（小学館）

「神鷺」
ビッグコミック（小学館）

なるるぶっくす最新刊ご案内

あなたも自分の本を作りませんか

あなたの作品を単行本に!!

一冊の本は一つの世界。
あなたの世界を1冊の本に
結晶させてみたいのです。
あなたの大切な作品を
単行本で出版するシステム。
どうぞ　お気軽に
ご相談下さい。

	書名	著者	
発　売	ストーリ特集号QUEEN 4	QUEEN　書	000部限定　定価650円
発売中	飛鳥幸子の世界・1	飛鳥幸子PT書	000部限定　定価850円
発売中	キッスをください!	時松早苗　書	1000部限定　定価880円
7月7日	飛鳥幸子の世界・2	飛鳥幸子PT書	000部限定　定価880円
発売中	アモンとアスラエール	坂田靖子　書	000部限定　定価880円
発売中	飛鳥幸子の世界・3	飛鳥幸子PT書	000部限定　定価850円
7月7日	夜　来　香	久掛彦見　書	1000部限定　定価880円
執筆中	金　糸　雀　心　中	みさきあきら書	000部限定　予価　円
執筆中	あなたに片想い	樹崎真美　書	000部限定　予価　円
執筆中	海の底で唄う歌(仮題)	芳村紫苑　書	000部限定　予価　円
執筆中	シャムサード・ナーメ	高光　望　書	000部限定　予価　円
執筆中	ウインド・オブ・チェンジ(仮題)	竹田やよい書	000部限定　予価　円

株式会社 ナール
事務所　工場　東京都板橋区大山町11-6
〒173　電話03(959)5581(代表)
お問合せの全てには必ず電話番号をご記入下さい。

なるるぶっくすは書店にはありません。㈱ナール又は発行元でお求め下さい。

☆下記発行物に関してのお問い合わせは必ず返信用60円切手同封の上でお願い致します。

グループ・ルナ・シティ作品集

MooNY MooN 1

グループ・ルナ・シティ著
A5版　200P
¥880-

イ・S・士門、坂田靖子、久掛彦見、嶺愁麻、夏木えみ、波津彬子、篠原のん、他による短編作品集

お問い合わせ先
〒248 鎌倉市腰越1601−13
竹谷方気付
LUNAR-CITY-PRODUCTS

NARURU BOOKS 6
5月5日発行

らっぽり合体仁侠号 兄弟仁義

5月15日発行

B5版 76P (B6版 56P 付録付)
¥700-

橋本多佳子、波津彬子、坂田靖子、花郁悠紀子、他にゲストとして森川久美、青池保子氏を加えての大迫力仁侠合作巨編!!

お問い合わせ先
〒920 金沢市笠舞3丁目
11 14 らっぽり事務局
波津　彬子

夜来香(イエライシャン)

久掛彦見 著
A5版　200P
¥880-

収録作品:
夜来香、藍の寓話、TOKYO JOE
湊町レビュー、水落物語、スキャンダル
蘇州夜曲 他(描きおろし2編)

お問い合わせ先
〒248 鎌倉市腰越1601−13 竹谷方気付
LUNAR-CITY-PRODUCTS

NARURU BOOKS 8
7月7日発行

各誌の次号予告

☆発売日スケジュール表

編集部よりまんが家を目指す人へ

日・曜	少女・女性まんが誌 週刊/隔週	少女・女性まんが誌 月刊/隔月/季刊	少年まんが誌 週刊/隔週	少年まんが誌 月刊/隔月/季刊	青年誌 週刊/隔週	青年誌 月刊/隔月/季刊
5/25 月			少年ジャンプ		ビッグコミック	漫画ボン
26 火	セブンティーン	ぶーけ		リュウ	漫画サンデー	
27 水			少年マガジン／少年サンデー		漫画アクション	長編漫画傑作集
28 木		DXマーガレット			ヤングジャンプ／プレイコミック／ヤングコミック／リイドコミック	漫画コミック
29 金	マーガレット		少年チャンピオン／少年キング		漫画ゴラク／漫画TIMES	
30 土		ラブリーフレンド				プレイコミック／ガロ
31 日						
6/1 月		プチコミック	少年ジャンプ		ヤングマガジン	
2 火	セブンティーン	ヤングレディ			ビッグコミックオリジナル／漫画サンデー	
3 水		ちゃお／りぼん／なかよし／ひとみ	少年マガジン／少年サンデー	冒険王	漫画アクション	
4 木		フォア・レディー			ヤングジャンプ／漫画パンチ／漫画エロトピア	
5 金	マーガレット／プチセブン／少女コミック／花とゆめ	BE LOVE	少年チャンピオン／少年キング	少年チャンピオン	漫画ゴラク／漫画TIMES	ジャストコミック
6 土		プリンセス		少年ジャンプ／少年チャレンジ／少年マガジン		別冊漫画大快楽／官能劇画
7 日						

日付	曜日					
8	月			少年ジャンプ			
9	火	セブンティーン				漫画サンデー	
10	水			少年マガジン/少年サンデー		ビックコミック/漫画アクション アクション・スーパー・フィクション	
11	木					ヤングジャンプ/プレイコミック ヤングコミック/リイドコミック	
12	金	マーガレット		少年チャンピオン/少年ビッグコミック/少年キング		漫画ゴラク/漫画TIMES 別冊漫画アクション	
13	土		マーガレット 少女フレンド 少女コミック		コミックトム		
14	日						
15	月			少年ジャンプ	コロコロコミック	ヤングマガジン	ビッグコミックスピリッツ
16	火	セブンティーン				漫画サンデー	
17	水			少年マガジン 少年サンデー		漫画アクション	
18	木		なかよしDX			ヤングジャンプ ビックコミックオリジナル 漫画エロトピア	漫画サンデー
19	金	マーガレット		少年チャンピオン 少年キング		漫画ゴラク 漫画TIMES	
20	土	少女フレンド/少女コミック/花とゆめ					
21	日						
22	月			少年ジャンプ	少年ポピー		漫画スカット エロトピアデラックス
23	火	セブンティーン				漫画サンデー	漫画大快楽
24	水		セブンティーン/MiMi ハローフレンド/ポニータ LaLa/プチコミック	少年マガジン 少年サンデー		漫画アクション/アクション・スーパー・フィクション	
25	木					ヤングジャンプ/プレイコミック ヤングコミック/リイドコミック	漫画ボン
26	金	マーガレット プチセブン	ぶーけ	少年チャンピオン/少年ビッグコミック/少年キング		別冊漫画アクション	漫画愛
27	土						グッドコミック
28	日						
29	月			少年ジャンプ			カスタムコミック
30	火	セブンティーン	ラブリーフレンド			漫画サンデー	プレイコミック ガロ

自分のほんとうの気持ちが表現されているだろうか？

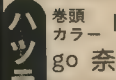
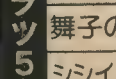
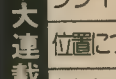
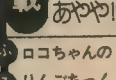
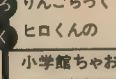
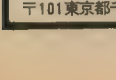
編集長・飯田吉明

新人の方に、ぜひ考えてもらいたいことをひとつ言います。
それは、ふきだしの中のセリフが、いつも話している言葉になっているかどうかということです。
まずストーリーを考えたら、各エピソードに自分の気持ちがこめられているか、何度も見直して、確かめてください。
すなおな気持ちの表現は、絵のこぎれいさより、ずっと大切なことだと思いますから。

キラキラ3大よみきり

うらら・マイウェイ 河野やす子

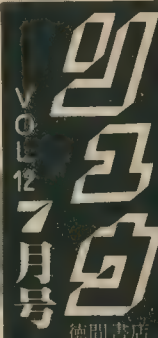
7月の声 刀根夕子

8ビートで熱くなれ！ 瑞原芽理

ハツラツ5大連載
- 巻頭カラー Let's go 奈々！ 島貴子
- 舞子の詩 上原きみこ
- シシイ・ガール 池田さとみ
- 位置について!! 三浦浩子
- あやや!?綾べえ 佐香厚子

ふろく
- ロコちゃんの チャームケース
- りんごちっく プチびんせん
- ヒロくんの ワイドポスター

小学館ちゃお編集部(03)230-5613
〒101東京都千代田区一ツ橋2の3の1

モンダイはどこまでいけるかだ

例えば10年という時間の中をどういう足取りで歩いていけるのか。もしもまんが描きを目指すのなら一度考えてみるべきだ。10年後、かつての自分を「青かった」と肩をすくめて笑ってしまうのであれば、それはちょっと、つらい話だと思う。

5月26日発売

●好評シリーズ●
12色物語 坂口尚

★新企画★
マッド・アマノのアメリカ面白マガジン

巨匠入魂のライフワーク

●手塚治虫

三国志 ●横山光輝
ぶらりぶらぶら物語 ●ながやす巧
風雲児たち ●みなもと太郎
風の戦士 ●松久由宇

異色新人の激作掲載!!

●新人まんが家へ一言
自分の目でものを見る、自分の肉声を読者に伝える。そして、熱をこめて描くことが共感を呼ぶ。ユーモア精神と、新人らしい未来の感覚にあふれた作品を期待します。

●コミックトム編集部●03(230)0645
●東京都千代田区飯田橋3-1-3

別冊少女コミック 月刊

⑦月号 6月13日発売

四大連載

キャンパスカルテット 井上恵美子

カリフォルニア物語 吉田秋生

ぺぱーみんとエイジ 前田恵津子

シンデレラガール 飯野恵子

愛読者賞まんがコンテストスタート! 第一弾

あこがれロングパス 瓜生裕美子

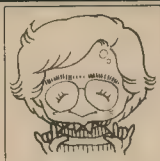
〈まんが家をめざす人へ〉

まんがというのは絵とストーリーを売るのではなく、まんが家の持つ才能そのものを読者に買っていただくものだと思います。まんがという手段で笑いや感動を提供する一方法は違っても精神は小説や映画と同じです。(編集部・毛利)

●別冊少女コミック Tel 03 (230)5488
〒101 東京都千代田区一ツ橋2の3の1小学館

花とゆめ

毎月5・20日発売

⑬号／定価200円

●編集部からまんが家を目指す人へ

個性豊かな・バラエティーにとんだ・質の高いまんが…文句なくおもしろく読め、読者に楽しんでもらえることがNo.1！「読者の喜び」―「まんが家の喜び・命」『花とゆめ』は個性あふれる、豊かな才能を見のがしません。

シルクロード・天翔(あまか)ける馬 カラー50ページ 神坂智子

スケバン刑事(デカ) 和田慎二

ガラスの仮面 美内すずえ

白泉社

⑦月号／定価320円

●編集部からまんが家を目指す人へ

ララはヤング・パワーの皆さんに、熱いまなざしを向けています！皆さんのフレッシュなセンス、エネルギッシュな熱気が将来のララを作りあげていく礎となるからです。

"ララ"に興味のある方は、編集部までご連絡を!!

●カラー44ページ 木原敏江 ― 摩利と新吾④ 新吾の気持ちは!? 大人気

魔夜峰央 横須賀ロビン

山岸凉子 日出処(ひいづる)の天子

成田美名子 エイリアン通り(ストリート)

白泉社

No.11 6.11号 定価200円

PLAY COMIC

プレイコミック

只今大好評発売中!!

※毎月第2・第4木曜日発売です。

●編集長からのメッセージ●

漫画家をめざす人へ

成田清美

漫画雑誌の編集に携わって20余年になるが、最近の読者は昔とまったく変わってしまった。今流行(はやり)のニューミュージック界でもそうだが、プロとアマの境がわからなくなってしまい、何かフィーリングを求める時代になって来たのかも知れません？ そこで、新人漫画家に期待したいのは、自分の個性と読者とが一体になれるフィーリングをマスターすることです。

◆新連載!!『アキレスの腱(かかと)』大川タケシ+守谷哲巳
ジョージ秋山●斉真木+居村真二
梶原一騎+下條よしあき
真樹日佐夫+影丸譲也
石森章太郎●はしもとてつじ
黒鉄ヒロシ●はらたいら
吾妻ひでお●野口アキラ
★シリーズカスタム 花村えい子

強力連載陣!!

◆プレイコミック編集部◆
〒102東京都千代田区飯田橋2-10-8
㈱秋田書店　電話03(264)7011

GOOD COMIC

グッドコミック

7月号発売中!

〒101東京都千代田区三崎町
3-3-12
少年画報社
グッドコミック編集部
TEL(262)3501

ヤングコミック

6月10日号　定価230円

5月27日発売!!

新人作家よ。心して来たれ。今や、門戸は君の前にある

担当・M

●現在ほど新人作家の出やすい時期はないのではないか。各誌新人賞をもうけ、地方の人たちも人見知りしやすく、持ちこみのできない人も一応は目を通してもらえるいい時代だ。当誌も近々新人賞もやろうと思っとりますが、人見知りしない人よ、ドンドン来てください。電話で出た編集の名を確認しておいた方がいいですよ。うちはズボラが多いからネ。

■シリーズ新連載!■昏にブルース・ハープ
守村大×狩撫麻礼

御用牙 小池一夫・神田たけ志
黒の天使 石井隆
ひょうたん 上村一夫
逮捕します 谷いくお
千日前ドリーミング 山本まさはる
おじゃ漫むし いしいひさいち
狼丸ラスタマン いしかわじゅん

★好評連載シリーズ!
★下北フォービートソルジャー
たなか亜希夫

東京・少年画報社
電話03(262)3501

月刊 SEVENTEEN
セブンティーン
大好評発売中 7月号

珠姫草紙 鈴木雅子
オルフェウスの窓 池田理代子
ばあじん♬おんど しらいしあい
JACK&BETTY 立原あゆみ

力強く前進する4大連載

今夜は泣きたい気分 三谷美佐子
サマー・クリスマス 上崎ひろこ

若さ爆発の2大読切り

第6弾 不思議の国の入口は 中川千賀子
第5弾 だて眼鏡のカランコエ 山田やすみ

マイ・コミック'81コンテスト チャレンジ作品

16㎜の映写機をレンタルします

■fusion productの16%映写機をレンタルします。機種は〝エルモＸＰ350〞です。
●電源／単相交流100Ｖ 50/60Hz ●使用Film／光学および磁気録音Film ●映写レンズ／Ｆ1.2 ｆ＝50㎜ ●リール容量／最大600ｍ。2000ﾌｨｰﾄ） ●映写ランプ／クセノンアークランプ350Ｗ。 ●映写速度／24コマ/秒。 ●逆転・停止映写可能。 ●増幅機／オール１Ｃ ●出力／最大25Ｗ。 ●寸法・重量／本体45×24×36㎝ 19㎏、電源部45×12×25㎝ 11㎏ スピーカーケース48×42×28㎝ 18㎏（電源部はスピーカーケース収納）※で総重量は40㎏(二個)でになります。
★希望者はfusion product
☎(03)354・6155(香月) まで

創作まんが同人誌募集

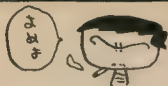
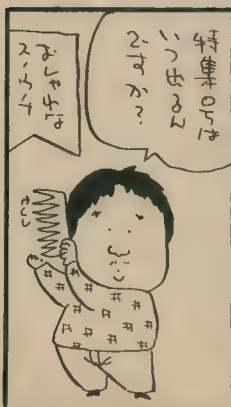
★えー、ぱふで同人誌特集をしてからもう2年。同人誌界も年々その様相を変え新しい動きが出てきています。まえにやった特集ではもうがむしゃらに全国にどの位の同人誌があるのだろーと、とにかくならべるのにせいいっぱいでしたが、さあ、こんどは現在の同人誌の情況にどのくらいせまれるだろーかということで夏の終りか秋口には同人誌特集を本誌で組んでみたいと思ってます。ぼくらはぼくらで今いろんな資料をあつめていますが、なんといっても一番の資料はそのものの同人誌。あなた方の最新の同人誌と状況と同人誌あるいは同人誌界についても意見もそえてくれるとありがたい。

■送られてきた同人誌からピックアップして一冊の本をつくってみるのもいいなとかいろいろ企画をたてて考え中です。
送り先は下記「同人誌募集係」へ。

〒160 東京都新宿区新宿2—1—1 ラポートピアビル701
(株) FUSION PRODUCT
FUSI N PRODUCT 編集室☎〈03〉354・6155

●えー、**和文タイピスト**を**大至急募集**します。
薄給、賞与残業手当その他なし（当分）という過酷な条件です。学歴は問いません、技術さえあれば。
希望者は、写真をはった履歴書・身上書と“見本”を当社まで直接持ってきてください。なお事前に電話を入れてください、面接の日時を当方で指定します。また、採用者は決定次第に出社できる方に限ります。採用者１名。

●次に**アルバイト生の募集**を、こちらも至急ですが職種は**編集アシスタント・発送・営業**と**レイアウト補佐**です。
土日曜日を含め週３日、朝11時～夜７時(平日)に来れる人。条件身体の丈夫な人。薄給で過酷な労働条件です。希望者は、６月25日必着するように写真をはった履歴書を当社まで送ってください。面接の日時をこちらから指定します。（男女問わず、若干名です。）

応募先は
〒160 東京都新宿区新宿２—１—１
ラポートピアビル７０１
FusionProduct 編集室
TEL（０３）—354—6155

まんが作品持ち込みの新人諸氏へ毎週(金曜)編集室を開放します。

本誌におけるまんが倶楽部をどういう風に設定するかまだまだ議論のわかれるところですが、新人発見と指導という基本姿勢は不動のものです。編集スタッフも年が若いし、気軽に話でもしませんか。

●写植オペレーターも募集します。募集要項はタイピストと同じ。まあよろしく。

痛快予告漫画

いしかわくん

関川くんも聞きなさい
背景略させてね

今日はアシスタントがいないんだ
狩撫くんも聞きなさい

来たるいしかわじゅん特集は!
週刊明星路線で行く!

明星……!?
ウム…明星だ…

ど・ど…どんな内容なんです?
ふっふっふ

それは来月号を読めばわかるよ!
出ればだけどね
ぽん
な・なるほど論理的だ!
さすがイシデいは違うなー

完。

▲大作『狂風記』を書きあげ、久々の休暇で武蔵野を散策するいしかわ氏。

♨予定は未定。内容は予告と変る場合がありますのでごよーしゃを。

いしかわじゅん
VS
■川■央

全分析
いしかわじゅん
狩撫麻礼

いしかわじゅん
オリジナル8p

全作品リスト

その他執筆予定者
スノウチサトル
山田双葉
吾妻ひでお
高野文子
さべあのま
さくまあきら
高取　英

思い知ったか！これが恐怖のラインナップだ!!

巻頭カラーグラビア
初夏の武蔵野ニートな一日

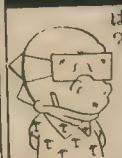
巻頭大付録
いしかわじゅんシール

20年ぶりのふるさと訪問が今実現
ぼくが生れて育った街

汗と涙の24時間密着取材
よく働き、よく遊び

一目で分るいしかわじゅん交遊録
いしかわじゅん相姦図

は？

ビシッ

ふふ その他 何がとびだすか おたのしみ。7月7日発売なるぞ。490えん。8月号。

☆80年度サブキャラクター賞男性部門第1位に輝く

少佐に愛をこめて

本誌では「エロイカより愛をこめて」（青池保子、プリンセス掲載）に登場するクラウス・ハインツ・フォン・デム・エーベルバッハ少佐についての原稿を募集します。少佐の魅力を賛美し、バカさ加減をコケにする迫力いっぱいの言葉をお待ちしています。原稿はタテ1行19字で何行でも結構です。

宛先：〒160 東京都新宿区新宿2　1－1ラポートピアビル701 fusion product
「少佐に愛をこめて」係

〆切：7月4日消印有効

事の顚末

可部達郎

　さて、ようやく本誌発刊となって、まずはめでたしめでたしだけれども、この本を出すにいたっては、もういろんな事があった。本屋で始めてこの本を手にした読者はちょっと面喰うかも知れないが、この本を創ったスタッフは僕を含めて『ぱふ』というまんが専門誌があってそこから独立した連中なんだということ。前述した「いろんな事があった」といういろんな事というのは、僕らが『ぱふ』をやってきて、『ぱふ』から分裂し独立してこの本を創刊するまでにあった、まァ一口でいっての苦労話。

　そういう話をなぜここで書くかというと、この本誌『FUSION・PRODUCT』は〝創刊号〟とうたってはいるけど、前の『ぱふ』の尻尾をかなり引き継いでおり（スタッフ全員が『ぱふ』編集者だったことも含めて）本誌の作り方、内容企画等が前の『ぱふ』とかなり似かよっていたりしてるので『ぱふ』からの読者は「アレ、どうなってるの？」と疑問におもう人がたくさんいるんじゃないかというのがその第一の理由。

　第二の理由は、それでは、これから僕らがどういう体制と方向性を持って本をつくっていこうとしているかを説明すること。まァ後者は本を読んでもらえばわかるものだけれど。

　さて前置きが長くなった本文に入ろう。『ぱふ』での僕の立場は一応「編集長」ということで月一回刊行の『ぱふ』を若い連中と四苦八苦しながらつくっていた。簡単に月一回と書いたけれど少数のスタッフで月に一冊本を出すというのは、ほんとにもう大変な作業で僕も含めて、学生が半数をしめるスタッフは編集の経験皆無という状態からの出発であったし、誤植やミスの続出で、あちこちに随分迷惑もかけた。

　この『ぱふ』をつくる上で給料はおろか編集費と呼ばれるものがほとんどなかったという点が本に於て致命的な欠陥だったと今にして僕はおもうのだが、昨年本をつくっているときは、多忙なのに加えて本がもっと売れ、ば給料も編集費も出すと社長であり経営者の持田幸雄氏は、いってたし、それでは、もうひと頑張りだと、アチコチご魔化しつゝ本をつくっていたわけだけれど、昨年後半になり編集で自主管理していたわずかばかりの収入（広告直販の収入）とフリー・スペースの現金（現在は権利を譲渡してもらって当FUSION・PRODUCTで運営しているまんが同人誌を中心とした委託販売）の持田氏の持ち出しが頻繁になり、月一回の本づくりにかなりの弊害が生じ、特に後者のフリー・スペースの現金は、金はあるものの二割の手数料での委託販売であるから基本的に編集の金ではなく、そういう性質の金まで何度も持ち出されて返済すると言いながら一度も実行されておらず、年も押しせまった暮に一体、清彗社（『ぱふ』を発行していた会社）の経理はどうなっているのかと経営者である持田氏を問いつめたところ、帳薄と呼べるものが一斉なく（会社経営の上で帳薄がないということは常識では考えられない）、手形小切手を乱発し、いわゆる〝熱い金〟高金利の金での自転車操業はおろか新幹線操業で会社が存続しているといった状態。

　これではいくら本をつくったとしても、それほど大部数本が発行されているわけでもなし、利益は全て高利貸の懐に入るばかりでなく本自身の存続が危いと判断した僕は持田氏と相談して高金利の切れるまで、経理面に参画――といっても僕自身は数字にうとく自身で帳薄等をつける能力等全くなかったので現在当社の経理面を整理してもらっている荒木克素氏に連絡をして応援を頼んだ――、今年の一月より編集のかたわら経理の仕事を本格的にやり始めた。

　その時の状態を説明するために僕自身の書いた『ぱふ2月号』の編集後記を全文引用する。（尚、この2月号は本来なら1月25日発売の森脇真末味さんの特集。現在に至るまで発行されておらず、その辺を考慮して読んでいただきたい）。

　というところで、いや、今号は『ぱふ』始まって以来の大危機で、まァ、今日もその真っ最中なのだけど（お金がまったくないんですね）、この号が皆ンなの目にふれることが出来たなら、なンとか大丈夫だったと思って下さいネ。当初の予定では2月号は1月25日発売原稿の95％以上が印刷屋さんに入ったところで金がストップ、なんとか金策をと必死の思いでお金を集めてよーやく印刷屋が動き始めたと思ったら、またまた事故の続出。――で結局毎月25日販入（本の取次ぎ屋さんに入れる日）だから1／25、2／25と本は入らず事実上二号の休刊。なんで、こーなったかというと、要はお金がないからなんですね。「え――っ！だって『ぱふ』は売れてるじゃない！」そ――なんです、結構売れてるンですよ、ところがね、社長のもっちゃんがA地点からB地点までいく途中で高利貸のところによってしまったんですよ。いや――、高利って本当に恐ろしいんですね。もう転がりだしたら雪だるまで、金利は金利を呼び、呼ばれた金利は東京名物雷おこしに雨アラレといった感じでもー大変言語道断歩

行者横断大平洋気球横断大失敗、さあ——て、これからどーするか、と考えている間にも膨大な金利の大軍は怒濤の如くやってくる。南無八幡大菩薩！如何に超能力の達人聖徳太子と言えども、これだけの金利の大軍に神々の援助なくして果たして勝てるか。ハラハラドキドキ、ページをめくればアッもう次がない。続きを読みたい方は次号も買ってね、とゆーのが本の売り方、しかーし、現実はそうはイカのキンタマ、ナマズのインキン（きたないね）、読者は一ヶ月のブランクを、ま、てきとーに日々を送って。ハイ一ヶ月たちました本屋にランランランと軽くステップでかけてゆくと、ハイ、ありました、毎度おなじみ本日発売キンギンキラキラ真ッ赤なタイトル、お目々パッチリちび猫ちゃん。わァー、今月のちび猫ちゃんの冒険は——、期待に胸をふくらませつ、ページをめくる読者の果して何人が、その原稿を入稿するまでの大島センセーの地獄の日々を想像するであろう、果たして何人が編集者の苦悩を理解できよう！嗚々！君知るや南十字星。

——とゆーようなわけで、ぼくはからくも怒濤の如く押し寄せる金利・支払い連合軍の前で奮闘むなしく討ち死にしたもっちゃんの後をついで、え——い！こざかしい奴らめ！この眉間の刀傷がみえねかっ！と孤軍奮闘しているわけだけれど、この金利・支払連合軍蹴散らしても散らしても後から後から湧いてくる……、えーと、ま、そーゆー事です。で今月号、遅れてごめん。ツジツマのあわないところ、誤植、間違い、カン違い、許されよ。甘ったレるんじゃない、おまえらプロだろ、商売してるんだろ！はい、十二分に反省しております。ごめん。次号は絶対まともに出すからね。皆ンな今、次号のことでフルワークさ。

（可部）

かなり乱れた文章だけれど、その辺は黙認してもらうとして、この時点が二月末か三月の始め。僕個人としては、実家からも多額の借金をし、編集スタッフはおろか友人知人にも無理を言って金を出してもらい、低金利のサラ金にも皆寄り、ようやく会社再建の青写真が出来たとおもったところで、持田氏と会社の経営方針をめぐっての対立。具体的には、各取り引先（金を借りている個人・金隔業者も含む）に会社の実態を説明し高金利を押さえ支払いをのばし、出来るだけ低金利へ切り換え、しかるべくして浮いた金を本の編集制作費としてまわし、本の売り上げにみあう返済方法をみつけていこうとする僕の方針と、今日の支払いのために会社経理の実情を偽り高金利の金を借り、またその支払いのために高利で廻わしていくといった持田氏のそれとの対立である。（もし、この辺の事情に興味がありもっと詳しく知りたい方があれば、立原正秋の中編小説「刃（はもの）」（『白い罌粟』角川文庫版に収録）を読まれるといい。規模は違うが清彗社の実態と多少の差異はあれ、ほぼ似かよった物語は展開しているので、僕らも興味深く読んだ）。

対立は深刻化し、結局当時スタッフだった村石君（彼は早稲田の学生で現在は清彗社『ぱふ』の編集長となっている）を除き全員が清彗社を引き上げ、本誌の発行を模索し会社を設立ようやく本誌発行へ漕つけたわけである。尚、清彗社側との最終的な話し合いの結果（3月中旬過ぎ）、清彗社の債務の全責任は清彗社側が負うということになってはいるが、その約束は極一部を除き履行されておらず、現在僕個人の債務という形式になっているもの、あるいは保障したもの等の清彗社の債務を事実上、僕らが月々支払っているのが実情である。

さて、清彗社側の現在は清彗社側の証言を待つとして、僕らの会社「FUSION・PRODUCT」（今、株式会社としての申請中なのでもうすぐ上に㈱の字がつくだろう）の事をすこし話そう。

話は少し前後するが、清彗社側との最終的話合いで僕らのつくる本、会社名に〃ぱふ〃という名称を使用してもいいという了解を得て、誌名・社名共『ぱふrunning』と決定、広告に発表したりつきあいのあるところに連絡をとったりしていたところ、始めはその名称で了解を示していた大手取次の一社から名称についてのクレームがつき、発行日の押しせまっていたので僕らは『ぱふrunning』から〃ぱふ〃を取り只の『running』とすることに決定、ところがこんどは〃ランニング〃という名称がある会社より商標登録されていることが調査により判明。

それでまた発行日を遅らせての一からのやり直し。スッタモンダしたあげくの『FUSION・PRODUCT』。意味は「核分裂生成物」。この名称についてあちこちより反対はあったけれど、原発問題の活発化、ライシャワー発言に端を発しての原子力空母ミッドウェー寄港等による核疑惑の問題、言葉としてはタイムリイだ。後はこの〃ふゅーじょん・ぷろだくと〃という手垢のついてない単語にどのくらいのイメイジを吹き込めるか、それは僕らの今後の手腕にかかっているのだが。

話は再び前後するが、本誌『FUSION・PRODUCT』の発行体制についてすこし話そう。始め僕らは清彗社を独立する際に、なんとか独力で本誌発行をとおもい人づてに印刷会社に連絡をとったのだが金銭的に話がおりあわず、かと言って、清彗社の件で実家はおろか友人知人編集スタッフと借りられるところからは全て借金してしまっている現在、なかなかこれ以上金を集めるのは難しいが、なんとか集めて本を出版しなくてはと考えていた矢先、ある筋より「そういう事情であれば話にのってもいいという人がいる。一度会ってみてはどうか」との連絡。

それで会ったのが海野栄一氏、ラポート㈱社長。「君のところには本をつくる能力はあるが金がない。うちはその逆。編集には一切口は出さないから提携して本を発行しないか」

いい話である。彼と会ってその日に話は成立。ただ契約を結ぶまでに交渉として紆余曲折あり・ヶ月半。契約の主な事項は①発行名はラポート㈱。編集制作名はFUSION・PRODUCTではあるがFP側は本の営業・業務・販売・販入作業に参画する。②印刷会社（製版・印刷・製本）への支払い及び各取次からの収入の管理はラポート側が行い、本誌の売り上げの20％がFP側とする。③本誌の作業は完全版下で印刷会社に入稿するものとしそれにともなう支払い（原稿料・写植代等を含む編集制作にかかる全ての支出）はFP側がする。と、まァ本誌発行へと漕ぎつけたわけだ。

と、これまでの「事の顛末」をかなり駆け足で書いてきたわけで、要領の得ない部分、辻褄の合わない所、不鮮明な箇所等かなりあるとおもうけれど、とり急ぎ本日は——、というところで筆を置きたい。（'81年6月8日）

御苑の蹤も雨を乞う。ましてあたしの心には、あんたの臭いが懐しい。

フリー・スペースも久々の登場。新入荷の情報も溜りに溜って、担当さんも泣きに泣いておりました。尚、フリー・スペースは新宿御苑前のマンションの一室に引越しましたのでご注意を!!

尚、フリースペースの営業時間はAM11時～PM8時までです。日曜日も営業しておりますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

●**ATLAS vol.8** 柄は小さいが、SF漫画満載の充実した同人誌。8号とキャリアも長く安定している。B6判・151頁￥390(150g)

●**もん vol.3** 短編・イラスト中心の江崎裕麻個人集。ムードも良いし値段も手頃。絵柄にも好感がもてる。B6判・26頁￥80(70g)

●**For・You No.6** 今回のテーマは「音について」マンガ・イラスト・詩・雑文と内容豊富。楽しい一冊。B5判・36頁￥300(90g)

●**やっはるー 第8号** 東京女子大学漫画研究会の会誌。新人特集号。少女マンガ中心で高レベル。森川久美のイラスト有り。残部僅少、みんな急げ。B5判・178頁￥500(360g)

●**藍 vol.2** 漫研ブルーバード発行。小さいが、ストーリー漫画4本と頑張っている。少女マンガ派向き。B6判・74頁￥380(90g)

●**水晶球 vol.2** SF有り、幻想有り、ギャグ有り、ソドミィ有りと内容豊富。B5判・90頁￥300(170g)

●**ASTEROID vol.1** 横浜在住の大学生中心の同人アステロイド発布。特集夢幻劇場。あなたのいる、その場所が私達の劇場。B5判・40頁￥200(120g)

●**夢幻・8** ストーリー中心で読みごたえ充分。「太陽風」の独特な絵柄や「戦士」の完成度の高さにびっくり。他も力作ぞろい。毎号レベルアップする感じで次号も期待できる。B5判194頁￥400(370g)

●**プシ・カン No.1** 論理によって自己と他己を変革させて行くという最も誠実な方法論を実行している表現雑誌。一人一人の発する言葉、言葉にならない音・波・気・パルスがつめこまれた一冊。B5判・24頁￥180(90g)

●**ハーロック vol.9** 松本零士作品研究会ハーロック発行の松本ファンのための本。氏の作品リスト(54～67)掲載。B5判・30頁￥500(80g)

●**エカリテュールⅠ** 恒河社出版のミニコミ誌。本朝同人誌風俗の2ページが読みごたえ十分。B5判4頁￥30(5g)

新入荷

●**児童漫画研究 2号** 児童漫画についての評論誌。今回は、ちばてつや、樹村みのり論等。B5判・33頁￥250 (90g)

●**らいぞーむB5th** 今号で活動5年目に突入したまん研、あにゅあるのまんが同人誌。B5判・88頁￥400 (190g)

●**螺旋第3号** 権藤晋、佐藤まさあき、中山雅仁、勝川克志等が執筆している劇画同人誌。東考社刊。B5判・64頁￥400 (80g)

●**ふわまあ第4号** 埼玉県は秩父を中心とする、おなじみの同人誌の最新号。今回は、ひけいち君を始めとして、短編が多いが、中味は濃い。A5判・76頁￥240(120g)

●**Twilight・Zone No.1(春の号)** メタリック・アンダーグラウンド発行のミニコミ・コピー紙。エッセイ、書評、コンサート評、等。B6判・7頁￥50(20g)

●**かもねぎ80号・2号** ぐるーぷかもねぎ発行のミニコミ誌。特集"飾る"。なかなか水準の高い読みごたえのある一冊。知る人ぞ知る溝手さんが編集長。知らない人は、ぱふのバックナンバーを、読み返してみよう。A5判・64頁￥350(100g)

●**YAJIROBE第6号** 大阪大学漫研の会誌。独特の雰囲気を持つストーリーまんが集。いろいろなジャンルに挑戦している。5判・92頁￥550(200g)

●**あほうどり第3号** 今回はイラストが多い。その他同人誌訪問(トラブルメーカー)等。B5判・49頁￥300(110g)

●**FAIRY・TALE** 最近5周年をむかえた。息の長いまんが同人誌。長編連載SF「グレート・アマゾネス」他。

No.28 B5判・79頁￥300(170g)

No.29 B5判・221頁￥550(450g)

No.30 B5判・81頁￥300(180g)

No.31 B5判・79頁￥300(170g)

●復刻シリーズ　松本零士初期作品集　四六判・4冊箱入り「青い花びら」「星よ消えないで・前編」「星よ消えないで・後編」「宇宙作戦第一号」。　¥9800（1460g）

●水木しげる初期作品集　四六版4冊箱入り「ロケットマン」「怪奇猫娘」「地獄の水」「怪獣ラバン」限定500部　¥9800（1230g）

●まんが病棟第2号　白百合女子大漫研の同人誌。かまこ通信の中の「あなたは前からふくか、後からふくか!?」という記事が最高に面白い。B5判・204頁¥300(370g)

●まんが病棟3号　各自シュミ丸だしの座談会がユニーク。B5判・124頁¥320（260）

●Jolly・Roger　Vol.5　アニメーション・ファンクラブ「Jolly・Roger」会誌。長浜忠夫氏追悼号。長浜氏の演出作品紹介や長浜氏に捧げる詩、等。B5判・23頁¥300(50g)

●HACHNOSU　No.1　はちのす新報社の感覚派まんが同人誌。B5判・38頁¥100（90g）

●てるてる　十文字漫画同好会の会誌。JOKER改め、てるてるになりました。マンガ、座談会、イラストポエム等。B5判・120頁¥350（250g）

●ロップス画集　生田耕作編。世紀末フランスの代表的画家の一人として世界的に名声を謳われ、ムンク、ロダン、アンリール、表現派の画家たちに大きな影響を及ぼしたフェリシアン・ロップス。その後絵画史からほとんど忘れ去られてきたが、今ようやく仏本国はじめ各国で評価されてきた。古い価値観の再検討が求められる現在、ロップスはあらためて見直されるべき今日的画家であるといえよう。A4判・170頁¥5800(1088g)
バイロス画集も再入荷しました。¥3500＋送料¥200

●青の入江　創刊号　ネコ好きが多い「欠食ドラネコ団」のマンガ同人誌。B5判・47頁¥350（110g）

●季刊あほうどり　第2号　いよいよ2号目、「紙面遊戯」など、とにかく何かが始まりそう。B5判　36頁¥250　90g

●魔華汰魔　vol.2　セロリのような神経の束を、ふくらませ、咽喉でせめぎあう、魚のひとむれ（清水男）中村香画集　A5判　16頁）¥50　30g

●PLASTIC MOON Ⅳ　盛りだくさんの構成物から成るお月様は、プラスティックの肌触り。マンガ　イラスト　パロディー　A5判　42頁　¥200　60g

●PLASTIC MOON特製カレンダー　12人の12ヶ月　B5判　12枚　¥100　60g

●別冊まのとのま　1980冬の号　説得力とテクニックで迫る趣味の園芸誌、優しいばらの育て方、男に生きたいまのさんの三冊目。A5判　38頁　¥300　60g

●365会津　No.25　特集"あなたもミニコミ編集者になれるかもしれない"No.26特集"戊辰戦争ドライブマップ"　B5判・33頁¥150（70g）

●ダイアボリック　SF小説、イラスト、マンガ等、マニアックなSF狂軍団を満載して宇宙船ダイアボリック号は今日も行く。本全体の細い状況設定が見もの。ヒマな人は矛盾点を探してみると面白い。A5判
No.2　60頁¥300(90g)
No.3　64頁¥300(90g)

●虎徹　漫画青年会・新船組の会誌。かわいこぶりっこ派のマンガが多いがセンスは良い。　3号　B5判31頁¥200（70g）　4号　B5判・41頁¥300（110g）　5号　B5判・75頁¥400（190g）　6・7合併号　B5判・105頁¥500（190g）　8号　B5判・117頁¥500（260g）

●FOCUS　実力派のまんが同人誌。表紙が毎回凝っていてセンスが良い。
6号　B5判・64頁¥350（140g）　7号　B5判・76頁¥350（170g）

●飛鳥幸子の世界　③　毎度お馴染み飛鳥さんの波瀾万丈大活劇少女漫画、愈々怪盗紳士蝙蝠男爵登場。未発表二作品付。A5判　204頁　¥680　360g

●ブシカン　創刊準備号　立教大学発、趣味、主義、主張、大発表マガジン。橋本治先生の御言葉が載っております。　B5判　23頁¥180　55g

●もん　vol.2　江崎裕麻個人誌。やっぱり月とユーレイのはなしなのだ。
A5判　26頁　¥80　45g

●LOST SHEEP デラックス号　SF、フ、フフ、しんみり等いろいろ。B5判　70頁　¥350　150g

●THINK TANK2　愛媛の奇人三人娘のエスエフ。ファンタジィーあんどギャグ？少年、少女まんがを「越える」ことができりゃいいってもんでしょう。B5判38頁　¥200　90g

●Rim—Ⅱ　東京理科大漫研会誌　それぞれの個性がそれぞれの方向を目指す確かさが感じられる大学生によるまんが。B5判　77頁¥250　160g

●COSMO CITY　エスエフに、楽しんでアプローチする。内容はたっぷり、じっくり読めます。女子美オンナのSFファンジン
創刊号　B5判　24頁　¥200　60g
vol.2　B5判　87頁　¥350　200g
vol.3　B5判　36頁　¥270　80g
vol.4　B5判　70頁　¥330　150g

●とまとま　No.1　素直な個性に好感がもてるマンガが集った。10人の男のはじまりの一冊。B5判　91頁¥350　190g

●あんぱらんす11号　「エースをねらえ」と「坊ちゃん」の2本立て。エース…はTVと劇場用の比較がおもしろい。こじんまりとまとまっております。B5判20頁¥170(80g)

●NUTS　No.2　グループ"NUTS"発行。外国TV映画研究誌。今回の特集的な「超人ハルク」。同番組のストーリー＆スタッフリスト有り。B5判・43頁¥300(100g)

●学校改革　vol.4　今の学校を暴力によらず世論によって改革することを目的とした、文章中心の同人誌。現在の学校体制に不満のある人必読。A5判・24頁・¥200(40g)

●はんみょう　やきいもの号「とろーら（徒労ら）」なる集団による同人誌。雑踏にも作品を発表しているワタナベヒロシ氏の作品秀一。バラエティーに富んだ本です。B5判・100頁・(210g)

●漫山3号　小・中学生が創っているマンガ同人誌。一見、信じられないが創立1周年記念号なのだ。絵はまだまだだが、いろいろ活発な活動をしている。B5判・54頁¥250(120g)

●ファイ　vol.2　学生演劇特集号。東洋大、関大、立教大等の劇団の上演作品評論。その他に、木村安城インタビュー、にっかつロマンポルノ入門等。B5判・46頁¥200(120g)

●エカルラート1号　美しい少女まんががいっぱい。「闇の左手」のまんが化など、興味をそそられる物がいーっぱい!!　B5判　87頁¥350(200g)

●エカルラート2号　今回は、かなり趣味に走っていて、面白い、特に「終焉の始まり」と「マンジー君の失恋記念」は一見の価値あり！　B5判・87頁(190g)

●綺譚3号　目次に目を通すと、す、すごい！　大友克洋さんの表紙、へそまがり石井さんの裏表紙がすてきですよ！　A5判・80頁¥400(100g)

●らいぞーむ・B4th　マン研「あにゅある」の作品集。高野みゆき・琳珠等。3人合作「オール・ヒモ物語」は絶品。B5判90頁¥400(190g)

●ラブ・フリーク1号　渡辺多恵子さん特集。特集するにあたって別コミに協力を得るなどファイト十分。座談会「永井豪」は個性的B5判44頁¥250(100g)

●フランスは笑う　フランス文化の一側面である艶笑的なもの。文と絵でフランスの小粋なジョークを満載。A5判228頁¥1,200（340g）

まんが同人誌

●**密鬼** Vol. 5　日大文理学部漫研同人誌。ギャグも少女まんがもＳＦもある。ひとつひとつがやや短めだけど楽しい一冊。　Ｂ５判 156頁　¥400、320ｇ

●**ペパーミント・ミルク** 「ひとみ」のあべゆたかクンの２冊目の個人集。作品が３つ、成田美名子、小椋冬美、川原由美子らのイラスト入り。Ａ５判・72頁 ¥300、105ｇ

●**増刊銀の実**　プロの少女まんが家をめざしているまんが同人誌。Ｂ５判。vol. 1　100頁¥420（200ｇ） vol. 2　116頁¥450　（240ｇ）　vol. 3　148頁 ¥480（270ｇ）

隔月刊銀の実　小説、まんが等。Ｂ５判　vol.15～vol.22　各¥150　（50ｇ）

●**絵族船**　vol. 1　まんが界でアウトサイダーにもなれずカマトトにもなれないまんが少年、まんが少女たちが、自分の思いをかたちにしたまんが同人誌。さすがに実力派ぞろいで読みごたえのある一冊。Ｂ５判・150頁¥　500（330ｇ）

●**ハーロック**　vol. 0～8　松本零士作品研究会発刊。単行本未収録作品等も掲載され、松本ファン必携の一冊です。Ｂ５判

vol. 0　22頁¥500　（70g）
vol. 2　35頁¥500　（90g）
vol. 3　58頁¥500（140g）
vol. 4　43頁¥500（110g）
vol. 5　35頁¥500　（90g）
vol. 6　47頁¥500（110g）
vol. 7　51頁¥500（120g）
vol. 8　68頁¥1000（200g）
vol. 9　29頁¥500　（80g）

●**唵（オーム）**　エロティズム、日本、マンガ、ロック、人間、昨日今日明日、そして自分にこだわりたいひとがつくった同人誌。創刊号は、特集〝日本のロック〟　Ｂ５判・52頁・¥250（105ｇ）

●**青い海のお墓　森むら舞著**　同人誌チャンネル・ゼロに作品を発表し続けている著者の短編集。青い海の匂いのする繊細な作品を４篇。Ａ５判・83頁・¥500（150ｇ）

●**ARIEL**　少女まんが派のまんが同人誌。実力のあるひとがそろっている。**２号**　吉野雅&室生章「紅葉舞」友田依子。Ｂ５判・112頁¥450（195ｇ）　**３号**　倉岐慧。120頁¥500（210ｇ）

●**TAKE IT EASY vol. 1**　漫研 Drop Outers によるストーリーまんが集。個性的な味のある作品が多い。Ａ５判・60頁¥320(80ｇ)

●**falcon　vol.10**
この号は今までの表紙の特集、リレーマンガなどもり沢山、falcon 復刊号です。Ｂ６判・37頁¥250　(40g)

●**孟春　6号**　女の子ばっかのまんが同人誌。Ｂ６判・51頁¥200　(50ｇ)

●**摩天楼　第８号**　表現について、生活について、とにかく何かくっちゃべってみようというクロスオーバー的同人誌。まんが も有。Ｂ５判・36頁¥150（80ｇ）

●**雑踏　No.5**　マン研ペンペン草の会誌。ＳＦ物が多い。Ｂ５判・191頁¥ 200(310ｇ)

●**恒河社 vol. 2**　漫研恒河社発行。ストーリーまんが中心プラスイラストのオフ・セット誌。同人誌群の中でも奇妙に光る星になりたいとのこと。Ｂ５判・56頁¥290（115ｇ）

●**ぷ**　スタジオ・クリ発行小説。まんがあり、詩・エッセイ等の文章あり、子供の頃のあそびの紹介や紀伊半島周遊記があると思えばＴＶやアニメ研究の頁まであっちゃう、中味イロイロ盛りだくさんの同人誌、Ｂ５判。**vol. 3**　80頁¥250（145ｇ）
vol. 4 100頁¥300（155

●**Jefferson No.8**　まんがで、文で、詩で、若い自分たちの思いを伝えようとする同人誌。〝真っ青な27インチのジーンズが穿きたかった…あの頃〟Ｂ５判・12頁・¥50（25ｇ）

●**ベビーちきん　vol.1、2** イラスト、ロック評、まんが等ごっちゃにつまった同人誌。Ｂ５判・40頁¥250（95ｇ）

●**ふわまあ**　ぱふでも２回作品掲載されたひけいち君を中心に、やる気十分のまんが同人誌。Ａ５判。**１号** 76頁¥250（110ｇ）**２号** 64頁¥250（105ｇ）　**３号** 114頁¥350ｇ）

●**漫狂（まんきち）**　現代マンガ図書館発行。まんがファンによるまんがファンのためのまんが研究誌。図書館情報も。Ａ５判。**第０号**　〝貸本劇画とは何か！対談桜井昌一vs梶井純〟８頁¥100（15ｇ）
第２号　特集〝横山光輝〟復刻もアリ。36頁¥300（55ｇ）

●**Scaramouche**　会員が思い思いにまんがや小説やイラストを投稿している同人誌。Ｂ５判　**'79・冬の号** 34頁¥250（75ｇ）**'80・春の号**　表紙がカラー。60頁¥380（135ｇ）

●**オクタアブ　創刊号**　まんがの個人作品集（えんどうすばる）。大学生の女の子らしい繊細な思考が滲みでる３篇。Ｂ５判・44頁¥200（80ｇ）

●**夢幻　vol. 7**　仲間同志で一号ずつ着実にまんがを描き続けていく、という雰囲気の正統派まんが同人誌　Ｂ５判・172頁¥　（325ｇ）

●**PLAIN　創刊号**　気軽にのんびりまんがを楽しんでいこう。というまんが同人誌。Ｂ６判・48頁¥300（50ｇ）

●**ROSE TEA**　ストーリーまんが&イラスト集。Ｂ５判。vol. 6 42頁¥250（90ｇ）　vol. 8　62頁¥350（130ｇ）

●**あほうどり　創刊号**
（今はまだ）男の子２人によるストーリーまんが誌。描くこと、それを残していくことを大事にしたいとのこと。Ｂ５判・22頁¥100（55ｇ）

●**優曇華Vol.2**　都会感覚のまんががいっぱい。描きたいものを描く、という姿勢が気持いい。Ｂ５判・142頁¥420、290ｇ

同人誌

●**少年メディアNo.2**　様々なコラム・自己主張・特集（今回はSHOW・笑・ショー）のカタマリです。Ｂ５判・36頁　¥200、90ｇ

レコード

●僕らはあの長い暑い夏に　池戸折男、荒川伸介デュオ　自　のレコード。曲目は表　「痩せたライオン」「　の唄」等６曲。￥2000　料は￥350，

売切れ

映画

●MOVIE MAGAZINE　混迷する映画界をこちらの地平から鋭く突くマイナー系（？）映画商業誌。11号　郷ひろみ　12号　高倉健　13号　田中邦衛　14号　若山富三郎　15号　深作欣二　以上￥230(150ｇ)　18号　宍戸錠、吉村和子　￥280(150ｇ)　19号　鶴田浩二　￥280(150ｇ)　20号　勝新太郎　￥280(120ｇ)　21号　松方弘樹　￥280(130)　22号　金子信雄　23号　和田浩治　￥280(120ｇ)　24号　池部良　￥280(130ｇ)

●がいえ　誌名からわかるように映画の研究&評論誌。ハードな本。Ａ５判・42頁￥200（65ｇ）

●にっぽんの喜劇えいが PART(1)前田陽一篇　「にっぽんぱらだいす」「喜劇・あゝ軍歌」「神様のくれた赤ん坊」等の監督で知られる。前田陽一の特集本。

●夏への扉　ひらいではるお著　ひとりの若者がひとつのとても微妙な季節に描きだした詩、イラスト、文、スクラップ・ノート等をまとめた一冊。著者は永島慎二の作品にでもでてきそうな若者では…という雰囲気の本。Ｂ５判・140頁￥600（370ｇ）

●JUNPE―CO（ジュンペーコ）　vol.２　宮田裕子さん個人による、まんが評論誌。この号ではタイプ使用で読みやすい。特集・巴里夫の世界。番外エッセイ・少女漫画読者よ三流劇画を読め、三流劇画読者よ少女漫画を読め。Ｂ５判・26頁￥100（45ｇ）

●綺譚　第２号　おまちかね、隠れたる根強い愛好者をもつプロ作家による同人誌。特集・都筑道夫。他横田順彌、鏡明、橋本治、栗本薫等豪華メンバー。イラストでは大友克洋（表紙）、山岸凉子、さべあのま、高野文子も登場。Ａ５判・80頁￥400（95ｇ）

●COMMUNITY TOKYO　No.1　音楽、映画、演劇、絵画、ショッピング、仕事、大学、酒等大都市東京の様々な顔を紹介。創刊号は〝ジャズ時集〟。Ｂ５判・96頁￥200（210ｇ）

●フィーリング　映画紹介や漫画などを読者参加誌という形式を取って「本音とは何か！」を追求している同人誌。Ｂ６判・48頁￥200　（50ｇ）

●飛凰集　未来幸著　一個人によるイラスト詩集。著者は音楽好きの24歳。イラストのところどころにおかれた色が鮮やか。Ａ５判カバー付・56頁￥400(140ｇ)

●えす（ES）　詩で、散文で、或いは書物を通して何かを語っていこうという本。Ｂ６判￥200　No.２　64頁（65ｇ）　No.３　56頁（60ｇ）

●瞳子　すだひとみ著　MY詩集出版部編集。カバー付で写植使用。女の子が書いたと一目でわかるやさしい詩集。Ａ５変型・84頁￥580（155ｇ）

●ざ・ひまつぶし　春の号（第１号）　Nao（小林直樹）&　（由情涅）２人による詩集。７号めまで発行した同誌の創刊号の再版。――今あなたに／やさしさを／ここに――。Ｂ６判・80頁￥250（90g）

●二束三文　第３号　創作小説の手書きによる同人誌。この号はＳＦ特集。表②、表③にまでショート・ショート・ストーリー付。Ｂ５判・38頁￥240（85ｇ）

●大和和紀資料集　白百合女子大漫研発行。全作品&単行本リスト、作品紹介、大和先生Q&A、「はいからさん…」特集等。Ｂ５判・20頁￥200（55ｇ）

●KREBS　vol.1　これは何の本なのかというとやはりＨＯＭＯの本なのだろうなぁ。まんがあり、オハナシあり、なんと着せかえ人形（もちろん殿方がモデル）までついている。巻頭特集〝謎の円盤ＵＦＯ〟。Ｂ５判・51頁￥380(135ｇ)

●ミワ☆プラネット　酒井美羽ファンクラブ編の未発表作品集。インタビュー・制作ノート・自己紹介など酒井美羽ファン必読！　Ａ５判・166頁　￥650、235ｇ

●弾道　創刊号　「跋折羅」の文章陣を固める中山雅仁と宮岡蓮司によるパンフレット形式の批評誌。〝男と女あるいは関係の後退〟―中山雅仁、他。Ａ５判変形・38頁　￥400、60ｇ

●児童漫画研究　創刊号　児童漫画に関する研究論文集。〝「鉄腕アトム」評価史〟等、まじめなまんが研究誌。Ｂ５判・26頁￥250（175ｇ）

●海からの招待状　夢見人著　MY詩集の出版部が編集した個人詩集。３色刷カバー付、写植使用の、本屋にも並んでいる一冊。誰でも自分の詩集を出せるというフレッシュブックスのパンフレット付。Ａ５変型・96頁￥680（210ｇ）

●青い地平線（鳩時計文庫１）　永井美和著。仲間が集まり、昔学生時代にあたためた小説を文庫にまとめようと創刊されたのが、この鳩時計文庫。これは、架空の王国モルギニアを舞台に繰り広げられる愛と冒険の物語。作者の青春時代がこめられている。Ｂ６判・256頁￥700（290ｇ）

●Ａ高野球部日誌（鳩時計文庫２）　岩崎　由著。Ａ高野球部にやってきた新任監督は大変な鬼監督。彼と選手たちの虚々実々の闘いが始まる。笑いの中にもやさしさを忘れない、すがすがしい一冊。Ｂ６判・250頁￥900（290ｇ）

機動戦士ガンダム　ビデオ上映会

まだ確認はしてないのですが、たぶん７～８話は抜けていると思います。まあその分は、あまたある解説書が補ってくれるでしょう。とにかく楽しくやりましょう。オールナイトだからね。

日時；6月27日（土）　PM10：00～

場所；フリースペース　本誌のどこかに地図が載ってるよ。

応募方法；なにぶん部屋が狭いので、☎予約先着10名に限らせてもらいます。
予約受付開始は6月20日の午後からにします。

お弁当代；料金などという恥ずかしいものはとてももらえないけど、まあお茶代とお弁当代くらいはお願いします。￥1,000

応募先；03―354―6155　※必ず氏名、住所、電話番号を自分から言って下さい。
なんせ編集部はズボラが多いからね。

各出版社コーナー

北冬書房

北冬書房の出版物を全て揃えます。主なものは下記のとおり。詳しくは同社の広告を参照して下さい。
●**花の詩** 林静一劇画作品集I B5変形・188 頁¥1800 (740ｇ)
●**酔蝶花** 林静一劇画作品集II B5変型・192 頁¥1800 (780ｇ)
●**夜行** A5版・200 頁前後 7 ¥980(425ｇ) 8 ¥1300(530ｇ) 9 ¥980(420ｇ)

ブロンズ社

ブロンズ社発行のまんが単行本を揃えます。主な作品は下記のとおり。
●**アポクリファ ひさうちみきお著** 四六判・240 頁 ¥870 (280ｇ)
●**ラビリンス ひさうちみきお著** 四六判・240 頁 ¥780 (280ｇ)
●**ピッピュ 宮西計三著** 四六判・240 頁 ¥780 (280ｇ)
●**ラ・プペ** いつきたかし著 四六判・240頁 ¥780 (280ｇ)
●**マッスル 平口広美著** 四六判・248頁 ¥780 (310ｇ)
●**真崎守選集** 全20巻
①**男たちのバラード** ¥960(370ｇ)
②**ナガレ** ¥860(335ｇ)
③**ながれ者の系譜** ¥860(305ｇ)
④**はみだし野郎の伝説** ¥960(345ｇ)

●**フル・ハウス** 大学生による〝NEW WAVE CULTURE MAGAZINE〟。**'80年11月号**〝大友克洋インタビュー〟 **'80年12月号**〝原田美枝子、新井素子、高野文子インタビュー〟 **'81年1月号**〝三上寛インタビュー〟 **'81年2月号**〝コンサート特集〟 **'81年3月号**〝パンタ&ハル特集〟 〝高取英コラム〟 **'81年5月号**〝山田紫インタビュー〟 以上B5判・48頁¥180(115ｇ)

音楽

●**墓碑銘** 訳詞同好会「リコシュ」発行。プログレッシヴ・ロックの歌詞集。B5判・48頁¥500 (105ｇ)

タウン誌・情報誌

●**365会津** 会津のミニコミ&タウン誌。〝会津切支丹風土記〟等の連載も。No.15 特集〝ローカル線の旅〟 No.16 特集〝ライブハウスィンあいづわかまつ〟 No.17 〝会津若松博物館めぐり〟 No.18 特集〝続・裏磐梯ペンション村〟 No.19 特集〝オールドファッションドストリート〟 No.20 特集〝只見線をゆく〟 No.21 〝主要駐車場ガイド〟〝会津たうんカタログ〟 No.22 特集〝会津ニューウェーヴ〟 No.23 特集〝イラストガイド鶴ヶ城〟 No.24 特集〝ばんだい山〟 以上B5判・33頁¥150(70ｇ) ※これ以前のものもあります。
●**プレイガイドジャーナル** 大阪のタウン情報誌。大阪特有のアクの強さで、情報以外の記事がおもしろい。だから、大阪以外のひとが読んでもおもしろい。とにかく100円でこのボリューム、絶対損はないですゾ。『ぱふ』月評その他でおなじみ、村上知彦の連載もアリ。B6判・128頁・¥100 (105ｇ)

プログラムピクチュア作家を自任しながら、常にギリギリまで筋を通して独特のナンセンス喜劇を撮り続ける氏の魅力を、たっぷり満載した、邦画ファン(に限らなくとも)必携の一冊。主な内容は、山根貞夫、白井佳夫、斉藤正治、村上知彦、松田政男等が論じ、フランキー堺、天地真理、大島渚、田中小実昌、そして助監督等が語る前田陽一像、監督インタビュー、自身のエッセイ10篇等。前田陽一作品リスト。シナリオ「にっぽんぱらだいす」も掲載。表紙カバーのイラスト及びデザインを橋本治が手がけている。A5判・240 頁¥1500 (385ｇ)

アニメーション

●**ZERO** ヤマトファン、『OUT』ファン、『アニメージュ』ファン、他モロモロのアニメファンの同人誌。B5判 vol.11 10頁¥200 (30ｇ) vol.12 12頁¥300 (45ｇ) **増刊号** B6判・18頁¥200 (40ｇ)
●**あんばらんす** vol.11 アニメ会誌。今回は「エースをねらえ!」特集。B5判・19頁¥170 (50ｇ)
●**CO.COA** 旧名「大未来」。アニメーション中心の雑誌だが、詩やイラストもある。月岡貞夫の特集号。A4判・24頁 ¥280、85ｇ
●**銀色画人** No.1 アニメ漫画サークル「銀色画人」初のオフ誌。メルヘン調の「ゆうせい」他。 B5判 66頁 ¥320、130ｇ

取扱いと購入の方法

●フリースペースで販売を希望する個人またはグループの方は直接編集室の方へ持参してもらうことを原則としますが〝遠くの方は郵送でもちろん結構です。
●持ち込まれたものは全て取り扱うことを原則としますが、本等はかさばるので一回に10部〜20部が適当です。
●手数料はチケット類が1割、同人誌・出版物・レコード等が2割です。持ち込まれる時は必ず納品書をつけ、品物には一つずつ定価を明記すること。
●なお、持ち込まれる際は見本用として、別に一冊用意してください。
●精算は毎月最終土曜日に限ります。必ず領収書を自参して下さい。
●購入希望の方は、直接**フリースペース**へ買いにくるか、郵送でお申し込み下さい。郵送の場合は郵便振替(本紙添え付の赤い振替用紙。これが一番安くて確実)、現金書留、小額切手等で下記の送料を添えて送金して下さい。そちらの住所、電話番号は忘れずに明記して下さい。よろしく。
●郵送希望の方は包装紙の重さ30ｇを加算して下さい。(包装紙代は無料です)
●送料 0ｇ〜250ｇ：200円
〜500ｇ：250円
〜1kg：300円
〜1.5kg：350円
〜2kg：400円
●郵送の人はお手もとに届くのに少々日数がかかります。御諒承下さい。急ぐ場合は、封筒に〝至急〟と赤で書いた上、速達料金250円を加算して下さい。
●フリー・スペースへの問合わせは、TEL：03-354-2956

奇想天外社

奇想天外社発行のまんが単行本を揃えます。主な作品は、「ショート・ピース」大友克洋著、「魚の少年」坂口尚著、金星樹」佐藤史生著、メチル・メタフィジーク」吾妻ひでお著、「ピースバード・ストーリー」矢代まさこ著、「ライミン・フーミン」柴門ふみ著、「ライトブルー・ページ」さべあのま著等。

チャンネルゼロ工房

●**漫金超** チャンネル・ゼロ発行のまんが誌。創刊号 B5判・204頁・¥580(520g) 2号 B5判・202頁・¥580(500g)

エンタープライズ

●**ソ連は笑う――ソ連漫画傑作集** 大木昭男編訳 A5判・208頁・カバー付 ¥1500(330g)

自社出版物

森雅之自選作品集〝夜と薔薇〟 森雅之著 『ぱふ』がまだ「漫波」という名前だった頃から本誌に、又同人誌『楽書館』に発表し続けてきた作品を一冊にまとめたもの。「写真物語」「星座物語」「空人」「ロマンチック/2」等、〝手紙のように嬉しいものをかきたい〟という著者の、あなたへの暖かいメッセージ。A5判・200頁¥950(320g)

館/自画像/他
②愛犬タロ/源太とおっかあ/新雨月物語/オムニバス恋/カカシがきいたカエルのはなし/他
③どんぐりと山猫/日本昔話/おふくろ/少年の夏/青春劇場/海/他
④心の森に花の咲く/ク・ク・ル・ク・ク・パロマ/青春裁判/少年/旅人くん/遺書/他

●**性悪猫 やまだ紫著** A5判上製・96頁¥950(380g)

けいせい出版

けいせい出版のまんが単行本をそろえます。最近まんがに力をいれている同社は異色作がイロイロそろってます。主な作品は下記のとおり。全てB6判。

●**憂国 いしかわじゅん著** 210頁¥480(240g)
●**娼婦マリー 村祖俊一著**
第一部 210頁¥480(230g)
第二部 215頁¥520(250g)
●**幼女と少女がもんちっち 中島史雄著** 210頁¥480(240g)
●**2年D組上杉治 山松ゆうきち著** 215頁¥480(250g)
●**罪と罰 ひさうちみちお著** 210頁¥480(240g)
●**悪の華**(全三巻) **岡崎英生原作・上村一夫画** 215頁¥560(245g)
●**幻想の明治 高信太郎著** 210頁¥520(240g)

青林堂

青林傑作シリーズ A5判上製・平均240頁 ¥1200(平均540g)

①**フーテン・上** 永島慎二
②**フーテン・下** 永島慎二
③**寺島町奇譚** 滝田ゆう
④**黄色い涙** 永島慎二
⑤**だめ鬼** 村野守美
⑥**そのばしのぎの犯罪㈠** 永島慎二
⑦**狂人関係㈠** 上村一夫
⑧**青春相続人** 宮谷一彦
⑨**花いちもんめ** 永島慎二
⑩**白い伝説** 真崎守
⑪**狂人関係㈡** 上村一夫
⑫**泥沼―どぶだめ** 村野守美
⑬**港野郎にきをつけろ!** 永島慎二
⑭**親不知讃歌** 松本零士
⑮**狂人関係㈢** 上村一夫
⑯**よさこい節** 青柳裕介
⑰**秘戯御法―ひぎぎょほう** 村野守美
⑱**おせん** 堺勝平
⑲**狂人関係㈣** 上村一夫
⑳**眉薬行** 村野守美
㉑**そのばしのぎの犯罪㈡** 永島慎二
㉒**ブルーセックス** 川本コオ
㉓**六の宮姫子の悲劇** つりたくにこ
㉔**龍神** 村野守美
㉕**サロメの唇** 手塚治虫
㉖**傀儡がえし** 白土三平
㉗**ぬけられます** 滝田ゆう

●**永島慎二傑作集** A5判上製箱入 330頁(カラー2色を含む)¥1500(g)
①さんしょのピリちゃん(処女作)/天使のいる街/漫画家残酷物語/漫画博物

⑤**シロがゆくⅠ** 全2色¥1200(295g)
⑥**シロがゆくⅡ** 全2色¥1100(260g)
⑦**シロがゆくⅢ** 全2色¥1200(300g)
⑧〜⑩**共犯幻想Ⅰ〜Ⅲ** ¥960(400g)
⑪⑫**やくⅠ・Ⅱ** ¥860(275g)
⑬**環妖の系譜** ¥960(400g)
⑭⑮**エデンの戦士Ⅰ・Ⅱ** ¥760(300g)
⑯⑰**花と修羅** ¥760(275g)
⑱**初体験・せくさんぶる** ¥1200(310g)
⑲**残照** 全2色¥ 00(290g)
⑳**漂白の点景** ¥980(370g)

●**エウロペ 12歳の神話 剣持加津夫写真集** A4判 ¥3300(1020g)
●**鳳仙花 やまだ紫著** 四六判・208頁¥840(245g)
●**青猫島コスモス紀 ますむらひろし著** オール2色・四六判・42頁¥1200(400g)
●**黄昏通信**(トワイライト・タイムス)――同時代まんがのために **村上知彦著** 四六判・268頁¥930(325g)
コシマキ漫画をいしいひさいちが描いている。¥840
●**菜の花畑のむこうとこちら 樹村みのり著** A5判・244頁¥890(380g)

発送部

●すでにこの本のあちらこちらに書いてあるとうり、フリースペースは、ぱふランニングの方に移りましたので、これからもどうかよろしくお願いします。
●エー、今まで発送がやたらと遅れまして、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。本当に申しわけありませんでした。発送部(実はフリースペースと同一のセクションなのですが)は、どうやら混乱状態を脱して、回復しつつありますので、これからは大丈夫です。
●もし、注文後一ヶ月たっても品物が届かない場合は、発送部苦情係まで連絡してください。
●尚、ぱふのバックナンバーの注文は、清彗社の方でお願いします。
●静岡の鷲巣さん、福井県の西田さん、切手のキフありがとう。西新井の斉藤信行さんはナント、2万円もカンパしてくれました。スタッフ一同泣いて喜んでおります。それから、いろんな差し入れをして下さった皆様、ホントにありがとうございました。大きなビルに入っても、今だに差し入れで生活をしているので、どうかひとつ、よろしく。
●バイロス画集を注文された方、えらく遅くなってどうもすみません。未来少年コナンを注文された皆さん、売り切れでご迷惑をおかけしました、ゴメンナサイ。徳山の村田さん、兵庫の横山さん、遅れてすみません。平野さん、白津さん、扇谷さん、斉藤さん、申しわけありませんでした。岩倉の服部さん、山梨の村田さん、お金返すの遅れてゴメンナサイ。広島の曽賀さん、まちがえてゴメン。森川さん、岸川さん、佐藤さん、早乙女さん、加藤さん、鎌田さん、神瀬さん、皆さん本当にすみませんでした。

今月号の登場

新宿マイシティのポスターの女の子。目がとても色っぽい。春の色、梅雨のにおいがする。
(鉄)

編集部があるラポートビアビル
★えー、こんにちは新しい編集室のあるラポートビアビルです。７階なので、なんだこの写真にはうつってないじゃないか。新宿御苑駅下車。

フリースペース店内
★こちらフリー・スペース。編集室とは50ｍぐらい離れている。写真の女の子はフリスペ押しかけバイトの高校中退娘のマブチ嬢。「ターゲット」等で執筆中。

フリースペースのある第10御苑宮庭マンション

渋谷陽一
★新入社員を募集したら２千人も応募があったロッキングオン。

いしかわじゅん
★来月はこの顔がハンランします。よろしく。

小松杏里
★演出家・けいせい出版。この写真は京都在住のひさうちみちお氏を訪ねた時のもの。撮影者はひさうち氏。けいせい出版の意欲的なまんが出版は彼の双肩にかかっている。

柴門ふみ
★若奥さま。「ＰＳ元気です、俊平」もう一年。

高取英
★夏にまんが評論集『劇画の死滅する日』がでる。彼と連絡をつけよーとおもったら新宿はゴールデン街にいかねばならない。

Editor
可部達郎

Art Director
矢野敬子／柴田尚栄

Editorial Staff
才谷遼　　（制作）
香月千成子（広告・宣伝）
深道宏太郎（制作進行）
草留嘉久　（営業・業務）
緒方源次郎
山口広志　（見習い）

写植オペレーター
高野桂子

経理
荒木克素

フリー・スペース
鈴木一之・大金正一・小林和之
馬渕祥子・匝瑳由美子
（責任者・草留嘉久）

助っ人
竹口望　五十嵐克巳

Photograqher
白土健二
本誌素人写真班

写植
ライムライト／小松写植／奥谷福志
制作室ロード／とやま写植

印刷・製本
大日本印刷株式会社

出版社
白泉社・集英社・小学館・講談社・秋田書店・奇想天外社・朝日ソノラマ・ブロンズ社・北冬書房・少年画報社・双葉社
学習研究社・大都社・けいせい出版・潮出版社・光文社・青林堂・主婦の友社・日本文芸社・檸檬社・徳間書店

レコード会社
キング・CBSソニー・コロムビア・ビクター・フィリップス・東芝EMI・ポリドール

fusion pro.編集室
〒160 東京都新宿区新宿2—1—1
ラボートピアビルディング701
☎ (03) 354 ・6155
☎ (03) 354 ・6164

fusion pro. 工房
☎ (03) 354 ・6169

フリー・スペース
☎ (03) 354 ・2956

★自作自演のロックレコード制作中。スターリンのミチロウ氏が助ッ人。もちろんジャケット・デザインは本人自身。

宮西計三

風忍 ★ダイナミック・プロ所属。

坂口尚

★マイペースで仕事をする坂口氏。流れるような描線にファンは多い。

奥平衣良

★ばっちしきまったイラ氏。最近はプレイボーイ等メジャーでの活躍が目立ちます。

★フリーになって、あちこちの本に神出鬼没。日本SFまんが界の一翼をになう。

星野宜之

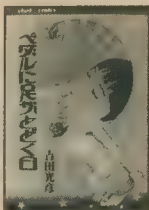
★実はうちと同じビルの六階にやまださんのダンナの仕事場が偶然あったりしてエレベーターで「やあこんにちは」

やまだ紫

欲しい品物の名前を官製葉書に明記の上、住所、氏名、年令を書いて申し込んで下さい。締切は6／25。宛先は、〒160 東京都新宿区新宿2－1 1ラポートピアビル701号 fusion ·pro. プレゼント〝係。応募マークを忘れずに！

①星の動く音／坂口尚

坂口尚3冊目の短篇集。『マンガ奇想天外』掲載作を中心に全8篇。表題作は『リリカ』最終号に載った好篇。奇想天外社提供10名。

②ペダルに足がとどく日

吉田光彦著。イラストレーター出身の著者が『ガロ』等に発表した、大人の目で新構成する童話の世界。けいせい出版提供10名様。

③かんばりソーダ

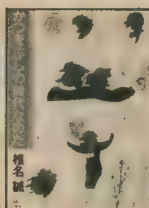
いしかわじゅん著『マンガ少年』連載作品。全ての出版社をかけぬけるいしかわ氏次号特集も乞御期待。朝日ソノラマ提供5名。

④わんぱく先生[2][3]

貝塚ひろし著。わんぱく先生と悪ガキ三人トリオ大活躍、昔懐し少年漫画の匂いのする2冊。サン出版提供、2冊で1セット5名様。

⑤ペピト王さまの冒険

ケイト・グリーナウェイの絵本。原作：ベアトリス・クレスウェル。19世紀イギリスのかわいい捜絵本を新書館から5名にプレゼント。

⑥かつをぶしの時代なのだ

椎名誠著。おなじみ昭和軽薄体のスーパーエッセイ第4弾。『BRUTUS』等掲載文をまとめたもの。情報センター提供5名様。

⑦もだえ苦しむ活字中毒者地獄の味噌蔵／椎名誠

⑥に続いて椎名さんの本を。ホームグランド『本の雑誌』に掲載された数々のメイブンを収録。本の雑誌社より5名にプレゼント。

⑧事件屋稼業

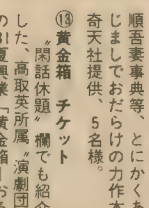
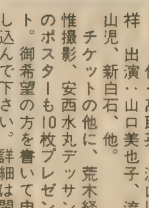
関川夏央：原作、谷ロジロー：画のゴールデンコンビが、今は亡き『漫画ギャング』に連載していた傑作ハードボイルド。双葉社提供10名様。

⑨山棟蛇（やまかがし）／手塚治虫

『漫画サンデー』『プレイコミック』等掲載の作品のなかで、単行本未収録のものを中心に一冊にまとめた本。大都社提供5名。

⑩絵留子さんの日

つか絵夢子著。ひしかわじゅん、飯田耕一郎、うちひさみちお等出演、漫画界内幕をあばく、衝撃の表題作、他8篇。けいせい出版提供、10名様。

⑪劇画マルクス／芳谷圭児著

革命家カール・マルクスの生涯を本格的に劇画化。シナリオ：滝沢解・伊藤みきお。エンタプライズ社より5名にプレゼント。

⑫吾妻ひでお大全集

本人による描下し・未発表・萩尾望都との合作、新井素子・いしかわじゅん・高橋留美子・橋本治等によるエッセイやマンガに加えて、キャラクター列伝・アイデアノート公開・五十音順吾妻事典等、とにかくあじましでおだらけの力作本。奇天社提供、5名様。

⑬黄金箱 チケット

〝閑話休題〟欄でも紹介した、高取英所属〝演劇団〟の'81夏興業「黄金箱―おごん・ぼっくす」のチケットを、高取氏より5名にプレゼント。

公演の日時は6月4日(木)～10日(水)開演PM7：00、所は下北沢スーパー・マーケット。作：高取英、流山児祥 出演：山口美也子、流山児、新白石、他。

チケットの他に、荒木経惟撮影、安西水丸デッサンのポスターも10枚プレゼント。御希望の方を書いて申し込んで下さい。詳細は閑話休題欄を参照のこと。

バイト・スタッフ後記

●なんと、いよいよホンがでます。本誌自体よりも、出版に至るまでの経過の方がずっと面白い部分もあるのですけど、なにより第一歩、創刊号です。当然、何かを始める事にしろ、それを持続することにしろ大変なことなのですが、気持ちの上ではしんどさから一歩身を引いた余禄の部分を持ち、それが誌面に反映するようなホンを目指したいのですけど……ともあれ御期待下さい。

今回、まんが周辺の情報リストを担当しました。未熟者ゆえ、なにぶんにも不手際で、十分なものをお届けすることができませんでした。ご免なさい。これは、次のよりよきものへの踏み台とご容赦の上、ホラ、ここにもこんな情報が、アレあそこにも、と不備な点をお知らせ願えれば幸いです。一方的に受けとるのではなく、皆でつくりあげてゆく情報という風に考えてもらえるとありがたいのです。勝手ではありますけれどよろしく。また、情報収集に関して無躾な質問に心良く答えて下さった方々と、たまたま顔を出したばかりに手伝わされてしまった人々に、深く感謝します。

校了、校了、マタンカ、マタンカ、次は社史編篇室へまわりたい。

●×月○日　オールナイトのロック映画四本立てを観に行き、二本目で眠くなり出て飲みに行く。自分だけひどく酔って、二年ぶりに吐いた。

×月○日　日本リーグ開幕戦のヤンマー対三菱を観る。点は入らなかったが、御体釜本は90分フル出場で、頑張って得点チャンスを作っていた。

×月○日　新宿PePe6階の書原に、大友克洋氏「GOOD WEATHER」があると聞き、無くならないうちにさっそく買いに行った。

×月○日　「じゃりン子チエ」(東宝)を7人が一枚の試写状で観に行き、銀座の不二屋でケーキを食べてきた。

×月○日　コパ・デ・オロのアルゼンチン対ブラジルの試合をビデオで観る。マラドーナとディアスが光っていた。こんな選手が日本にいたら。

×月○日　「横浜BJブルース」を試写状無しで観に行く。一緒に観た女の子が、「あの子って可愛いい」と田中浩二の事を言っていた。

×月○日　会社から帰る途中、机と椅子を拾って来る。

こんなことをしていて、発売予定日に本がちゃんと出るのか、不安でならない。(華)

●信号というモノ。あれは一体何者なのでしょうか。よく夜の人通りのない交差点で、一人ポツネンと赤信号で待っている方を見かけるのでありますが、どんなものでしょうか。

信号機というのは、その名の示す通り機械であります。では何の為の機械なのかというと、「人及び車輛の通行を整理し、それらの安全を図るモノ」なのでありましょう。さて、やっぱり機械ってのはナニなもので、全ての状況、例えば先の例に細かく対応できるようにはなってないんですね。要するに目的が果せればいいんですよ。その為の「道具」なんですからね。やっぱり道具が本来の目的を越えて、人間に指示したり使ったりするというのは、やっぱりおかしいのではないですか。

だからというわけではありませんが、最近私は努めて信号を無視して行動しようと思っております。車と車の間をすり抜けて向う側にたどりつくというのは、なかなか面白いゲームですよ。(緒)

●12月、ひさしぶりに遊びに来たら、人手不足だそうで手伝っているうちに悪の園からのがれる事が出来なくなった。この本が出来るまでにイロイロな事があった。イロイロと人に迷惑もかけたし世話にもなった。イロイロな所にも行った。イロイロな事を教えてもらった。イロ事師ではないがイロイロだった。

4月、編集部は酒を飲む事が多く毎日のように、誰かしら飲んでいます。流行酒は、チューハイです。ぼくはまだ未成年なので酒は飲みません、たまにしか。今年行った飲み屋はせいぜい、15ヵ所くらい、週に6日ぐらいなものです。

5月、真面目になって、ちゃんと働きます。見捨てないで下さい、と少々反省しています。(実行は伴なわないが)5月中にこの本は出てるか。

6月にはこの本が出てるはずだが大丈夫だろうか、とにかく暑いのに弱いぼくは、夏が恐い。冬に半そでで過したぼくは夏にはどんなカッコウをすれば良いのか。

7月、そんな先の話、知らんもんね。ま、編集室には、クーラーが有るので、死んじゃいないでしょう。(山口)

●あなたが今やっていることが、何らかの意味であなたの刺激になってるといいな、と思う。

本をつくる時には、ひとに会うこと。内側にも外側にも。今回そういう意味で、狩撫　関川対談にたちあえて本当によかったと思う。こちらが知らず知らずの内に許容してしまったものへの恐れを、改めて指摘してもらったようなものだった。言われることのひとつひとつが全てあたっている。もちろんこちら側にも〃それなりの〃事情はあろう。でも、実際本はでていないんだもの、5ヵ月も……一言も言い返せよう筈がない。その間の諸々の事情を某U誌でアレコレ書いてたけれど、あんなゴシップ記事などはどーでもいい。ちっともホントのことじゃないんだもの。ホントのことのみが胸を突く、刺激になる。願わくはできるだけたくさんのホントのことに、出逢いたいもの。

そして漸く本がでて、又何かを始めることができる。それにしても本がでなかったら5ヵ月間の、語られなかった言葉のあれこれは、一体何処へ行くのでせう…。

●本誌で働き始めて5ヵ月もたつのに、この本が私の初仕事になってしまいました。読者の方々からの苦情や励ましのお便り、お電話を受けるにつけどれほど多くの人々が本誌を待っているのかと感じずにはいられません。本誌は決して理論を押しつけるものでなければ、ハイセンスなカタログ雑誌でもありません。まんが(音楽・映画・美術・etcもそのうち)は生活のものなのだから、自分の生きている普通の言葉で語れば良いのだと思う。

今(五月中旬です)、BFが山梨にいっていてずっと会えないで寂しいです。うう、でも早くオトコのコのことなんか気にしないで生きていきたいなあ。

●春だ、春だ、頭が春だと浮かれていたら、もうすぐ大嫌いな夏が来る。おどろ線も元気を増して(　)

●はじめまして！　ふりスペの新顔、梨蘭です。こちらにおこしくださる時は、お父上、お母上と水さかずきをすませてからおこし下さいね。(梨)

●私が、ベスト10のカットを、ちょっぴり選びました。最近は、ひじょうに過ごしやすく、食もすすみます。もうすぐ暑い夏ですね。(五)

●ひまにまかせておじゃましては、手伝わせてもらいました。ぱふランが、人がデカくなる役に立つ本になってほしいです。(竹口)

●最近は週に2回ぐらいの割合で、ローラースケートリンクに通っております。やはり、こう仕事をサボッて遊びに行くのは、楽しいですな。(鈴)

●ずいぶん良い気候になってきた。そのためだろうか？最近やたら燃えている。何かせねばと思うのだが金がない。やはり昼寝でもしますか。(和)

●とにかく忙しい！作りたい、また作らなければならないアニメの企画が5本もたまっている。現在1本制作中だ。追い込み中なのだ……。(螢)

●しょうぶ湯に入れなかったのも、山のぼりに行けなかったのも、服やクツを買いにいけないのも、銀行へ行けないのも、み～んな3PYが悪い！

Last Words 編集後記

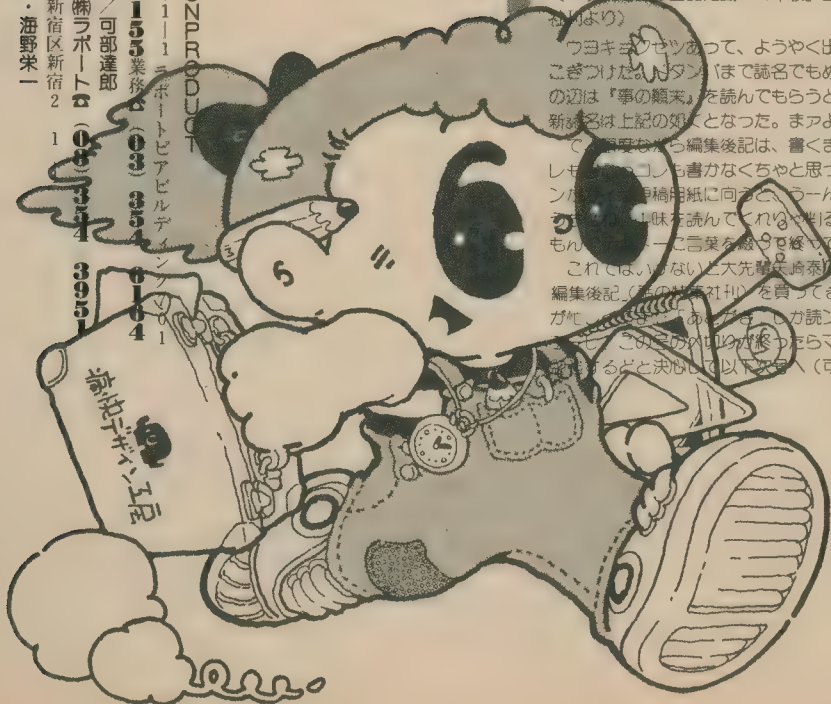
核分裂生成物　(fusion　product)

原子核の核分裂反応では、重い不安定な原子核であるウラン235、プルトニウム239は中性子を吸収して二つに分裂し、より安定な軽い二個の原子核に転換する。このような核分裂反応の結果、生成された軽い原子核のことをいう。　これらは、原子核の種類を定めても必ずしも一定しないのみならず、最初に生じた一次原子核はすべて中性子が過剰で放射性であってその後さらにこわれてより安全な二次、三次の原子核へ移っていくので、非常に複雑な種類を含む。その原子番号は約30から60あたりにあってその残留放射能は原爆の一次放射線の強烈な被害に比べて弱いが、長期にわたり潜在的な被害を生む。いわゆる死の灰の放射能は大部分その中に含まれる核分裂生成物の放射能である。また、原子炉においても使用ずみ燃料が核分裂生成物を大量に含み、非常に強い放射能をもつので処理をじゅうぶんに行わないと危険である。(『現代用語の基礎知識 '80年版』自由国民社刊より)

ウヨキョクセツあって、ようやく出版までこぎつけた。[illegible]タンバまで誌名でもめた。その辺は『事の顛末』を読んでもらうとして、新誌名は上記の如くとなった。まァよろしく。

で、[illegible]ながら編集後記は、書くまではアレも[illegible]コンも書かなくちゃと思っているンだが、[illegible]原稿用紙に向うと、うーん、その[illegible]味を読んでくれる[illegible]サテナもん[illegible]に言葉を綴って終ってしまう。

これではいけないと大先輩矢崎泰久氏の「編集後記」(話の特集社刊)を買ってきたンだが忙[illegible]「あとがき」しか読ンでない。[illegible]この号の〆切りが終ったらマジメに研究するぞと決心して以下次号へ(可部達郎)

●編集製作/FUSIONPRODUCT
東京都新宿区新宿2-1-1 ラポートピアビルディング701
☎(03)354-6155 業務☎(03)354-6164
●編集人/可部達郎
●発行/㈱ラポート☎(03)354-3951
東京都新宿区新宿2-1-[illegible]
発行人・海野栄一

郵便はがき

1 6 0 - □□

東京都新宿区新宿2－1－1
ラポートピアビル701

FUSION PRODUCT編集室

きりとりせん

やって欲しい企画

●読者カードを作るのでできるだけ答えて投函して下さい。

お名前

ご住所　〒

PHONE　(　)

職業　学校名、学年をかいて下さい。

才　男　女

●本誌の内容あるいは何でも

僕は手紙のような漫画をかきたい。
手紙のように嬉しいものをかきたい。

森雅之自選作品集
夜と薔薇

描き下ろし作〃香水〃収録

※この本はごく一部の書店でしか取扱われておりません。お手数ですが、通信販売にてお求めください。

※現金書留、郵便替為を御利用ください。

申し込み先
東京都新宿区新宿2―1―1
fusion pro 編集室
〃森雅之自選作品集〃係

初版二千部　A5版　定価¥950　送料¥250

まんが専門誌
FUSION PRODUCT
昭和56年7月1日発行第1巻1号（毎月1回1日発行）
編集人◉可部達郎　編集製作◉ふゅーじょんぷろだくと
編集室☎(03)354・6155
業務☎(03)354・6164
発行人◉海野栄一　発行◉ラポート㈱
〒160東京都新宿区新宿2−1−1☎(03)354・3951(代)

雑誌07779-07　定価630円　印刷・大日本印刷株式会社